

INDEX- I

タイトル	詳細	ページ
スタート画面	General Preferences (設定)	6~16 Page
アップデート	新しいカタログ、バージョンアップ	17 Page
患者データ管理	Archive	18~19 Page
NobelClinician Start	スタート画面	20 Page
CTデータを3D画像に	骨データの3D化 Convert	21~28 Page
作成した患者データ	3つのアクション	29 Page
Planning Prepare (準備)	Patient 機能説明	30 Page
	Reslice Curve設定他	31~32 Page
	CT Preset	33Page
	Transfer Functions	34~38 Page
	アーチファクト除去	39~47 Page
Planning Prosthetic	Prosthetic 種類	48 Page
Dental scan	Genion2からのScan Data	49~57 Page
	口腔内、Genion2 Scan Data	58~65 Page
Antagonist scan	対合歯データの取込み	66~73 Page

INDEX- II

タイトル	詳細	ページ
Diagnostic scan	口腔内スキャンデータ(補綴)	74～79 Page
SmartFusion	SmartFusion 定義	80～108 Page
Guide	ラジオグラフィックガイド取込み	109～111 Page
Calibration	キャリブレーション概要と操作	112～121 Page
Planning Diagnose	Nerve (下歯槽神経操作)	122～124 Page
	Tooth	125～129 Page
	診断機能その他 Workspaceなど	130～132 Page
Planning Plan	ツール、アイコン詳細	133 Page
	Product Selection	134～138 Page
	インプラント設計手順	139～142 Page
	Implant tab詳細	143～144 Page
	Surgery Type	145～147 Page
	Cross-sectional 詳細	148 Page
Planning Finalize	Create Template (ラジオグラフィックガイド)	149～152 Page
	Create Template (SmartFusion & Edit Guide)	153～157 Page

INDEX-III

タイトル	詳細	ページ
Planning Other	NobelClinician タブ詳細 Snapshot	158～162 Page
Patient Information	患者情報機能	163～165 Page
Planning Finalize	Order関連の操作	166～172 Page
	Re-Plan 再オーダー操作	173～175 Page
Communication Center	Report機能	176～179 Page
	Viewer機能	180～185 Page
	iPad Communicator機能	186～197 Page
	OsseoCare Pro機能	198～205 Page
Other その他の機能	Assistant	206～209 Page
	NobelGuide Software Data 取込み	210 Page
	NobelClinician Data Import & Export	211～213 Page
便利なショートカットキー	Windows ショートカットキー	214～216 Page
	Mac ショートカットキー	217～219 Page
NobelConnect	NobelConnect 概要	220～221 Page
	NobelConnect操作	222～229 Page

INDEX-III

タイトル	詳細	ページ
NobelClinician Viewer	Viewer送信先情報	230～231 Page
	Viewerインストール	232～233 Page
	Viewer操作と設定	234～249 Page
	Viewerショートカットキー	250 Page
iPad 編 Communicator	Communicatorインストール App Store	251～255 Page
	Communicatorインストール iTunes	256～260 Page
	Communicator操作	261～266 Page
	Sign in	267～274 Page
	Presentation ID	275～278 Page

スタート画面 準備

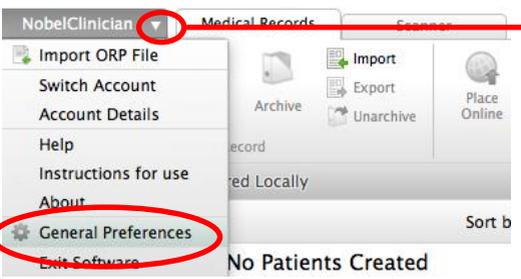
Step 1



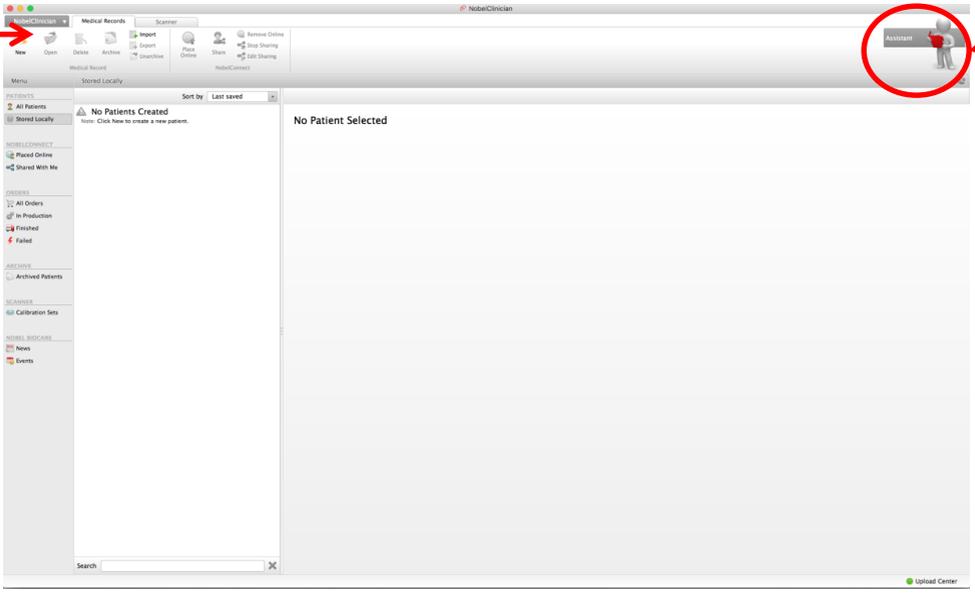
デスクトップ上にあるアイコンをダブルクリックします

Step 2

下矢印をクリックしGeneral Preferencesを左クリック



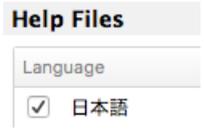
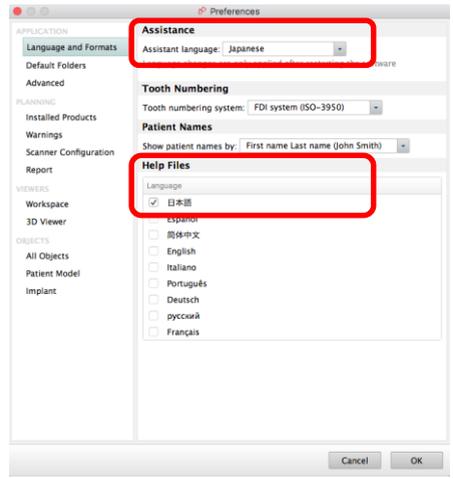
スタート画面



Step 3



Assistantをクリックします



※ この設定はヘルプページを日本語表示にします

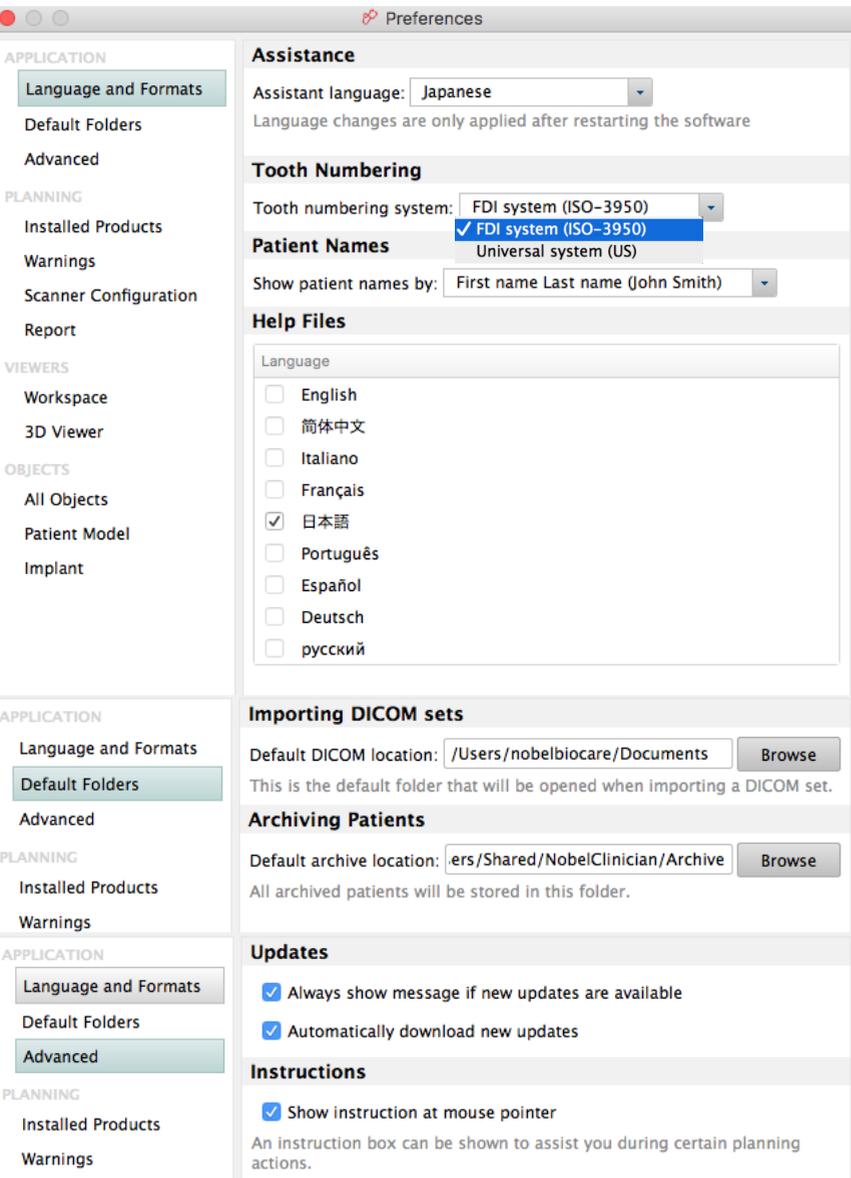


ヘルプページが開きます
ここでは、各ステップ毎に操作の説明がありますので、必ずご覧下さい

※ この設定はアシスタントを日本語表示にします



General Preferences (APPLICATION)



アシスタントの言語設定

歯式表示の選択

患者名の表示設定

ヘルプファイル言語設定

CTデータの読込先の設定

患者データの整理 (Archive)

ソフトウェアの更新設定

マウスポインターの説明表示

➢ FDI又はUSどちらかの歯式番号を選択します。DefaultはFDIになっています。
➢ 歯牙を3Dにする作業時に、犬歯、智歯を基準とし自動的に設定した歯牙の位置に
➢ 移動出来ます

First Name Last Name の順番の変更

毎回同じメディアやフォルダーからCTデータを読込む場合、設定すれば自動的に読込んでくれます

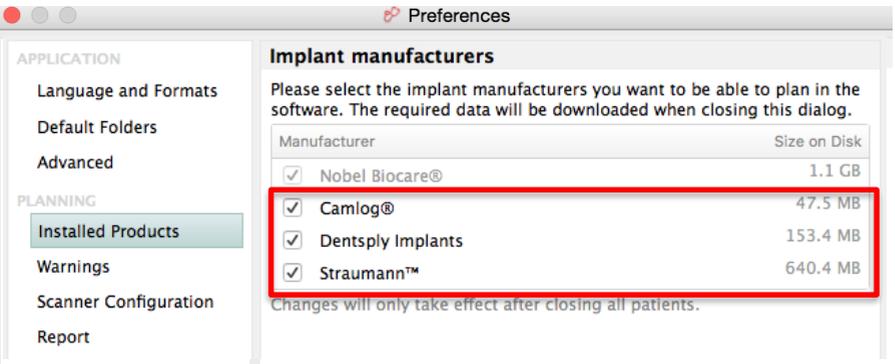
過去の患者データを別の場所に移動します 詳細は16ページ参照

新しいアップデートが利用可能な場合には、必ずメッセージを表示・非表示の設定

自動的に新しいアップデートをダウンロードする、しないの設定

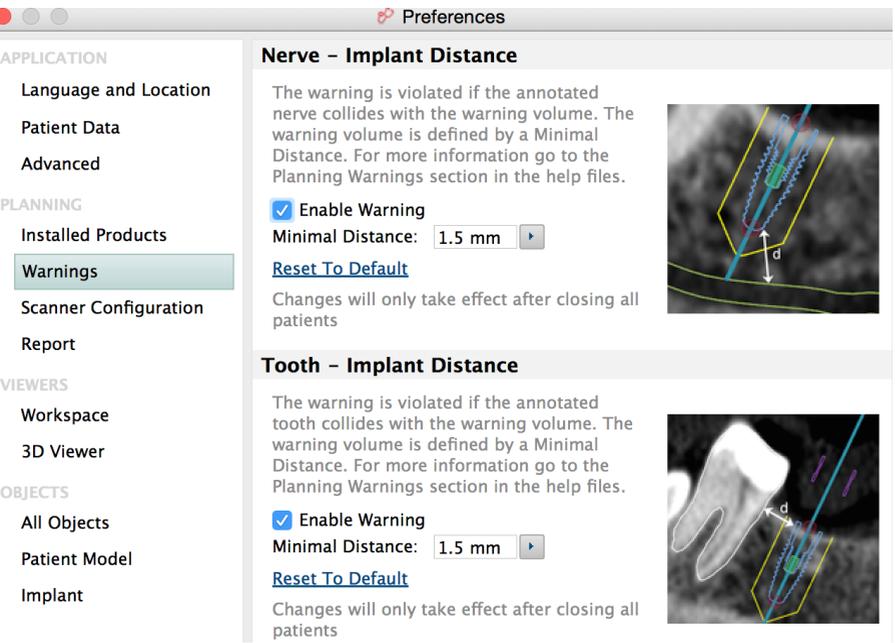
プランニング中、特定のアクションの際にマウスポインターに表示される説明の表示非表示の設定

General Preferences (PLANNING)



他メーカーのインプラント表示

プランニング上で表示したいインプラントメーカーにチェックを入れます
表示させない場合はチェックを外します 次ページを参照



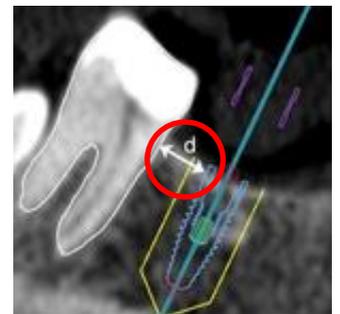
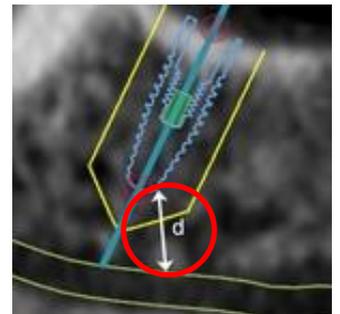
警告の設定

Enable Warning
Minimal Distance: 1.5 mm

- インプラント体と下歯槽神経管との距離の設定
- インプラント体と歯牙との距離の設定

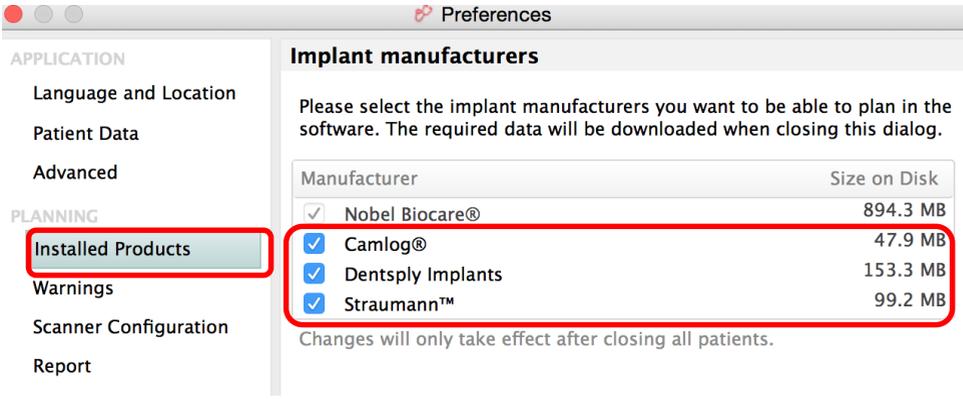
この設定の最小は1.5mmになっています

※ Nerve, Tooth共に、プランニング内で明示している場合のみ警告されます



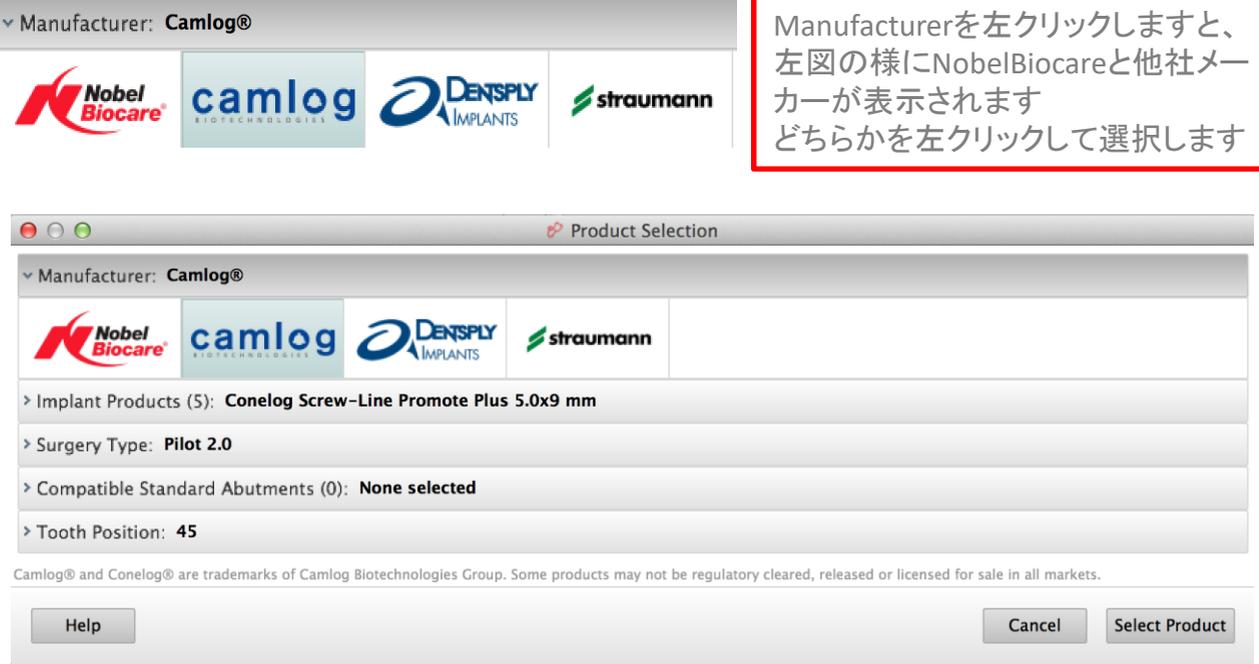
General Preferences (PLANNING)

他社メーカーのImplant表示



表示された他社メーカーにチェックを入れて、Plan上で表示させます

Plan画面のImplantカタログ



Manufacturerを左クリックしますと、左図の様にNobelBiocareと他社メーカーが表示されます
どちらかを左クリックして選択します

※ 他社メーカーのImplantはラジオグラフィックご使用の場合はプランニングのみです
Smart Fusion 使用のプランニングではパイロットスリーブを選択すれば、サージカルテンプレートを作製できます

General Preferences (PLANNING)

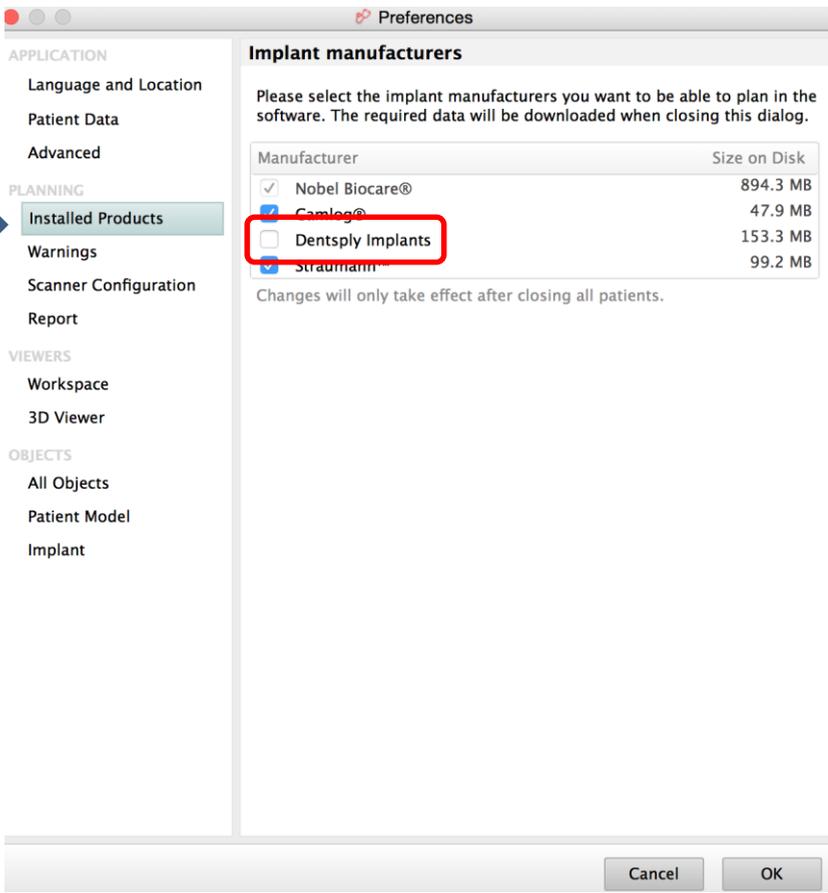
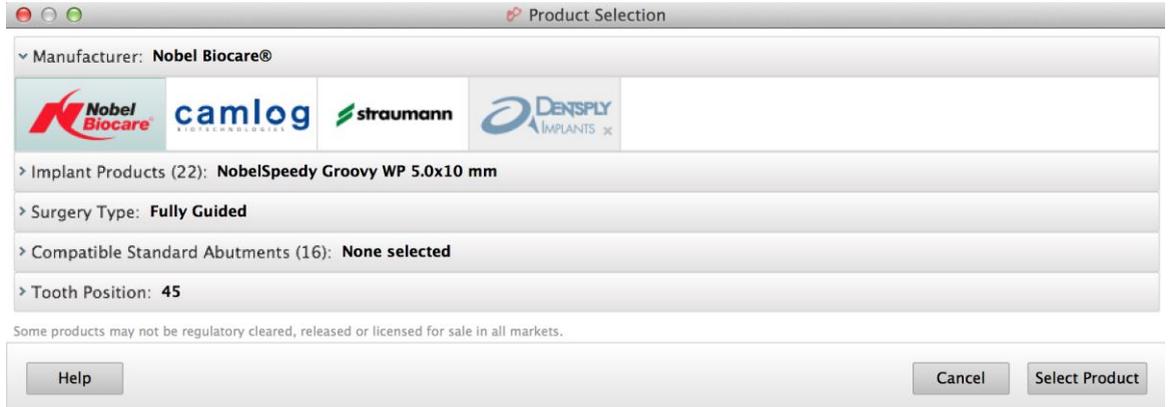
Plan画面のImplantカタログ



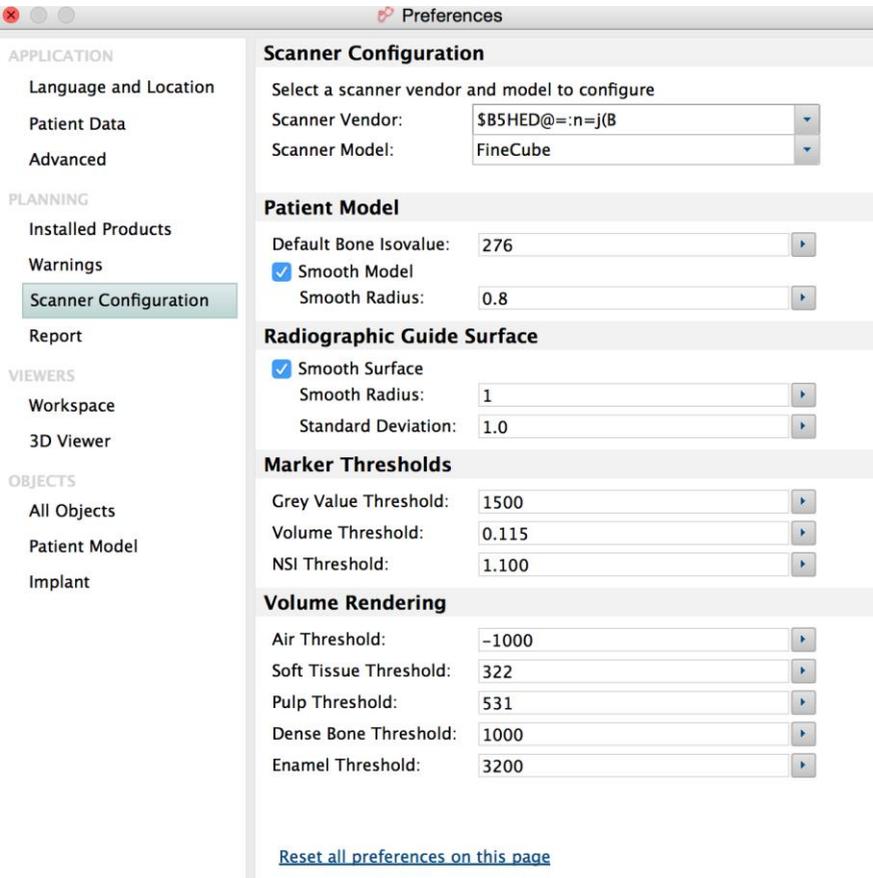
メーカーロゴが灰色になっている場合は、カタログが無い状態を意味しています

General PreferencesのImplant Productsを開きます

該当するメーカー名にチェックを入れて、NobelClinicianソフトを再起動します→9ページへ



General Preferences (PLANNING)



CTスキャナーの設定

CTメーカー名
CT機種名

※ CBCTで記載されていない場合でもCTデータを読み込み後、表示される場合があります

3D骨モデルの設定

- ISO値の設定
- スムージングの設定 (3D 骨モデルの表面を滑らかにします)

ラジオグラフィックガイドの表面の設定

- スムージングの設定 (ラジオグラフィックガイドの表面を滑らかにします)
- ※ この機能は基本は使用しません。キャリブレーションを行って下さい

ラジオグラフィックガイド内、マーカーのしきい値設定

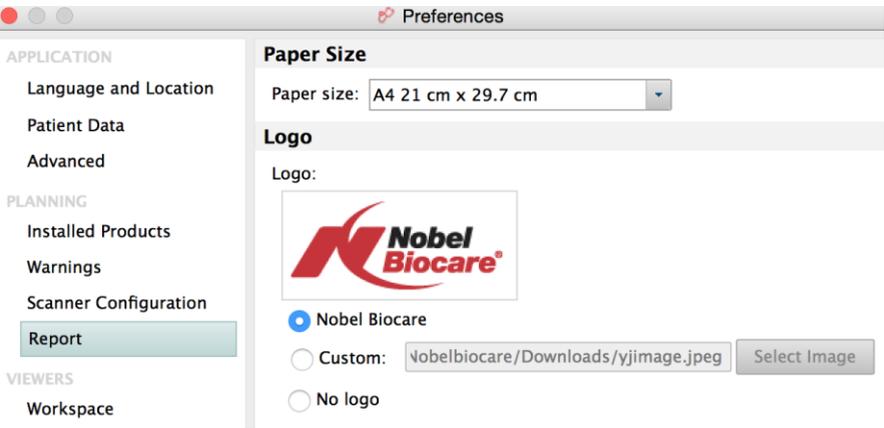
- マーカーのグレイ値設定
- マーカーの大きさの判定
- マーカーの真円度(球体)の判定

ボリュームレンダリング画像の各グレイ値の設定

- 空気の値
- 軟組織の値
- 軟らかい骨(海綿骨)の値
- 硬い骨(皮質骨)の値
- エナメル質の値

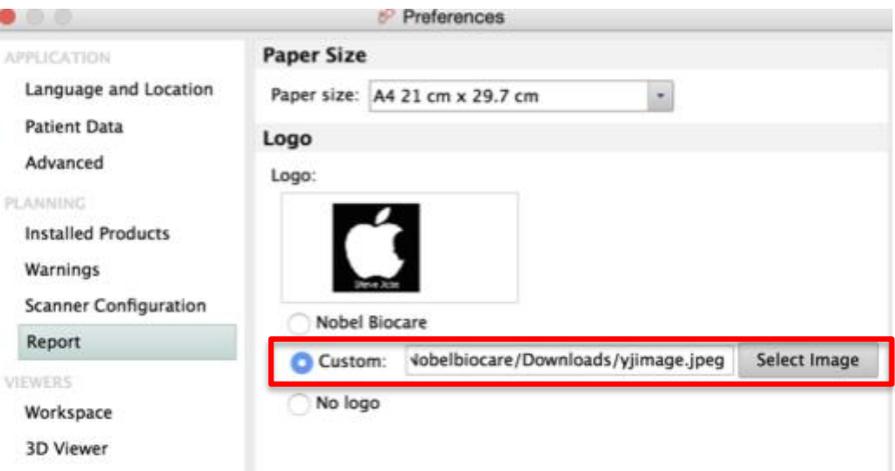
Default値に戻します

General Preferences(PLANNING)



レポートのロゴ設定

- レポートのロゴをオリジナルに変更します (DefaultはNobelBiocareです)
- Custom を選択し Select Image をクリックし画像を選択します



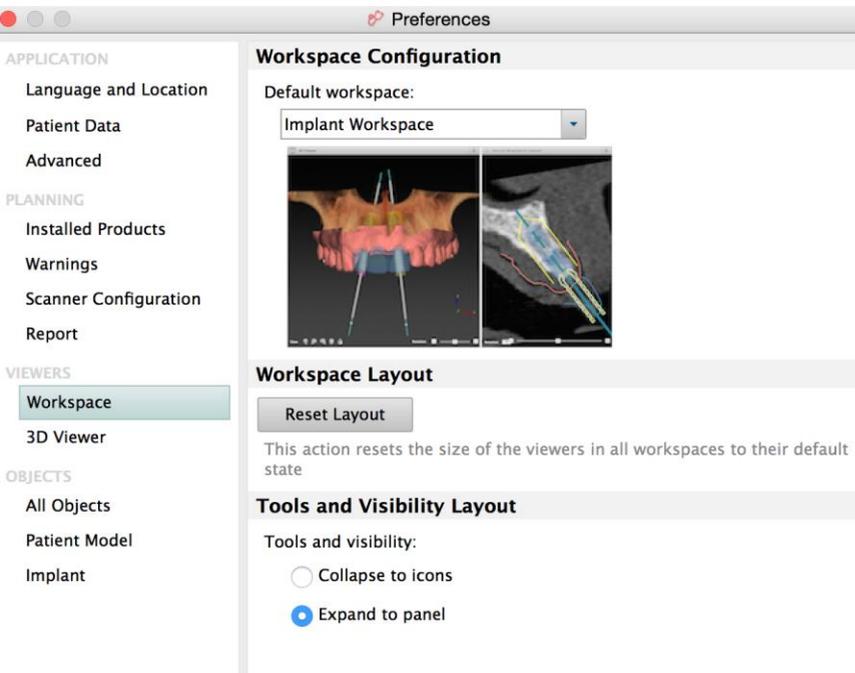
Patienr: Anonymous -ID
 Planning: Upper Jaw_2 - New Planning_3
 Prev Date: 2014-10-23 19:17

Patient Information

Patient Info	
Name	Anonymous
Id	
Date Of Birth	
Gender	
Clinician	Koichi Ota1
Practice	Nobel Biocare Japan
Prosthodontist	
Treatment Info	
Planning	Upper Jaw_2 - New Planning_3
Status	Warnings
Approved by	
Scanner Info	
Scanner	Trophy - K9500
Slice Increment	0.3
Scan Date	2013-10-26
Notes	
-	



General Preferences (VIEWERS)

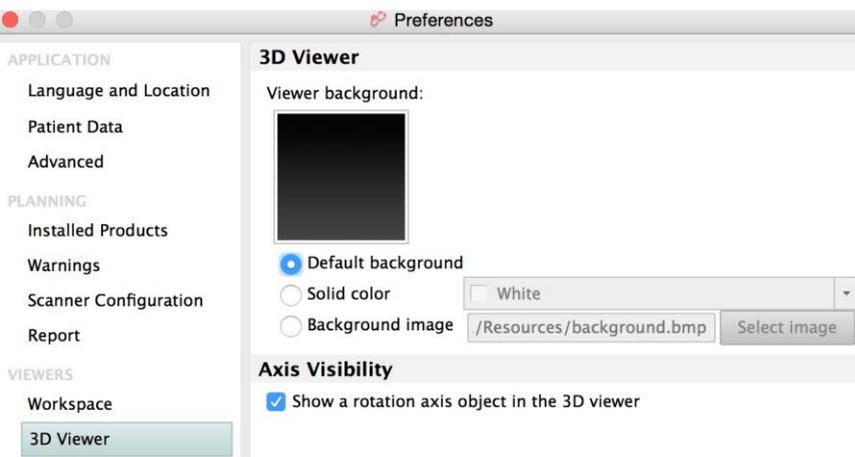


Default workspace の設定

- プランニング開始画面の設定をします (DefaultはImplant Workspaceです)
 - ✓ Implant Workspace
 - ✓ 3D Workspace
 - ✓ Reslice Workspace
 - ✓ Panoramic Workspace
 - ✓ Cross-sectional Workspace
 - ✓ Image Workspace

上記6種類から選択します

- プランニング時のツールボタンの表示の設定
ツールをアイコンのみの表示にする場合は Collapse to icons を
選択して下さい
- DefaultはExpand to panel です

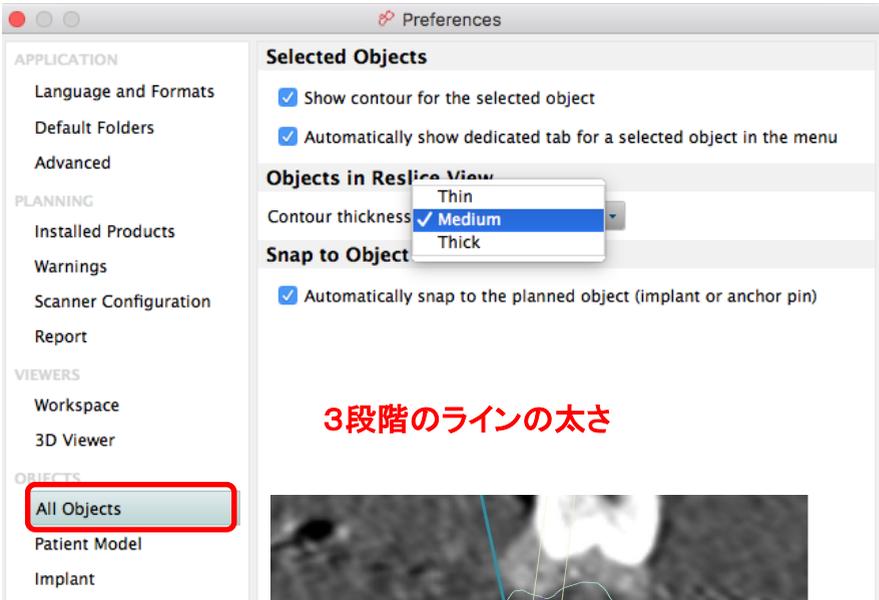


3D Viewer の設定

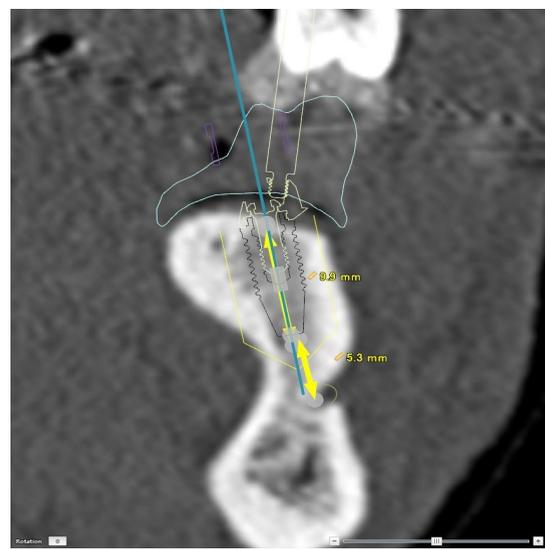
- 3D骨モデル画像のバック色の設定

- 3D骨モデル画像に表示されている、XYZ軸の表示・非表示の設定

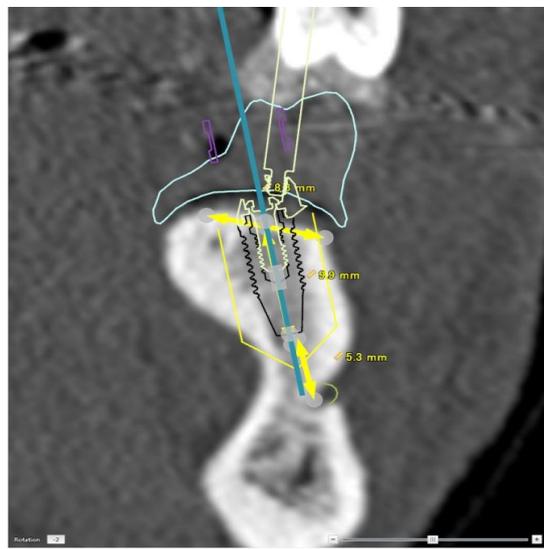
General Preferences (OBJECTS)



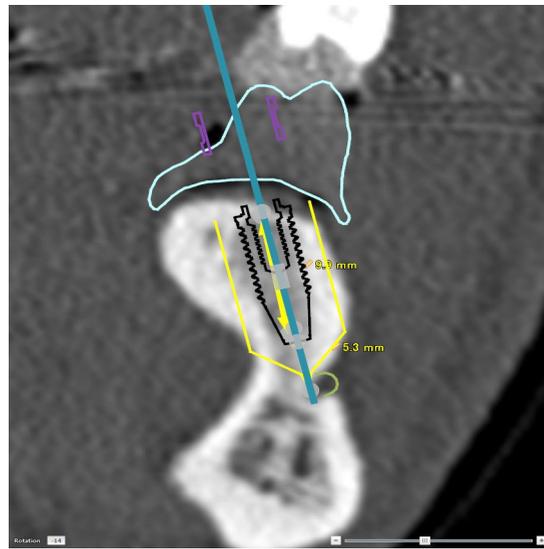
3段階のラインの太さ



Contour thickness: **Thin**



Contour thickness: **Medium**



Contour thickness: **Thick**

選択したオブジェクトの設定

- 選択したオブジェクトの周囲に白い輪郭を表示・非表示
- 3D画像上のリスライス、Implantを選択すると上記にそれぞれのメニュー画面の表示・非表示

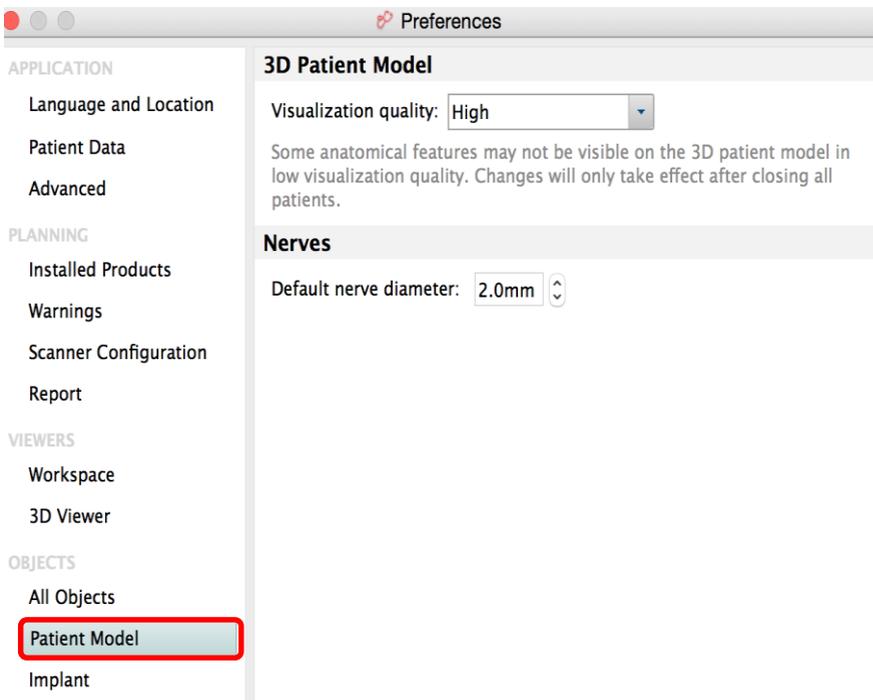
2D Viewer (リスライス内) 設定

- リスライス内に表示される、Implant, Abutment の線の太さの設定

Snap 機能の設定

- プランニングでImplant及びAnchor pinを設定した場合、通常のRe-slice面から瞬時にImplant軸、Anchor pin軸に表示されます。Defaultでは、機能が有効になっています。

General Preferences (OBJECTS)

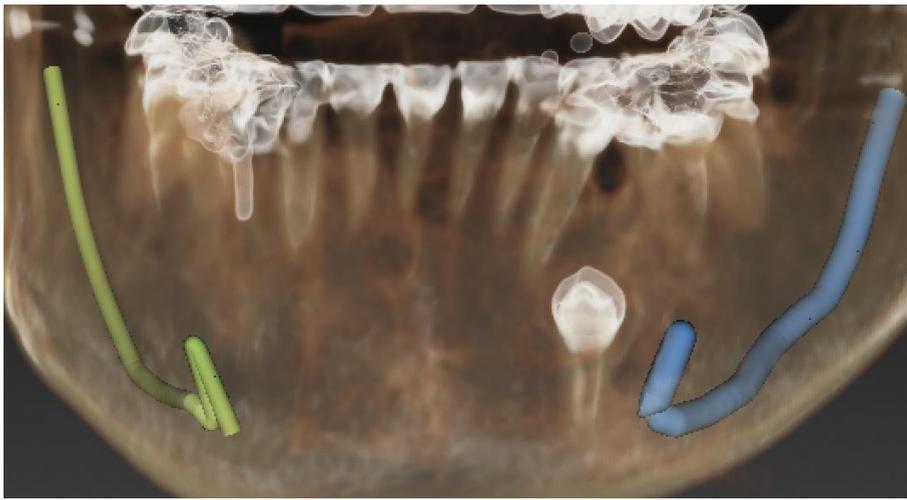


3D画像表示の設定

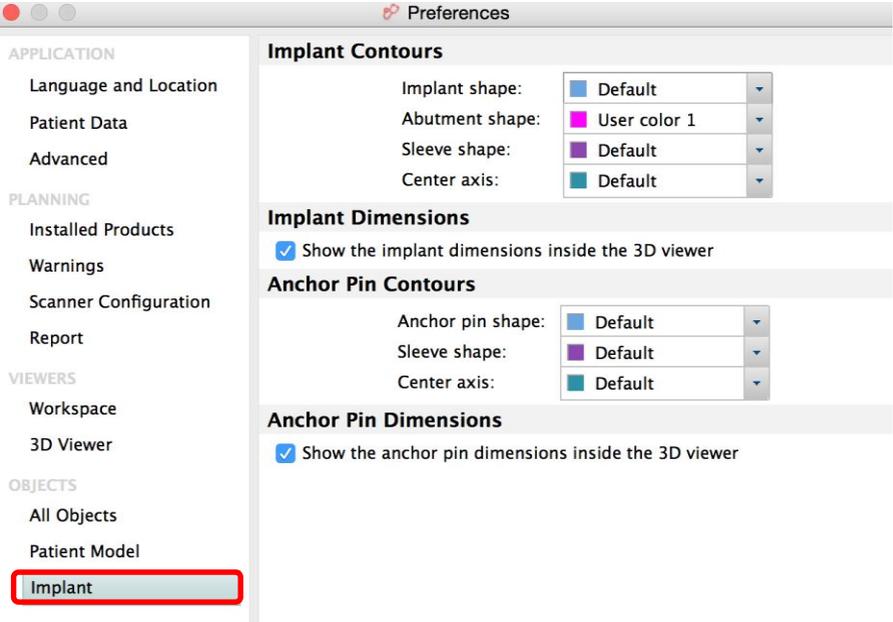
- High モード Default はこの設定になっています
- Low モード PCスペックによって変更して下さい (Highモードより画像が粗くなります)

下歯槽神経や血管の線の太さ設定

- Default は2mmになっています (最小1mm)



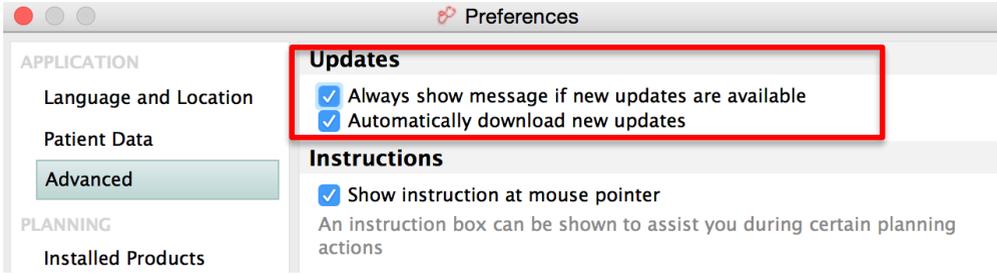
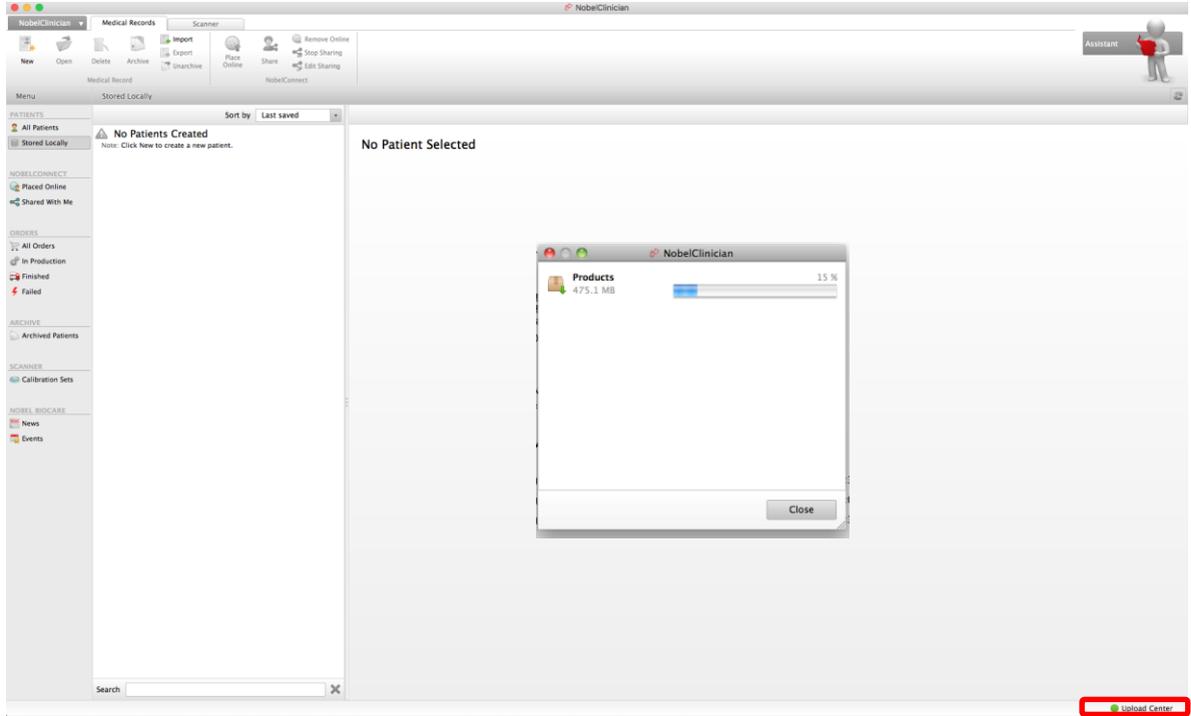
General Preferences (OBJECTS)



2D画像表示の設定

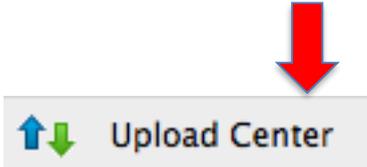
- Implant の線の色調設定
 - Abutment の線の色調設定
 - ガイデッドスリーブの線の色調設定
 - Implant のセンター軸線の色調設定
-
- 3D画像上で表示される計画されたImplant サイズ表示・非表示の設定
-
- アンカーピンの線の色調設定
 - アンカーピンスリーブの線の色調設定
 - アンカーピンのセンター軸線の色調設定
-
- 3D画像上で表示される計画されたアンカーピンサイズ表示・非表示の設定

カタログのアップロード&バージョンアップ時のアップロード



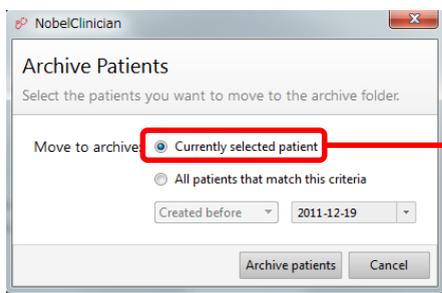
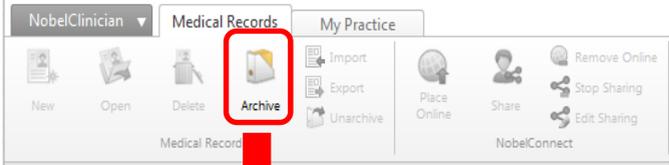
- Updates
- ✓ 新しいアップデートが利用可能な場合には、必ずメッセージを表示
 - ✓ 自動的に新しいアップデートをダウンロード

バージョンアップをしない場合は、General Preferences 内の Application → Advanced → Updates内のチェックを外して下さい

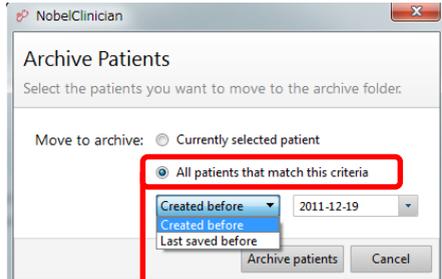


NobelClinicianソフトが起動後アップデート情報がある場合、右下にUpload Centerという項目が表示されます
これは、自動的にアップデートが始まります。左クリックしますと上記の様なダウンロードの状況が表示されます
また、サージカルテンプレートのオーダー送信中でも状況が表示されます

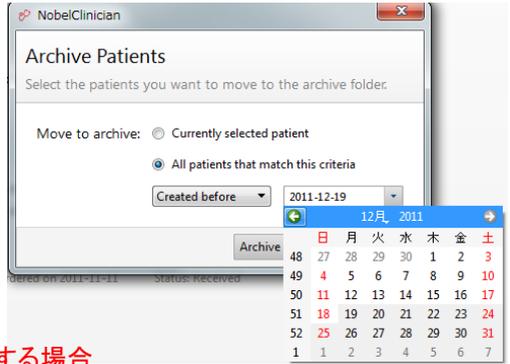
患者データのArchive



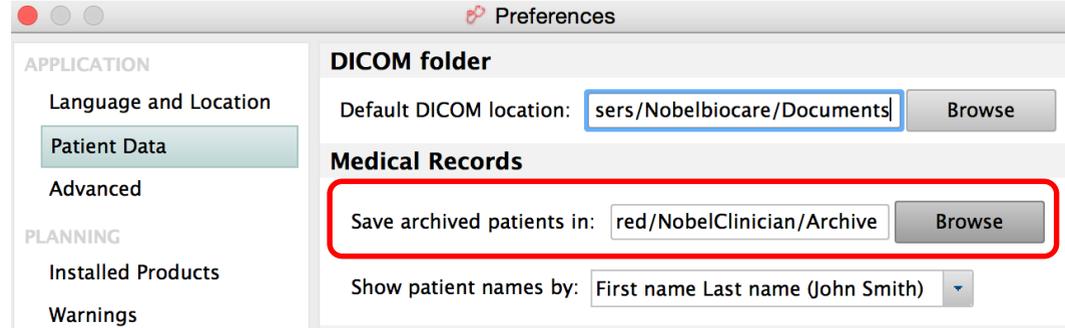
→ 選択したPatientのみをArchiveする場合



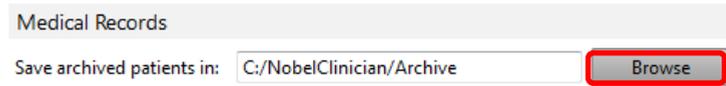
条件を選択してPatientsをArchiveする場合



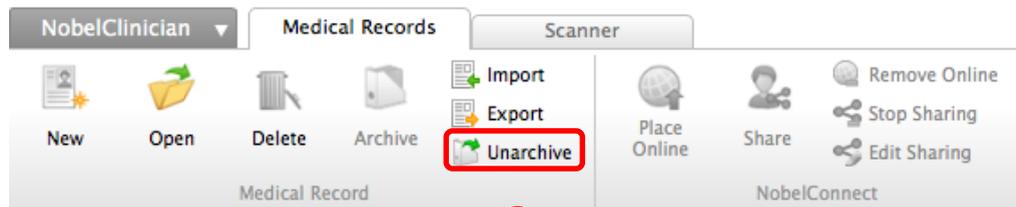
- Created before (登録された日) ~ カレンダーで選択した日付まで
- Last saved before (最後にセーブした日) ~ カレンダーで選択した日付まで



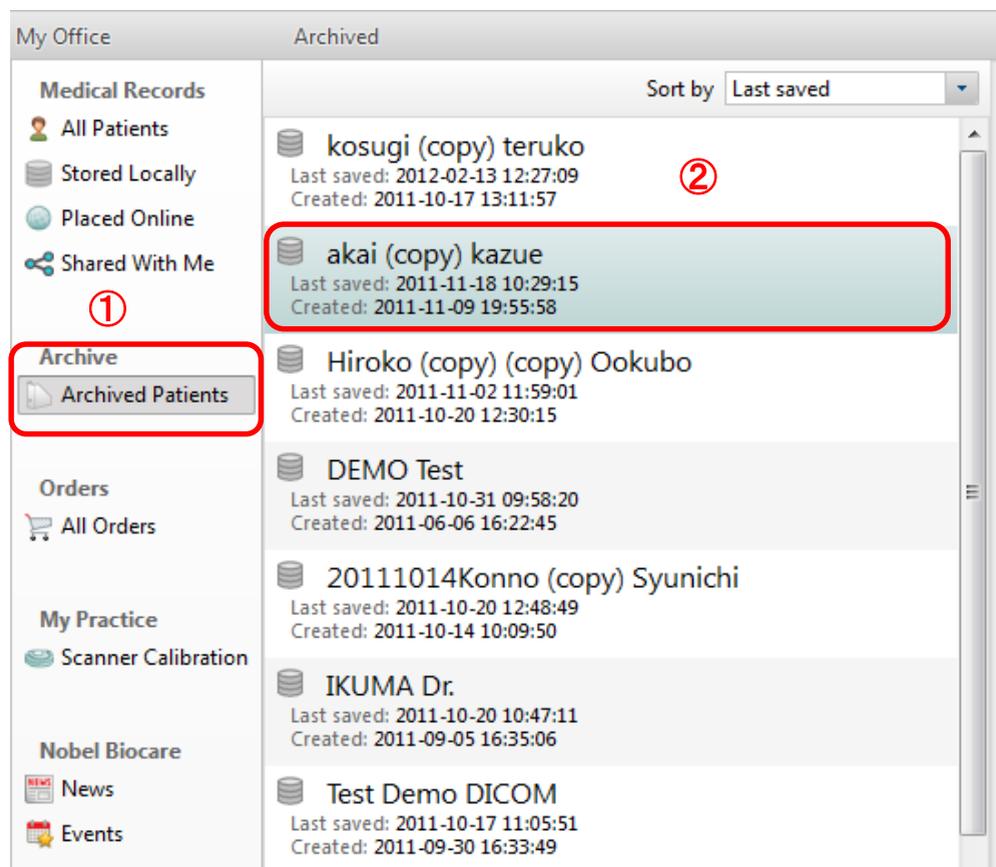
上記図のGeneral PreferencesでArchiveするフォルダ一先を設定します



患者データのArchive



③



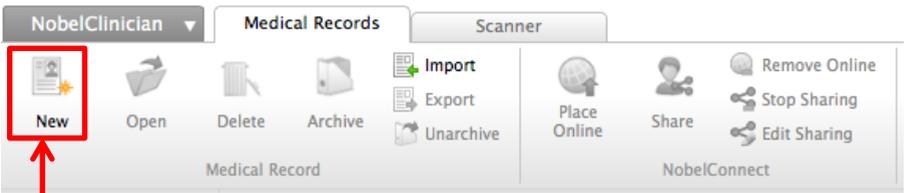
一度Archivedした患者データを再度戻す場合

- Archivedデータが保存されているHDDをPCIに接続し、NobelClinicianソフトを立ち上げます
左図①をクリックします
- Archivedしたデータの中で、取り出したいデータを選択します
- 左図③のUnarchiveのボタンを左クリックしPatientsに戻します

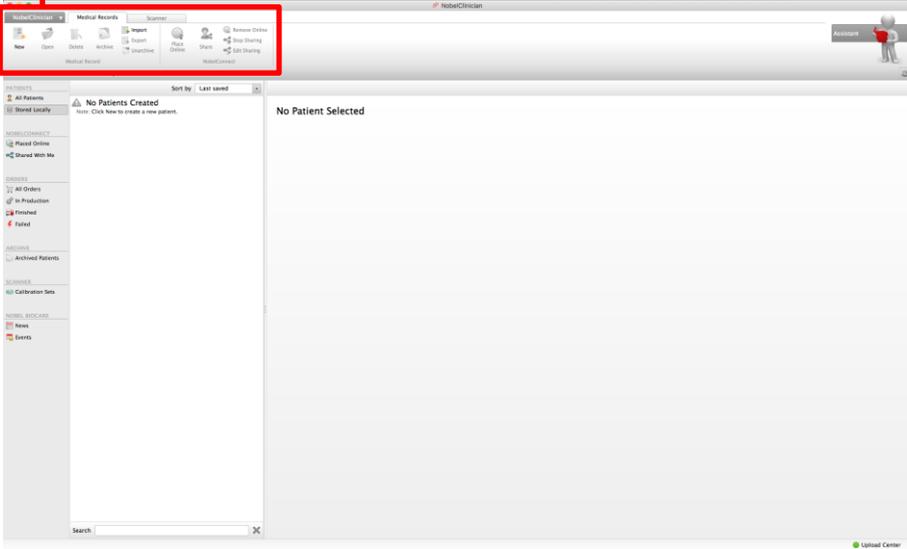
NobelClinician Start!!

Step1

NEWボタンをクリック



スタート画面



Step2

3項目の中でアクションしたいボタンをクリックします

-  **Create a new Planning**
Load your patient CT scan and start planning your surgery.
-  **Order a Model Scan**
Request the scan of a plaster cast from your local dental laboratory.
-  **Enter Patient Information**
Add patient contact information and clinical photographs of the patient.

プランニング(診断)、CT Convert

オーダー画面へ

患者情報の詳細を記入(住所、TEL,E-mail他)

※患者名は、記入しなくてもCTデータに記録された患者名が自動で入力されます。但し英語名の場合。日本語の場合は文字化けしてしまいますので、後ほど編集して下さい。

Step3

 **Create a new Planning**
Load your patient CT scan and start planning your surgery.

 **Order a Model Scan**
Request the scan of a plaster cast from your local dental laboratory.

 **Enter Patient Information**
Add patient contact information and clinical photographs of the patient.

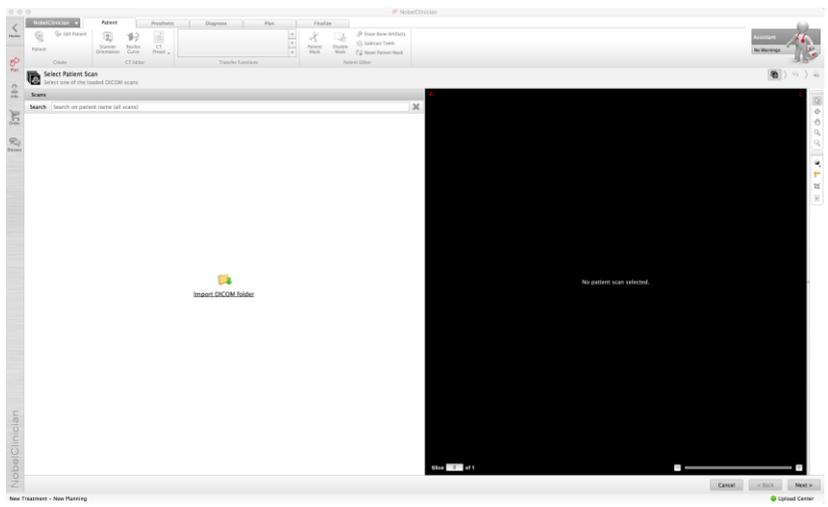
Cancel

Step1→Step2→Step3と進みプランニングへ進みます

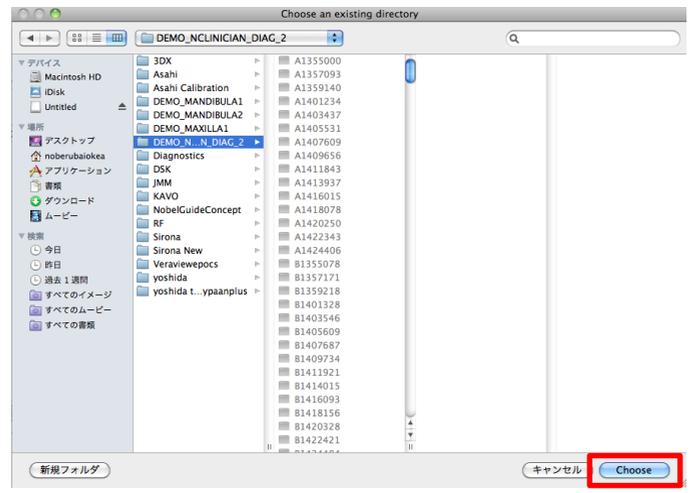
CT convert (DICOM Set)

Step1

新規のプランニングを開始する場合は、この画面から始まります

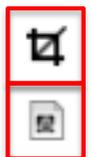
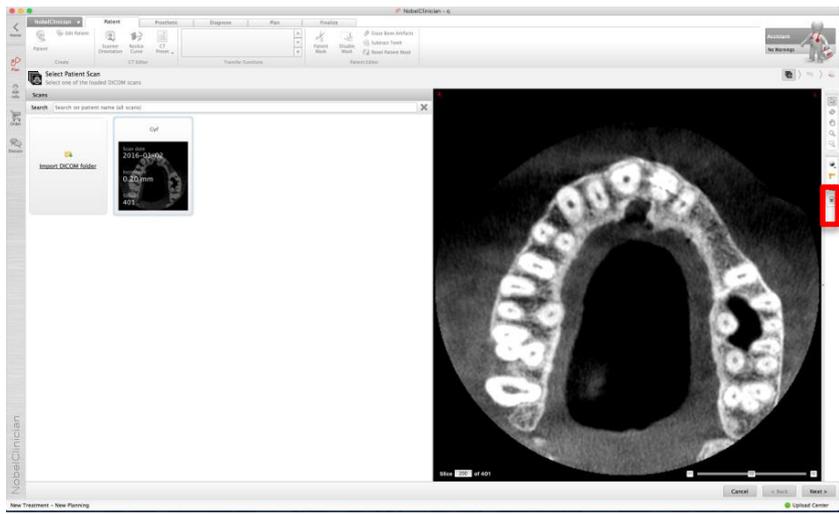


Import DICOM folderをクリックしてDICOMデータを選択してOKボタン(MacではChoose)をクリックします



Step2

患者(骨)DICOMデータがセットされた状態

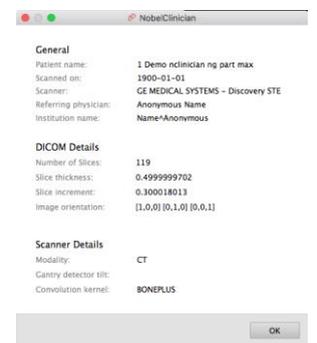


Crop DICOM range

Show DICOM details

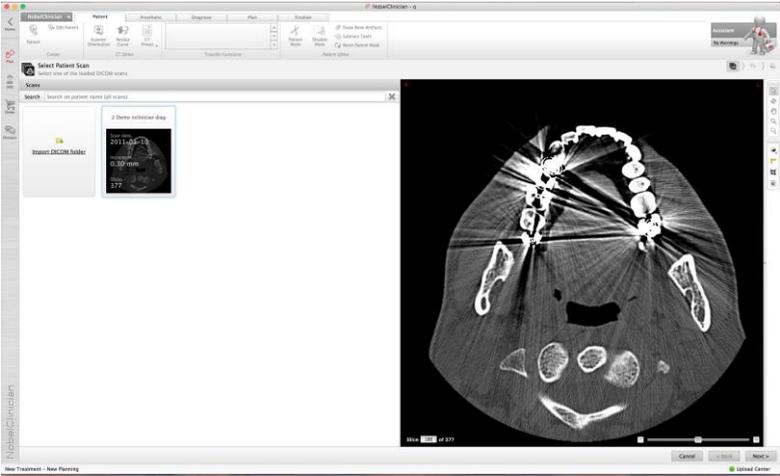
DICOMデータの取込む範囲を設定出来ます。特にCBCTをご使用の場合、データ量が多い事がありますのでソフトウェアでの快適なプランニングを行う為にも、こちらの機能をご使用してから、次の操作に進んで頂く事をお奨めします。

DICOMデータの詳細
CTメーカー名やスライス厚など

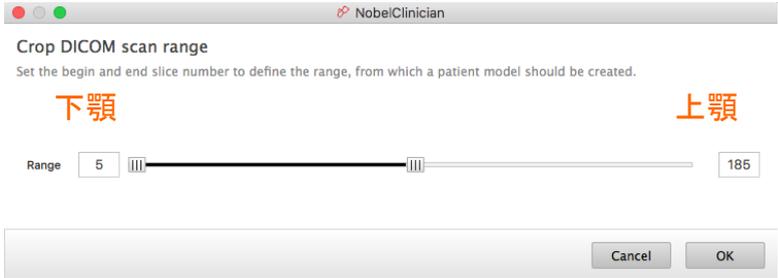
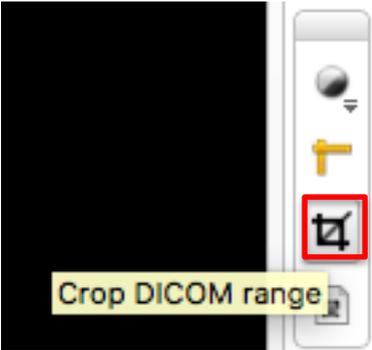
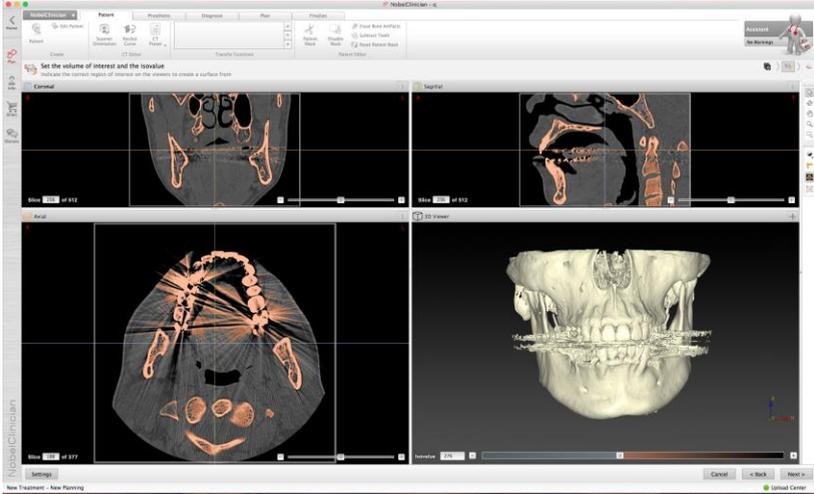


CT convert (Crop DICOM range)

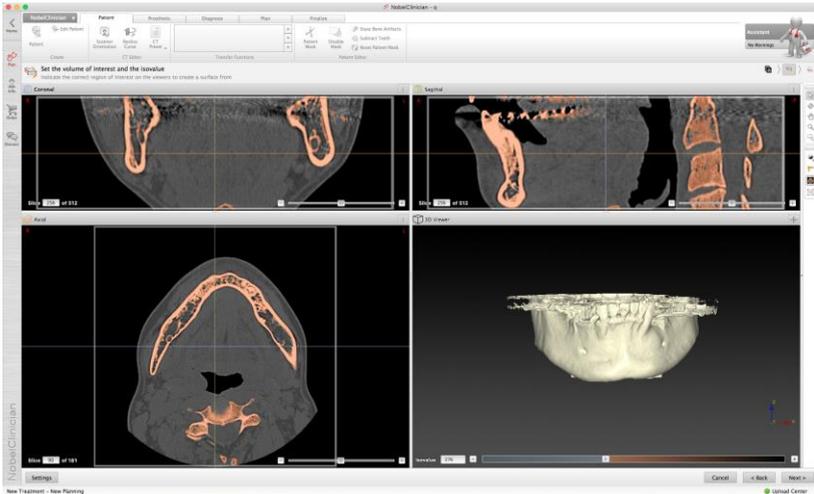
Step2



Crop DICOM range 機能不使用



Crop DICOM range 機能使用



Crop DICOM range 使用する場合は、Axial画面のスライダーバーを使用し、カットするスライス番号を調べてからご使用して下さい。

CT convert (DICOM Set)

Step3

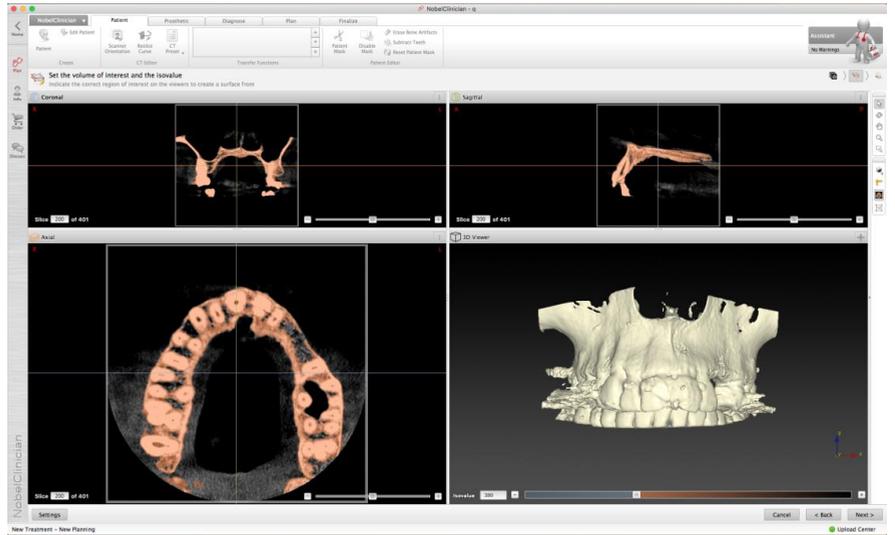
患者(骨)DICOMデータがセットされた状態



Nextボタンをクリックします



Step2の作業が終わりましたら、右下のNextボタンを押して次に進みます。この作業以降は、データ量を減らす事は出来ません。



デモデータなどは、下記のメッセージが表示されます



Convertをクリックします

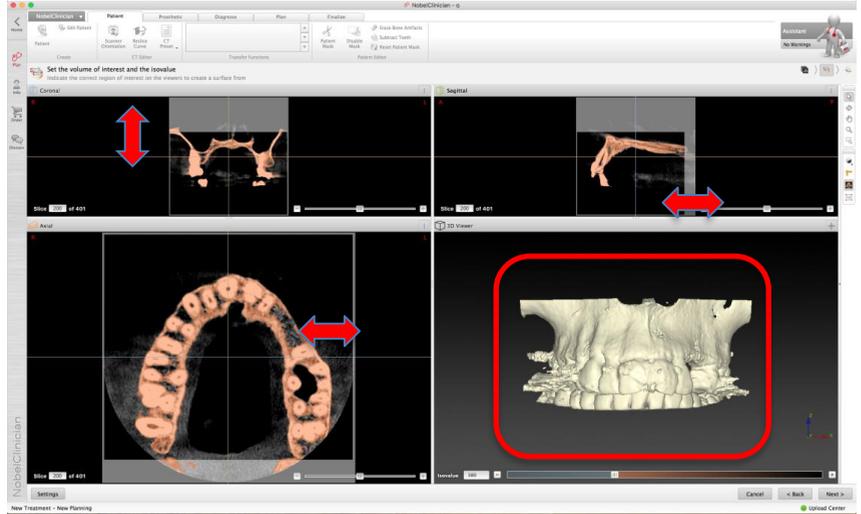
CT convert (3D画像に変換)

Step4

この画面では ① 3D画像に変換したい骨の範囲を選択
② 3D画像に変換する骨のISO値の調整

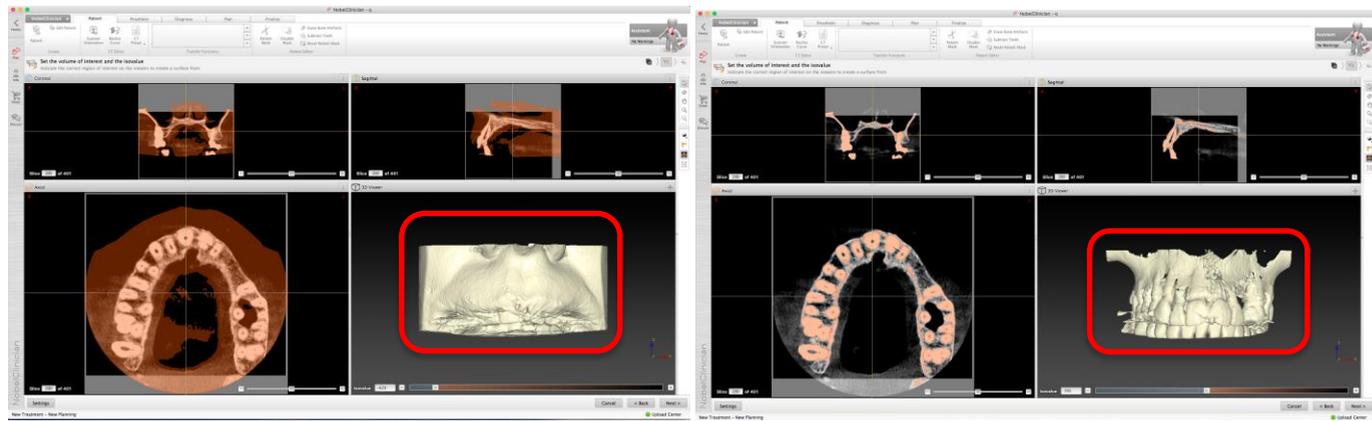


①



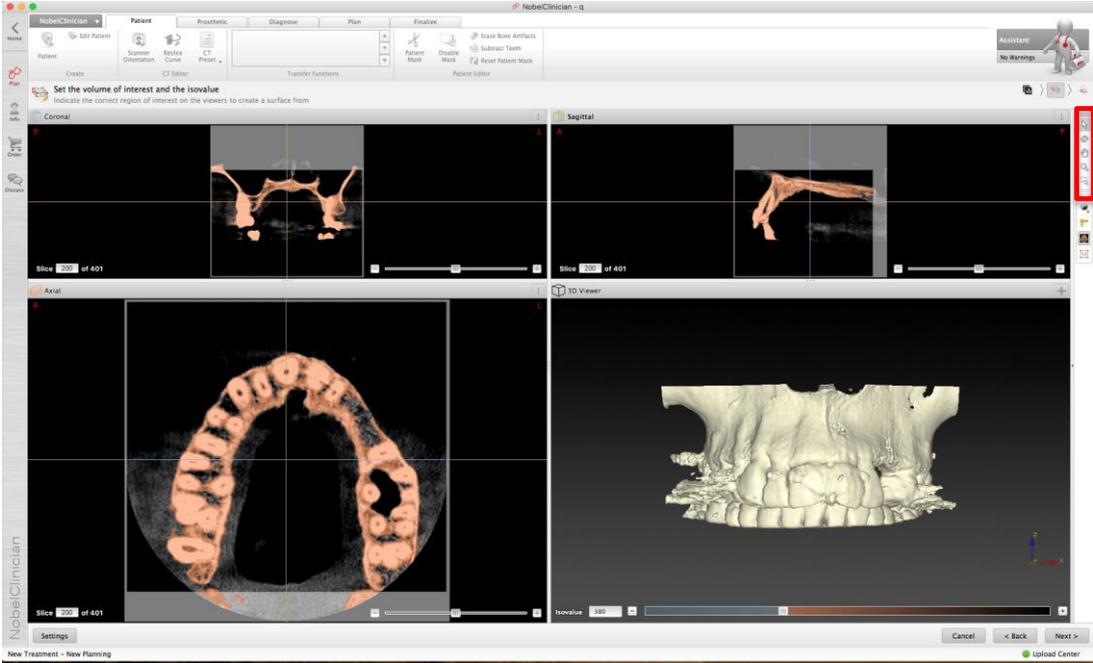
骨の範囲指定を行うと、右下の3D画像もその指定した範囲に沿った画像に変化します

②



ISO値の設定を調整します
調整した数値によって、②の3D画像も変化しますので、
アーチファクトなどのをこの段階で軽減する事も可能です

CT convert (3D画像に変換)



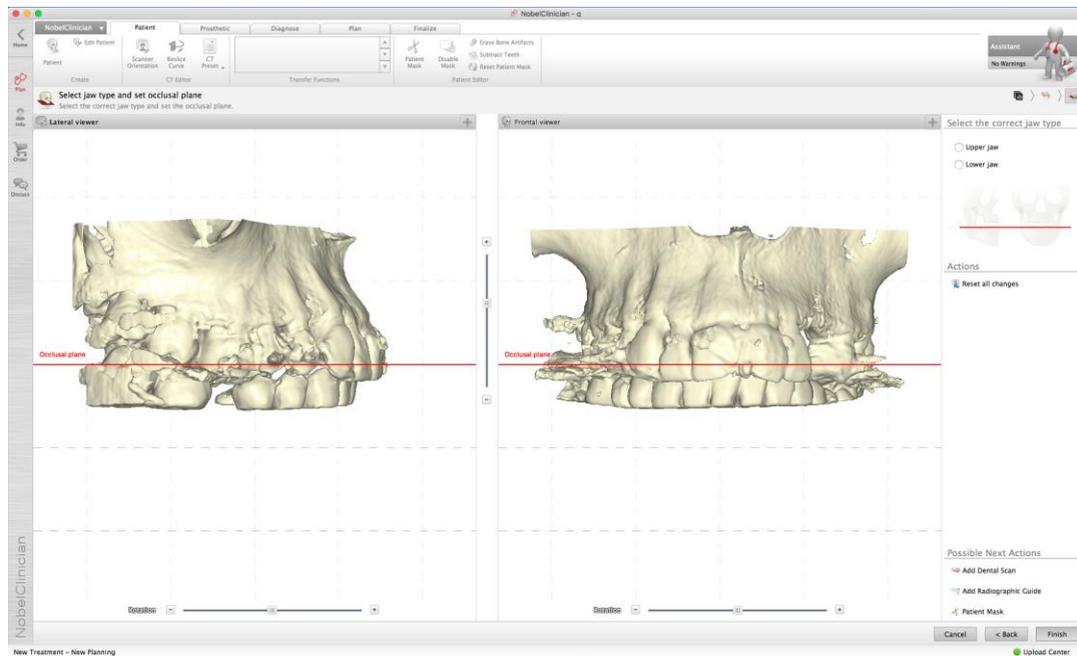
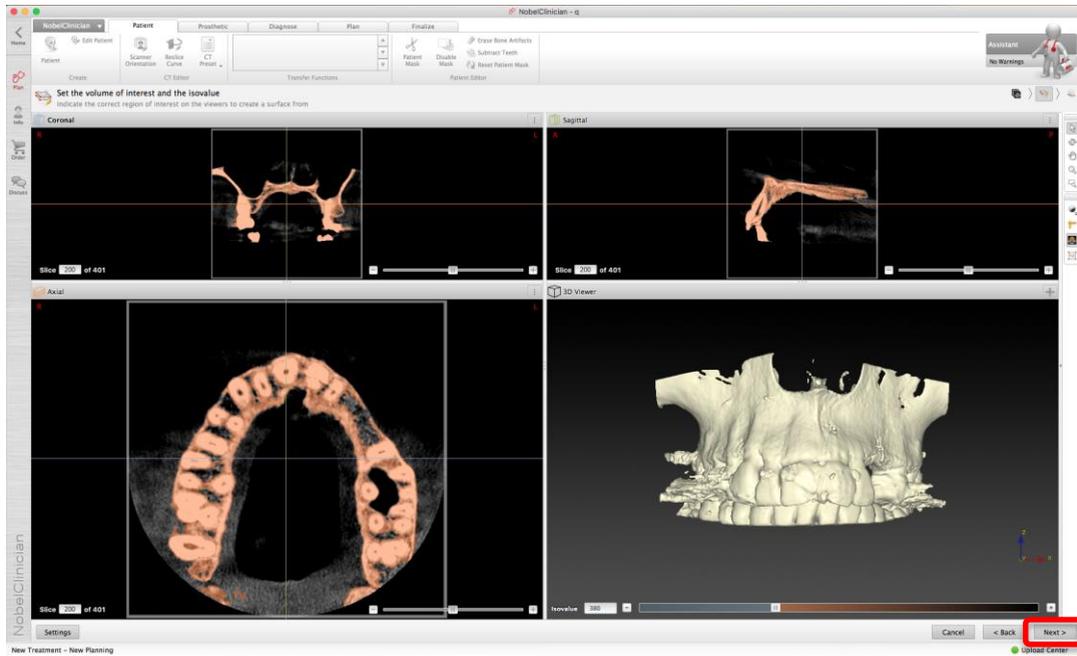
3D画像の確認

変換された3D画像をアイコンを使用し、様々な角度から確認して下さい。このアイコンは、プランニング画面でも使用します。

アイコンの詳細

- 選択、マウスのドラッグ、右クリックの操作 (矢印の状態、マウスのスクロールドラッグでになり、マウスのスクロールドラッグ+左ドラッグで変更出来ます)
- 3D画像の動作、回転を行う際に使用します
- マウスを左ドラッグして3D画像の位置を、上下、左右と動かす時に使用します
- マウスを左ドラッグして3D,2D画像上で、上下、左右と動かすとズームイン&ズームアウトします
- マウスを左ドラッグしてズームアップしたい部分を四角で囲います。戻す場合はを選択して戻します

CT convert (3D画像に変換)



調整終了後Nextボタンをクリックします

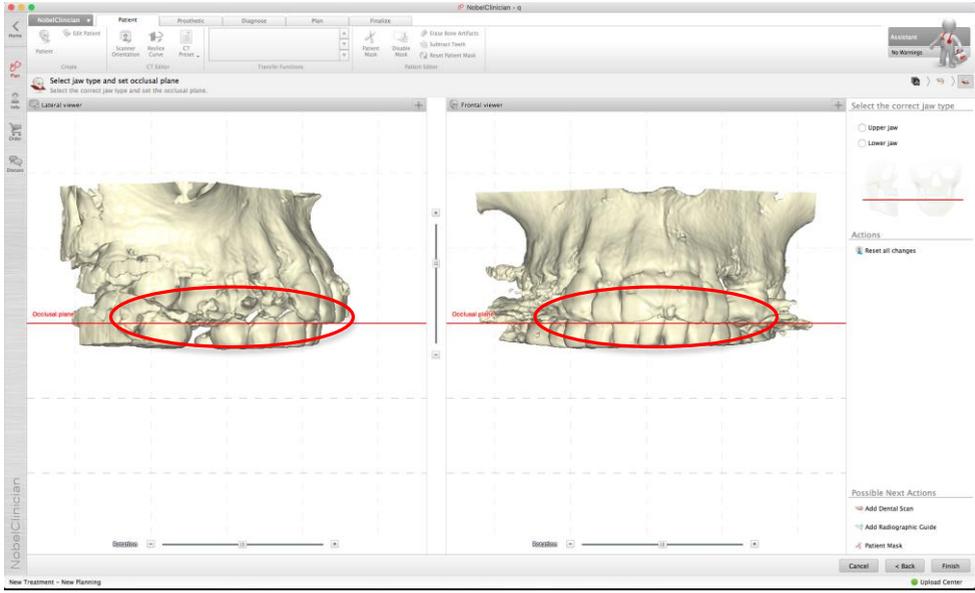
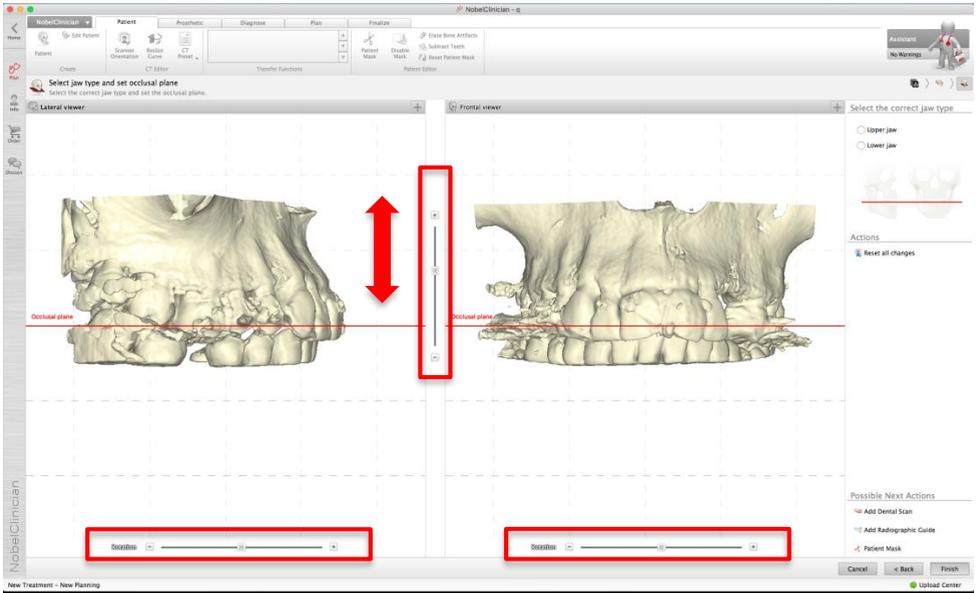


Step5へ進みます

CT convert (3D画像に変換)

Step5

咬合平面の設定を行う



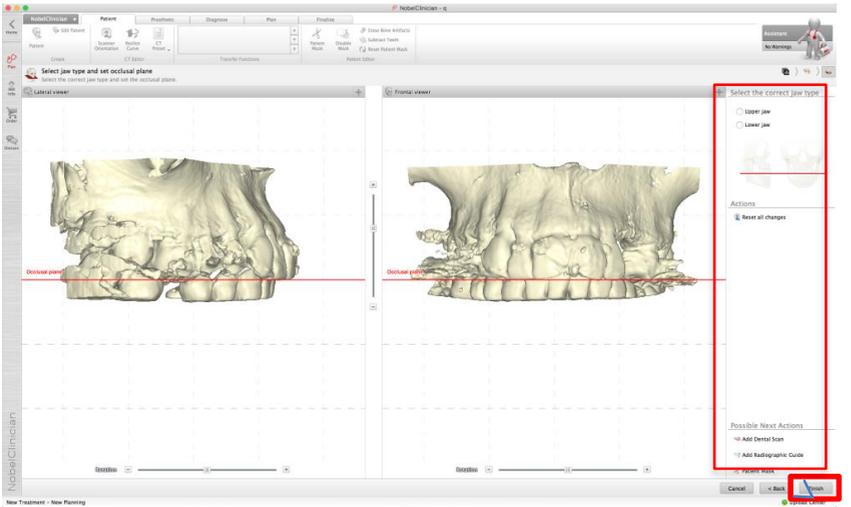
こちらの設定は必ず行って下さい
設定しないと、プランニング画面で Cross-sectional の位置がズレて表示されます

CT convert (3D画像に変換後)

Step5

3D画像(骨モデル)形態を確認後Jaw typeを選択し、以下のステップに分かれます

- ① 模型のスキャンデータとの融合
- ② ラジオグラフィックガイドの3Dコンバートに進む
- ③ アーチファクトなどの不要な画像部分をカットする
- ④ プランニングに進む



< Back Finish

④ Finishをクリックしてプランニングへ進む



上顎、下顎の選択

※ この選択を間違えますと、レポート作成時の画像の向きが反転するので、必ず正確な情報をご選択下さい。また、この設定を行わないと先に進めません。

18ページで設定した咬合面のリセット

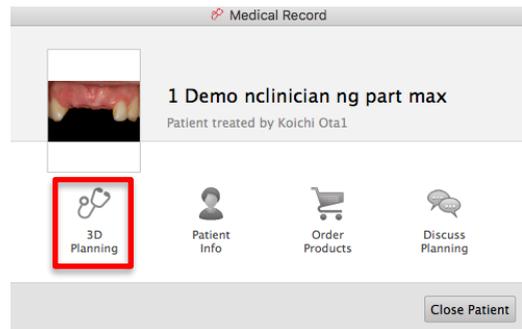
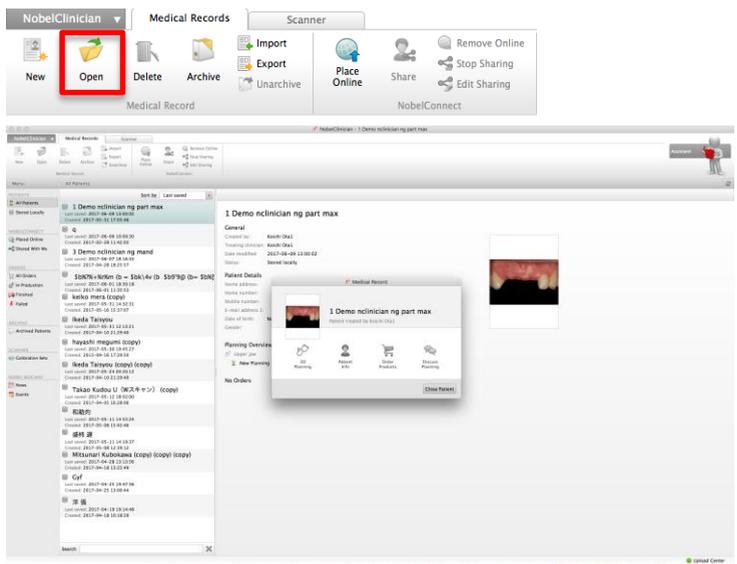
① 技工所より届いたスキャンデータと融合する

② ラジオグラフィックガイドの3Dコンバートに進む

③ アーチファクトなどの不要な画像部分をカットする

作成済みの患者データのOPEN画面

患者リストから、選択しOpenをクリックする、または選択した患者名をダブルクリックします



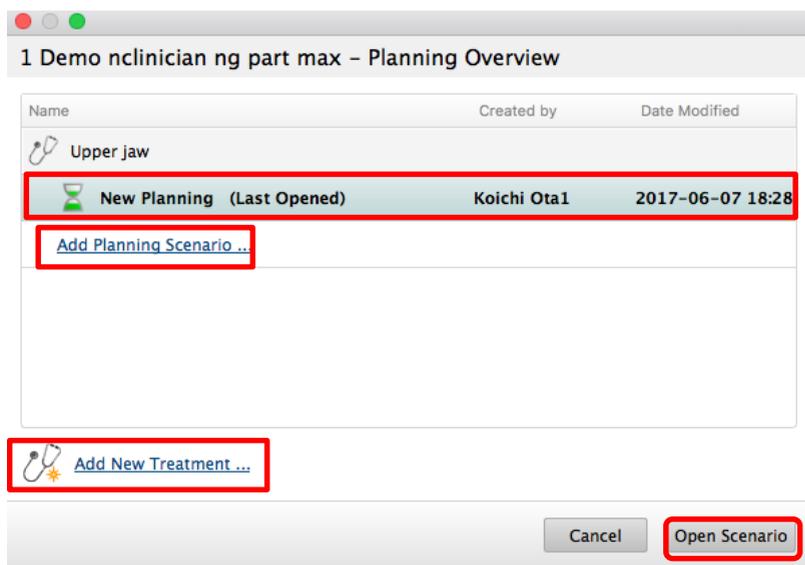
過去のプランニング、新規のプランニング、新しいCTデータからのプランニングをこの画面で選択します
過去のプランニングを開く際は、該当するプランニング名を選択します

既にプランニングを作成している場合は右の様に表示されます



Add Planning Scenario ...
CTデータ、3D骨モデルなどは、変更せずに新しいプランニングを開始します

Add New Treatment ...
CTデータ、3D骨モデルを変更して、新しいプランニングを開始します

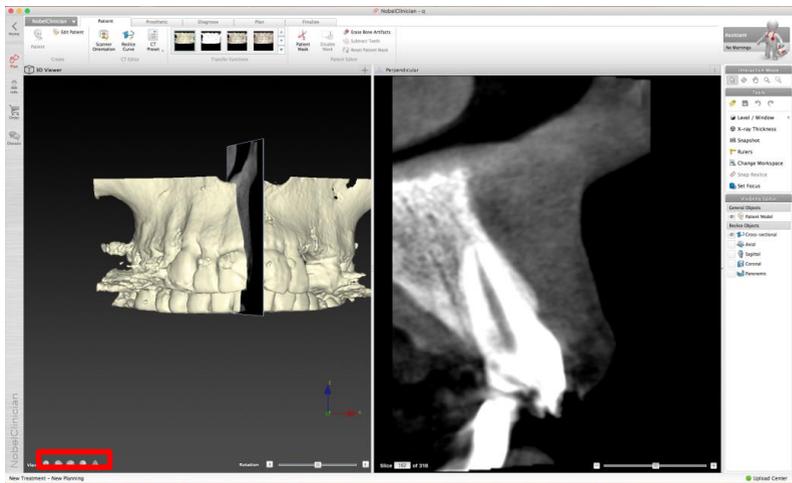


行うプランを選択しOpen Scenarioをクリックします

Planning画面 Patient アイコン詳細



Planning画面



3D画像1クリック表示ボタン

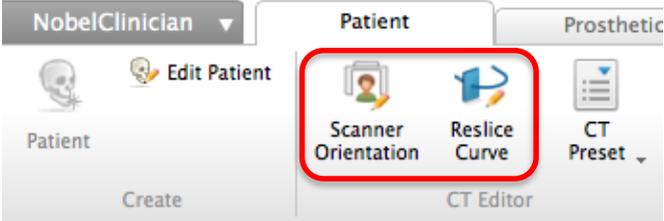
前方、左右、真上、真下からのアングルを選び、それぞれの絵図を1クリックすると、3D画像が瞬時に方向転換します



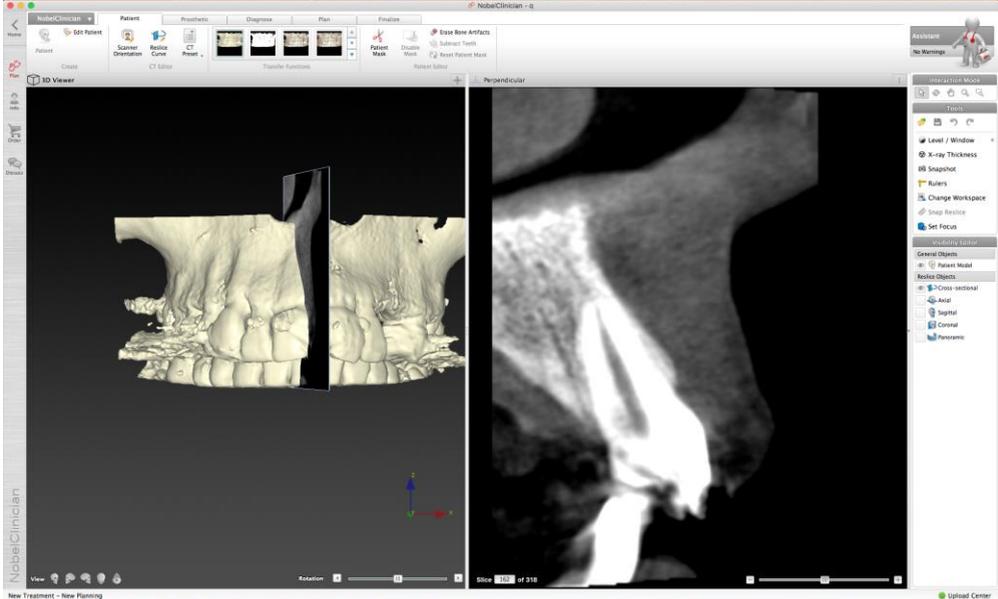
(数字キー 1、3、5、7、9でも切換え可能です。)

- ① 骨モデル(3D画像)が不十分な際に、再度convert画面に戻り範囲、ISO値の調整が出来ます
- ② 垂直スライスをおモデルに対してどの様な角度、方向にするか、骨モデルを動かして調整します
- ③ 垂直スライスが骨モデルに沿って、どの様なラインで走行させるかを調整します
リスライスカーブの設定
- ④ CT画像を骨モード、軟組織モード、歯&歯根モードをフォーカスした色調に変更します
- ⑤ 診断を行いたい骨、歯牙、軟組織などにフォーカスした画像に変更できます
- ⑥ 不要な画像をカットします(アーチファクトなど)
- ⑦ カットしたアーチファクトなどの不要な画像を再度表示させ、Defaultの画像を表示します
Defaultで表示されますが、再度ボタンをクリックすれば編集された画像に戻ります
- ⑧ アーチファクトの除去機能
- ⑨ 歯牙を表示の作業後に使用します。骨モデルに表示されている歯牙データを消して
Diagnose内のTooth機能で作製された画像のみが表示されるようになります
- ⑩ ⑥でカットしたした作業をResetし、CT Convert直後のデータに戻ります

Planning画面 Patient (Scanner Orientation , Reslice Curve)

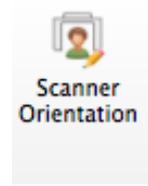


Planningのスタート画面

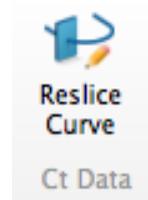
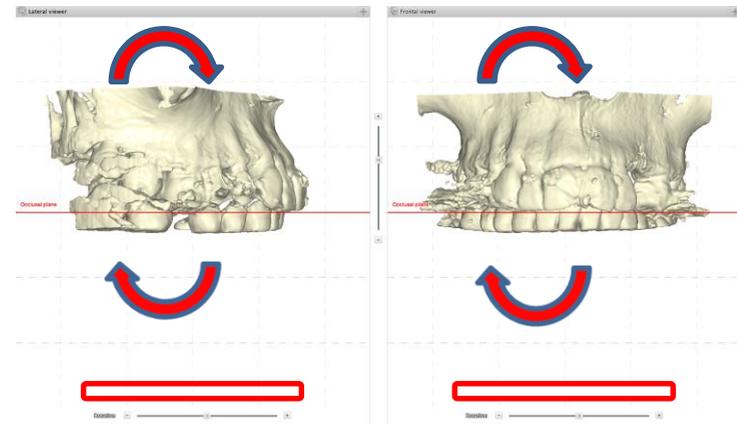


リスライスを動かす

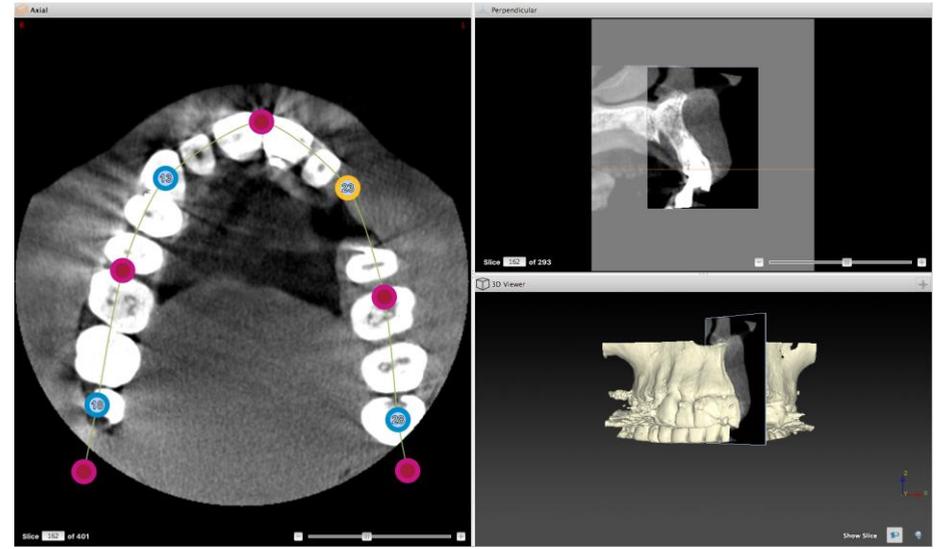
リスライスを動かすには、右側のリスライス画像が表示されている上にマウスを移動して頂き、その上でマウスのスクロールを回して動かします。これは、それぞれのViewモードでも同じです。特にCross-Sectional Viewでは、3画像のライスがありますが、各View上にマウスを移動して、スクロールを回して動かします。または、各画像下にある、スライダバーをマウスで左ドラッグしながら動かすか、左右端にある矢印をクリックします



咬合平面を合わせ、垂直スライスの断面の角度調整



垂直スライスの走行ラインを設定します



Planning画面 Patient (Scanner Orientation , Reslice Curve)

Actions

Instructions

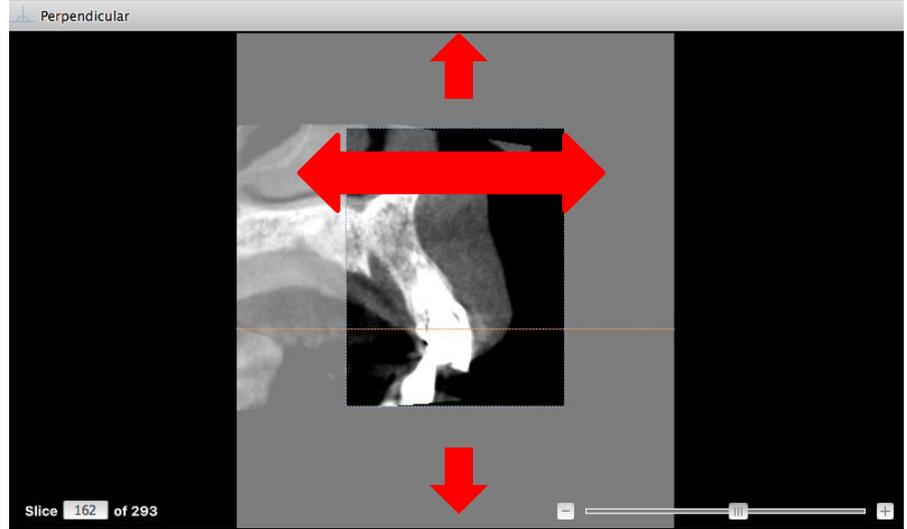
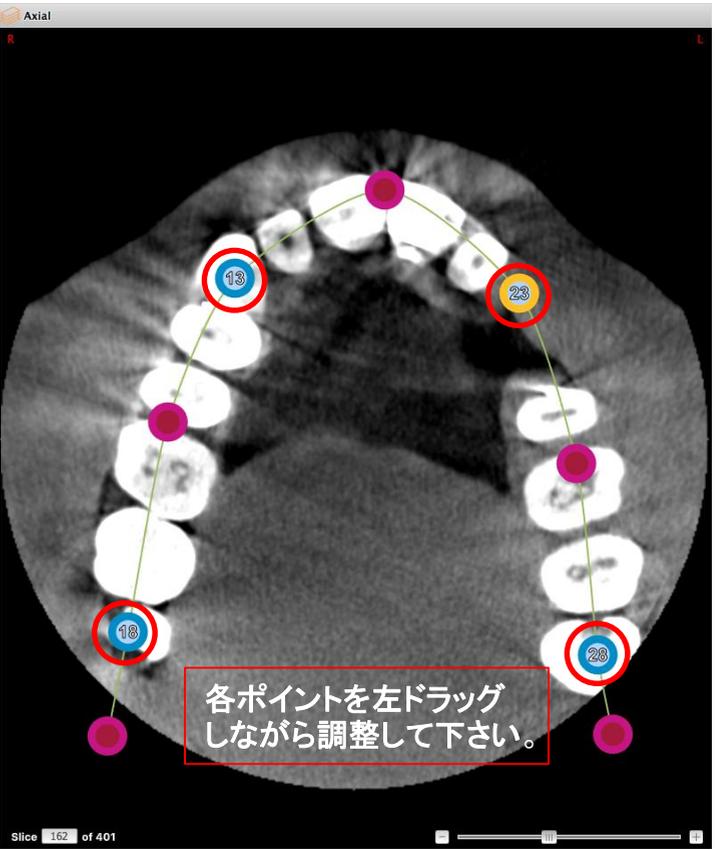
Manipulate the existing points or indicate 4 new tooth control points to define the reslice curve. Adjust the size of the cross-sectional reslice by dragging the boundaries on the perpendicular viewer. Finally ensure that the axial reslice is positioned at the occlusal plane.

[Get more assistance.](#)

Reslice Curve Actions

- ① Insert a Point
- ② Add an End Point
- ③ Remove Selected Point
- ④ Reindicate Curve

- ① ポイントの追加
- ② 最終ポイントの追加
- ③ ポイントの削除
- ④ リスライスのやり直し(削除)



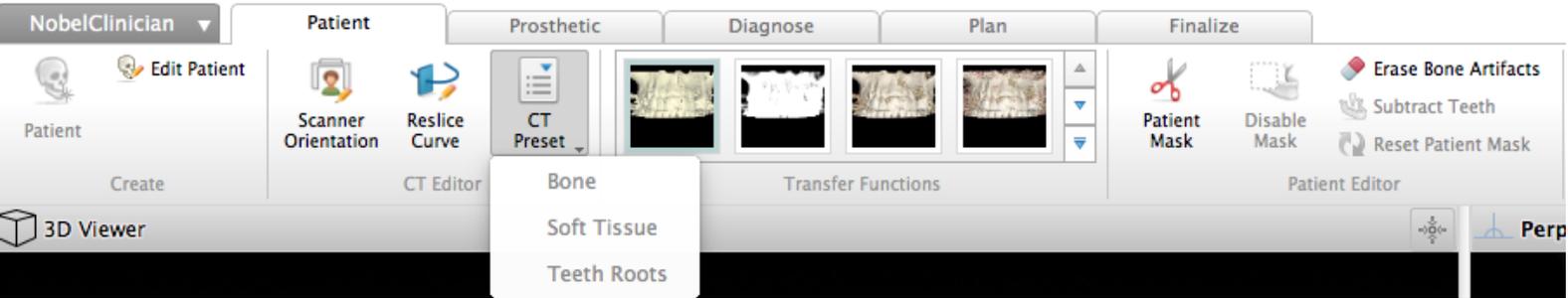
プランニング時の、リスライスの大きさを調整出来ます
リスライス画面の四隅をドラッグして調整して下さい

設定完了後、右下のFinishを左クリックします



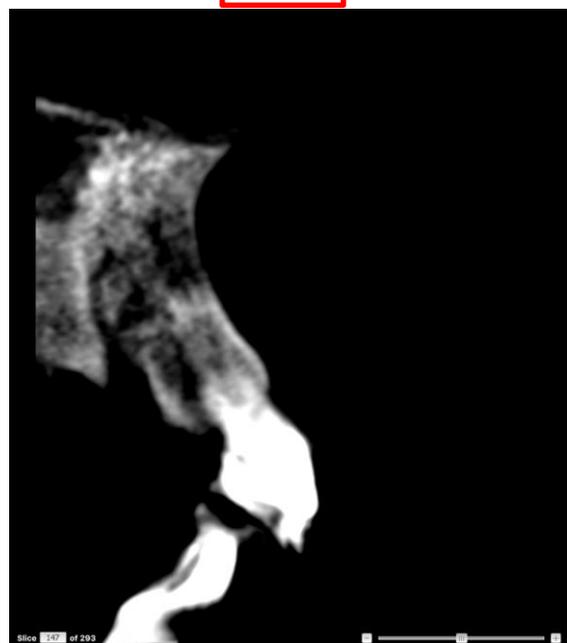
Reslice curveの設定は、犬歯、智歯の4か所の大体の位置を自動的にソフトウェアが認識しますが、調整は必要です。その位置を基準にReslice curveが表記されます
無歯顎の場合はおおよその位置で設定されます。それぞれ、微調整は必要なので、Axial画面でマウスのスクロールを動かして位置を決めます
パーシャルケースでは、歯牙の位置をしっかりと設定して下さい。これにより、Diagnoseで歯牙を3D画像にする際にソフトウェアが正確な歯列の位置を認識出来ます

Planning画面 Patient (CT Preset 2D画像)

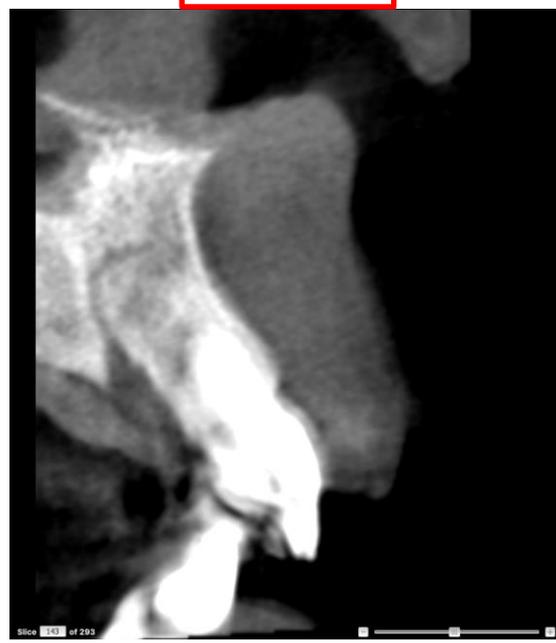


CT値を元に、骨、軟組織、歯牙をそれぞれフォーカスした画像に切り替えられます
(CBCTの画像では、機種によっては希望通りの画像にならない事もあります。)

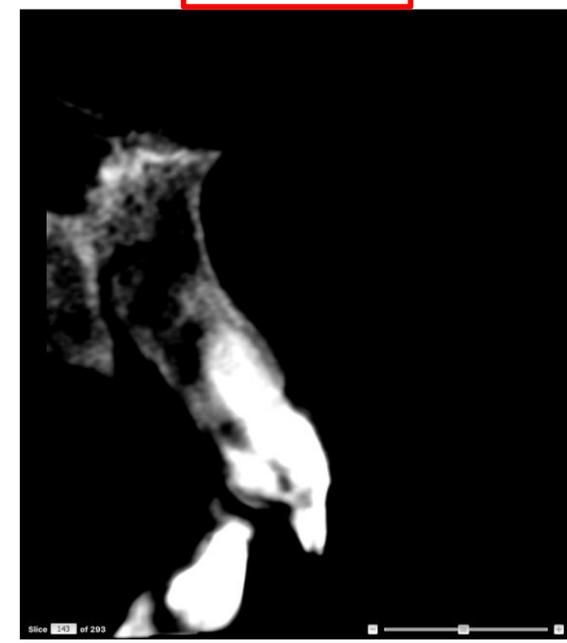
Bone



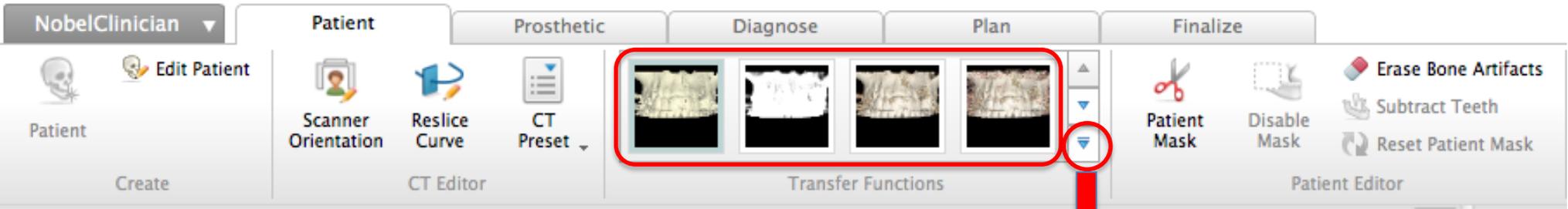
Soft Tissue



Teeth Roots

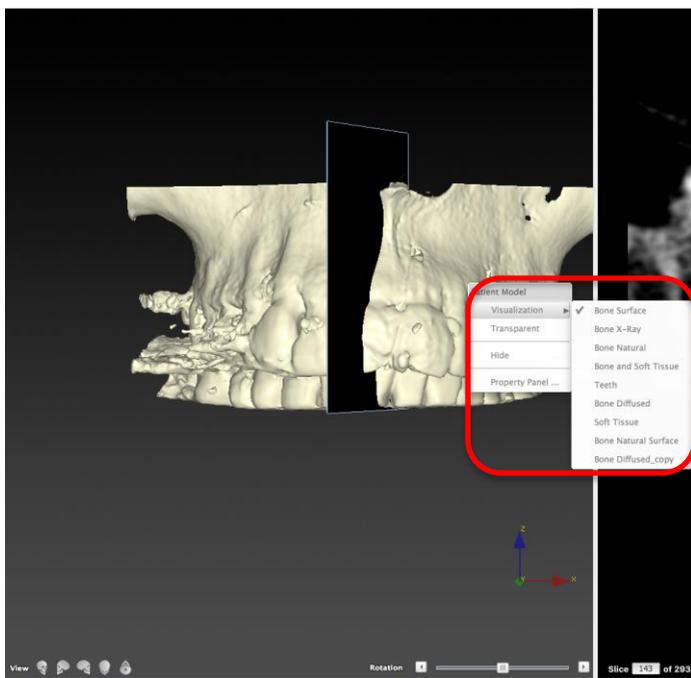


Planning画面 Patient (Transfer Functions)



3Dの骨モデルを、歯牙、軟組織、骨などそれぞれにフォーカスして変換されたモデルを選択する事が出来ます
更にお好みに合わせた編集も可能です

ソフトウェア内蔵のDefaultのテンプレート

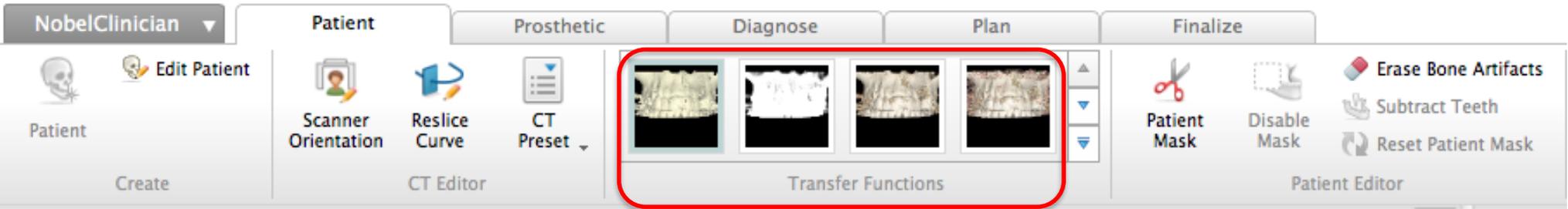


- Patient Model
- Visualization
 - Bone Surface
 - Bone X-Ray
 - Bone Natural
 - Bone and Soft Tissue
 - Teeth
 - Bone Diffused
 - Soft Tissue
 - Bone Natural Surface
 - Bone Diffused_copy
- Transparent
- Hide
- Property Panel ...



骨モデルを選択後、右クリックをします
Visualizationにカーソルを移動すれば、左図のようにモデルのタイプを選択出来ます

Planning画面 Patient (Transfer Functions)



CTコンバート後の骨モデルは、Bone Surfaceになっています

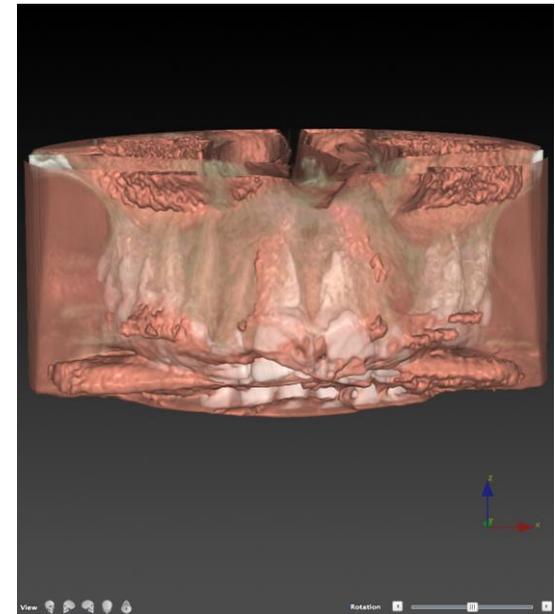
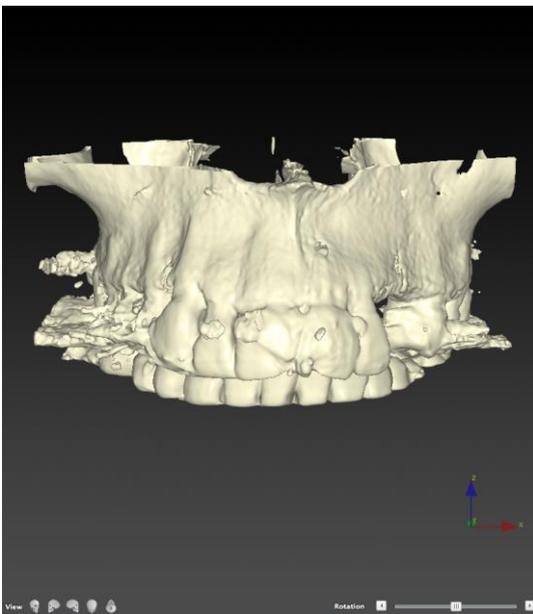
※CBCTの場合、機種によっては調整しないと下記の画像の様に表示されない場合があります

Bone Surface

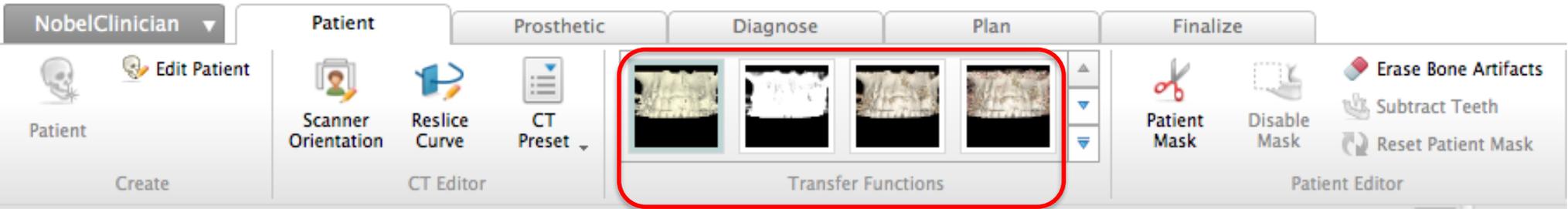
Bone Natural

Bone and Soft Tissues

Teeth

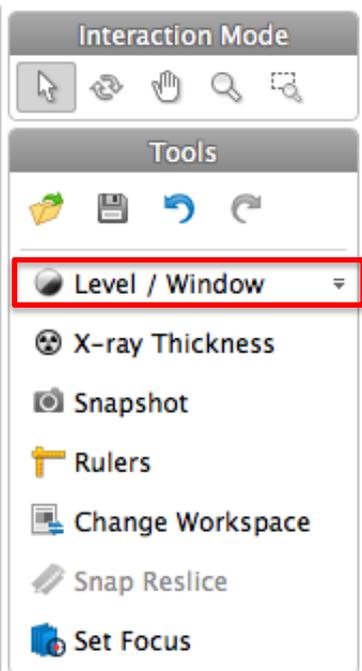


Planning画面 Patient (Transfer Functions Level/Window 3D画像)

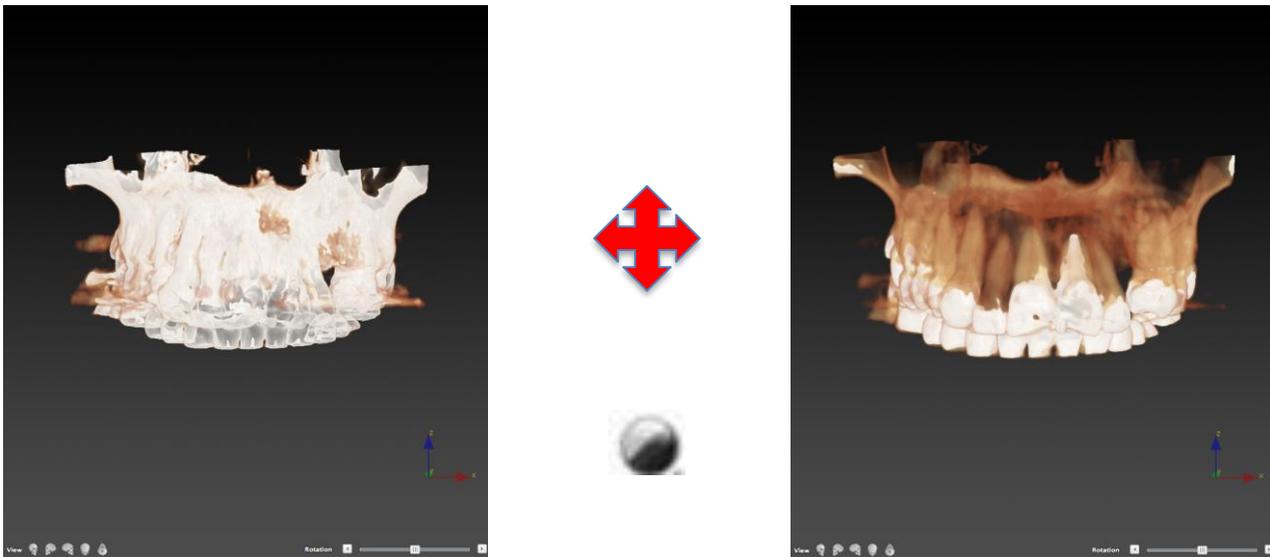


2D画像のLevel/Windowとは違い、3D画像でLevel / Windowを使用します

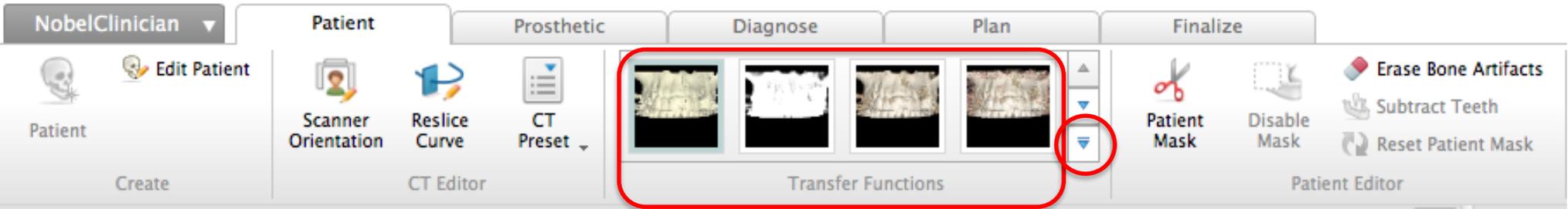
例 Bone Diffusedを選択しています



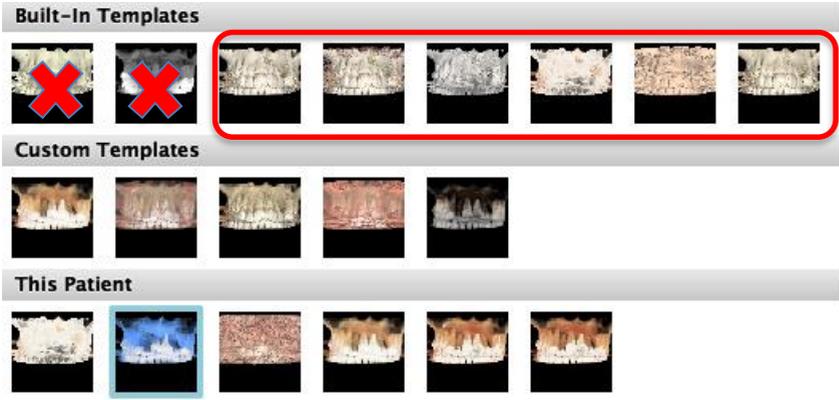
右端にあるTools内のLevel / Windowをクリックするとマウスが白黒の半月になった状態になります
マウスを左ドラッグしながら、上下または左右に動かして調整します



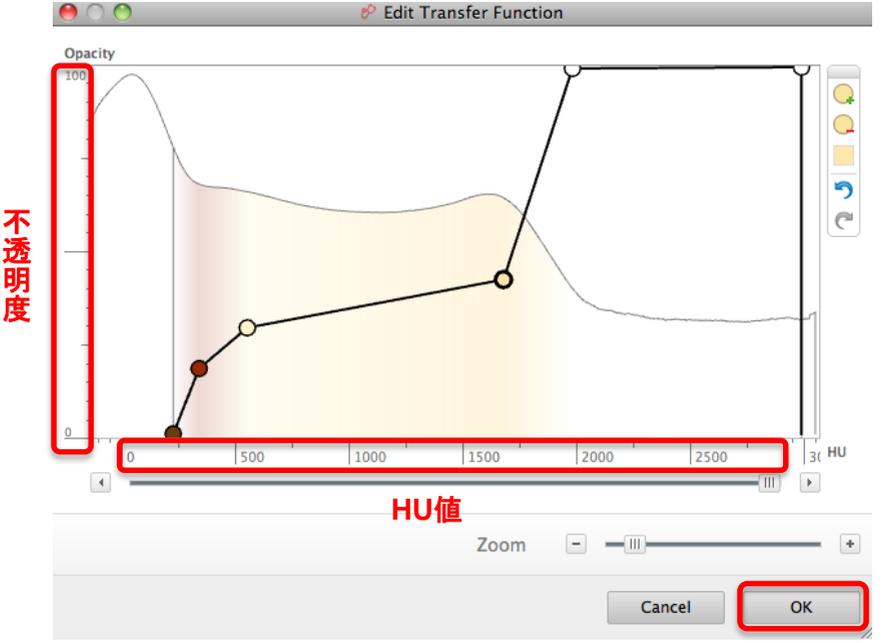
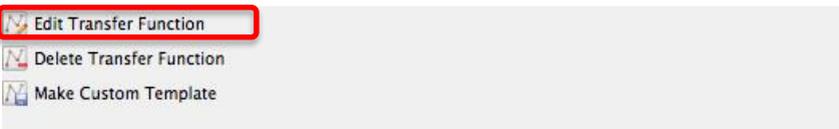
Planning画面 Patient (Transfer Functions 編集)



お客様のTemplatesを選んで、編集をおこないます

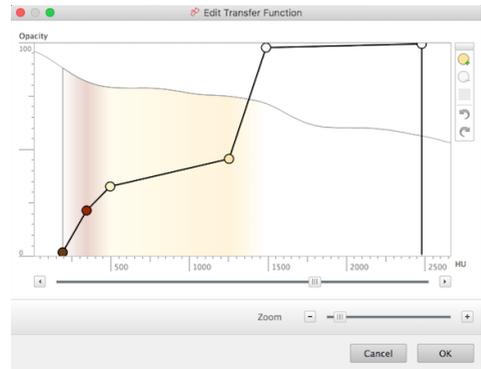
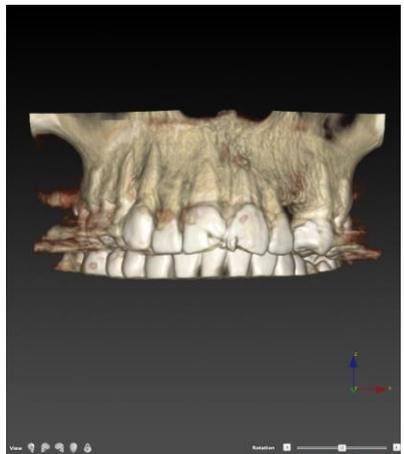
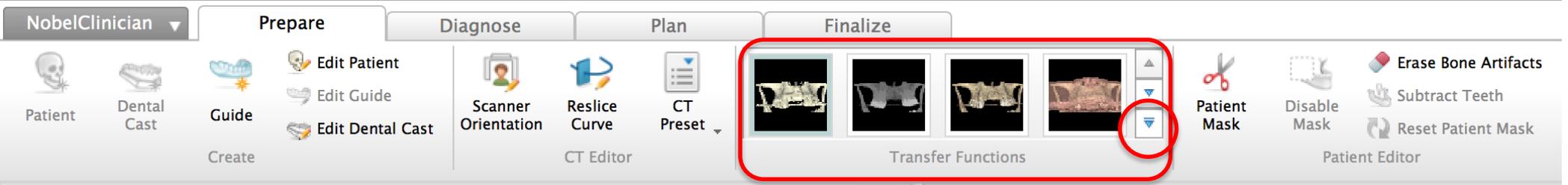


※ Bone Surface、Bone X-Rayは編集が行えません

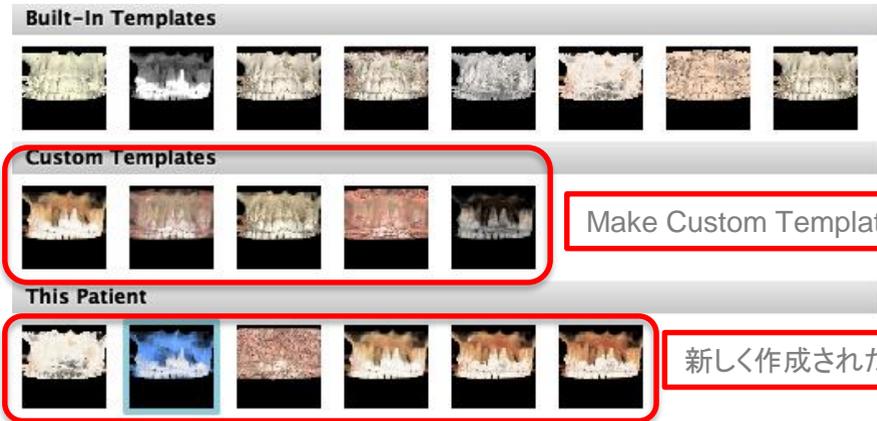


Edit Transfer Functionをクリックして上図にて編集し、終了後OKボタンをクリックして下さい

Planning画面 Patient (Transfer Functions 編集)



編集されたTemplate

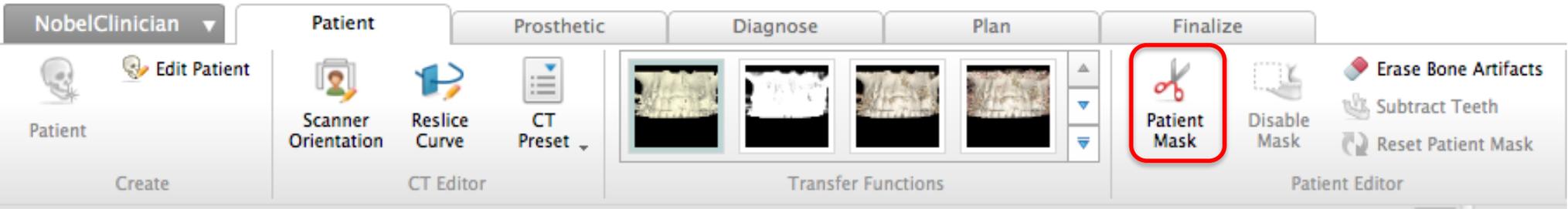


- Edit Transfer Function 再度編集する場合にクリックします
- Delete Transfer Function 削除する場合にクリックします
- Make Custom Template 他の症例にも使用する場合にクリックします



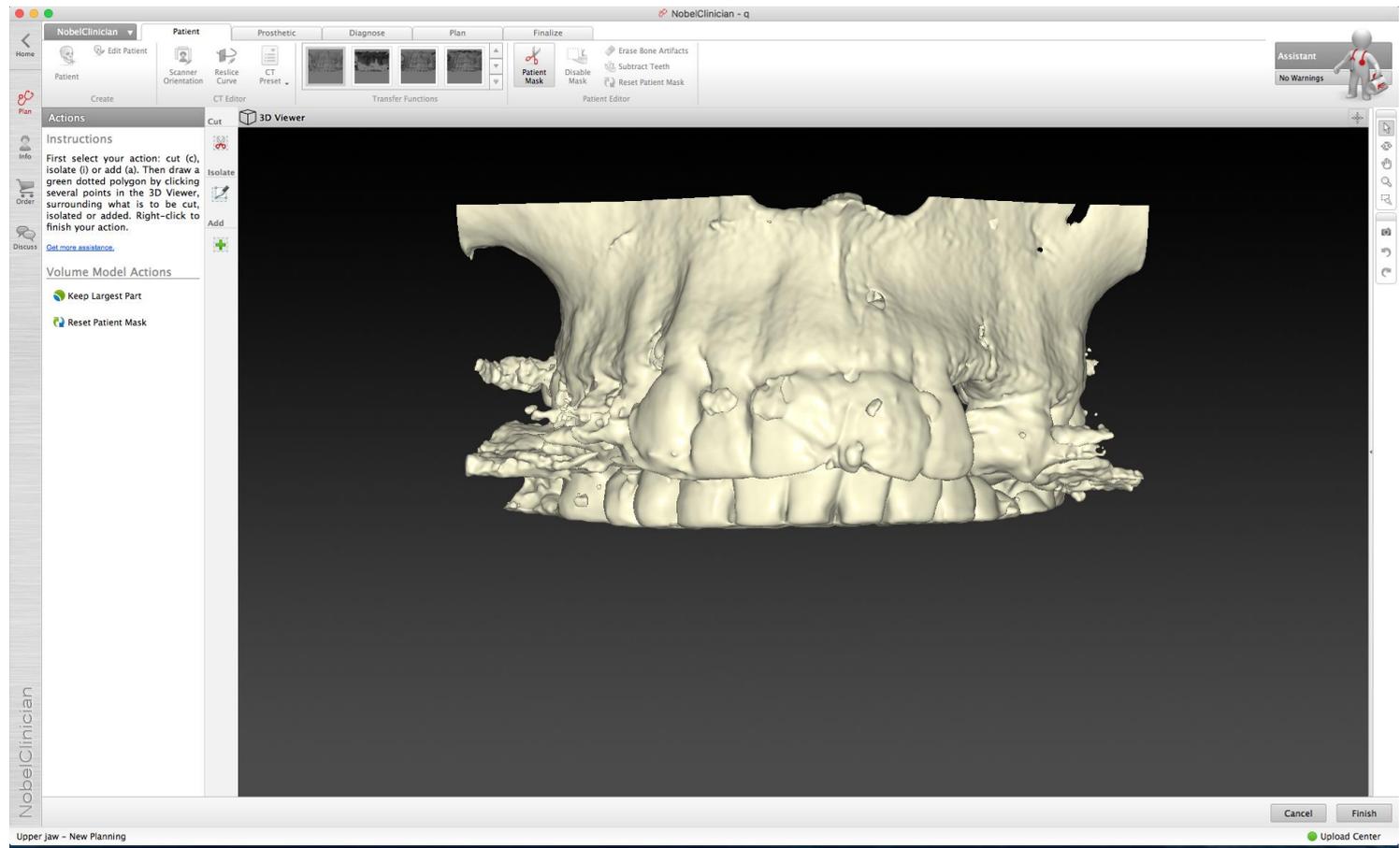
※ Make Custom Templateで作成されたTemplateは、他の症例にも使用出来ますが、別のCBCTなどで撮影された場合は同じように表示されない事もあります

Planning画面 Patient (Patient Mask 骨モデル編集)

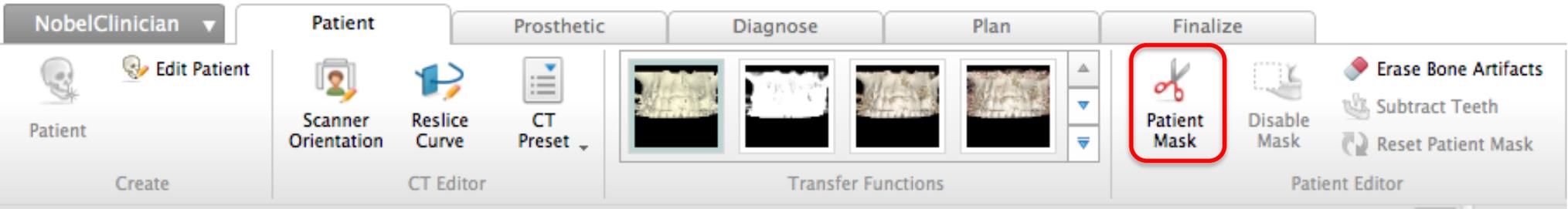



Patient Mask

Patient Maskをクリックすると、右図の画面が開きます



Planning画面 Patient (Patient Mask 骨モデル編集)



Actions

Instructions

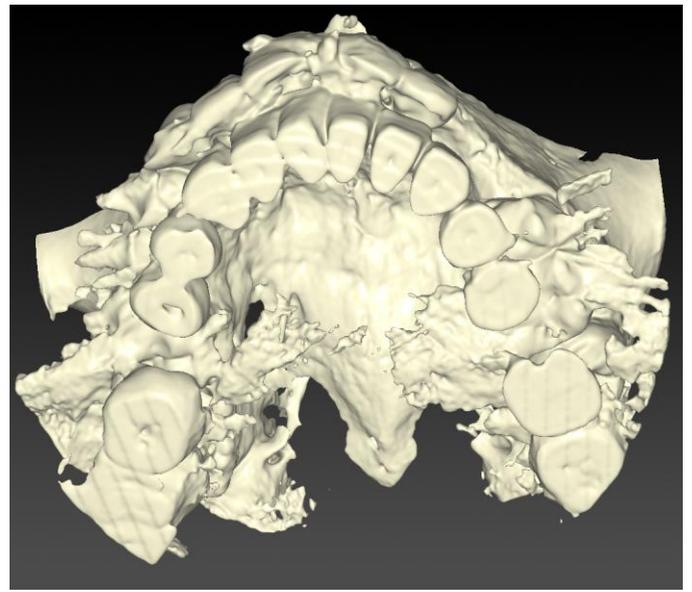
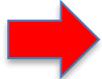
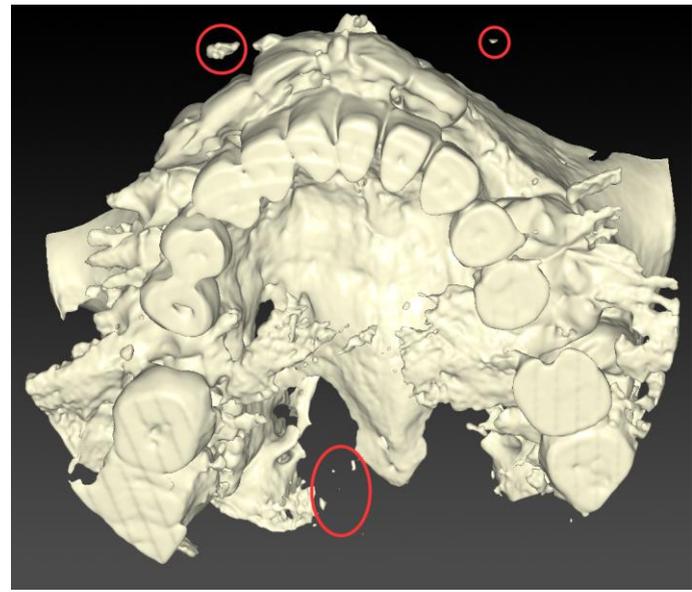
First select your action: cut (c), isolate (i) or add (a). Then draw a green dotted polygon by clicking several points in the 3D Viewer, surrounding what is to be cut, isolated or added. Right-click to finish your action.

[Get more assistance.](#)

Volume Model Actions

- Keep Largest Part
- Reset Patient Mask

On the right side of this panel, there are icons for Cut (scissors), Isolate (dotted line), and Add (plus sign).



[Get more assistance.](#)

ヘルプファイルを表示させます。(取り扱い説明書)

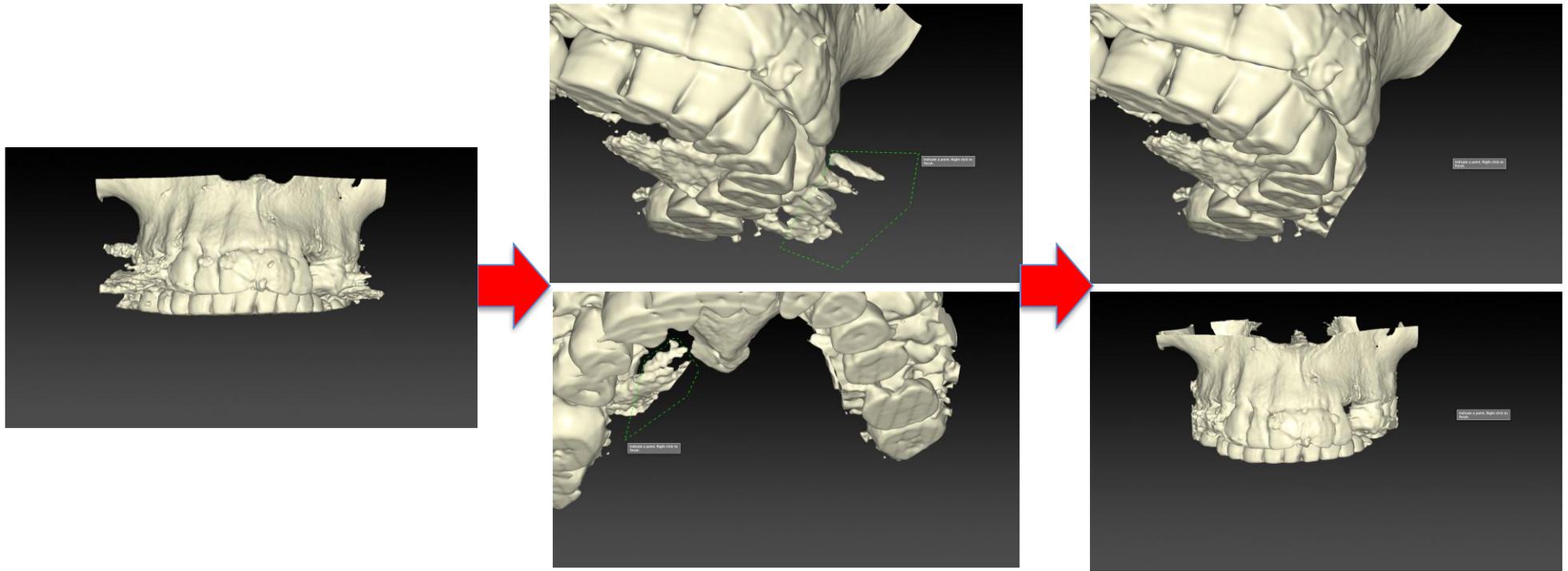
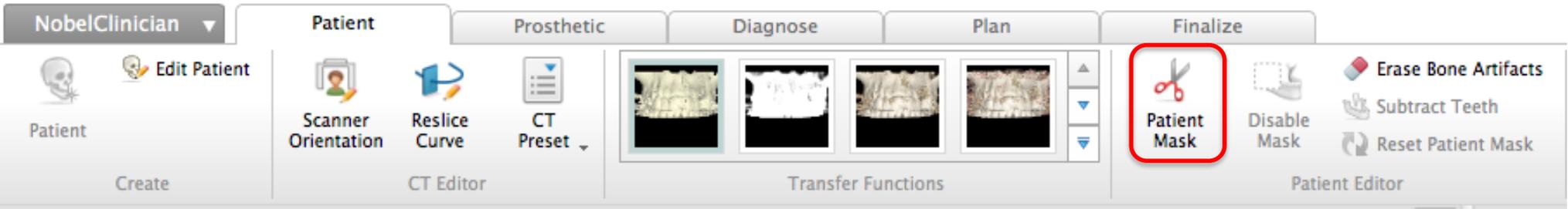
Keep Largest Part

大きい画像を残し、小さい画像を消してくれます。アーチファクトなど、顎骨から離れている小さい画像を瞬時に消してくれます

Reset Patient Mask

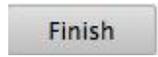
Patient Mask & Erase Bone Artifactsで行った作業を全て元に戻します

Planning画面 Patient (Patient Mask 骨モデル編集)

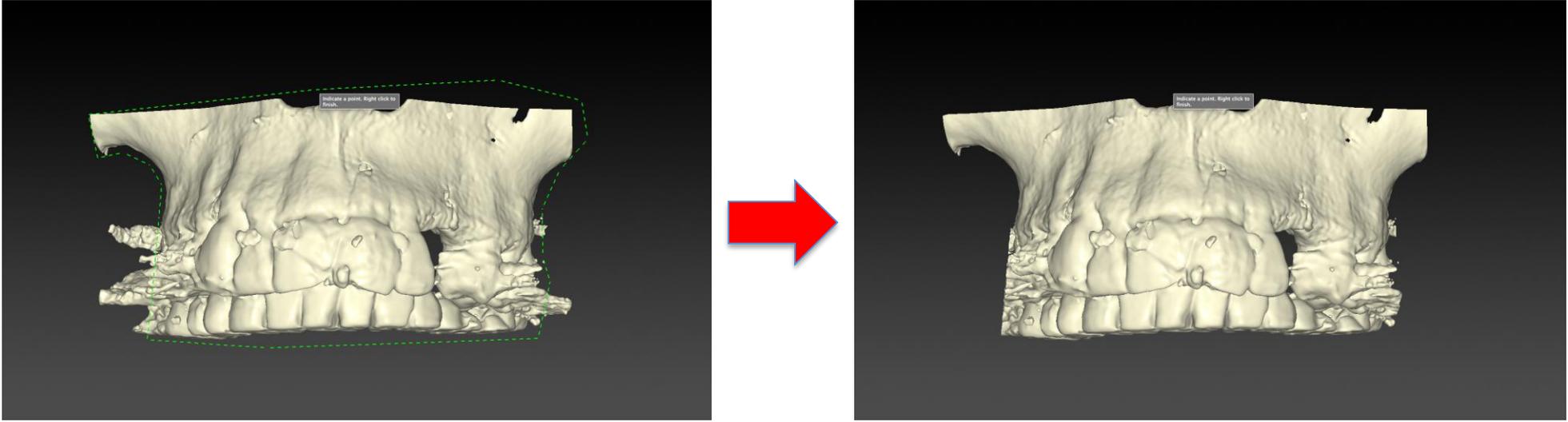
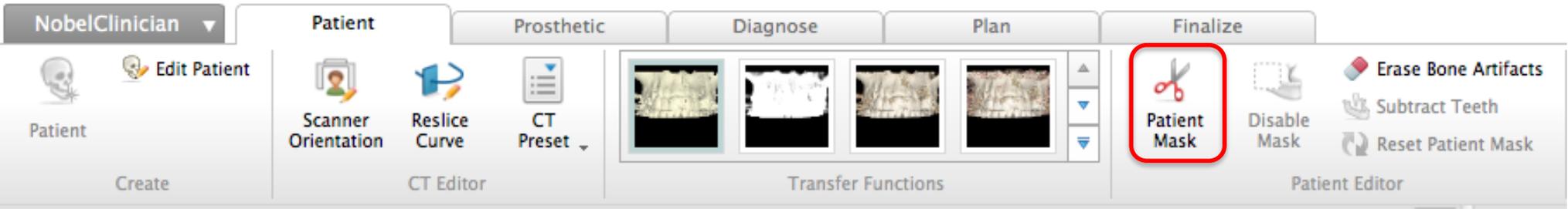


Cutボタンをクリックして、カットしたい画像の部分を選択しながら範囲を選択し、最後に右クリックして消します
この作業は、画像を拡大して行う事をお勧めします。また、必ずカットする画像の後ろには他の画像が入らないように角度を調整して下さい。

作業終了後Finishボタンをクリックします



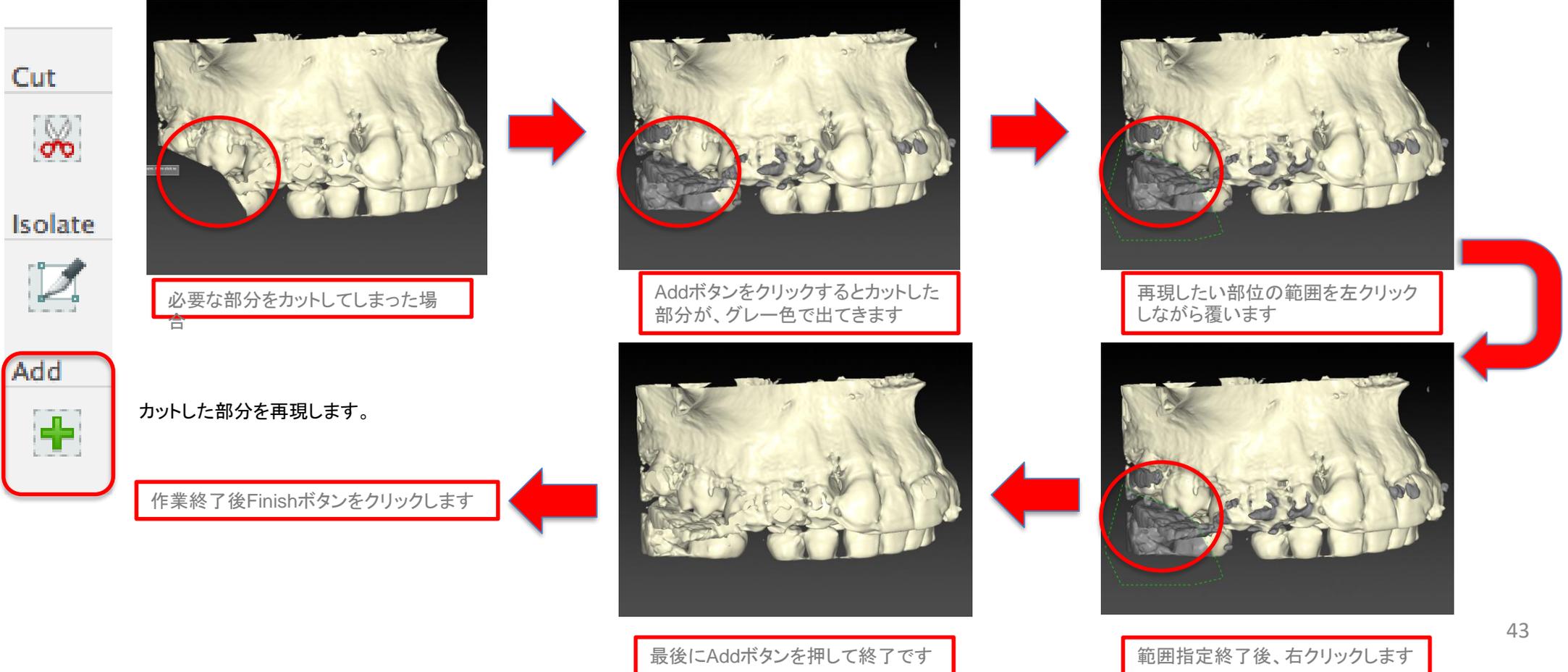
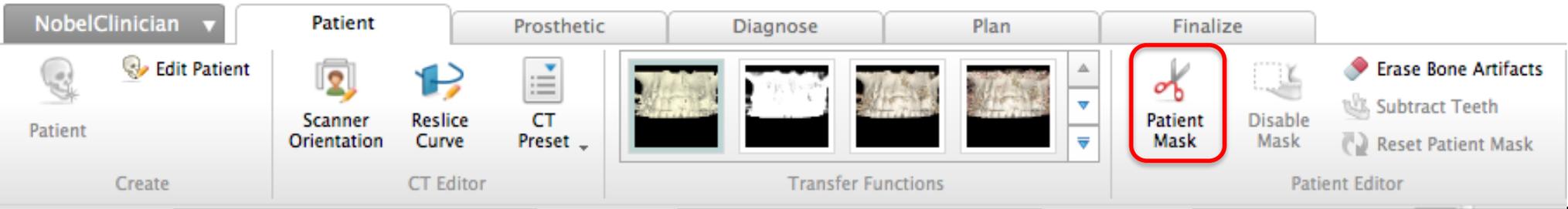
Planning画面 Patient (Patient Mask 骨モデル編集)



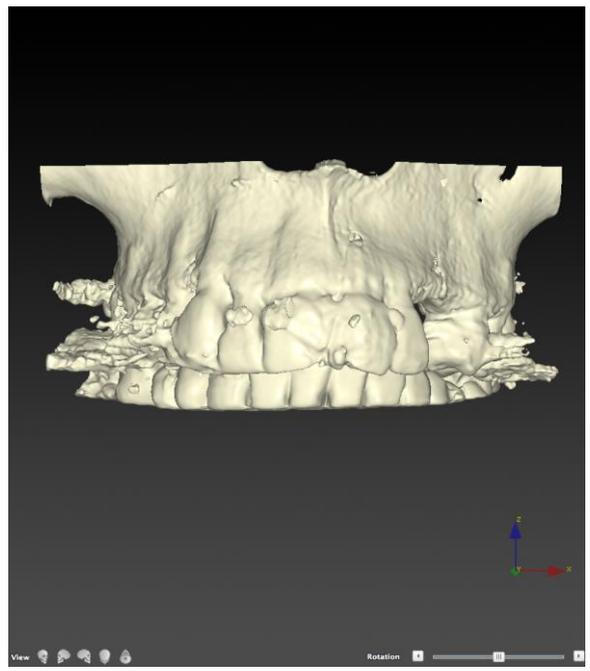
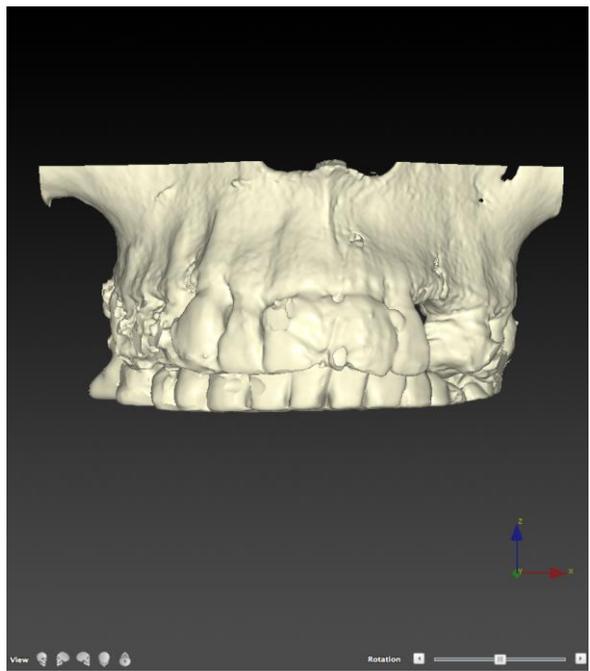
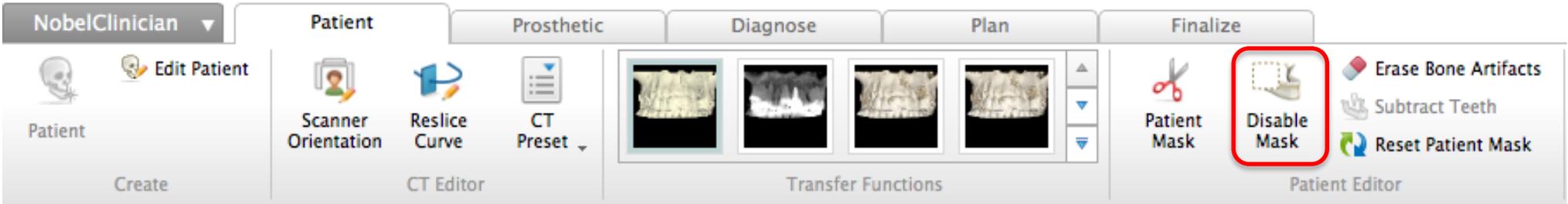
Isolateボタンをクリックして、残したい画像の部分を左クリックしながら範囲を選択し、最後に右クリックします

作業終了後Finishボタンをクリックします

Planning画面 Patient (Patient Mask 骨モデル編集)

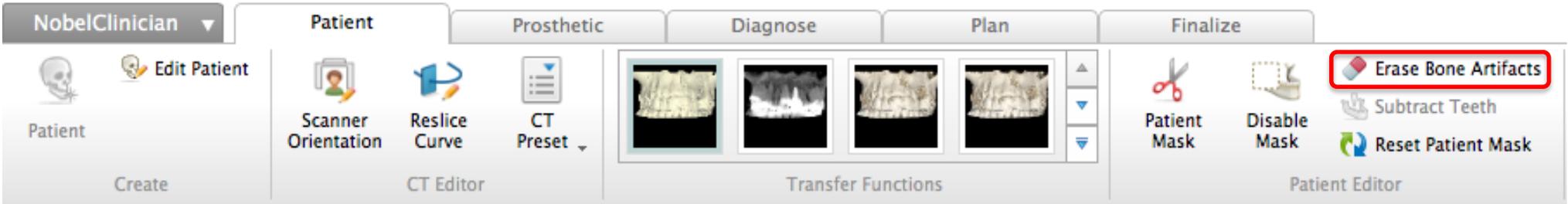


Planning画面 Patient (Disable Mask)



Disable Maskボタンをクリックすると、編集される前のデータが表示されますが、再度Disable Maskボタンを押せば再び編集したデータが表示されます

Planning画面 Patient (Erase Bone Artifacts)



Actions

Eraser

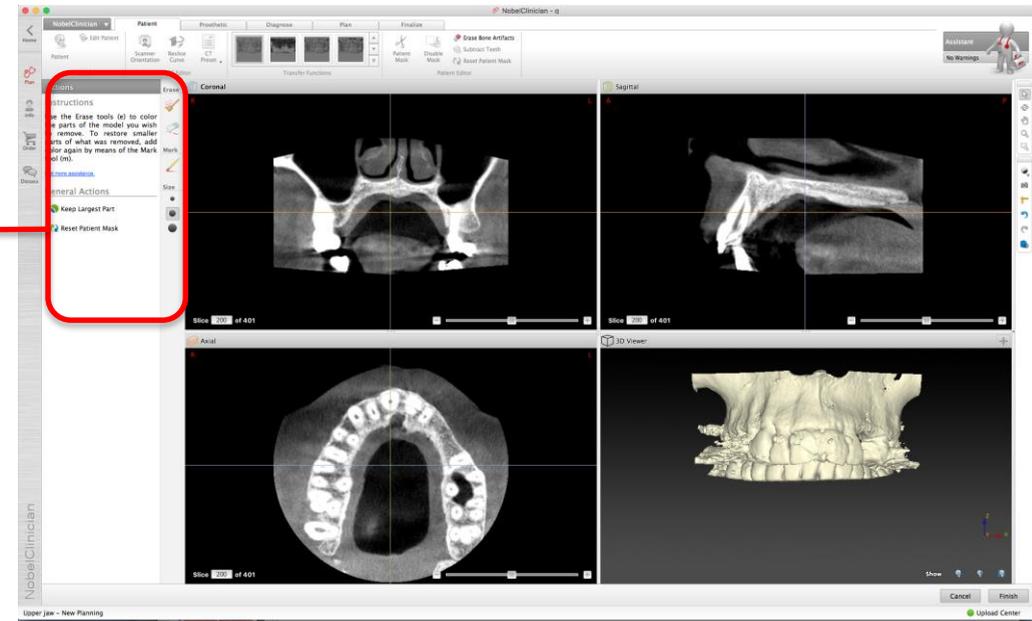
Instructions

Use the Erase tools (e) to color the parts of the model you wish to remove. To restore smaller parts of what was removed, add color again by means of the Mark tool (m).

[Get more assistance.](#)

General Actions

- Keep Largest Part
- Reset Patient Mask



Erase Bone Artifactsでは、Axial, Sagittal, Coronalの3画面を使用して、Artifactなどの除去作業を行います

[Get more assistance.](#)

ヘルプファイルを表示させます。(取り扱い説明書)

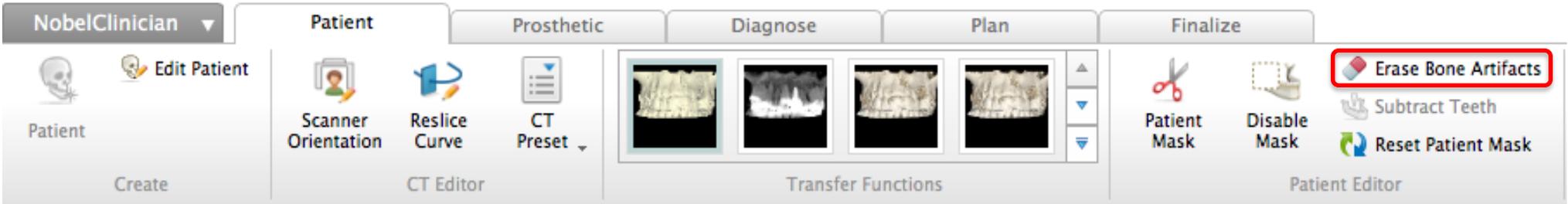
Keep Largest Part

画面上で一番大きい画像を残し、他の余分な画像をまとめて消してくれます

Reset Patient Mask

Patient Mask & Erase Bone Artifactsで行った作業を全て元に戻します

Planning画面 Patient (Erase Bone Artifacts)



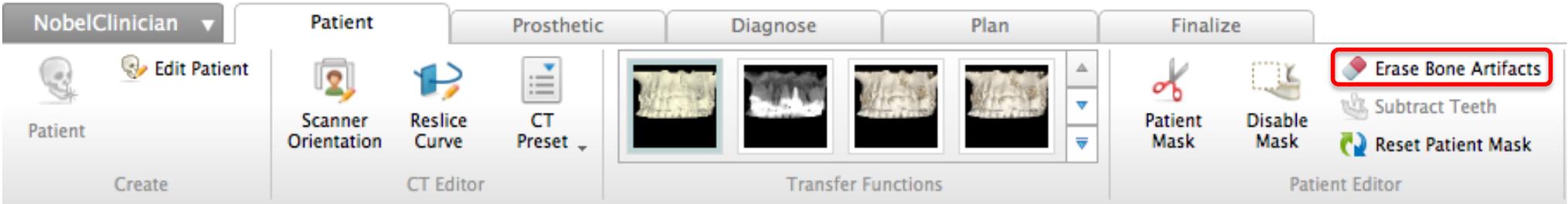
Magic eraser 広範囲に消す事が可能。ブラシの大きさを調整して、黒 & 白の段調別に消す事が出来ます
消したい部分をクリック & 左ドラッグしながら行います

Eraser ブラシの大きさにより、○の大きさが変わります。○の範囲内を消す事が出来るので、細かく作業する時に便利です
消したい部分をクリック & 左ドラッグしながら行います

Mark brush 消し過ぎてしまった部分や、3D画像として表示させたい部分を塗布して画像として表示させます
消したい部分をクリック & 左ドラッグしながら行います

ブラシの大きさは 小、中、大、と3種類あります

Planning画面 Patient (Erase Bone Artifacts)



それぞれのツールを使用してアーチファクトや不要な部位を消す作業と右下の3D画像は連動していますので、確認しながら作業を行ってください

作業手順 例

Erase Bone Artifacts

Actions

Instructions

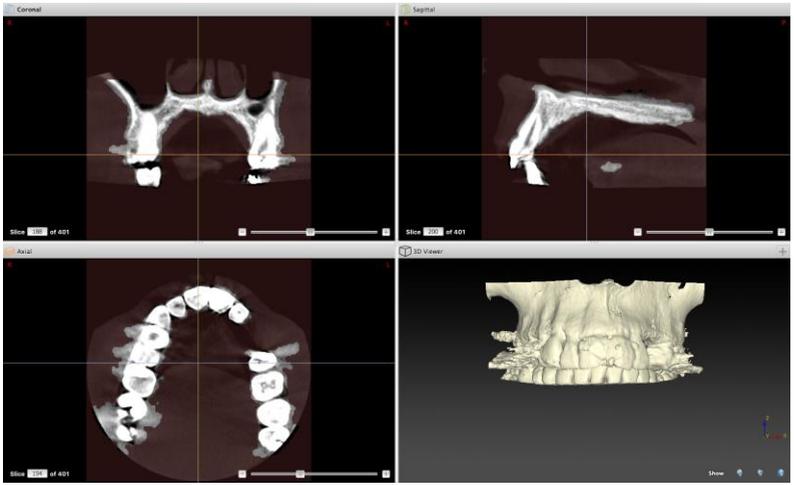
Use the Erase tools (e) to color the parts of the model you wish to remove. To restore smaller parts of what was removed, add color again by means of the Mark tool (m).

[Get more assistance.](#)

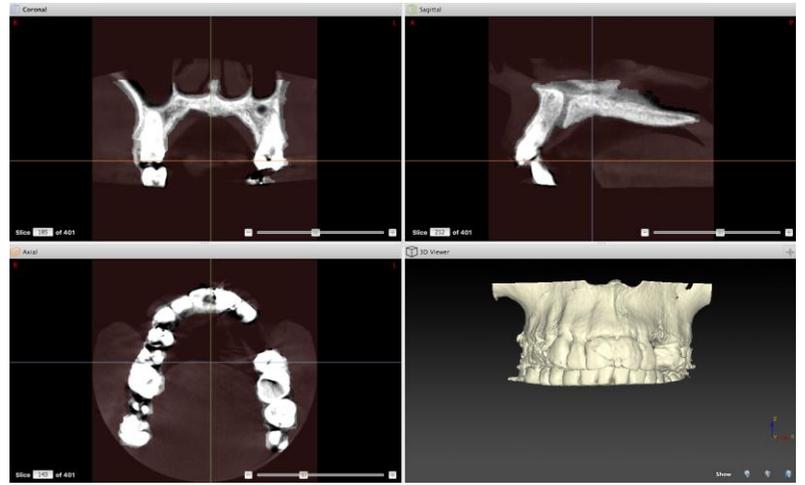
General Actions

Keep Largest Part 1

Reset Patient Mask



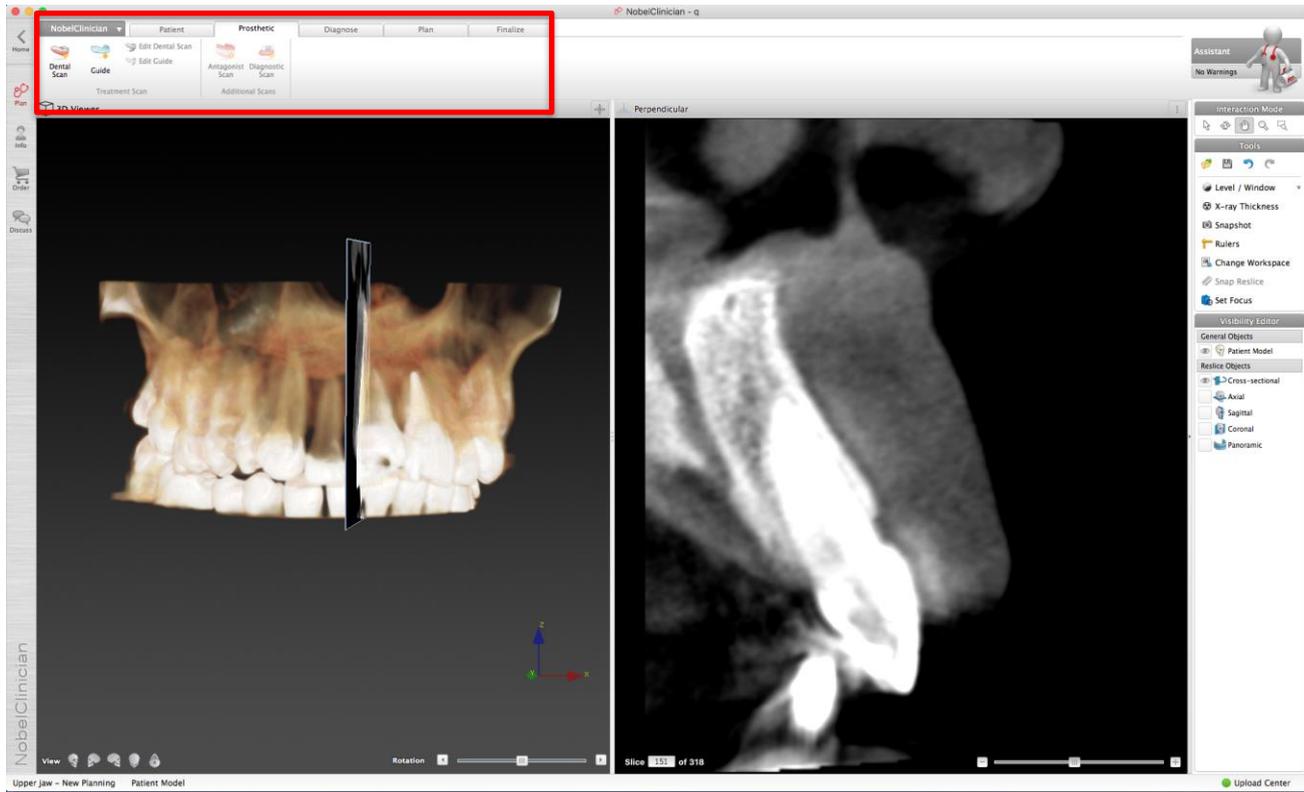
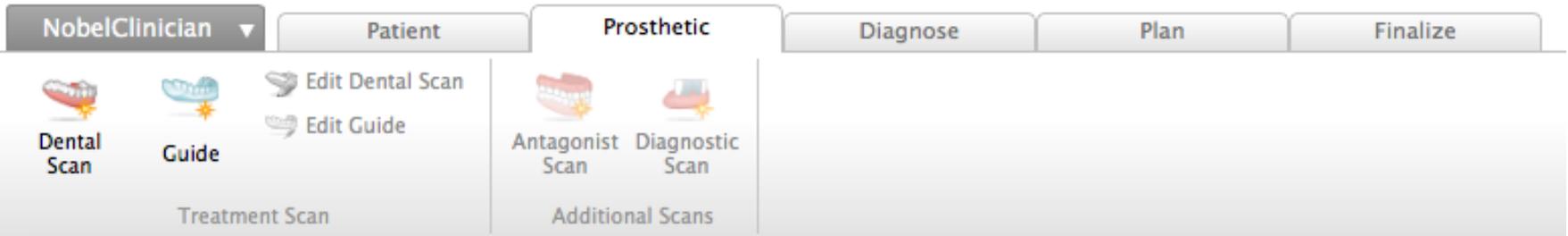
1のKeep Largest Partで骨以外のデータを大まかに消します



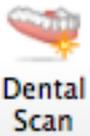
2のツールを使用して、細かく消す作業を行います

編集終了後、右下のFinishボタンをクリックして終了です

Planning画面 Prosthetic



骨モデルの作成、編集が終わりましたら、診断用補綴物の取込み作業に進みます



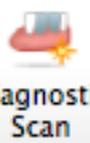
技工所 (Genion2) でScanしたデータの取込み
口腔内スキャンデータ (IOS) の取込み



ラジオグラフィックガイドデータ (DICOM) の取込み

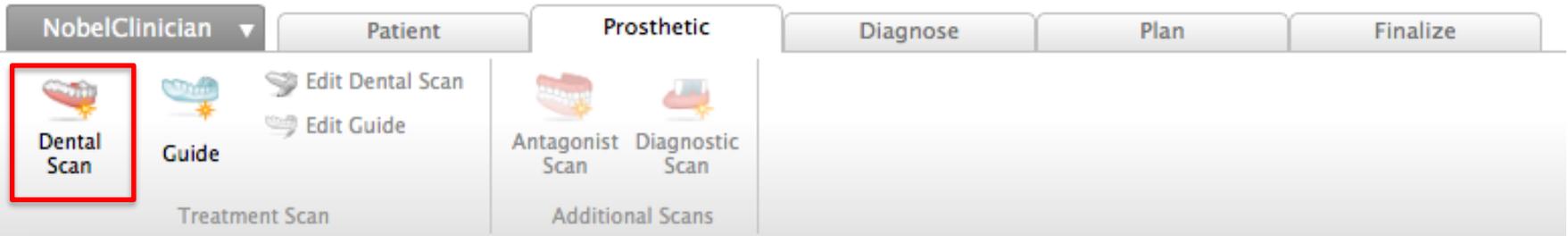


対合歯のデータ (IOSまたはGenion2のスキャン)



仮歯、義歯などの補綴物
口腔内スキャンデータ (IOS) の取込み

Planning画面 Prosthetic (Dental Scan)



Dental Scan データの取込みは、2通りの方法があります

② 口腔内スキャンデータ(IOS) の取込み



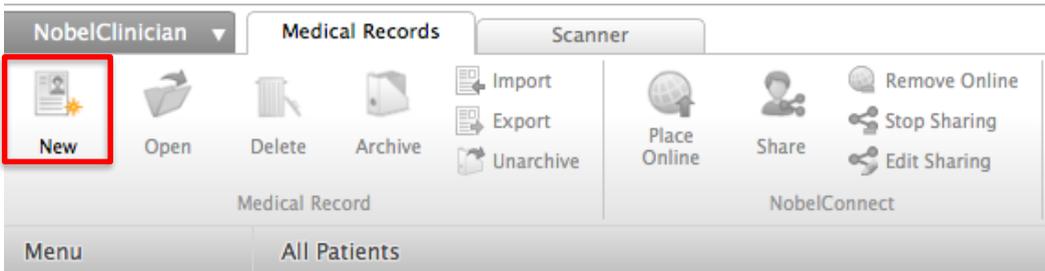
① 技工所(Genion2)でScanしたデータの取込み

Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan依頼(Genion2)

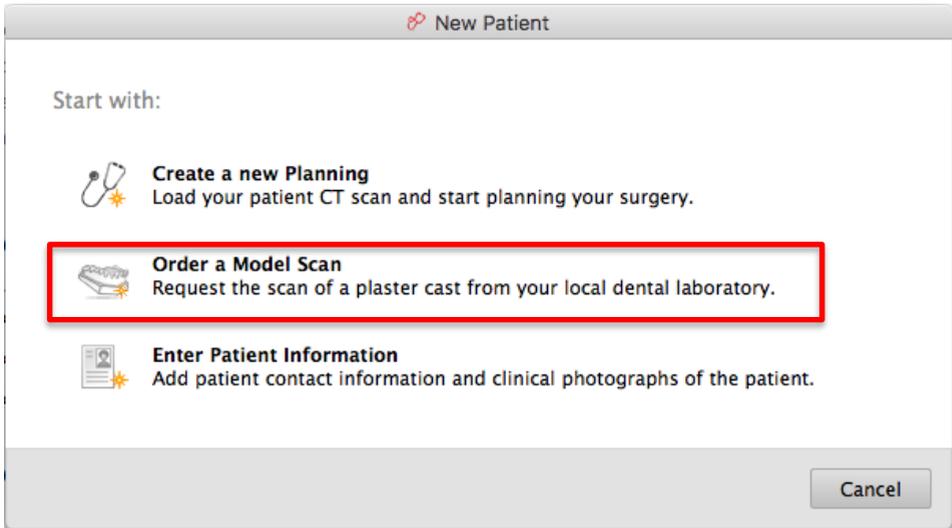
Genion2 を所有の技工所に依頼する

- ① 電話やメールなどで直接依頼し、データをCD-R,USBなどのメディアでデータを送ってもらう
- ② NobelClinician Softwareから、技工所へ依頼する

②の手順

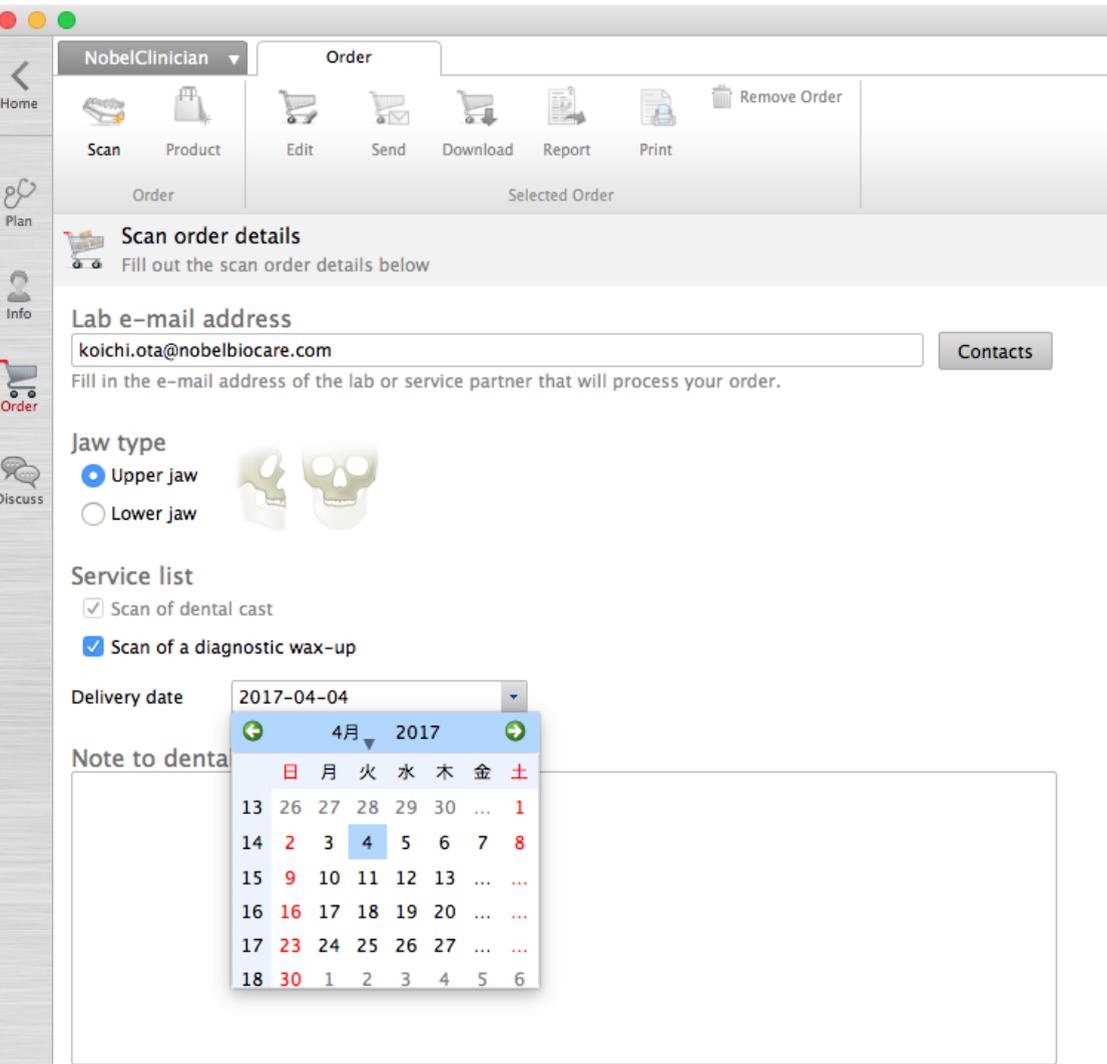


NobelClinicianトップ画面左上のNewボタンをクリックします。



New Patientのウィンドウが開いたら「Order a Model Scanを左クリックします

Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan依頼(Genion2)



Scan依頼するラボのe-mail Addressを入力

上顎、下顎の選択

Scanデータを送信して頂く期日（納期日）

その他、コメント、メッセージがある場合は、
Note to dental labの欄に記入して下さい。
(日本語可)

上記の項目を記入しましたら、右下の
をクリックします

Next >

Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan依頼(Genion2)

NobelClinician Order

Home Plan Info Order Discuss

Scan Product Edit Send Download Report Print Remove Order

Order Selected Order

Additional details

Fill out the additional details below

Patient name

First name: Taro

Last name: Yamada

ID:

Clinician name and return address

First name: Koichi

Last name: Ota1

Street + number:

Zipcode:

City:

Country:

Phone:

Enclosed items

Impression Dental cast Bite index

Other:

Additional options

Send order after finishing

患者名の確認及び記入

クリニシャンソフト所有者の記入(名前、住所、電話番号等)

ラボに送る物の内容(模型、印象、バイトなど)項目にチェックを入れます

④ 上記3点の項目を記入しましたら、右下の **Finish** をクリックします

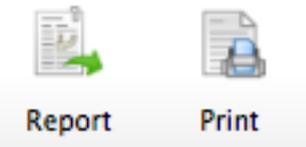
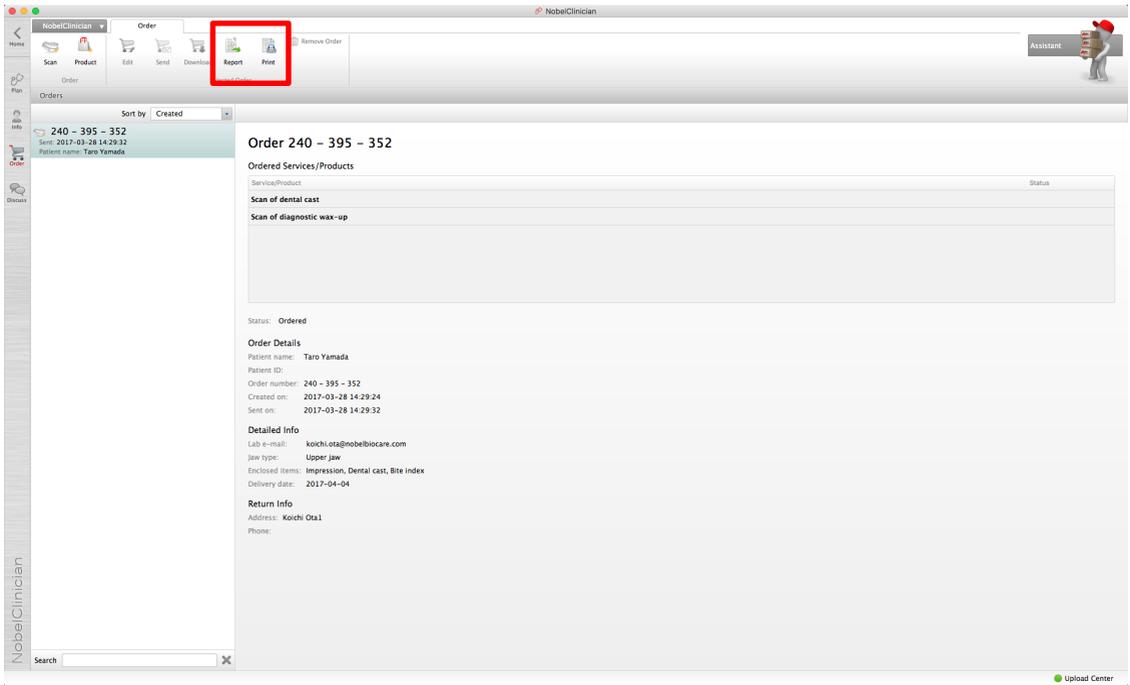
Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan依頼(Genion2)

The screenshot shows the NobelClinician software interface. At the top, there is a navigation bar with 'NobelClinician' and 'Order' tabs. Below this is a toolbar with icons for 'Scan', 'Product', 'Edit', 'Send', 'Download', 'Report', and 'Print'. A sidebar on the left contains icons for 'Home', 'Plan', 'Info', 'Order', and 'Discuss'. The main content area displays a list of orders, with one order highlighted in a red box: '240 - 395 - 352', 'Sent: 2017-03-28 14:29:32', 'Patient name: Taro Yamada'. Below the list, the details for 'Order 240 - 395 - 352' are shown, including 'Ordered Services/Products' (Scan of dental cast, Scan of diagnostic wax-up), 'Status: Ordered', 'Order Details' (Patient name: Taro Yamada, Patient ID, Order number: 240 - 395 - 352, Created on: 2017-03-28 14:29:24, Sent on: 2017-03-28 14:29:32), 'Detailed Info' (Lab e-mail: koichi.ota@nobelbiocare.com, Jaw type: Upper jaw, Enclosed items: Impression, Dental cast, Bite index, Delivery date: 2017-04-04), and 'Return Info' (Address: Koichi Ota1, Phone:). A search bar is located at the bottom left, and an 'Upload Center' button is at the bottom right.

A close-up of the order information from the screenshot. The order number '240 - 395 - 352' is highlighted with a red box. Below it, the text reads 'Sent: 2017-03-28 14:29:32' and 'Patient name: Taro Yamada'.

オーダー送信するとオーダー番号が表示されます

Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan依頼(Genion2)



オーダー内容はReportボタンをクリックしてPDFファイルに出す事が出来ます。
Printボタンを押して印刷することができます。

Order form for NobelProcera scan service created in NobelClinician



ORDER IDENTIFIER

Order number: **240 - 395 - 352**
 Lab e-mail address: **koichi.ota@nobelbiocare.com**

CONTACT INFORMATION

First name: Koichi
 Last name: Ota1
 Address:

 Country:
 Phone:

SERVICES

- Scan of dental cast
- Scan of diagnostic wax-up
- Jaw type: Upper jaw
- Delivery date: 2017-04-04

ENCLOSED ITEMS IN SHIPMENT

- Impression
- Dental cast
- Bite index
- Other:

PATIENT INFORMATION

First name: Taro
 Last name: Yamada
 ID:

NOTE TO DENTAL LAB

Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan依頼(Genion2)

オーダー情報を受信したメール内容 (技工所)

 **NobelClinician order request**
do_not_reply@nobelbiocare.com
送信日時: 2017年3月28日火曜日 14:29
宛先: Ota, Koichi

Dear NobelProcera customer,

Koichi Ota1 requested a solid model scan for implant planning.
In order to fulfill the order request in the NobelProcera software, following information is required for the upload of the scan data.

Order number: 240 - 395 - 352
Lab e-mail address: koichi.ota@nobelbiocare.com

SCAN INFORMATION
Patient name: Taro Yamada
Jaw type: Upper jaw
Scan of dental cast: Yes
Scan of diagnostic wax-up: Yes
Delivery date: 2017-04-04
Note:

Sincerely,
Nobel Biocare

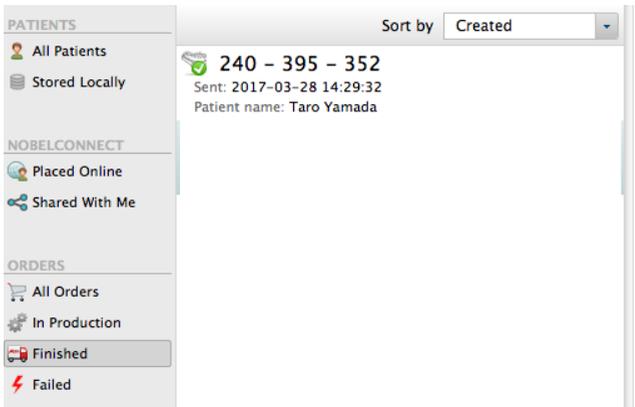
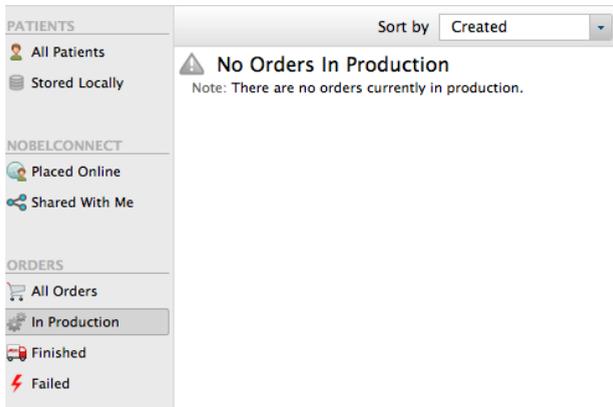
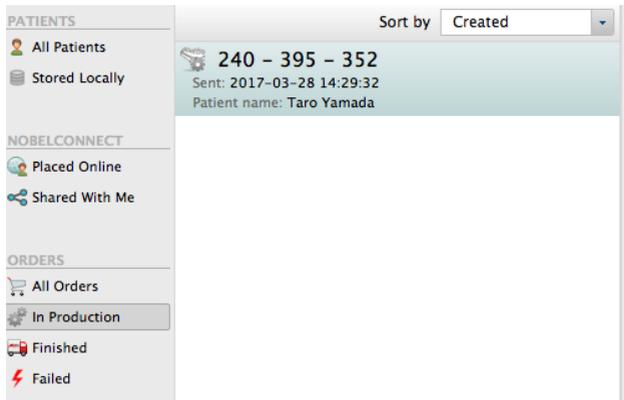
NOTICE:
If you are not aware of the procedure how to fulfill this order request, please contact your local NobelProcera support desk.

Order number: 240 - 395 - 352
Lab e-mail address: koichi.ota@nobelbiocare.com

Order numberと技工所のメールアドレスは、Genion2 スキャナーからデータをアップロードする際に使用します

Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan依頼(Genion2)

技工所にオーダーしたデータの確認 (Status)



In production を選択してオーダー状態を確認します

技工所がScanデータをアップロードするとIn Productionの項目から移行されます

All Orders、Finishedを選択するとアップロード完了したオーダーが表示されます

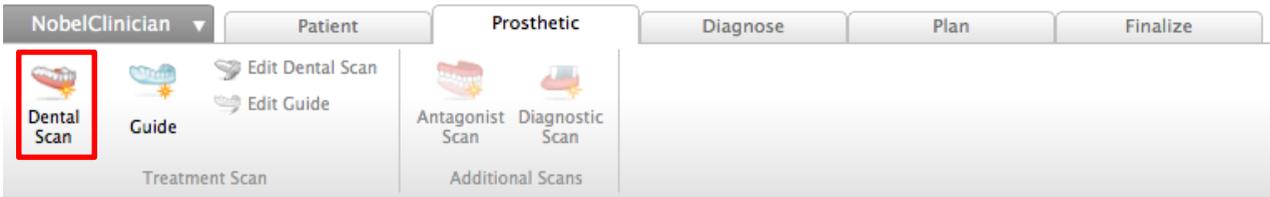


技工所に、オーダーが送信された状態。Scanデータはまだ、アップロードされていません。

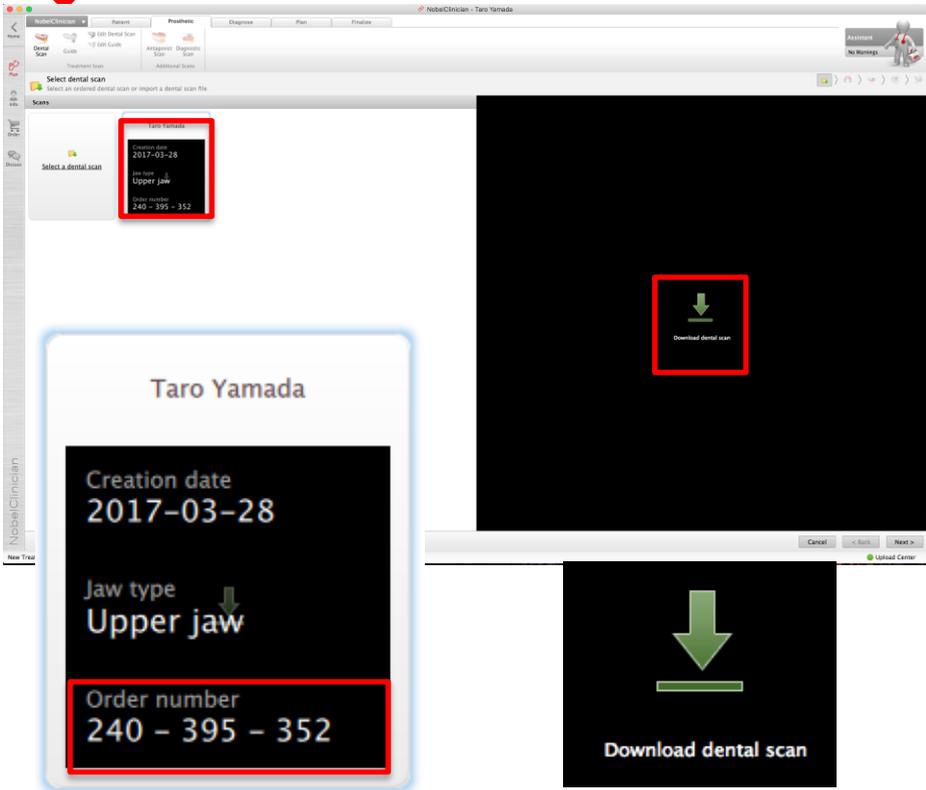


技工所で、既にScanデータをサーバーにアップロード済みで、Dental Scanデータの取込みが可能な状態です。NobelClinician SoftwareのProsthetic 内にあるDental Scan をクリックして下さい。

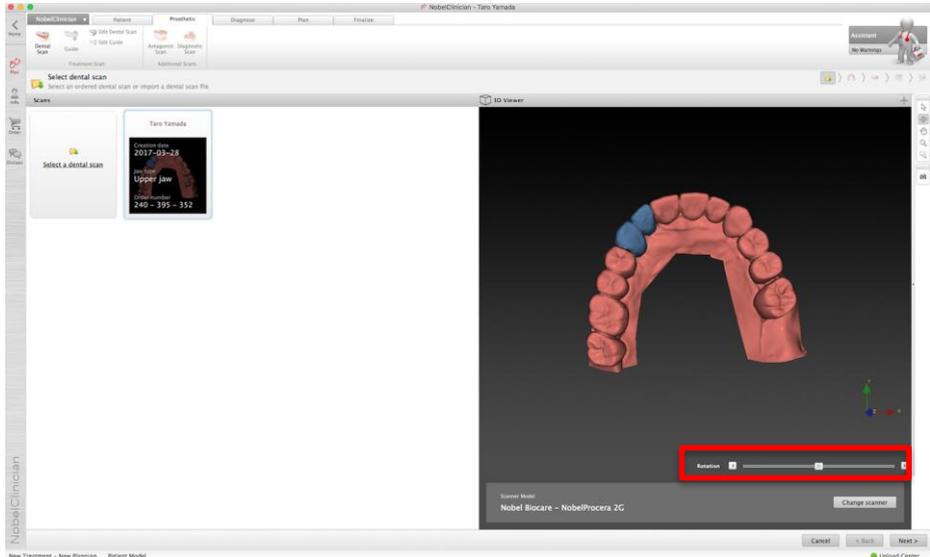
Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan Data取込み(Genion2)



Dental Scan をクリックします

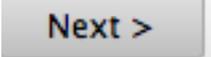


オーダー番号を確認し、右画面の Download dental scan をクリックします

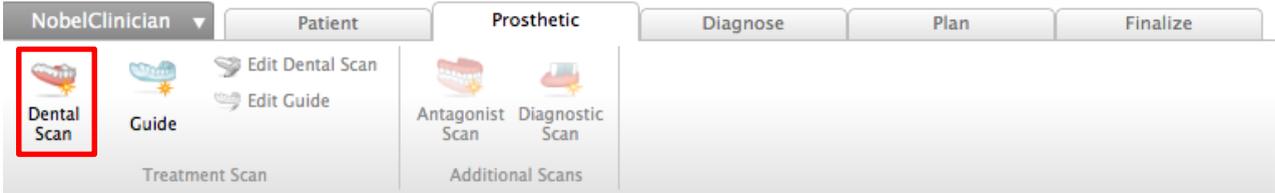


データがダウンロードされるとDental Scanデータが表示されます
表示されたデータの向きを咬合面が見えるように設定します
右下のスライダーバーを動かす、またはデータをマウスで回転させます
上の画像のように位置を設定出来たら、右下のNextボタンをクリックして下さい

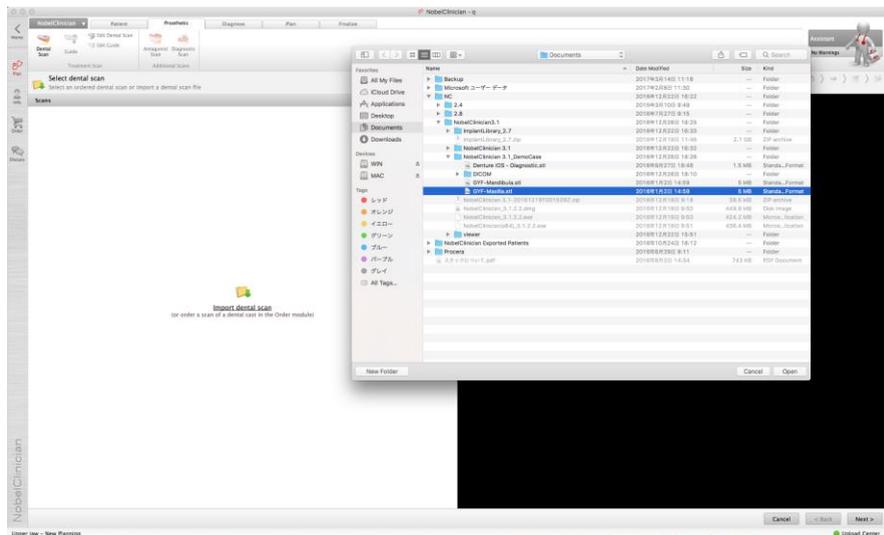
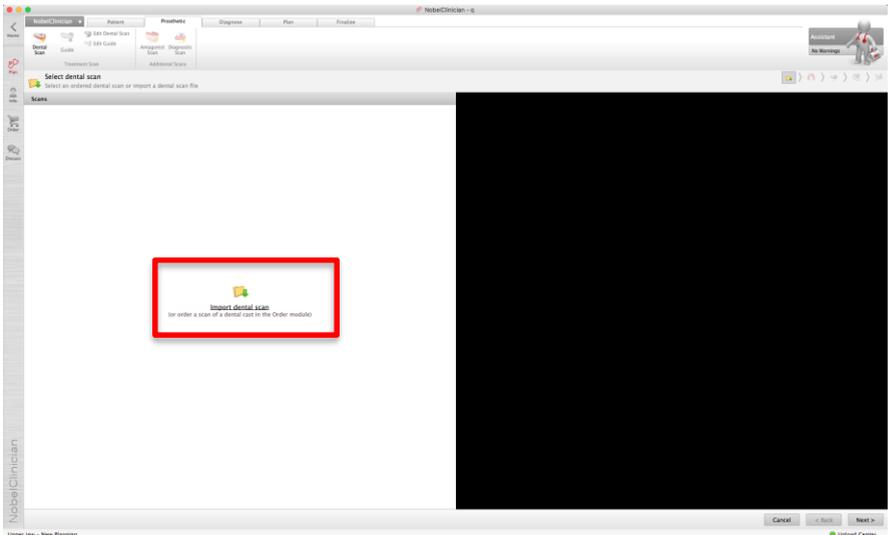
以降の操作は、口腔内スキャンデータと同じです。
59ページからご覧下さい。



Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan Data取込み 口腔内スキャン&Genion2 scan



Dental Scan をクリックします



読み込み可能なデータは2種類

STLファイル(口腔内スキャンデータ)  GYF-Maxilla.stl

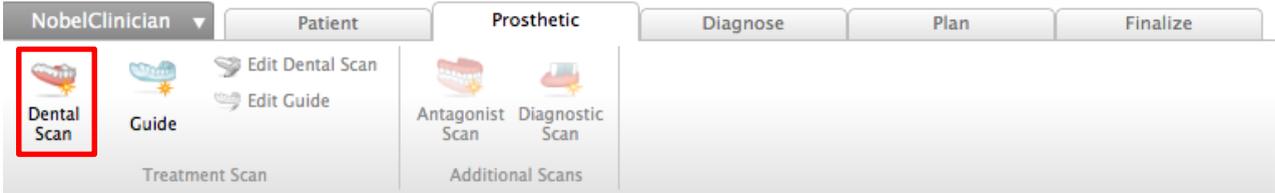
NXAファイル(Dental scanデータ)  DEMO_NCLINICIAN_PART_MAX_1.nxa



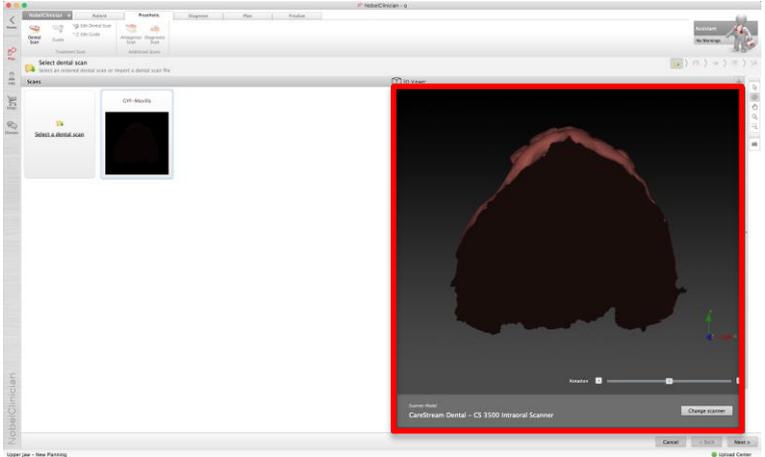
Import dental scan
(or order a scan of a dental cast in the Order module)

Import dental scanをクリックし、ファイルを選択します

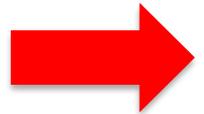
Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan Data取込み 口腔内スキャン&Genion2 scan



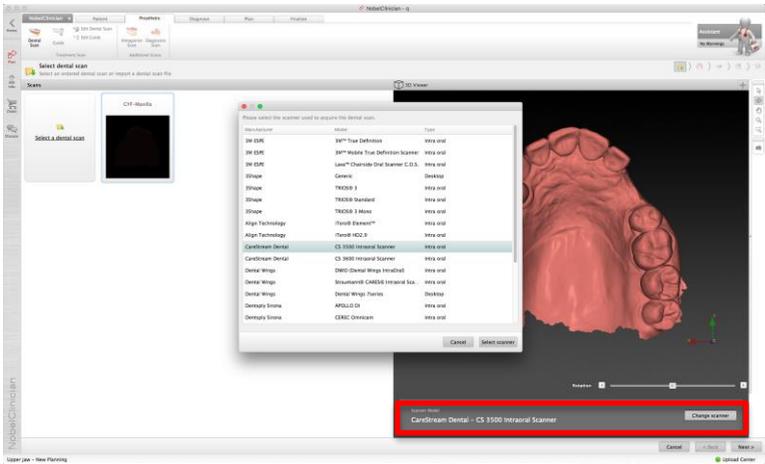
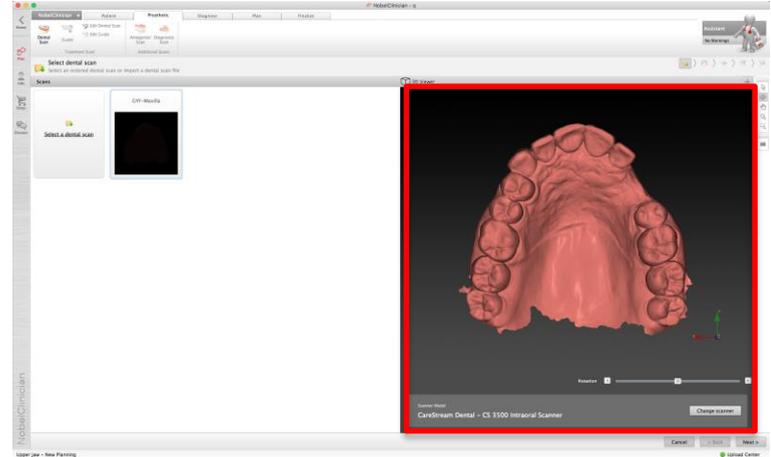
データを取込んだ状態



Rotationを使用して画像の確認をして下さい



画像の確認



口腔内スキャン (IOS) データの取込みの際は、Change scannerをクリックして、口腔内スキャンの機種を選択してから右下のNextをクリックします

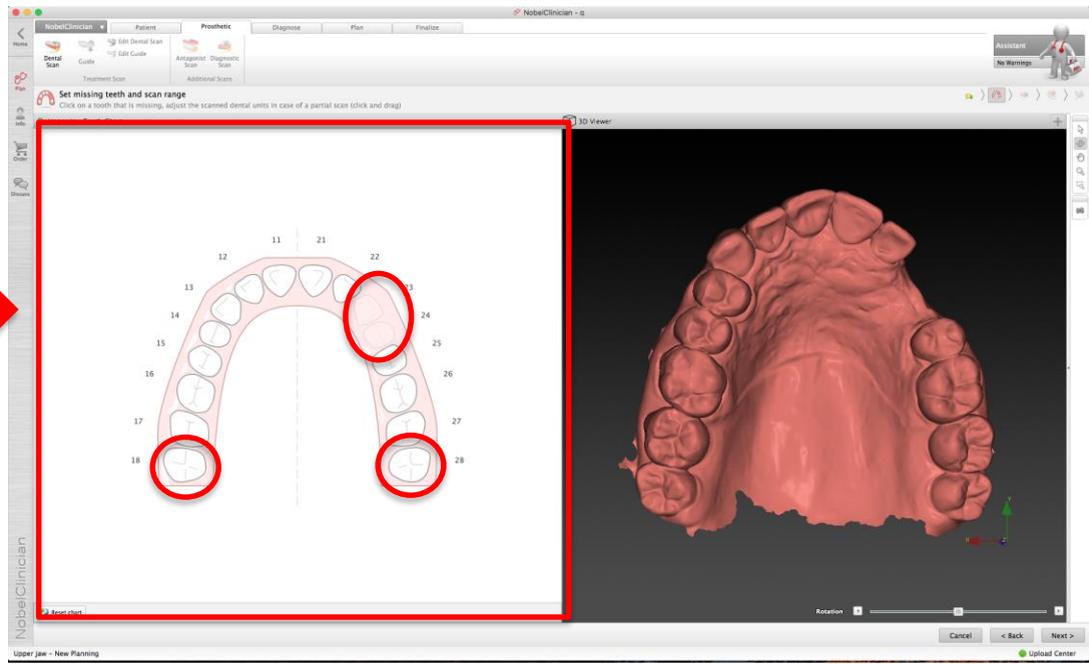
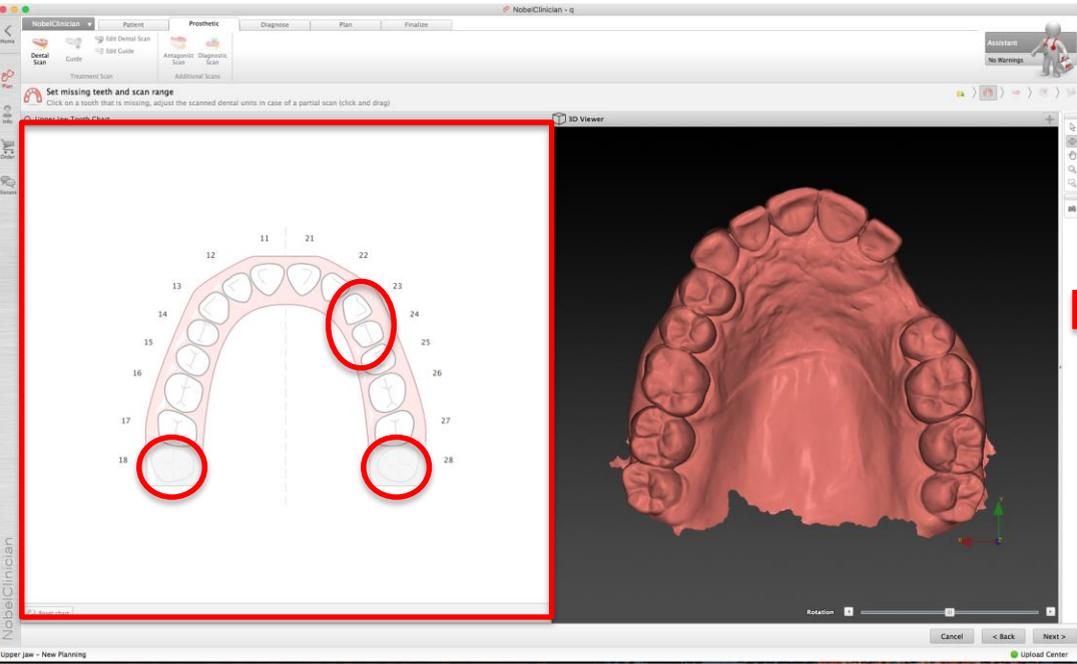
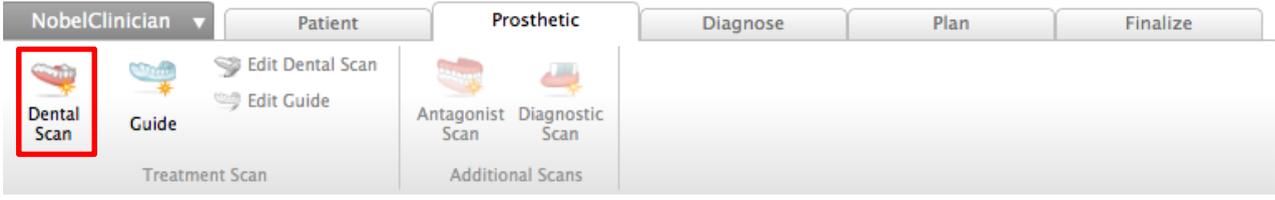


Please select the scanner used to acquire the dental scan.

Manufacturer	Model	Type
3M ESPE	3M™ True Definition	Intra oral
3M ESPE	3M™ Mobile True Definition Scanner	Intra oral
3M ESPE	Lava™ Chairside Oral Scanner C.O.S.	Intra oral
3Shape	Generic	Desktop
3Shape	TRIOS® 3	Intra oral
3Shape	TRIOS® Standard	Intra oral
3Shape	TRIOS® 3 Mono	Intra oral
Align Technology	iTero® Element™	Intra oral
Align Technology	iTero® HD2.9	Intra oral
CareStream Dental	CS 3500 Intraoral Scanner	Intra oral
CareStream Dental	CS 3600 Intraoral Scanner	Intra oral
Dental Wings	DWIO (Dental Wings IntraOral)	Intra oral
Dental Wings	Straumann® Intraoral Sc...	Intra oral
Dental Wings	Dental Wings 7series	Desktop
Dentsply Sirona	APOLLO DI	Intra oral
Dentsply Sirona	CEREC Omnicam	Intra oral

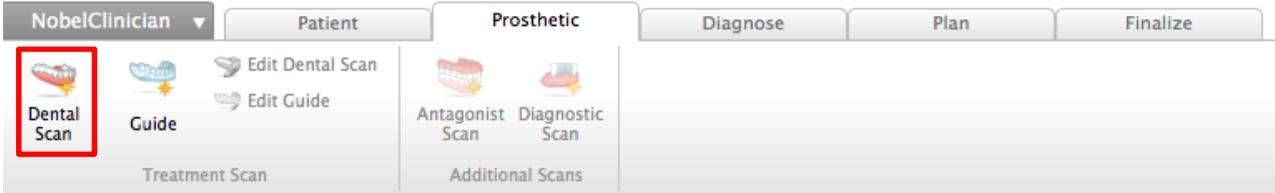
Buttons: Cancel, Select scanner

Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan Data取込み 口腔内スキャン&Genion2 scan

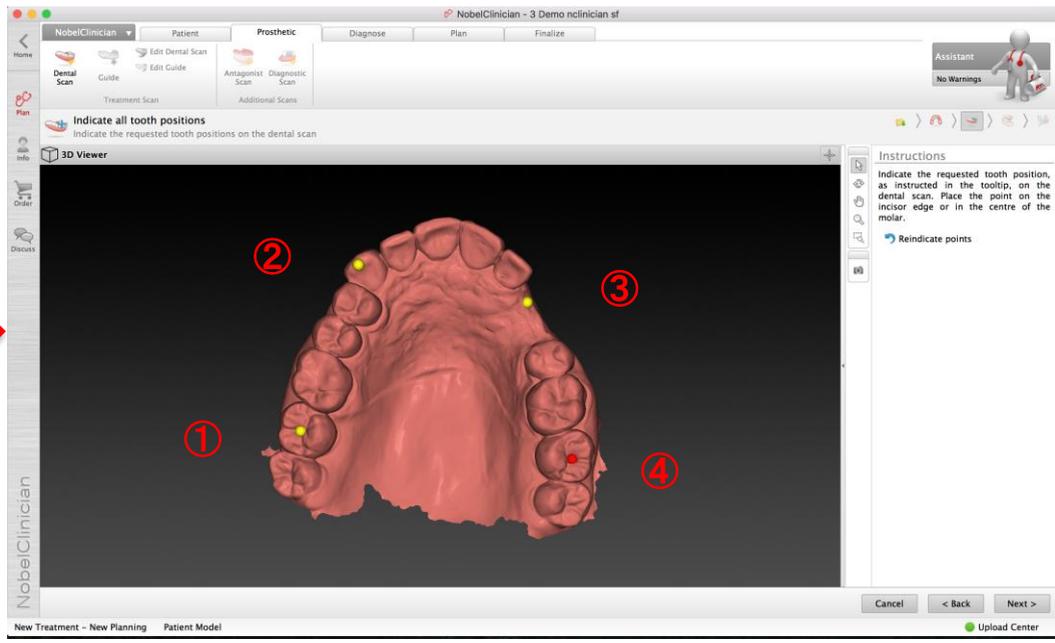
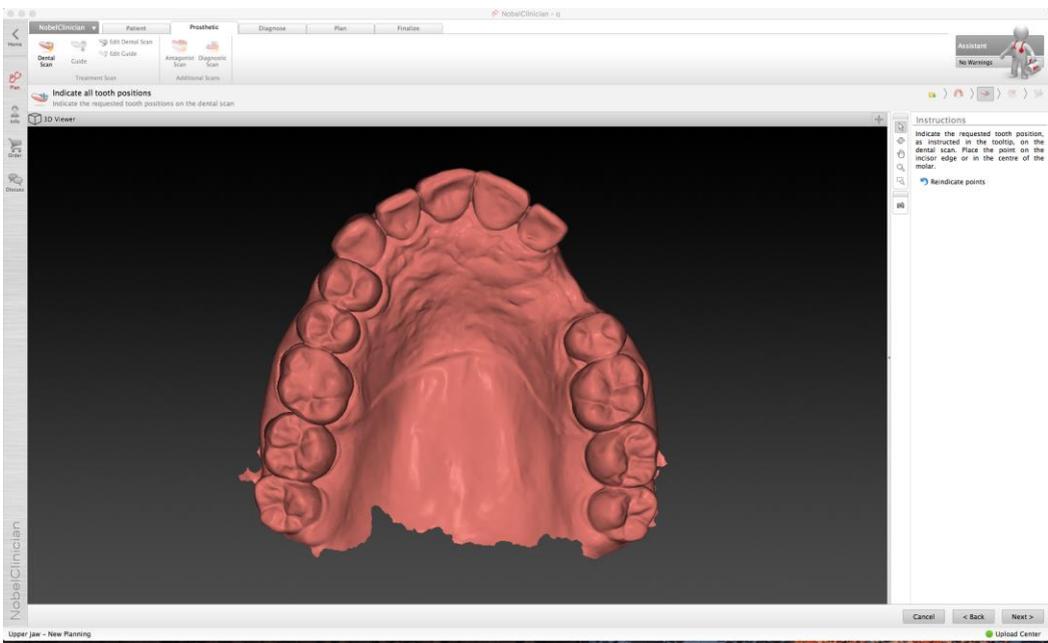


この画面は、左側が上顎、又は下顎の歯列弓で、右側が口腔内スキャンデータ又は、模型のスキャンデータになります
ここではFusionしやすくする為に、左側の歯列を口腔内スキャンデータ又は、模型のScanデータと同じ歯列にします
部位を左クリックして、歯を消したり表示させたりして歯列弓の編集をし、終了後右下のNextをクリックします

Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan Data取込み 口腔内スキャン&Genion2 scan

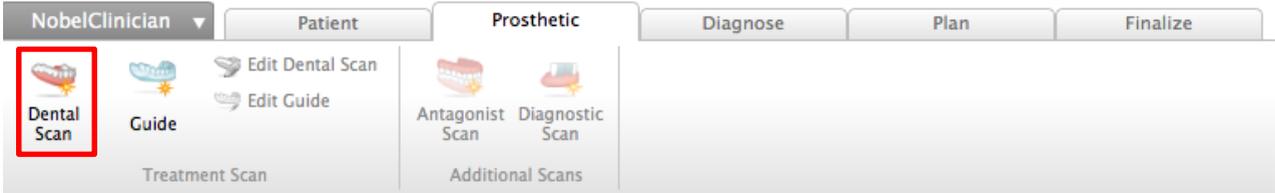


Reindicate points ポイントのやり直し

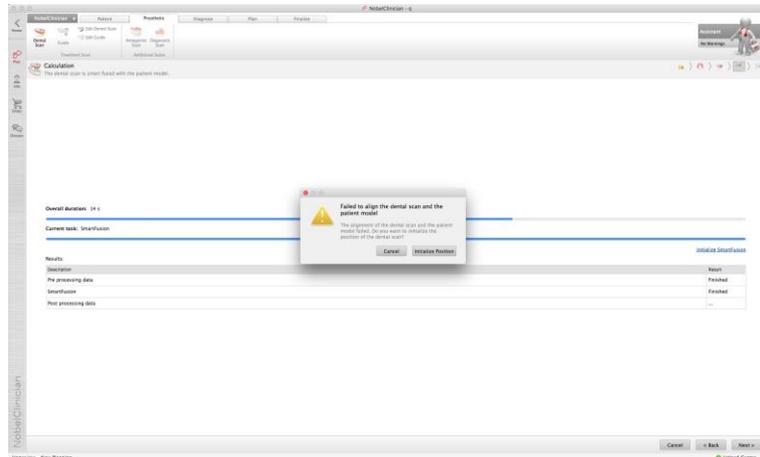
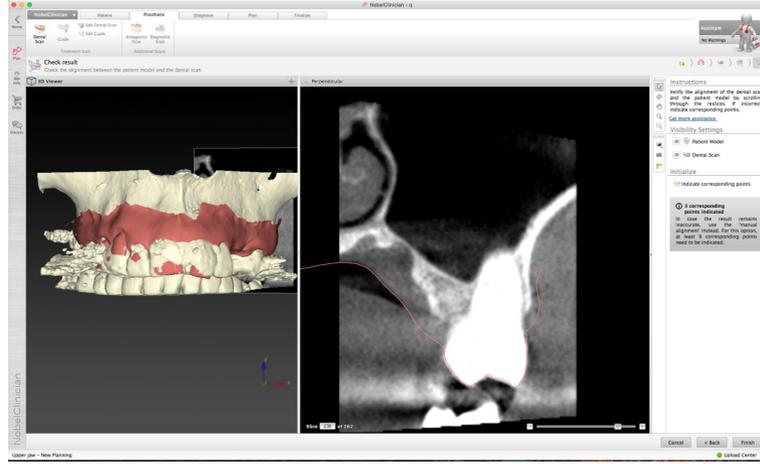
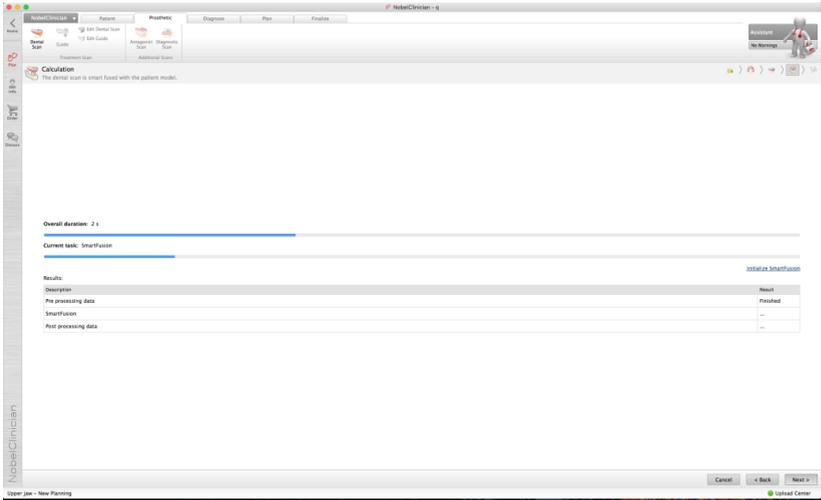


CTデータと口腔内スキャンデータ(IOS)、Dental scanデータをSmartFusion する為の準備をします。SmartFusionする位置の目安を設定する為に、ポイントを付けます。マウスを顎に近づけると、歯式番号が小さく表示されます。該当する歯式番号の位置をクリックしポイントを付けます。大体ですが、3番、7番部位を指定してきますが、欠損している場合、智歯などがある場合変更されます。切歯の先端や、大臼歯の中心などにポイントを4箇所設定します。終了後右下のNextをクリックします

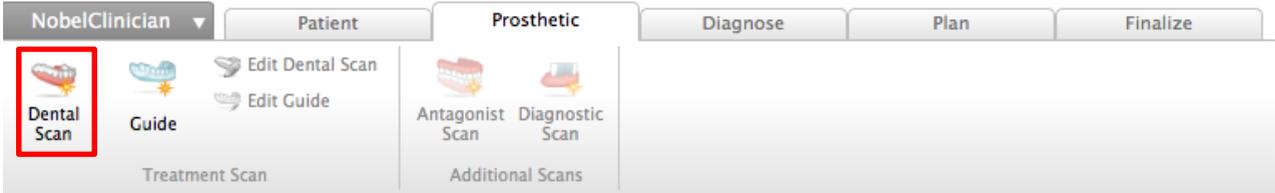
Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan Data取込み 口腔内スキャン&Genion2 scan



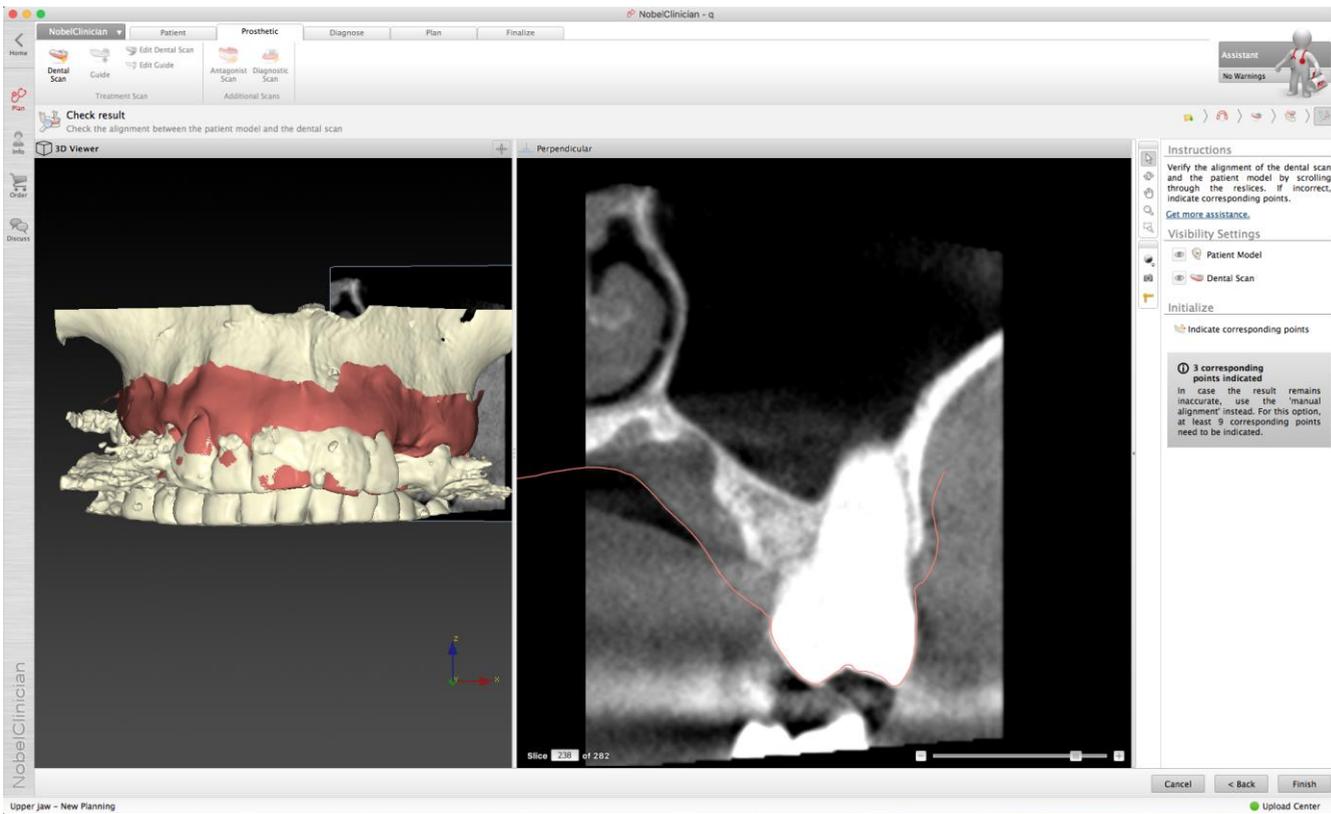
AutomaticでSmartFusionを行います、症例によって、2通りの結果になります



Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan Data取込み 口腔内スキャン&Genion2 scan

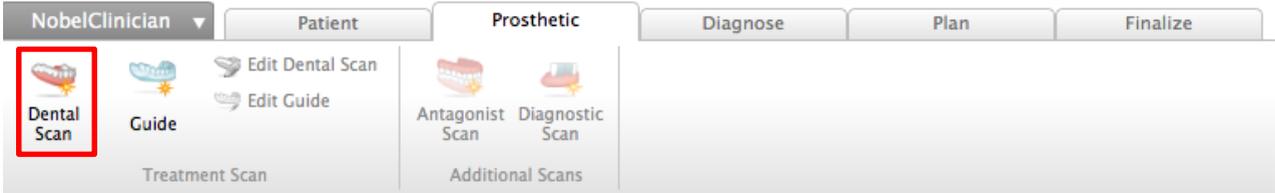


①



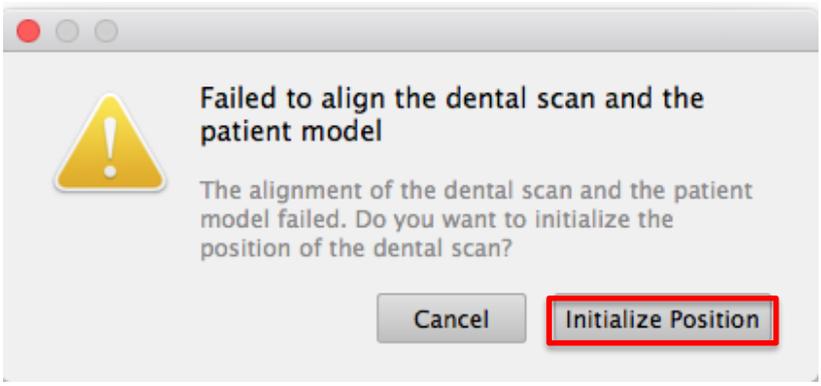
①の場合は、完全なAutomaticでSmartFusionが行われました。右画面のスライダーを動かし適合の確認を行い、問題なければ右下のFinishをクリックしてプランニングの画面に進みます

Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan Data取込み 口腔内スキャン&Genion2 scan

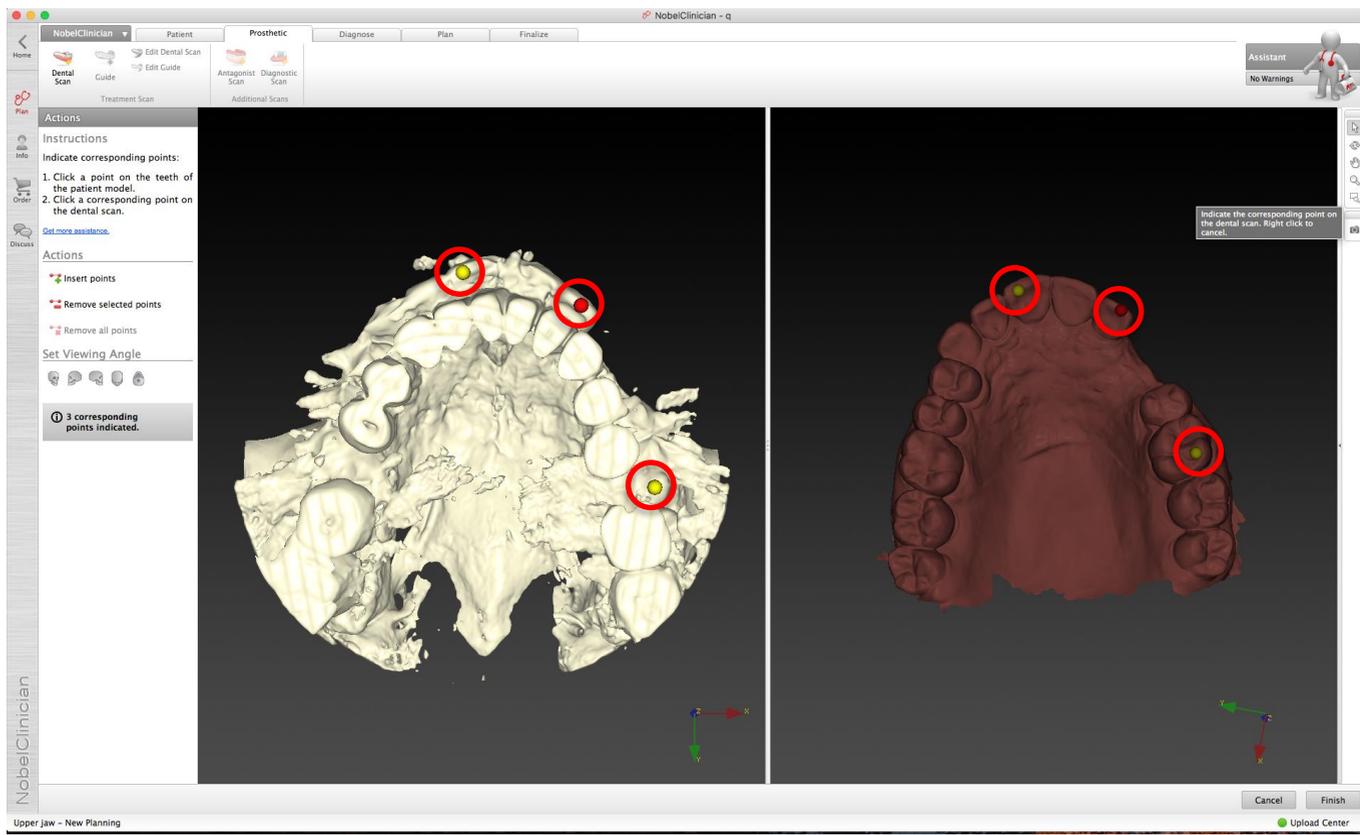


②

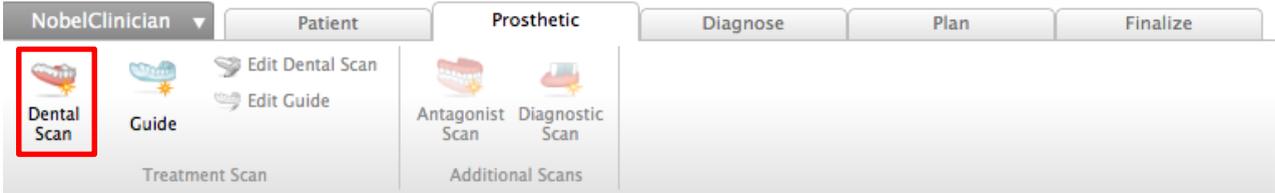
Initialize Position をクリック



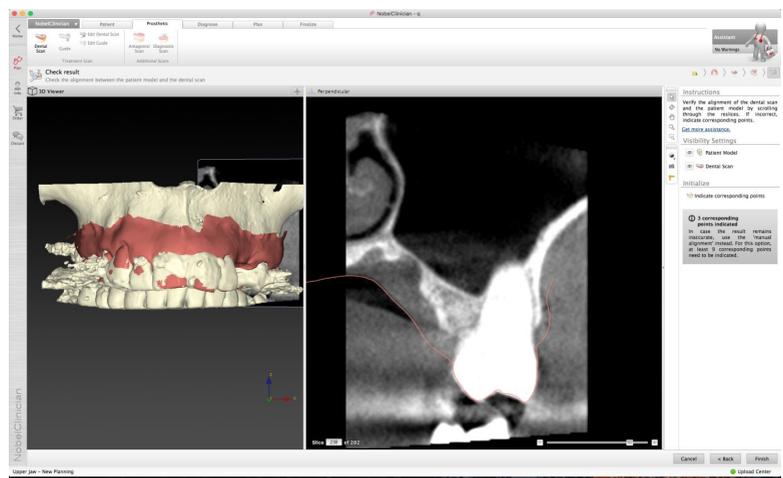
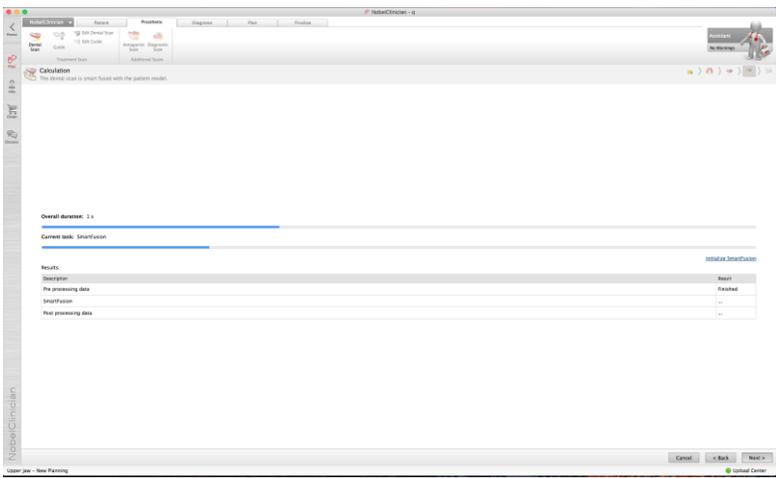
このメッセージはSmartFusionがアライメント出来なかった場合に表示されます
この場合、SmartFusionを行う為に3点の基準ポイントをCTデータと口腔内スキャンデータ又はDental castデータそれぞれ同じ位置にポイントします(極端に位置が違う場合は、赤くエラー表示されます)
設定後右下のFinishをクリックします



Planning画面 Prosthetic (Dental Scan) Scan Data取込み 口腔内スキャン&Genion2 scan

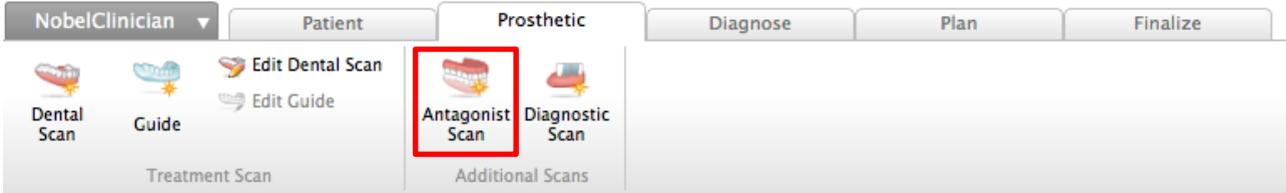


②

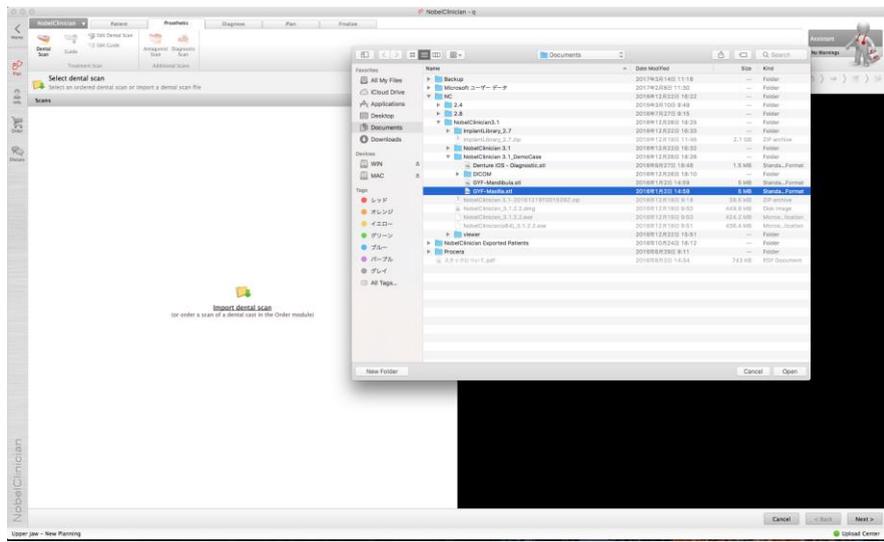
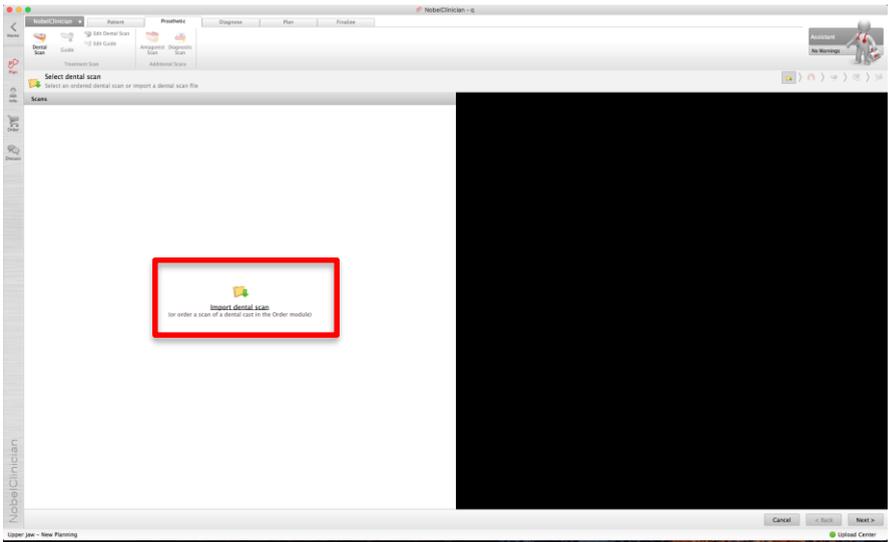


前ページで設定したポイントを基準にSmartFusionが行われます
この段階で、何のメッセージも出ずSmartFusionが完了した場合は、右画面のスライダーを動かして適合の確認を行い、問題なければ右下のFinishをクリックしてプランニングの画面に進みます
※ この段階でメッセージが出る場合は、SmartFusionが出来ない場合もあります
詳細はSmartFusionの定義を参照下さい

Planning画面 Prosthetic (Antagonist scan) 口腔内スキャン&Genion2 scan データ取込み



Antagonist Scan をクリックします



読み込み可能なデータは2種類

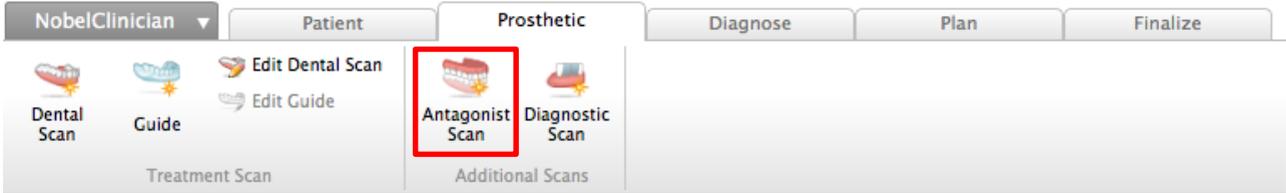
Import dental scan
(or order a scan of a dental cast in the Order module)

Import dental scanをクリックし、ファイルを選択します

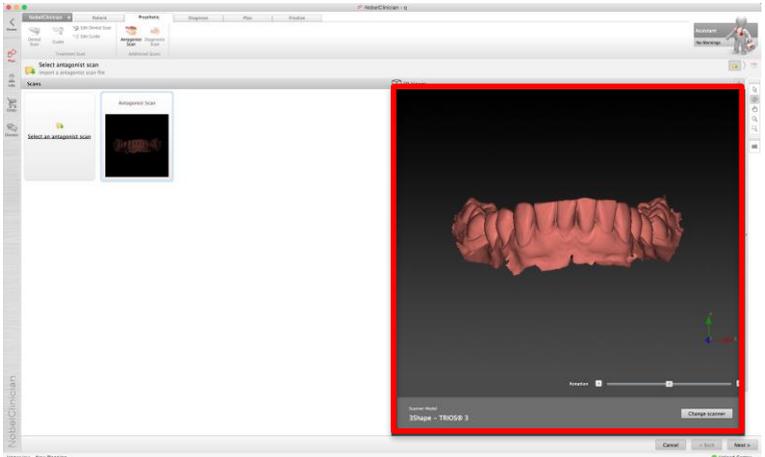
STLファイル(口腔内スキャンデータ)  GYF-Maxilla.stl

NXAファイル(Dental scanデータ)  DEMO_NCLINICIAN_PART_MAX_1.nxa

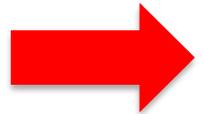
Planning画面 Prosthetic (Antagonist scan) 口腔内スキャン&Genion2 scan データ取込み



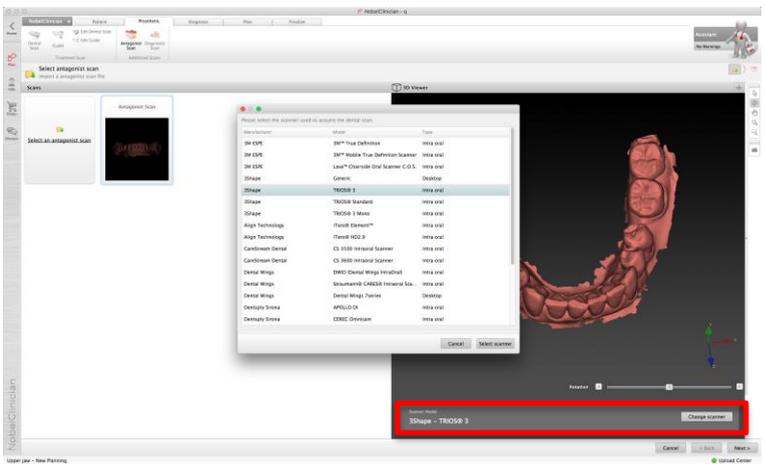
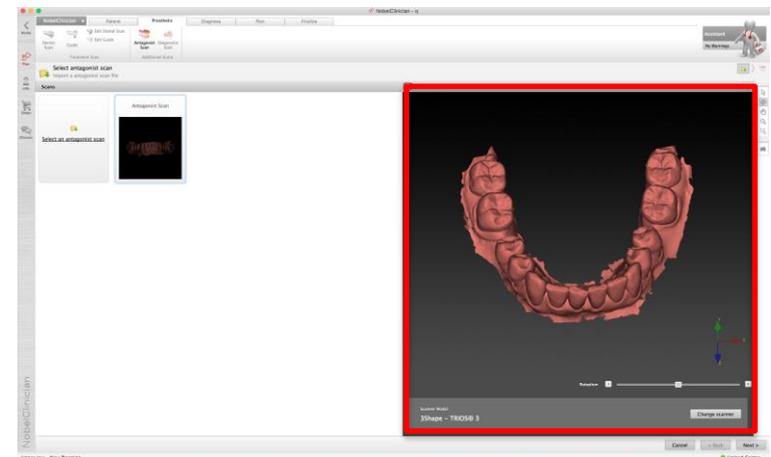
データを取込んだ状態



Rotationを使用して画像の確認をして下さい



画像の確認



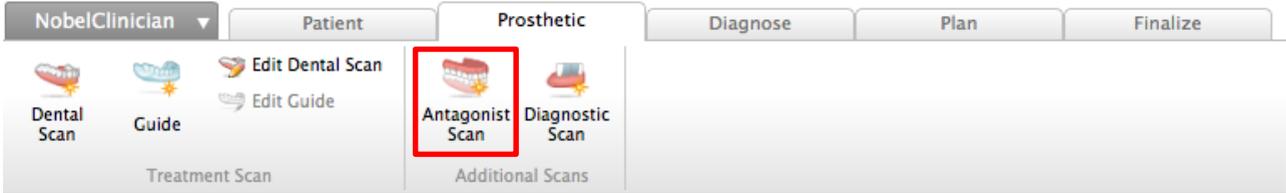
口腔内スキャン (IOS) データの取込みの際は、Change scannerをクリックして、口腔内スキャンの機種を選択してから右下のNextをクリックします



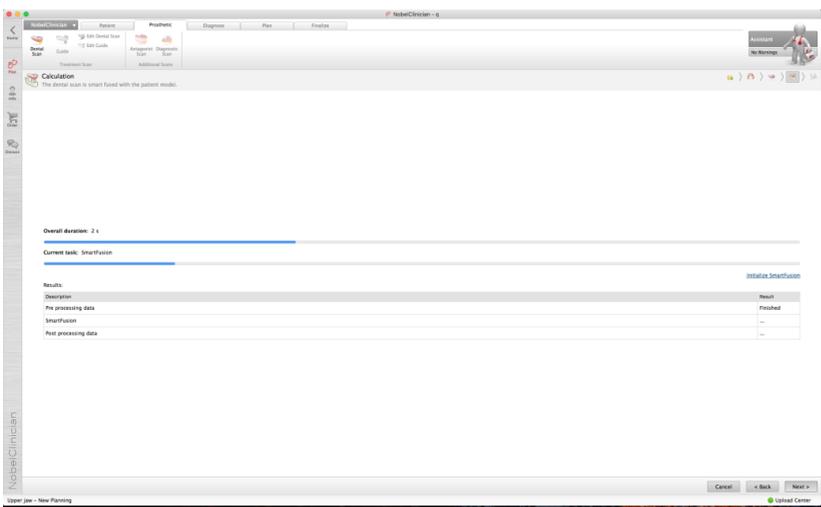
Please select the scanner used to acquire the dental scan.

Manufacturer	Model	Type
3M ESPE	3M™ True Definition	Intra oral
3M ESPE	3M™ Mobile True Definition Scanner	Intra oral
3M ESPE	Lava™ Chairside Oral Scanner C.O.S.	Intra oral
3Shape	Generic	Desktop
3Shape	TRIOS® 3	Intra oral
3Shape	TRIOS® Standard	Intra oral
3Shape	TRIOS® 3 Mono	Intra oral
Align Technology	iTero® Element™	Intra oral
Align Technology	iTero® HD2.9	Intra oral
CareStream Dental	CS 3500 Intraoral Scanner	Intra oral
CareStream Dental	CS 3600 Intraoral Scanner	Intra oral
Dental Wings	DWIO (Dental Wings IntraOral)	Intra oral
Dental Wings	Straumann® CARES® Intraoral Sc...	Intra oral
Dental Wings	Dental Wings 7series	Desktop
Dentsply Sirona	APOLLO DI	Intra oral
Dentsply Sirona	CEREC Omnicam	Intra oral

Planning画面 Prosthetic (Antagonist scan) 口腔内スキャン&Genion2 scan データ取込み



AutomaticでSmartFusionを行います。
Antagonist データのSmartFusionは2通りの
Fusionがあります。



Align the scan

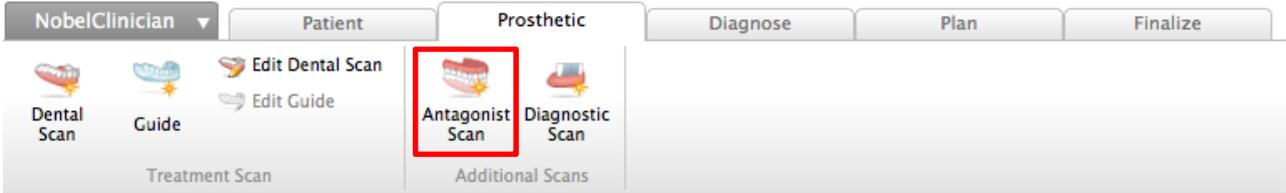
Align with patient
Smart fuse antagonist with patient model.

Align with dental scan
Match antagonist with dental scan.

3D骨モデルとの
SmartFusionを行う
こちらは、3ポイントを設定
して行います

IOS(口腔内スキャン)で対
合状態をスキャンしている
場合、3D骨モデルとは関
係無く、咬合状態の位置に
SmartFusionします

Planning画面 Prosthetic (Antagonist scan) 口腔内スキャン&Genion2 scan データ取込み



AutomaticでSmartFusionを行います。
Align with dental scan (Default)
こちらは、自動的に処理を行います。
マニュアルはありません。

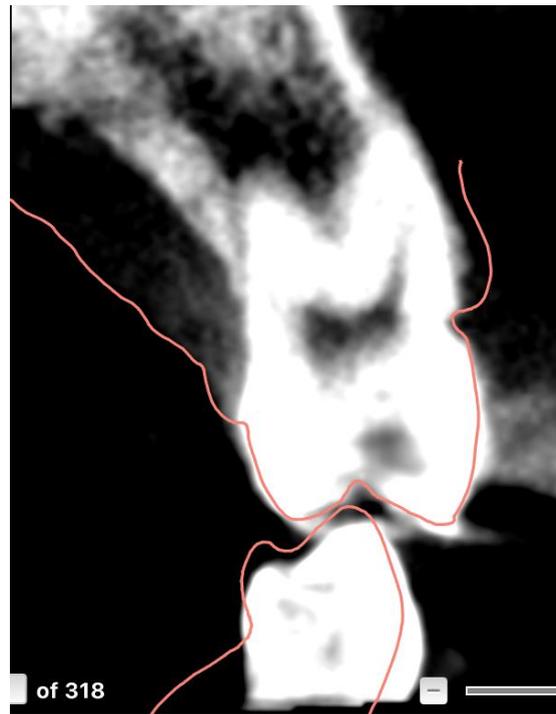
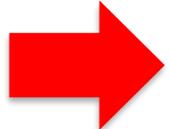
Align the scan



Align with patient
Smart fuse antagonist with patient model.

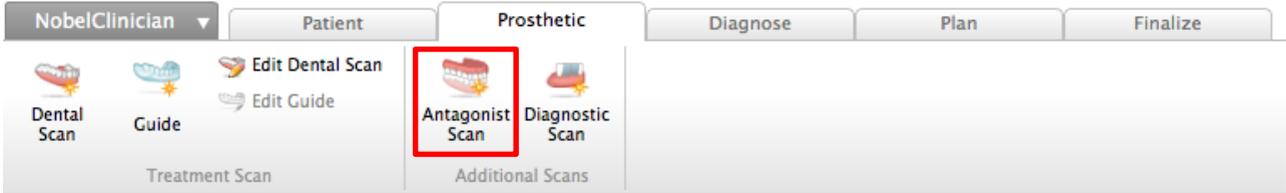


Align with dental scan
Match antagonist with dental scan.



3D骨モデル(CTデータ)とのSmartFusionはしていません。
咬合している状態の位置になっています

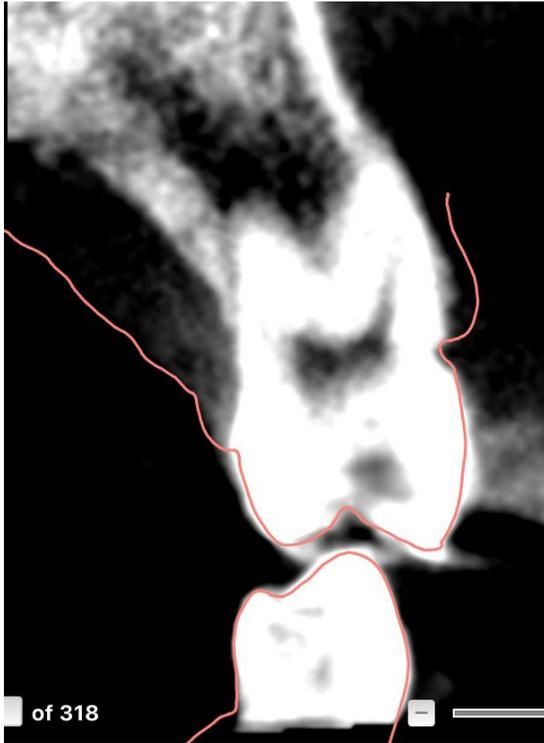
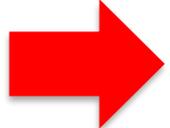
Planning画面 Prosthetic (Antagonist scan) 口腔内スキャン&Genion2 scan データ取込み



AutomaticでSmartFusionを行います。
Align with Patient をクリックし、マニュアルで3点以上のポイントを付けてSmartFusionします。

Align the scan

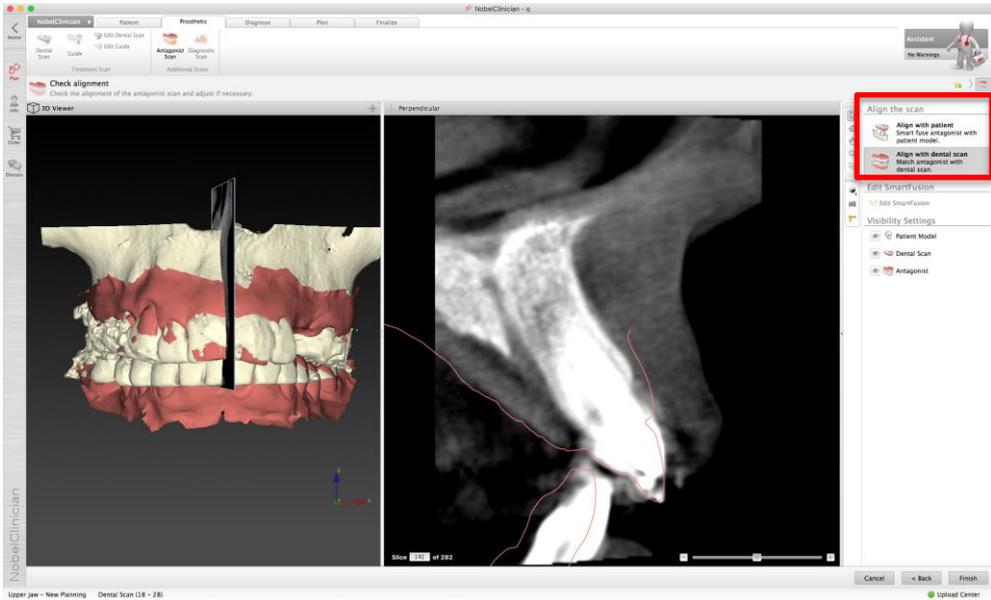
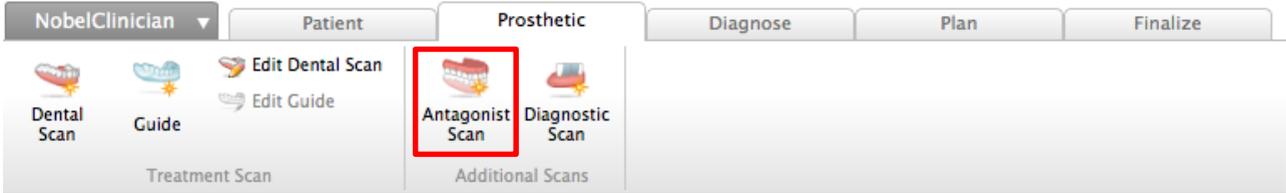
-  **Align with patient**
Smart fuse antagonist with patient model.
-  **Align with dental scan**
Match antagonist with dental scan.



3D骨モデル(CTデータ)とSmartFusionしています。咬合していない状態の位置になっています

次ページで操作ステップを確認して下さい

Planning画面 Prosthetic (Antagonist scan) 口腔内スキャン&Genion2 scan データ取込み

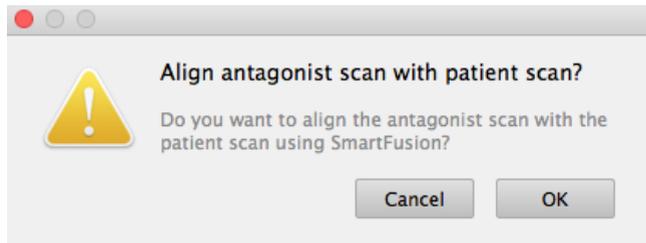


Align the scan

 **Align with patient**
Smart fuse antagonist with patient model.

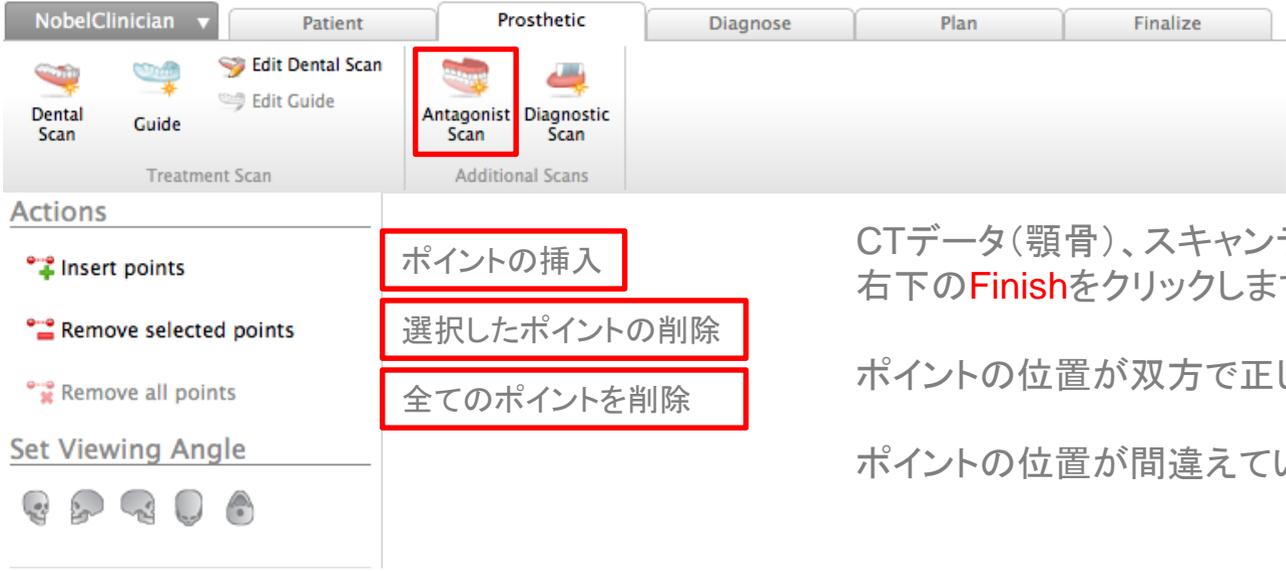
 **Align with dental scan**
Match antagonist with dental scan.

Align with patientをクリックします



このメッセージが表示されたらOKボタンをクリックします

Planning画面 Prosthetic (Antagonist scan) 口腔内スキャン&Genion2 scan データ取込み



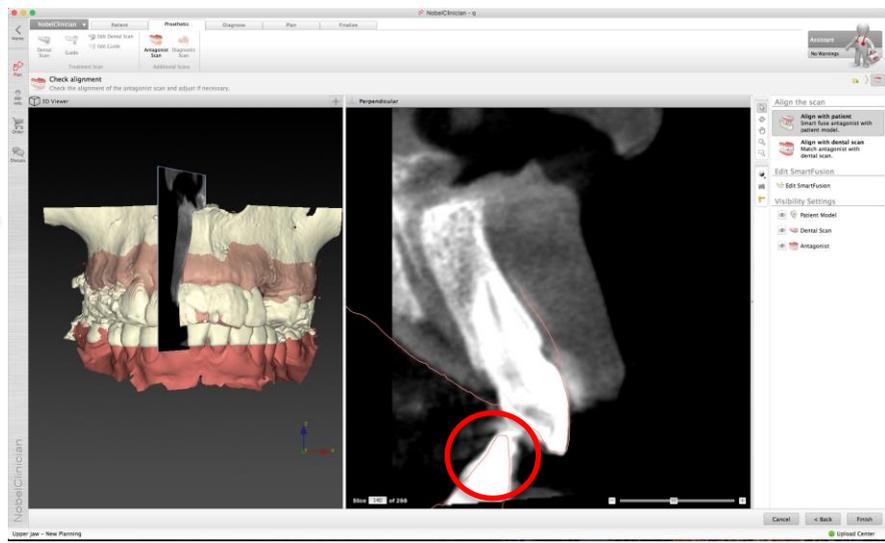
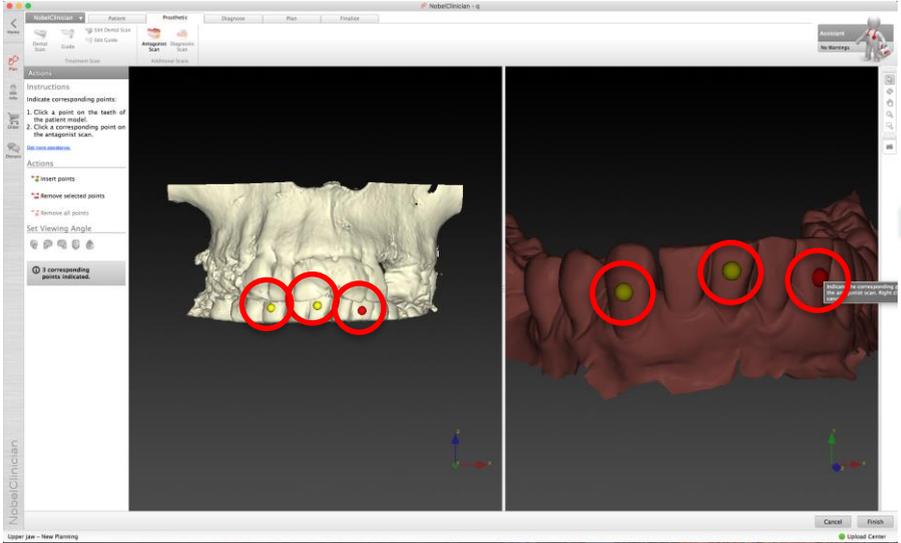
- ポイントの挿入
- 選択したポイントの削除
- 全てのポイントを削除

CTデータ(顎骨)、スキャンデータそれぞれ同じ位置に3点以上ポイントを点けて、右下のFinishをクリックします

ポイントの位置が双方で正しい位置の場合 →

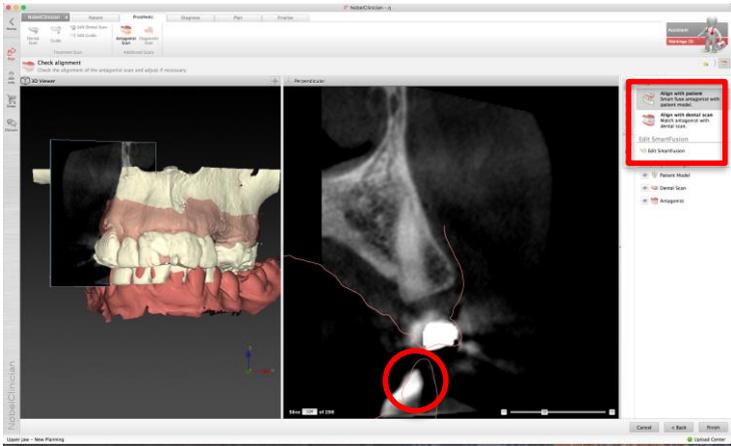
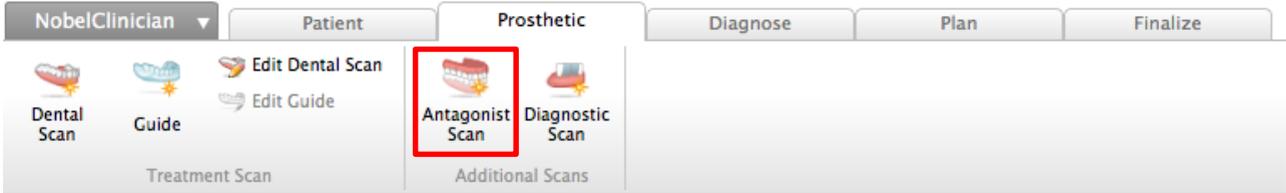


ポイントの位置が間違えている場合 →



適合を確認してFinishをクリックし、プランニング画面に戻ります

Planning画面 Prosthetic (Antagonist scan) 口腔内スキャン&Genion2 scan データ取込み



Align the scan

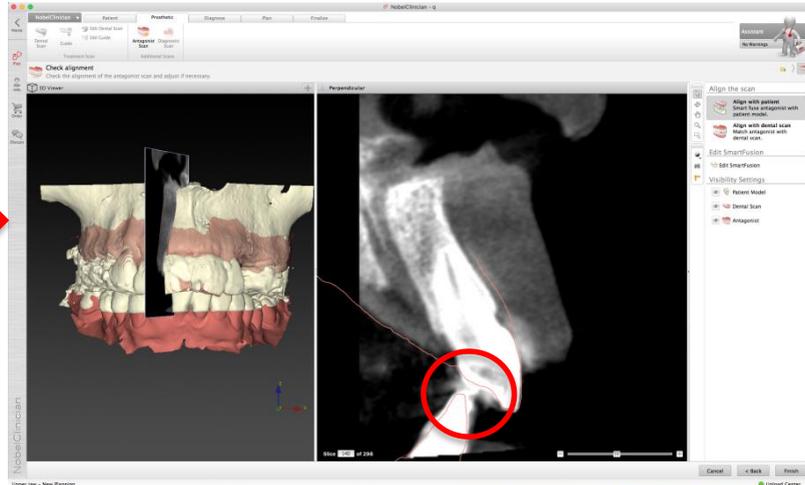
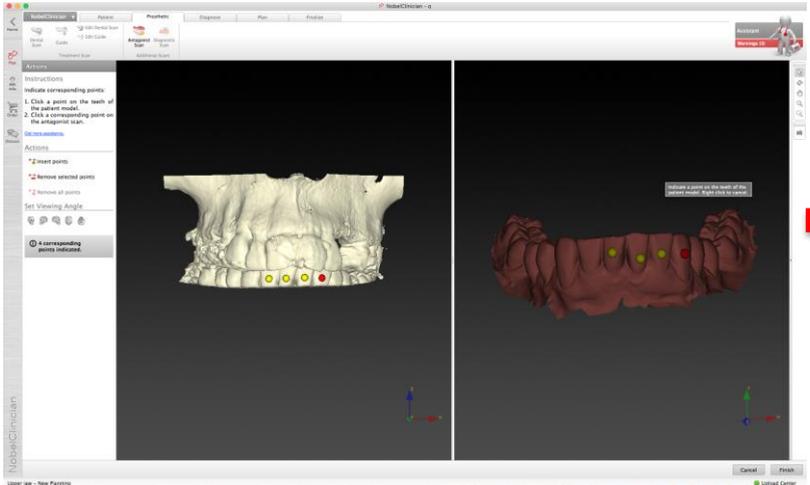
- Align with patient**
Smart fuse antagonist with patient model.
- Align with dental scan**
Match antagonist with dental scan.

Edit SmartFusion

Edit SmartFusion

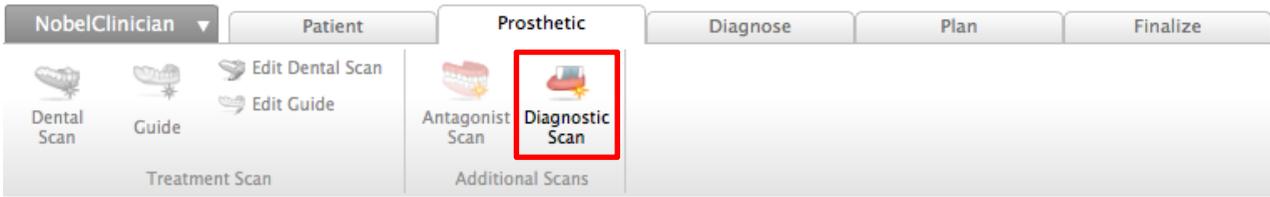
Align with patientでポイント付けてアライメントを行っても適合しない場合は**Edit SmartFusion**をクリックし再度ポイント位置を修正して下さい。

※ズレた状態でFinishし、プランニング画面に行った場合修正は出来ません。再度修正する場合は、Importしたデータを削除し、再度Importする事になりますので、注意して下さい。

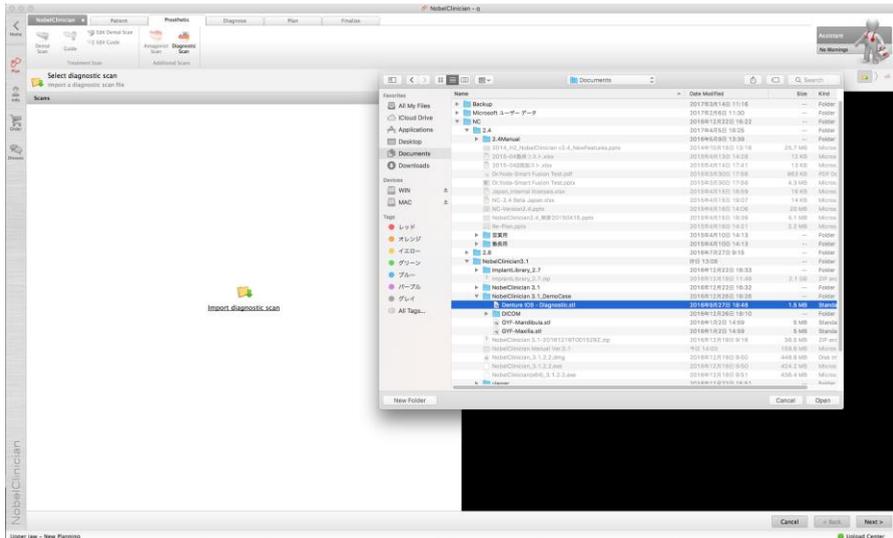
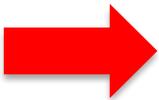
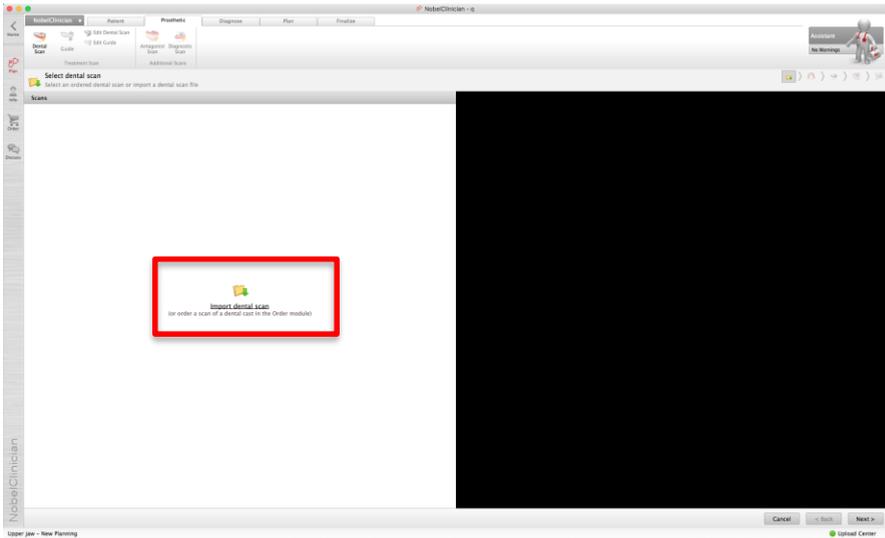


適合を確認して**Finish**をクリックし、プランニング画面に戻ります

Planning画面 Prosthetic (Diagnostic scan) 口腔内スキャンデータ取込み



Diagnostic Scan をクリックします



Import dental scan

(or order a scan of a dental cast in the Order module)

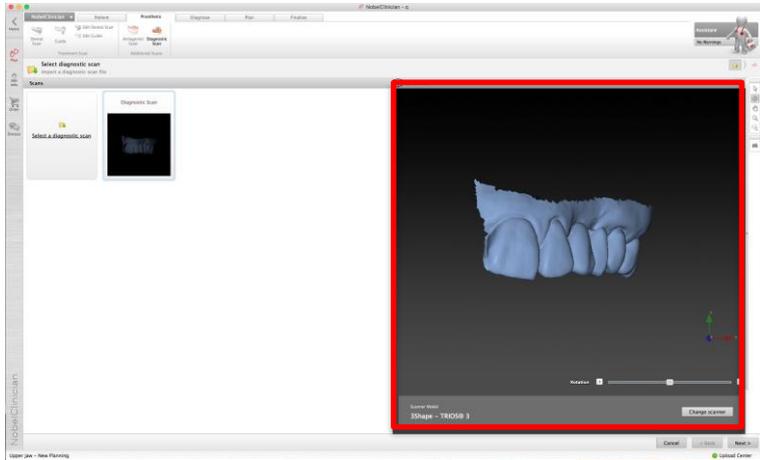
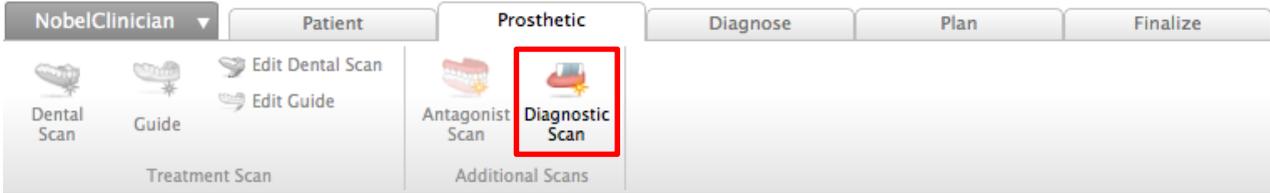
Import dental scanをクリックし、ファイルを選択します

読み込み可能なデータは1種類

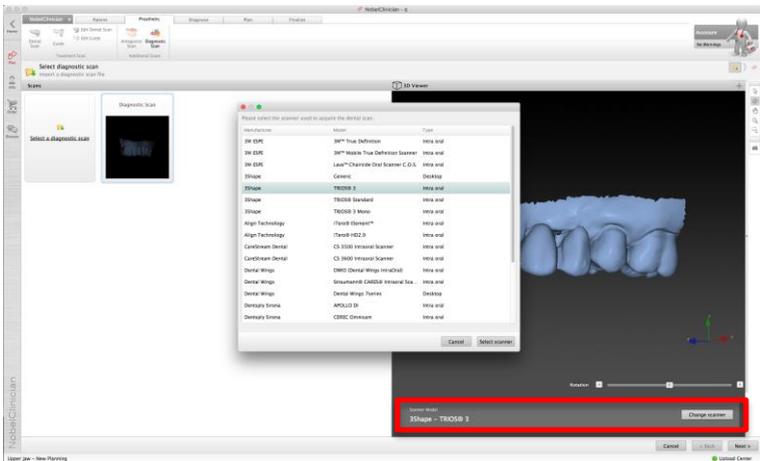
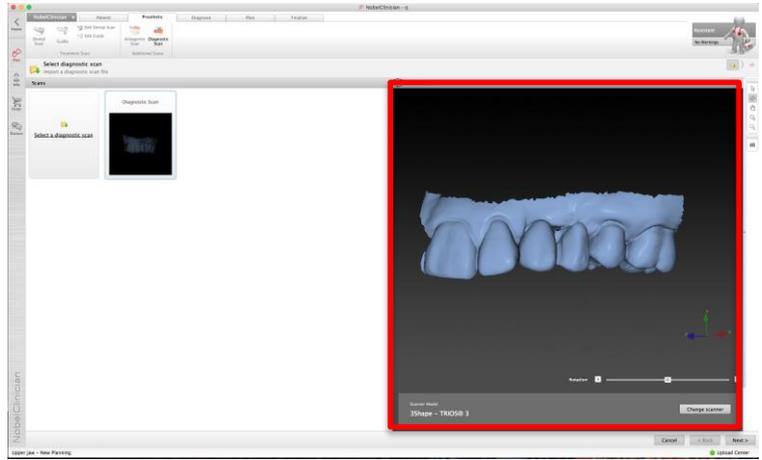
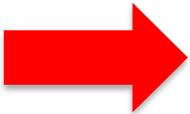
STLファイル(口腔内スキャンデータ)

Denture IOS - Diagnostic.stl

Planning画面 Prosthetic (Diagnostic scan) 口腔内スキャンデータ取込み



Rotationを使用して画像の確認をして下さい



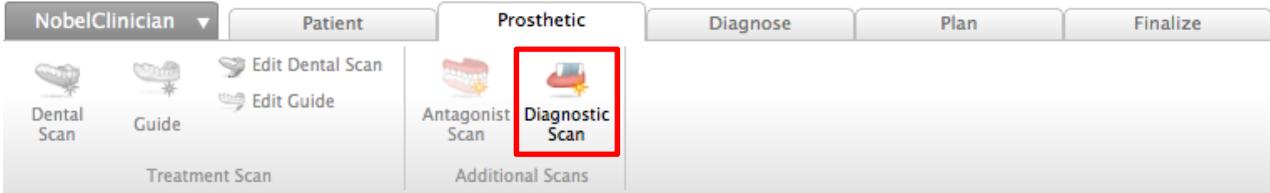
口腔内スキャン (IOS) データの取込みの際は、Change scannerをクリックして、口腔内スキャンの機種を選択してから右下のNextをクリックします



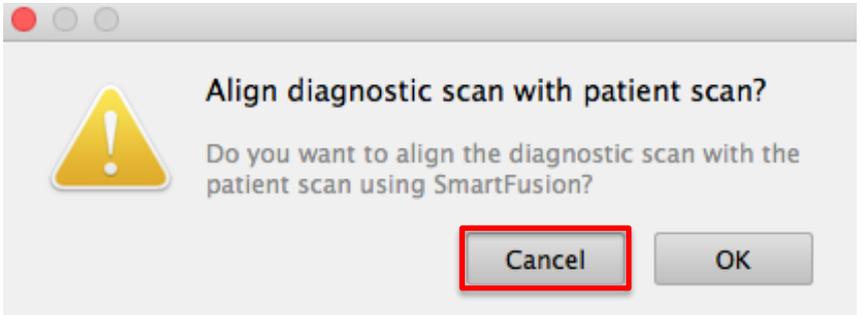
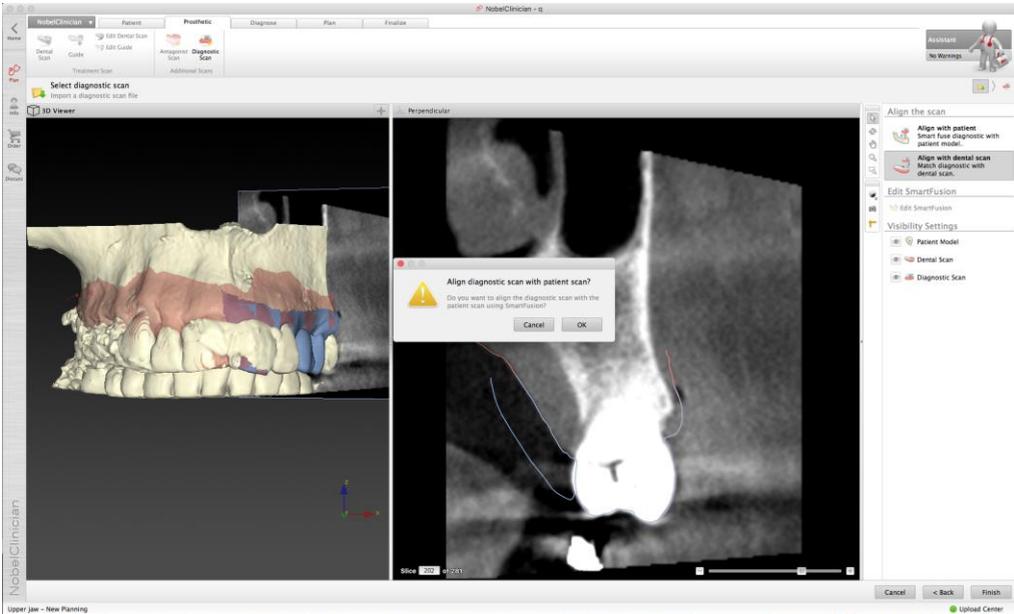
Please select the scanner used to acquire the dental scan.

Manufacturer	Model	Type
3M ESPE	3M™ True Definition	Intra oral
3M ESPE	3M™ Mobile True Definition Scanner	Intra oral
3M ESPE	Lava™ Chairside Oral Scanner C.O.S.	Intra oral
3Shape	Generic	Desktop
3Shape	TRIOS® 3	Intra oral
3Shape	TRIOS® Standard	Intra oral
3Shape	TRIOS® 3 Mono	Intra oral
Align Technology	iTero® Element™	Intra oral
Align Technology	iTero® HD2.9	Intra oral
CareStream Dental	CS 3500 Intraoral Scanner	Intra oral
CareStream Dental	CS 3600 Intraoral Scanner	Intra oral
Dental Wings	DWIO (Dental Wings IntraOral)	Intra oral
Dental Wings	Straumann® CARES® Intraoral Sca...	Intra oral
Dental Wings	Dental Wings 7series	Desktop
Dentsply Sirona	APOLLO DI	Intra oral
Dentsply Sirona	CEREC Omnicam	Intra oral

Planning画面 Prosthetic (Diagnostic scan) 口腔内スキャンデータ取込み

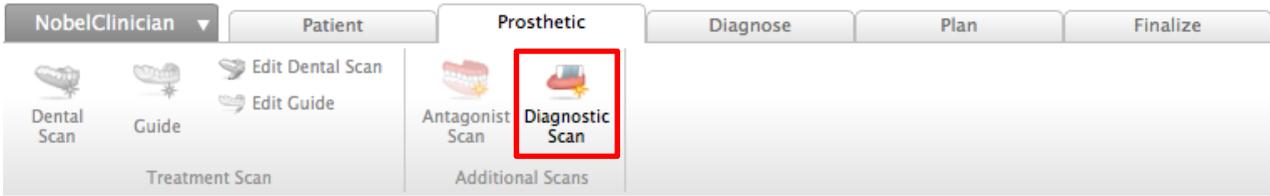


AutomaticでSmartFusionを行います



上図のメッセージが表示されます。
ここでは、**Cancel**をクリックし適合を確認して下さい。
問題なければ右下の**Finish**をクリックします。
不適合の場合は次ページをご覧ください。

Planning画面 Prosthetic (Diagnostic scan) 口腔内スキャンデータ取込み



Align with Patient をクリックし、OKボタンをクリックします

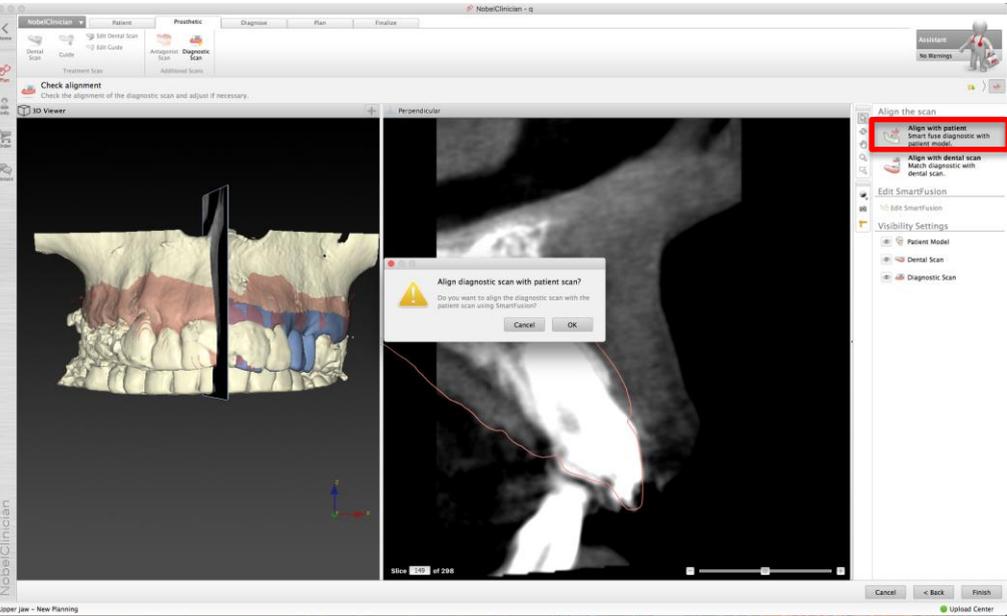
Align the scan

 **Align with patient**
Smart fuse diagnostic with patient model.

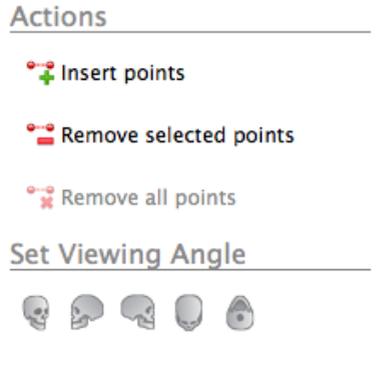
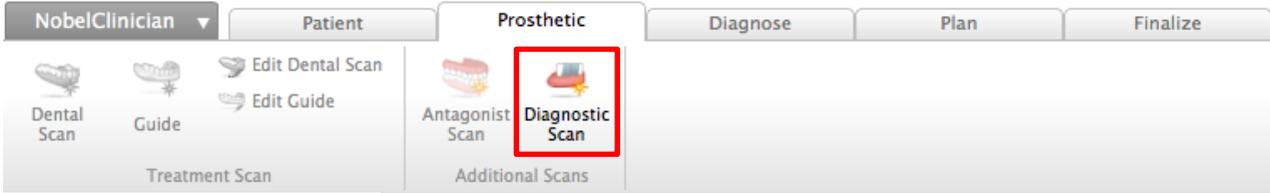
 **Align with dental scan**
Match diagnostic with dental scan.

 **Align diagnostic scan with patient scan?**
Do you want to align the diagnostic scan with the patient scan using SmartFusion?

Cancel **OK**



Planning画面 Prosthetic (Diagnostic scan) 口腔内スキャンデータ取込み



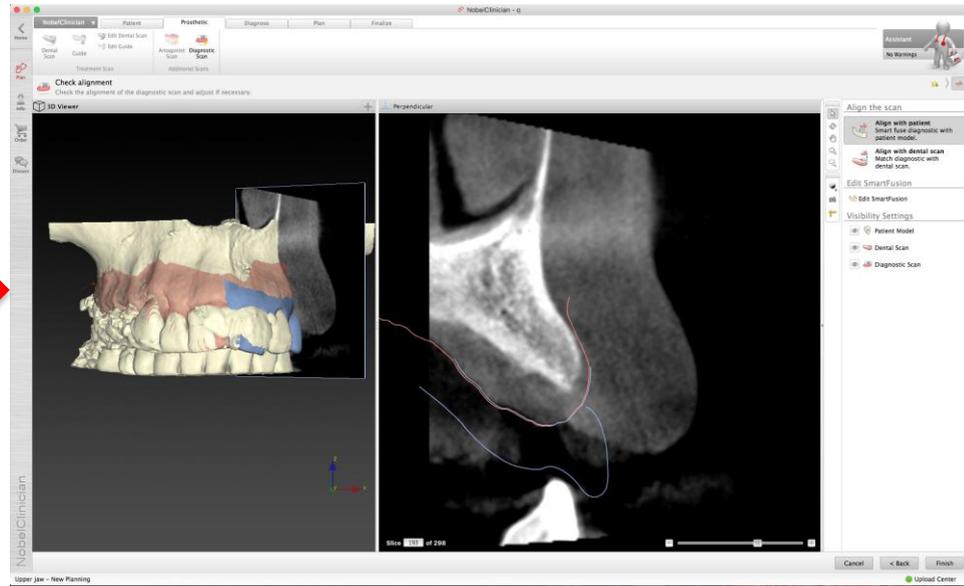
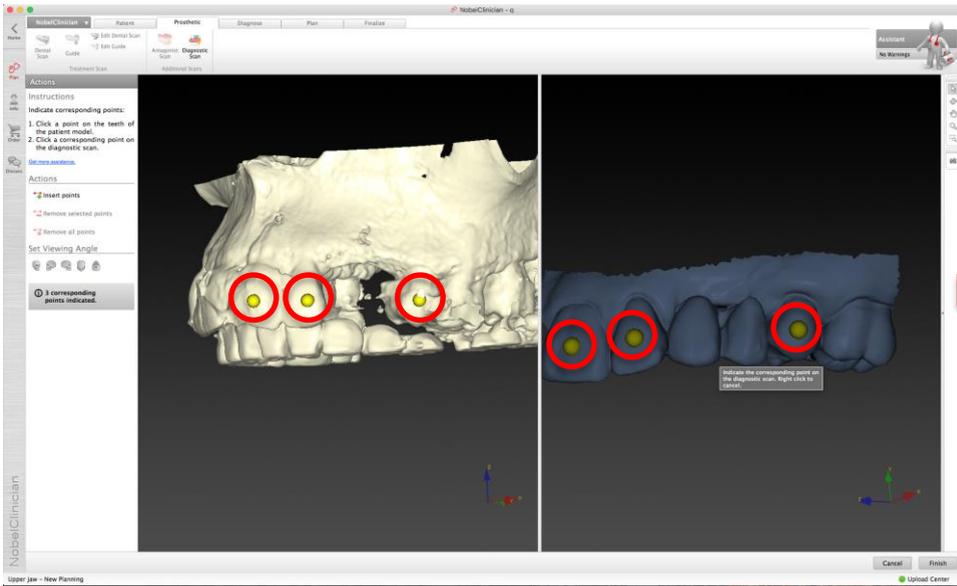
ポイントの挿入
 選択したポイントの削除
 全てのポイントを削除

CTデータ(顎骨)、スキャンデータそれぞれ同じ位置に3点以上ポイントを点けて、右下のFinishをクリックします

ポイントの位置が双方で正しい位置の場合 →

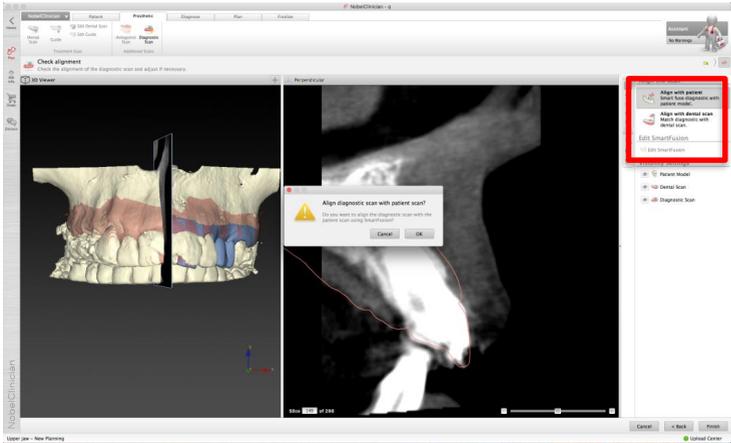
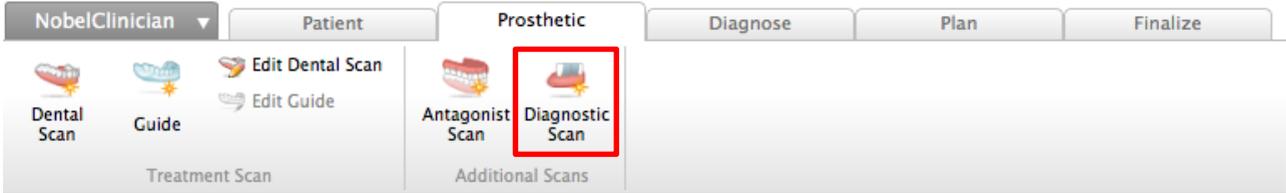


ポイントの位置が間違えている場合 →



適合を確認してFinishをクリックし、プランニング画面に戻ります

Planning画面 Prosthetic (Antagonist scan) 口腔内スキャン&Genion2 scan データ取込み



Align the scan

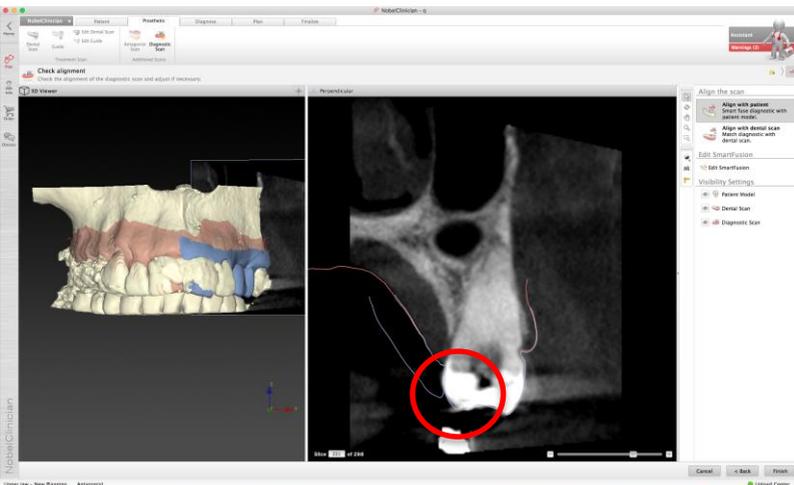
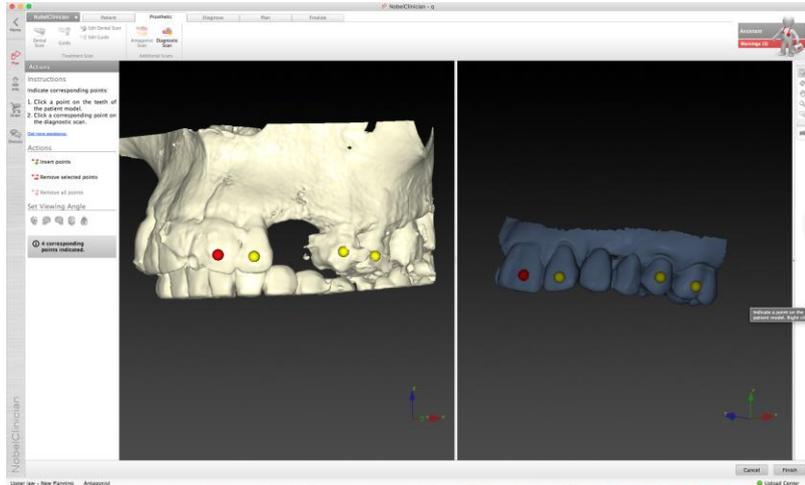
- Align with patient
Smart fuse antagonist with patient model.
- Align with dental scan
Match antagonist with dental scan.

Edit SmartFusion

Edit SmartFusion

Align with patientでポイント付けてアライメントを行っても適合しない場合は**Edit SmartFusion**をクリックし再度ポイント位置を修正して下さい。

※ズレた状態でFinishし、プランニング画面に行った場合修正は出来ません。再度修正する場合は、Importしたデータを削除し、再度Importする事になりますので、注意して下さい。



適合を確認して**Finish**をクリックし、プランニング画面に戻ります

SmartFusionの定義

適応症例

パーシャルケース(6歯以上の残存歯)

- 単独歯欠損
- 遊離端欠損
- 複数歯欠損

抜歯即時 (抜歯する歯の除く、6歯以上の残存歯)

非適応症例

パーシャルケース(5歯以下の残存歯)

※ 仮歯(レジン)CT画像にクッキリと映らない様な素材の歯は数に入れない事

無歯顎ケース

例外

※ 適応症例であっても、極端にアーティファクトが多い症例 (SmartFusionが出来ない)

※ 埋入ポジションが極端に深い症例 (サージカルテンプレートが製作出来ない)

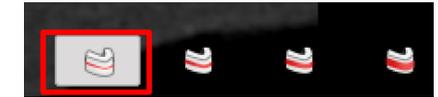
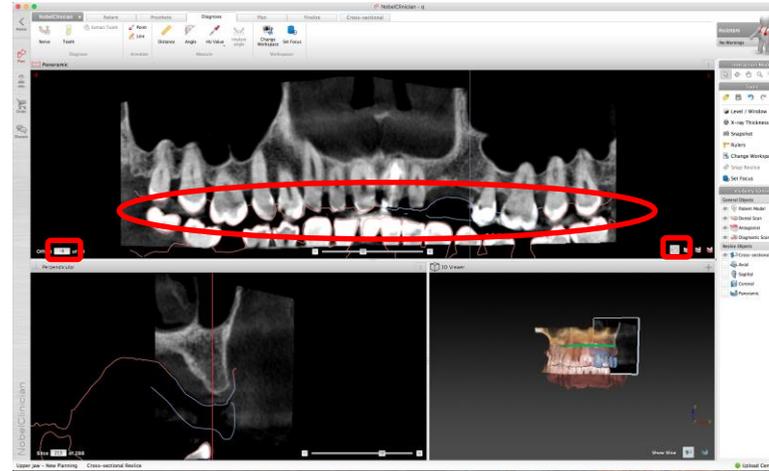
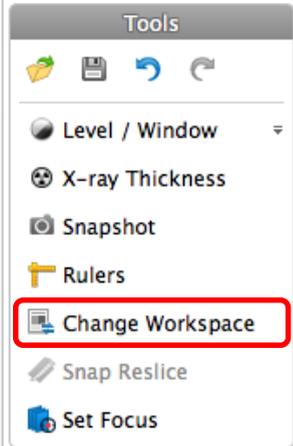
非対応ケースは従来の、ラジオグラフィックガイドからのサージカルテンプレートへ移行

CT撮影

噛んだ状態では撮影しない事

※ ワッテなどを噛ませて、上下の歯牙が接触しない様にする

SmartFusionされたデータ (Fusion精度の確認)



Display as Single Slice

Dental Castまたは口腔内スキャン

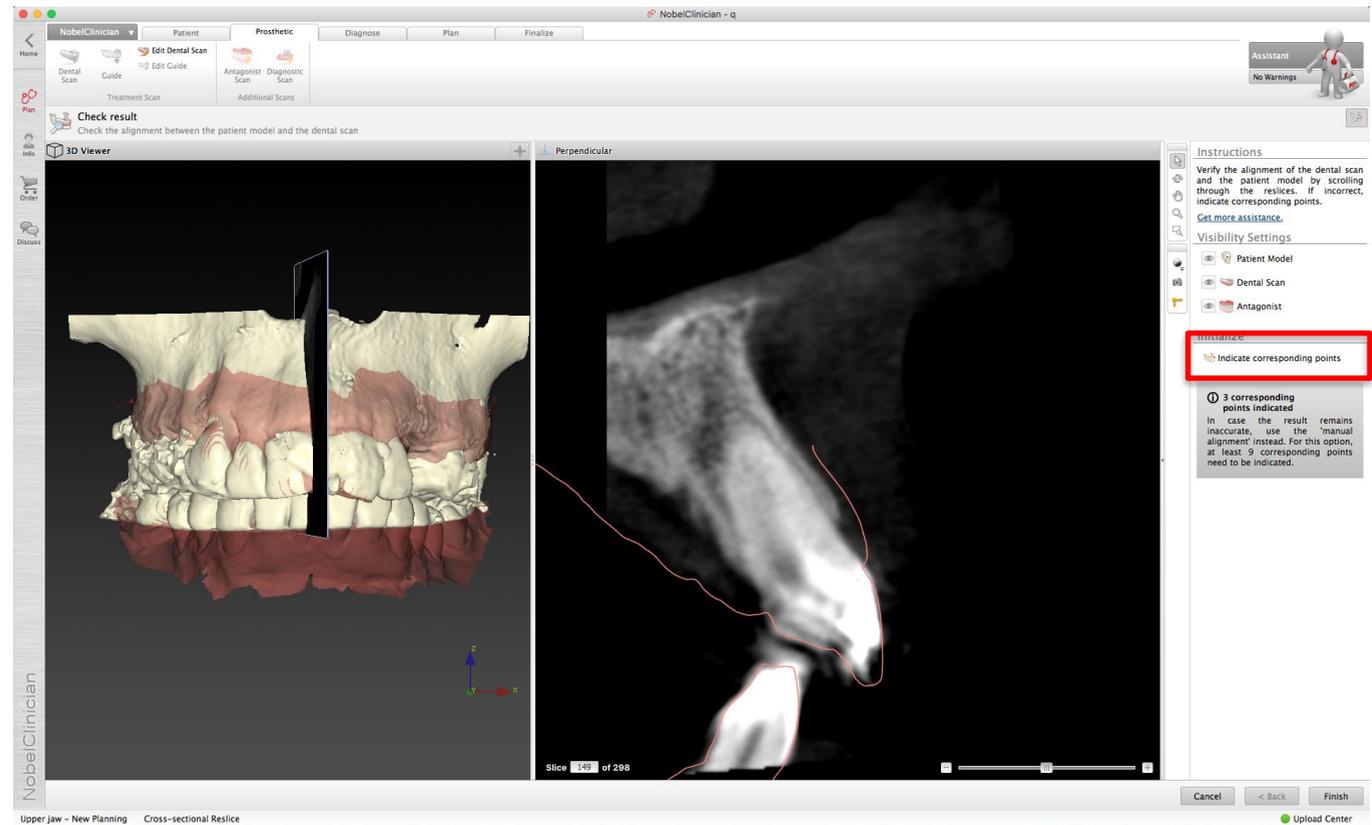


Tools内にあるChange WorkspaceからPanoramic Workspaceを選択します。
Panoramic画像の表示をDisplay as Single Sliceに設定します。
右図の様に、模型をScanしたDental Castまたは口腔内スキャンのデータがCTデータに適合しているかどうかを確認します。

SmartFusionされたデータ Edit Dental Scan (Fusion精度の編集)

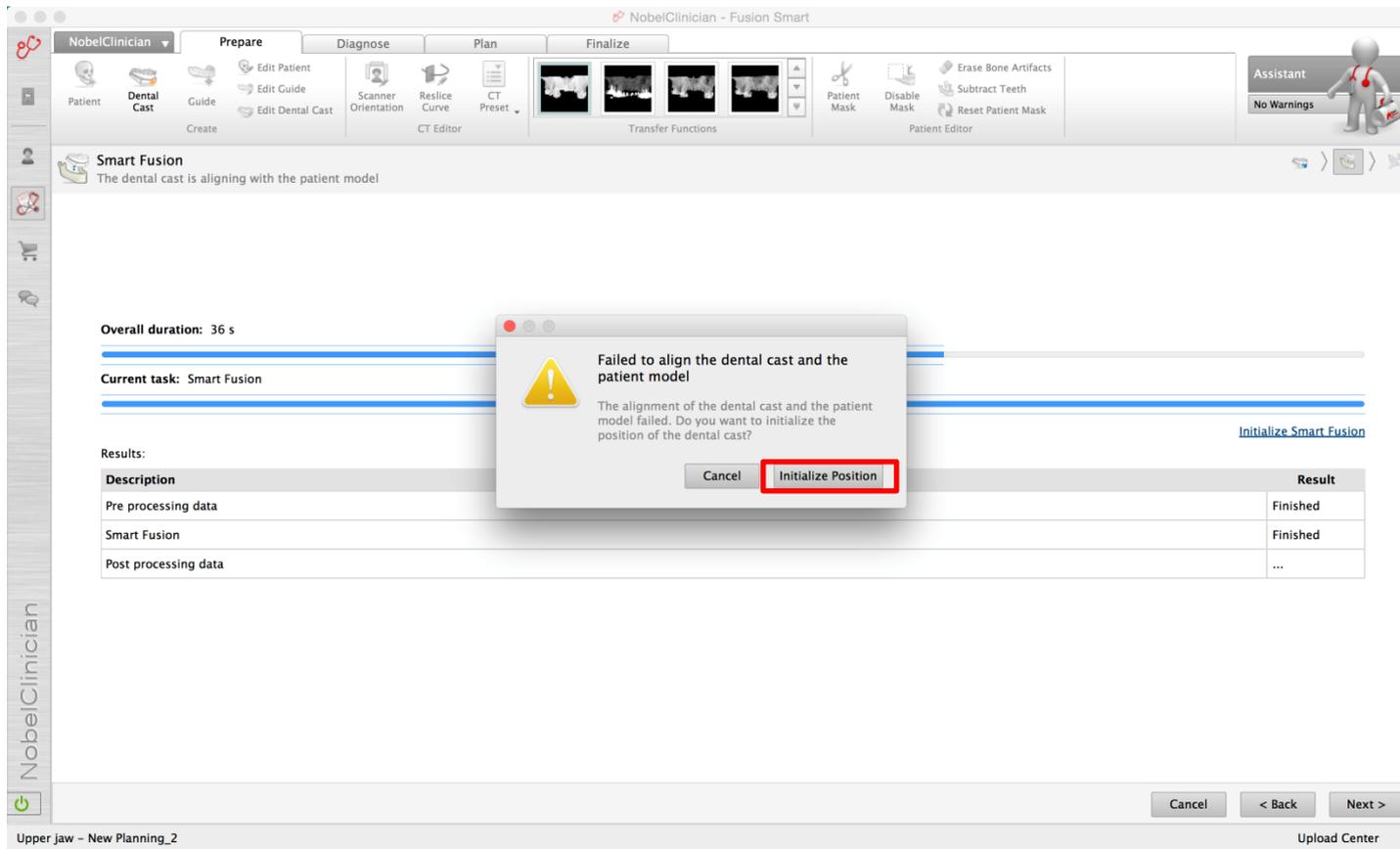


オートマチックでSmart Fusion出来たが、マッチング精度が悪い場合は手動で行います。画面右側のInitializeにある  Indicate corresponding points をクリックします
プランニング画面からは、Edit Dental Scan をクリックします
右図が表示されますので、Initializeにある  Indicate corresponding points をクリックします



SmartFusionが出来ない症例

※ CTデータとScanデータがオートで Fusion しなかった場合



データのFusionが出来ない場合、左図のようなメッセージが表示されます

Initialize Position をクリックしてマニュアルで、Fusionする位置のポイントを記入します

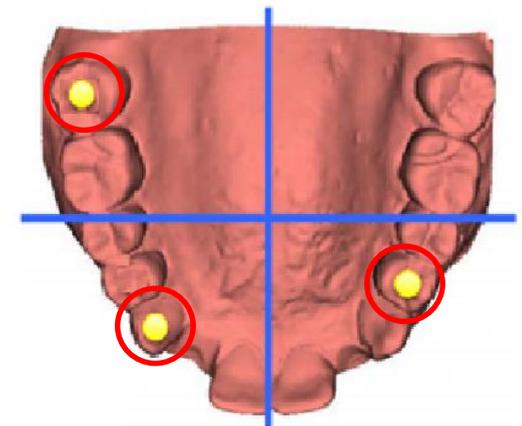
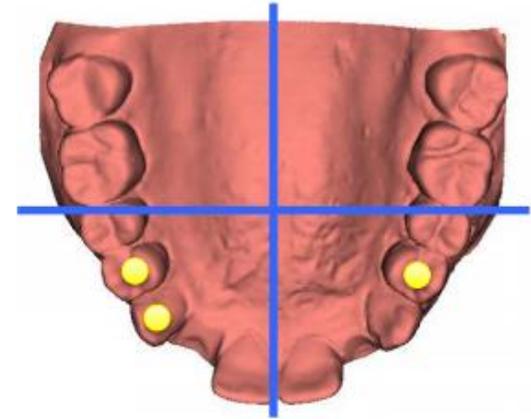
Initialize Points (3点SmartFusion)

 Indicate corresponding points 定義

- ① 3つのポイントをCTデータ、Dental Castまたは、口腔内スキャンデータ双方に同じ位置にポイントを付けてFusionさせます
- ② 顎を4分割(右図)した2か所に3ポイントを付けます

ポイント

- ✓ 右図のように、ポイント3つを3箇所置く(出来る限り範囲を広く)
- ✓ 3D骨モデルのアーティファクトの除去を行う
- ✓ ポイントは、咬合面、唇頬側面、舌側面、何処でもいいですが、3D骨モデルの表面が出来るだけ綺麗な(アーティファクトが除去されている)状態の所にポイントを付けて下さい



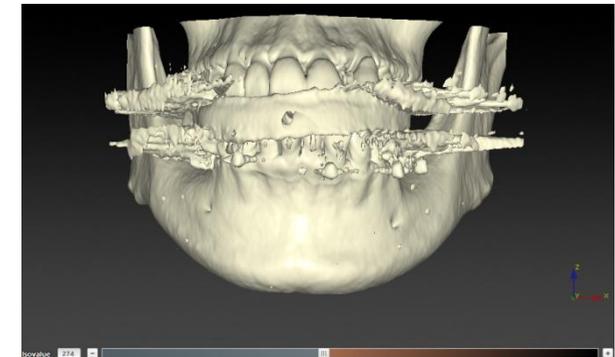
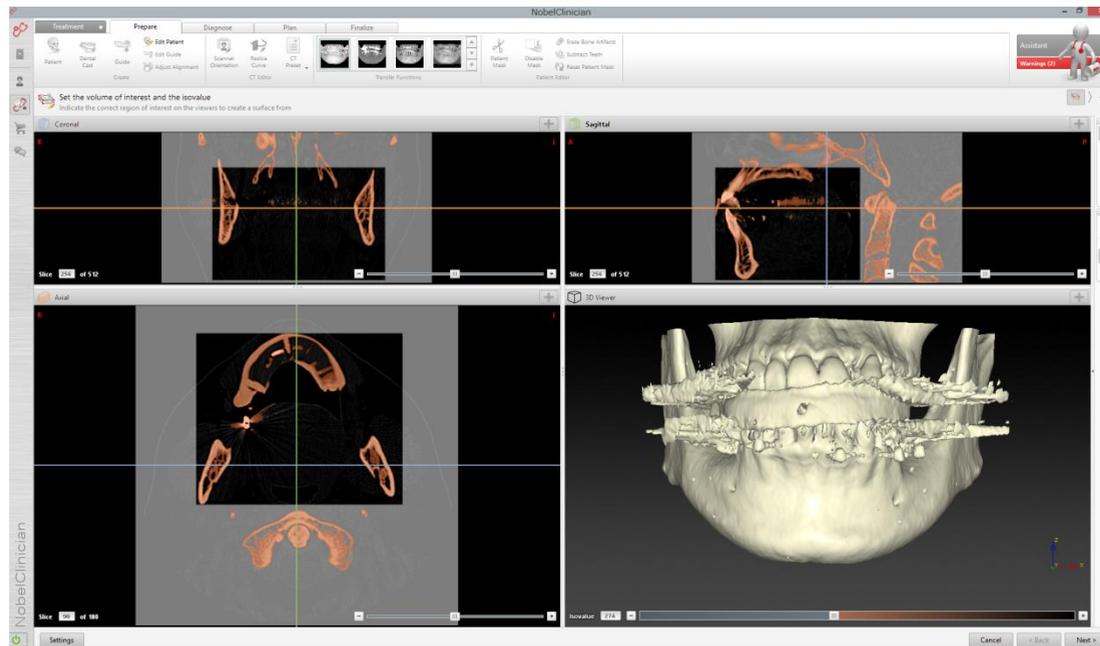
Initialize Points (3点SmartFusion)

 Indicate corresponding points 定義

ポイント

- ✓ ポイントは3箇所置くので、金属のアーティファクトが多い症例でも予め3歯を決めて、3歯のみアーティファクト除去を行えばよい
- ✓ アーティファクト除去は以下の方法でも軽減出来るので、参考にして下さい

Edit Patient 機能を使用して、ISO値を変更します(医科用CTデータ)
歯牙をよく見える様に調整します(数値を上げすぎて歯牙が小さくならない様に)



Isovalue 274



Isovalue 1628

Initialize Points (3点SmartFusion)

Actions

Instructions

Indicate corresponding points:

1. Click a point on the teeth of the patient model.
2. Click a corresponding point on the dental cast.

[Get more assistance.](#)

Actions

 Insert points

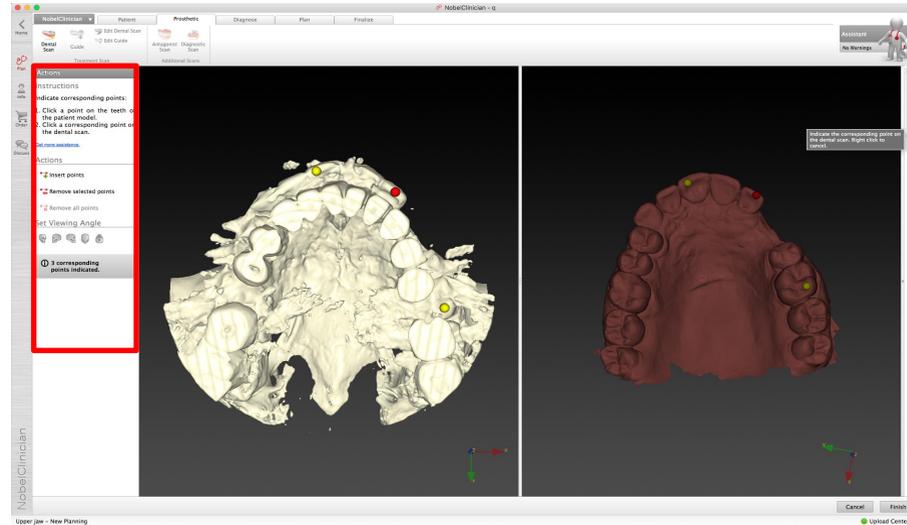
 Remove selected points

 Remove all points

Set Viewing Angle



 3 corresponding points indicated.



ポイントを付ける作業時に、クリックします。Defaultでは即時にポイントを付ける事が出来ます。

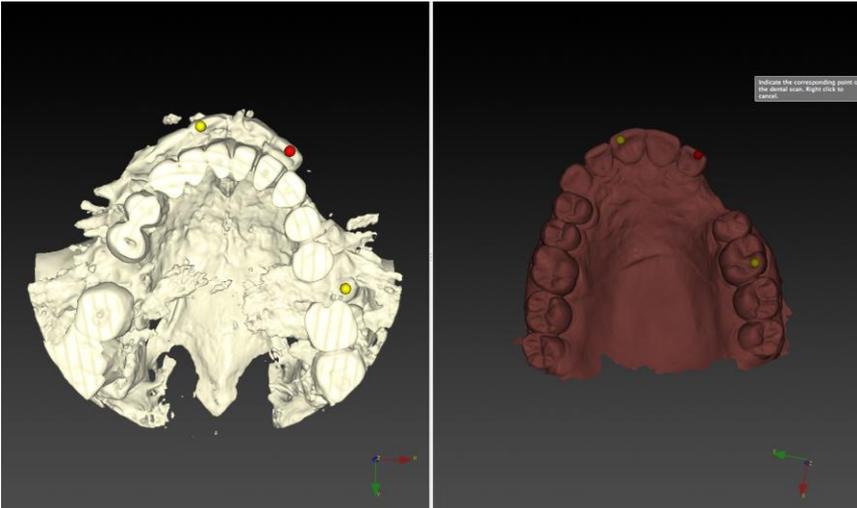
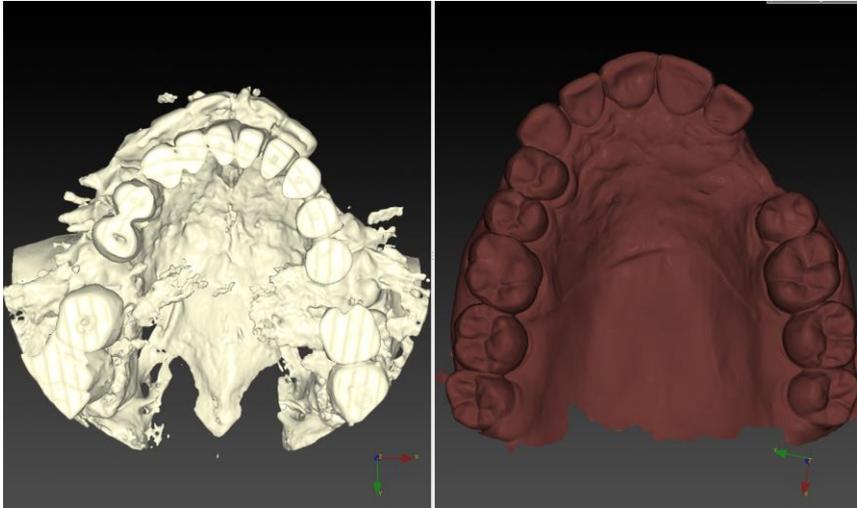
3D骨モデルとDental Castのペアのポイントを消します

全てのポイントを消して、初めから行う場合にクリックします

3D骨モデルとDental Castの方向を同時に動かす事が出来ます
ポイントを付与する作業では、こちらのボタンを押して向きを変更します
左から、正面、左側、右側、上面、下面となっています

Initialize Points (3点SmartFusion)

操作手順1

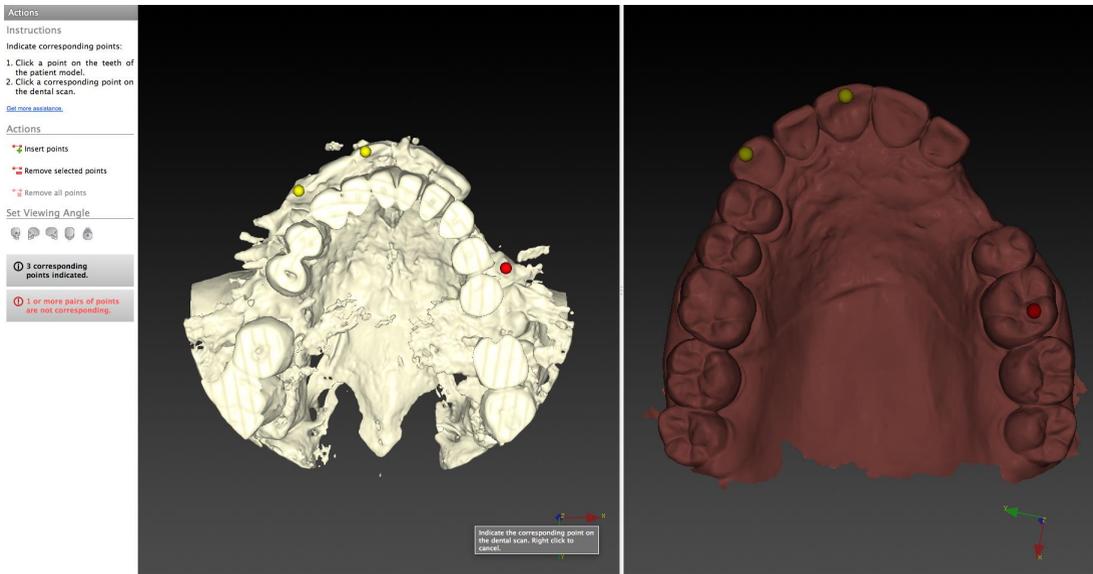


Insert pointsをクリックすると左図の様にポイントを付ける画面に変わります
まずは、左側の3D骨モデルからポイントを付けていきます。次に、Dental Cast(右画面)の3D骨モデルと同じ部位にポイントを付けていきます

ポイントを左図の様に同じ部位(なるべく同じ高さ位置)に付けます
画面左下にある  を使用して、様々な角度から見て頂き、3ポイントを定義に従って付与していきます

Initialize Points (3点SmartFusion)

操作手順2

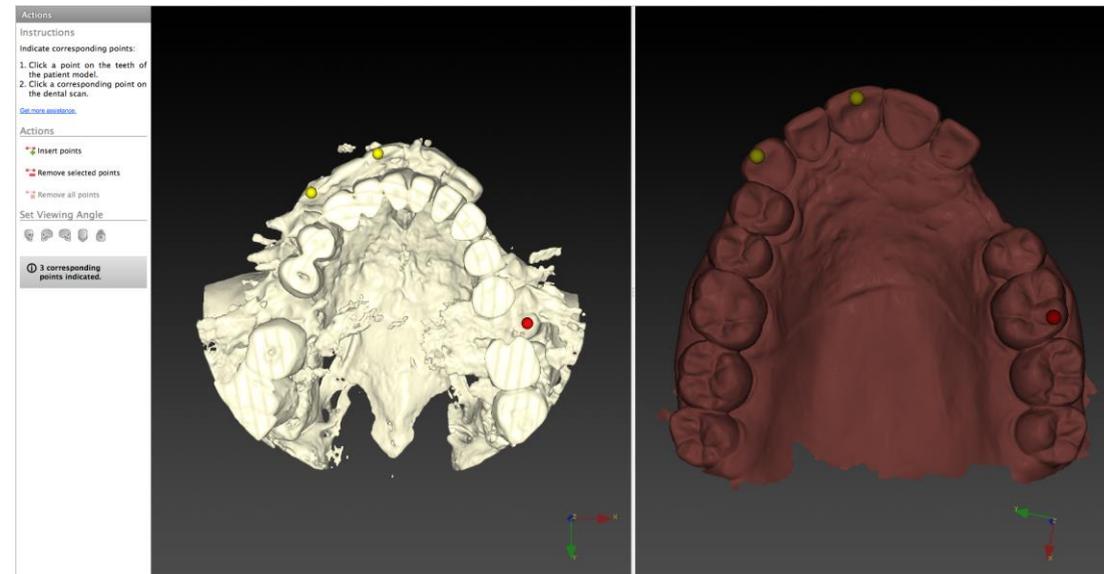


i 2 corresponding points indicated.

2組のポイントは確認出来ました

! Indicate at least 3 corresponding points.

ポイントは、少なくとも3組のポイントが必要です



i 3 corresponding points indicated.

3組のポイントは確認出来ました

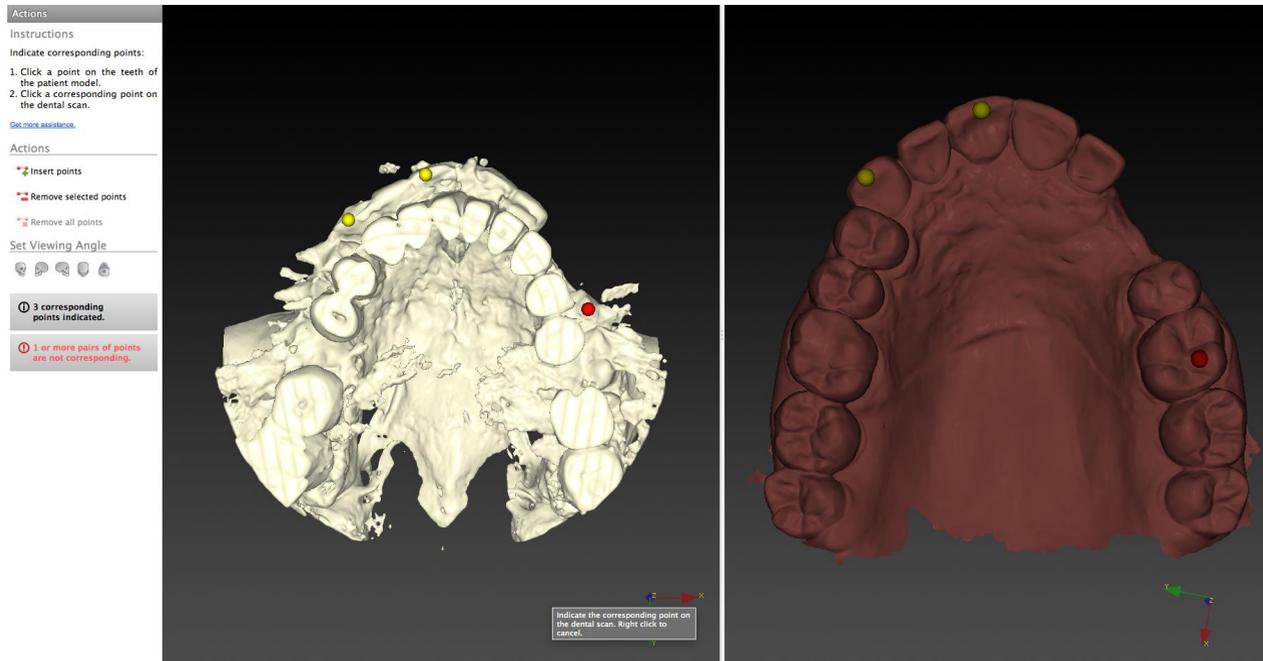
3つのポイントを付けて右上記のメッセージになりましたら、右下のFinishボタンをクリックして下さい

Initialize Points (3点SmartFusion)

ポイントが上手く行かない場合は以下の原因が考えられます

- ✓ アーチファクトなどの除去が綺麗に出来ていない
- ✓ 双方のポイント位置が正しくない
- ✓ Edit Patient(骨データの変換時)で歯牙をカットしている

例



i 3 corresponding points indicated.

! 1 or more pairs of points are not corresponding.

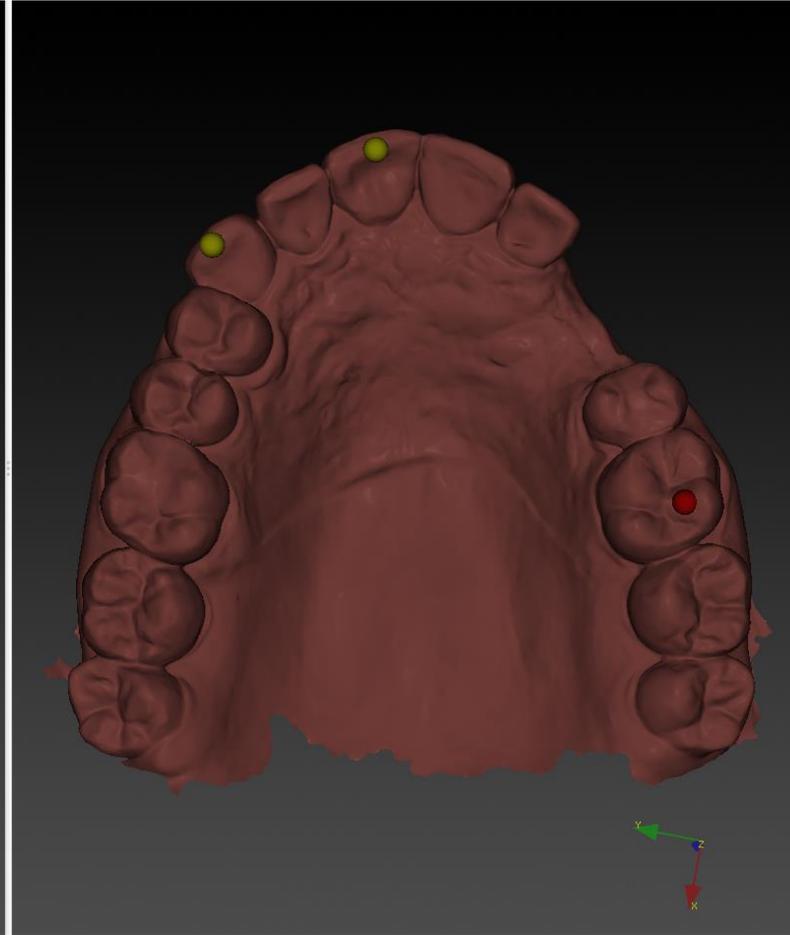
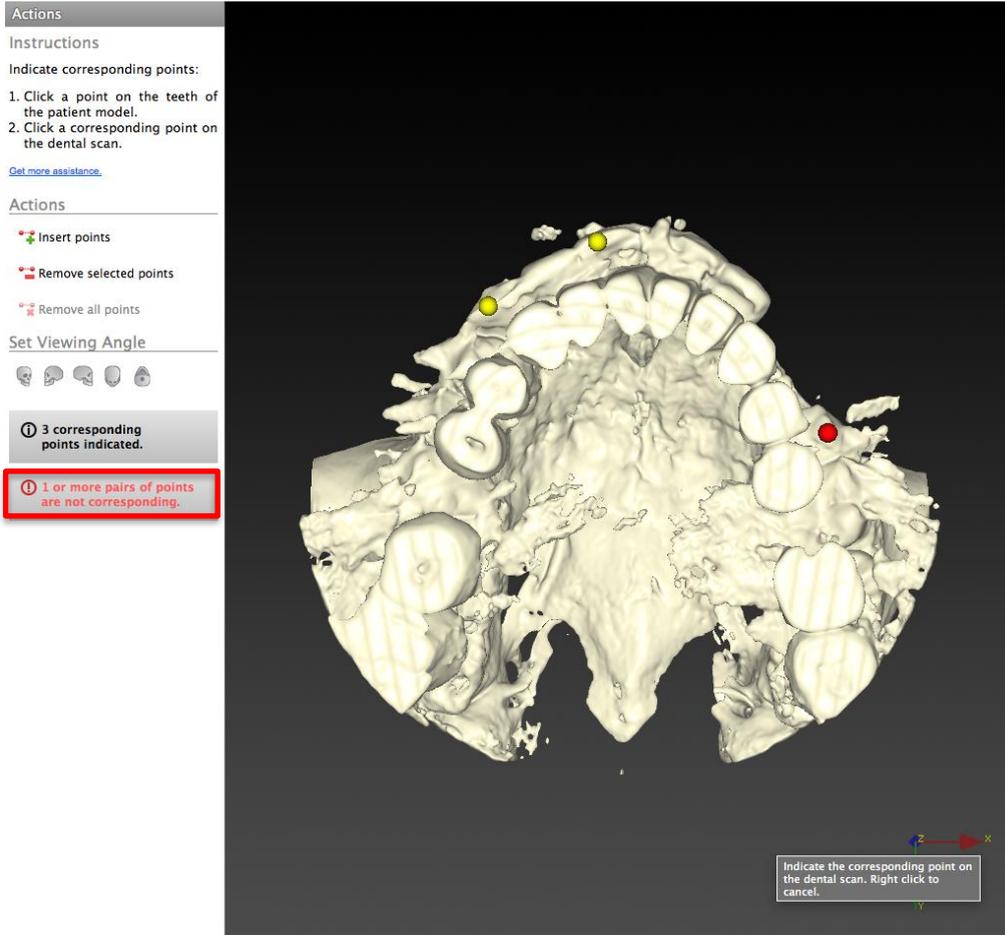
上記の様なメッセージが出ている場合は、双方のポイントの位置や高さが合っていないので、修正をしなければなりません

3組のポイントが確認されました

ポイントの1組以上が、Softwareの規定から外れています。
(ポイントの位置が合っていない)

Initialize Points (3点SmartFusion)

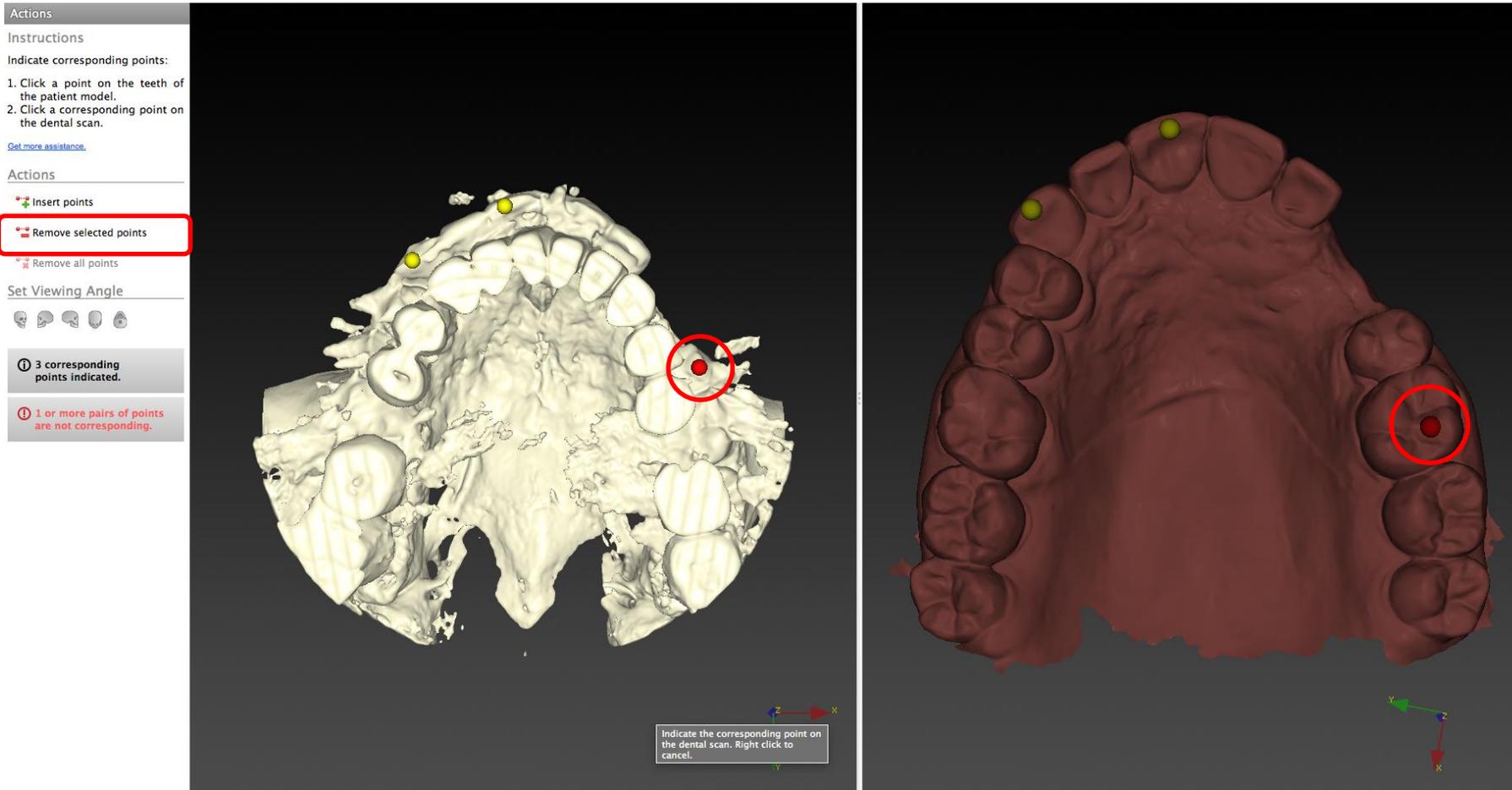
ポイントが上手く行かない場合



3つのポイントを付け終わって上手くいっていない場合は画面上で右クリックし、ポイント付与の状態を解除します

Initialize Points (3点SmartFusion)

ポイントが上手く行かない場合



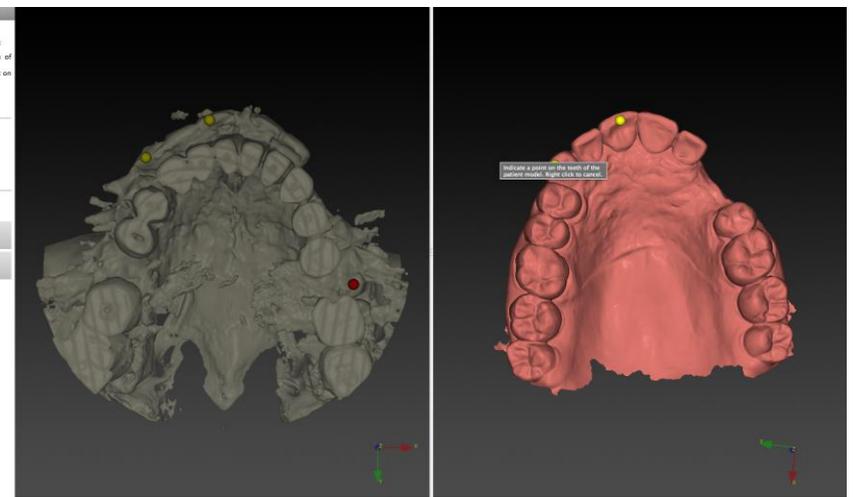
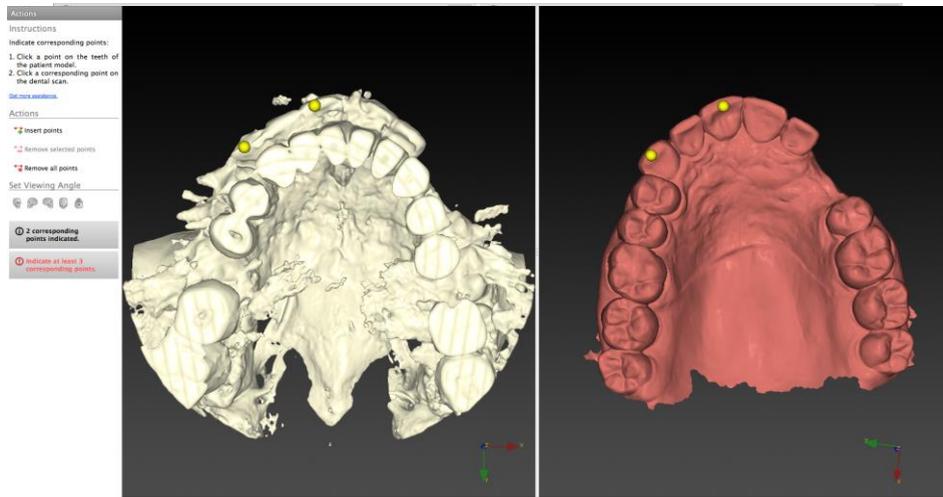
右クリック後、画面左のActionsの機能が全て使用出来るようになります
位置が違っているポイントを1クリックし、Actions内にあるRemove selected pairをクリックして位置が違っているペアのポイントを削除します(全てを消す場合は、Remove all pairs of pointsをクリックします)

Initialize Points (3点SmartFusion)

ポイントが上手く行かない場合

ポイントが消えた状態

3D骨モデルにポイント付与した状態



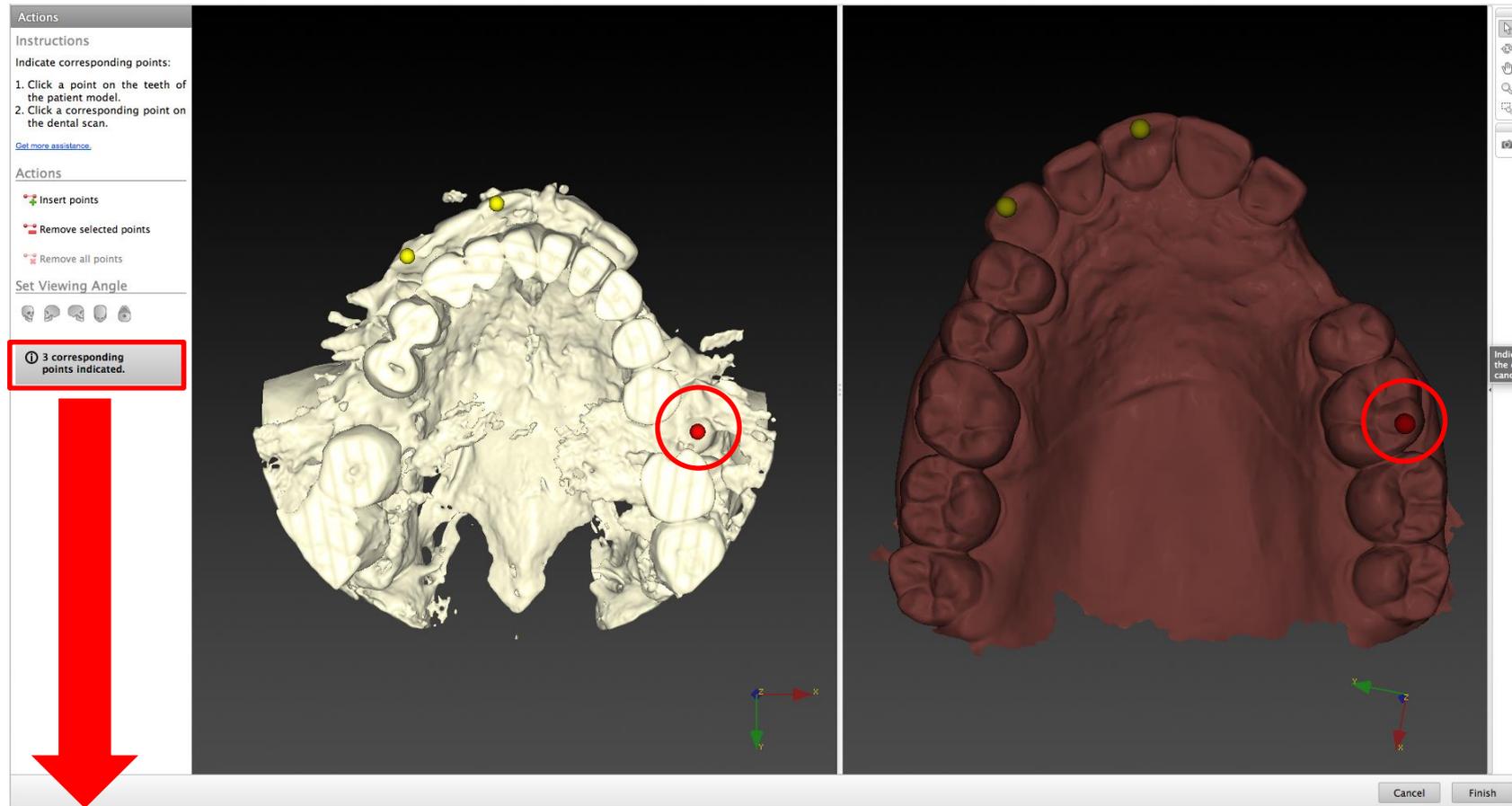
Actions

 Insert points

ポイントが消えたら、画面左のActionsにある Insert Pairs をクリックし、3D骨モデル(左画面)からポイントを付けて、最後にDental Cast(右画面)にポイントを付けます

Initialize Points (3点SmartFusion)

ポイントが上手く行かない場合

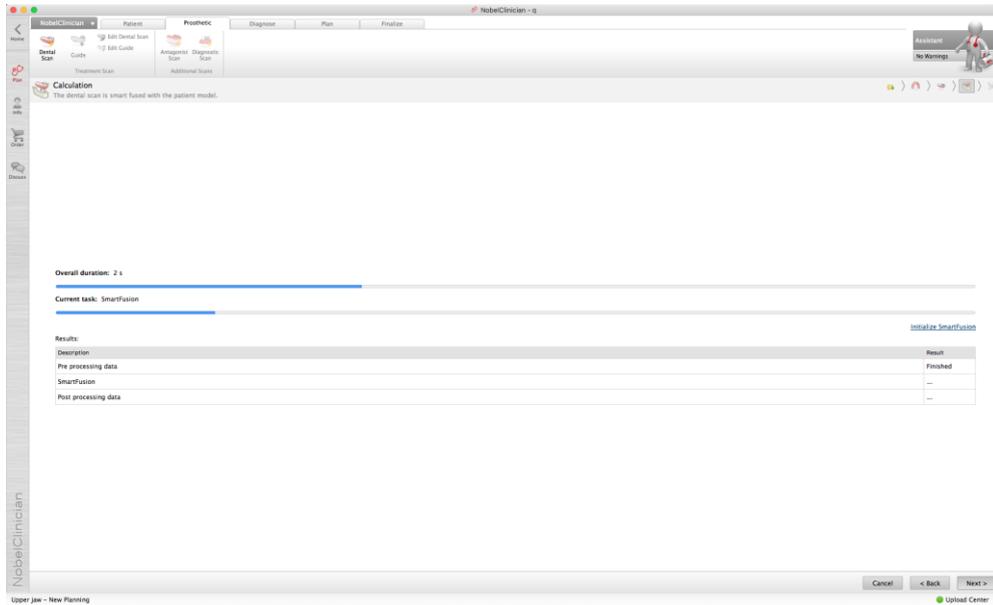


i 3 corresponding points indicated.

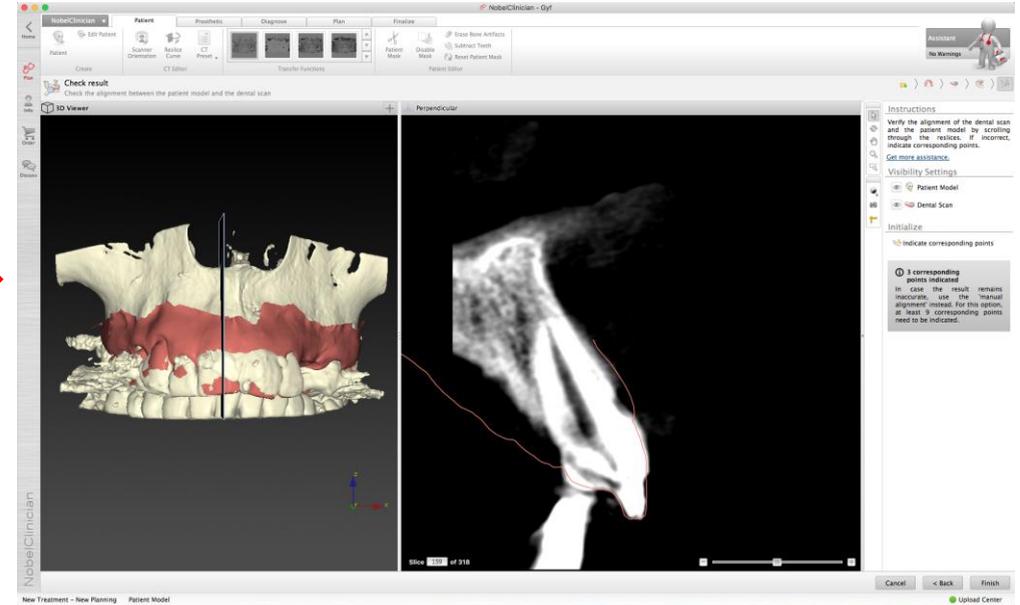
Dental Castにポイントを付けて左図の様に、3組のポイントが確認され他に赤字のメッセージが無くなりましたら、右下のFinishボタンをクリックして下さい

Initialize Points (3点SmartFusion)

Finish後、以下の様に処理が進みます

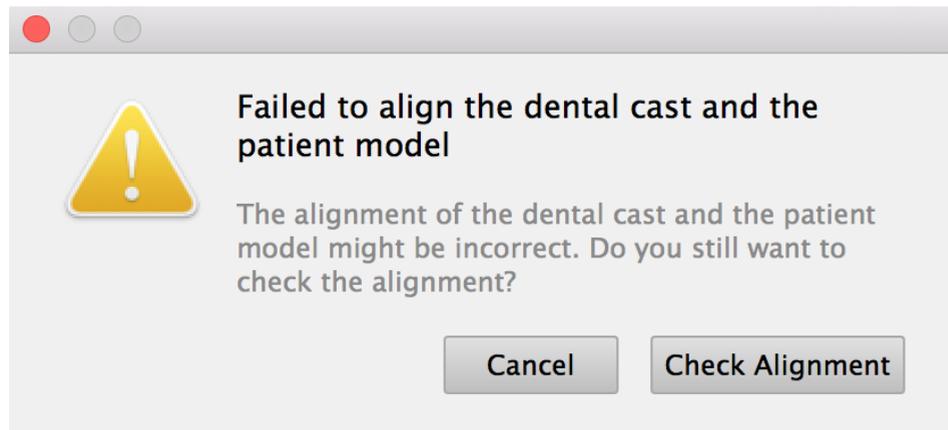


SmartFusionした状態



Initialize Points (3点SmartFusion)

Finish後、以下のメッセージが表示された場合はSmartFusionの規定外な為、アライメントの確認、調整が必要です



SmartFusionの規定とは

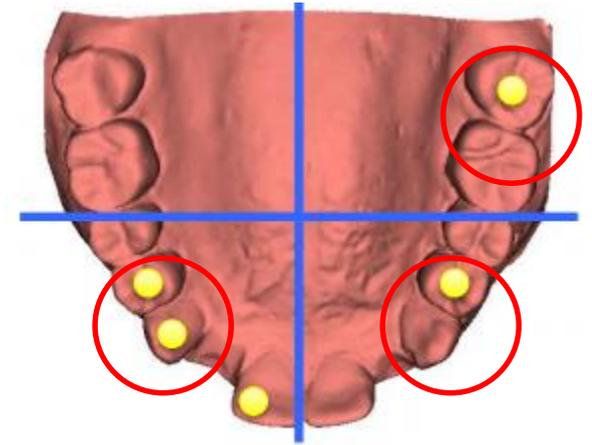
- CTデータと口腔内スキャンデータ&Dental Castデータのアライメントが82%以上されている
- 残り18%は、エラーデータとして処理されます（レジン冠、金属などのアーチファクト）
- SmartFusionの精度は1ボクセル以内である
- エラーは1.5ボクセル以上の誤差がある場合

このメッセージが表示された場合、このままプランニングへ進んでもサージカルテンプレート作成が出来ません。つまり、サージカルテンプレートのオーダーが出来ません。次のページからの内容をご確認の上、作業を行なって下さい

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

Indicate corresponding points 定義

- ① Initialize Smart Fusion後でも、Fusion精度が悪い場合に使用します
- ② 9個のポイントをCTデータ、Dental Cast双方に同じ位置にポイントを付けてマッチングさせます
- ③ 顎を4分割(右図)した3か所に9ポイントを付けます



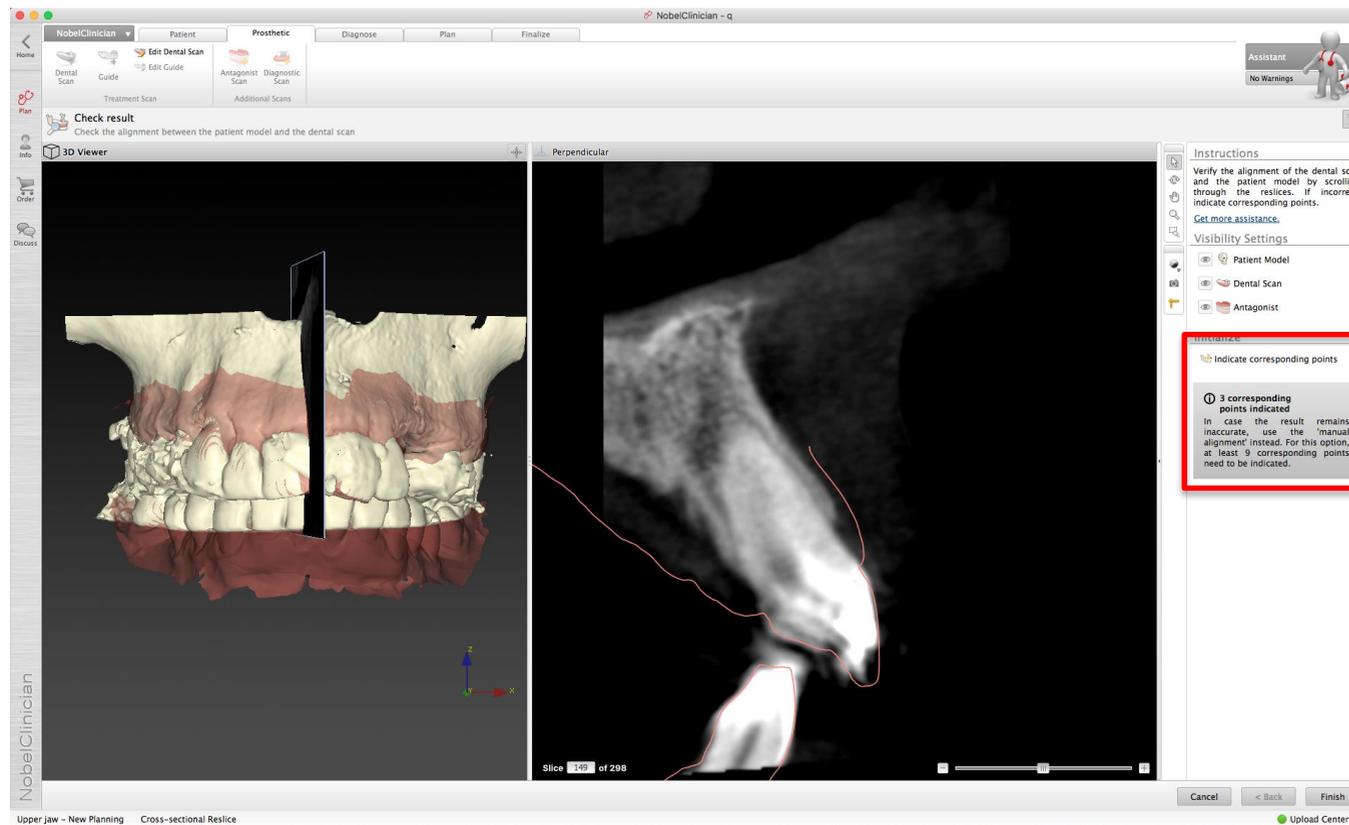
ポイント

- ✓ 全顎的にアーチファクトの除去が必要
- ✓ ポイントは、咬合面、唇頬側面、舌側面、何処でもいいですが、3D骨モデルの表面が出来るだけ綺麗な(アーティファクトが除去されている)状態の所にポイントを付けて下さい
- ✓ 9ポイントは、歯頸部、咬合面と高低差をつけ、前歯、大臼歯それぞれにポイントを付けて頂くとアライメントが取りやすいです
- ✓ ポイントが小さいので、3D骨モデルとDental Castの位置関係を確認しながら慎重に9ポイントを付けて下さい

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

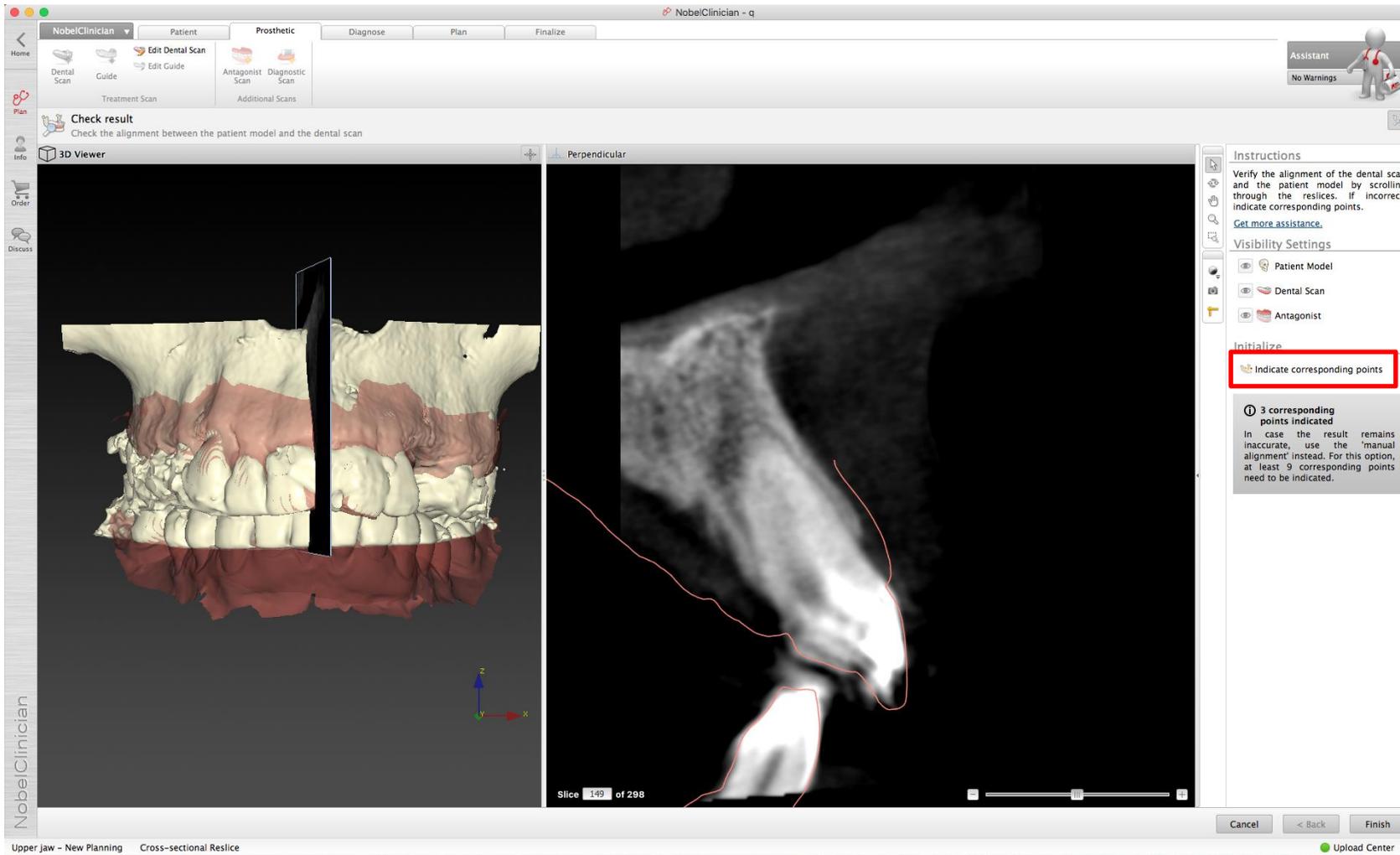


プランニング画面からは
Edit Dental Scanをクリック



3ポイントでSmart Fusionを行った結果、精度が悪い場合は最低9ポイント以上設定して再度Smart Fusionを行います

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)



 Indicate corresponding points をクリックします

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

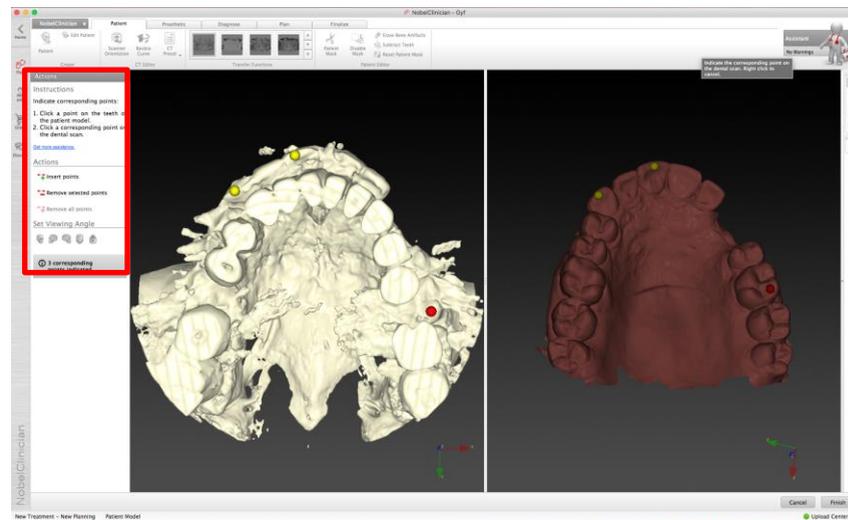
Actions

Instructions

Indicate corresponding points:

1. Click a point on the teeth of the patient model.
2. Click a corresponding point on the dental cast.

[Get more assistance.](#)



Indicate corresponding points をクリックすると左図の画面になります
この画面では、マウスポインターが+になっているので、ポイントを付ける事が出来ます
事前に3組のポイントが認識されていますが、初めから行う場合は左側のActions 内の Remove all points をクリックして全てのポイントを消し、Insert points をクリックしてポイントを付けて下さい

Actions

 Insert points

 Remove selected points

 Remove all points

ポイントを付ける作業時に、クリックします。Defaultでは側時にポイントを付ける事が出来ます。

3D骨モデルとDental Castのペアのポイントを消します

全てのポイントを消して、初めから行う場合にクリックします

Set Viewing Angle



3D骨モデルとDental Castの方向を同時に動かす事が出来ます
ポイントを付与する作業では、こちらのボタンを押して向きを変更します
左から、正面、左側、右側、上面、下面となっています

 3 corresponding points indicated.

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

Actions

Instructions

Indicate corresponding points:

1. Click a point on the teeth of the patient model.
2. Click a corresponding point on the dental cast.

[Get more assistance.](#)

Actions

 Insert points

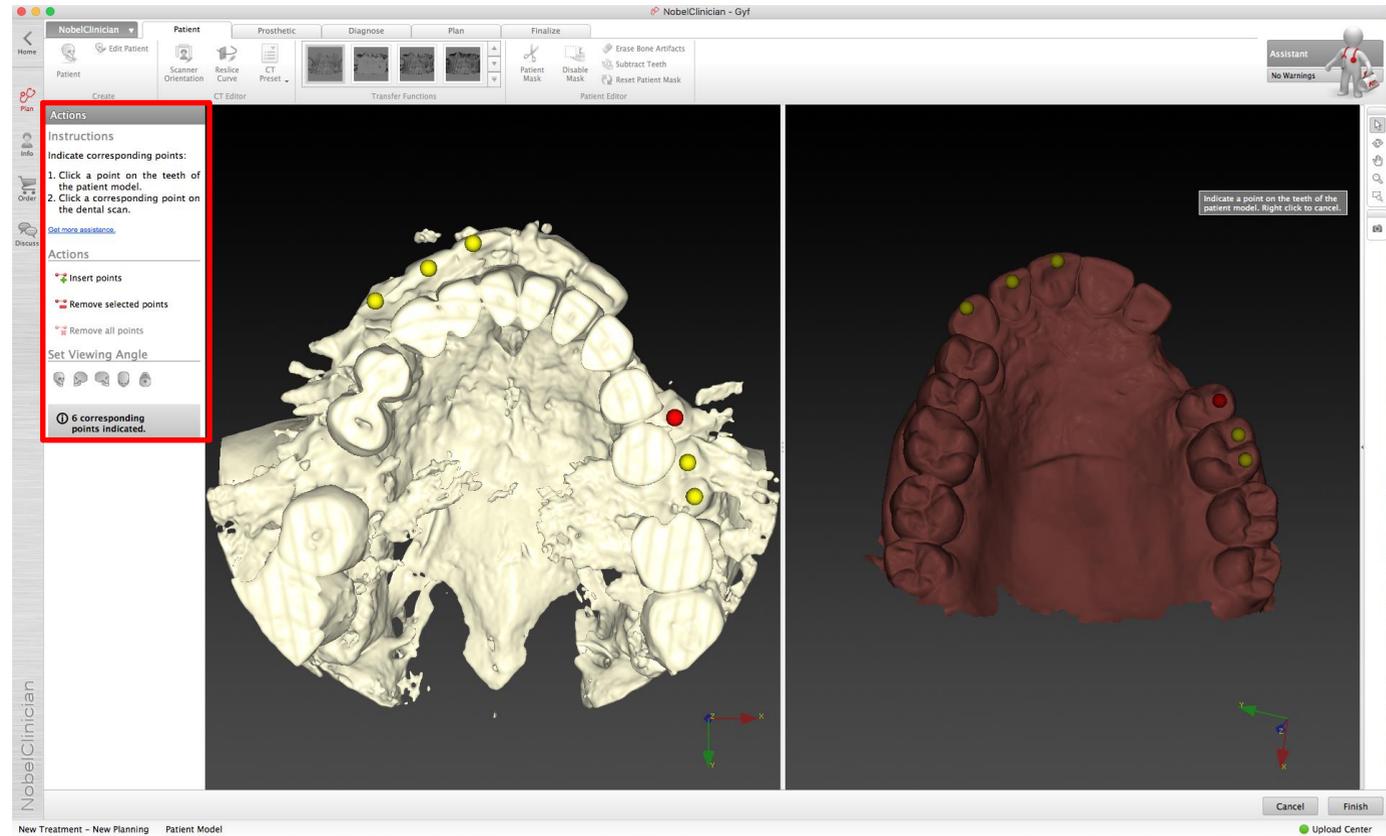
 Remove selected points

 Remove all points

Set Viewing Angle



 6 corresponding points indicated.



ポイントを付けて行くと左図のActions 内下側のメッセージが変わっていきます
この左図では、6組のポイントが対応されています

 6 corresponding points indicated.

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

Actions

Instructions

Indicate corresponding points:

1. Click a point on the teeth of the patient model.
2. Click a corresponding point on the dental cast.

[Get more assistance.](#)

Actions

 Insert points

 Remove selected points

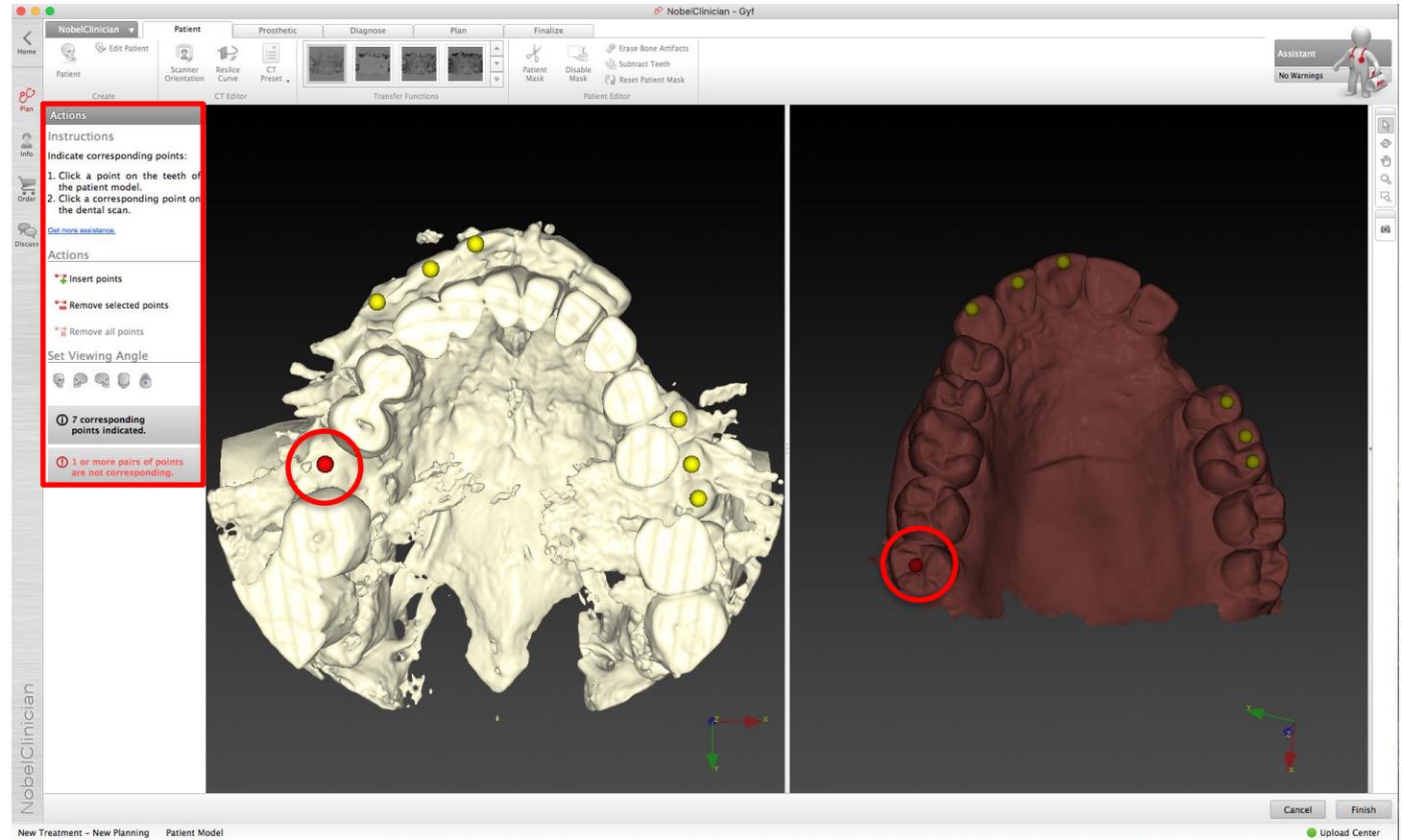
 Remove all points

Set Viewing Angle



 7 corresponding points indicated.

 1 or more pairs of points are not corresponding.



顎骨のポイントとDental Castのポイント位置を誤ってしまった場合は、左図のようなメッセージが赤字で表示されます

1組以上のポイントが、対応していない つまり、同じ位置ではないという事になります

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

Actions

Instructions

Indicate corresponding points:

1. Click a point on the teeth of the patient model.
2. Click a corresponding point on the dental cast.

[Get more assistance.](#)

Actions

 Insert points

 Remove selected points

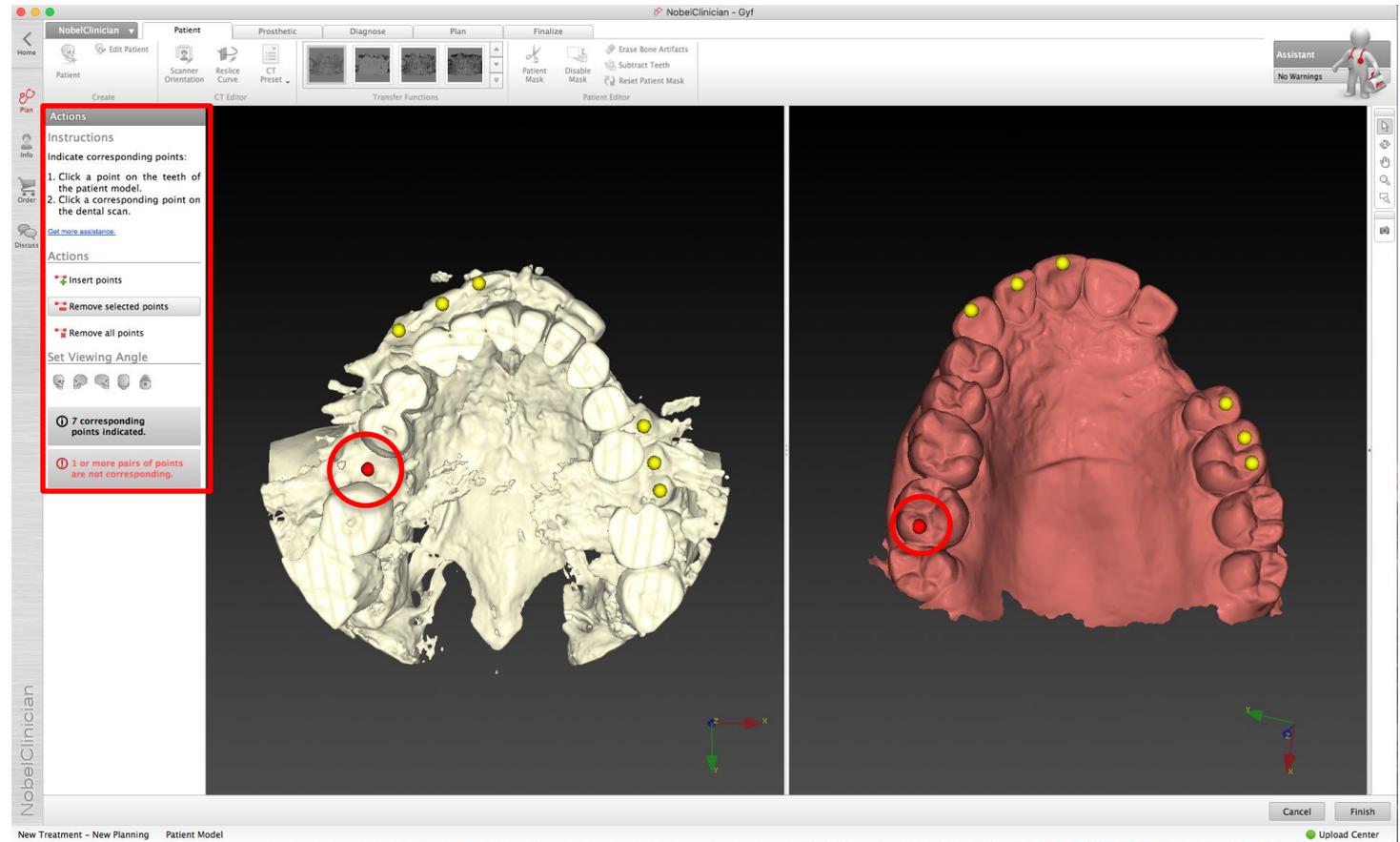
 Remove all points

Set Viewing Angle



 7 corresponding points indicated.

 1 or more pairs of points are not corresponding.



ポイントの位置を誤った位置に付けてしまった場合は、マウスを右クリックして一度Insert pointsの作業をリセットします

Action内のRemove selected pointsが使用出来る状態になるのでクリックして削除します

※削除するポイント(ペア)が赤色になっている事を確認して下さい。赤色になっていない場合は、ポイントをクリックして赤色にしてから、Remove selected pointsをクリックします

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

Actions

Instructions

Indicate corresponding points:

1. Click a point on the teeth of the patient model.
2. Click a corresponding point on the dental cast.

[Get more assistance.](#)

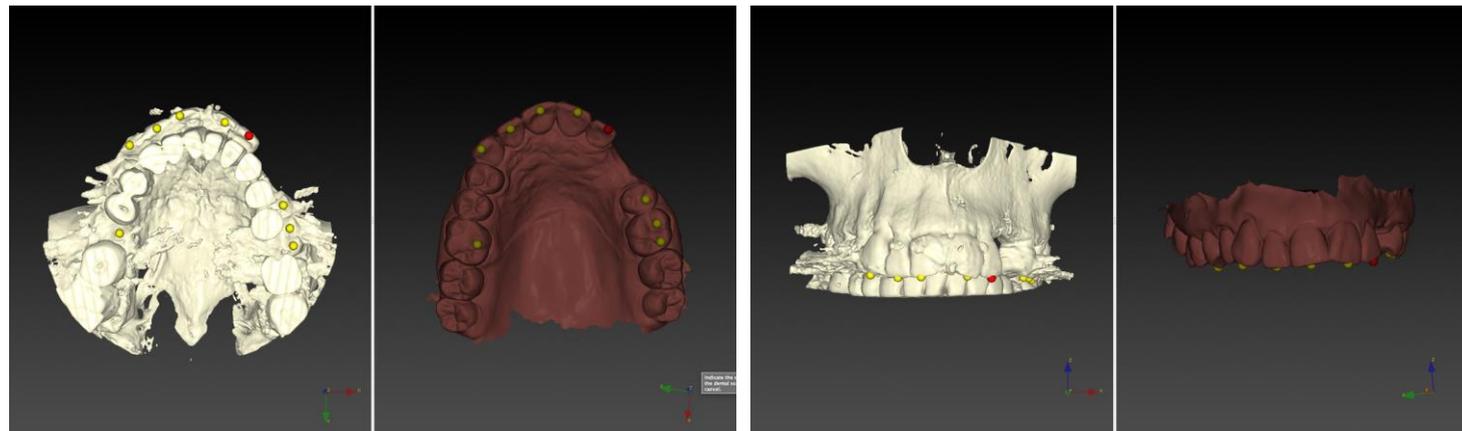
Actions

 Insert points

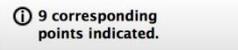
 Remove selected points

 Remove all points

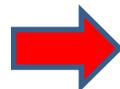
Set Viewing Angle



ポイントを上図の様に同じ部位(なるべく同じ高さ位置)に付けます
ActionsにあるSet Viewing Angle      を使用して、様々な角度から見て頂きポイントを9個を付けていきます

9個のポイントを付けて  のメッセージになっている事を確認して下さい

 9 corresponding points indicated.



このメッセージが表示されましたら、右下のFinishをクリックします

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

Instructions

Verify the alignment of the dental scan and the patient model by scrolling through the reslices. If incorrect, indicate corresponding points.

[Get more assistance.](#)

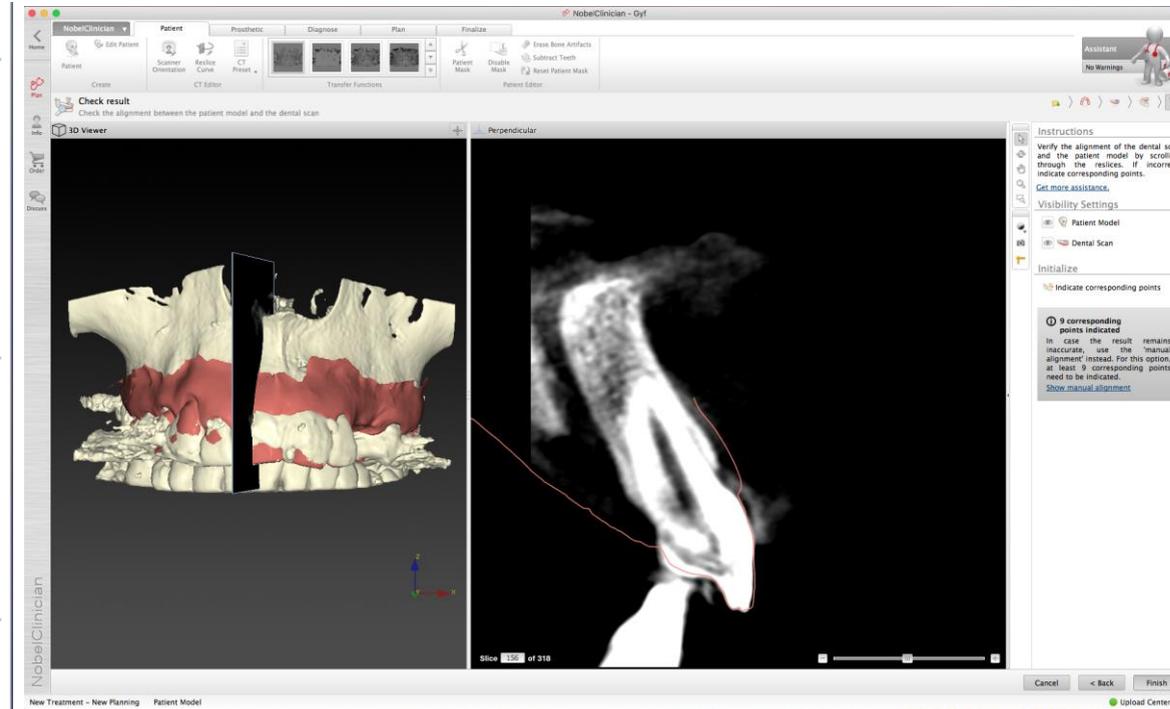
Visibility Settings

  Patient Model

  Dental Scan

Initialize

 Indicate corresponding points



i 9 corresponding points indicated

In case the result remains inaccurate, use the 'manual alignment' instead. For this option, at least 9 corresponding points need to be indicated.

[Show manual alignment](#)

何のメッセージも表示されずに上図の画面が表示された場合は、SmartFusionが出来た事になるので、サージカルテンプレートの製作、オーダー送信が可能です。
精度の確認をし、右下のFinishをクリックしてプランニング画面へ

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

Instructions

Verify the alignment of the dental scan and the patient model by scrolling through the reslices. If incorrect, indicate corresponding points.

[Get more assistance.](#)

Visibility Settings

  Patient Model

  Dental Scan

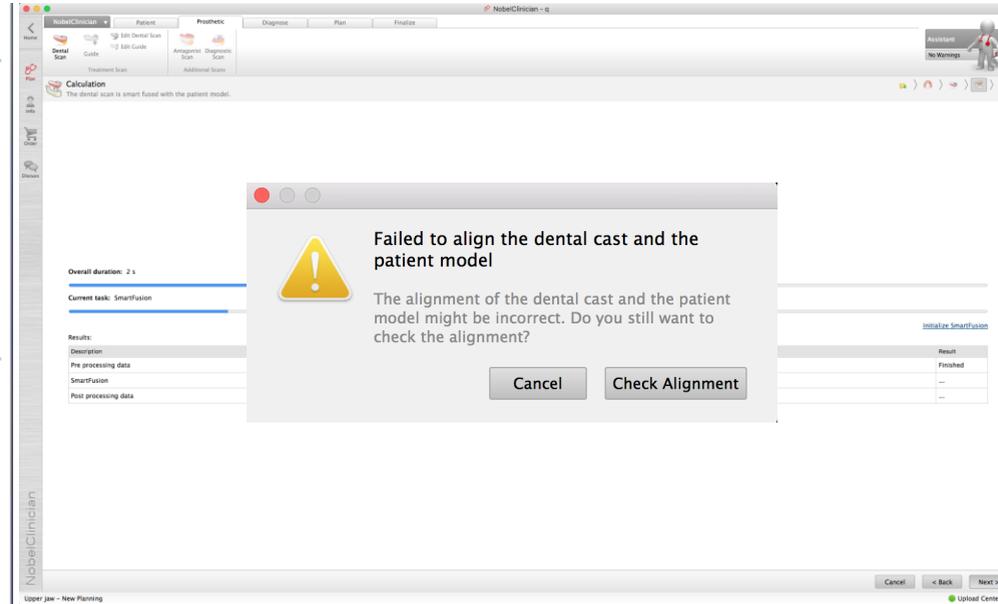
Initialize

 Indicate corresponding points

9 corresponding points indicated

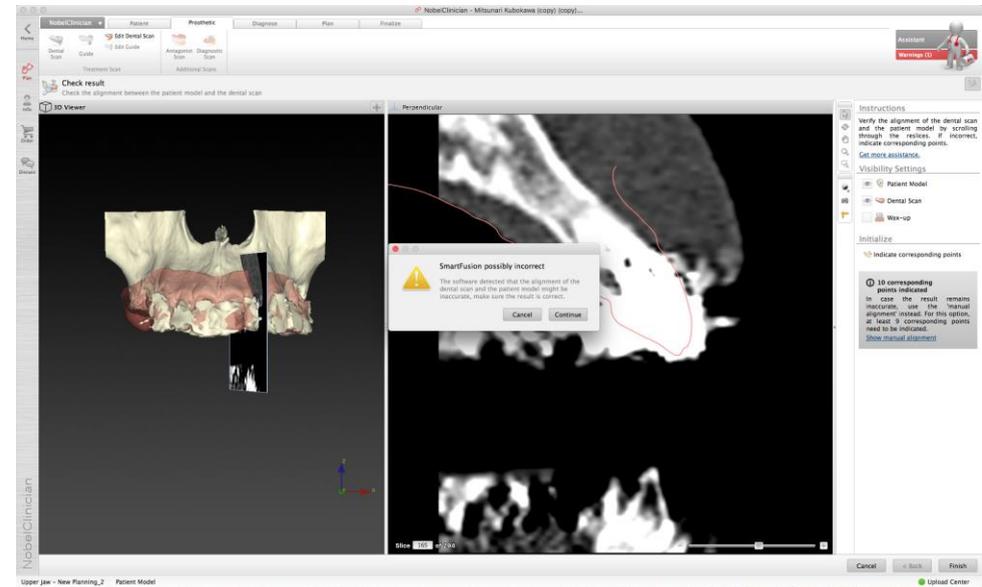
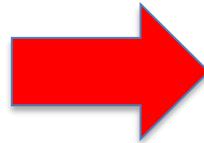
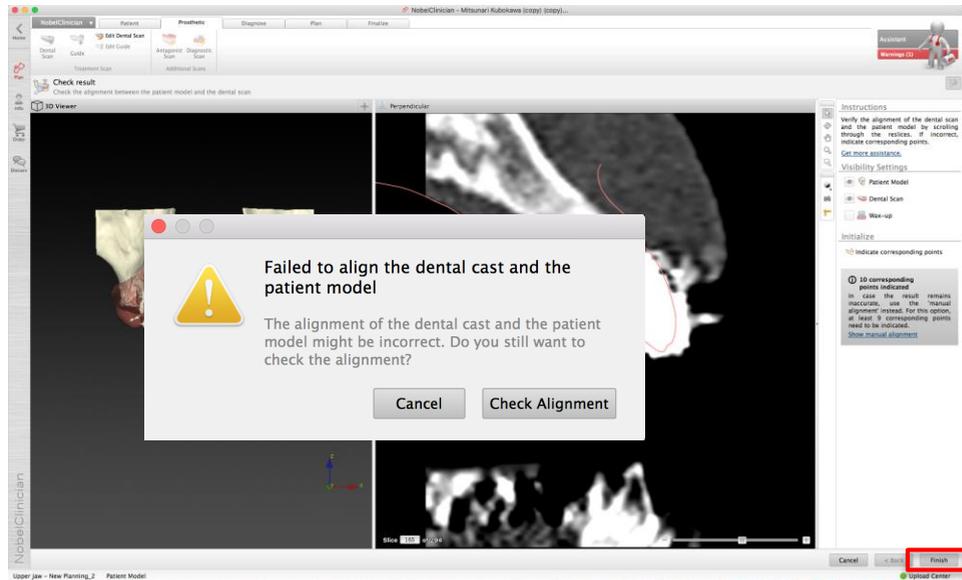
In case the result remains inaccurate, use the 'manual alignment' instead. For this option, at least 9 corresponding points need to be indicated.

[Show manual alignment](#)



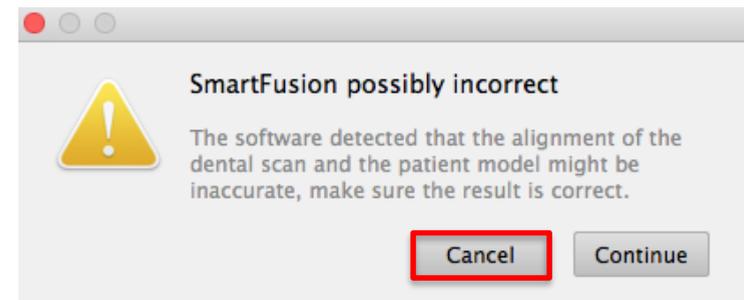
この画面で下図のメッセージが表示された場合、SmartFusionは出来ないという事になります。
この場合、従来からのラジオグラフィックガイド法に変更するか、このデータを使用してマニュアルマッチングを行うかになります
マニュアルマッチングを行う場合は、次ページをご覧ください。

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)



Finish

9点以上のポイントを点けてもSmartFusionの規定に達しない場合、**Finish**を押しても右のメッセージが表示されます。
Continueをクリックしプランニングをしても**サージカルテンプレート**の製作が出来ません。
マニュアルマッチングを行う場合は、**Cancel**をクリックします



Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

i 9 corresponding points indicated

In case the result remains inaccurate, use the 'manual alignment' instead. For this option, at least 9 corresponding points need to be indicated.

[Show manual alignment](#)

9組のポイントが対応された

Smart Fusionの結果の精度が悪い場合、オプションとして手動のアラインメントが使用出来ます。このオプションでは、少なくとも9組のポイントが対応する必要があります。

Show manual alignmentをクリックすれば、設定した9ポイントのマッチングになります

メッセージが黒字で表示されている場合は、組になったポイントを元に、Smart Fusionしています
Smart Fusionの定義に沿ってオートマティックで行われています
メッセージが赤字で表示されている場合は、組になったポイント9組でアラインメントを行っています
9組のポイントでのマニュアルマッチングになり、SmartFusionではありません



! Dental cast manually aligned

This option can introduce small inaccuracies. Check the dental cast alignment carefully. If incorrect, make sure the corresponding points are positioned correctly.

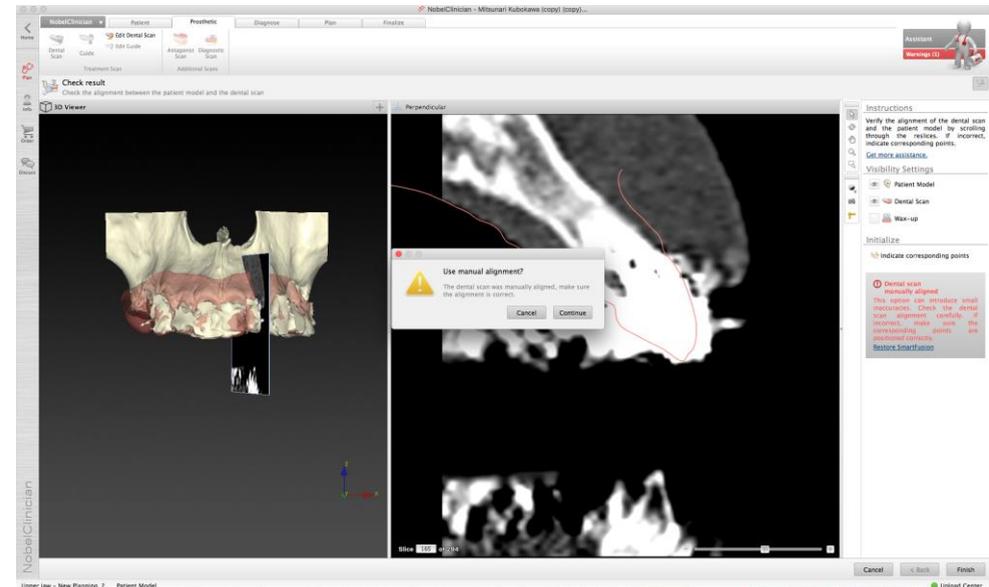
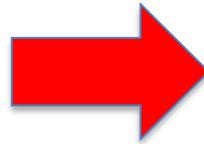
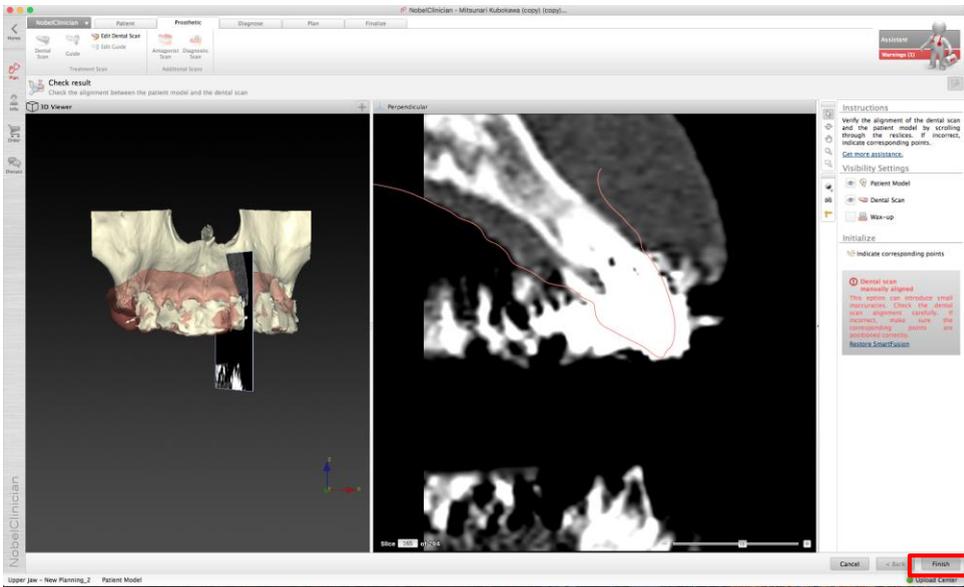
[Restore Smart Fusion](#)

Dental Cast は手動で位置合わせを行った

このオプション機能は、小さな誤差を生じる可能性があります。必ず、骨データとDental Castとの精度の確認をして下さい。正しくない場合は、骨データとDental Cast双方のポイントの位置を確認して下さい。

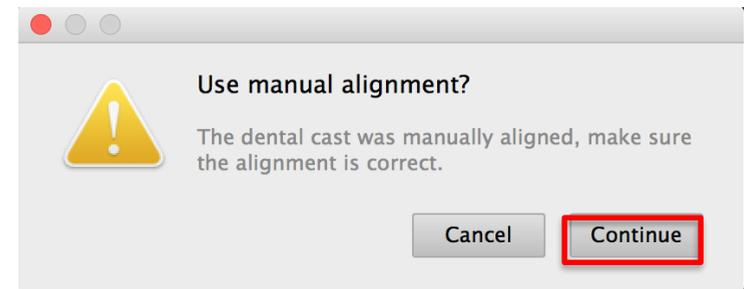
Restore Smart Fusionをクリックすれば、9ポイント位置を基準にしたSmartFusionになります

Edit Dental Scan (9点SmartFusion or マニュアルマッチング)

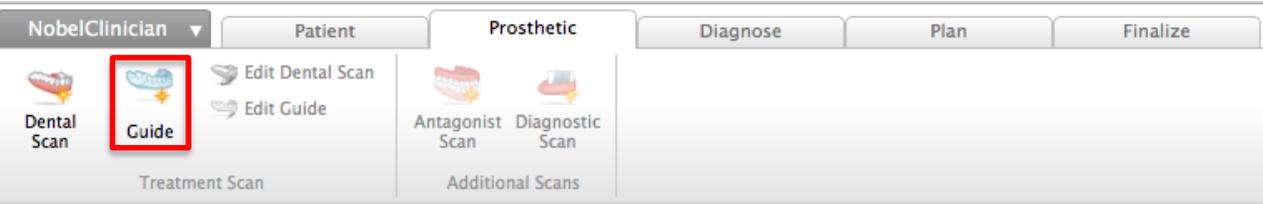


Finish

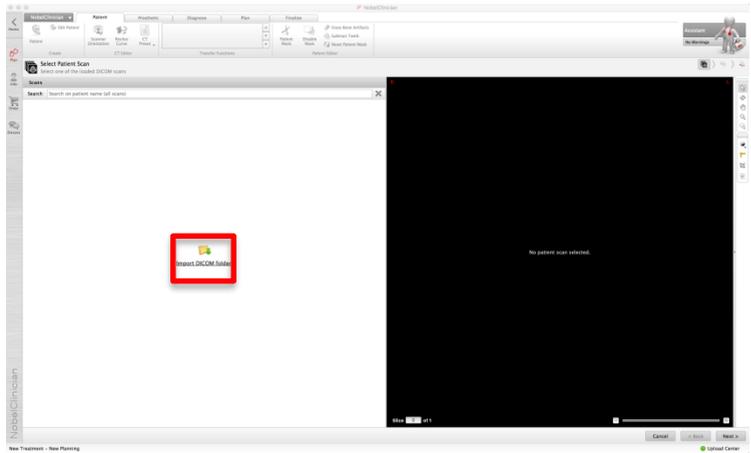
精度の確認後、右下のFinishボタンをクリックします
Finishをクリックすると、右図のメッセージが表示されます
これは、「**マニュアルアライメントのデータを使用しますか?**」
と聞いています。そして、**Dental castがマニュアルでマッチングされた為、必ず位置が正しいかの確認をして下さい**
と表示されています
問題無い場合は、Continueをクリックしてプランニング画面へ進みます



Planning画面 Prosthetic (Guide) ラジオグラフィックガイドデータ取込み

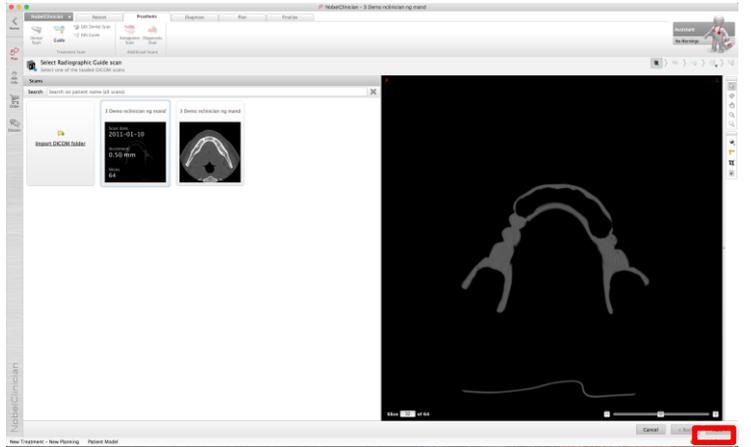
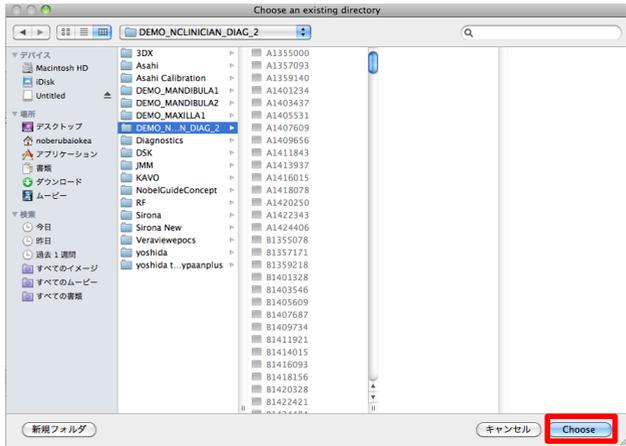


Step1 Guideをクリックします



Import DICOM folder

Import DICOM folderをクリックしてDICOMデータを選択してOKボタン(MacではChoose)をクリックします



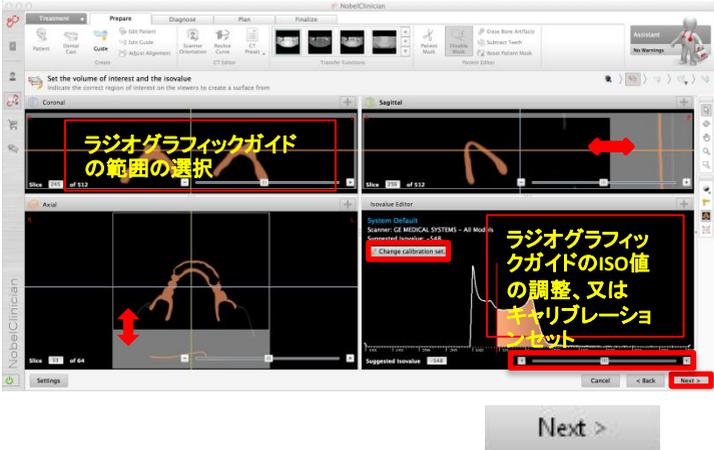
ラジオグラフィックガイドのデータの確認が出来ましたら、右下のNextをクリックします

Next >



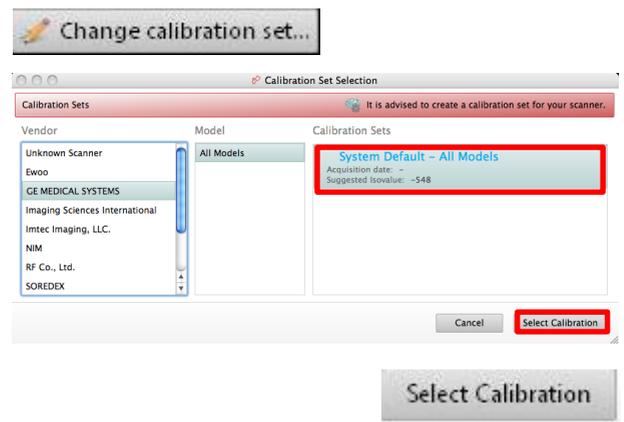
Planning画面 Prosthetic (Guide) ラジオグラフィックガイドデータ取込み

3D画像にする範囲、ISO値の設定

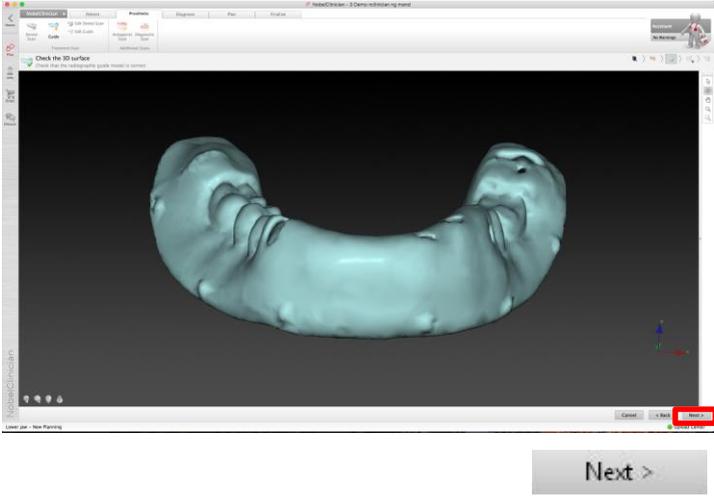


ISO値の設定は、サージカルテンプレートの適合に大きく関係しますので必ず確認して下さい
 CBCTデータは、キャリブレーションを行う事を強くお勧めします
 次ページを参照下さい

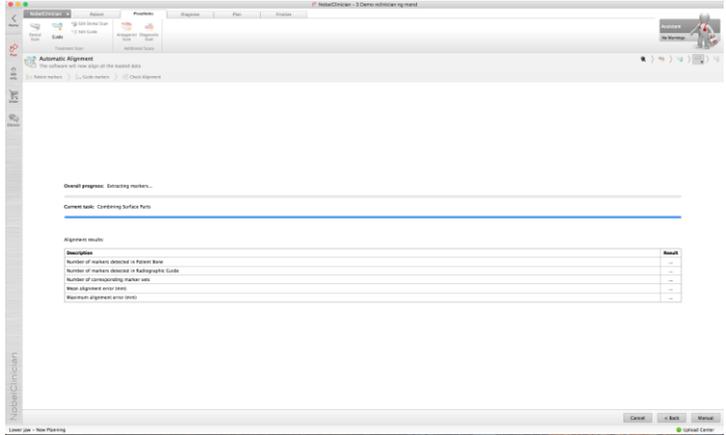
キャリブレーションデータがある場合はこちらでセットします



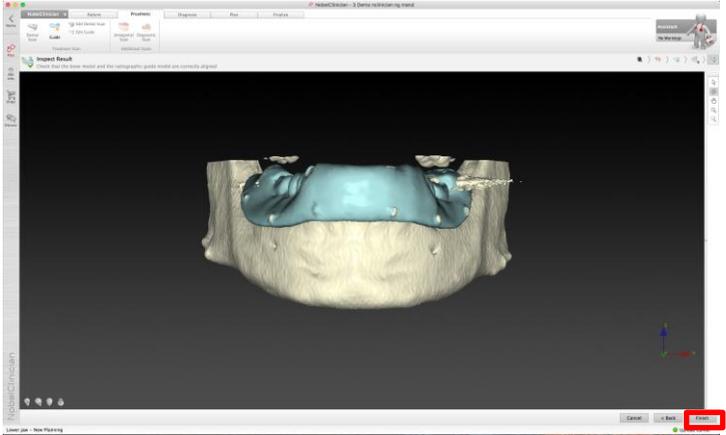
ラジグラフィックガイド3D画像の確認



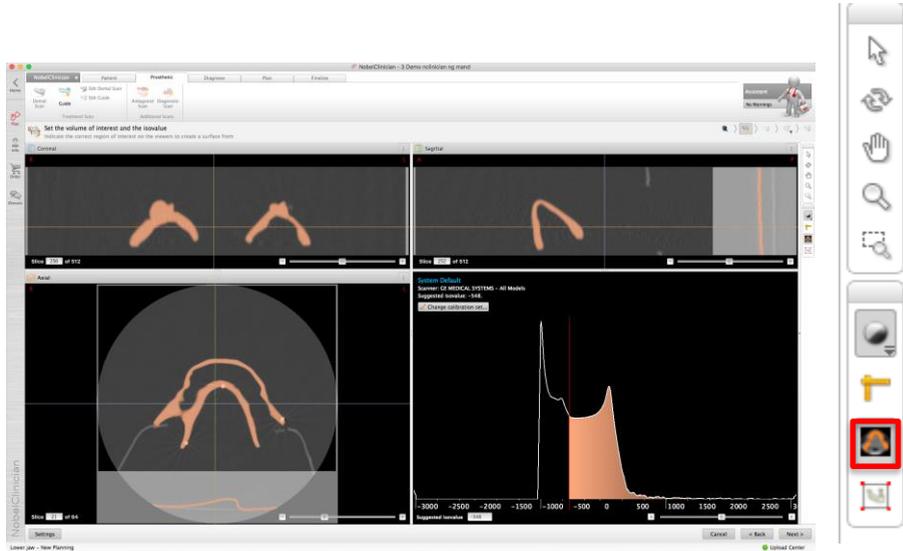
マーカーの検出とマッチングを自動で行う



骨モデルとラジグラフィックガイドがマッチングした状態

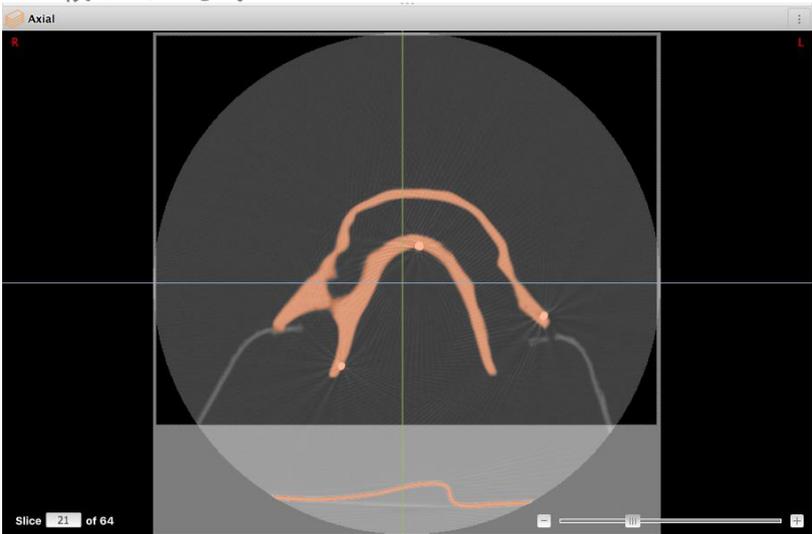


Planning画面 Prosthetic (Guide) ラジオグラフィックガイドデータ取込み

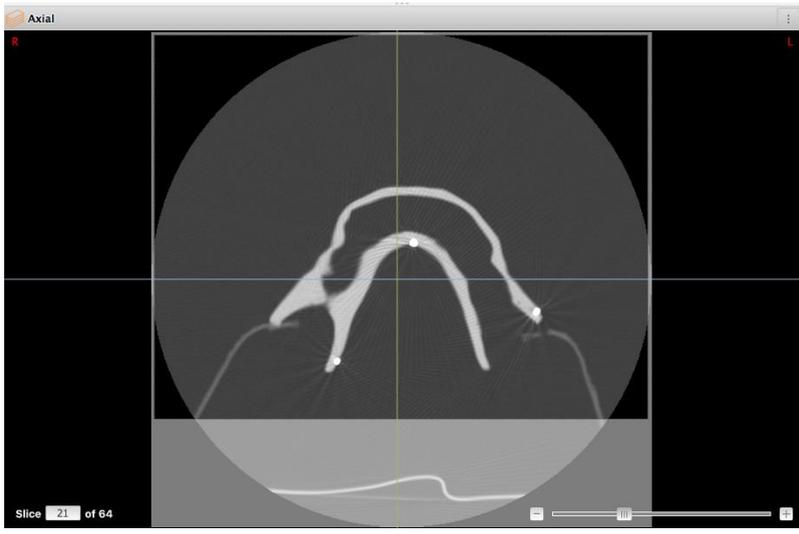


Show maskをクリックすると、オレンジ色が消えてラジオグラフィックガイドCT画像が表示されます
NobelClinicianでは、オレンジ色の部分が3D画像になりますので、CT画像上にオレンジ色が綺麗に表示されていれば、ラジオグラフィックガイドがそのまま3D画像としてソフトウェアに表示され、精度の高いサージカルテンプレートが製作されます
つまり、ISO値の設定は、サージカルテンプレート適合精度に大きく関わっていますので、慎重に設定して下さい
キャリブレーションを行えば、この設定はせずキャリブレーションデータをセットするだけで毎回セットされたISO値で変換されます

ラジオグラフィックガイドCT画像の上にオレンジ色が載っています



ラジオグラフィックガイドCT画像



概要

【はじめに】

コンピュータ支援の計画を手術に正しく繋げるには、サージカルテンプレートが周囲の軟組織や、残存歯に正確かつ安定してフィットすることが大事です。この優れたフィットを確保するため、使用する(CB)CT画像データから正しくラジオグラフィックガイドの3D形状を抽出されなければなりません。その為には、ラジオグラフィックガイドのISO値を正しく選択することが重要です。キャリブレーションを実施する事によって自動的にそのCTスキャナーにあったISO値を決定できます。

【プロトコル】

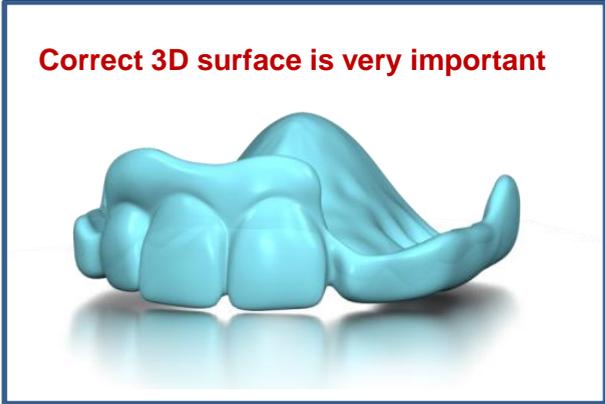
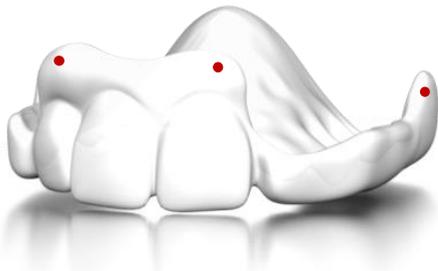
ラジオグラフィックガイドの適正なISO値は、キャリブレーション・オブジェクトの(CB)CTスキャンを追加する事で、自動的に得ることができます。

キャリブレーションは、使用するスキャナとスキャナのプロトコルに依存します。そのため、お手持ちのスキャナーのために、少なくとも1度は手順を実行して下さい、またそのスキャナーのソフトウェアやハードウェアが更新された時、またはメンテナンスされるたびにこのキャリブレーションを繰り返すことを推奨します。さらに、スキャナーの経年劣化の為、最低半年に1度キャリブレーション手順を繰り返すことを推奨します。

Planning画面 Prosthetic (Guide) Calibration CBCT用

キャリブレーションを行う意味は？ ラジオグラフィックガイドのデジタル化

サージカルテンプレートはラジオグラフィックガイドを(CB)CTで撮影し、デジタル化した3Dラジオグラフィックガイドの表面を基に作製されます。ラジオグラフィックガイドの形状を正確に写しとる為に、デジタル3Dのラジオグラフィックガイドが実物と同じでなければなりません。



ラジオグラフィックガイド



(CB)CTイメージから作成されたデジタル3Dのラジオグラフィックガイドの表面

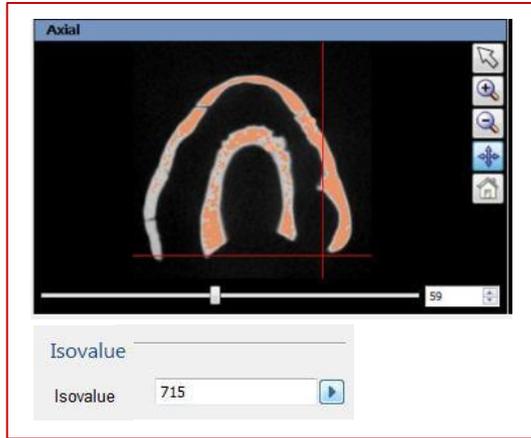


サージカルテンプレート
デジタル3Dのラジオグラフィックガイドの表面を基本にした形状に3Dインプラントを計画したもの

Planning画面 Prosthetic (Guide) Calibration CBCT用

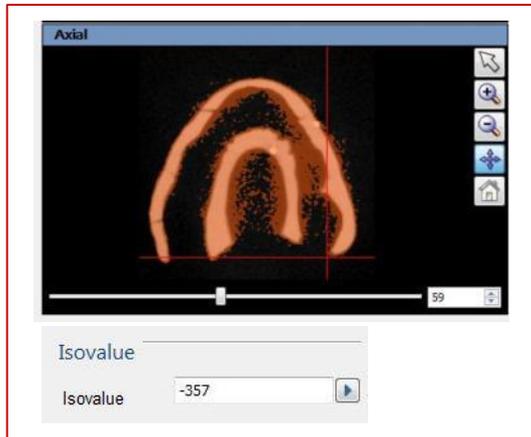
キャリブレーションを行う意味は？ ISO値によって限定される3D表面

1 これまでのソフトによるISO値の選択



ISO値が高すぎる場合:

ラジオグラフィックガイドの3D表面は正しく表示されません。この場合ラジオグラフィックガイドの3D表面は実物より薄くなります。



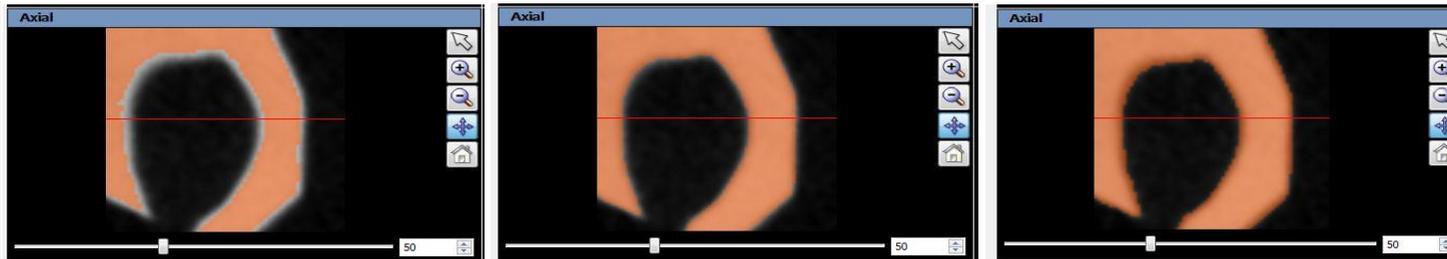
ISO値が低すぎる場合:

ラジオグラフィックガイドの3D表面は正しく表示されません。この場合ラジオグラフィックガイドの3D表面は実物より厚くなります。

キャリブレーションを行う意味は？ ISO値によって限定される3D表面

2 Level/Window も考慮する必要があります。

同じISO値でも、level / window の設定が異るとラジオグラフィックガイドの3D表面が変わります。



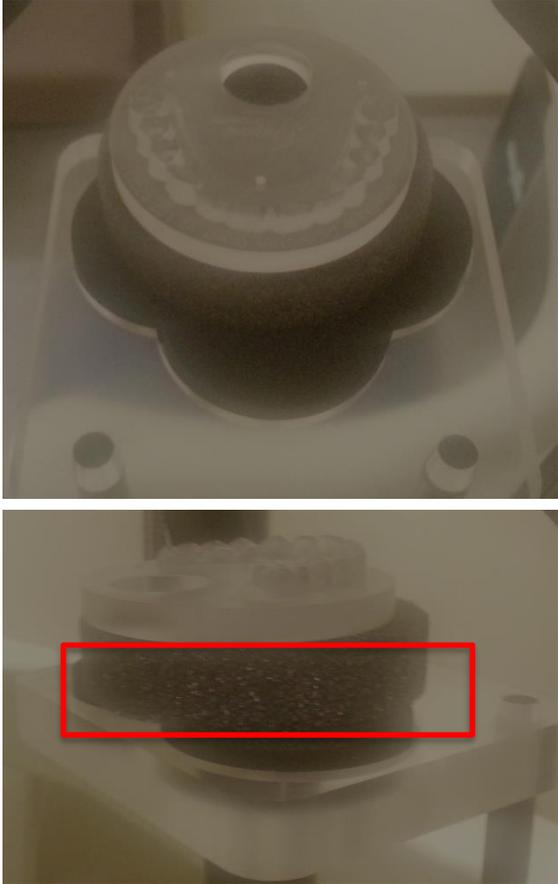
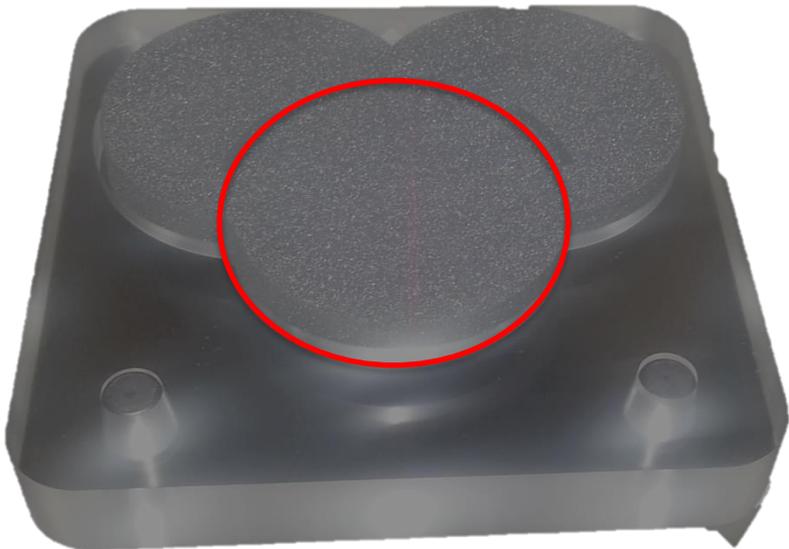
キャリブレーションを行う事により、CT Scanner別に適切なISO値を自動的に見つけてくれることにより、より精度の高いラジオグラフィックガイドが3Dとして表現されます。

※ CT Scannerの機種によってはキャリブレーションで設定されたISO値を若干修正する事もあります。

Planning画面 Prosthetic (Guide) Calibration CBCT用

CBCT(歯科用CT) キャリブレーションオブジェクト撮影

キャリブレーションオブジェクトは台の中心に置いてください

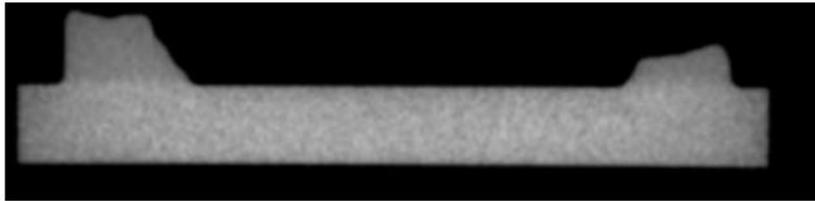


黒のスポンジの上にキャリブレーションオブジェクトを載せる

Planning画面 Prosthetic (Guide) Calibration CBCT用

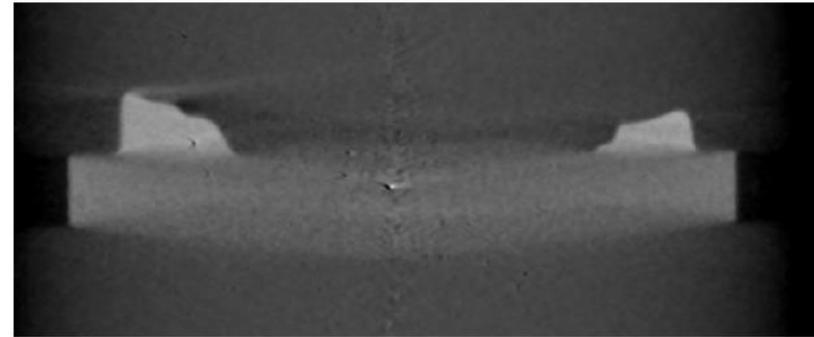
CBCT(歯科用CT) キャリブレーションオブジェクト撮影

OK



空気が黒で表示されている。
対象物の密度が均質に見える。
(全体が同じ色)
黒い縞がない。
端部が鮮明。

NG

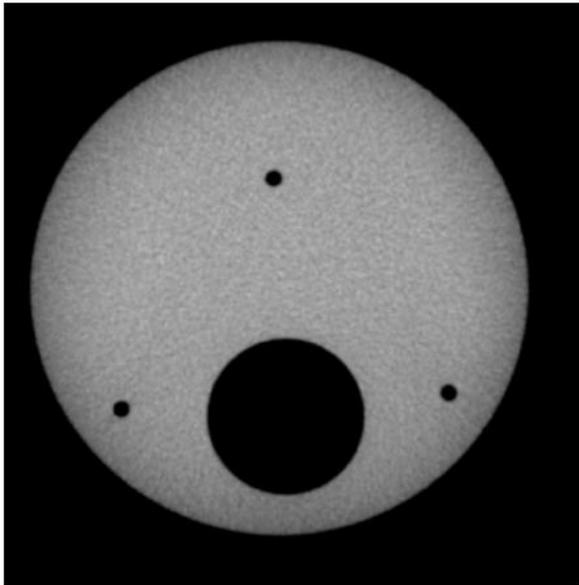


空気が黒でなく灰色で表示されている。
対象物の密度が異質に見える。
(全体が同じ色)
縞がある。
端部がぼやけている、または歪んでいる。

Planning画面 Prosthetic (Guide) Calibration CBCT用

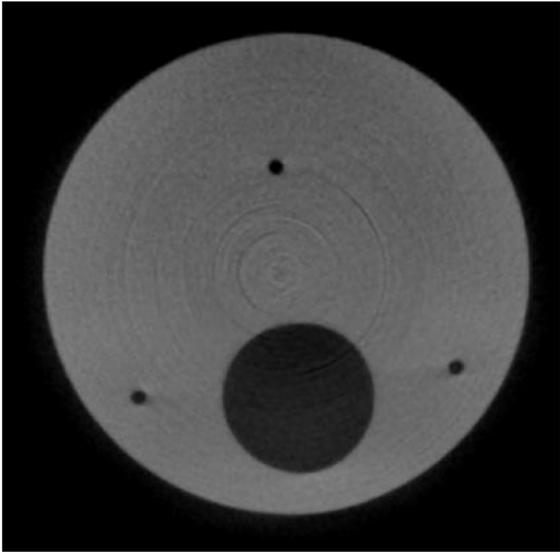
CBCT(歯科用CT) キャリブレーションオブジェクト撮影

OK



対象物の密度が均質に見える。
(全体が同じ色)
サークル・アーティファクトがない。

NG

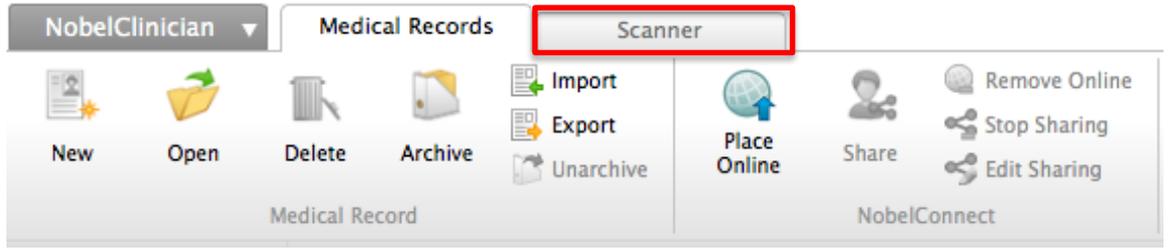


対象物の密度が異質に見える。
(全体が同じ色)
サークル・アーティファクトがある。

Planning画面 Prosthetic (Guide) Calibration CBCT用

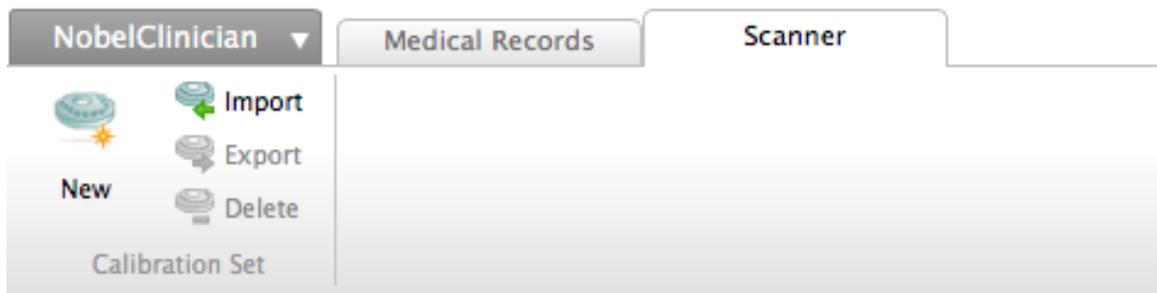
NobelClinician キャリブレーションデータセット

①



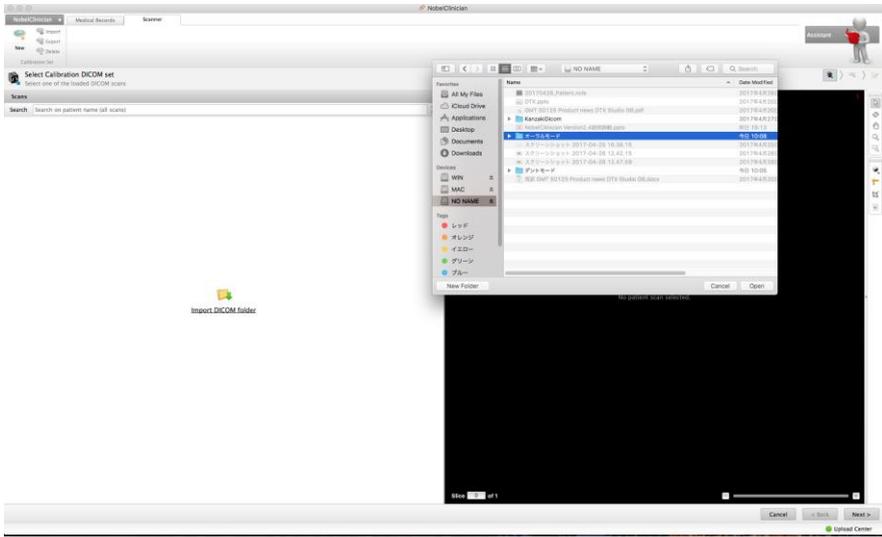
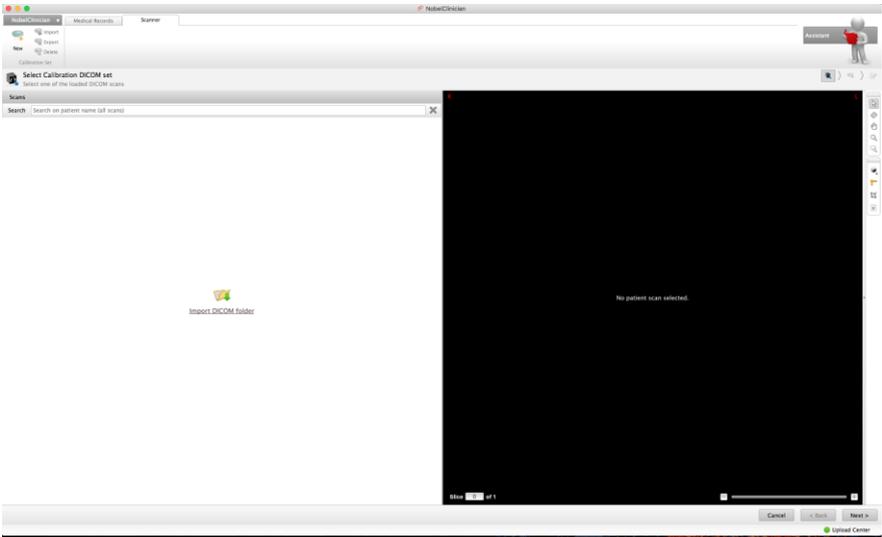
Scannerをクリック

②

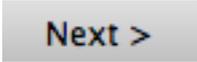


- NEW 新規作成
- Import 作成済のキャリブレーションデータの取り込み
- Export 作成したキャリブレーションデータの取り出し
- Delete 作成したキャリブレーションデータの削除

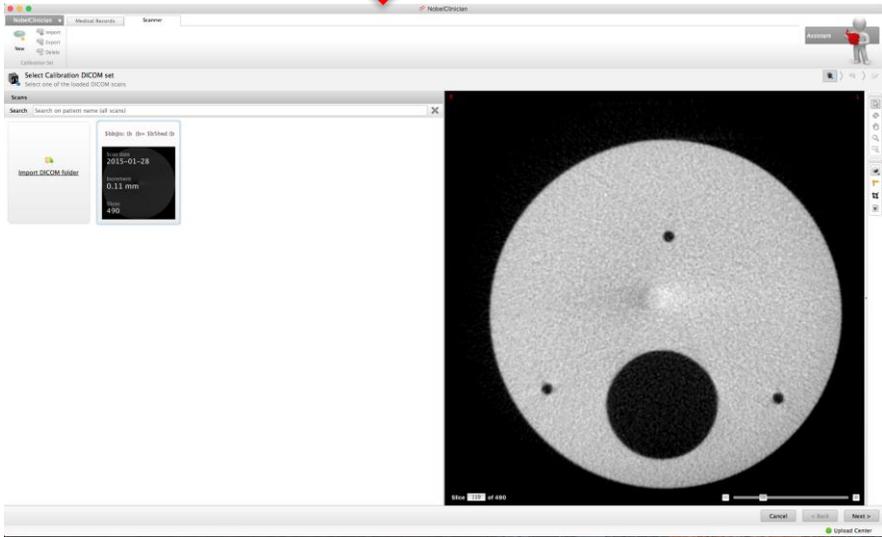
Planning画面 Prosthetic (Guide) Calibration CBCT用



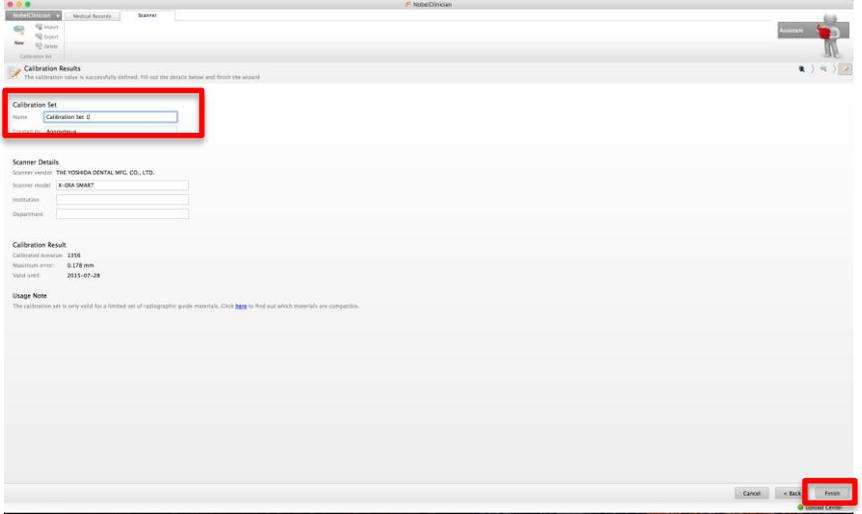
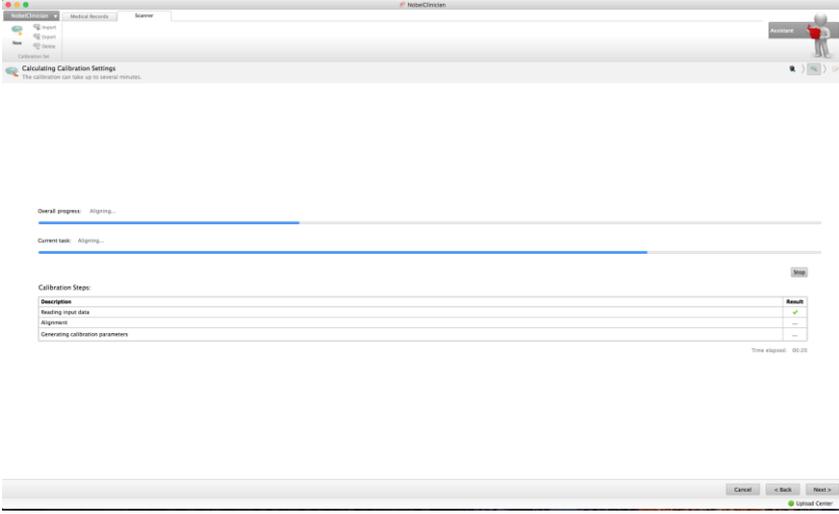
Import DICOM folderをクリックし、ファイルを選択します



キャリブレーションオブジェクトが表示されているのを確認後、右下のNextをクリックします



Planning画面 Prosthetic (Guide) Calibration CBCT用

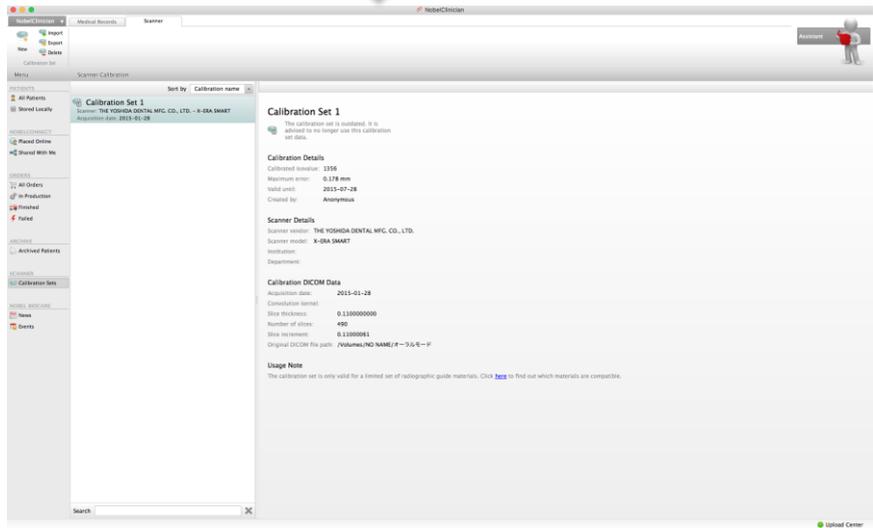


自動でキャリブレーションデータを作成します
問題なく作成された場合は、右図の通り進みます

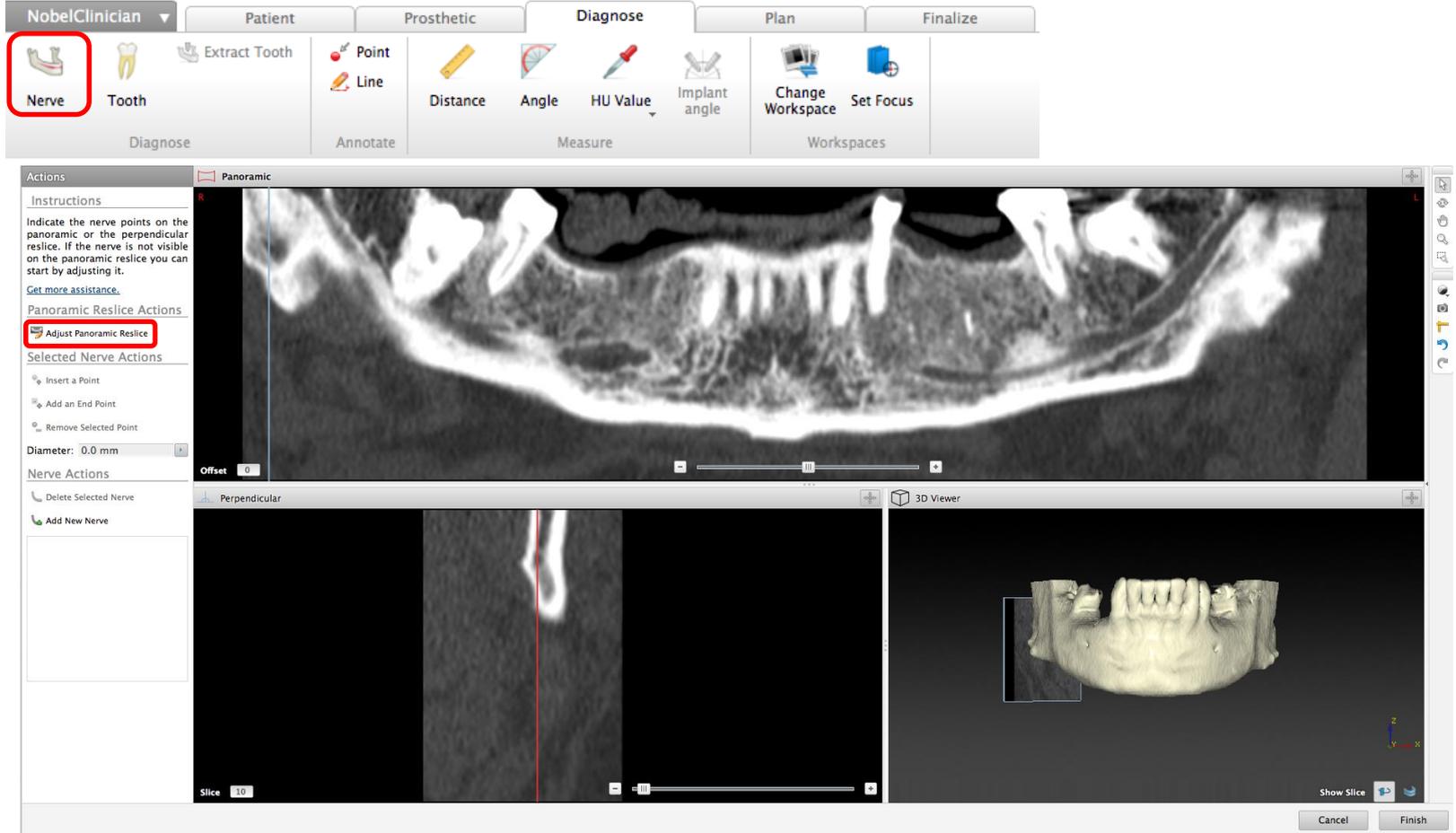
※ Calibration Data Failed と表示された場合はCT撮影
設定値(感電圧、感電流など)の設定を変更して再度
撮影し、同じ作業を行います



キャリブレーションセット名を編集出来ます
終了後、右下のFinishをクリックして終了です

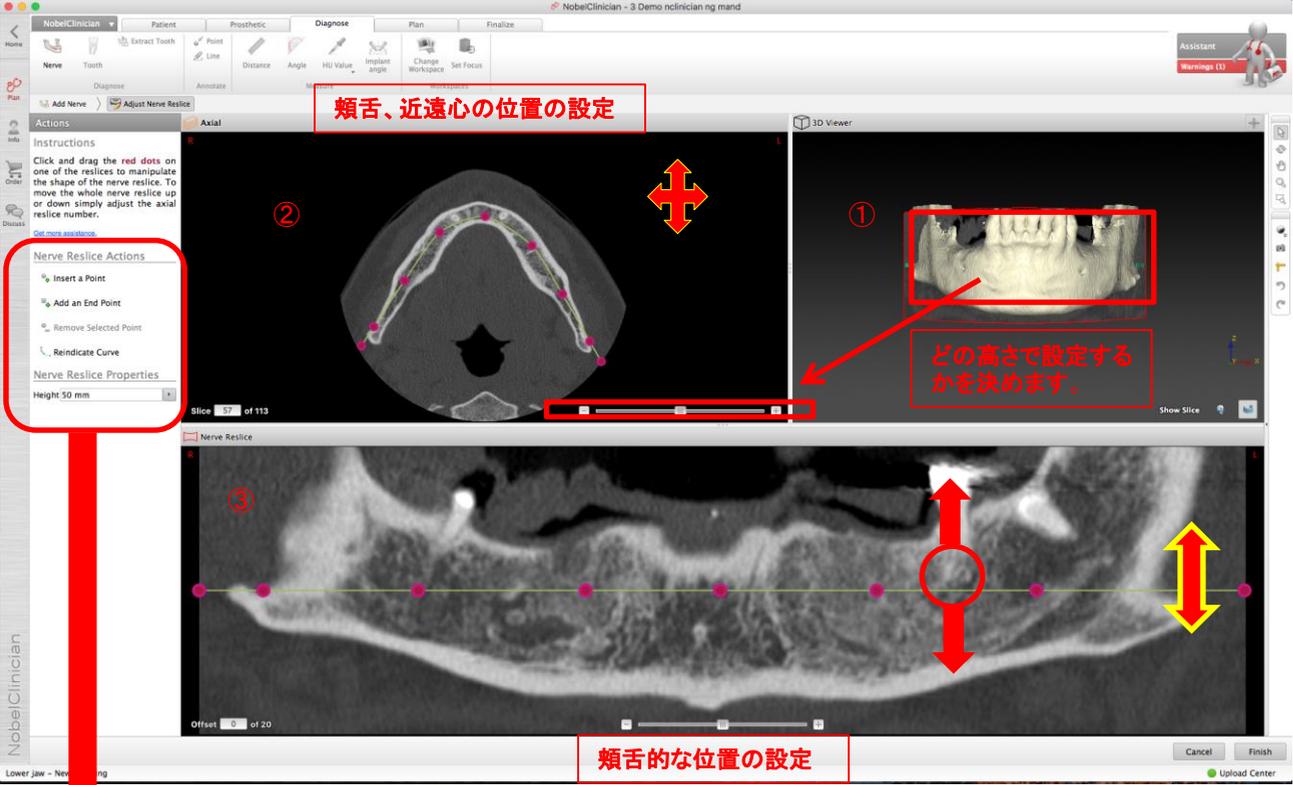


Planning画面 診断 (Diagnose) Nerve(下歯槽神経)の操作



Nerveを左クリックしますと、上記の様なパノラマ画面が開きます。この時マウスのカーソルが+になっていて即書き込める状態になっています
これをマウスの右クリックで、キャンセルします。画面左側にある、 Adjust Panoramic Reslice を左クリックし次の操作に行きます

Planning画面 診断 (Diagnose) Nerve(下歯槽神経)の操作



頬舌、近遠心の位置の設定

どの高さで設定するかを決めます。

頬舌的な位置の設定

Panoramic Curve Actions

- Insert a Point
- Add an End Point
- Remove Selected Point
- Reindicate Curve

- ポイントの追加
- 最終ポイントの追加
- ポイントの削除
- リスライスのやり直し(削除)

Panoramic Slice Properties

Height 40 mm

パノラマサイズの高さの設定

Adjust Panoramic Reslice を押しますと、左図の画面が表記されま
す。②でのポイントを移動したラインはリスライスカーブとは違
い、リンクしません
この画面でポイントを細かく追加し、ポイントを動かして左記
のパノラマ画面の様に下歯槽神経のラインが出る様に設定し
て下さい

操作のポイントは、①のスライダーを動かしオトガイ孔辺りに設定します
②は骨上にラインを設定します
③で上下にポイントを頬舌的に動かし管を探します。下歯槽神経のライン
が見える様になりましたら、Finish を押して次に進みます

Planning画面 診断 (Diagnose) Nerve(下歯槽神経)の操作



Nerve (下歯槽神経)の記入

左側にある、Add New Nerveを左クリックします。マウスのカーソルが+になりますので下歯槽神経のライン上にポイントを追記して下さい。ポイントの追記が終了したら、右クリックして完了です。Add New Nerveを押せば、何回でも使用出来ます(血管などの表記にも便利です)。細かい調整はポイントを左クリックしてから、そのポイントを左ドラッグすれば移動出来ます。

Panoramic Reslice Actions

- Adjust Panoramic Reslice

Selected Nerve Actions

- Insert a Point
- Add an End Point
- Remove Selected Point

Diameter: 2.0 mm

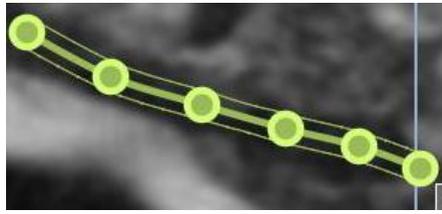
Nerve Actions

- Delete Selected Nerve
- Add New Nerve**
- Nerve

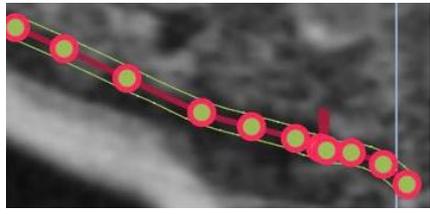
下歯槽神経設定のみのResliceの設定画面になります
※PrepareでのReslice設定とは連動性はありません

- ポイントの追加
- 最終ポイントの追加
- ポイントの削除
- 下歯槽神経の太さの変更

明記した下歯槽神経の削除(やり直し)
反対側の下歯槽神経の追記、または終了した部分に追加をしたい時などに使用します



ポイントは、パノラマ画面やスライス画面にポイントを追記していきます



下歯槽神経の記入後の細かい調整はポイントを左ドラッグしながら、動かします

パノラマ画面

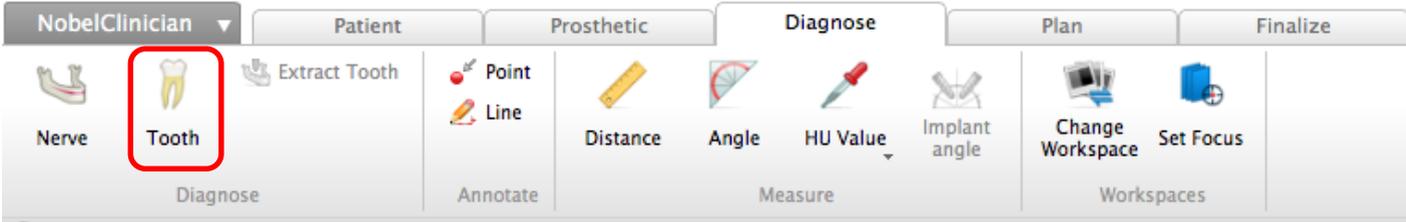
スライス画面

Finish

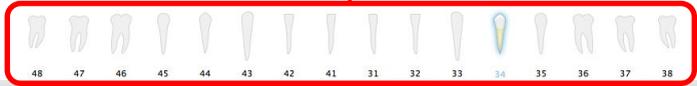
下歯槽神経の記入が終了しましたら、右下のFinishボタンを左クリックして終了します



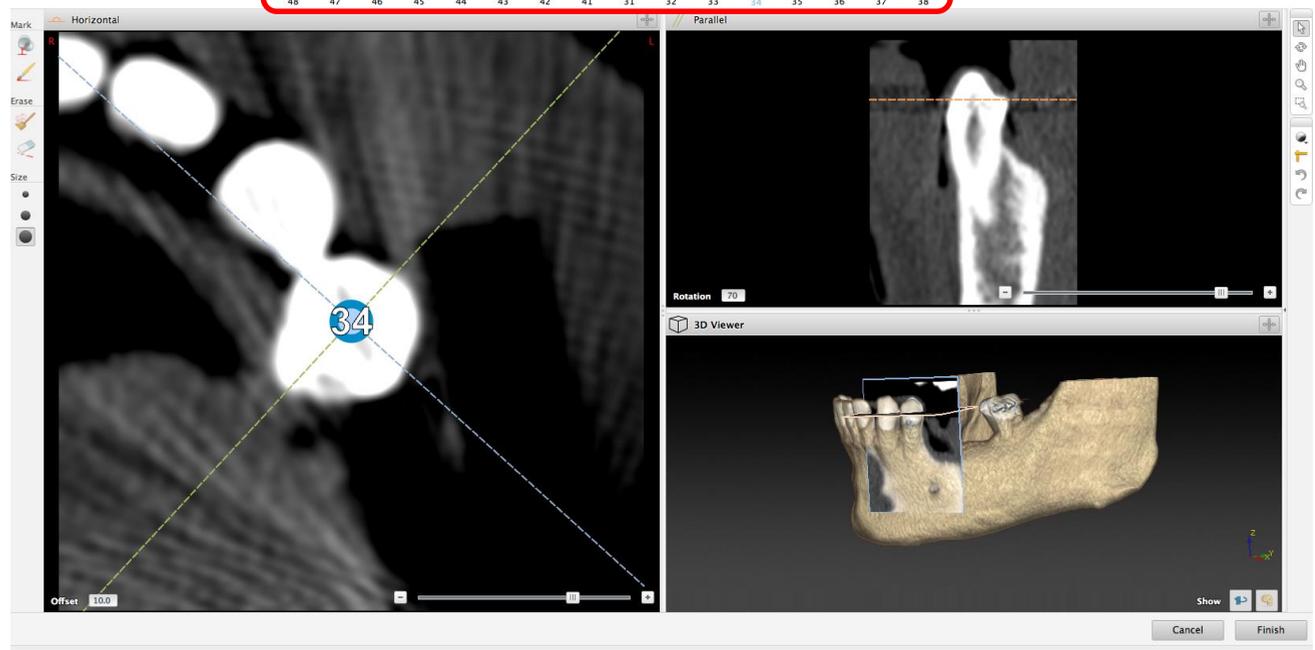
Planning画面 診断 (Diagnose) Tooth(歯牙3D表示)の操作



General Preferenceで設定した歯式(この画面ではFDI)



- Mark**
 - 大きく塗り潰す場合に、ご使用下さい
左クリック、左ドラッグしながらマウスを動かす
 - 細かく塗り潰す場合に、ご使用下さい
左クリック、左ドラッグしながらマウスを動かす
- Erase**
 - 範囲を大きく消す場合に、ご使用下さい
左クリック、左ドラッグしながらマウスを動かす
 - 細かく○の範囲を消す場合に、ご使用下さい
左クリック、左ドラッグしながらマウスを動かす
- Size**
 - ブラシのサイズ変更



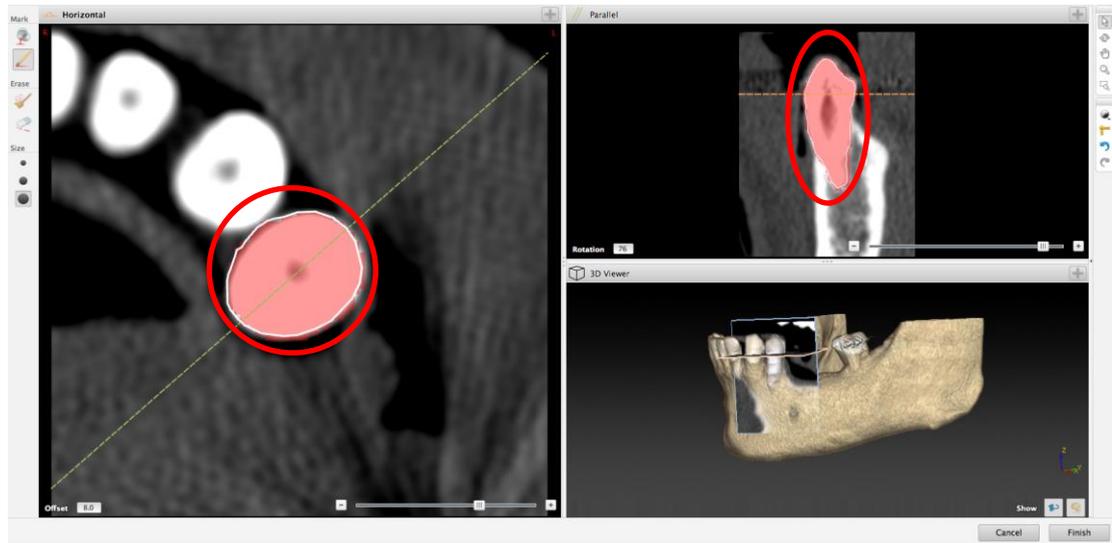
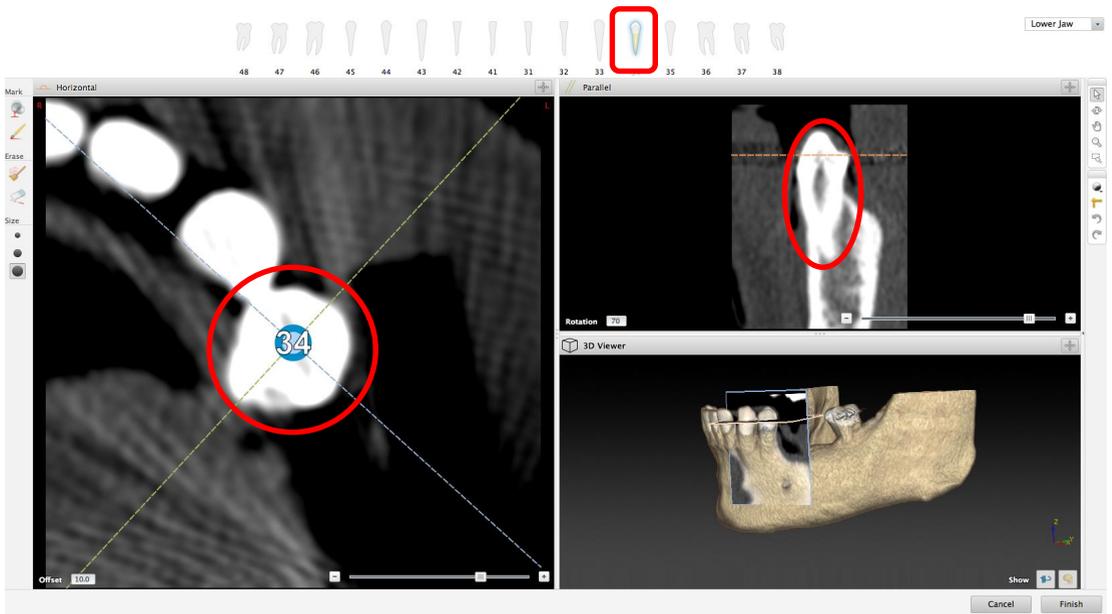
Planning画面 診断 (Diagnose) Tooth(歯牙3D表示)の操作



3D表示したい歯牙を歯式から左クリックして選択します
右図では、34番が選択されています
できる限り、歯牙の中心になるようにマウスで左ドラッグし調整して下さい

ブラシのツールを使用して、34番を塗潰して行きます
Horizontal,Parallelの画面で、マウスのスクロールを動かして上下、左右に画像を動かしながら、徐々に歯牙を塗潰します

※歯牙の画像がはっきりと表示される様に、● Level / Windowを使用し画像の調整を行ってください。歯牙の画像がはっきりしていれば、👁️を使用し、一番大きいブラシを使用する事で3D画像も綺麗になり作業もスムーズに進みます



Planning画面 診断 (Diagnose) Tooth(歯牙3D表示)の操作

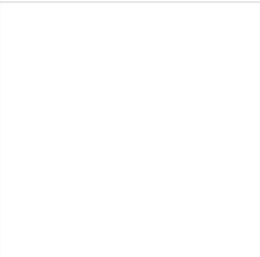
Actions

Instructions

Select a tooth on the chart and adjust its centre position on the CT data. Then segment the tooth using the Mark (m) and Erase (e) tool. If teeth are not completely visible on the CT data, reposition the axial reslice in the Reslice Curve action.

[Get more assistance.](#)

Create Tooth



Update 3D (u)

Clear Segmentation



Actions

Instructions

Select a tooth on the chart and adjust its centre position on the CT data. Then segment the tooth using the Mark (m) and Erase (e) tool. If teeth are not completely visible on the CT data, reposition the axial reslice in the Reslice Curve action.

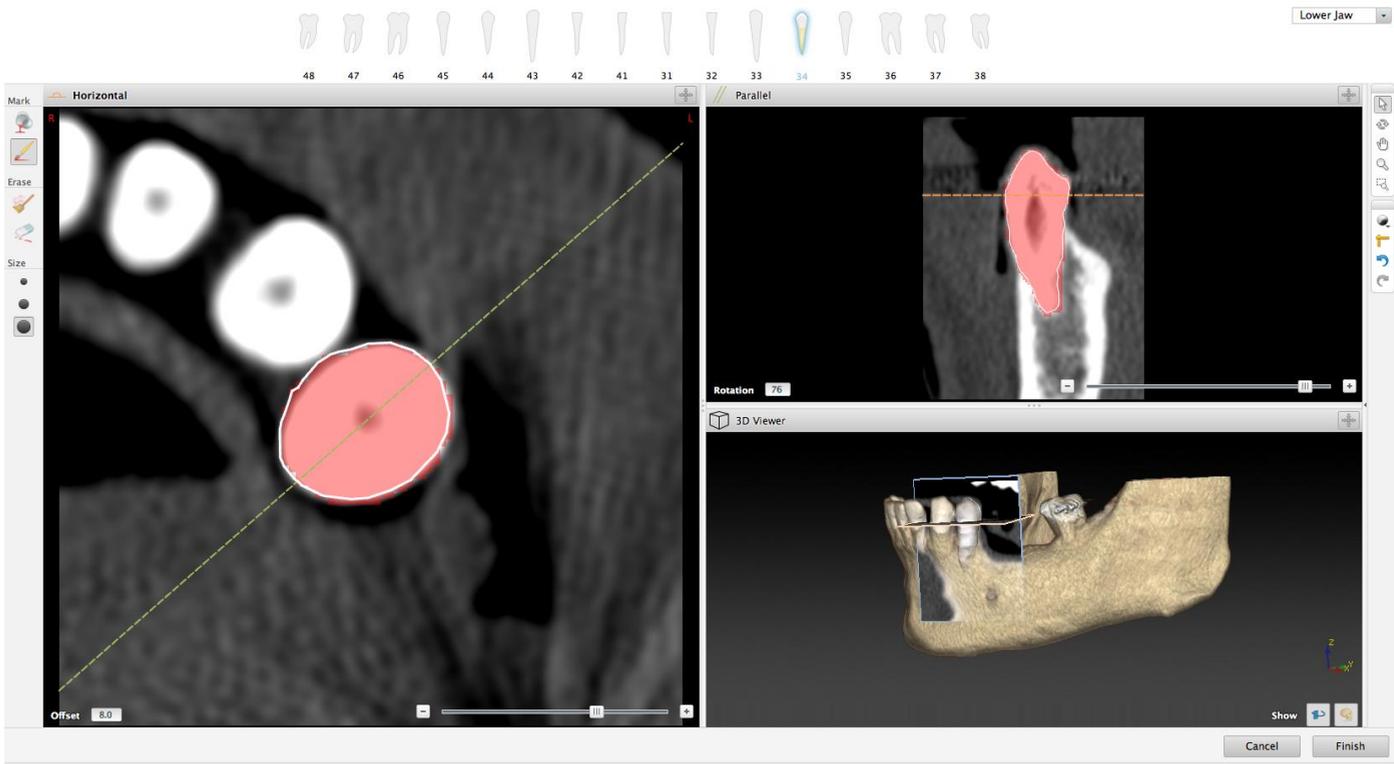
[Get more assistance.](#)

Create Tooth



Update 3D (u)

Clear Segmentation



Lower Jaw

48 47 46 45 44 43 42 41 31 32 33 34 35 36 37 38

Horizontal Parallel

Rotation 76

3D Viewer

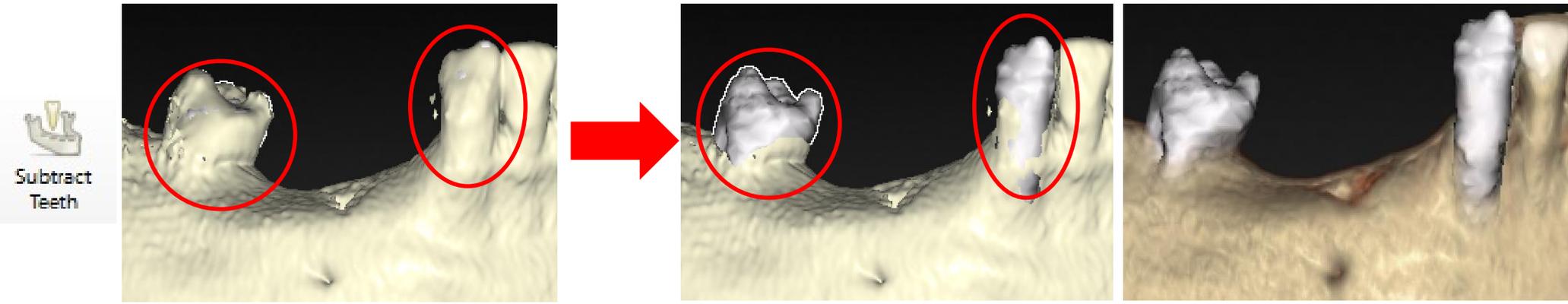
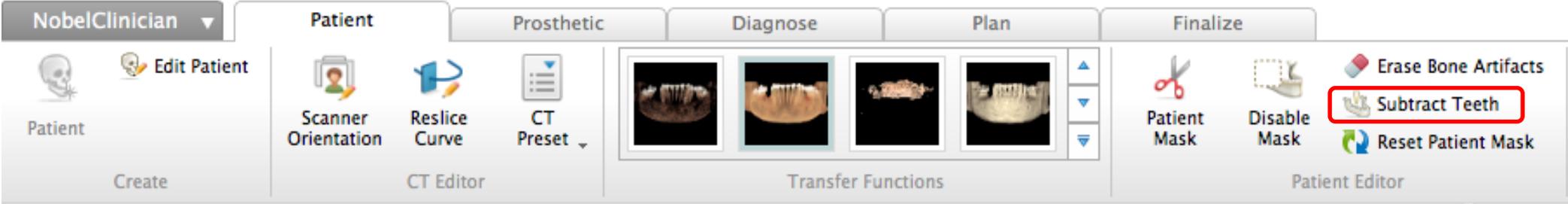
Offset 8.0

Show

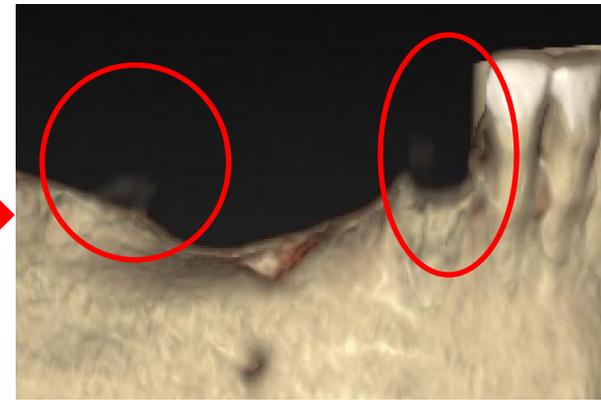
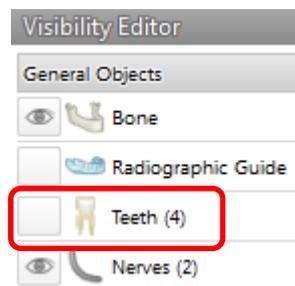
Cancel Finish

ツールを使用して、ある程度塗潰しが終わりましたら一度、画面左にありますUpdate 3D (U)を左クリックして3D画像を表記させます
修正箇所がある場合には、再度ツールを使用して作業を行っていただき再度Update 3D(U)を左クリックして、3D画像で確認します
完了しましたら、右下の **Finish** ボタンを左クリックして終了します

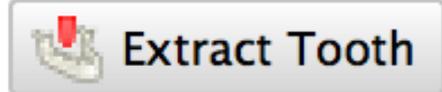
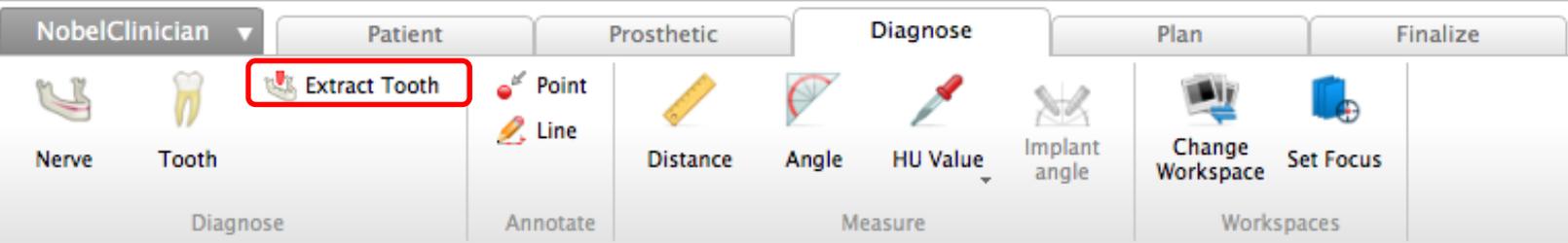
Planning画面 診断 (Diagnose) Tooth(歯牙3D表示)の操作



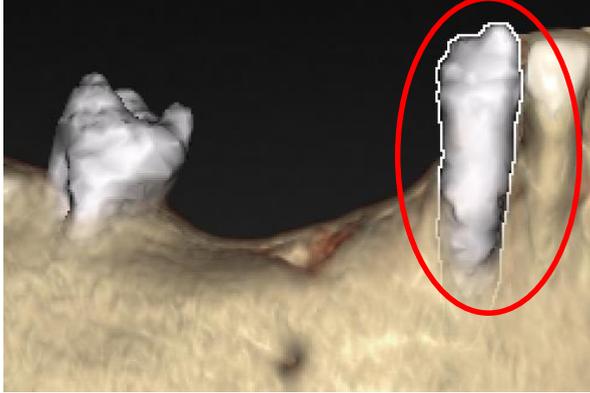
歯牙の3D表示が完了しましたら、Subtract Teethのボタンを左クリックします
 骨モデルで3D画像表示されていた歯牙の画像が消えて、Tooth作業で作った3D画像のみが表示されます
 この3Dの歯牙は、右図の様にToothの表示、非表示が可能です
 抜歯即時埋入などのプランニングにお奨めです



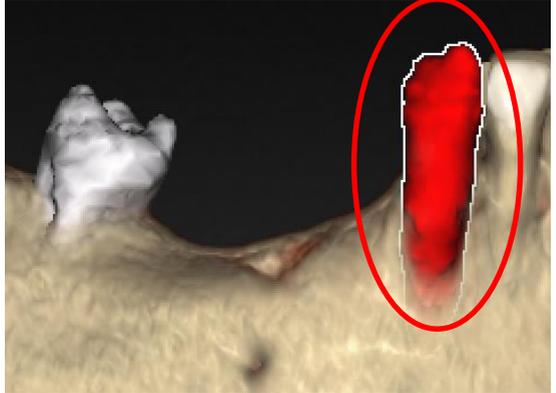
Planning画面 診断 (Diagnose) Tooth(歯牙3D表示)の操作



抜歯部位



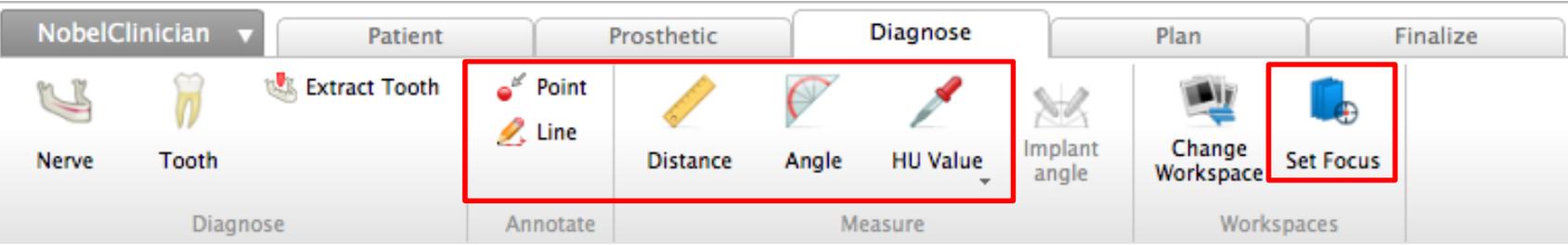
抜歯部位をクリックで選択
(3D画像上)



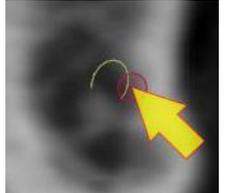
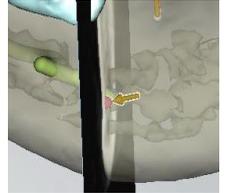
Extract Toothをクリック
抜歯部位が赤色になります

抜歯部位を赤色にし、より診断がわかりやすくなり患者説明など (iPad) でも説明しやすくなります

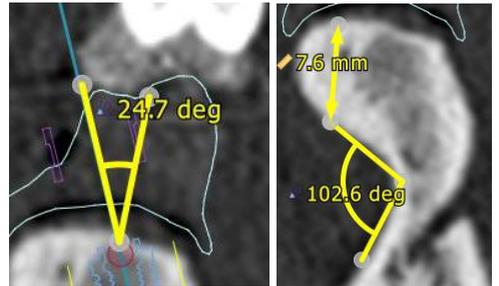
Planning画面 診断 (Diagnose) 様々な機能の操作



目印として使用します
(大事な箇所など)



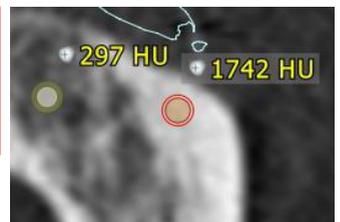
角度の計測が出来ます
3箇所を左クリックで設定して行います
ポイントを左ドラッグすれば、それぞれのポイントを動かせます



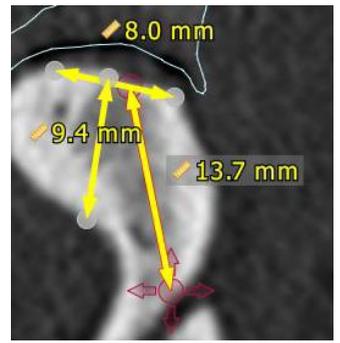
歯根などの明記に使用します。
ポイントは左クリックで設定して、右クリックで終了します



骨密度の測定
ヘリカルCTの場合は、Hu値、コンビームCTの場合はGray値で示されます



計測が出来ます。
左クリックでポイントを2箇所設定して計測します
設定したポイントを左ドラッグで、好きな方向にポイントを動かすことが出来ます



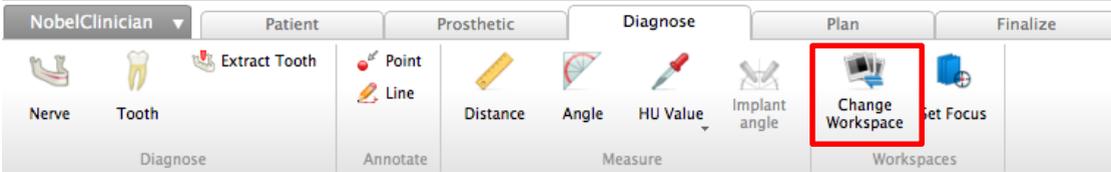
Set Focusは、プランニングの際に非常に便利な機能です。
Set Focusのアイコンを左クリックしますと、+になりますので3D画面、パノラマ画面などで、インプラントを埋入する箇所や見たい箇所に左クリックすると、スライス画面が瞬時に移動してくれます

(キーボードFキーでも同じです)



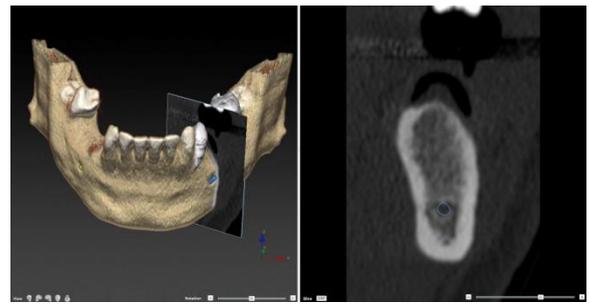
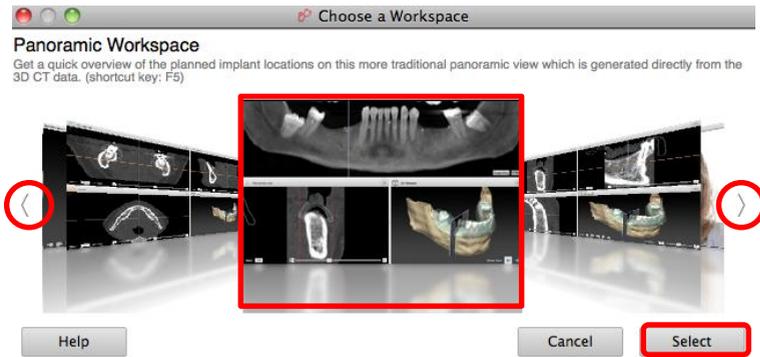
お奨め機能!

Planning画面 診断 (Diagnose) Change Workspace の操作

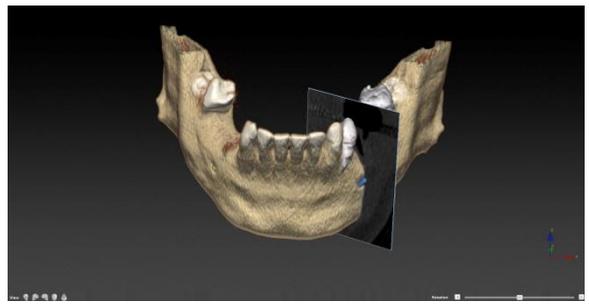


Change Viewのアイコンをクリックすると、下図1が開きます。左右<>のどちらかを左クリックしますと、6種類のViewに変更可能です。症例、確認、プランニング等で使いやすいViewを選んで、ご使用頂けます。使用するViewが中心にある時にSelectボタンを押して決定します。また、それぞれのView内の、繋ぎ目にマウスを近づけると↔になります。左ドラッグすればViewのサイズの変更が可能です

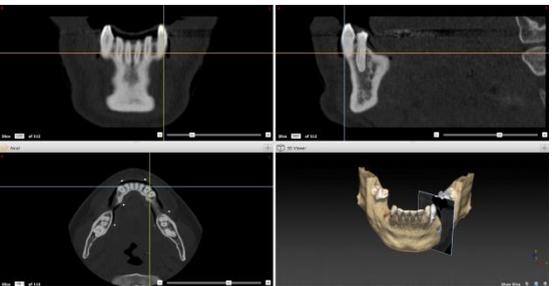
図1



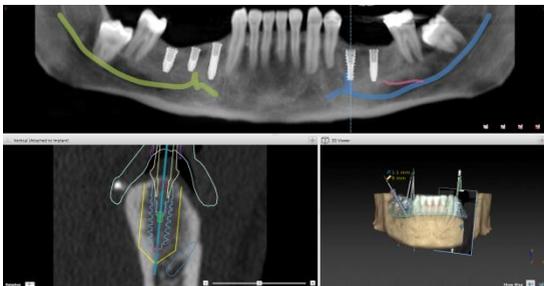
Implant Workspace
(ショートカットキー F2)



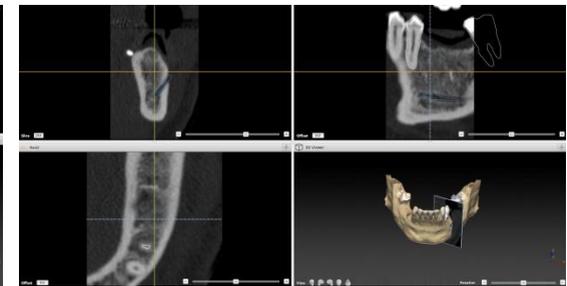
3D Workspace
(ショートカットキー F3)



Reslice Workspace
(ショートカットキー F4)



Panoramic Workspace
(ショートカットキー F5)



Cross-sectional Workspace
(ショートカットキー F6)

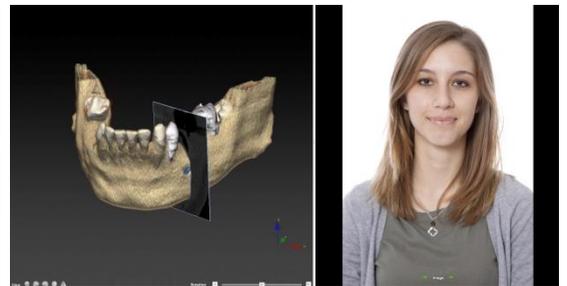
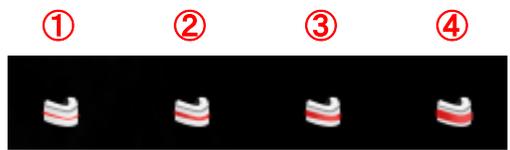


Image Workspace
(ショートカットキー F7)

Planning画面 診断 (Diagnose) Change Workspace の操作

Panoramic Workspace

表示されるPanorama画像の厚みの変更

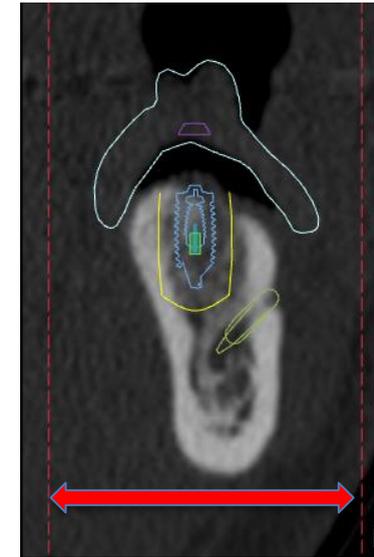
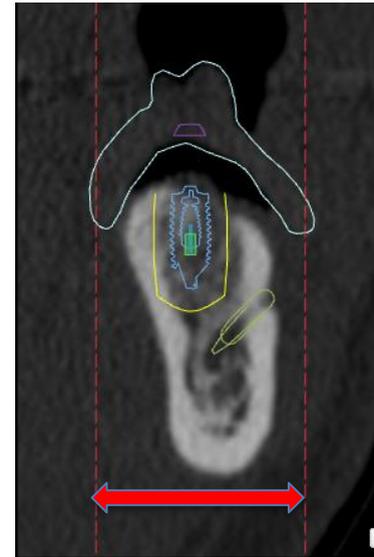
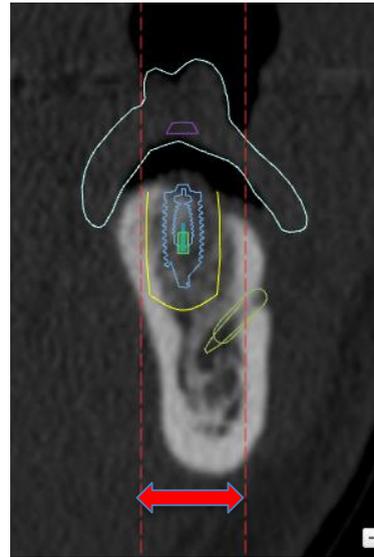
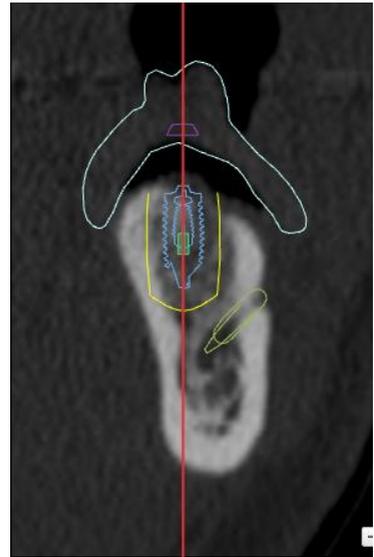
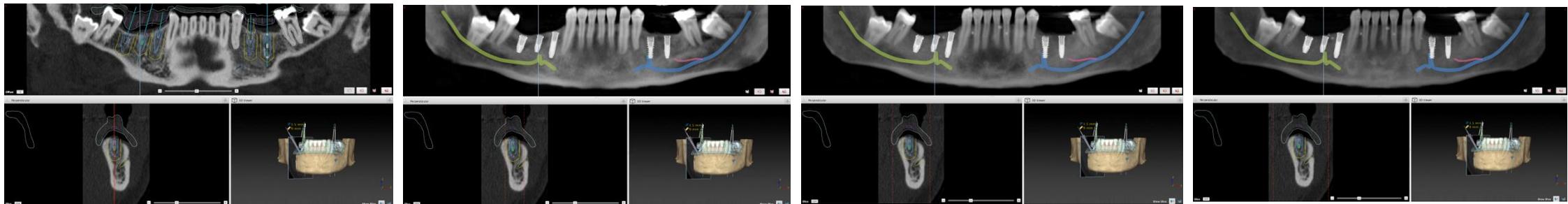


①

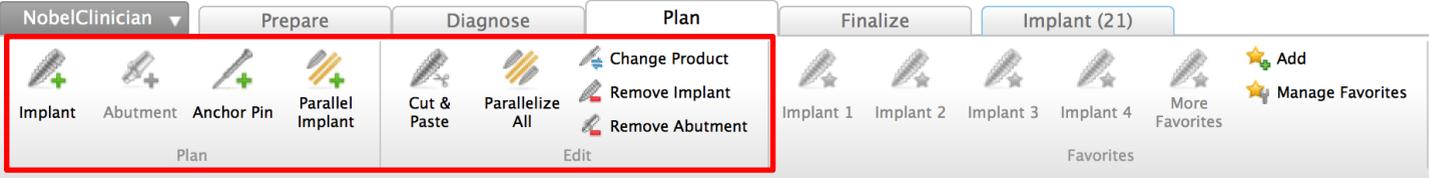
②

③

④



Planning画面 計画 (Plan) ツールアイコンの内容



Implant
インプラントを埋入する。アイコンを左クリックすると+になるので、スライス画面、パノラマ画面などに①プラットホームの位置で左クリック、②インプラントの埋入方向と長さで左クリックします。②のポイントする長さで、自動的にポイントをした長さに近い長さのインプラントが表示されます

Abutment
アバットメントを装着します。但し、インプラントが埋入されている状態で該当するインプラントを選択しないと出来ません

Anchor Pin
アンカーピンを埋入設定します。アイコンを左クリックすると+になるので、スライス画面に①ラジオグラフィックガイド内で左クリック、②骨内で左クリックしてアンカーピンを埋入します

Parallel Implant
複数のインプラントを平行に埋入する場合に使用します。基準となる埋入されたインプラントを選択してから、Parallel Implantのアイコンを左クリックして、埋入する部位のプラットホーム位置で左クリックします

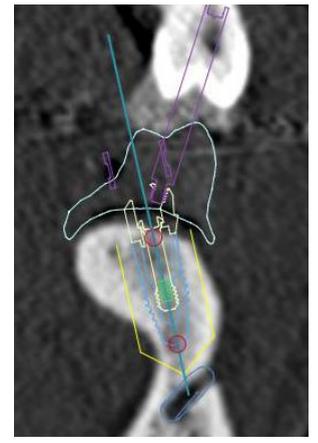
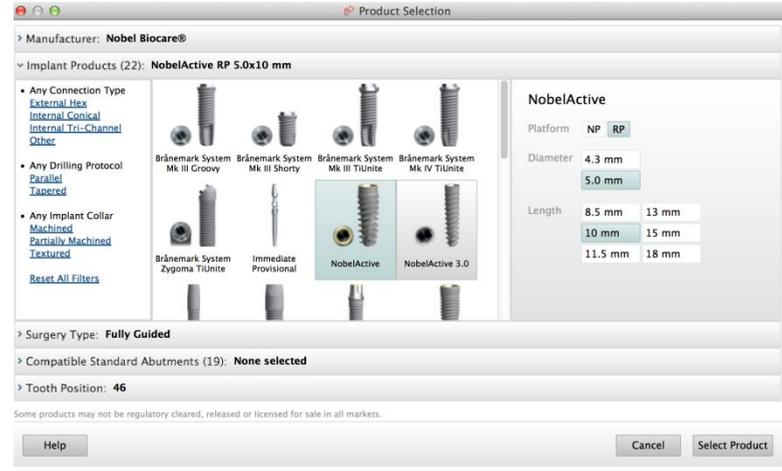
Cut Paste
埋入されたインプラントの位置を変更したい時に使用します。埋入されたインプラントを選択してから、Cut Pasteのアイコンを左クリックして、埋入を変更したい部位のプラットホーム位置で左クリックします

Parallelize All
全てのインプラントを平行に埋入する場合に使用します。基準となる埋入されたインプラントを選択してから、Parallelize Allのアイコンを左クリックします

Change Product 製品の変更。変更したい、インプラント、アバットメントを左クリックで選択してChange Productのアイコンをクリックして、変更します

Remove Implant インプラントを削除します

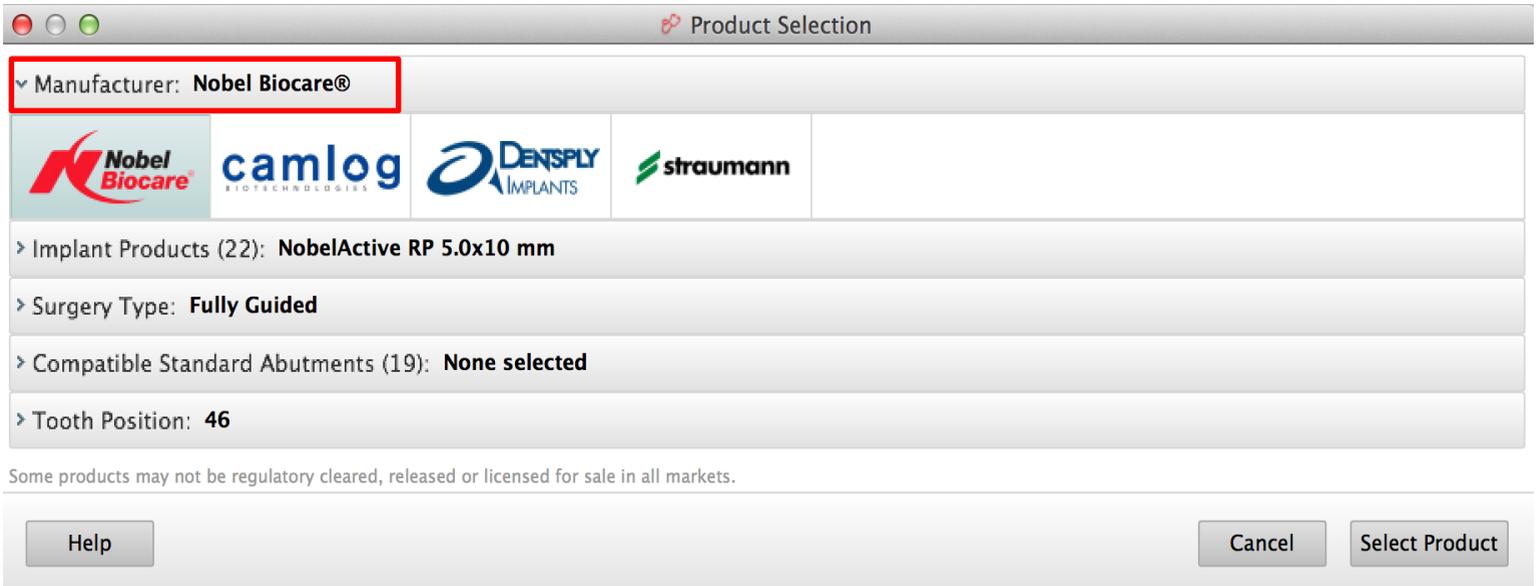
Remove Abutment アバットメントを削除します



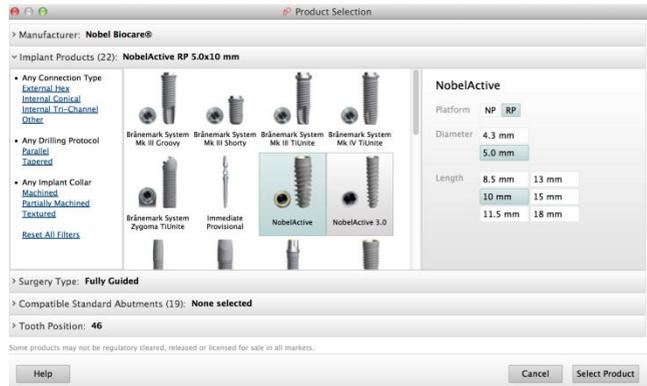
それぞれのコマンドをキャンセルする場合は、右クリックで解除されます。

Planning画面 計画 (Plan) Product Selection

Manufacturer



Implant メーカーの選択 (DefaultはNobelBiocare)
※ 他メーカーのImplantカタログを事前にインストールしていないと表示されません



Planning画面 計画 (Plan) Product Selection

Implant Products

> Manufacturer: **Nobel Biocare®**

▼ Implant Products (22): **NobelActive RP 5.0x10 mm**

- Any Connection Type
[External Hex](#)
[Internal Conical](#)
[Internal Tri-Channel](#)
[Other](#)
- Any Drilling Protocol
[Parallel](#)
[Tapered](#)
- Any Implant Collar
[Machined](#)
[Partially Machined](#)
[Textured](#)
[Reset All Filters](#)

Brånemark System Mk III Groovy Brånemark System Mk III Shorty Brånemark System Mk III TiUnite Brånemark System Mk IV TiUnite

Brånemark System Zygoma TiUnite Immediate Provisional **NobelActive** NobelActive 3.0

NobelActive

Platform NP RP

Diameter

Length

<input type="text" value="8.5 mm"/>	<input type="text" value="13 mm"/>
<input checked="" type="text" value="10 mm"/>	<input type="text" value="15 mm"/>
<input type="text" value="11.5 mm"/>	<input type="text" value="18 mm"/>

> Surgery Type: **Fully Guided**

> Compatible Standard Abutments (19): **None selected**

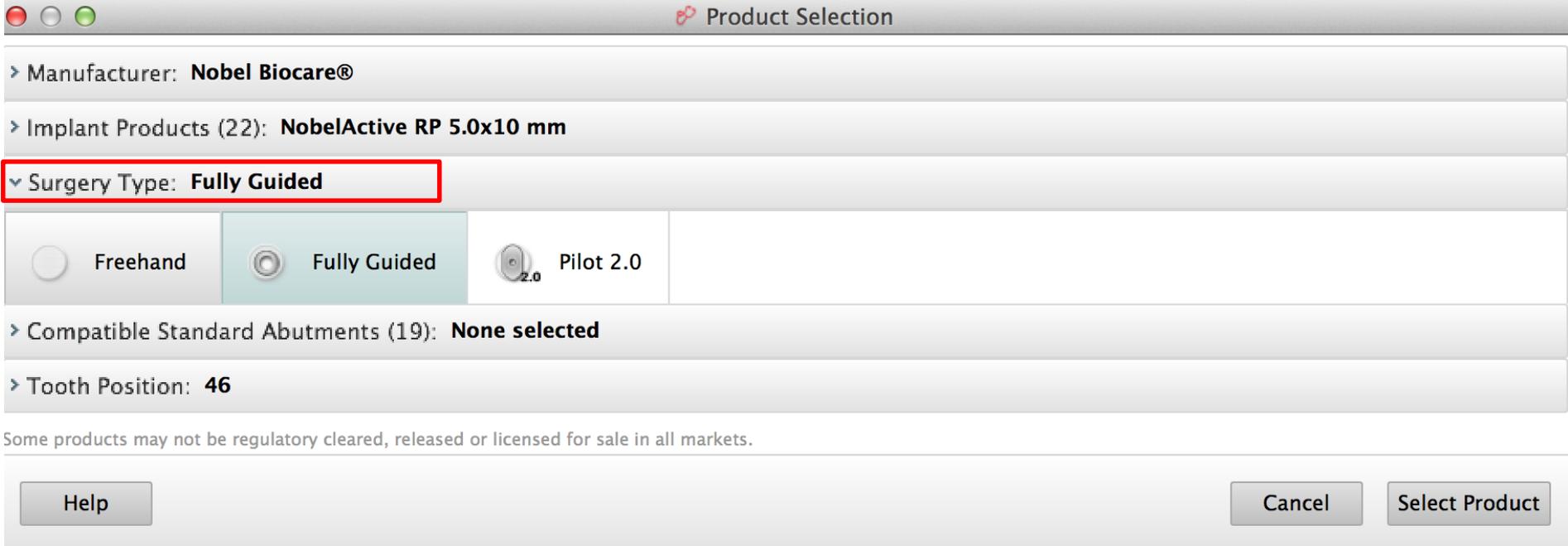
> Tooth Position: **46**

Some products may not be regulatory cleared, released or licensed for sale in all markets.

※ 他メーカーのImplantはカタログを事前にインストールしていないと表示されません

Planning画面 計画 (Plan) Product Selection

Surgery Type



- Fully Guided ラジオグラフィックガイド使用時 & Smart Fusion使用時
- Pilot 2.0 ラジオグラフィックガイド使用時 & Smart Fusion使用時
- Freehand 使用不可

Planning画面 計画 (Plan) Product Selection

Compatible Standard Abutments

Product Selection

> Manufacturer: **Nobel Biocare®**

> Implant Products (22): **NobelActive RP 5.0x10 mm**

> Surgery Type: **Fully Guided**

▼ Compatible Standard Abutments (19): **None selected**

- Any Indication
 - [Multiple Unit](#)
 - [Overdenture](#)
 - [Single Unit](#)
 - [Temporary](#)
- Any Material
 - [Gold \(allow\)](#)
 - [Titanium](#)
 - [Zirconia](#)
- Any Type
 - [Cement Retained](#)
 - [Overdenture](#)
 - [Screw Retained](#)

[Reset All Filters](#)

 No abutment	 15° Esthetic	 17° Multi-Unit	 30° Multi-Unit
 Cover Screw	 Esthetic	 GoldAdapt Engaging	 GoldAdapt Non-Engaging
			

No product selected

> Tooth Position: **46**

Some products may not be regulatory cleared, released or licensed for sale in all markets.

Help Cancel Select Product

※ アバットメントが表示されるのは、インプラントがNobelBiocare社のみです

Planning画面 計画 (Plan) Product Selection

Tooth Position

> Manufacturer: **Nobel Biocare®**

> Implant Products (22): **NobelActive RP 5.0x10 mm**

- Any Connection Type
[External Hex](#)
[Internal Conical](#)
[Internal Tri-Channel](#)
[Other](#)
- Any Drilling Protocol
[Parallel](#)
[Tapered](#)
- Any Implant Collar
[Machined](#)
[Partially Machined](#)
[Textured](#)
[Reset All Filters](#)

NobelDirect Groovy NobelDirect Oval NobelDirect Posterior NobelReplace Conical Connection

NobelReplace Conical Connection PMC NobelReplace Platform Shift NobelReplace Straight Groovy NobelReplace Tapered Groovy

NobelActive

Platform NP RP

Diameter 4.3 mm
 5.0 mm

Length 8.5 mm 13 mm
 10 mm 15 mm
11.5 mm 18 mm

> Surgery Type: **Fully Guided**

> Compatible Standard Abutments (19): **None selected**

> **Tooth Position: 46**

48 47 46 45 44 43 42 41 31 32 33 34 35 36 37 38

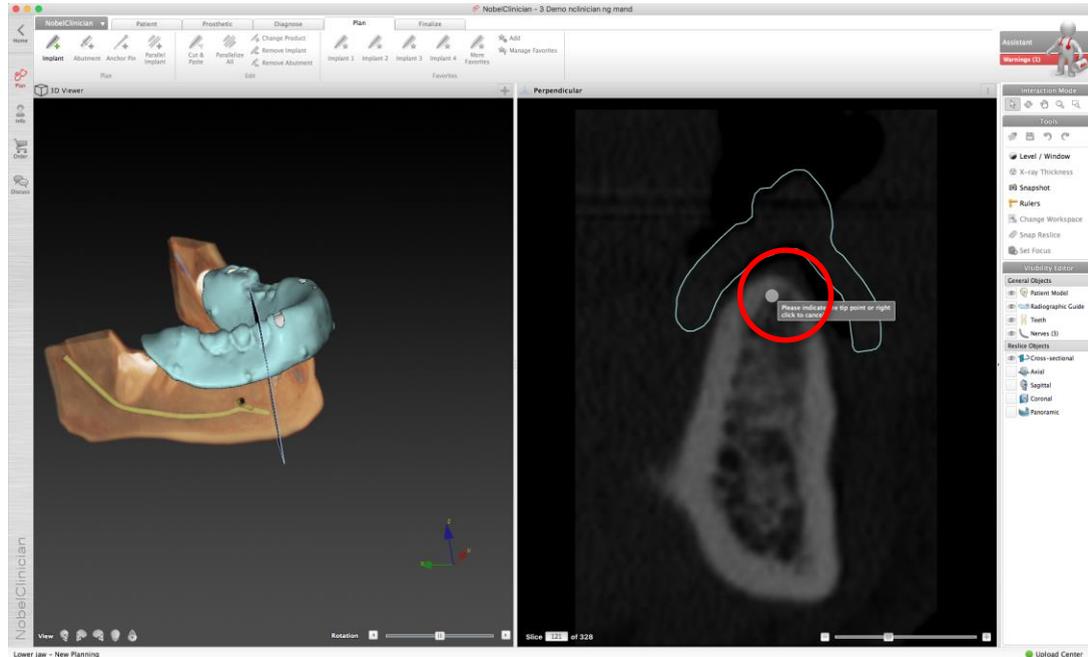
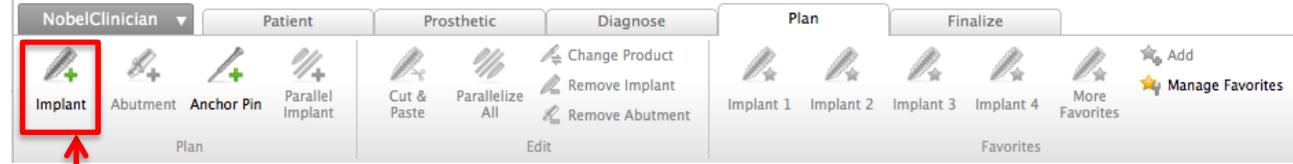
Some products may not be regulatory cleared, released or licensed for sale in all markets.

Help Cancel Select Product

インプラント埋入部位の歯式設定
Default では、Resliceの設定で設定した3番(犬歯)、8番(智歯)を基準に設定されます

※ インプラント埋入部位の歯式設定が出来ていない場合、オーダー操作が出来なくなる事があります

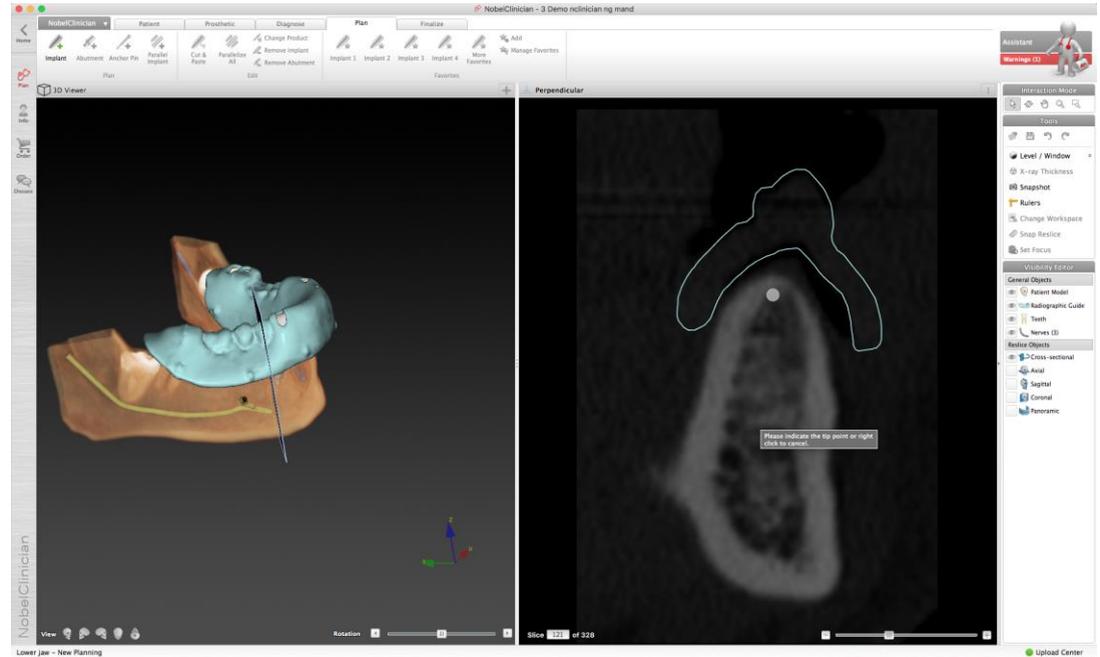
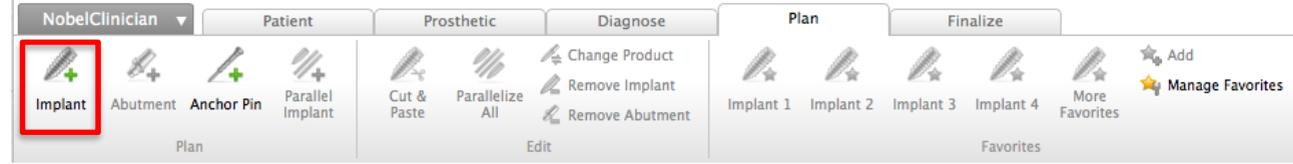
Planning画面 計画 (Plan)インプラント埋入手順



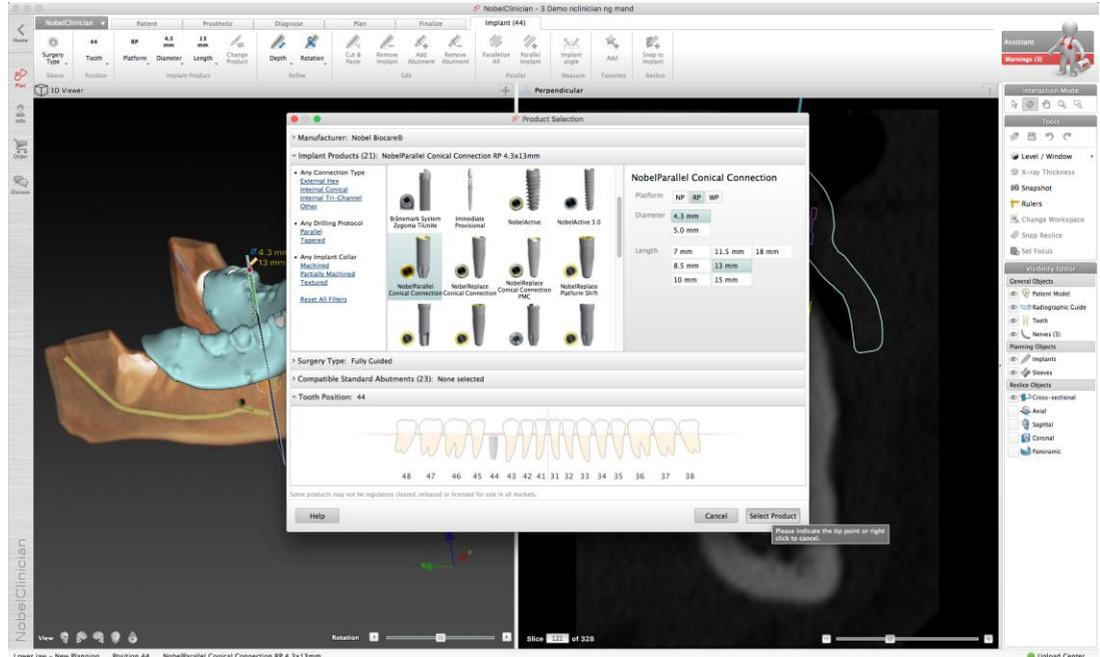
① Resliceを動かして、インプラント埋入部位に設定します

② Plan タブのImplantをクリックします
カーソルが+になりますので、2D画面で埋入ポジションのプラットフォーム位置でクリックします

Planning画面 計画 (Plan) インプラント埋入手順



③ インプラントの先端部の位置をクリックします

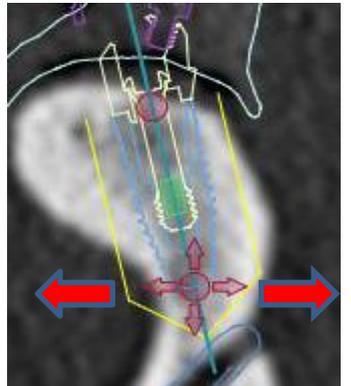


④ インプラントプロダクトカタログが表示されます
ご使用されるインプラント種類、サイズなどを選択します
この時に、アバットメントの選択も出来ます

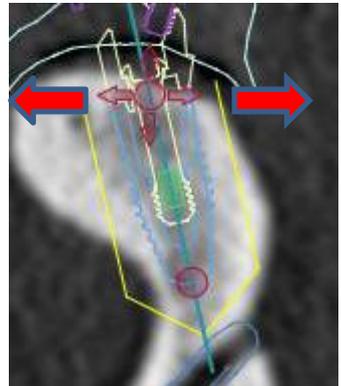
Planning画面 計画 (Plan) インプラント埋入位置の修正

インプラントの位置の修正は、インプラントの表示にある、●2つと中心にある■をそれぞれ左ドラッグしながら修正したい方向に動かします

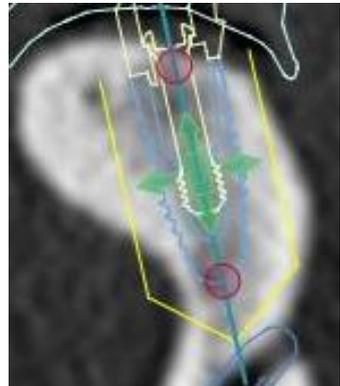
インプラントのプラットフォームを中心にインプラントの先端の位置を変更します



インプラントの先端を中心にインプラントのプラットフォームの位置を変更します



インプラントの位置を自由に移動できます



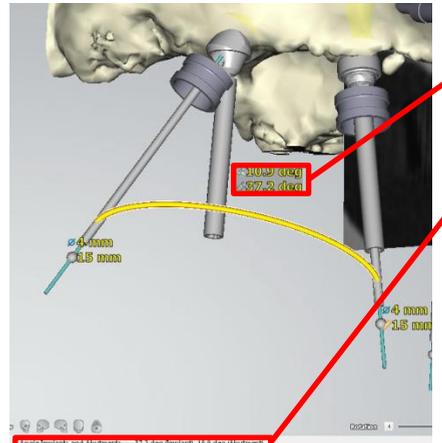
インプラントの埋入深度の微調整

インプラントの中心に、マウスを移動しそこで右クリックしますと下記の図の画面が開きます
Depthにマウスを移動させると、スライダーが出ます
[左矢印]を1回クリックしますと、0.1mm移動し右に数値が表示されます
キーボードのCtrl+↑またはCtrl+↓を押しますと1回で0.5mm移動します



インプラントとインプラントの角度の計測

インプラントを数本埋入した後に、Diagnoseのタブにします。インプラントを選択しますと、Implant Angleのアイコンが表示されるので、アイコンをクリックして角度を計測したい他のインプラントに左クリックします



10.9 deg
37.2 deg

Angle Implants and Abutments 37.2 deg (Implant), 10.9 deg (Abutment)

上記図の様に、基準にしたインプラントに対してのインプラント同士の角度、アバットメントとの角度の両方が明記されます

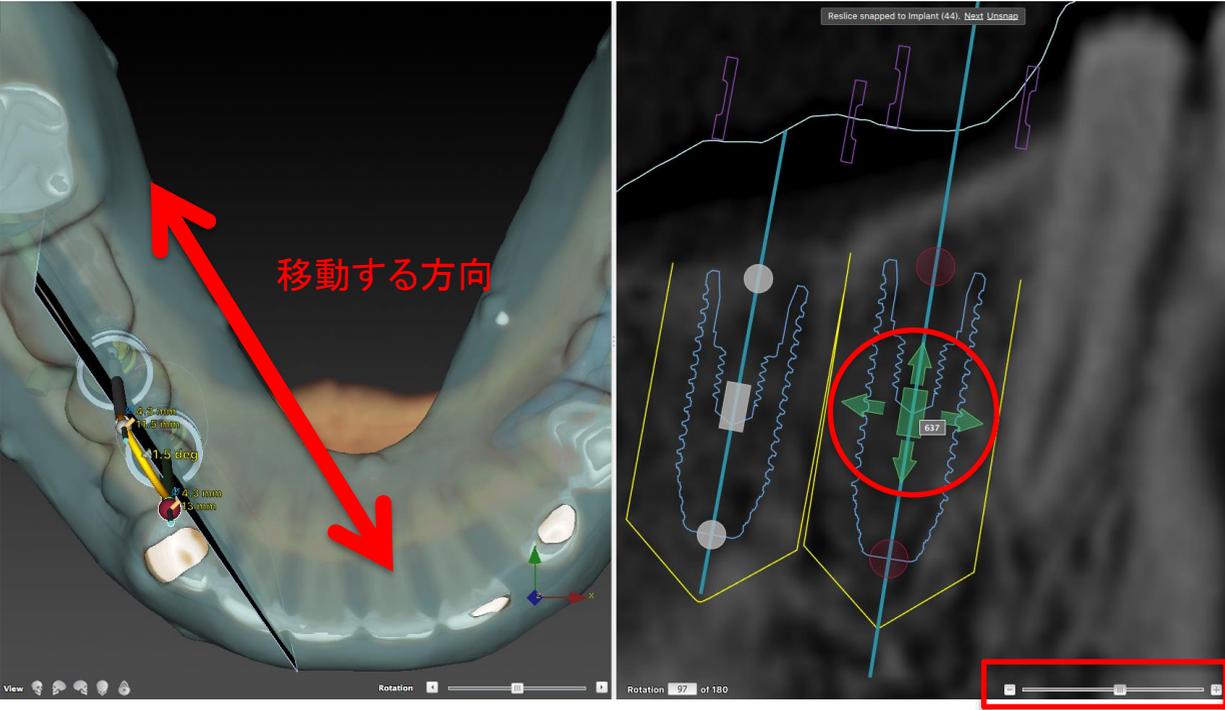
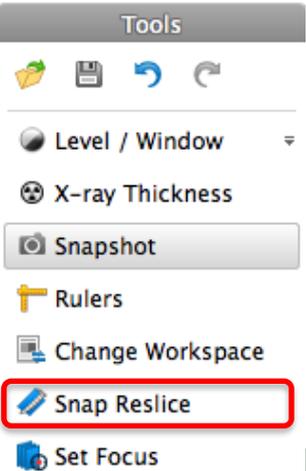
Planning画面 計画 (Plan) インプラント埋入位置の修正 Snap Reslice

Snap Resliceはインプラントを設計するとCross-Sectional画面から、自動的にSnap to Implant(インプラント軸画面)になります。Reslice画面の下にある、スライダーバーを動かします。左から右まで180° 回転しますので、骨内の情報を確認しながらインプラントの位置を微調整することが可能です。

近心、遠心方向や斜めの方向など、3D画像上でインプラントをドラッグして動かす事も出来ますが、この方法では微妙な位置の修正が難しく、動かした後に再度骨内にあるか確認が必要です

手順

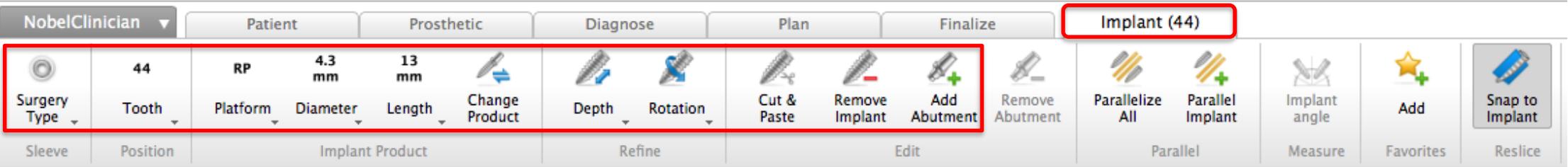
- 1 Snap To Implantの状態で、移動させたい面にスライダーバーを使用し回転させます(3D画像は、咬合面から確認)
- 2 2D画像にてインプラントの移動を行います
(Snap To Anchor Pinも同様で、アンカーピンの位置修正も出来ます)



2D画像での移動は、スライス面での移動なので確実に移動したい方向のみに移動出来ます

Planning画面 計画 (Plan) Property Panel表示 Implant

こちらに表示されている機能は、インプラント選択後右クリックで表示される機能です



Surgery Type
Dental Cast使用時Surgery Typeの選択

Tooth
インプラント埋入ポジションの歯式設定

Platform
インプラントプラットフォームの変更
(NP.RP.WP.6.0)

Diameter
インプラント体の直径の長さの変更

Length
インプラント長さの変更

Change Product
インプラント種類の変更

Depth
インプラント体の埋入深度の調整
矢印1クリックで0.1mm

Rotation
インプラント体を回転させる
角度付のアバットメント装着後の調整

Cut Paste
インプラント体の埋入ポジション変更時、
切り取り、別の位置に貼付けます

Remove Implant
インプラントの削除

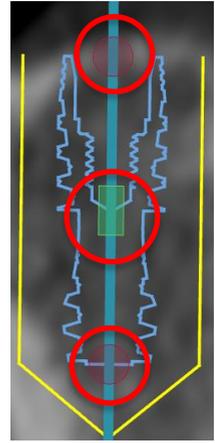
Add Abutment
アバットメントの追加

『表示条件』

下記図のようにインプラントを選択している場合のみ、表示されます(インプラントを動かせる状態)



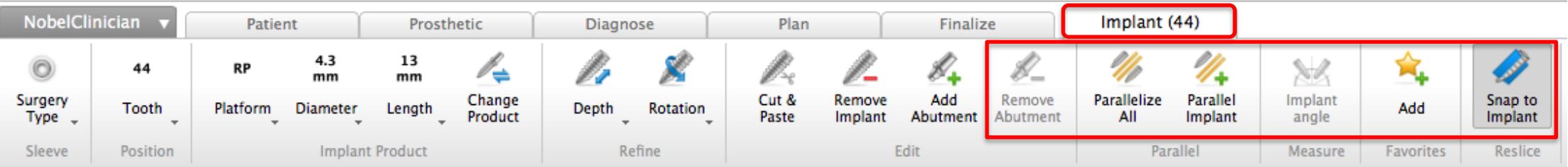
3D画像



2D画像

Planning画面 計画 (Plan) Property Panel表示 Implant

こちらに表示されている機能は、インプラント選択後右クリックで表示される機能です



 アバットメントの削除

 全てのインプラントを平行に埋入する際に使用

 複数のインプラントを平行に埋入する際に使用

 インプラントと他のインプラント間の角度計測及びアバットメント間の角度

 お気に入りへ追加する

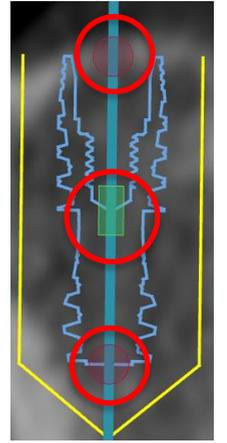
 インプラント中心の軸面で表示されています

『表示条件』

下記図の様にインプラントを選択している場合のみ、表示されます(インプラントを動かせる状態)



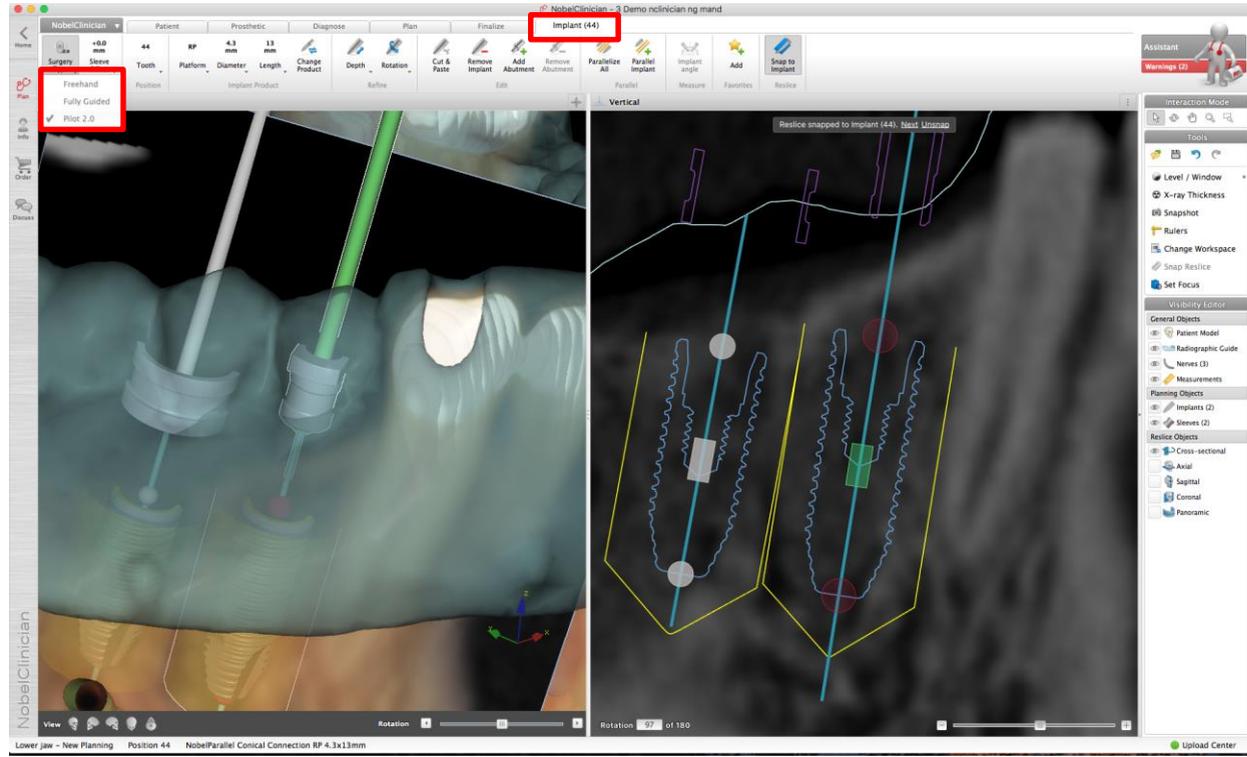
3D画像



2D画像

Planning画面 計画 (Plan)インプラント埋入 Surgery Type

Planningでは、Surgery Typeの選択が可能です



- Freehand 未発売の為、現時点では使用不可
- ✓ Fully Guided インプラント埋入までのサポート(従来型)
- Pilot 2.0 2mmのツイストドリルまでのサポート



Implantを選択、または右側 Tools にあるSnap To Reslice (Snap to Implant)を使用すると、Implant Tabが表示されます
左上にある、Surgery Typeをクリックすれば、上図のようにSurgery Typeの選択が出来ます

Planning画面 計画 (Plan)インプラント埋入 Surgery Type pilot

NobelClinician ▾

Surgery Type ▾ +0.0 mm Sleeve Offset ▾

Freehand

Fully Guided

✓ Pilot 2.0

Surgery TypeをPilot2.0を選択
Pilot2.0では、Sleeve Rotationを使用出来ます
3Dまたは、2D画像でインプラントを選択後、右クリックします
右図のツールが表示されますので、Sleeve Rotationにマウスを移動させます。スライダーバーが表示されるので移動させてSleeveを回転させます

Implant (21): NobelActive NP 3.5x18 mm
Abutment: Procera Esthetic Abutment Conical Connection NP #4

Surgery Type ▶

Sleeve Offset ▶

Sleeve Rotation ▶ 

Platform ▶

Diameter ▶

Length ▶

 Change Product ...

Depth ▶

Rotation ▶

Abutment ▶

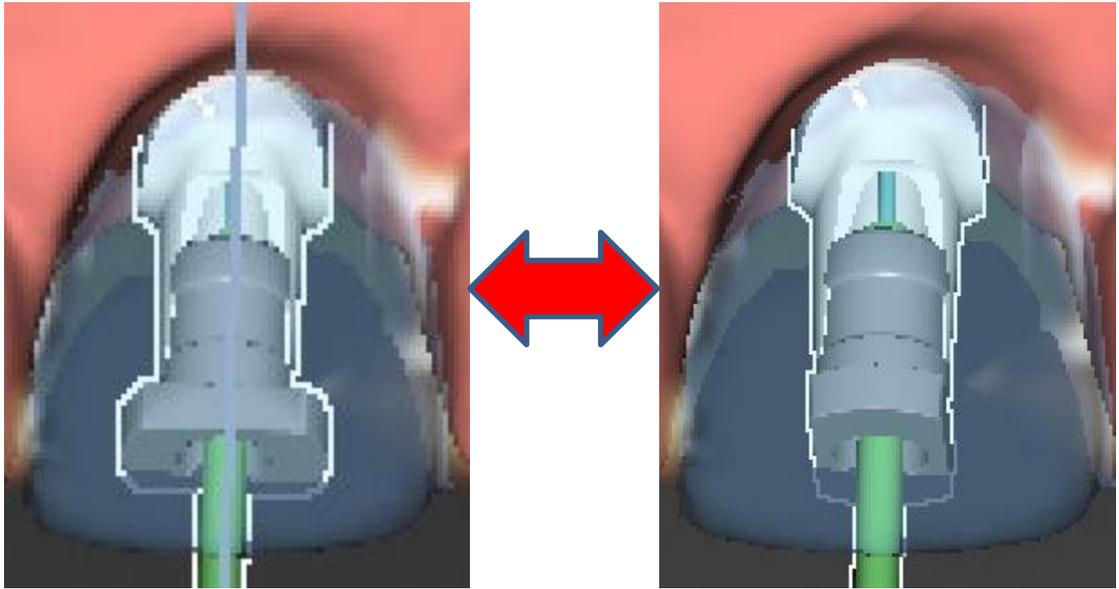
 Attach Reslice to Implant

Hide

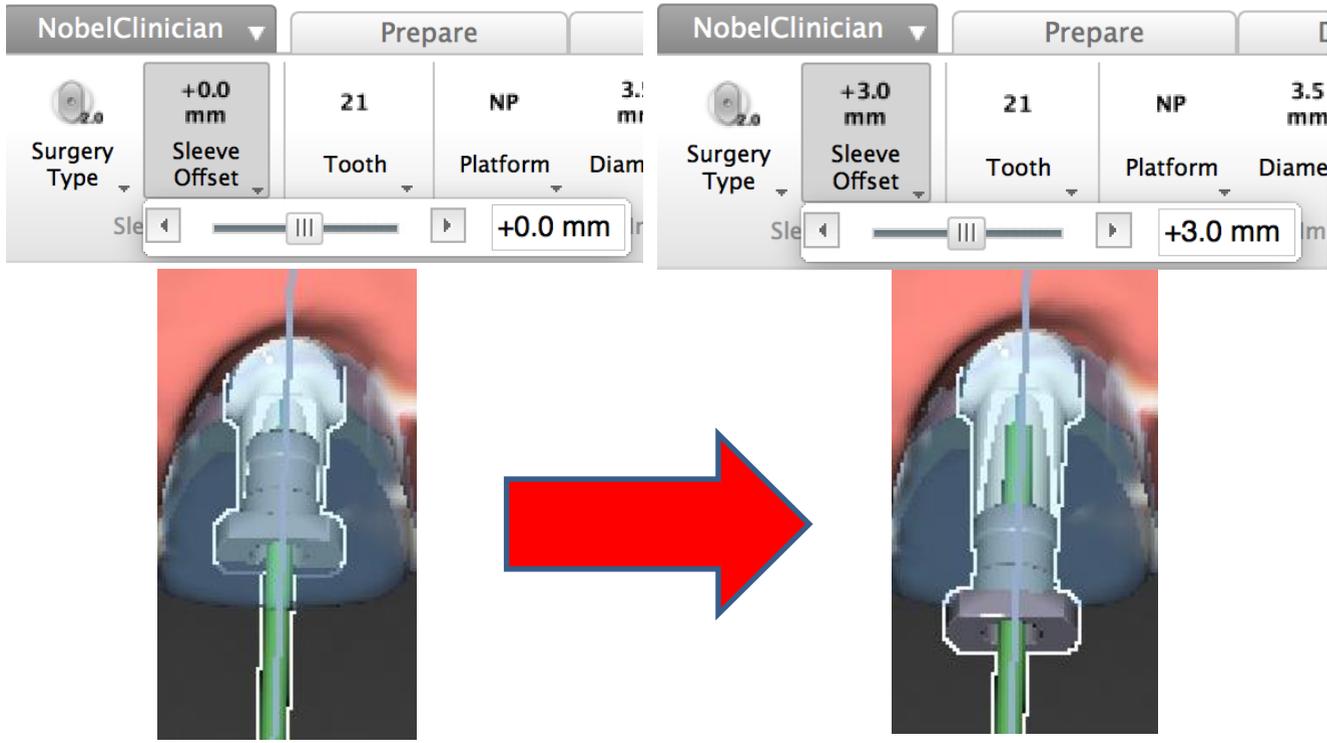
 Cut

 Remove Object

Property Panel ...



Planning画面 計画 (Plan)インプラント埋入 Surgery Type pilot



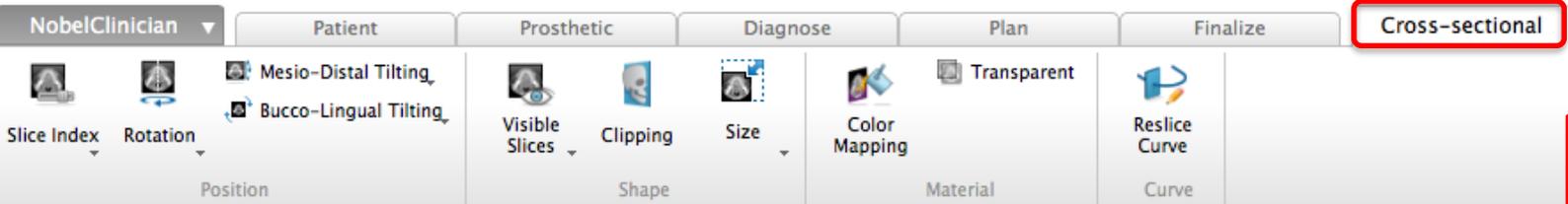
+0.0 mm
Sleeve Offset

Surgery TypeをPilot2.0を選択
Pilot2.0では、選択したImplantの最長サイズ以外を選択されていれば、Sleeve Offset機能が使用出来ます
この機能は埋入深度が深く、歯肉粘膜にスリーブがあたってしまふ、若しくは歯肉粘膜内に入り込んでしまふ場合などに使用します

例 15mmのImplantを埋入する場合
ツイストドリルのゲージは7,8.5,10,11.5,13,15,18mmになっています
このケースでは、3mm Offsetして、18mmのドリルでドリリングし、その後サージカルテンプレートを外します
その後のドリルは15mmのドリルを使用し、マニュアルに沿った術式にて15mmのImplantを埋入します

Planning画面 計画 (Plan) Property Panel表示 Cross-sectional

こちらに表示されている機能は、3D画像内の垂直スライス選択後右クリックで表示される機能です

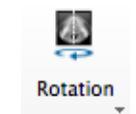


『表示条件』

下記図の様にResliceを選択している場合のみ、表示されます (Resliceの周りが白くなっている)



リスライスの移動 (Reslice Curveに沿って動きます)



リスライスの横回転 (歯牙など任意の部位で可能)



リスライスの角度変更 (Implant傾斜埋入などに)



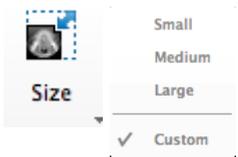
リスライスの縦回転 (歯牙など任意の部位で可能)



- Perpendicular Slice 垂直スライス (Default)
- Parallel Slice 平行スライス
- Horizontal Slice 水平スライス



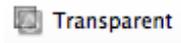
垂直スライスに対して、近心側または遠心側の3D画像を非表示にして断面を立体的に確認する事が出来ます (右端にあるReslice ObjectにあるAxial、Sagittal、Coronalでも可能です)



スライスのサイズ変更



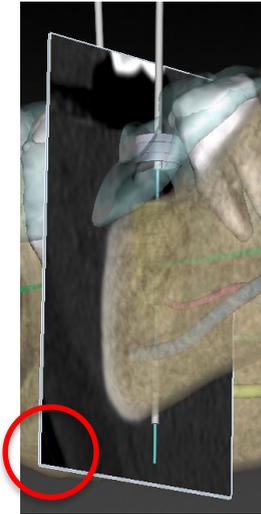
HU値 (CBはGray値) を元に骨密度を色分けします (色の変更はPropertyで行います)



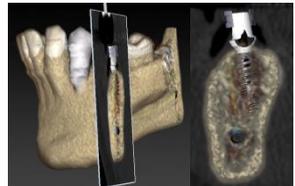
スライス画像が半透明になります



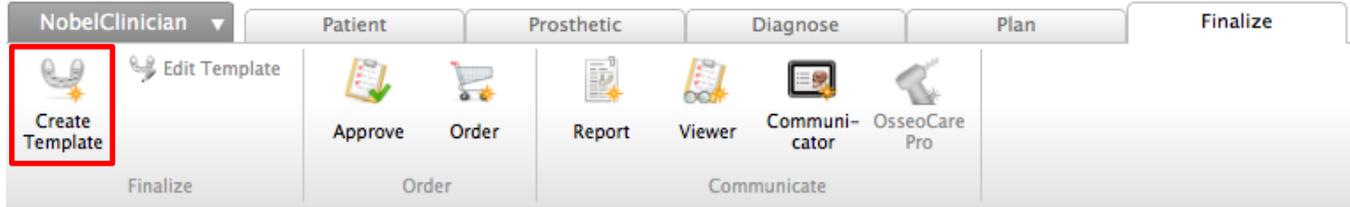
リスライスカーブの設定画面へ移動



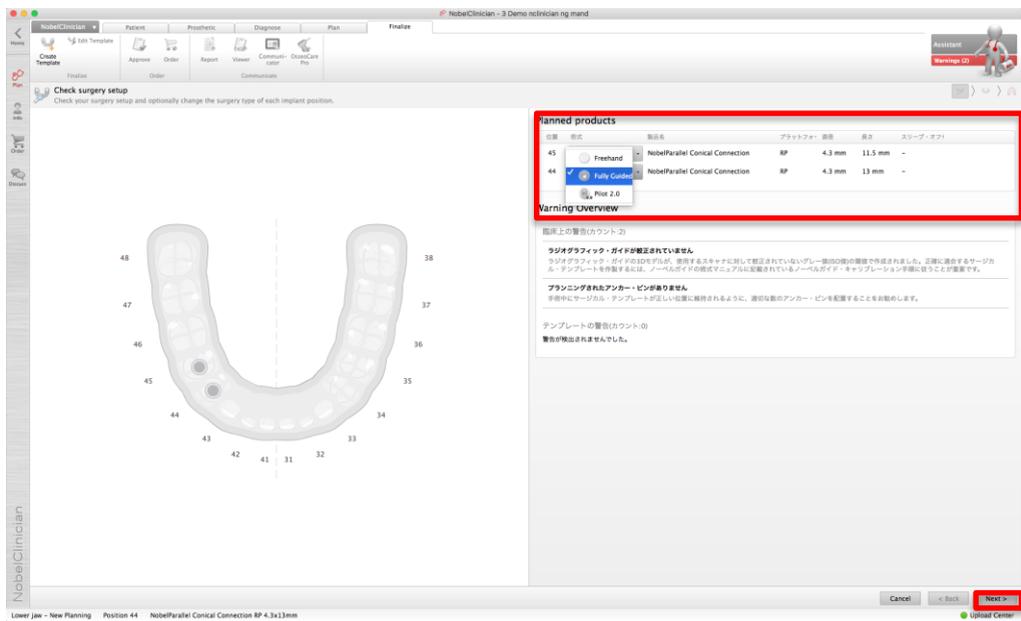
3D画像



Planning-Finalize (ラジオグラフィックガイド使用時 Template & Approve)



Create Templateボタンをクリックすると、下記図のウィンドウが開きます。ここでは、サージカルタイプの変更が可能です。正しいサージカタイプになりましたら、右下のNextをクリックします

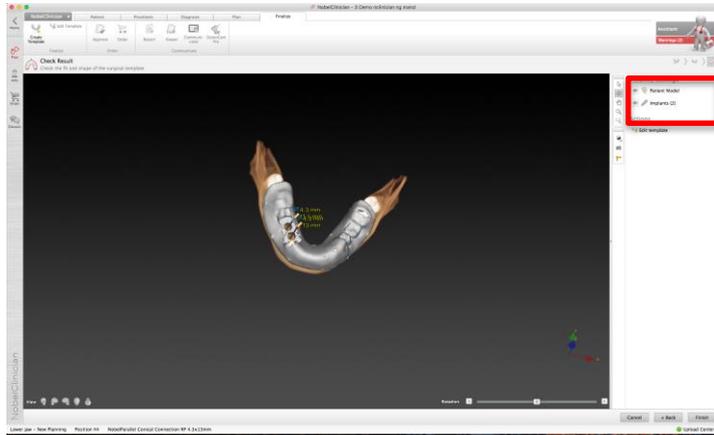
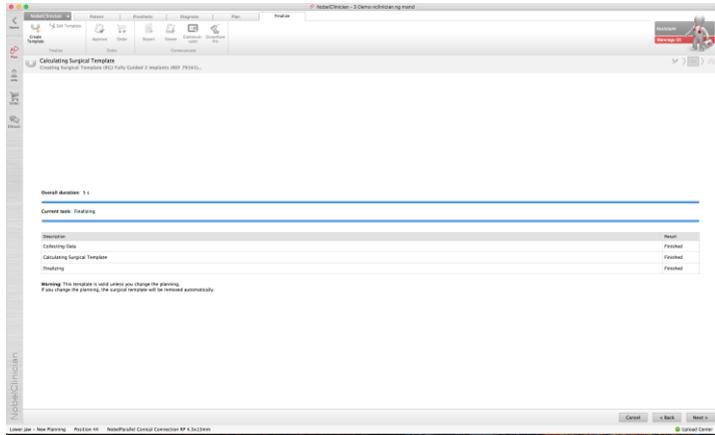
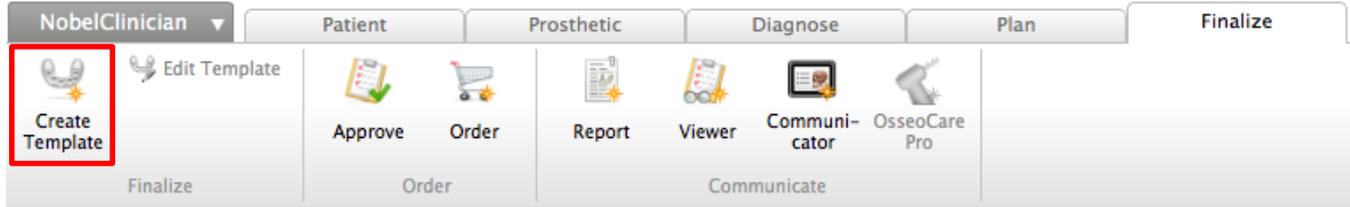


Planned products

位置	術式	製品名	プラットフォーム	直径	長さ	スリーブ・オフ
45	Freehand	NobelParallel Conical Connection	RP	4.3 mm	11.5 mm	-
44	Fully Guided	NobelParallel Conical Connection	RP	4.3 mm	13 mm	-
	Pilot 2.0					

Fully Guided またはPilot 2.0を選択出来ます

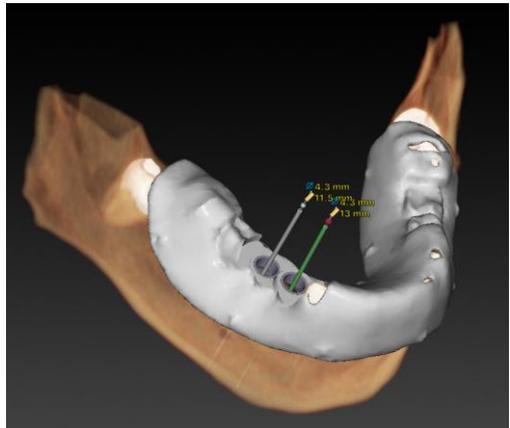
Planning-Finalize (ラジオグラフィックガイド使用時 Template & Approve)



Visibility Settings

- Patient Model 骨モデル表示と非表示
- Implants (2) Implant表示と非表示

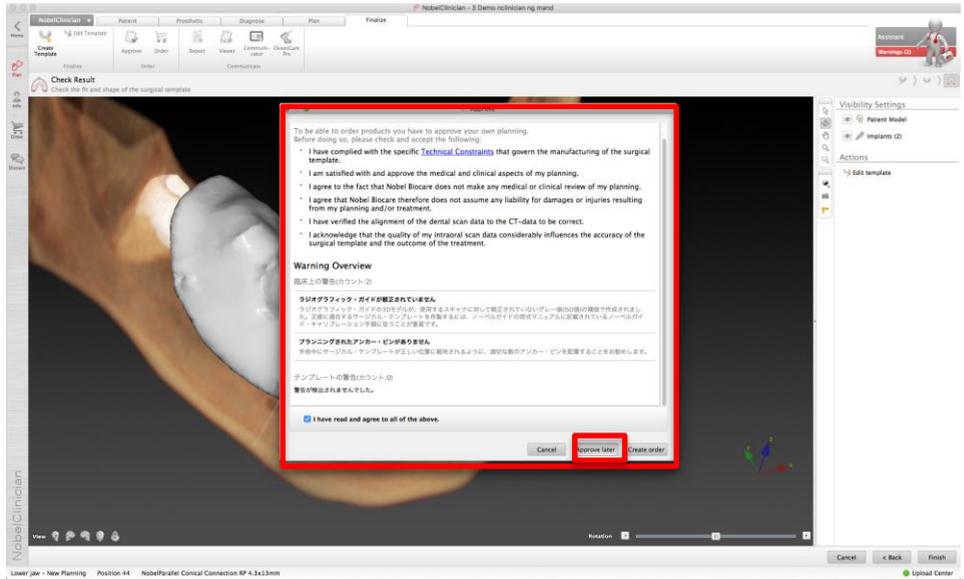
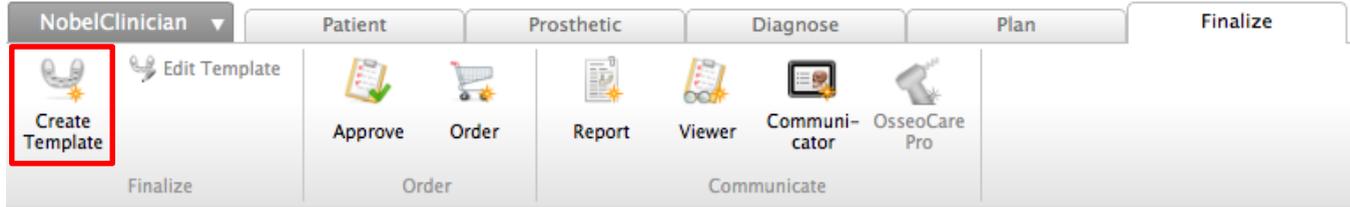
Actions



サージカルテンプレートのイメージ画像が表示されましたら、オペ時に不具合が無いかどうかの確認をして頂き、不具合がある場合はImplantの位置の調整をして下さい。
問題がない場合は、右下のFinishボタンをクリックします

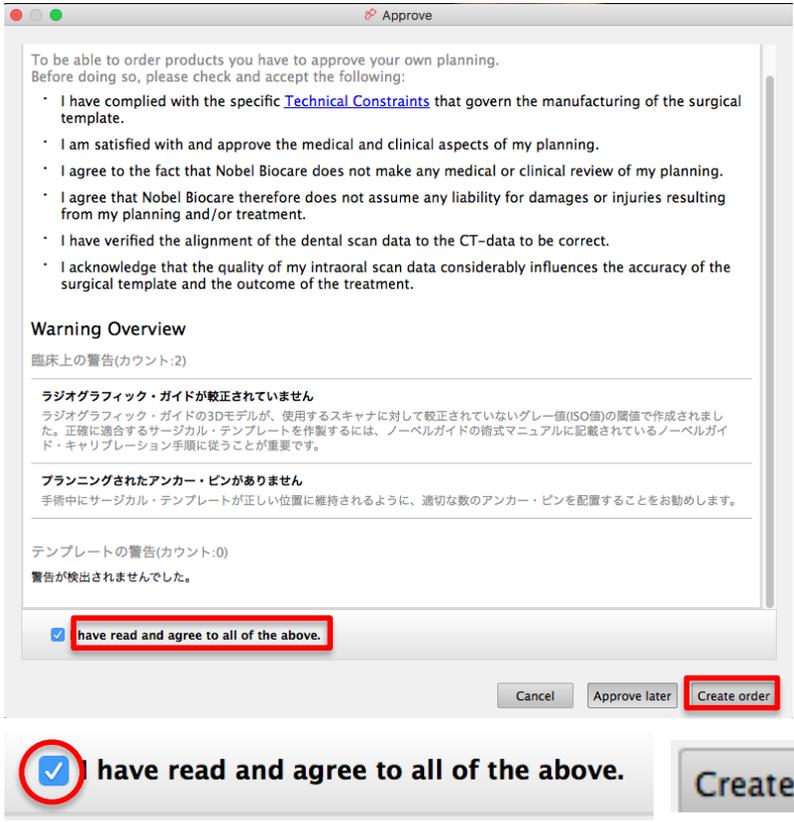
※ Create Templateを作成しないと、オーダー画面にサージカルテンプレートが表記されません。サージカルテンプレートのオーダーが出来ない為、必ずこの操作を行って下さい。

Planning-Finalize (ラジオグラフィックガイド使用時 Template & Approve)



→
オーダーに進む場合

↓
Approve later



オーダー送信を行う場合は、Create order をクリックします
オーダー操作はページへ

プランニングに戻る場合は、Approve later をクリックします

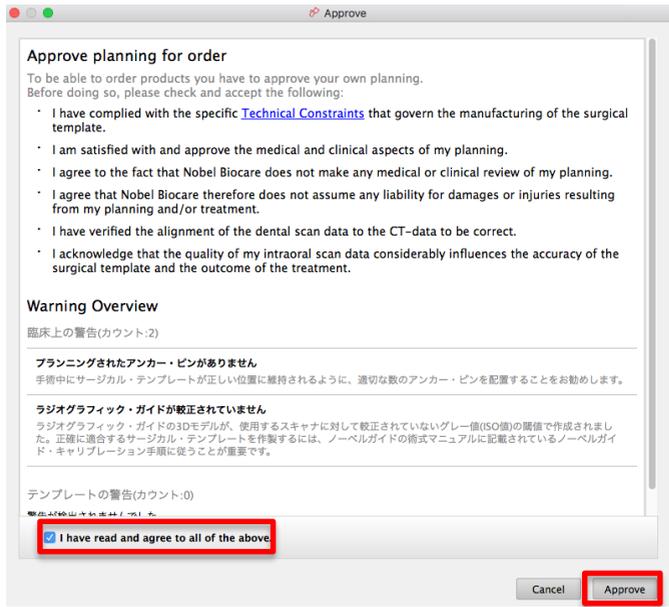
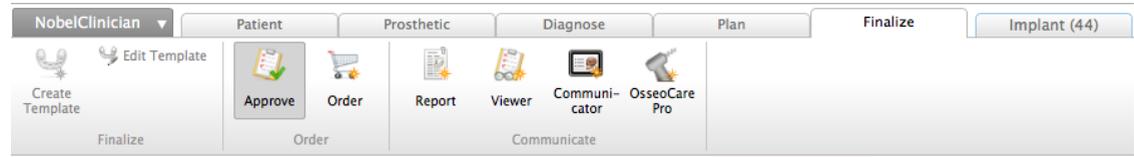
Planning-Finalize (ラジオグラフィックガイド使用時 Template & Approve)



全てのPlanningが終了し、サージカルテンプレートの発注に進む場合は、Approveのボタンをクリックすると下図が表示されますので、注意書きに同意して頂いた場合は、下記の項目にチェックを入れてApproveのボタンをクリックします



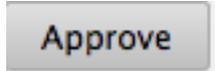
※ Approveボタンを押すと、プランニングの変更が出来なくなります
再度プランニングを変更する場合はDisapprove Planningボタンをクリックします



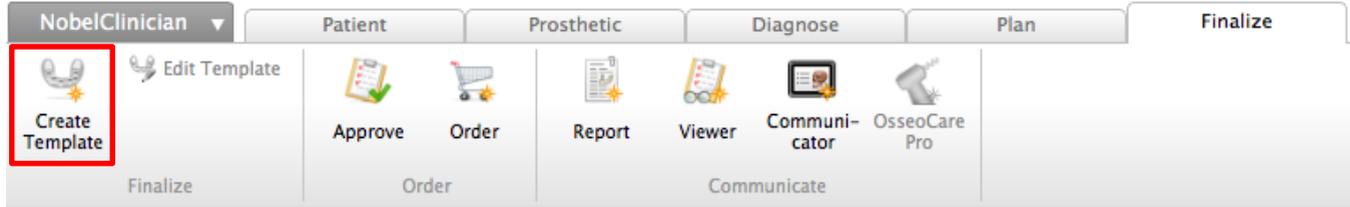
サージカルテンプレートのオーダー送信を行う場合は、Orderボタンをクリックします



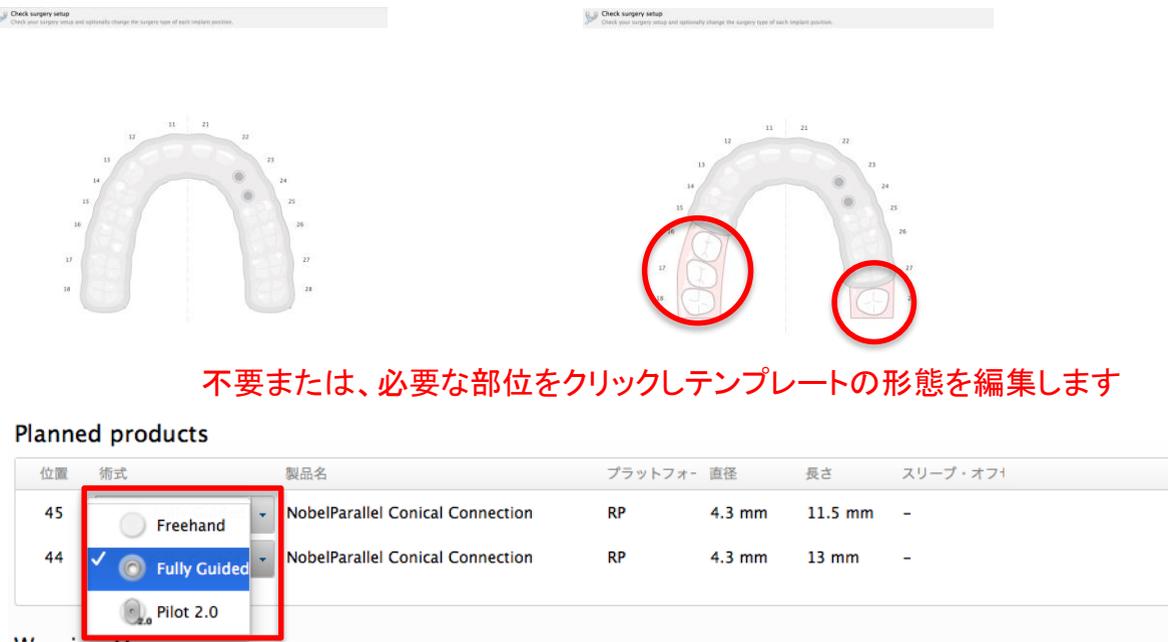
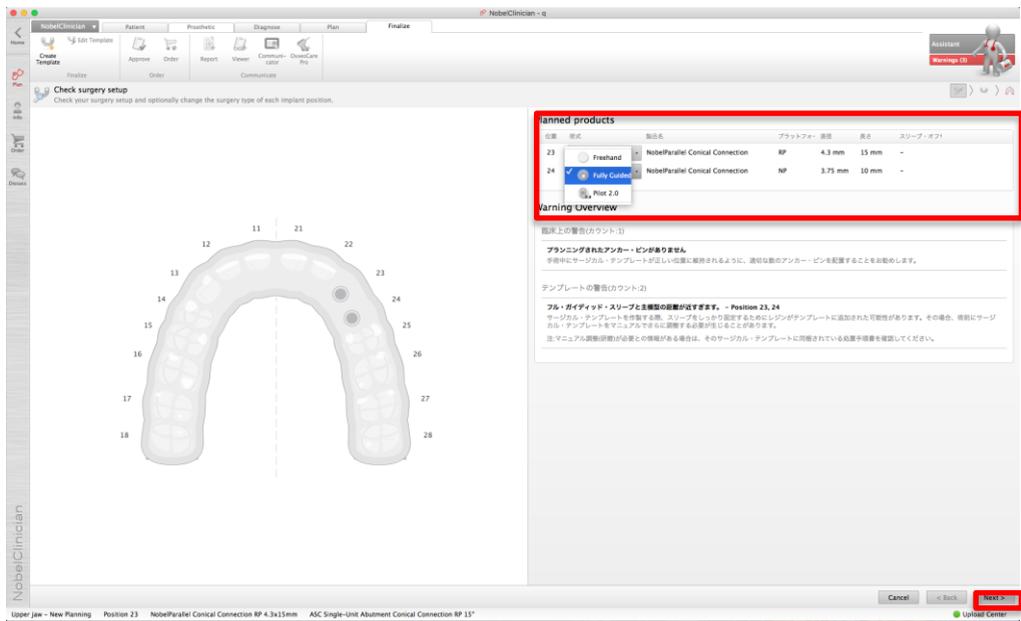
have read and agree to all of the above.



Planning-Finalize (Dental Cast Smart Fusion使用時 Template & Edit Template)



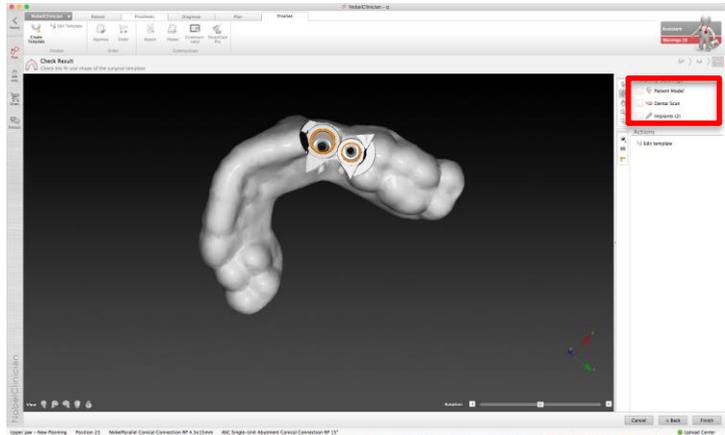
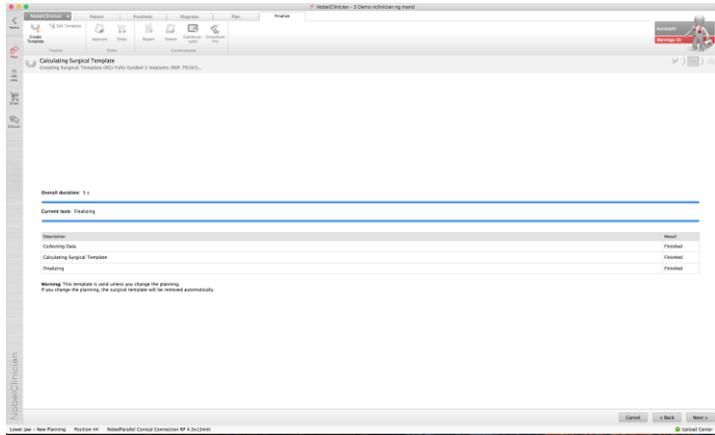
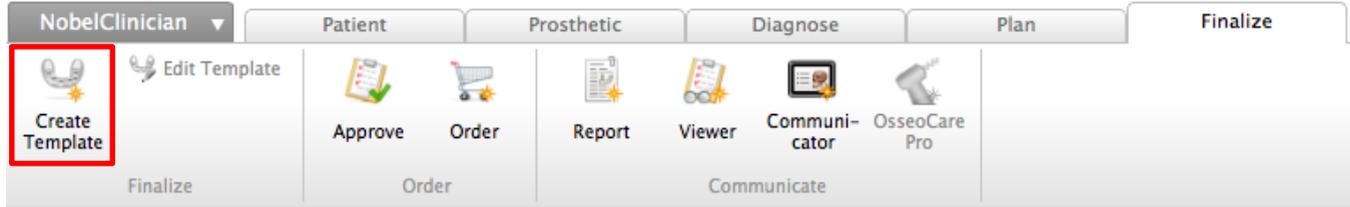
Create Templateボタンをクリックすると、下記図のウィンドウが開きます。ここではサージカルテンプレートの形態の変更、サージカルタイプの変更が可能です。正しいサージカタイプになりましたら、右下のNextをクリックします



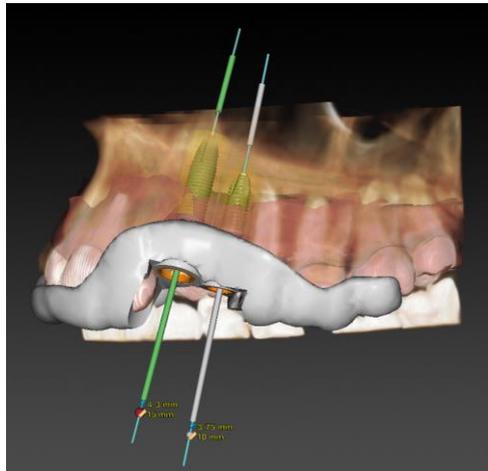
不要または、必要な部位をクリックしテンプレートの形態を編集します

Fully Guided またはPilot 2.0を選択出来ます

Planning-Finalize (Dental Cast Smart Fusion使用時 Template & Edit Template)



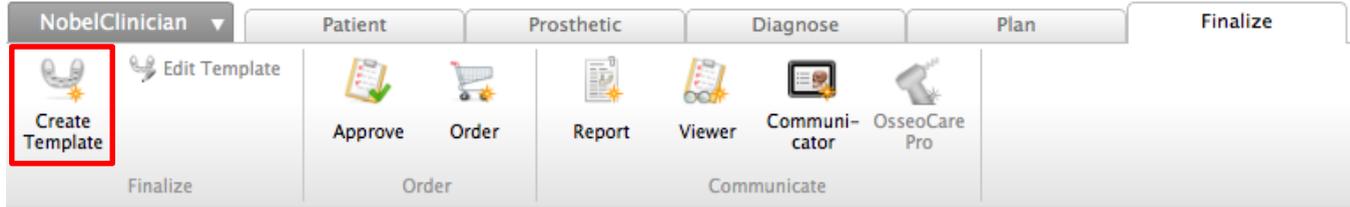
- Visibility Settings**
- Patient Model 骨モデル表示と非表示
 - Dental Scan Dental Scan表示と非表示
 - Implants (2) Implant表示と非表示
- Actions**
- Edit template サージカルテンプレートの編集



サージカルテンプレートのイメージ画像が表示されましたら、問題がないかを確認します。テンプレートの編集はEdit template をクリックして、再度行う事が可能です。編集を行わない場合は右下のFinishボタンをクリックします。

※ Create Templateを作成しないと、オーダー画面にサージカルテンプレートが表記されません。サージカルテンプレートのオーダーが出来ない為、必ずこの操作を行って下さい。

Planning-Finalize (Dental Cast Smart Fusion使用時 Template & Edit Template)



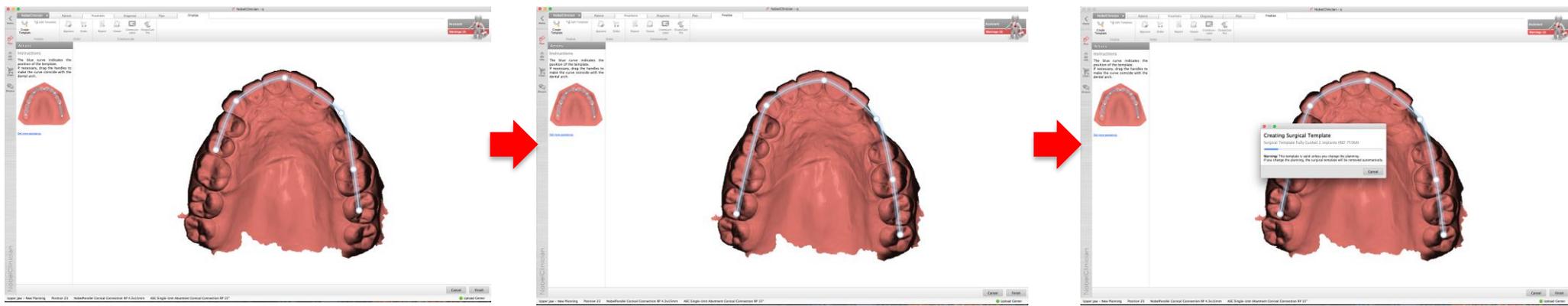
Visibility Settings

- Patient Model
- Dental Scan
- Implants (2)

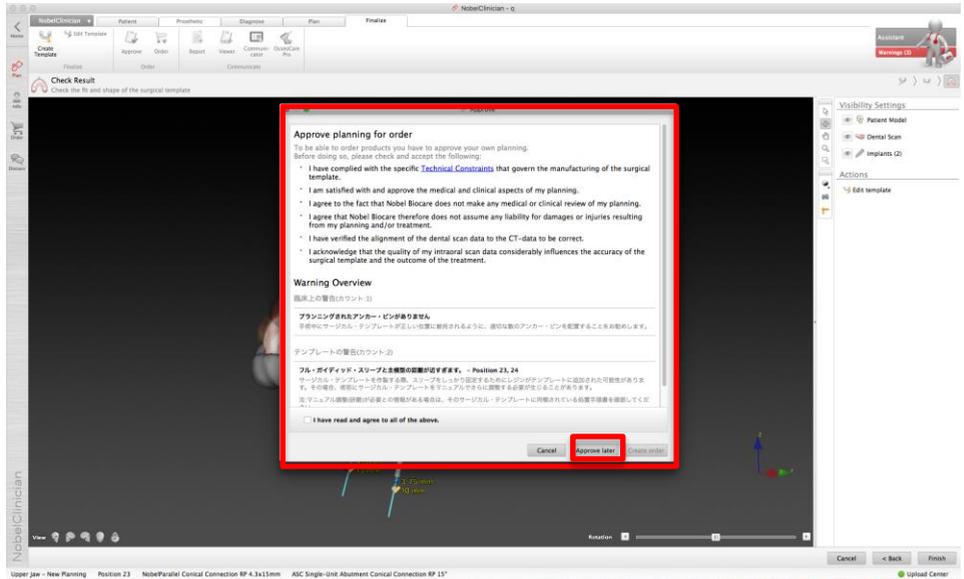
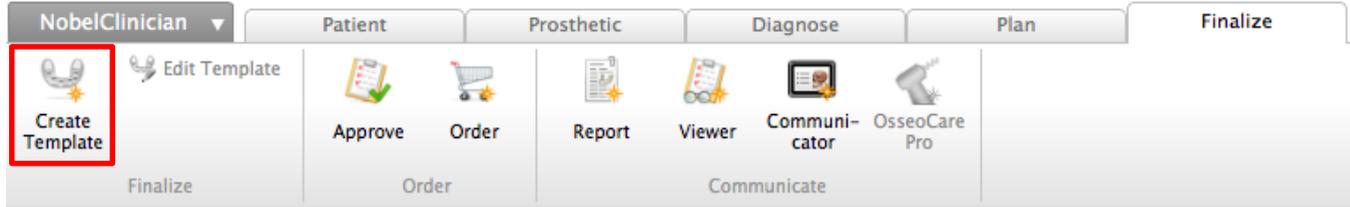
Actions



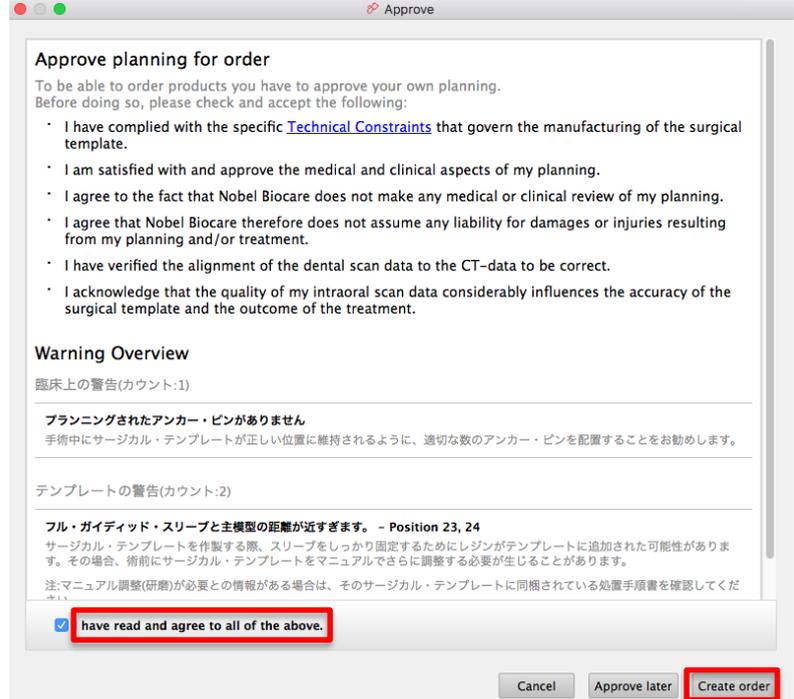
Edit templateでは、サージカルテンプレートデザインのラインが表示されます。
 ラインを中心にサージカルテンプレートが作製されます。
 ラインにある白丸をドラッグして動かし、デザインを変更します。
 変更終了後、右下のFinishをクリックします。



Planning-Finalize (Dental Cast Smart Fusion使用時 Template & Edit Template)



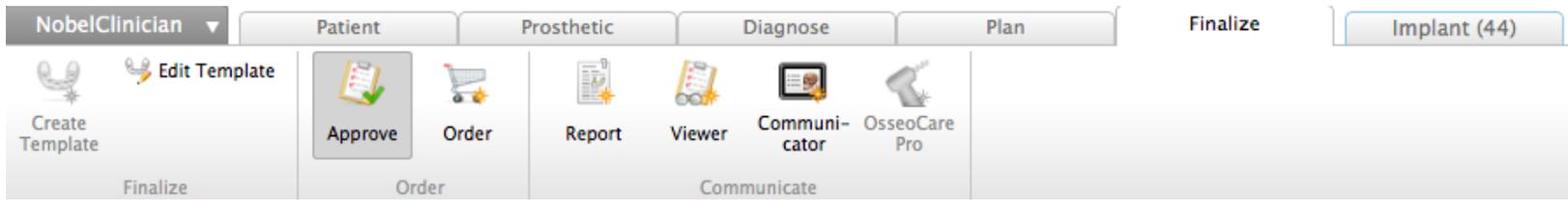
オーダーに進む場合



オーダー送信を行う場合は、Create order をクリックします
オーダー操作はページへ

プランニングに戻る場合は、Approve later をクリックします

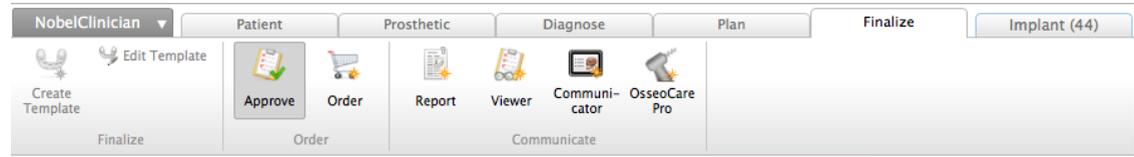
Planning-Finalize (Dental Cast Smart Fusion使用時 Template & Edit Template)



全てのPlanningが終了し、サージカルテンプレートの発注に進む場合は、Approveのボタンをクリックすると下図が表示されますので、注意書きに同意して頂いた場合は、下記の項目にチェックを入れてApproveのボタンをクリックします



※ Approveボタンを押すと、プランニングの変更が出来なくなります
再度プランニングを変更する場合はDisapprove Planningボタンをクリックします



Approved planning. To modify this planning you need to first disapprove the planning. **Disapprove Planning**



サージカルテンプレートのオーダー送信を行う場合は、Orderボタンをクリックします

Approve planning for order

To be able to order products you have to approve your own planning. Before doing so, please check and accept the following:

- I have complied with the specific [Technical Constraints](#) that govern the manufacturing of the surgical template.
- I am satisfied with and approve the medical and clinical aspects of my planning.
- I agree to the fact that Nobel Biocare does not make any medical or clinical review of my planning.
- I agree that Nobel Biocare therefore does not assume any liability for damages or injuries resulting from my planning and/or treatment.
- I have verified the alignment of the dental scan data to the CT-data to be correct.
- I acknowledge that the quality of my intraoral scan data considerably influences the accuracy of the surgical template and the outcome of the treatment.

Warning Overview

臨床上の警告(カウント:1)

プランニングされたアンカー・ピンがありません
手術中にサージカル・テンプレートが正しい位置に維持されるように、適切な数のアンカー・ピンを配置することをお勧めします。

テンプレートの警告(カウント:2)

フル・ガイドッド・スリーブと主機型の距離が近すぎます。 - Position 23, 24
サージカル・テンプレートを作成する際、スリーブをしっかりと固定するためにレジンがテンプレートに追加された可能性があります。その場合、術前にサージカル・テンプレートをマニュアルでさらに調整する必要があります。
注:マニュアル調整(研削)が必要との情報がある場合は、そのサージカル・テンプレートに同梱されている処置手順書を確認してください。

I have read and agree to all of the above

Cancel **Approve**

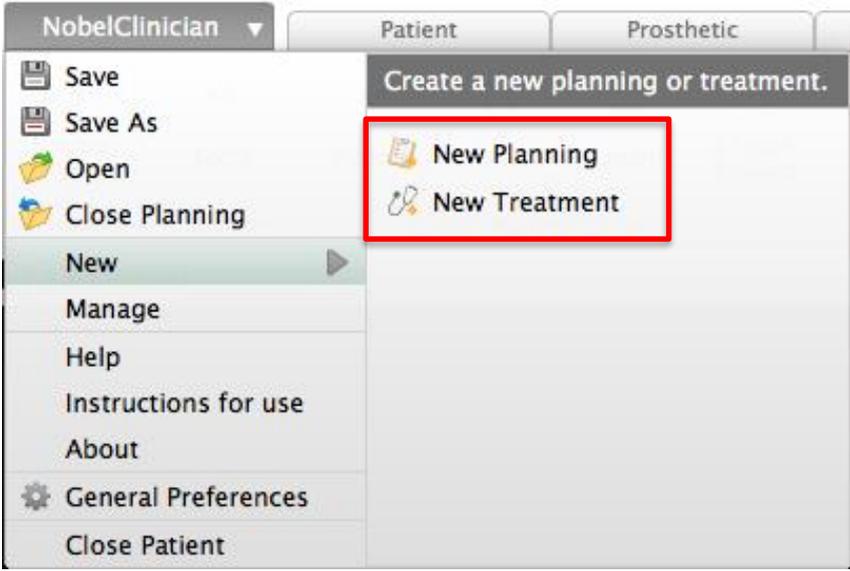


have read and agree to all of the above.

Planning画面 計画 (Plan) Other (NobelClinician)



- Save 上書き保存
- Save As 上書きではなく、別名で保存
- Open 複数のプランニングがある場合に使用します
- Close Planning プランニングを閉じます
- New 下記を参照
- Manage 次ページを参照
- Help ヘルプファイルを開きます
- Instructions for use 取扱説明書
- About ソフトウェアバージョン情報
- General Preferences 詳細設定
- Close Patient 患者データを閉じます

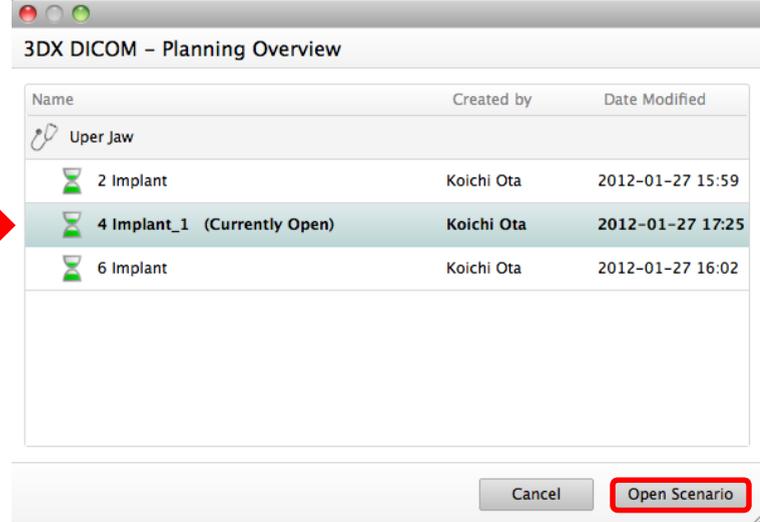
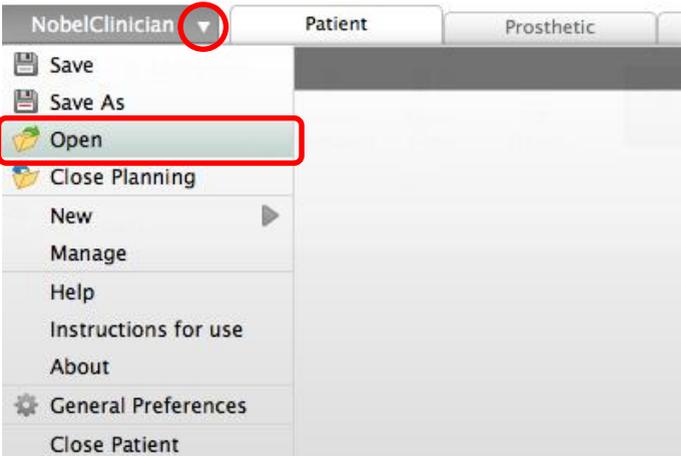


一つの症例でプランニングを複数作る場合は、行っているプランニングをSaveしてから、Newをクリックして、New Planningを左クリックして開きます。この時に、今まで行っていたプランニングは消えて、骨、または骨とDental scan&ラジオグラフィックガイドのみが表記され、新しいプランニングを開始出来ます。一度保存したプランニングを若干変更し、尚且つ上書き保存したくない場合は、Save Asを選択して名前を変更して保存します。(ダブルサージカルテクニックなど) Planningを複数作成した場合にファイルを選んで開く際は、Openを左クリックして、該当するファイルを選んで開きます。

一人の患者で、上下顎のプランニングを行いたい場合はNewをクリックして、New Treatmentを左クリックします。例: 上顎のプランニングが終了後、Saveします。NewをクリックしてNew Treatmentを左クリックしますと、CT convert の画面になりますので、下顎のCTデータのconvertを行いプランニングへ進みます。

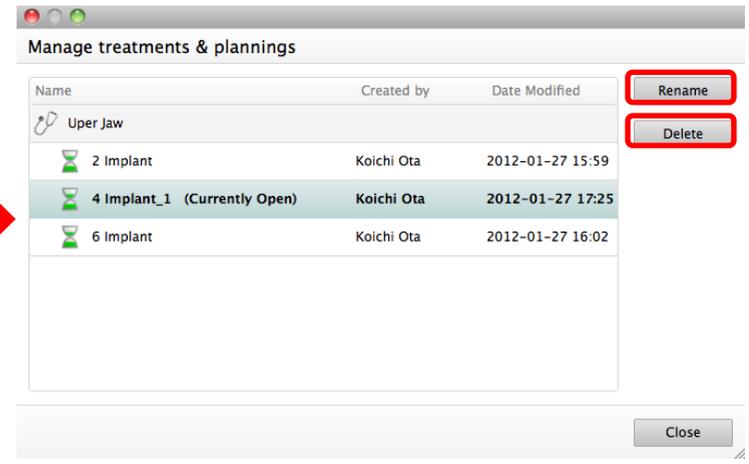
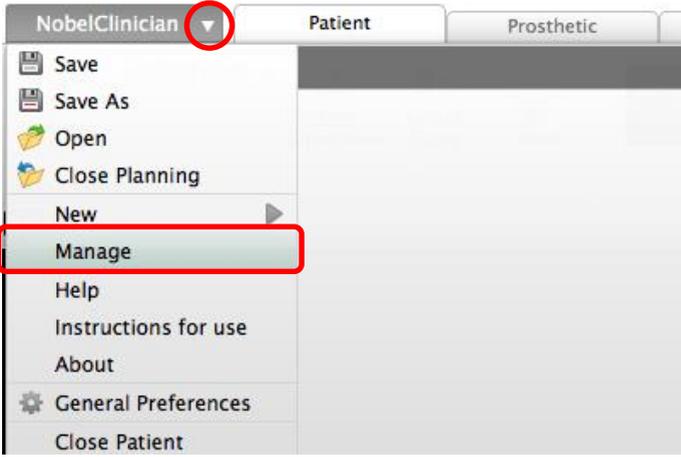
Planning画面 計画 (Plan) Other (NobelClinician)

様々なプランニングデータを開く



開きたいプランを選択後Open Scenarioを左クリックします

プランニング名の変更と削除

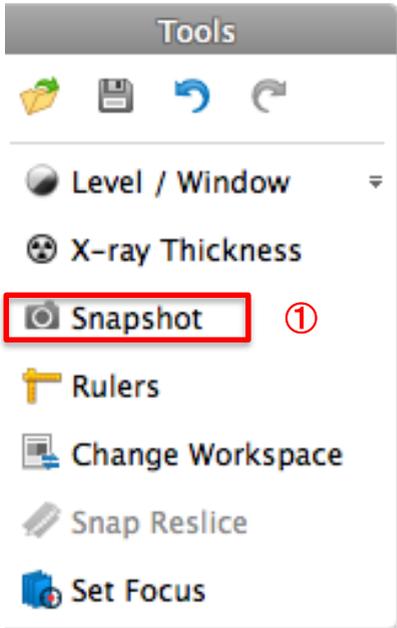
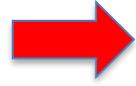
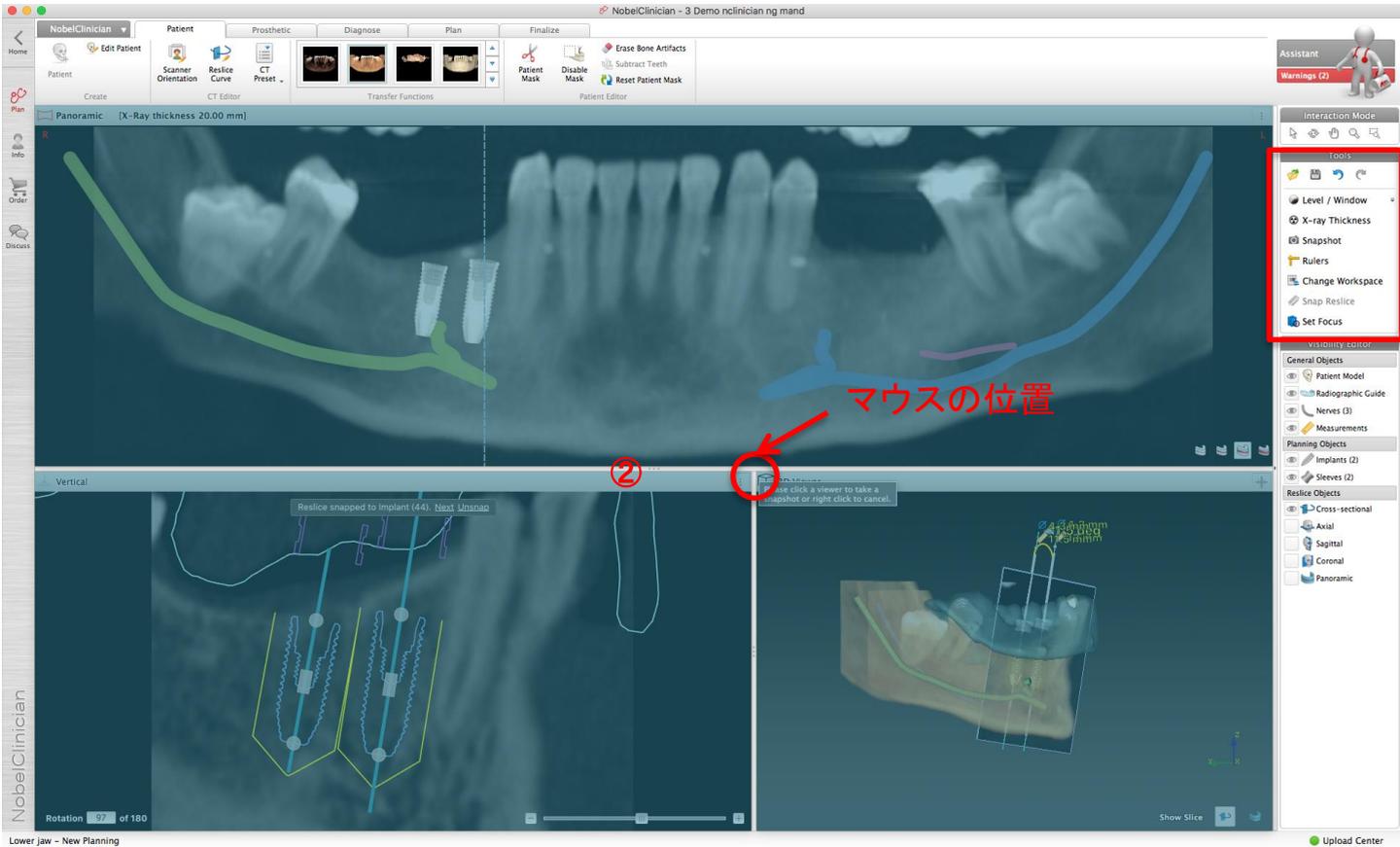


プラン名を変更する場合はRenameを左クリックし、編集します

プランを削除する場合はDeleteを左クリックし、削除します

Planning画面 画像の取り込み

プランニング内容を画像として保存する事が出来ます

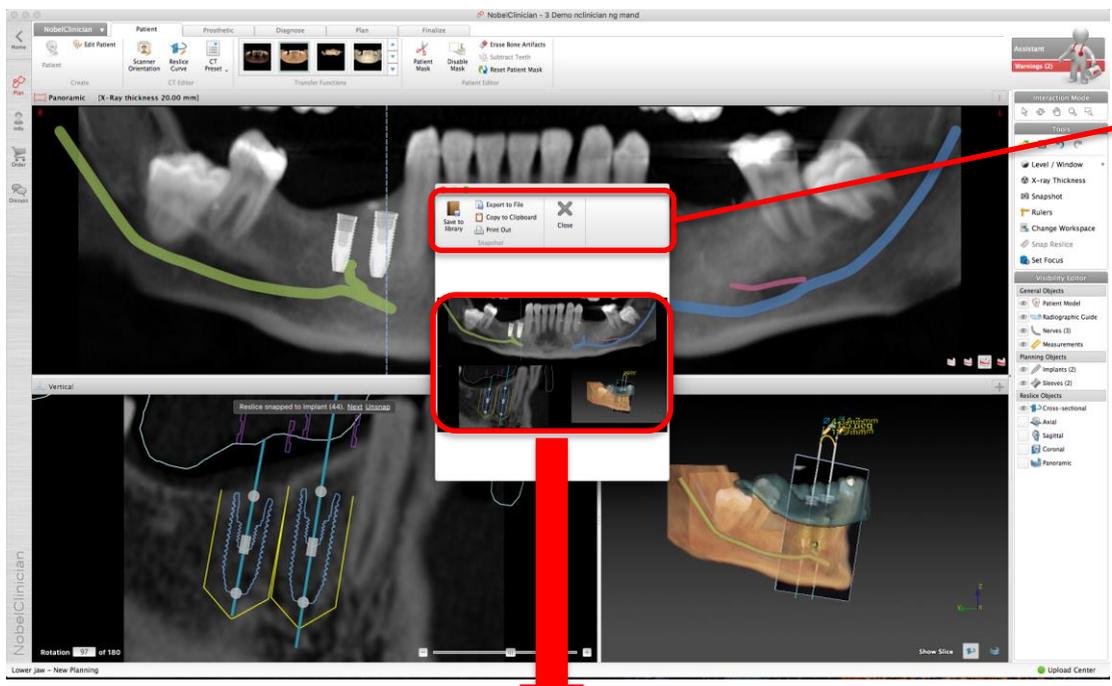


手順1

- 1) 右端にあるTools内の**Snapshot**をクリックします
- 2) マウスを保存したい画像に移動します(選んだ画像が半透明なブルー色になります。上記図では3画像の中心にマウスを移動して3画像を選択しています)

Planning画面 画像の取り込み

プランニング内容を画像として保存する事が出来ます



選択された画像が表示されます



Save to library
ソフトウェア内 (Patient Information内) に取り込まれます

Export to File
jpg.などのファイルとして任意の場所に保存します

Copy to Clipboard
コピーされた状態になりますので、デスクトップやWindowsではペイントなどに貼付けます
プレゼンテーションなどを作成されていれば、直接貼付けて下さい

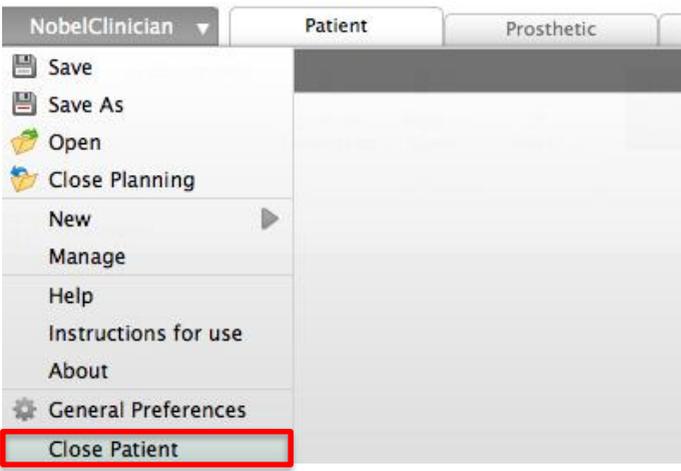
Print Out
画像を印刷します (プリンターが接続されている状態に限ります)

手順2

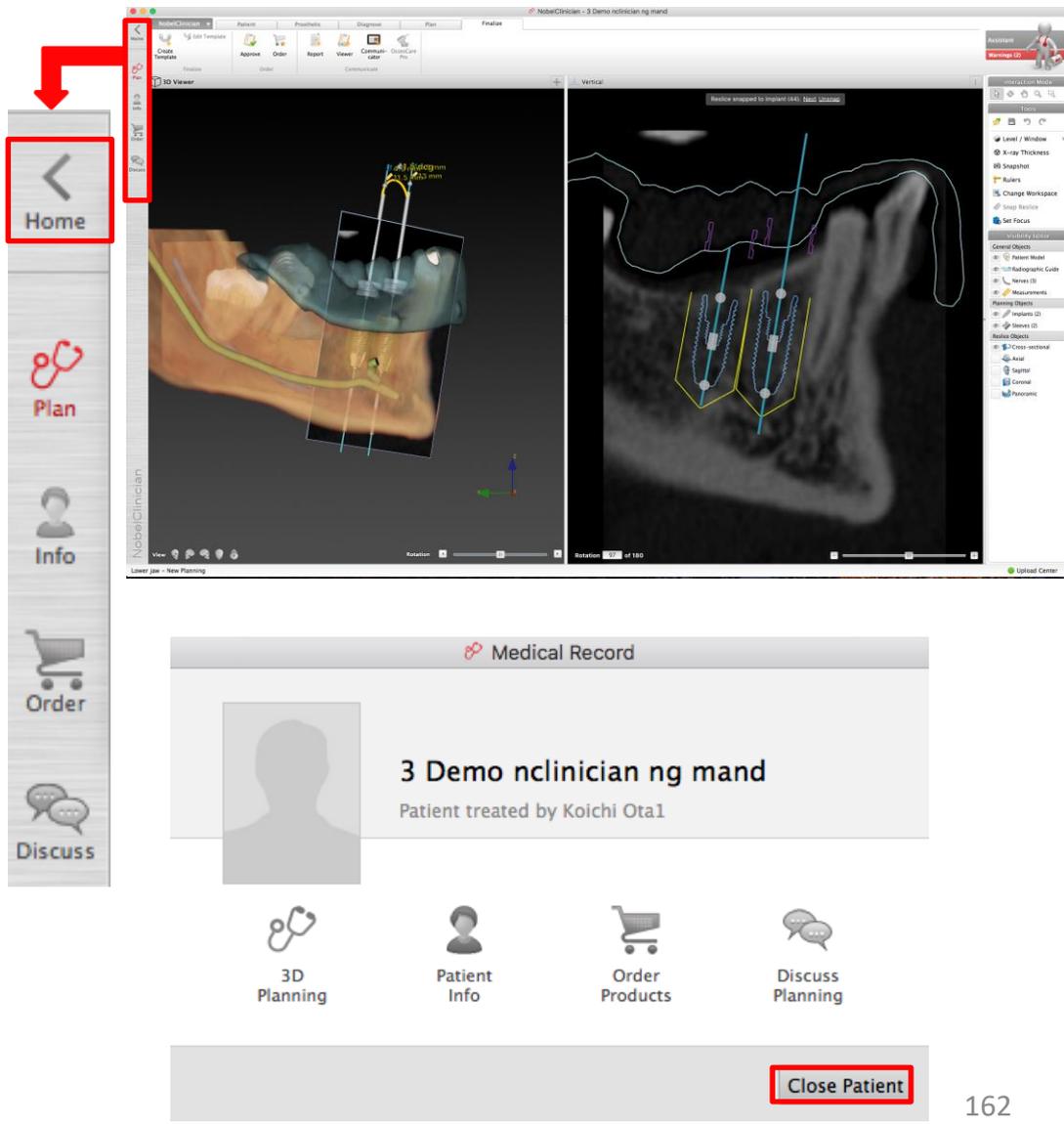
- 1) 画像の範囲を決定したら、左クリックします (上記図のような選択出来るウィンドウが開きます)
- 2) それぞれの用途に応じたコマンドをクリックして終了です

Planning画面 計画 (Plan) Other (NobelClinician)

プランニングを閉じる、終了する



プランニングが終了し、ソフトウェアを終了、または新しい患者のプランを開始する場合は、NobelClinicianをクリックし、Close Patient をクリックします。左端にあるアイコンのHomeをクリックしても閉じる事ができます。セーブするかしないかのメッセージが表示されますので、選択して下さい。Medical Recordが開きますので、Close Patientをクリックして終了します。



Other (Patient Information)

- ① 患者情報の詳細を記入する事が出来ます
- ② 顔写真、症例写真などを取り入れる事が出来ます

The screenshot displays the NobelClinician Patient Library interface. On the left is a vertical sidebar with icons for Home, Plan, Info (highlighted with a red box), Order, and Discuss. The main window title is 'NobelClinician - 3 Demo nclinician ng mand'. Below the title bar is a toolbar with 'Import', 'Open', 'Delete', 'Rotate', 'Set As Cover', and 'Export' buttons. The 'Patient Information' section (marked with a red circle ①) contains the following fields: First name (3), Last name (Demo nclinician ng mand), ID, Treating clinician (Koichi Ota1), Gender (Not Set), and Date of birth (2017-05-22). The 'Contact Information' section includes Home address, Street + number, Zipcode, City, Country, Home number, Mobile number, and E-mail address 1, each with an 'Add' button. A 'Notes' section is at the bottom. The right side of the interface (marked with a red circle ②) shows a 'Patient Library' view with two image thumbnails, indicating the ability to upload photos or case images.

Other (Patient Information)

① 患者情報の記入

Patient Information

First name: Demo
 Last name: Test
 ID:
 Prosthodontist:
 Gender: Female
 Date of birth: 2012-11-30

Contact Information

Home Address:
 Street + number: 港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー8F
 Zipcode: 港区 City: 東京都
 Country: Japan
 + Add Address

Home number: 03-6717-6164
 Mobile number:
 + Add Phone Number

E-mail address 1:
 + Add E-mail Address

Notes

→ 患者名の登録、カルテ番号など

→ 性別の選択

→ 登録日などの日付設定

→ 登録する住所の選択

→ 住所の記入

→ 住所の追加

→ 電話番号記入 複数可

→ 電話番号記入の追加

→ メールアドレスの記入

→ メールアドレスの追加

→ その他、メモやコメント記入

② 画像の挿入と編集

Patient Library

Import Open Delete Rotate Set As Cover Export

Item Selected Item

Import: 画像の取り込みを行います

Open: 選択した画像を開きます

Delete: 選択した画像を削除します

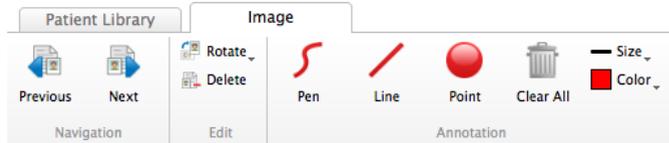
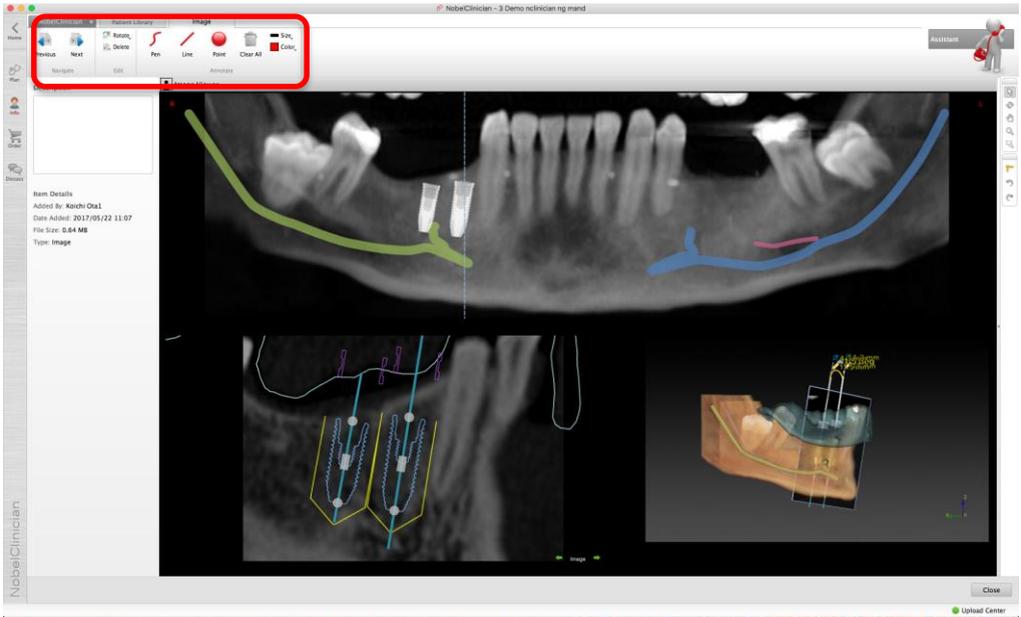
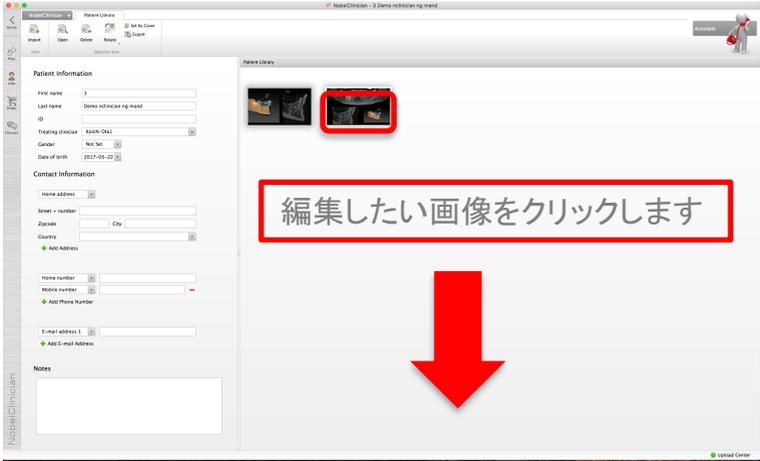
Rotate: 選択した画像の方向、向きを変更します

Set As Cover: 選択した画像を表紙画像にします

Export: 選択した画像を他の場所に移動します

Other (Patient Information)

② 画像の編集



前の画像、次の画像と複数画像が保存されている場合に使用します

Rotate
画像の方向、向きを変更します

Delete
画像を削除します(ゴミ箱などには入らずに完全に無くなります)

Pen
画像に記入する際に使用します

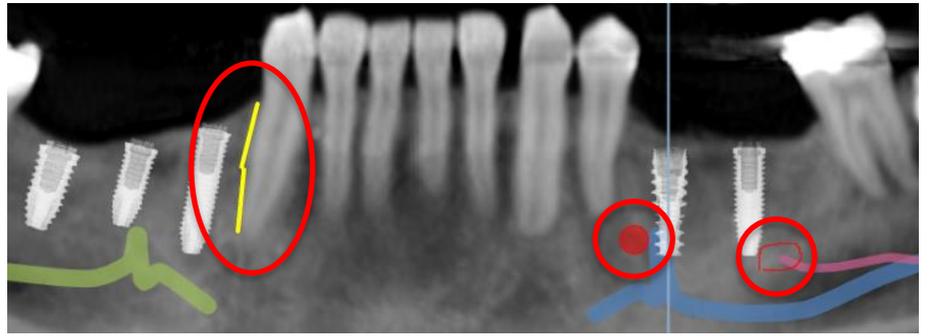
Line
画像に直線を記入する際に使用します

Point
画像にポイントを記入する際に使用します

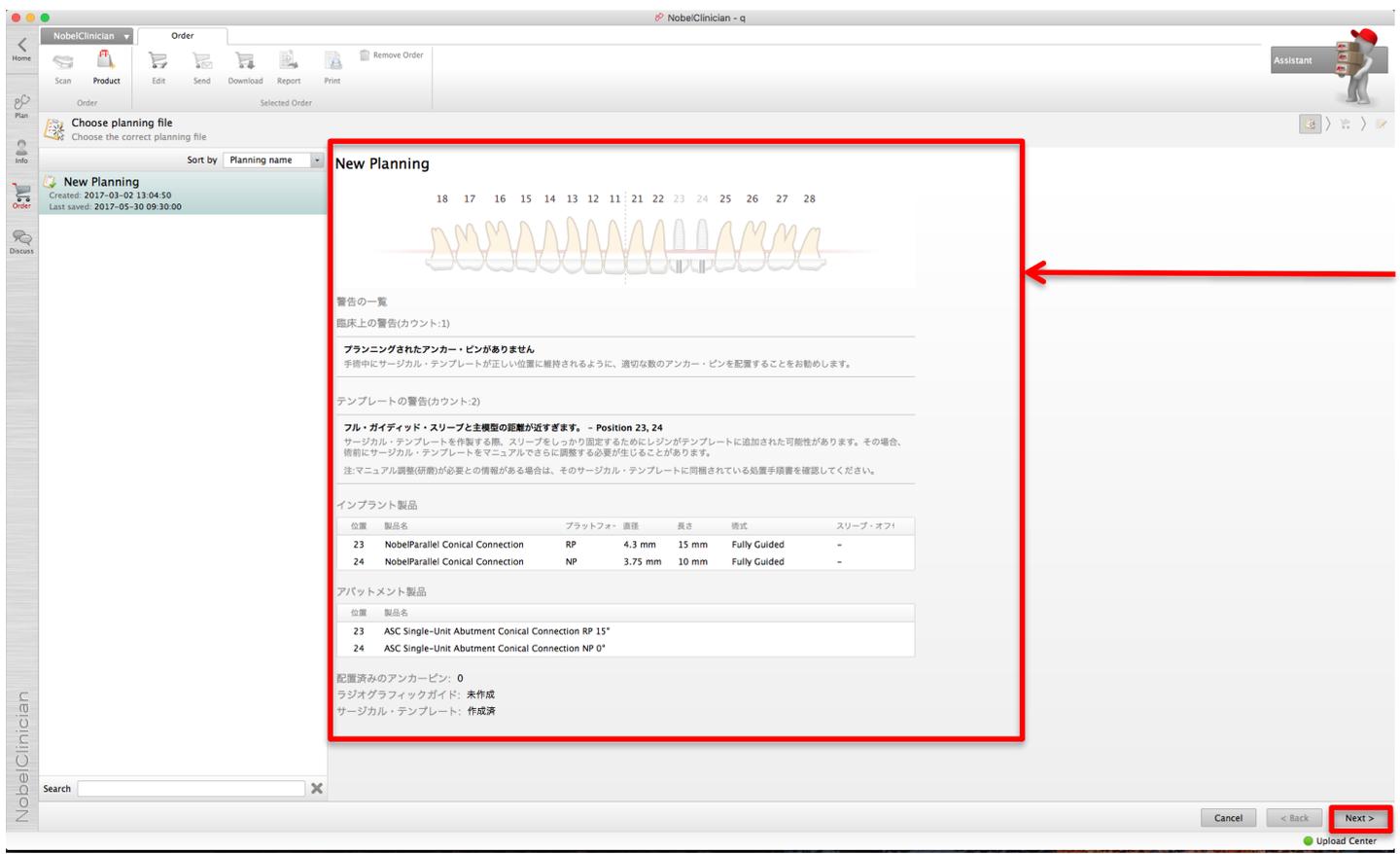
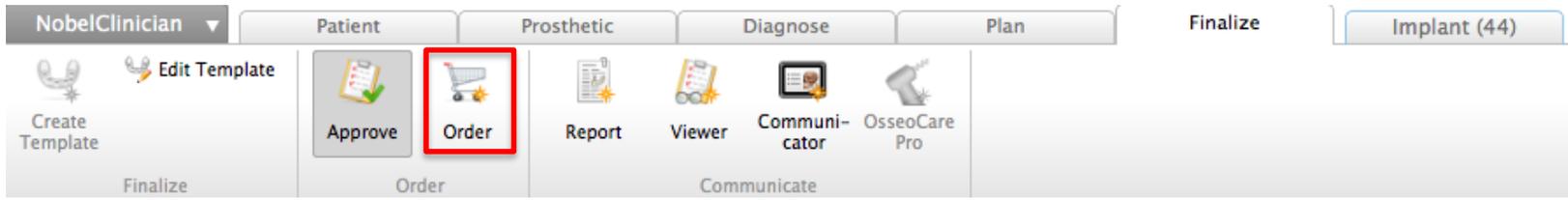
Clear All
記入した全てを消す時に使用します
右端にあるUndo  を使用すれば一つずつ消す事が出来ます

Size
ペンのサイズを変更します(小、中、大)

Color
ペンの色を変更します



Planning-Finalize (Order)



Orderをクリックすると左図の画面が開きます
 ここでは、プランの確認、注意事項の確認を行い
 問題が無い場合は右下のNextをクリックします



Planning-Finalize (Order)

The screenshot shows the 'Order' screen in the NobelClinician software. The interface includes a top navigation bar with 'Home', 'Scan', 'Product', 'Edit', 'Send', 'Download', 'Report', 'Print', and 'Remove Order'. Below this is a 'Check product list' section with a sub-instruction: 'Check the products you want to order and, if necessary, add products to the list'. The main area is split into 'Customized Products' and 'Suggested Tooling'. The 'Customized Products' section contains a 'Planned Products' table with two items: 'NobelParallel Conical Connection NP 3.75x10mm' and 'NobelParallel Conical Connection RP 4.3x15mm'. The 'Suggested Tooling' section lists various surgical instruments like 'Guided Counterbore NobelParallel CC 3.75', 'Guided Screw Tap NobelParallel CC 3.75 15-18mm', etc. At the bottom right, there are buttons for 'Update Price', '< Back', and 'Next >'. The 'Next >' button is highlighted with a red box.

Update Price

チェックが付いている、全ての商品の合計金額が表示されます

Next >

オーダーの選択が完了後、Nextをクリックします

1

2

3

- ① サージカルプレート、(ラジオグラフィックガイド使用時はディプリケートデンチャーのオーダーも表示されます)
- ② プランニングされたインプラント体のオーダー 不要な場合は、Deselect All をクリックします
- ③ プランニングのオペに必要な器具(ドリルなど) こちらは、何もチェックが入っていないので必要の場合は Order欄にチェックし数量を選択して下さい



Planning-Finalize (Order)

Order

Fill out details

Order Details

Ship to: Marketing
Marketing
Grand Central Tower 2-16-4 Konan 8F
1400001 TOKYO
Japan

Issued by:

Notes to production: Type in a note for the production

Finish order: Save & send now
 Only save

Product	Product number	Qty	Price
Surgical Template Fully Guided 2 implants	75566	1	JPY 0.00

Total price (excl. shipping cost): JPY 0.00

Cancel < Back Finish Upload Center

Ordered Products内に記載されている、商品の最終確認をして頂きFinishを押して送信します

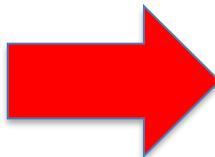


Planning-Finalize (Order)

オーダー送信完了

The screenshot shows the NobelClinician web application interface. At the top, there are navigation icons for Home, Plan, Info, and Order. The main content area is titled 'Order' and contains a list of orders. The selected order is 'AFFI17', with a status icon of a green checkmark. The order details on the right show 'Ordered Products' as 'Finished Surgical Template 5 implants and more'. The status is 'Received'.

オーダーステータスの更新



オーダーがプロダクションに入りました

The screenshot shows the NobelClinician web application interface. The order 'AFFI17' is now shown with a status icon of a gear, indicating it is in production. The order details on the right show the same 'Ordered Products' as the previous screenshot. The status is 'In Production'.

AFFI17
Sent: 2013-02-05 09:43:30
Patient name: [Redacted]

Status: Received

AFFI17
Sent: 2013-02-05 09:43:30
Patient name: [Redacted]

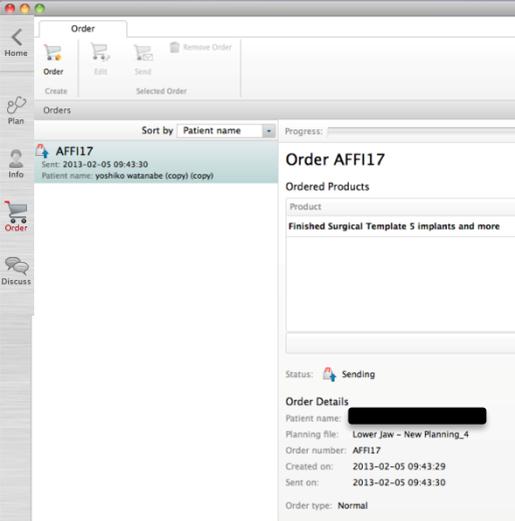
Status: In Production

オーダー送信完了です。
サージカルテンプレートの納期は、10日～14日です

オーダーステータスが更新されます
詳細は次ページをご覧ください

Planning-Finalize (Order)

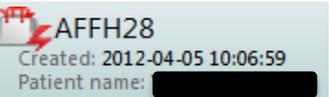
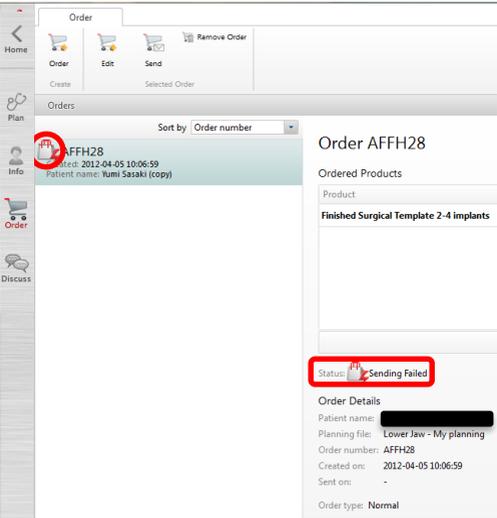
Finish後オーダー送信が開始されます。



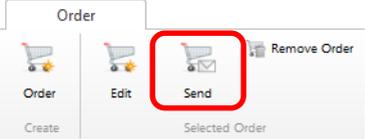
オーダー送信中です。↑の際はソフトウェアを閉じないで下さい。閉じてしまいますと、中断してしまい未送信になってしまいます



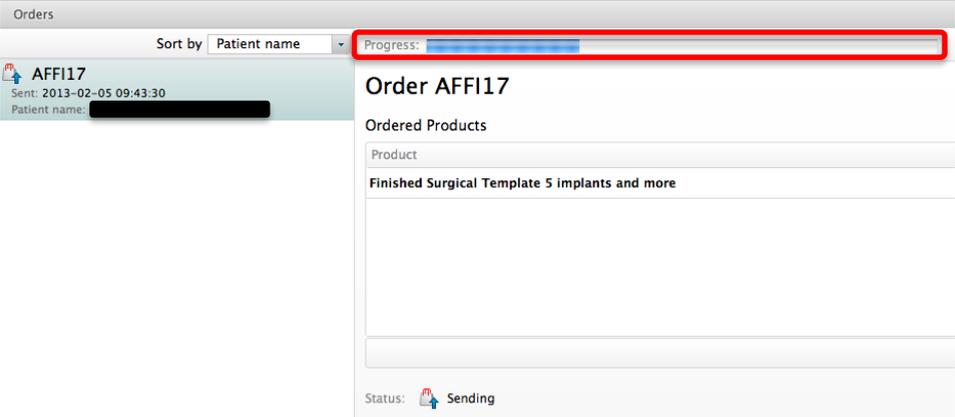
※間違えてソフトウェアを閉じてしまった場合は、ネットが繋がった状態で、ソフトウェアを起動して頂ければ、中断していたオーダーは自動的に送信が開始されます。



この場合は、ネットの接続を確認して下さい。または、当社のサーバーメンテナンスなどの原因が考えられますので、詳細を下記の電話番号よりご確認下さい。
プロセラサポート 03-6717-6164



再送信の際はSendボタンをクリックして下さい。



送信状態はProgressのバーを確認して下さい

Planning-Finalize (Order Status)

NobelClinicianトップ画面のORDERSよりオーダーの状況が3通りに振り分けられます

-  In Production
-  Finished
-  Failed

プロダクションにオーダー受付時とサージカルテンプレート製作時のオーダーはこちらに表示

サージカルテンプレート作製終了、または発送済みのオーダーはこちらに表示

オーダー送信が失敗しています。または、Re-Planの為、オーダーがキャンセルされています

PATIENTS

- All Patients
- Stored Locally

NOBELCONNECT

- Placed Online
- Shared With Me

ORDERS

- All Orders
- In Production
- Finished
- Failed

更にオーダーの詳細を調べる場合は、オーダーした患者を左ダブルクリック、またはOpenで開きます。Medical Record内の Order Products を選択し、オーダーリストを確認します。

Medical Record

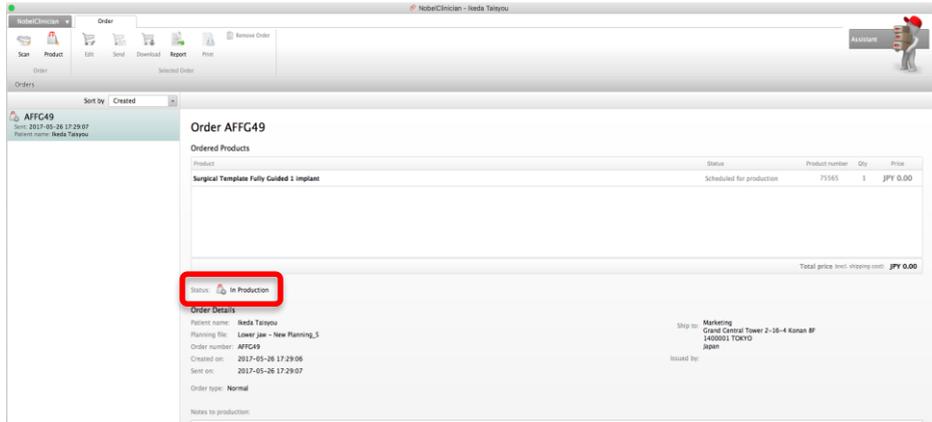
 **3 Demo nclinician ng mand**
Patient treated by Koichi Ota1

-  3D Planning
-  Patient Info
-  **Order Products**
-  Discuss Planning

Close Patient

次ページへ 

Planning-Finalize (Order Status)



- オーダーリストが開きましたら、Statusを確認します
- 必ずインターネットの接続された状態で行って下さい
- Statusは15分毎に更新されます
- 更新される内容は、サージカルプレートとデュプリケート・デンチャーです

 **未送信**: オーダーが作成されただけで、送信されていません

 **転送待ち**: アップロードやダウンロードなどの通信が、他の影響などで混雑していたりしている場合、オーダーは転送待ちになります

 **送信中**: オーダーを送信している状態

 **受信済み**: オーダーが正常に送信されました

 **作製中**: プロダクションセンター内にデータが受領された時、または作製に入っている状態です

 **終了**: プロダクションセンター内で、サージカルプレート作製終了、または既に配送済みの状態です

 **キャンセル済み**: プロダクションセンターからキャンセルされた状態で、リプランニング依頼の理由や、メッセージを出しています

 **オーダー送信失敗**: Sending Failed アップロード中に通信のトラブルで送信失敗しています(サーバーメンテナンスやネット不良)

NobelClinician オーダー再送信 (Replanなど)

◆ オーダーしたデータがキャンセルされました (Replan)

- All Ordersで確認
- オーダーした患者データのProduct Ordersを確認

The screenshot shows the NobelClinician software interface. At the top, there's a navigation bar with 'Home', 'Plan', 'Info', 'Order', and 'Discuss' icons. The main area is titled 'Orders' and shows a list of orders. One order, 'AEAD167', is highlighted with a red box. Below this, the details for 'Order AEAD167' are shown. A table of 'Ordered Products' is displayed, with one row highlighted in red: 'Surgical Template Fully Guided 2 implants' with a status of 'Cancelled', product number '75566', quantity '1', and price 'JPY 0.00'. Below the table, the 'Status' is shown as 'Cancelled' with a red box. The 'Order Details' section includes patient name 'iida masaki (copy) (copy)', planning file 'Lower jaw - iida masaki_3', order number 'AEAD167', creation and sending dates, and shipping information.

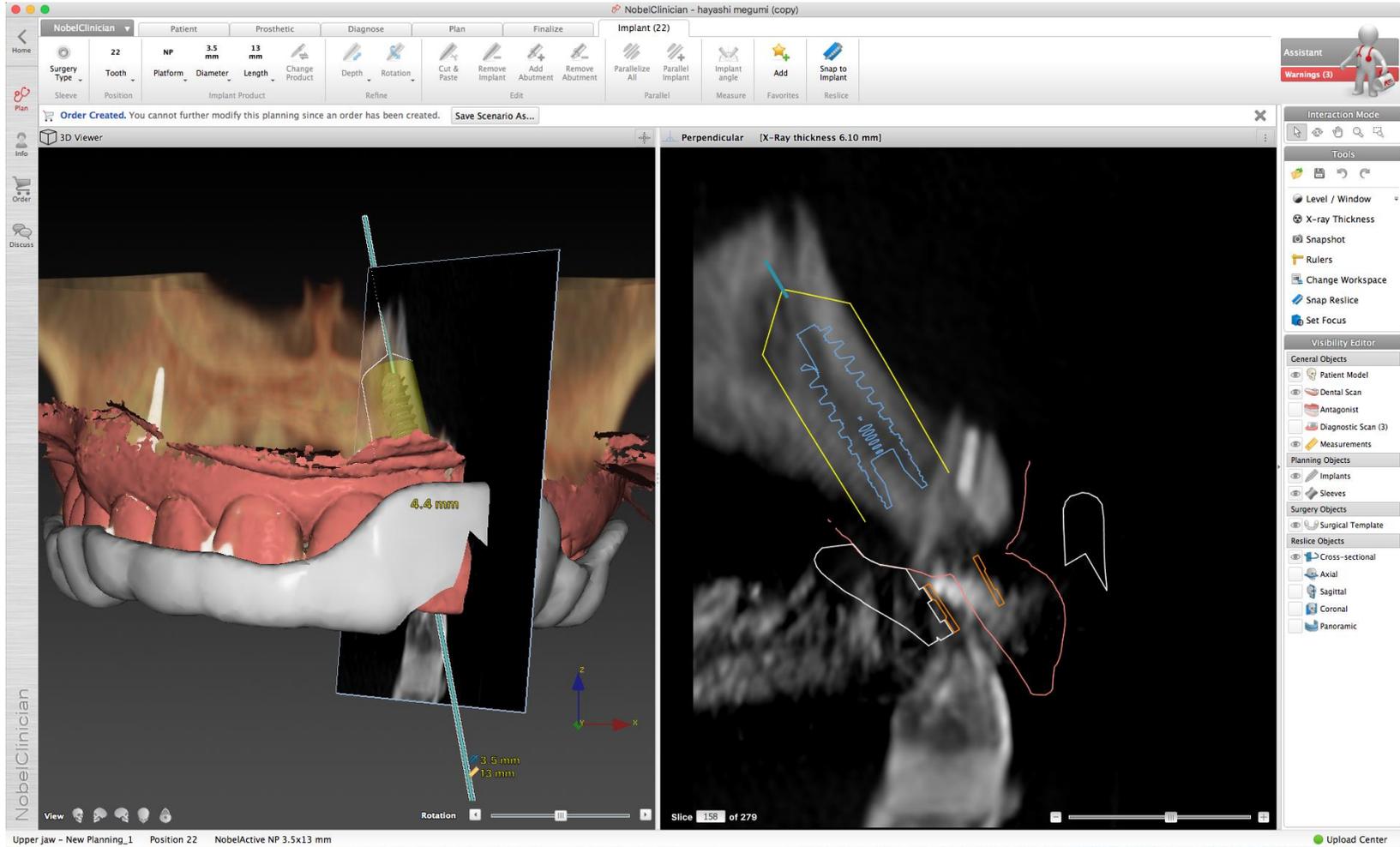
Re-Planになった場合、メールで送られた添付ファイルに画像が表示されていますので改善して再度、オーダー送信して下さい。

NobelClinician オーダー再送信 (Replanなど)

◆ オーダーしたデータの状態と概要

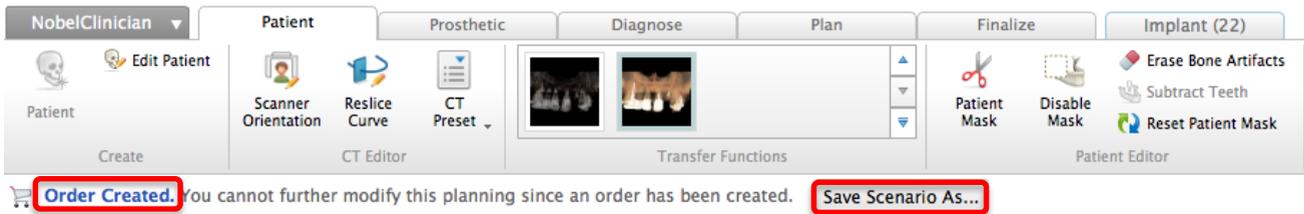
NobelClinicianでは一度オーダーしたデータを変更したり再プランしたりは出来ません
オーダーしたプランニングを履歴として残す為です

オーダー済みのデータ



NobelClinician オーダー再送信 (Replanなど)

◆ オーダーしたデータを編集して再送信する場合



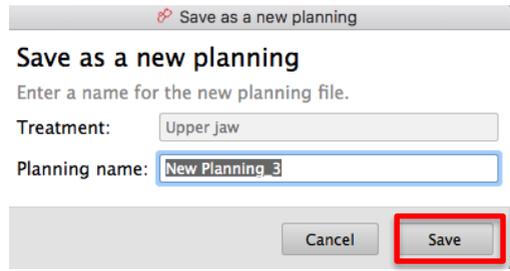
オーダーしたデータを開くと左画像の様に「Order Created.」と表示されています
 この状態では、編集する事は出来ません
 下記の手順で、プランニングの複製を保存します

①

Save Scenario As...

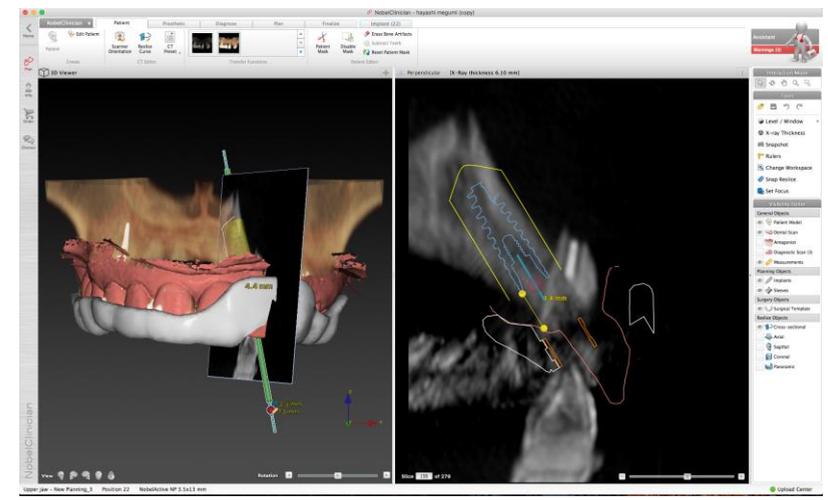
上記のボタンをクリックします

②



Save asで複製データを保存します

③



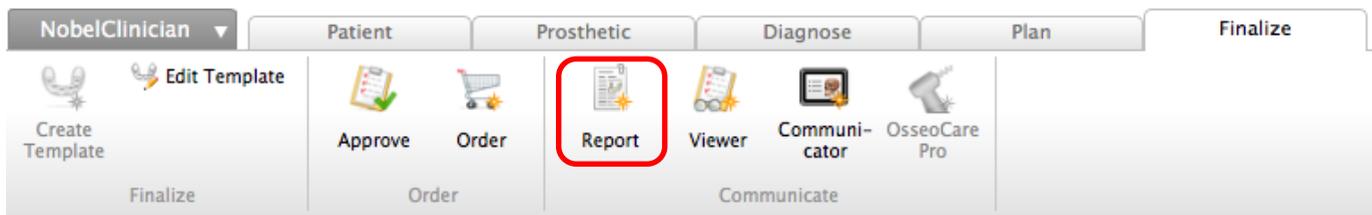
複製データを編集して通常通りの手順でオーダーします

◆ オーダーの再送信 (変更無) の場合

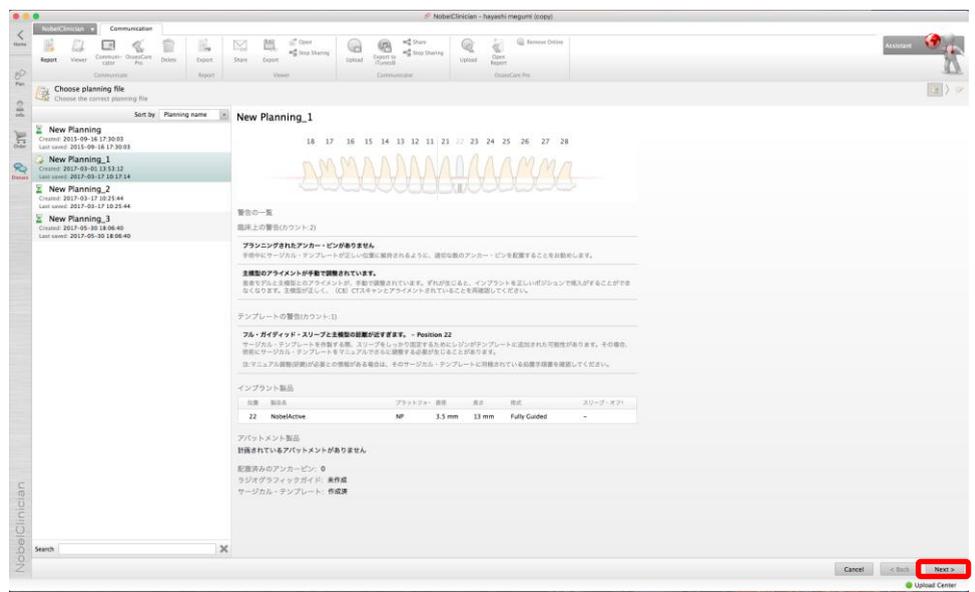
オーダーの送信不具合などで、再送信する場合には、患者名を選択し開きます
 Product Ordersを選択して、左上のOrderのボタンをクリックして通常のオーダー手順で進んで下さい。同じデータを送信しますが、オーダー番号が変わります

Finalize (Report) 「Communication Center」

Reportを作成する場合はReportのボタンをクリックします

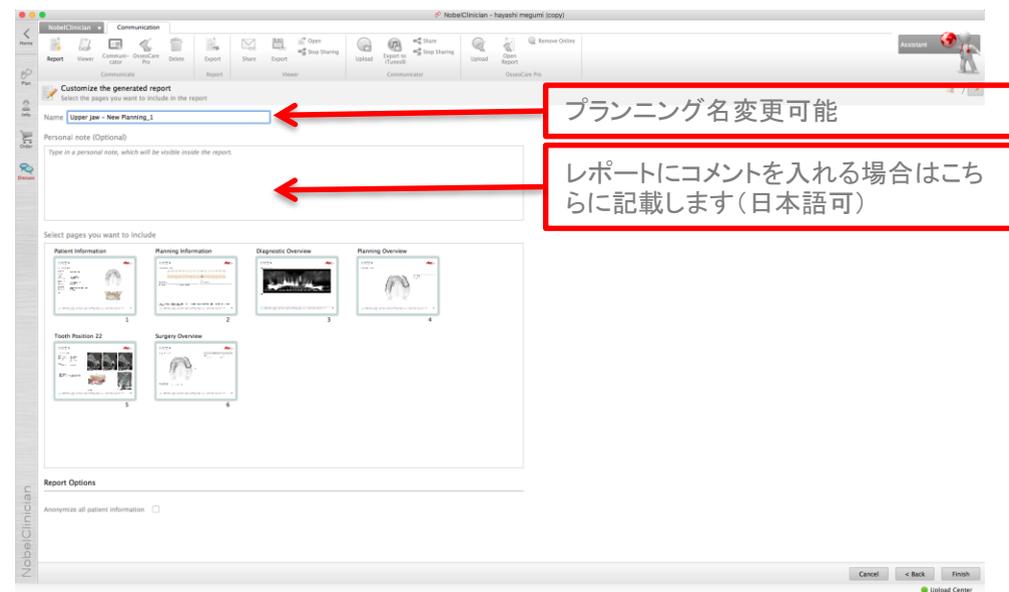


①



レポートにするプランニングを選択してNextをクリックします

Next >



プランニング名変更可能

レポートにコメントを入れる場合はこちらに記載します(日本語可)

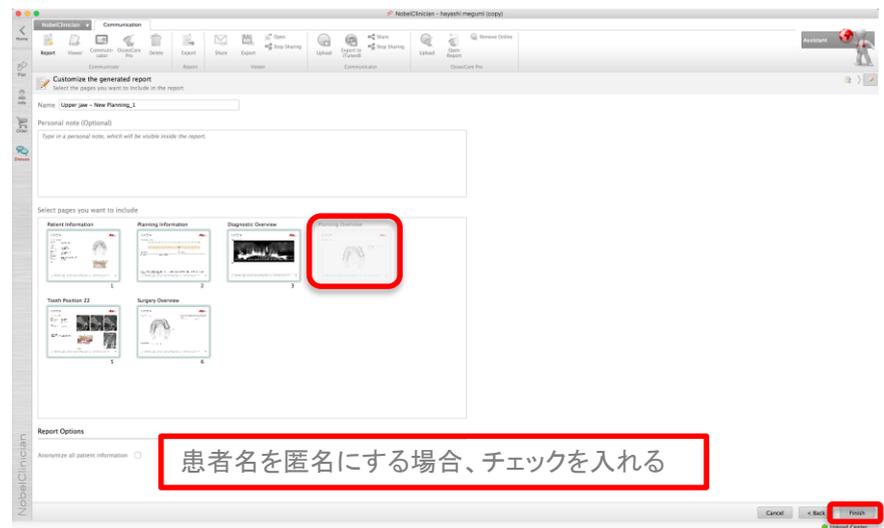
全てのレポート内容が表示されます

次ページへ



Finalize (Report) 「Communication Center」

②

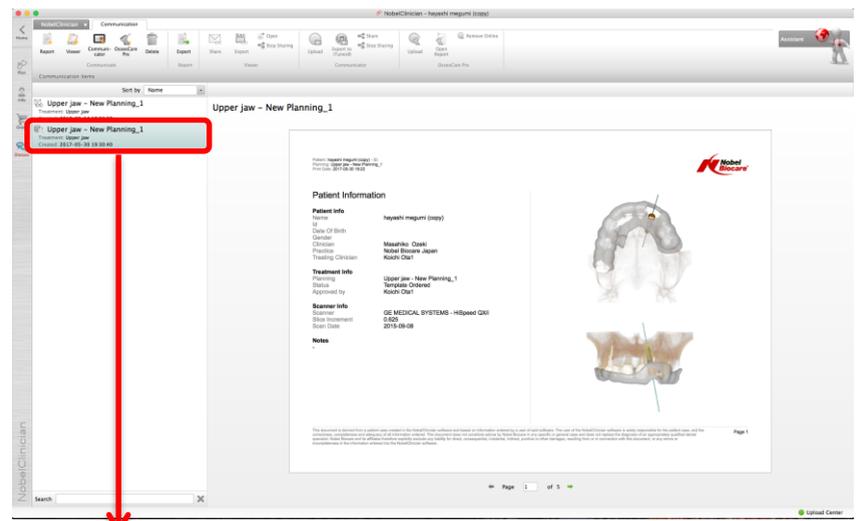


レポートにしない画像をクリックして非表示にして右下のFinishを押します(非表示にすると半透明になります)

Finish

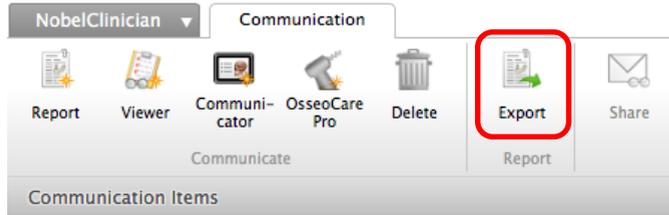


③



Upper jaw - New Planning_1
Treatment: Upper jaw
Created: 2017-05-30 19:30:40

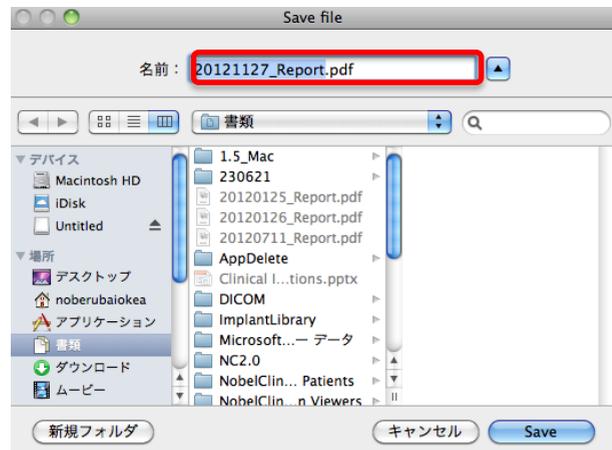
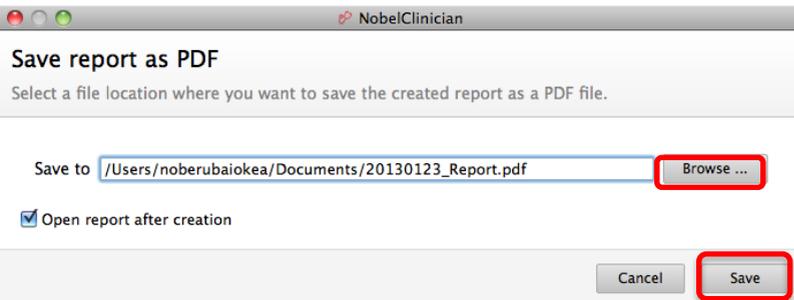
患者データ内に、レポートが保存されました。
レポートをPDFファイルで保存する場合は、Communication内にあるExportを左クリックします。



次ページへ

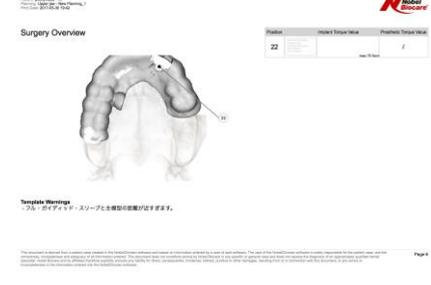
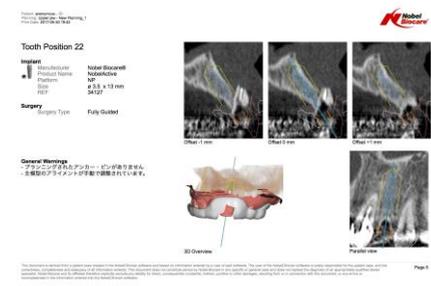
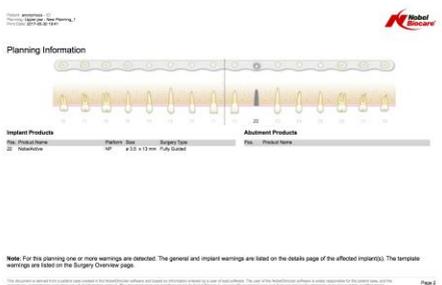
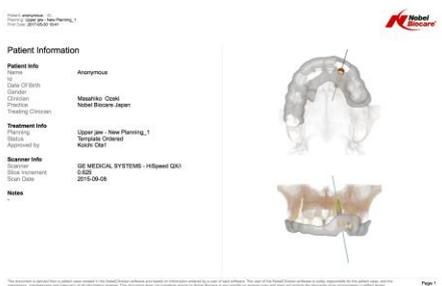


Finalize (Report PDF.file)「Communication Center」



Browseを左クリックすると、PDFファイルの名前の変更、保存先の指定が出来ます
Saveをクリックして保存します

PDFファイルの内容



Finalize (Report PDF.file) 「Communication Center」

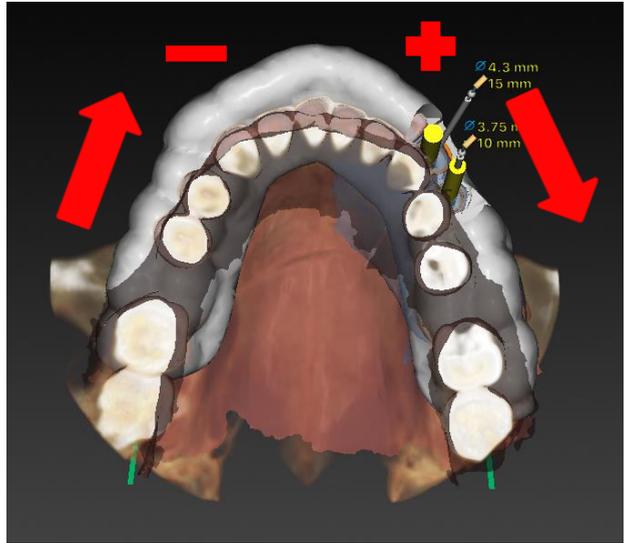
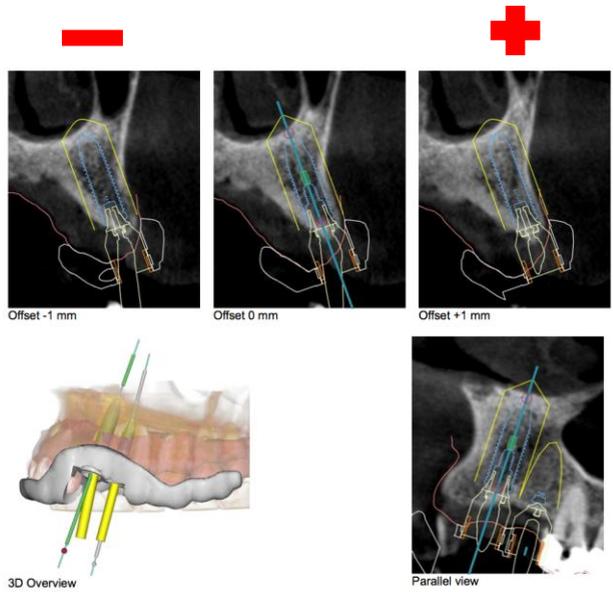
Tooth Position 23

Implant
 Manufacturer: Nobel Biocare®
 Product Name: NobelParallel Conical Connection RP
 Platform: RP
 Size: ø 4.3 x 15 mm
 REF: 37975

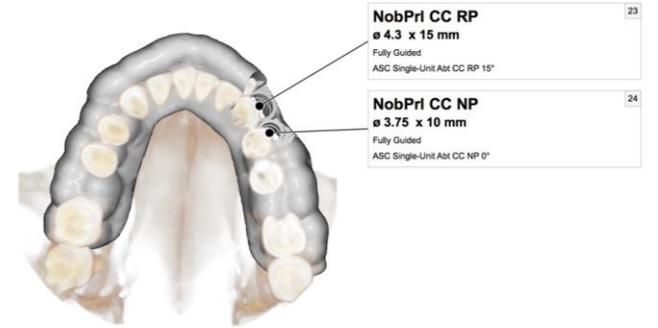
Surgery
 Surgery Type: Fully Guided

Abutment
 Abutment: ASC Single-Unit Abutment Conical Connection RP 15°
 REF: CUSTA76075-15

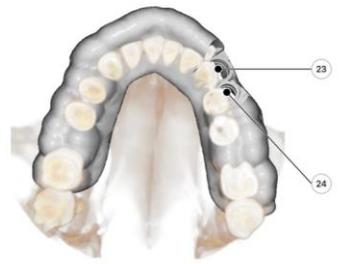
General Warnings
 - プランニングされたアンカー・ピンがありません



Planning Overview



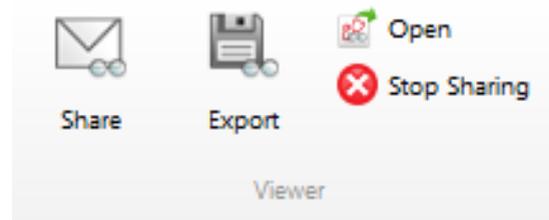
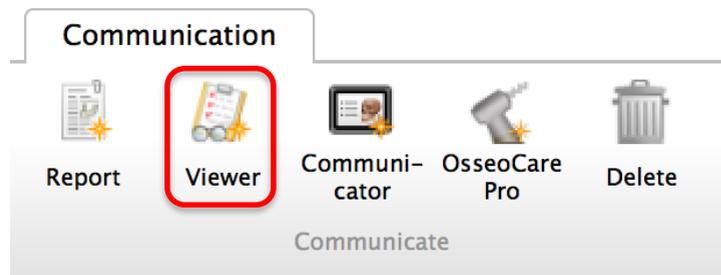
Surgery Overview



Position	Implant Torque Value	Prosthetic Torque Value
23		35 Ncm
	max 45 Ncm	
24		35 Ncm
	max 45 Ncm	

上図の番号は、歯式番号になります。歯式番号が間違っている場合は、プランニング画面の戻って、歯式の設定を行い、再度Reportを作成します
 歯式設定はP108を参照下さい

Finalize 「Communication Center」 Viewer



レポートの作成、PDFへのExportなど



ビューアファイルの作成



iPadで使用するレポートビューの作成



OsseoCare Pro と治療計画情報の共有と治療後の手術内容のデータ管理



データの削除(削除するとゴミ箱などに移動はせず、完全に消去されます)



ビューアファイルを知り合いの方と共有
データをサーバーにアップロードし相手にメールで通知します



作成されたビューアファイルを別の場所に取り出します
(USBなどのメディア)



ビューアファイルを開きます
(但し、パソコン内にビューアソフトがインストールされている場合)

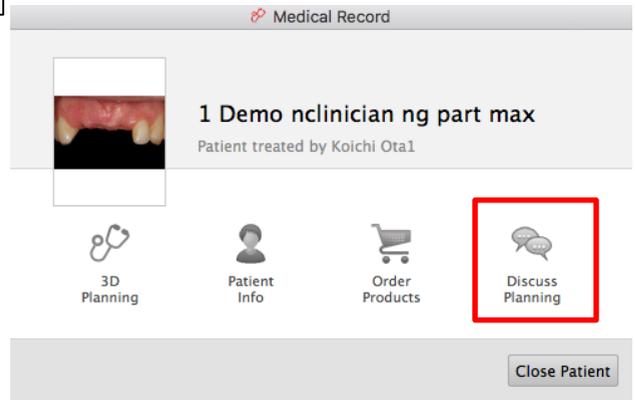


共有されているビューアファイルをサーバーから削除します

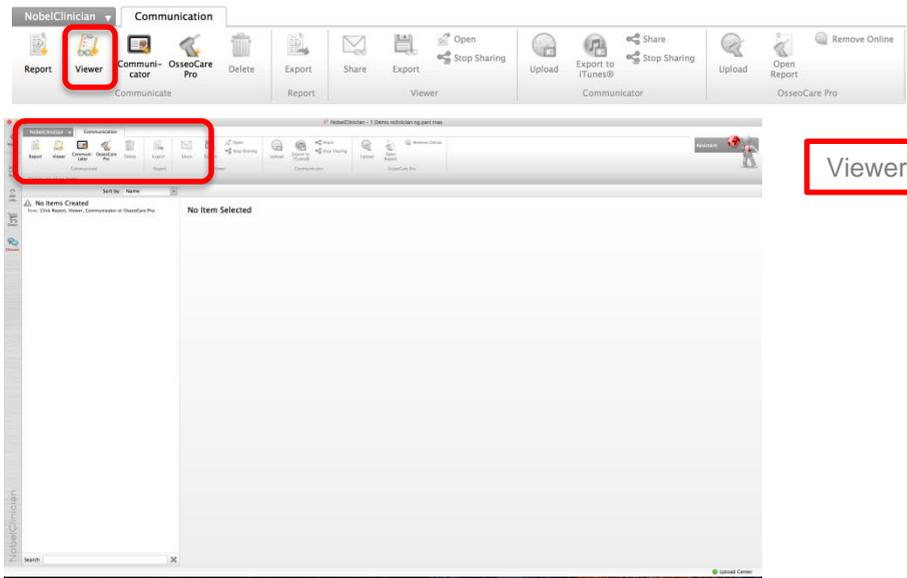
Finalize 「Communication Center」 Viewer

Viewerを作る、または送信したいPatientを選んで開きます
Communication Centerを選択(左クリック)します

Step1



Step2



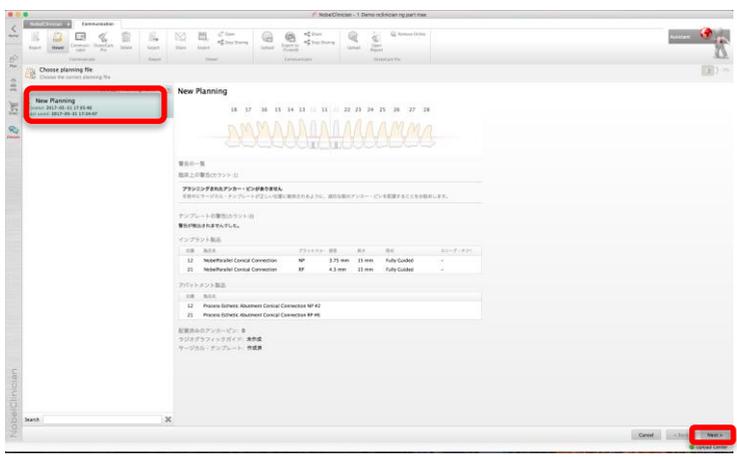
Viewerボタンをクリックします

Step3

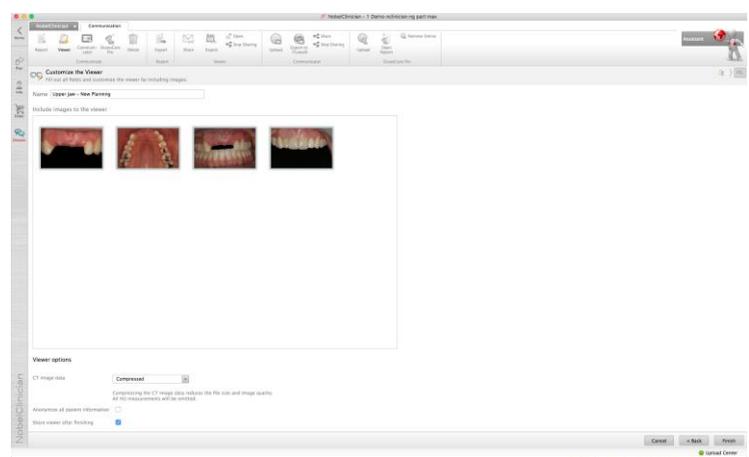
この画面で、症例の内容の確認を行います。複数のプランニングがある場合は、ここで選択します
選択しましたらNextボタンを左クリックします

Step4-1

この画面では、プランニング名の編集や、Viewerファイルを軽くする為、CTデータを圧縮する選択や患者名を匿名にする選択などがあります。
詳細は次ページに記載しています



Next >



次ページへ

Finalize 「Communication Center」 Viewer (Viewerデータの編集)

Step4-2

Customize the Viewer
Fill out all fields and customize the viewer by including images.

Name

プランニング名の変更



Include images to the viewer



Patient Information内の画像の選択 Viewerデータと一緒に保存する、保存しない画像を選択します
それぞれの画像でクリックし、選択します



保存する



保存しない

Viewer options

CT image data

Viewerファイル軽減 CTデータの圧縮、非圧縮の選択

Compressed
 Uncompressed

Compressing the CT image data reduces the file size and image quality.
All HU measurements will be omitted.

Anonymize all patient information



患者データを全て匿名にする場合はチェックを入れます

Share viewer after finishing



データの共有する(データを第三者に送る)場合はチェックを入れます

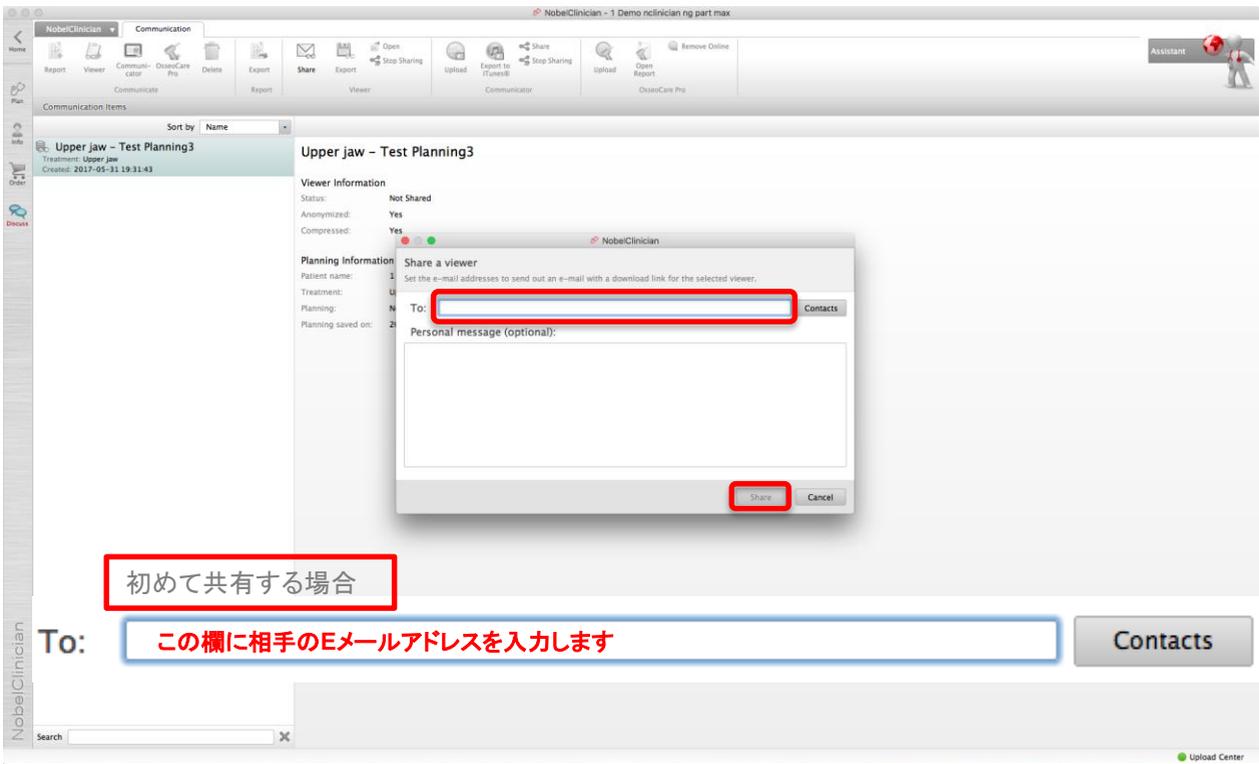
編集終了後右下のFinishをクリック

Finish

Finalize 「Communication Center」 Viewer (Share a Viewer)

Viewerを共有する(データをサーバーにアップロードして相手のEメールに、お知らせします)

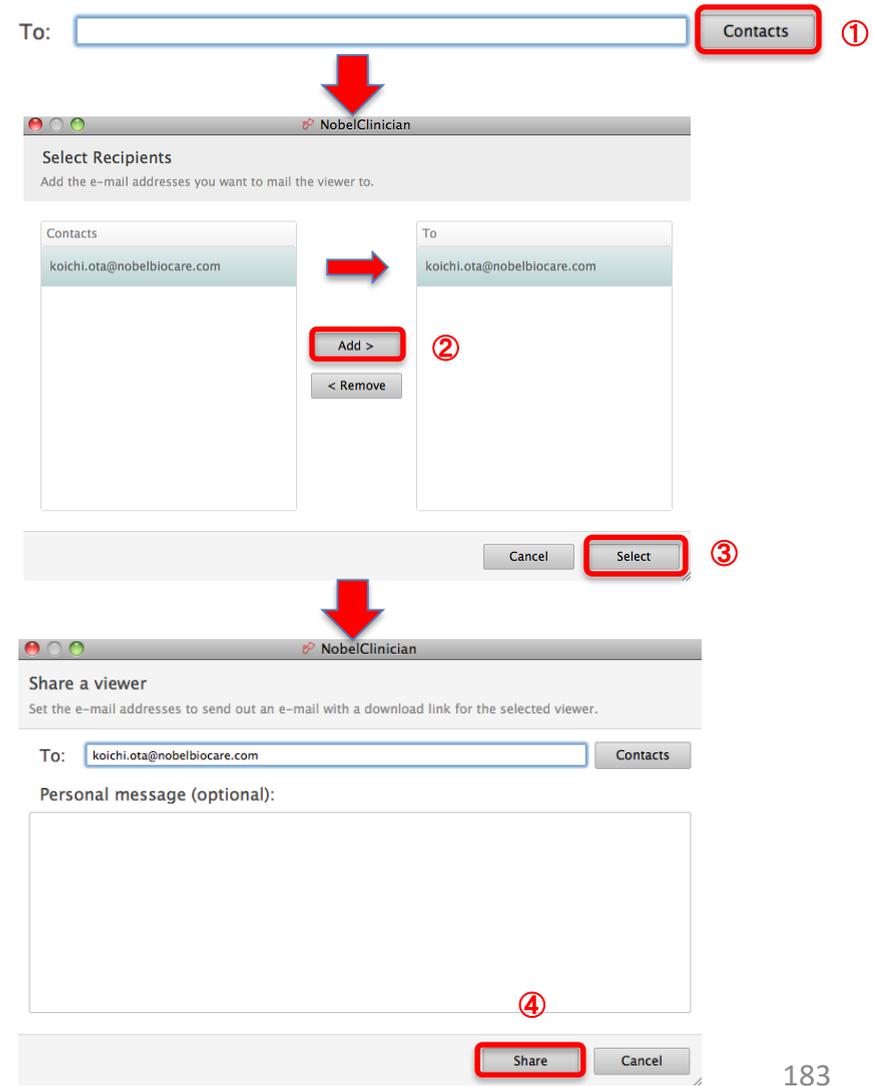
前ページにある Share viewer after finishing にチェックを入れて頂ければ、Finish後以下の画面になります



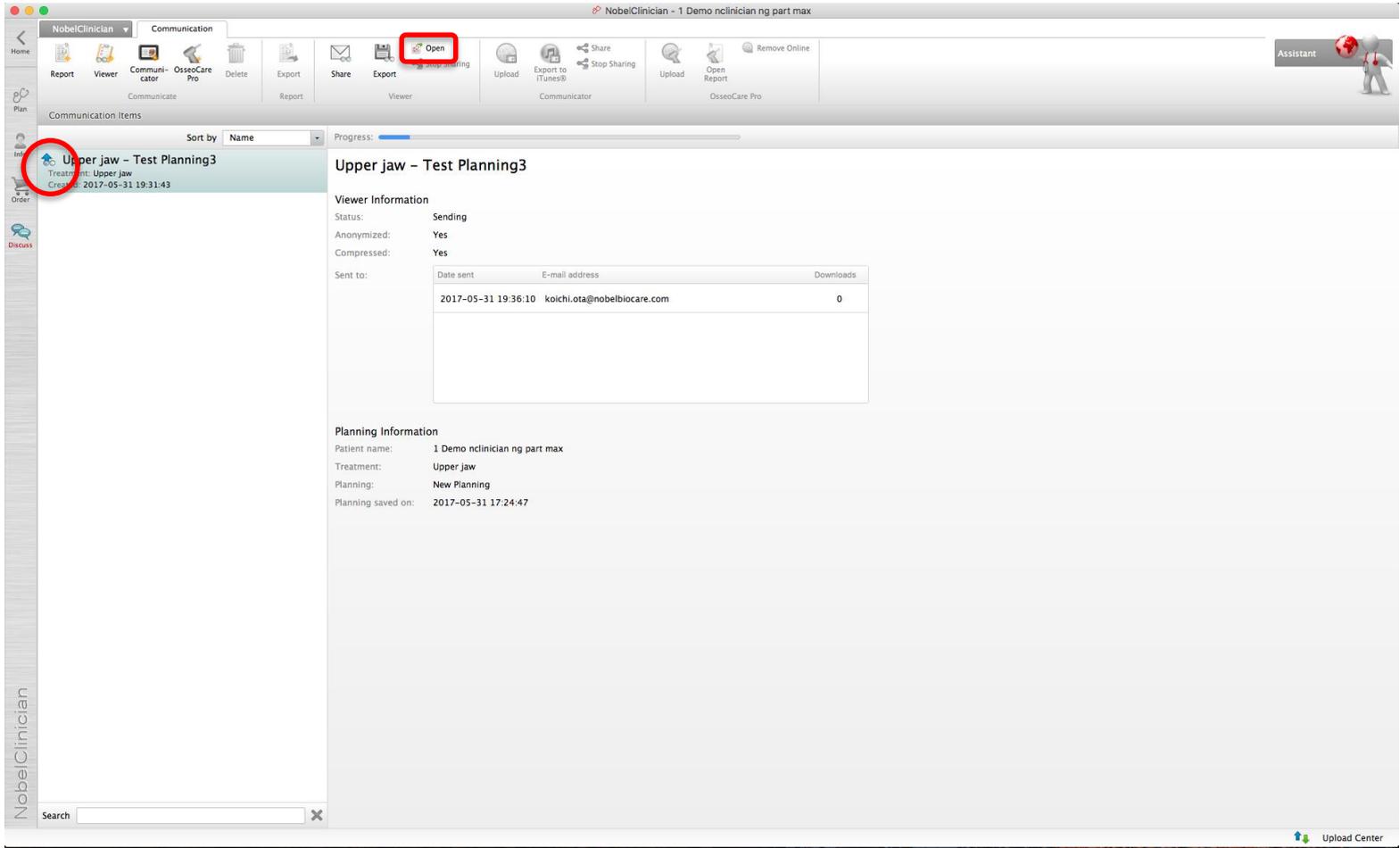
メールアドレス入力後Shareボタンをクリックします



既に一度送信している相手がいる場合



Finalize 「Communication Center」 Viewer (Share a Viewer)



Viewersの項目に送信状態が見れます



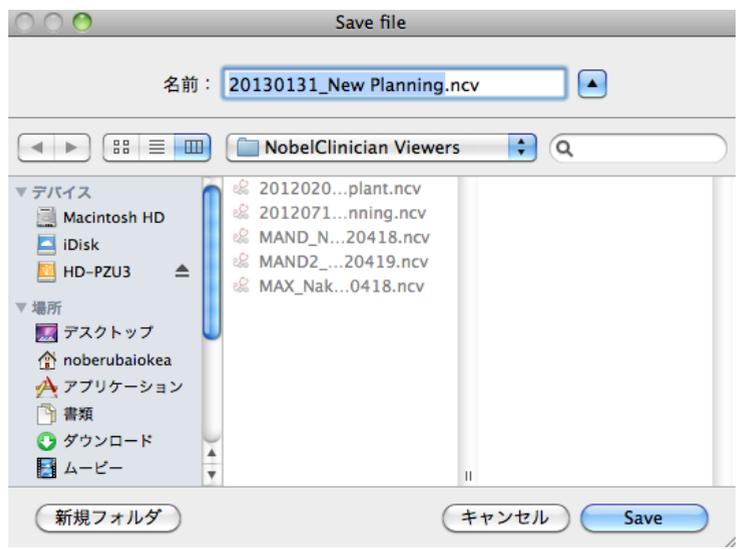
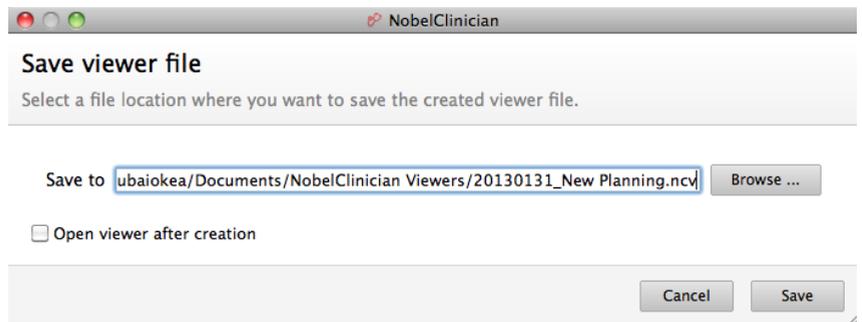
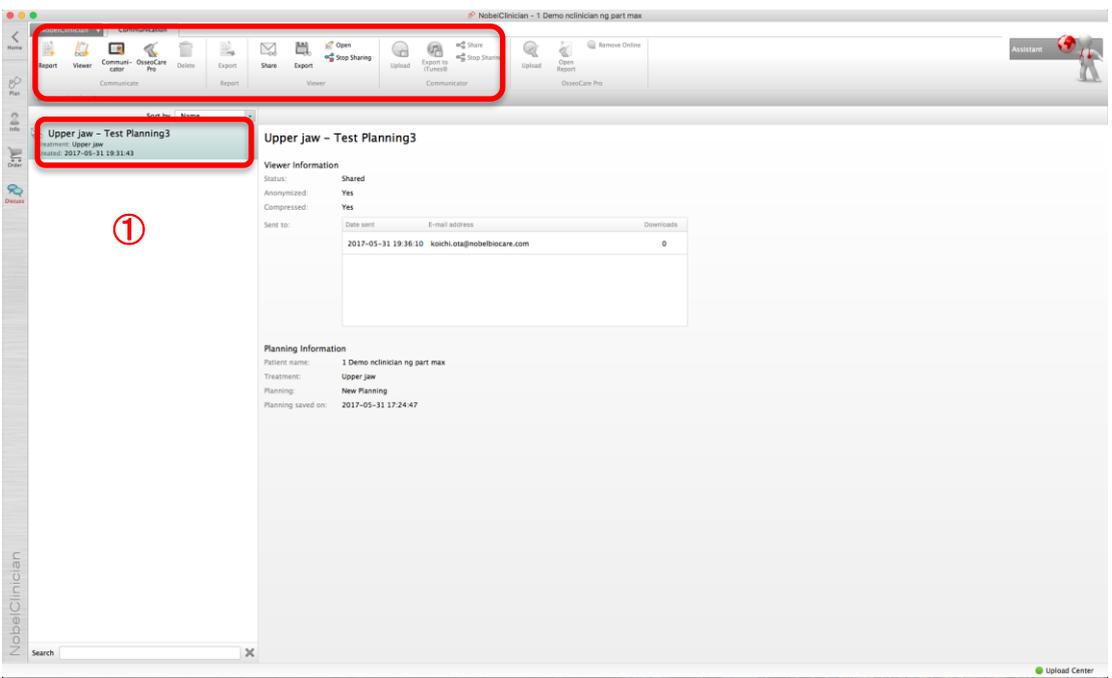
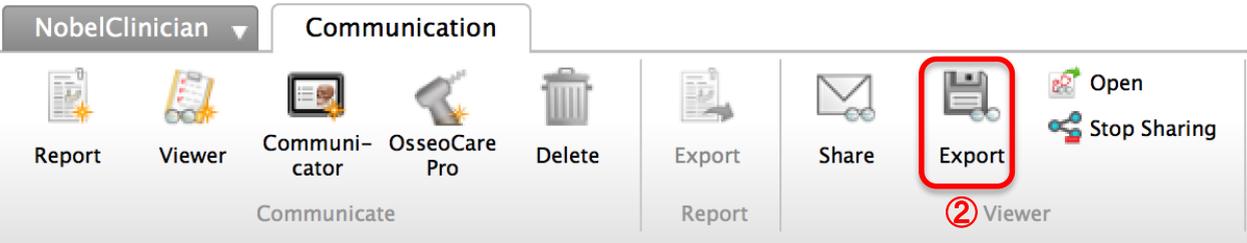
Dataを送信している状態



Data送信が終了している状態

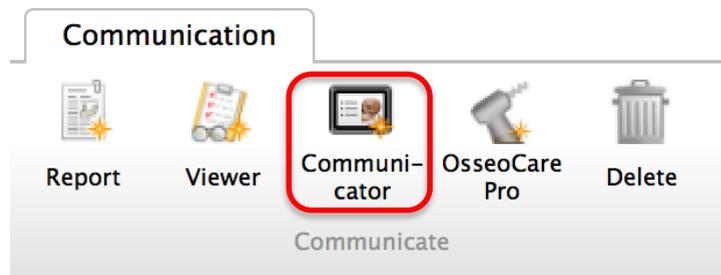
Viewer送信が始まり、しばらくすると左図のアイコンが表示されます
使用しているパソコン内にViewerソフトがインストールされていれば、アイコンをクリック後Viewerソフトが起動し作成したViewerファイルの内容が即時に確認出来ます

Finalize 「Communication Center」 Viewer (Export Viewer)



- ① 作成するデータを選択します
- ② 画面上のCommunication内のExportボタンをクリックします
- ③ 保存場所、ファイルネームなどを変更しない場合は、Saveボタンをクリック、保存場所やファイルネームを変更する場合はBrowseボタンをクリックします
※保存場所を設定しない場合、Windowsでは、ドキュメント内にMacでは書類に保存されます
- ④ 保存場所の設定、新しいフォルダを作成する＆しないなどの決定、ファイルネームの編集などを行い最後にSaveボタンをクリックし③のSaveをクリックして終了です

Finalize 「Communication Center」 iPad Report



レポートの作成、PDFへのExportなど



ビューアファイルの作成



iPadで使用するレポートビューの作成



OsseoCare Pro と治療計画情報の共有
と治療後の手術内容のデータ管理



データの削除(削除するとゴミ箱などに移動はせず、完全に消去されます)



作成したファイルをNobelConnect を使用しサーバーにアップロードします



iTunesへアップロードする為に一度Exportします

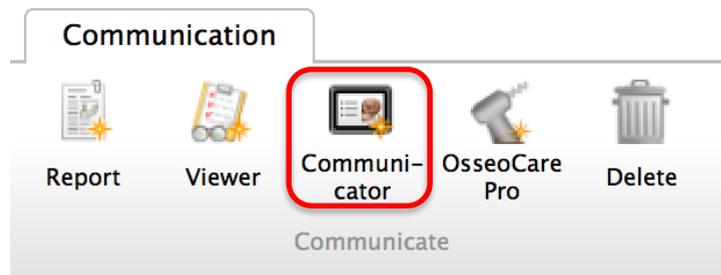


サーバーにアップロードされたレポートを共有します
既に登録されたConnect 先のメールアドレスを入力し共有します



共有が必要なくなった場合は中止します

Finalize 「Communication Center」 iPad Report



iPadレポート作成します

プランニングを選択しをクリックしNextボタンをクリックします
作成されたレポートは、レポート名の編集やレポートに関するメモなども記載出来ます
また、Patient Library内の画像も選択して掲載されます

作成されたレポートを様々なコミュニケーションツールを使用して、関係者と共有します

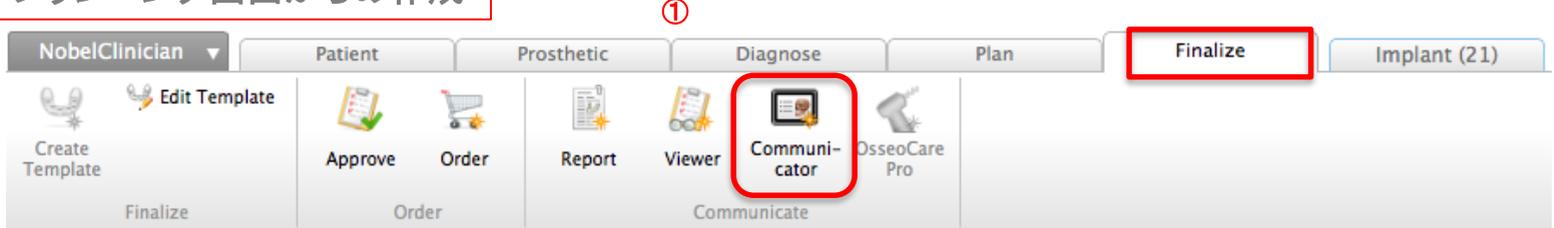
- 
- 
- 
1. 作成したファイルをNobelConnect を使用しサーバーにアップロードします
 2. Shareボタンをクリックし、共有先のメールアドレスを入力します（登録されたConnect先やViewer送り先などを行っていただければ記憶されています）
 3. 6文字以上のパスワードを入力します（**送られたレポートを開く際にはパスワードとIDが必要で、送られたメール内にIDとパスワードが記載されています**）
 4. 最後に、Shareをクリックしサーバーに保存されメールアドレス宛にメッセージが送られます
 5. 共有がなくなりましたらStop Sharingをクリックして共有を終了します



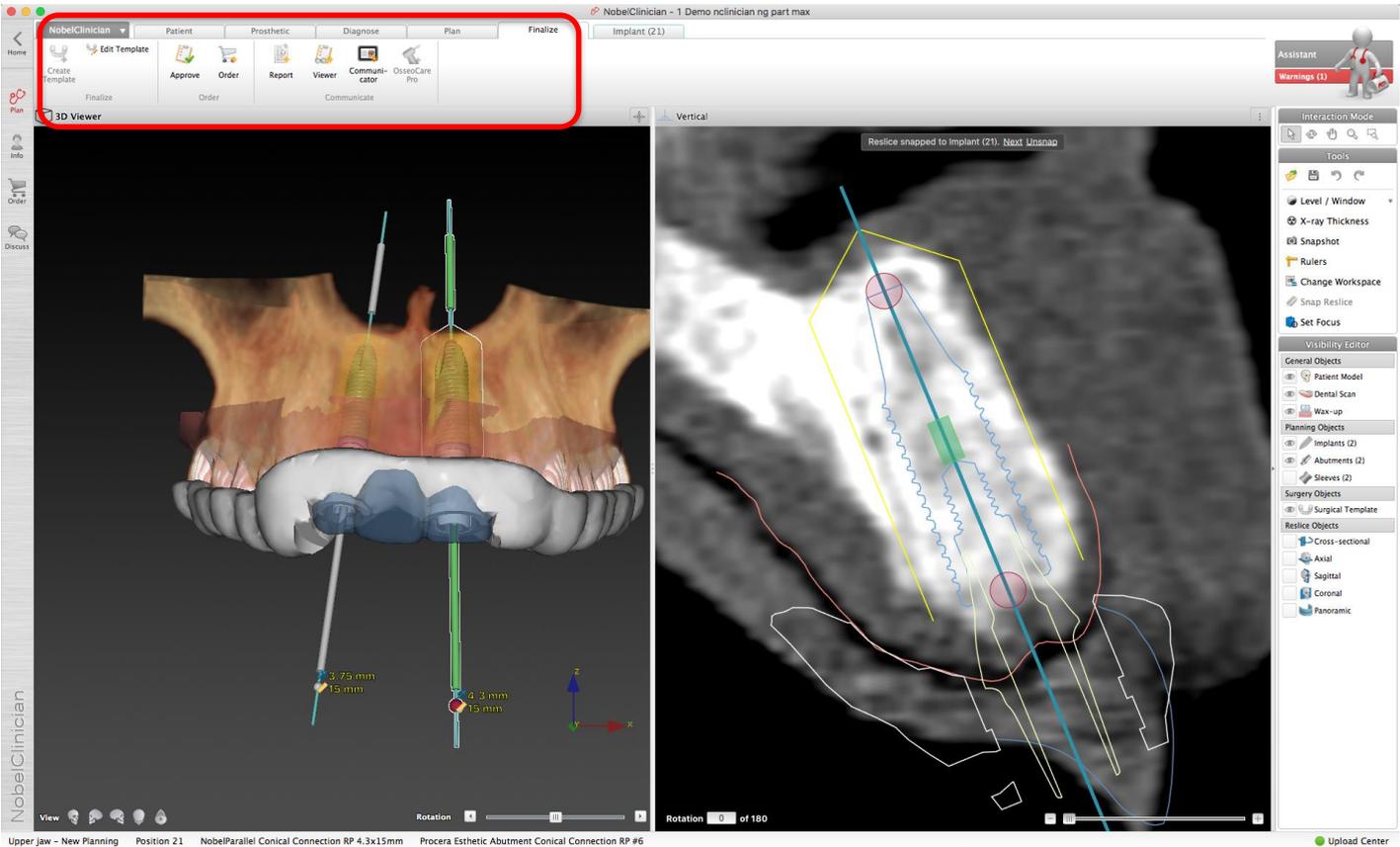
- iTunes内でレポートを使用する
お使いのパソコン内にiTunesがインストールされている必要があります
事前にiPadレポートを作成されている必要があります
1. 作成されたiPadレポートを選択します
 2. Export to iTunesをクリックします
 3. Save iPad Reportと表示されるので、適切な場所に保存します
 4. 保存したファイルをiTunesへインポートします
 5. iTunesからiPadレポートをiPadアプリケーションにインポートします

Finalize「Communication Center」iPad Report 作成

プランニング画面からの作成



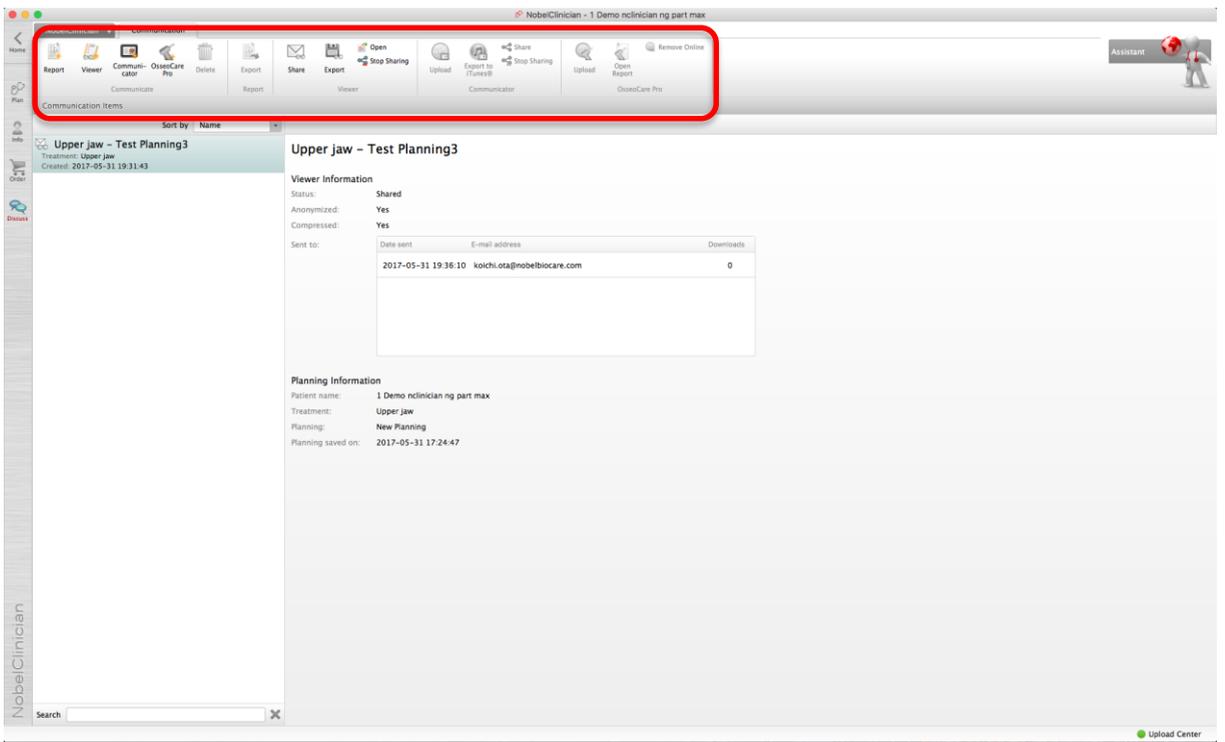
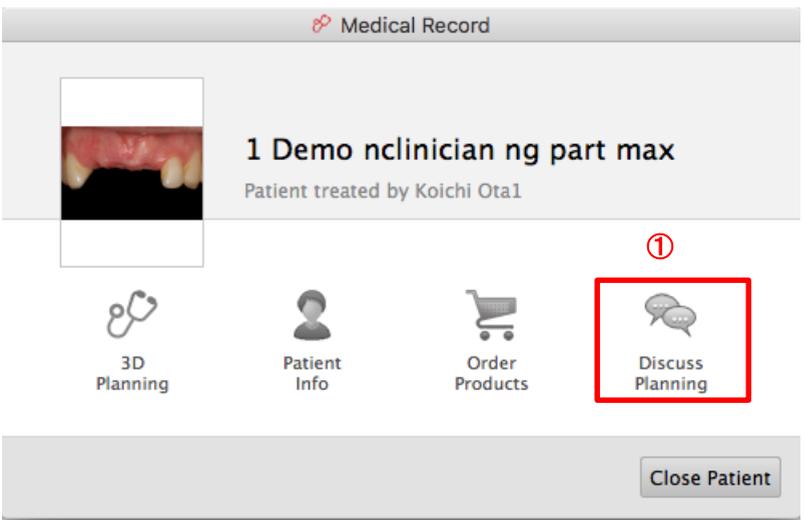
① Finalize内のCommunication Centerを左クリックします



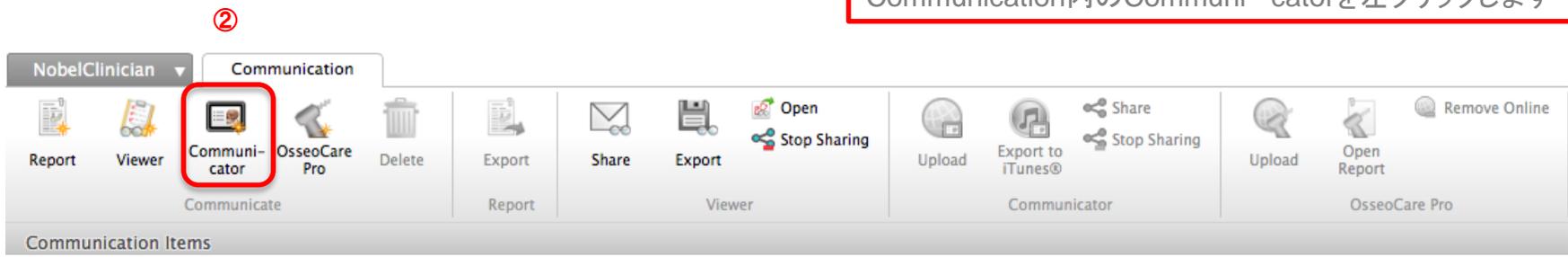
190ページへ

Finalize 「Communication Center」 iPad Report 作成

トップ画面からの作成



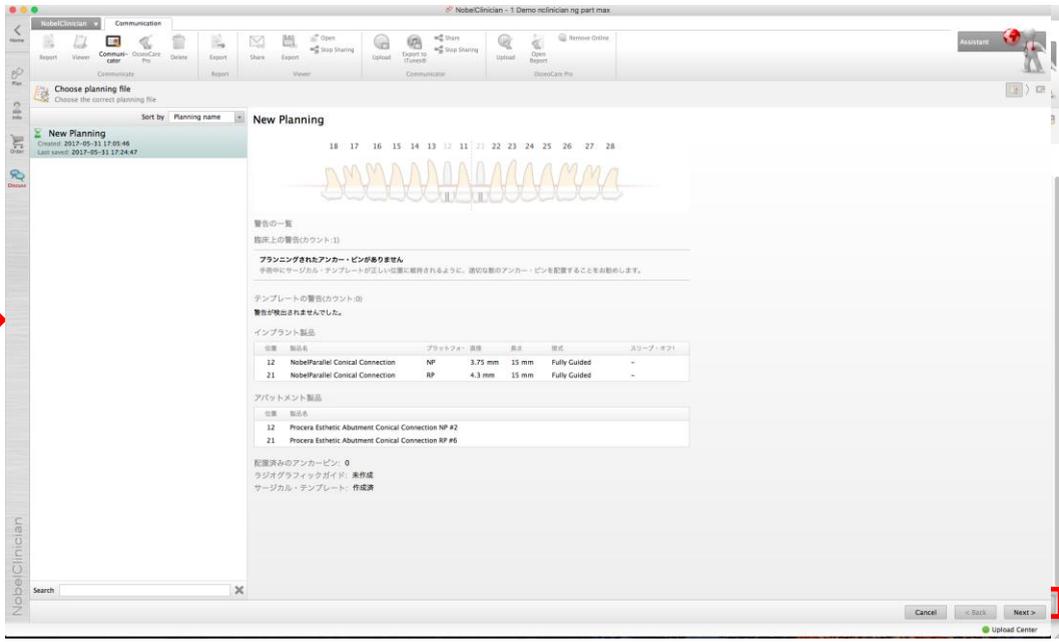
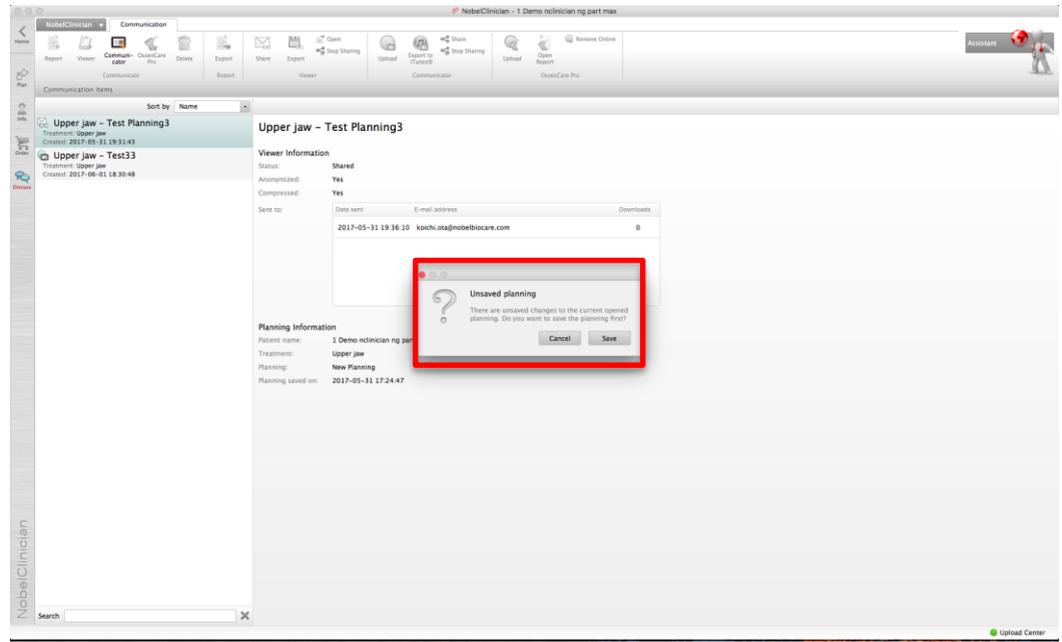
Communication内のCommuni - catorを左クリックします



次ページへ

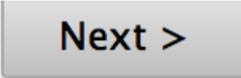
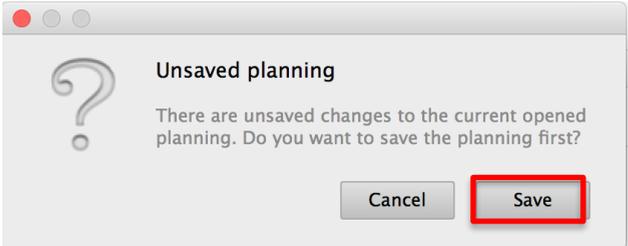
Finalize 「Communication Center」 iPad Report 作成

プランニングの保存と選択後Nextボタンをクリックします

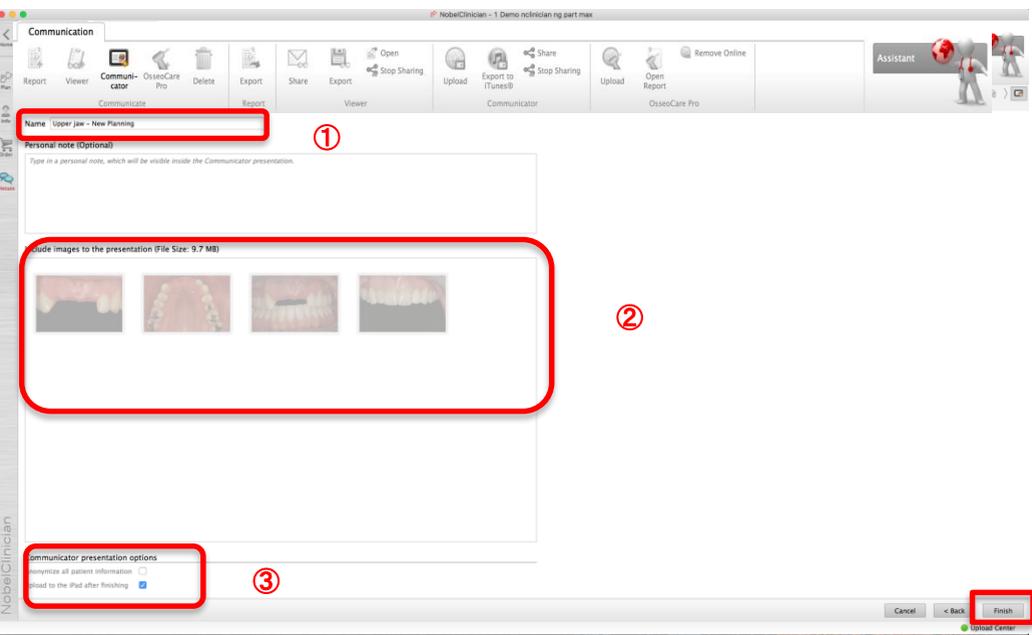


プランニングの保存を行っていない場合は、上図のメッセージが表示されますので、Saveをクリックして保存します

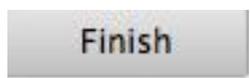
プランニングを選択し、右下のNextをクリックします



Finalize 「Communication Center」 iPad Report 作成



選択、編集が終了後右下のFinishボタンをクリックします



プランニング名の編集

Name Upper jaw - New Planning_1

Personal note (Optional)

Type in a personal note, which will be visible inside the Communicator presentation.

iPad Reportに表示させる画像を選択します
Defaultは全て非表示になっています(左図)
表示させる場合は、画像をクリックして下図の様に画像を表示させます

Include images to the presentation (File Size: 5.7 MB)

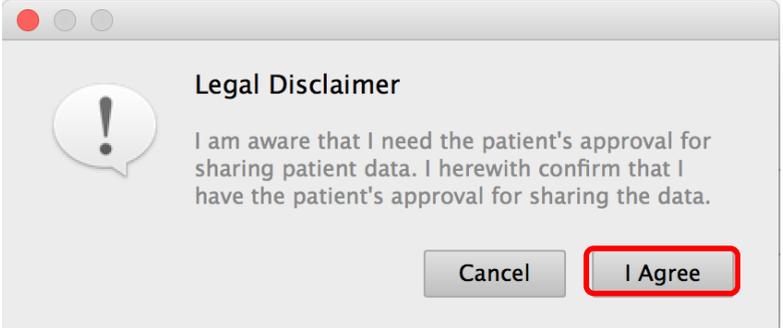
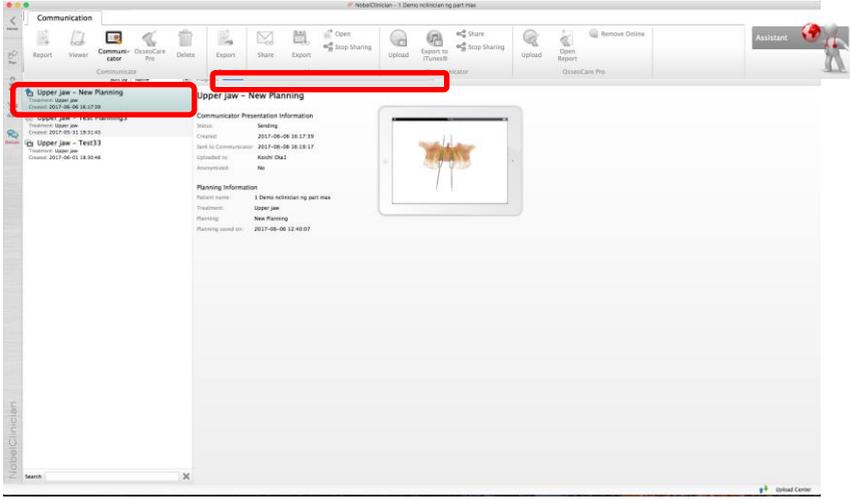
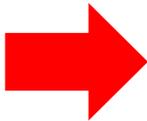
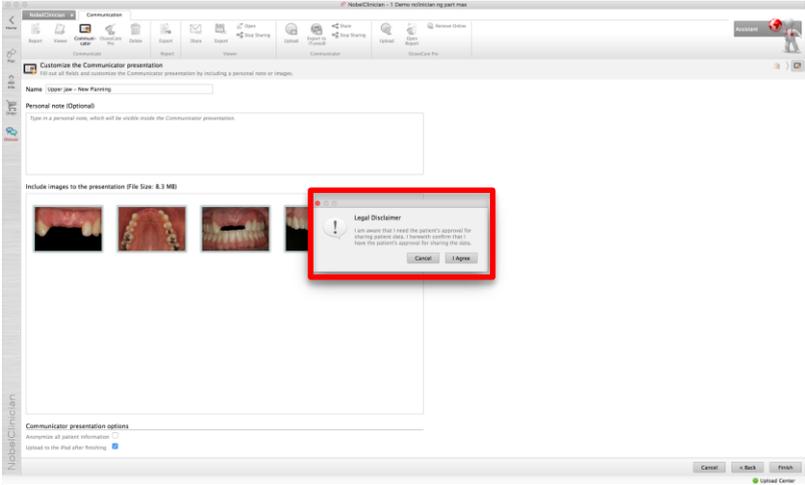


Communicator presentation options

Anonymize all patient information
Upload to the iPad after finishing

患者名を匿名にする場合はチェック項目にチェックを入れます
操作終了後、データをサーバーにアップロードする、しないの選択
Defaultはチェックが入っています

Finalize 「Communication Center」 iPad Report 作成

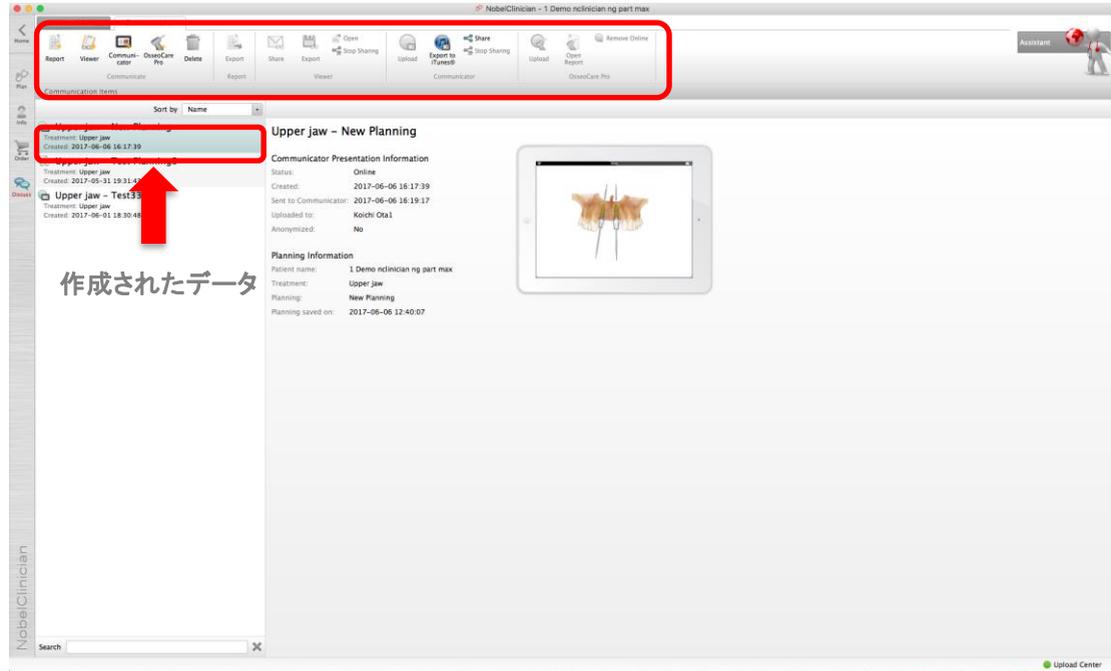
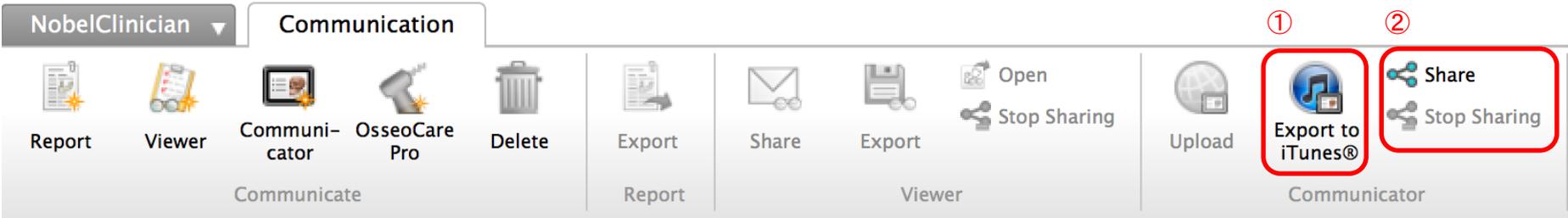


I Agreeボタンをクリックします



データをサーバーにアップロードしています

Finalize 「Communication Center」 iPad Report 作成



作成された、iPad ReportをiPadで使用する為には2通りの方法があります

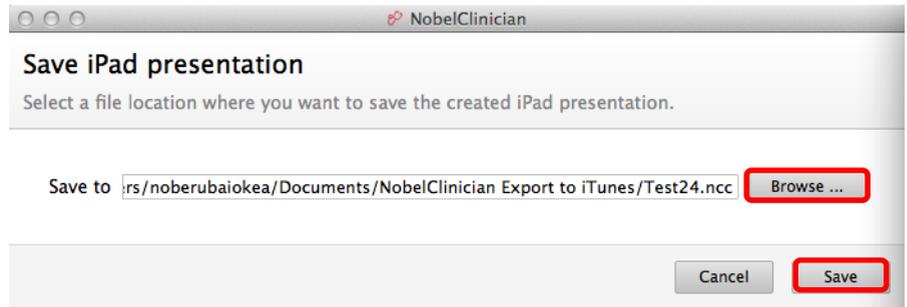
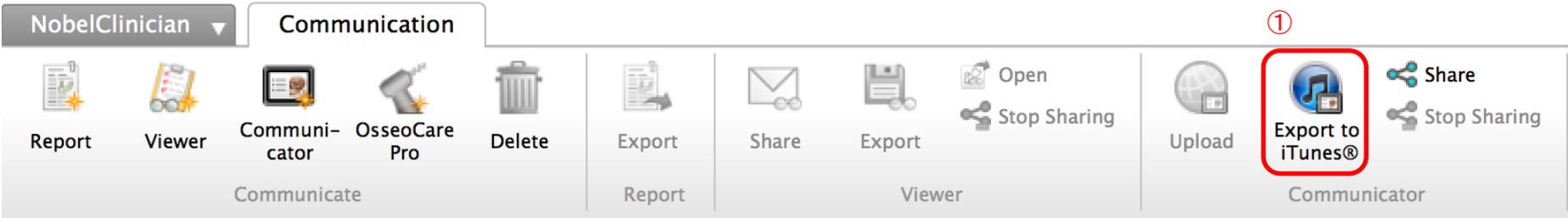
1. iTunesを使用して、iPadとデータを同期させて見る
2. サーバーにアップロードしたデータを、共有して見る

※ iTunesはApple社より配信されている、無料のアプリケーションソフトです。
iTunesの操作方法、不具合などのサポートはApple社のサポートへお願いします。

iTunesダウンロードサイト

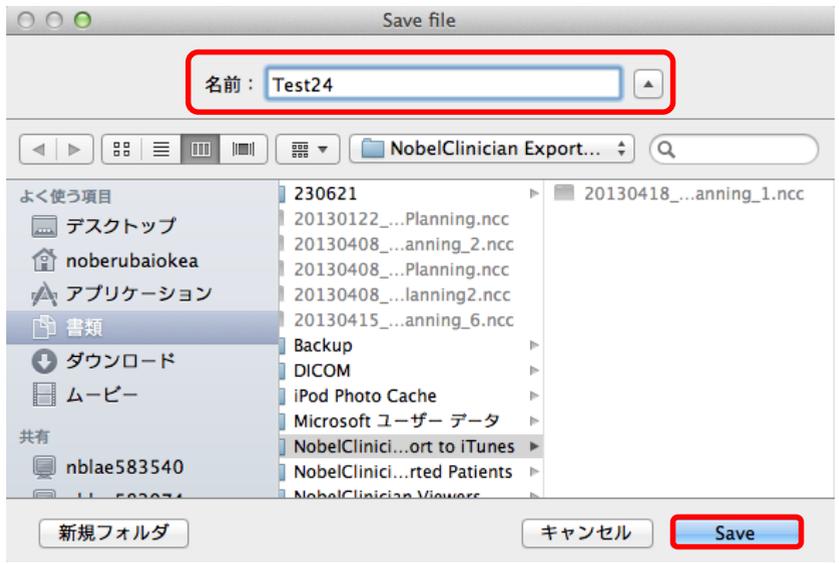
<http://www.apple.com/jp/itunes/>

Finalize 「Communication Center」 iPad Report 作成 Export

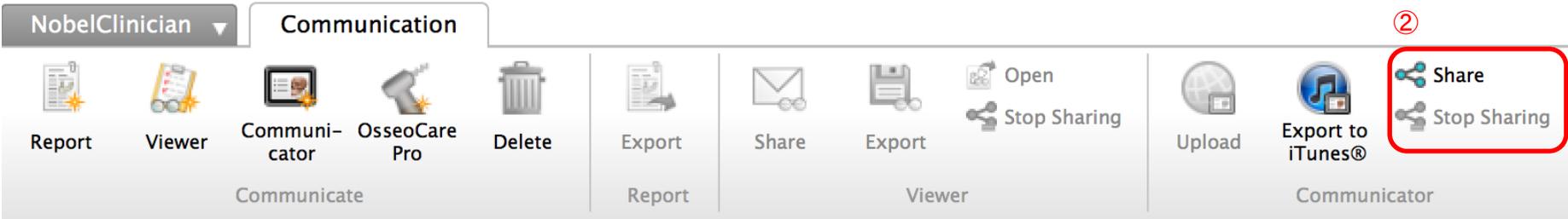


- ① Export to iTunesをクリックします
- ② Browseをクリックして、保存先、ファイル名を編集します
- ③ 保存または、Saveボタンをクリックします

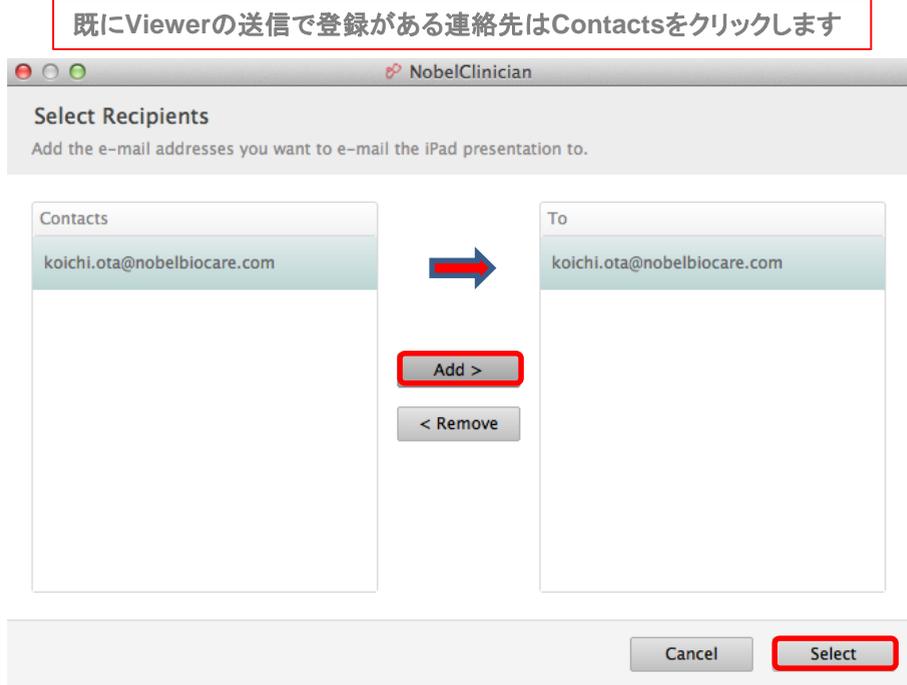
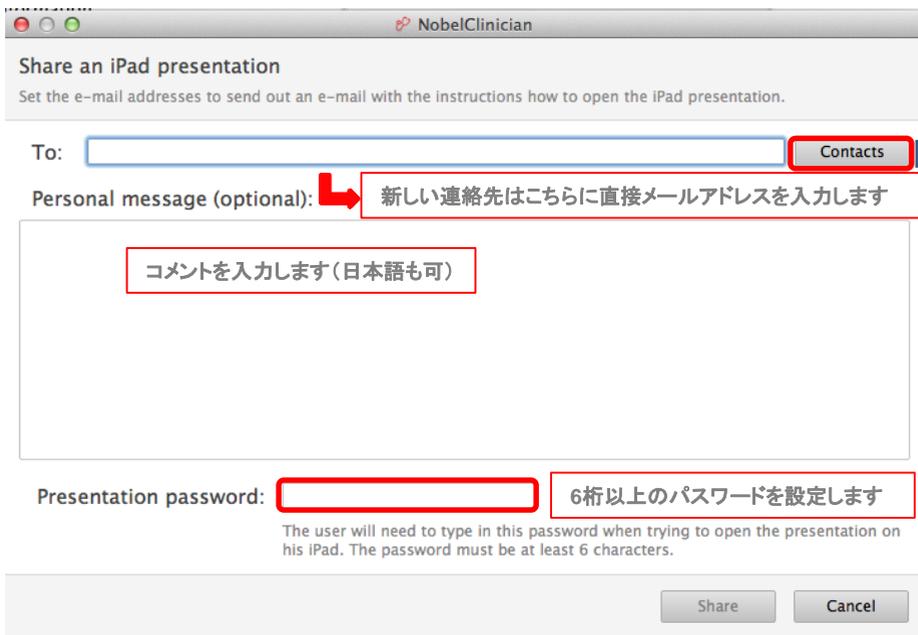
ここまでの操作で、NobelClinician Software内での操作は終了です
Windowsまたは、MacにiPadを接続して作業を行います
iPadの操作は「NobelClinician Communicator」をご覧ください



Finalize 「Communication Center」 iPad Report 作成 Share

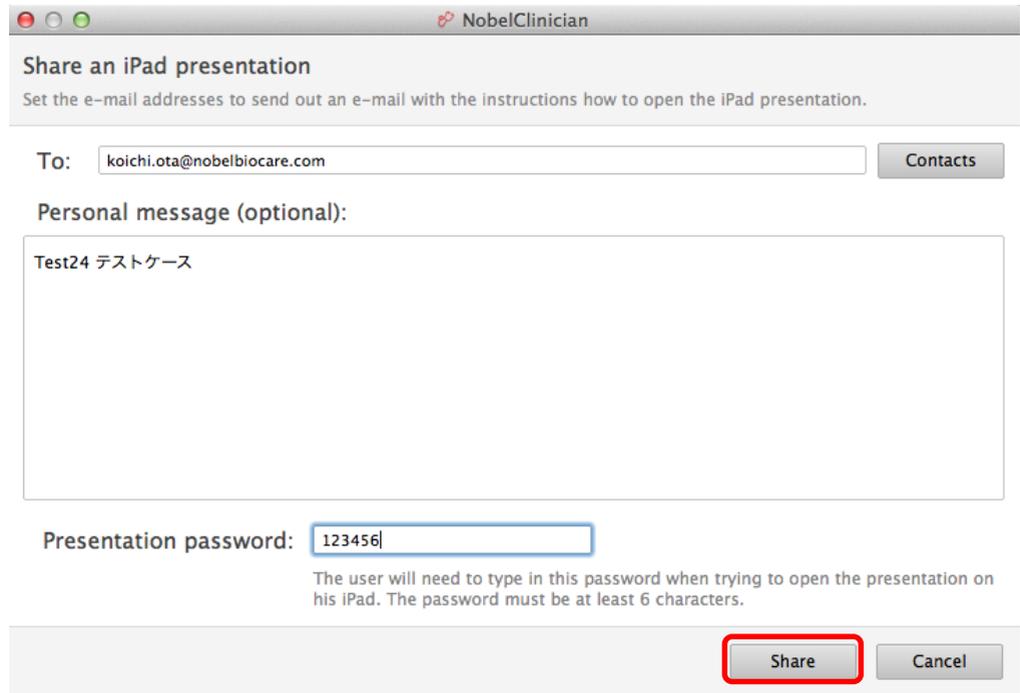
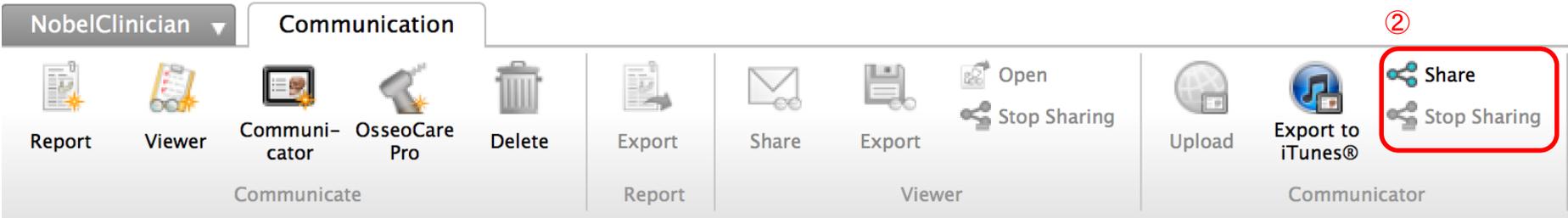


Shareボタンをクリックします



既にViewerの送信で登録がある連絡先はContactsをクリックします

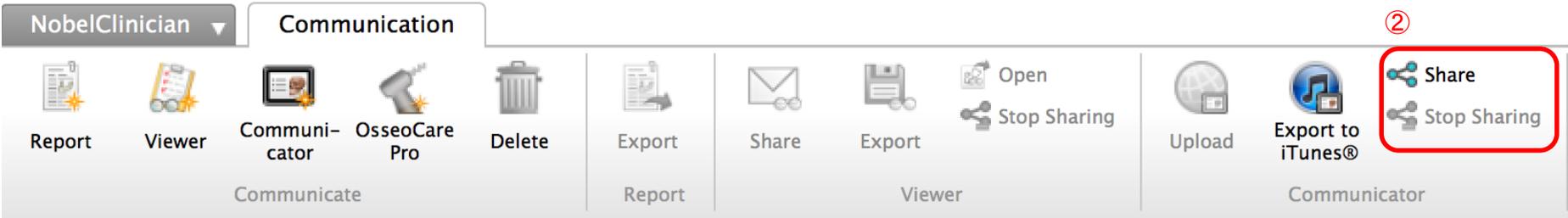
Finalize 「Communication Center」 iPad Report 作成 Share



ここまでの操作で、NobelClinician Software内での操作は終了です
以降はiPad内にインストールされている、NobelClinician Communicator
の操作になります

全ての入力が終了後、Shareボタンをクリックします

Finalize 「Communication Center」 iPad Report 作成 Share先のメール内容



NobelClinician Communicator iPad presentation for your review



A NobelClinician™ iPad® presentation has been securely shared with you by Ota 1 Koichi.

Message from Ota 1 Koichi:
"Test24 テストケース"

To open the presentation the **NobelClinician™ Communicator App** has to be installed on your iPad®. The app is available free of charge in the Apple® App Store.

Open the Communicator app and press the button "**Presentation ID**". An internet connection is required. Fill out the following information:

Presentation ID: 158642357
Password: 123456

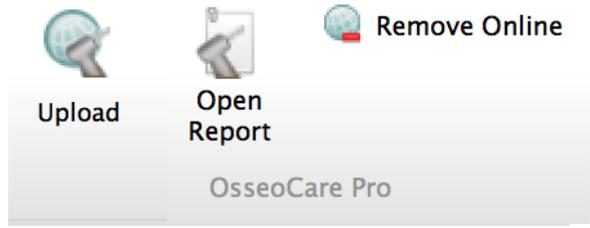
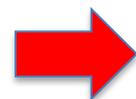


iPadアプリケーション「NobelClinician Communicator」のPresentation IDで入力します

For more information, contact Nobel Biocare: www.nobelbiocare.com/contact

DISCLAIMER:
- Nothing contained in this e-mail or the downloadable presentation shall be considered as Nobel Biocare's advise in any individual case. Further, neither the downloadable presentation nor information above marked as "MESSAGE FROM Ota 1 Koichi" contain information provided by Nobel Biocare. Nobel Biocare or its representatives do not make any representation or warranty with respect to the contents of said file and/or information.

Finalize 「Communication Center」 OsseoCare Pro



レポートの作成、PDFへのExportなど



ビューアファイルの作成



iPadで使用するレポートビューの作成



OsseoCare Pro と治療計画情報の共有と治療後の手術内容のデータ管理



データの削除(削除するとゴミ箱などに移動はせず、完全に消去されます)



オフラインでデータを作成した場合、ネットを接続後サーバーにアップロードします



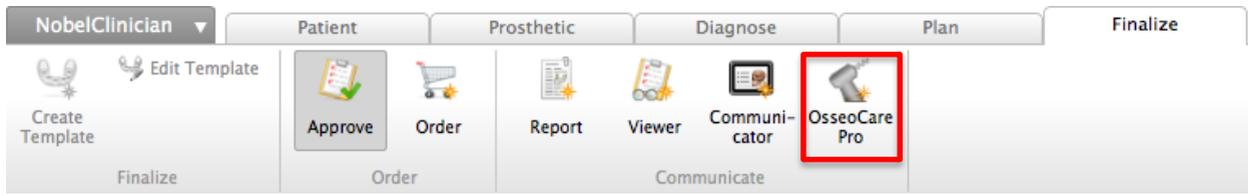
作成されたデータをPDFに変換し、保存後開きます



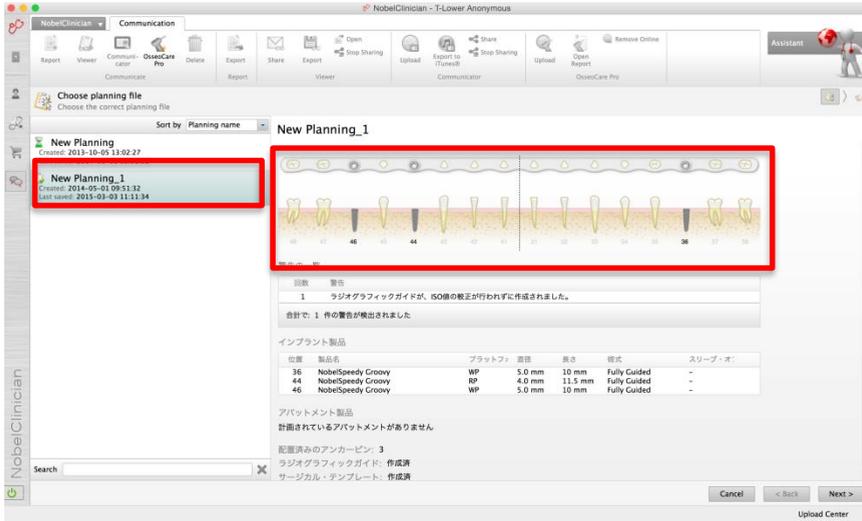
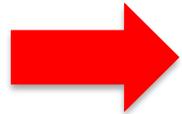
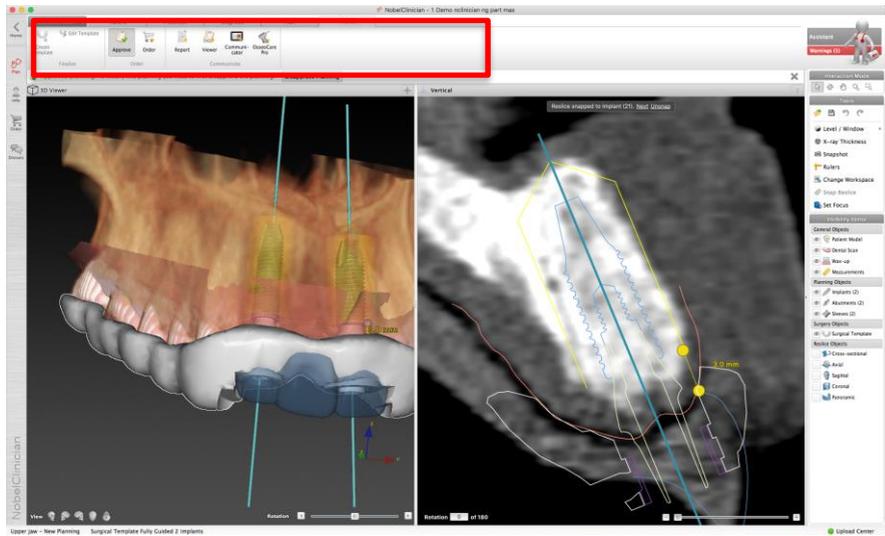
アップロードしたデータをオフライン上から削除します

※ このシステムをご使用するには、OsseoCare Pro (コントラエンジン)が必要になります

Finalize 「Communication Center」 OsseoCare Pro (プランニング画面から)



Approveを行っていない場合は作成出来ません



①  をクリックします

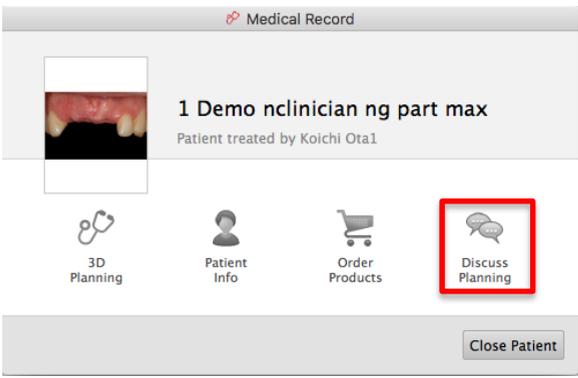
② **New Planning_1**
Created: 2014-05-01 09:51:32
Last saved: 2015-03-03 11:11:34
作成するプランの選択

③ インプラント埋入部位(歯式)の確認と設定
こちらのデータは、手術の記録になりますので
正確な歯式に設定します
歯式設定はP108に記載のアイコンをクリックします

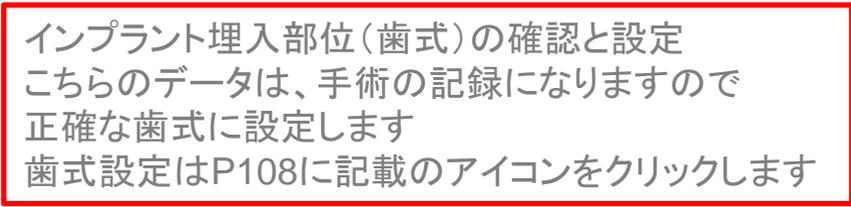
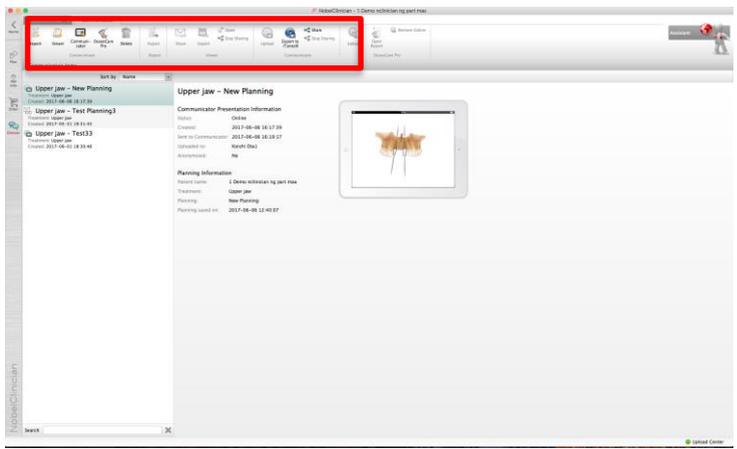
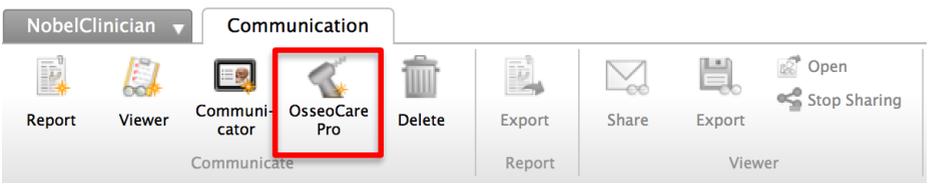
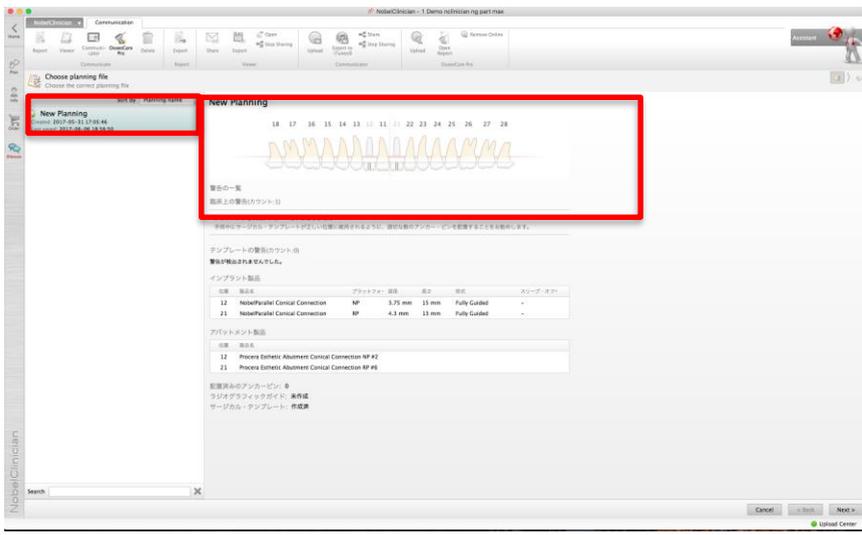
④ 終了後、右下のNext をクリックします

 201ページへ

Finalize 「Communication Center」 OsseCare Pro (トップ画面から)

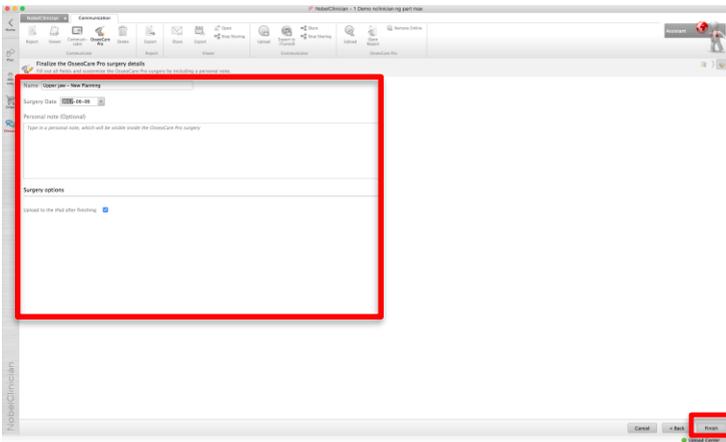


- ① 患者名を選択し、開きます。Medical Record内のCommunication Center をクリックします
- ② OsseCare Pro をクリックします



次ページへ

Finalize 「Communication Center」 OsseoCare Pro



Next後、左図の画面になります
下記の項目別に、操作を行い終了後、右下のFinishをクリックします



Finalize the OsseoCare Pro surgery details
Fill out all fields and customize the OsseoCare Pro surgery by including a personal note.

Name

Surgery Date

		3月 2015						
		日	月	火	水	木	金	土
9		22	23	24	25	26
10	1	2	3	4	5	6	7	
11	8	9	10	11	12	
12	15	16	17	18	19	
13	22	23	24	25	26	
14	29	30	31	1	2	3	4	

Personal note

プランニング名の編集

手術日の選択

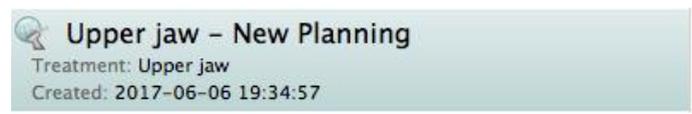
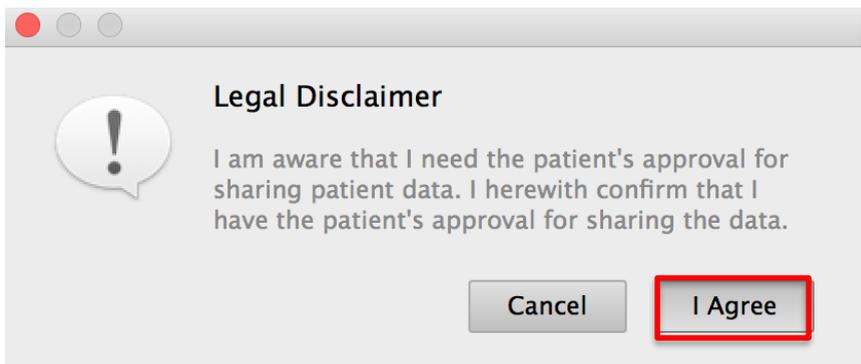
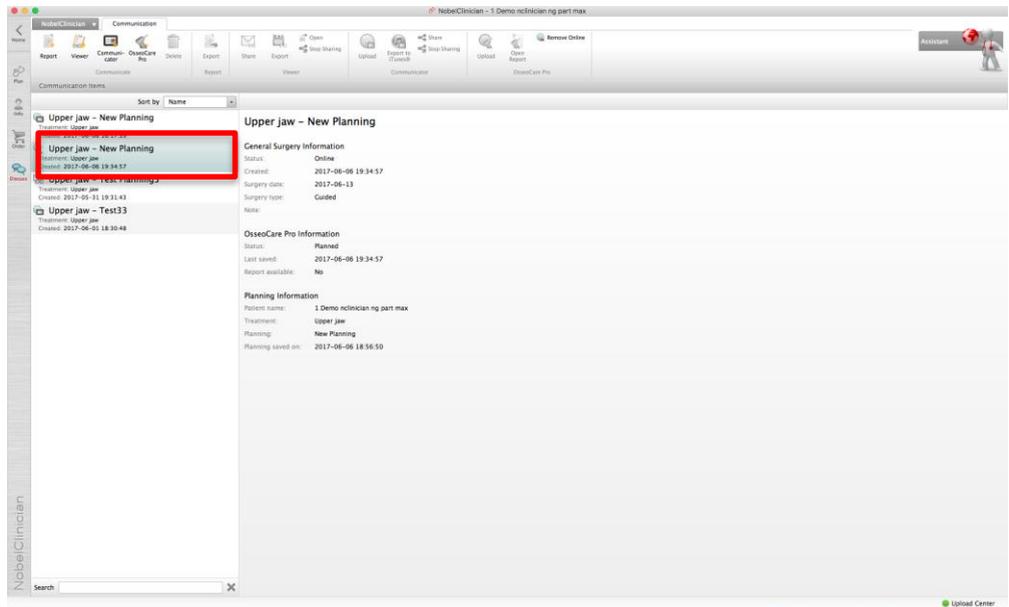
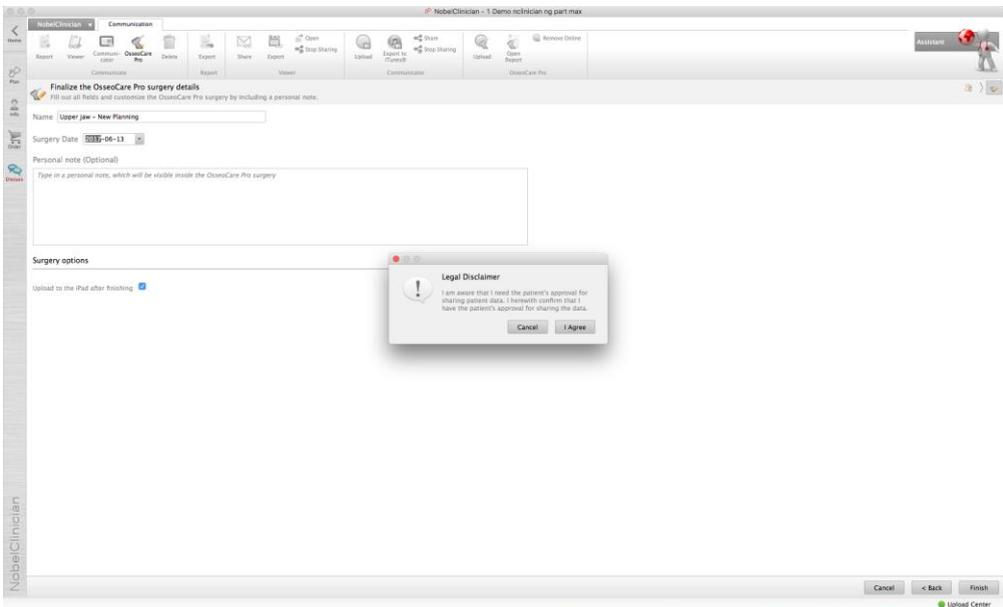
手術に関する事など、何か記載したい事などをメモとして使用

Surgery options

Upload to the iPad after finishing

Default は終了後、サーバーへアップロードしますので、アップロードしない場合はクリックしてチェックを外します

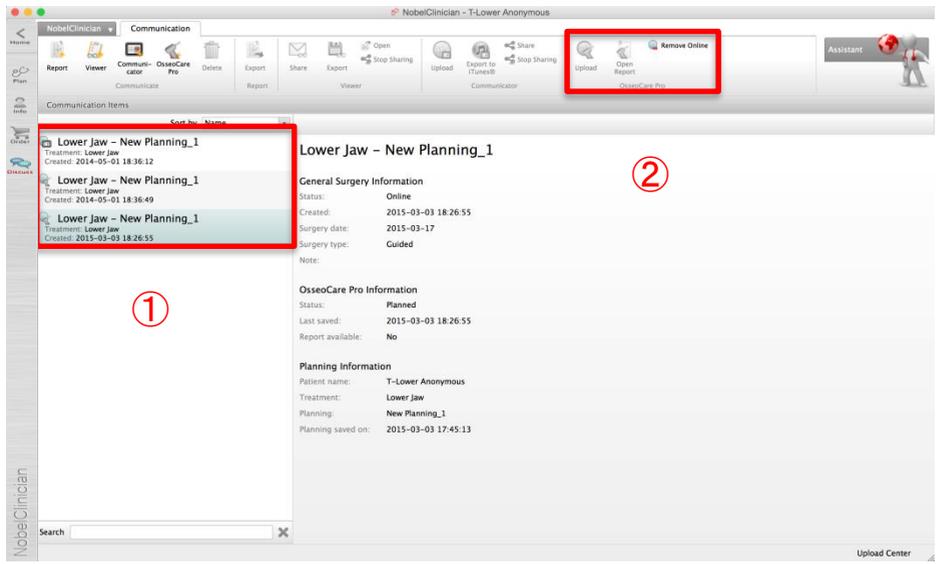
Finalize 「Communication Center」 OsseoCare Pro



サーバーにアップロードされたデータ

I Agreeをクリックします

Finalize 「Communication Center」 OsseoCare Pro データとアクション



OsseoCare Proのデータのステイタス別に使用出来るアクションが変わります

①

②

① Lower Jaw – New Planning_1
Treatment: Lower Jaw
Created: 2015-03-03 18:26:55

② Upload Open Report Remove Online
OsseoCare Pro

サーバーにアップロードされた状態です
サーバーから削除出来ます

① Lower Jaw – guided surgery
Treatment: Lower Jaw
Created: 2015-03-03 11:11:48

② Upload Open Report Remove Online
OsseoCare Pro

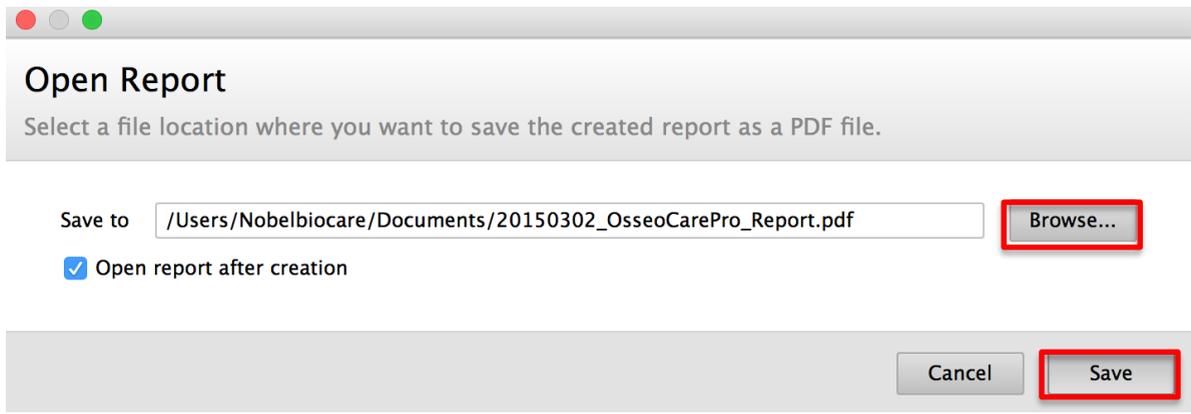
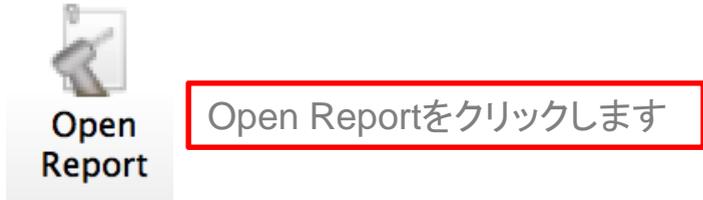
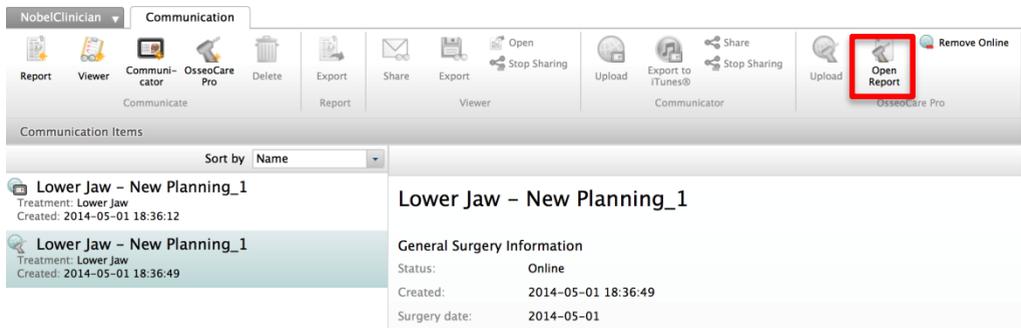
オフラインの状態、サーバーへアップロード出来ます

① Lower Jaw – New Planning_1
Treatment: Lower Jaw
Created: 2014-05-01 18:36:49

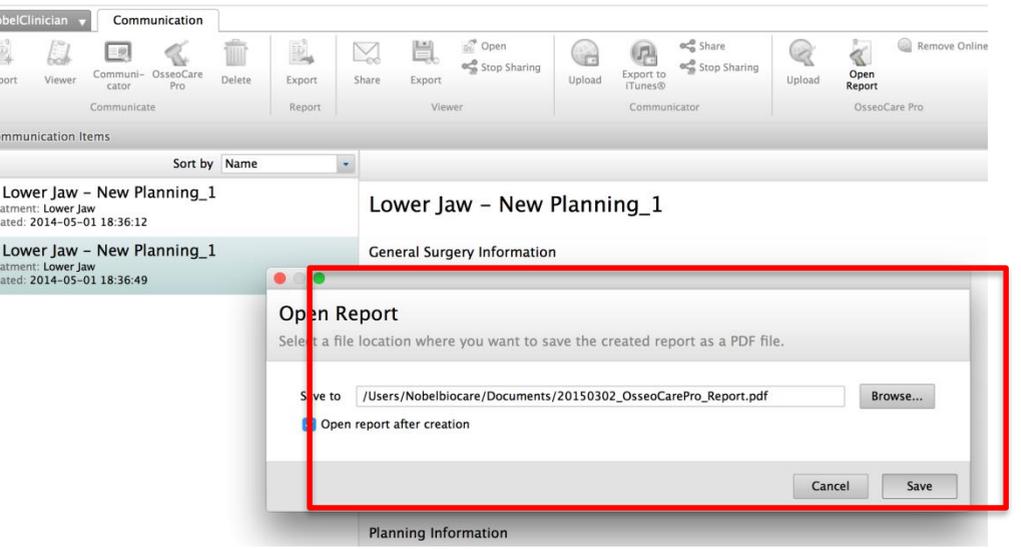
② Upload Open Report Remove Online
OsseoCare Pro

サーバーにアップロードされた状態で、サーバーから削除出来ます。尚且つ、手術が終わっていてiPad アプリケーション OsseoCare Proから手術結果がサーバーにアップロードされていますので、手術内容を確認出来ます 次ページへ

Finalize 「Communication Center」 OsseoCare Pro データとアクション



PDFファイルにして保存しますので、保存先を決めて下さい
Browseボタンを押して、保存先を変更出来ます
決定後、Saveボタンをクリックします



Finalize 「Communication Center」 OsseCare Pro データとアクション

20150302_OsseCarePro_Report.pdf (5/5ページ)

Anonymous T-Lower

Nobel Biocare

TOOTH POSITION 46

Implant Details

Brand	Nobel Biocare	Surgery Type	<input checked="" type="radio"/> Fully Guided
Product	NobelSpeedy Groovy WP 5.0x10 mm	Seating Torque	-
REF	32155		
LOT	-		

Implant Insertion Torque Graph

Ncm

4.0

2.0

0

0 5 10 15 20 25 30 s

Drill Sequence

Assigned Implant Family: NobelSpeedy Groovy WP - 5.0mm (Fully Guided)

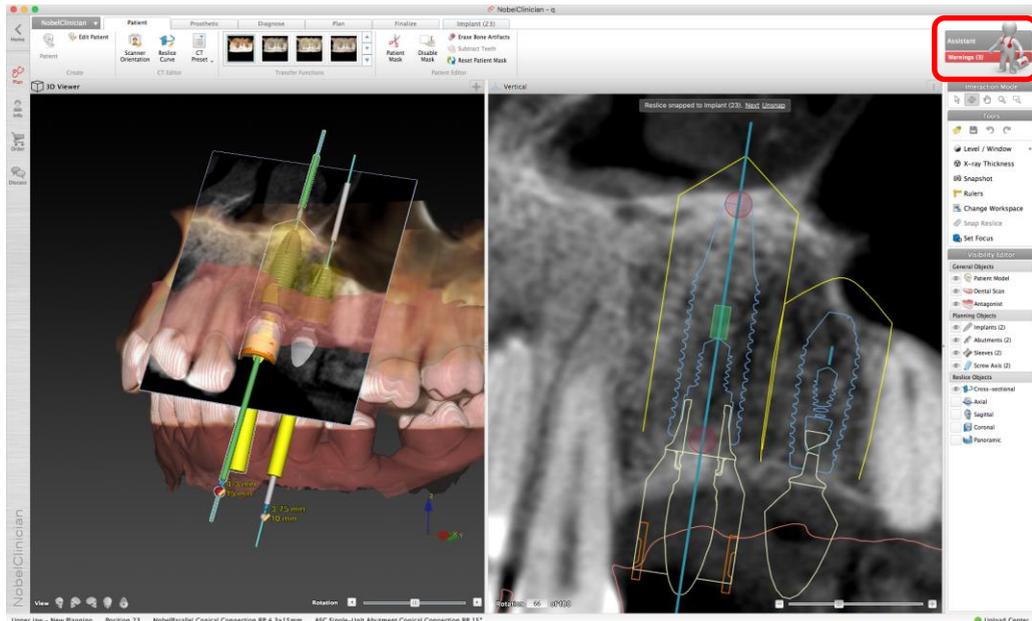
Drill Name	Speed	Torque	Irrigation
Guided Start Drill	800 RPM	5.9 Ncm	💧
Guided Twist Drill 2.0	800 RPM	5.9 Ncm	💧

Saveが完了しますと、自動的にPDFファイルが左図の様に開きます
この内容は、NobelClinician 内でデータを削除しなければ、何回でもPDFに変換してご覧頂けます

NobelClinician Assistant



NobelClinicianでは、**オスカー**がサージカルプレート作成までのステップをサポートしてくれます



サージカルプレート作成に問題が無い状態



サージカルプレート作成に問題を抱えている状態、または設計に注意点がある状態

NobelClinician Assistant



サージカルテンプレートを作成する際は、何が問題なのかを必ず確認して下さい
(ガイドピンなどの着け忘れ防止)

ココを左クリック!



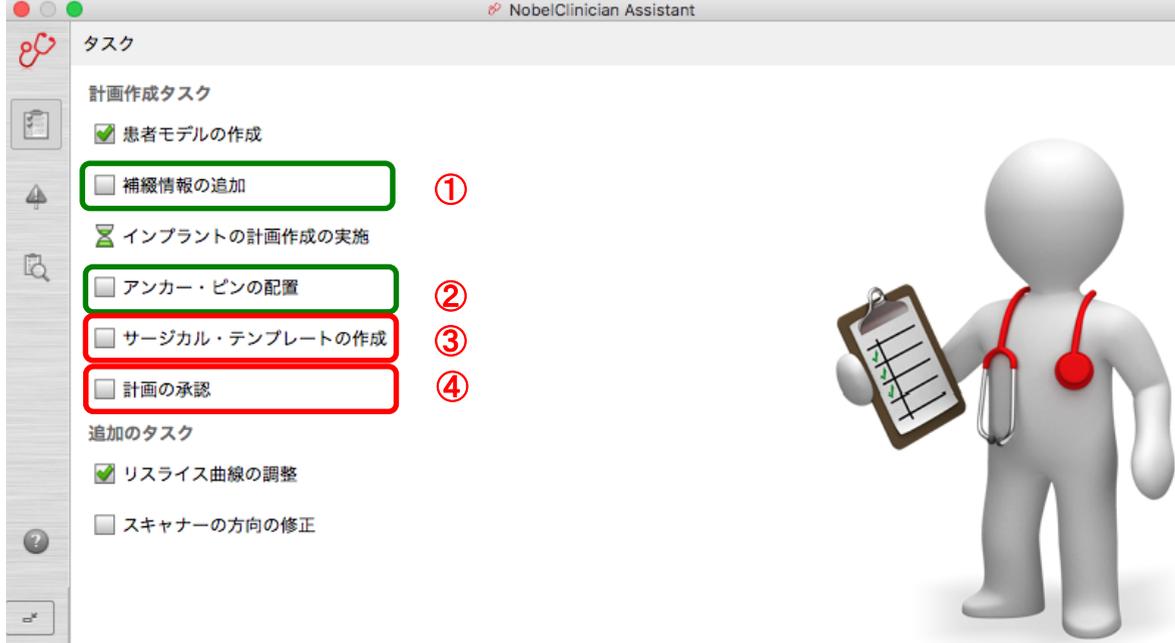
Warningsを左クリックすると、左図の様な警告の内容を確認出来ます
警告の内容を修正してサージカルテンプレートの作成工程に進んで下さい

NobelClinician Assistant



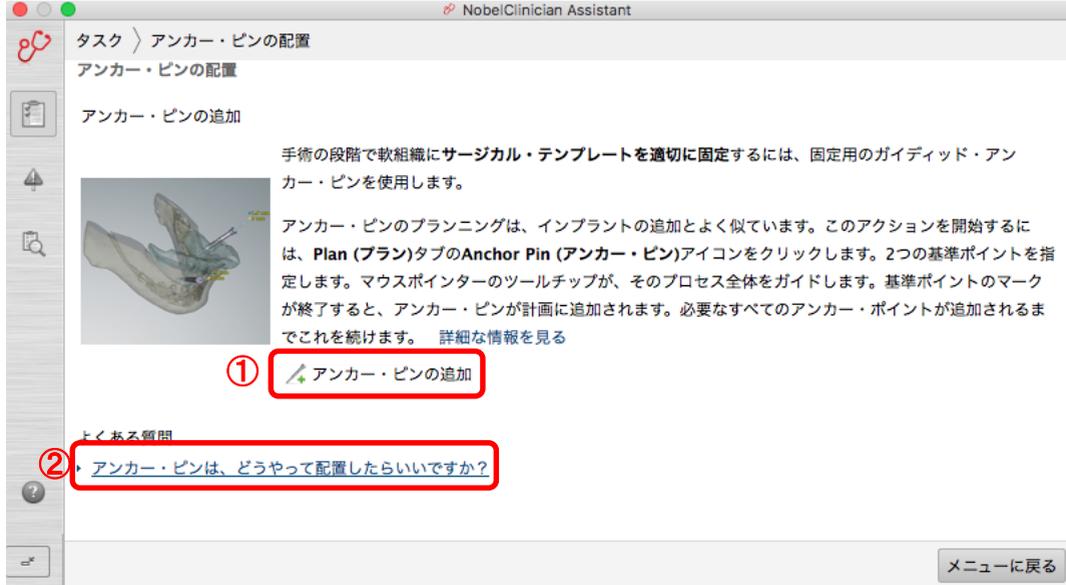
Warningsで警告の確認は出来たが、操作や進み方がわからない時は上の Assistantをクリックします

ココを左クリック！



Assistantをクリックすると、左図の計画作成タスクが開きます
サージカルテンプレート作成に必要な項目が記載されています
作業が終了した項目は、自動的に緑色のチェックマークが記載されます
左図では、①、②は、症例によっては設計しなくても問題ありません。③、④は、サージカルテンプレート発注する場合、必ず行う項目です
終了していない項目をそれぞれ、左クリックしてみましょう

NobelClinician Assistant



緑色のチェックが付いていない項目を左クリックすると左図の様な、説明が開きます

①を左クリックすると、プランニング画面で直に作業が行えます。左図では、アンカーピンが直に追加出来る様になります

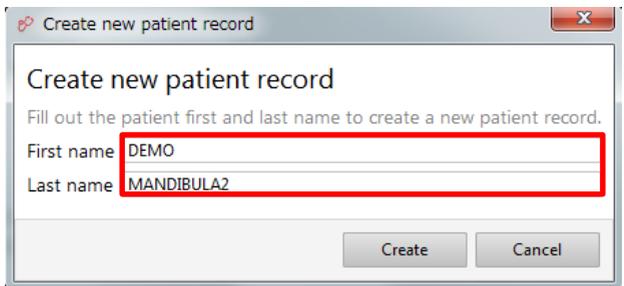
②を左クリックすると、ヘルプファイルが開き詳細な説明を見ることが出来ます

Assistantを使用すれば、操作が慣れていない方でもプランニングとリンクしているので、それぞれの項目を行う事が出来ます。また、アンカーピンの着け忘れなども回避出来ます。

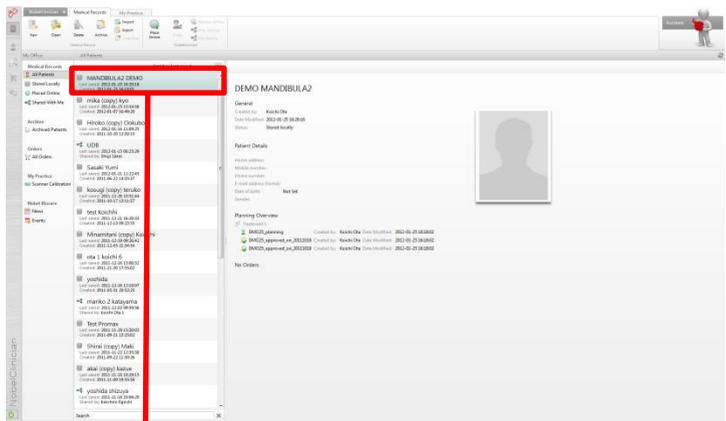
NobelGuide Data (orp.File)



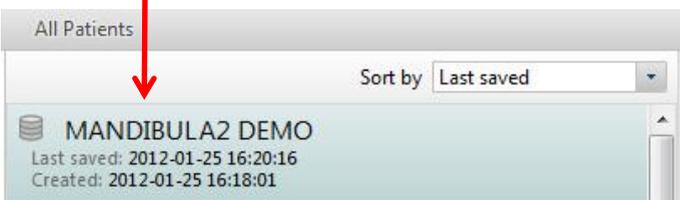
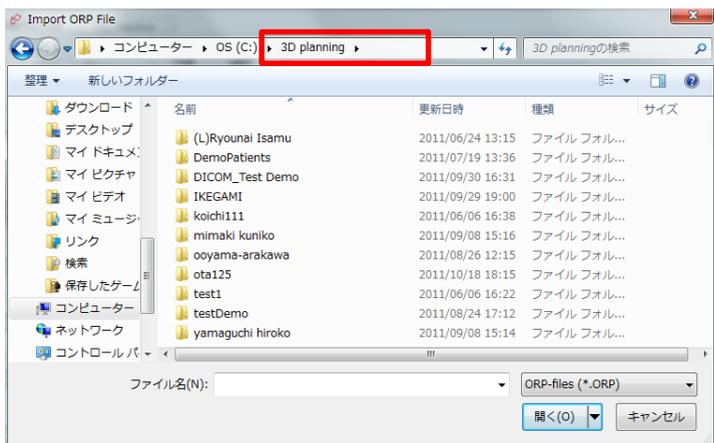
Orp.Fileを開くと、Create new patient recordが開きます。読込んだ時点では、CT撮影時に登録された患者名が記載されています。こちらで、患者名の編集が出来ます。Createを押して、次に進みます。



NobelGuideでプランニングしたDataをNobelClinicianで見ることが出来ます。トップページのNobelClinicianの下矢印を左クリックしますと、上記図の様な画面になります。Import ORP Fileを左クリックして下さい。NobelGuideがインストールされているPCであれば、下記図の様に3D Planningのフォルダーが開きますので、NobelClinicianに変換する患者名のホルダーを左クリックで開き、orp.Fileを選択し開きます。

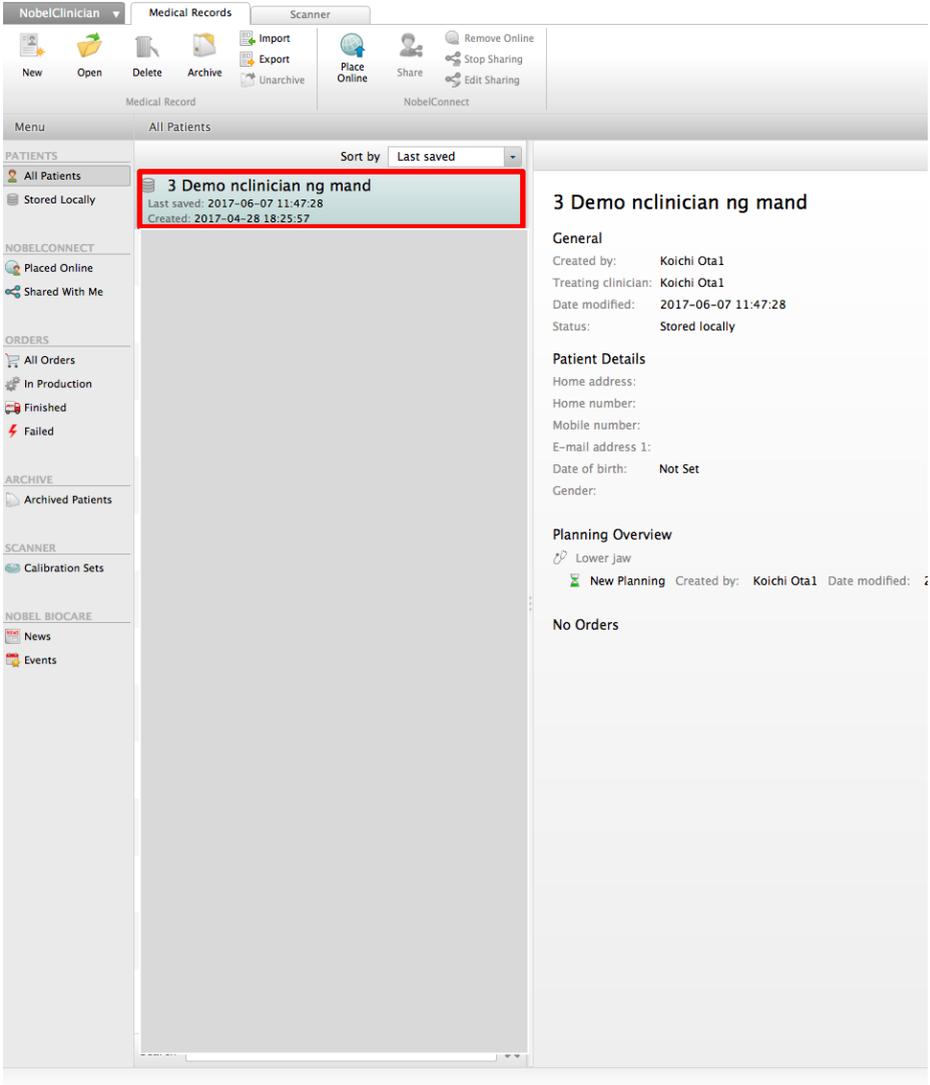


NobelClinicianのAll Patientsの項目にImportされたので、選択してOpenまたは左ダブルクリックで開きます。



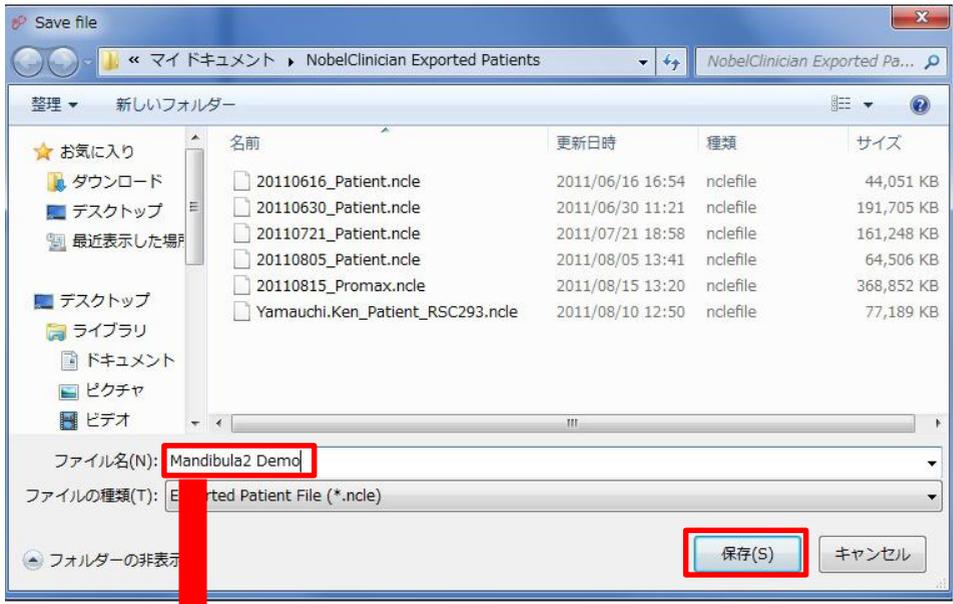
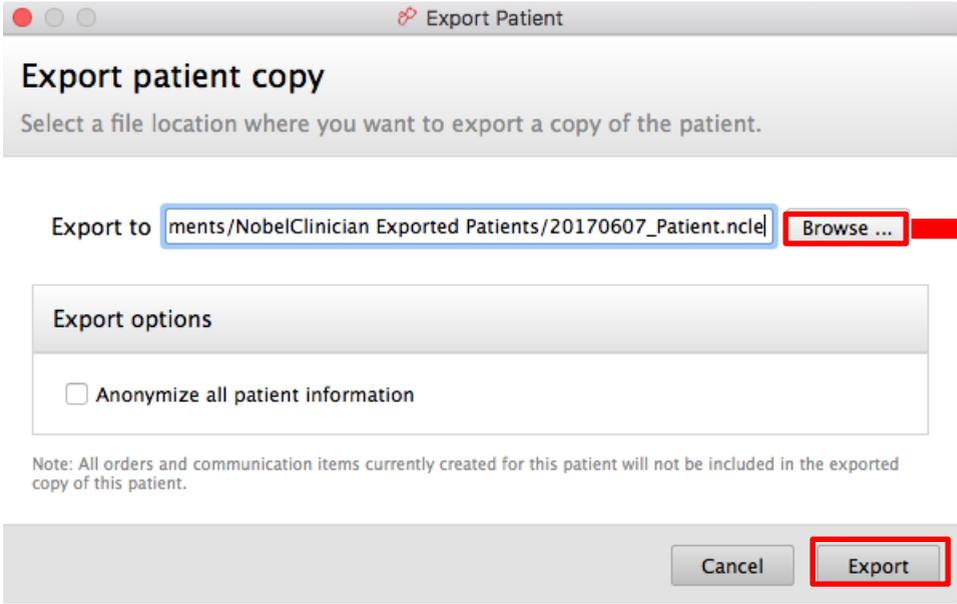
NobelClinician データの取り出し(ncle.File)

NobelClinicianのデータを、第三者のNobelClinician PCに取込む場合



- ◆ 取り出したいデータの患者名を選択します
- ◆ 次に、Medical Records内にあるExportを押します

NobelClinician データの取り出し(ncle.File)



Anonymize all patient information 患者名を匿名に変更する場合にチェックを入れる

- ◆ Defaultの場合、ドキュメントに「NobelClinician Exported Patients」というホルダーを作成し、保存されます
- ◆ 別の所に保存したい場合や、ファイル名を変更したい場合はBrowseボタンをクリックします

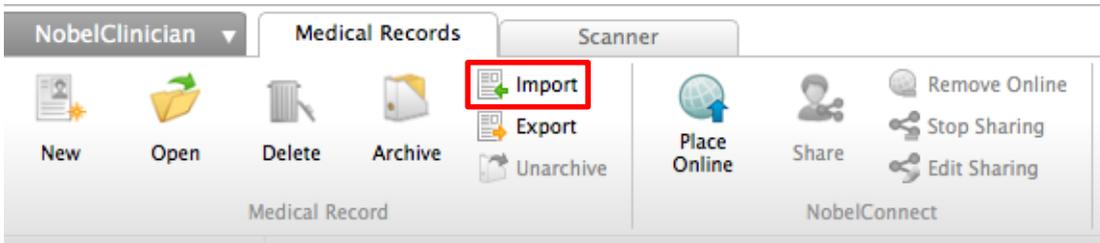
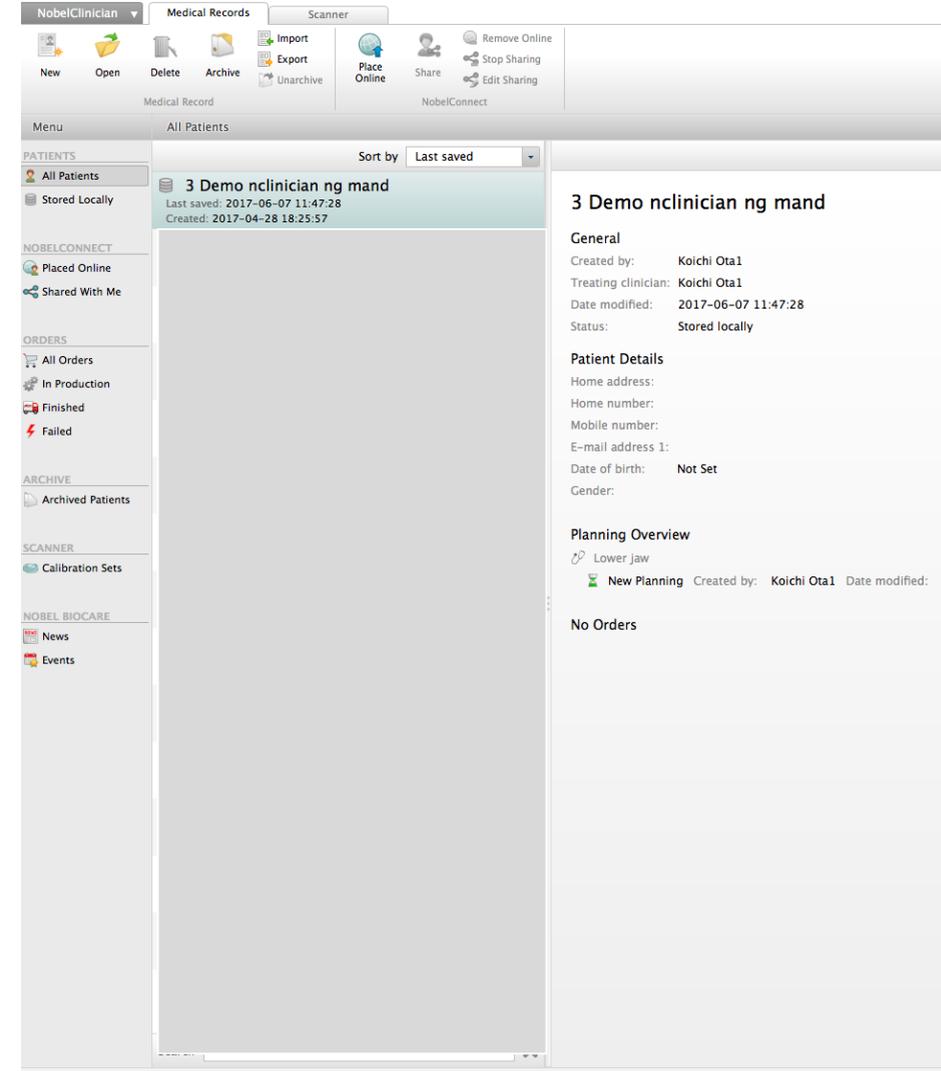
ファイル名はDefault時、日付_Patientとなっていますので、上記図の様にわかりやすい名前に変更することをお奨めします

保存された、名前.ncleファイルには患者情報、CTデータ、プランニングデータの全てが、入っています

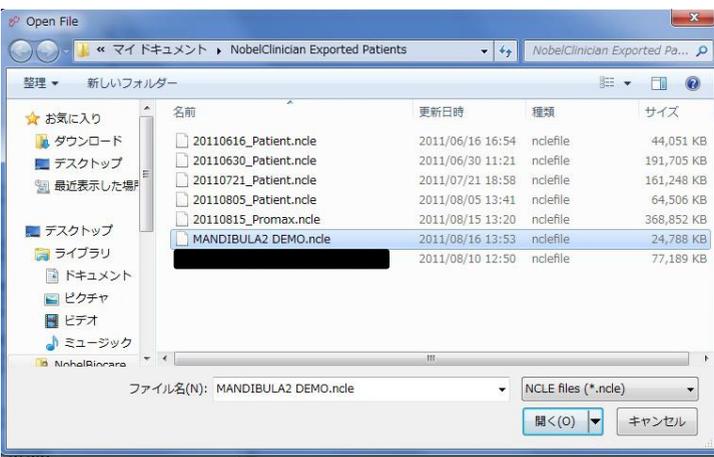
第三者などに渡す場合は、Anonymizeにチェックを入れて保存する事をお奨めします

NobelClinician データの取り込み(ncle.File)

Exportされたデータ(.ncle) をImport する



◆ Medical Records内にあるImportを押します



◆ Importしたいデータを選択し、開きます。USBなどのPC以外にデータがある場合は、そちらのメディアを指定して開きます

NobelClinician 便利なショートカットキー集1 Windows

オブジェクトを選択して行うショートカット。(3D画像上にて 骨、ラジオグラフィックガイド、リスライスなど)

アクション	キーボードのキー
オブジェクトの非表示	H
透明度の切り替え	T (再度押すと、元に戻ります。)
オブジェクトのプロパティ(詳細設定)	Ctrl + P (選択したオブジェクトのプロパティ・パネル)

リスライスの移動

アクション	キーボードのキー
リスライスを1コマずつ移動	↑
リスライスを1コマずつ移動	↓
リスライスを10コマずつ移動	Page Up
リスライスを10コマずつ移動	Page Down
リスライスの最初の位置に移動 <small>(右側最遠心部)</small>	Home
リスライスの最後の位置に移動 <small>(左側最遠心部)</small>	End

NobelClinician 便利なショートカットキー集2 Windows

インプラントのアクション (変更したいインプラントを選択してから行います)

アクション	キーボードのキー
インプラントの非表示	H
インプラントの (プロパティ・パネル)」の表示	Ctrl + P
インプラントの削除	Delete (削除)
インプラント製品を変更(アバットメント)	P
インプラントの埋入深度を上顎では深くなり、下顎では浅くなります。(0.5mmずつ移動)	Ctrl + ↑
インプラントの埋入深度を上顎では浅くなり、下顎では深くなります。(0.5mmずつ移動)	Ctrl + ↓
インプラント位置の変更の際カットする。	Ctrl + X
インプラントの長さを長くする (各1サイズずつ)	ALT + ↑
インプラントの長さを短くする (各1サイズずつ)	ALT + ↓
プラットフォームの径を太くする。(最大幅に達した場合は、リスト内の次のプラットフォームの最小幅が選択される。)	ALT + →
プラットフォームの径を細くする。(最小幅に達した場合は、リスト内の前のプラットフォームの最大幅が選択される。)	ALT + ←

インプラントを埋入する部位、診断を行いたい部位への即アクセス

Set Focus のショートカットで、 F を押すとマウスが+になるのでアクセス箇所をクリックします。これは、3D画像、パノラマ画像などでご使用出来ます。	F
--	----------

NobelClinician 便利なショートカットキー集3 Windows

ヘルプ、Viewモードのショートカット

アクション	キーボードのキー
ヘルプページ(詳細)	F1
Implant View	F2
3D View	F3
Reslice View	F4
Panoramic View	F5
Cross-Sectional View	F6

3D画像表示(向き、角度)

アクション	キーボードのキー
左側を表示	1
下に向かって縦回転	2
右側を表示	3
右に向かって横回転	4
正面を表示	5
左に向かって横回転	6
真下を表示	7
上に向かって縦回転	8
真上を表示	9

NobelClinician 便利なショートカットキー集1 Mac OS

オブジェクトを選択して行うショートカット。(3D画像上にて 骨、ラジオグラフィックガイド、リスライスなど)

アクション	キーボードのキー
オブジェクトの非表示	H
透明度の切り替え	T (再度押すと、元に戻ります。)
オブジェクトのプロパティ(詳細設定)	Command + P (選択したオブジェクトのプロパティ・パネル)

リスライスの移動

アクション	キーボードのキー
リスライスを1コマずつ移動	↑
リスライスを1コマずつ移動	↓
リスライスを10コマずつ移動	Fn+↑
リスライスを10コマずつ移動	Fn+↓
リスライスの最初の位置に移動 <small>(右側最遠心部)</small>	Fn + ←
リスライスの最後の位置に移動 <small>(左側最遠心部)</small>	Fn + →
リスライスの移動、回転	Implant Workspace で右側のリスライスを選択後 Control+↓ ↑

NobelClinician 便利なショートカットキー集2 Mac OS

インプラントのアクション (変更したいインプラントを選択してから行います)

アクション	キーボードのキー
インプラントの非表示	H
インプラントのプロパティ・パネルの表示	Command + P
インプラントの削除	Delete (削除)
インプラント製品を変更(アバットメント)	P
インプラントの埋入深度を上顎では深くなり、下顎では浅くなります。(0.5mmずつ移動)	Command + ↑
インプラントの埋入深度を上顎では浅くなり、下顎では深くなります。(0.5mmずつ移動)	Command + ↓
インプラント位置の変更の際カットする。	Ctrl + X
インプラントの長さを長くする (各1サイズずつ)	option + ↑
インプラントの長さを短くする (各1サイズずつ)	option+ ↓
プラットフォームの径を太くする。(最大幅に達した場合は、リスト内の次のプラットフォームの最小幅が選択される。)	option+ →
プラットフォームの径を細くする。(最小幅に達した場合は、リスト内の前のプラットフォームの最大幅が選択される。)	option + ←

インプラントを埋入する部位、診断を行いたい部位への即アクセス

Set Focus のショートカットで、 F を押すとマウスが+になるのでアクセス箇所をクリックします。これは、3D画像、パノラマ画像などでご使用出来ます。	F
--	----------

NobelClinician 便利なショートカットキー集3 Mac OS

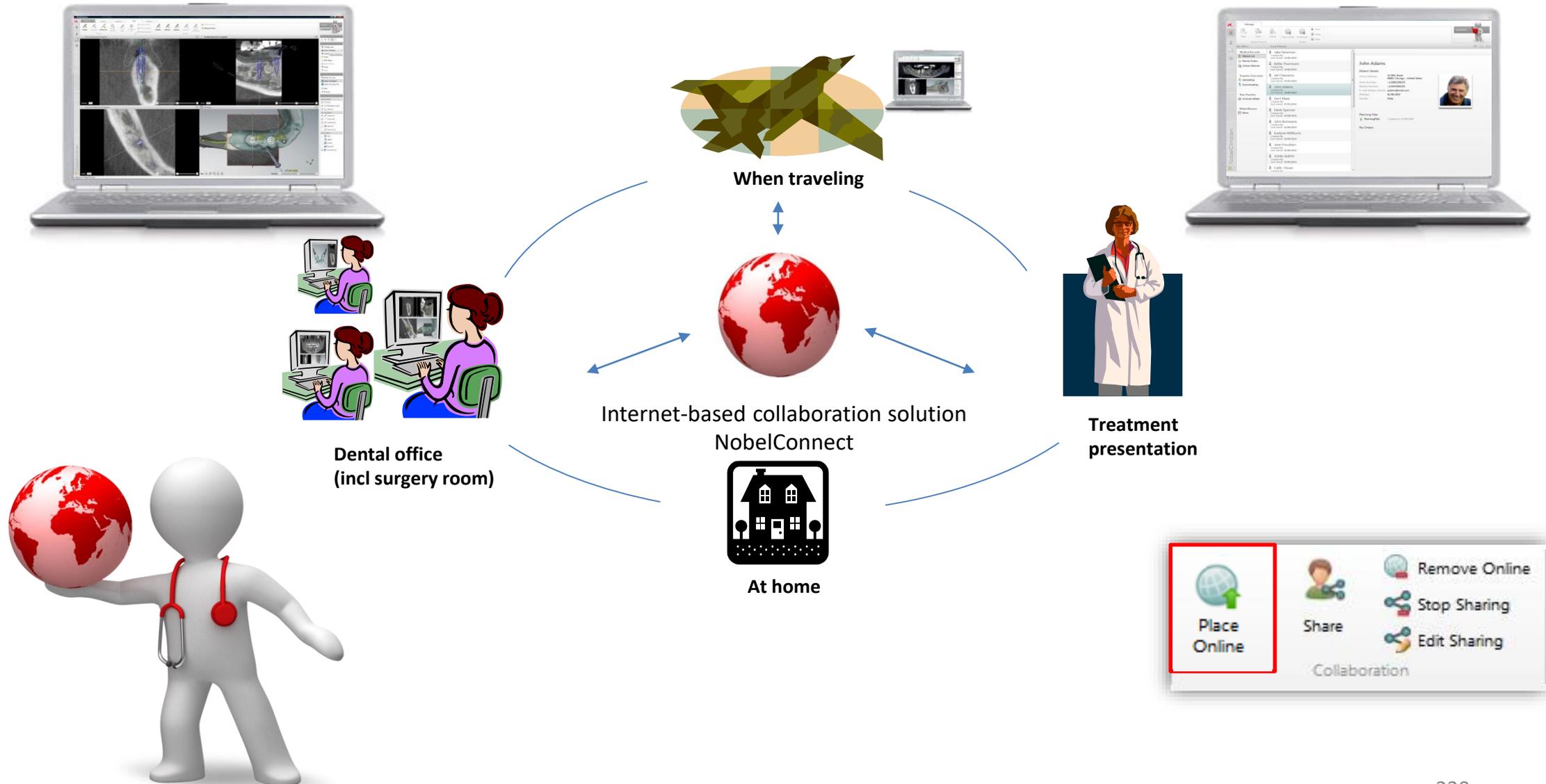
ヘルプ、Viewモードのショートカット

アクション	キーボードのキー
ヘルプページ(詳細)	Fn+F1
Implant View	Fn+F2
3D View	Fn+F3
Reslice View	Fn+F4
Panoramic View	Fn+F5
Cross-Sectional View	Fn+F6
Interaction Mode 切換え   	Tab 押す毎に切り替え
Interaction Mode 	Option を押し続ける
Interaction Mode 	Command を押し続ける
画面を前後に移動	Fn+F9orF10
画面を上方に隠す	Fn+F11

3D画像表示(向き、角度)

アクション	キーボードのキー
左側を表示	1
下に向かって縦回転	2
右側を表示	3
右に向かって横回転	4
正面を表示	5
左に向かって横回転	6
真下を表示	7
上に向かって縦回転	8
真上を表示	9
3D画像を矢印キーで動かす	Control+   
3D画像の回転	Command+   止める時は、押した矢印を押す

NobelClinician NobelConnect



NobelConnect

NobelConnectとは……

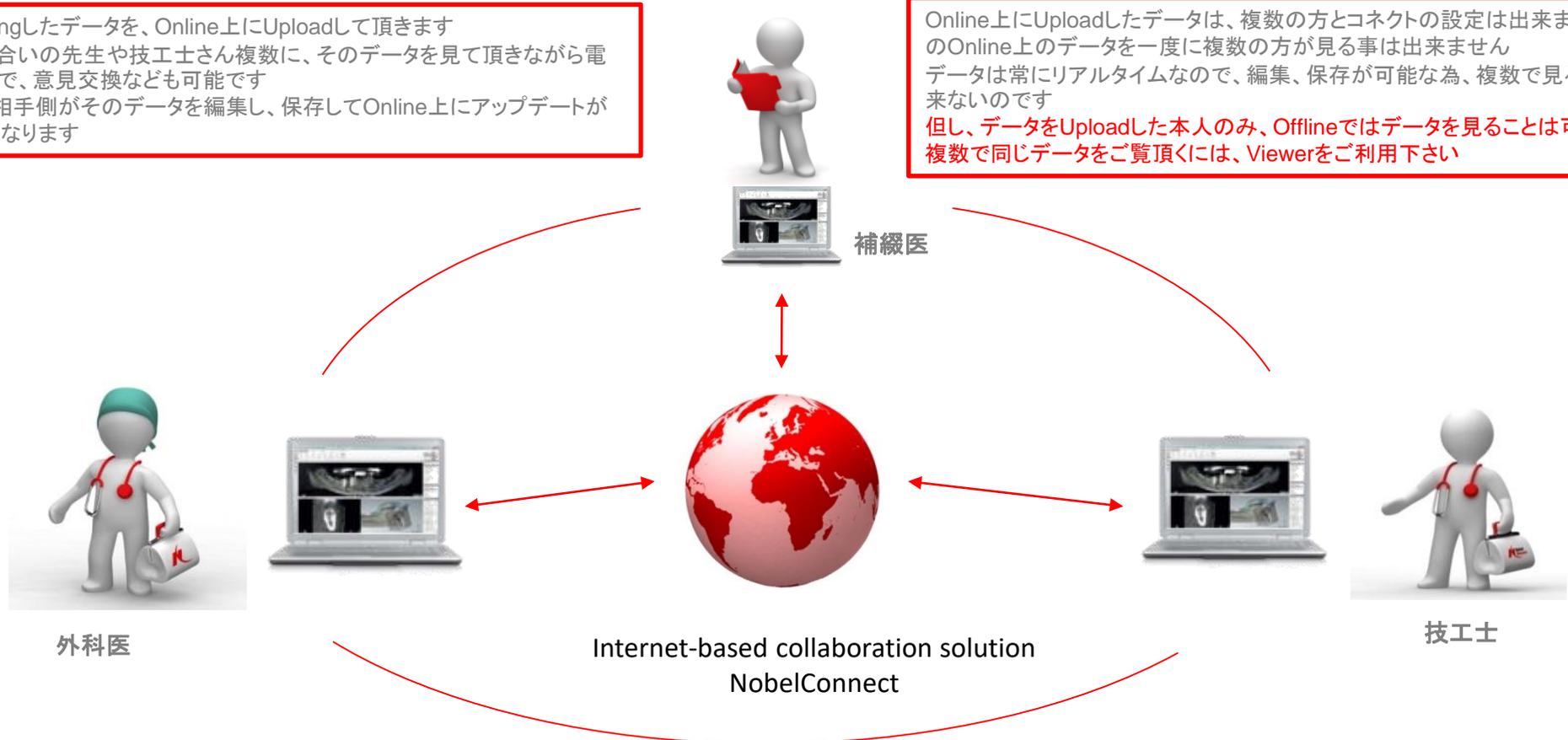
オンラインを使用して、**NobelClinician**をお持ちの先生方、技工士さんとのコミュニケーションツールの一部としてご使用して頂けます。
※ ライセンス契約を更新されている事

何ができる？

Planningしたデータを、Online上にUploadして頂きます
お知り合いの先生や技工士さん複数に、そのデータを見て頂きながら電話などで、意見交換なども可能です
また、相手側がそのデータを編集し、保存してOnline上にアップデートが可能になります

何が出来ない？

Online上にUploadしたデータは、複数の方とコネクトの設定は出来ませんが、そのOnline上のデータを一度に複数の方が見る事は出来ません
データは常にリアルタイムなので、編集、保存が可能なので、複数で見る事が出来ないのです
但し、データをUploadした本人のみ、Offlineではデータを見る事は可能です
複数で同じデータをご覧頂くには、Viewerをご利用下さい



NobelConnect Start

Connectする側

Step1 登録

先生が、Connectしたい相手先の情報を、NobelConnect 申込み用紙に記載して頂きNobelBiocareのカスタマーサービス宛にFAXして頂きます
NobelBiocareより相手先にFAXで確認致します。確認が取れ次第登録を行い完了後、FAXにて先生と相手先にご連絡させて頂きます



Step2

Cancel

間違えたり、中止したい場合はCancelボタンを左クリックします

Place Onlineボタンを左クリックしてPlanningしたデータをOnlineでサーバーに載せます。上記の図の様に、↑が出ている時はデータをサーバーに送信中で、右側のProgressで送信状況がわかります。1GB迄のデータをサーバーに載せる事が可能です
※ サーバーにデータをアップロードする時間は、通信速度とデータ量で変わります。特にCBCTご使用の場合は1時間を超える事があります

NobelConnect Start

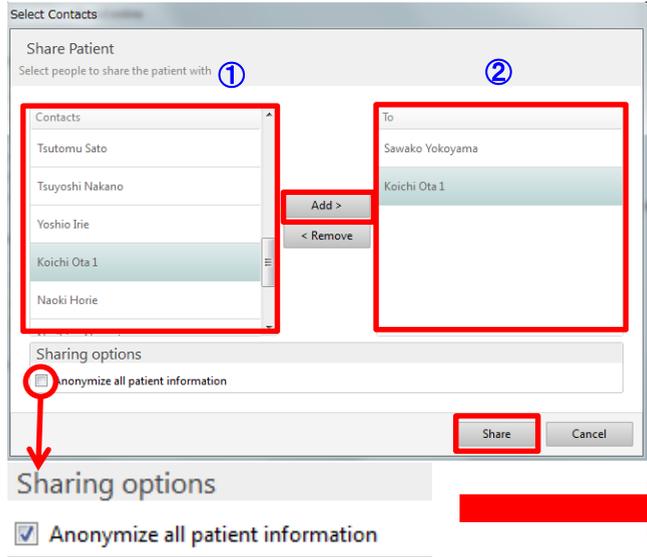
Connectする側

Step3



Patients内のアイコンの種類

-  Connectしていない、Localなデータ
-  本人がConnectして、Onlineにしているデータ
-  相手がConnectして、Onlineにしているデータ



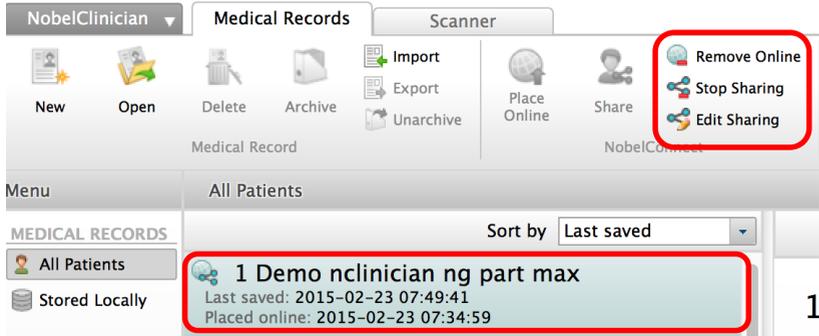
Shareボタンを左クリックすると、Select Contactsのウィンドウが開きます。①はStep1で登録した人が出ていますので、Connectしたい人を選択して **Add >** ボタンを左クリックして②にセットします。選択を間違えたり、止める場合は **< Remove** ボタンを左クリックします

セットが完了しましたら、 **Share** ボタンを左クリックして終了です

Connectするデータの患者名を匿名にする場合にはチェックを入れます

NobelConnect Start

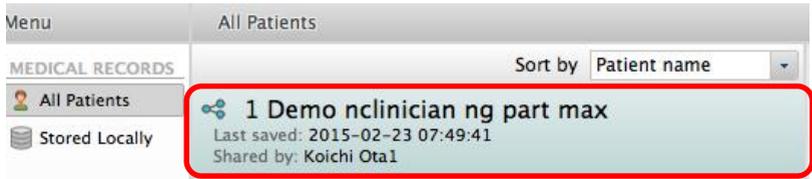
Connectする側



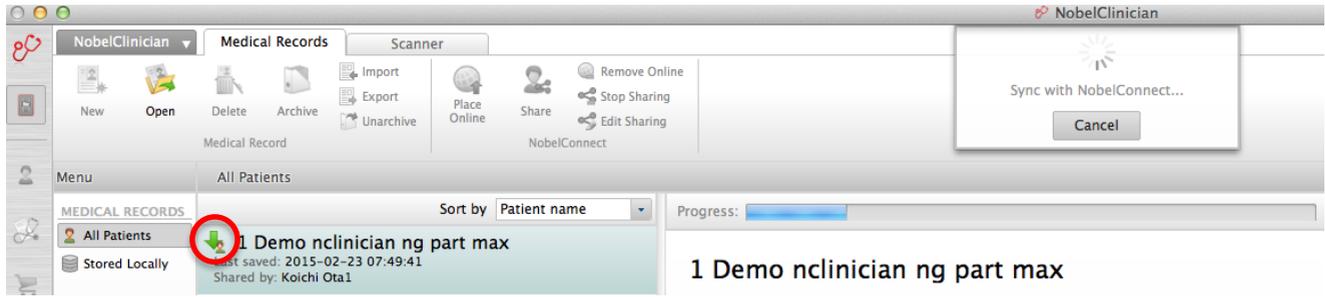
オンライン上にデータをアップロードしますと、3つボタンが表示されます。

- Remove Online** オンラインにアップロードしたデータを削除してオフラインのみに変更します
- Stop Sharing** コネクトしている相手と、コネクトを止める場合に使用します
- Edit Sharing** コネクトする相手の変更や追加を行う場合に使用します

Connect 相手側



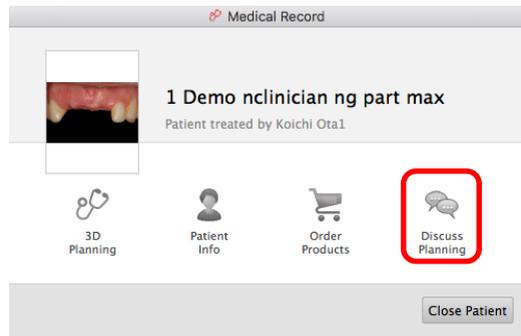
インターネットに繋がっている状態で、NobelClinicianソフトを起動されますと、Patientsデータ内に、コネクトされた患者名が表示されます。🔗 が目印になります



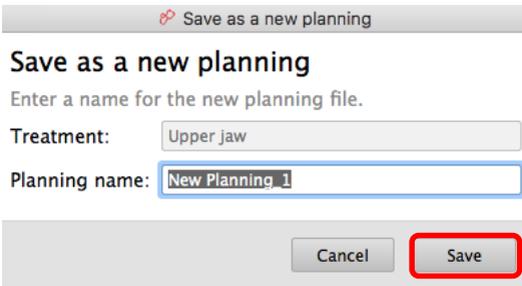
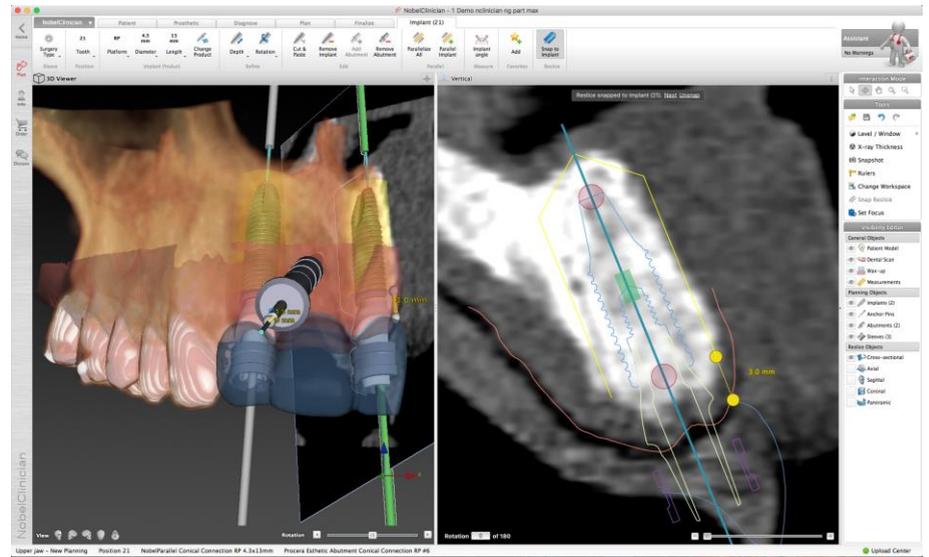
コネクトされた患者データを左ダブルクリック又は、選択後Openをクリックするとサーバーからデータのダウンロードが開始されます

NobelConnect Start

Connect 相手側

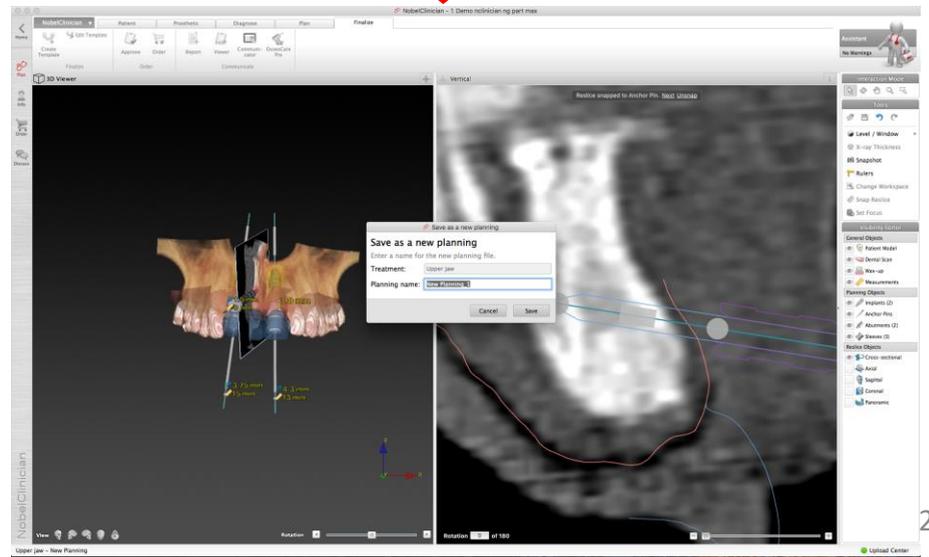


コネクされたデータのダウンロードが終了すると、自動的にMedical Recordが開きますので、3D Planningをクリックして開きます



プランニングを変更してSave又は終了すると、Save as a new planningのウィンドウが開きます
Planning nameを編集出来ます
必ず元データの名前を上書きしない様に別名で、表記されます

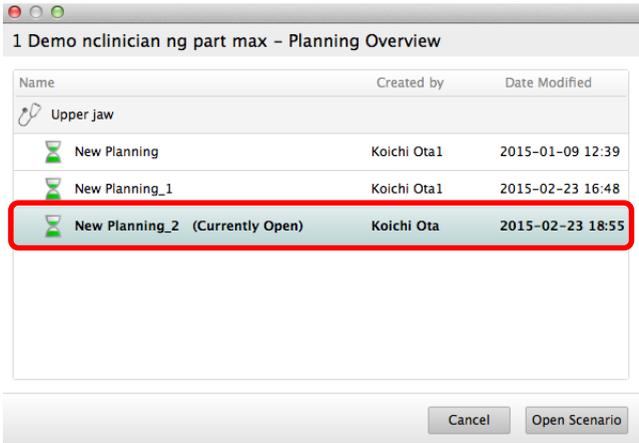
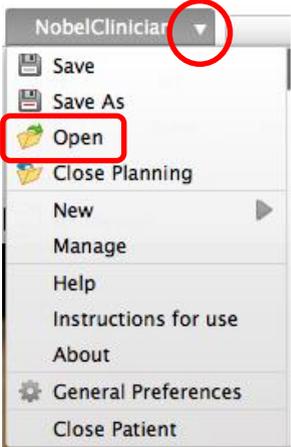
Saveをクリックしてプランニングを終了します



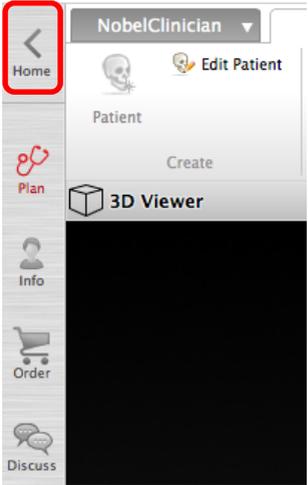
NobelConnect Start

Connectする側、Connect 相手側、共通操作

NobelClinicianをクリックし、Openをクリックしてプランニング内容を確認



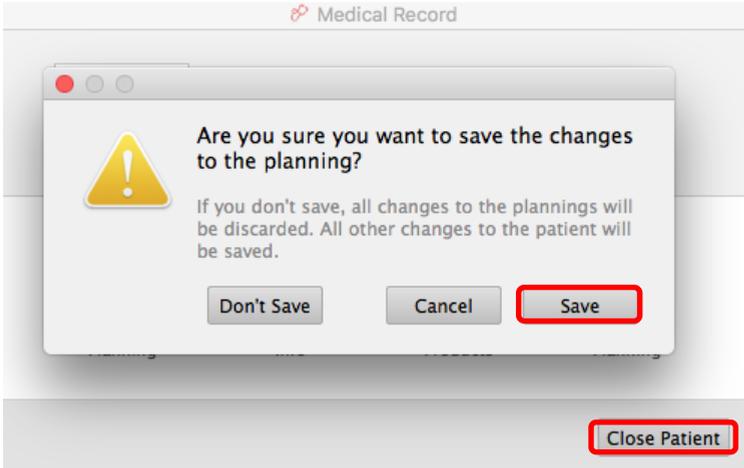
元データのPlanning
変更したデータのPlanning



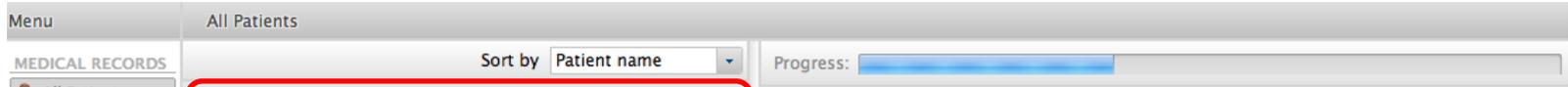
Home
プランニングを閉じる場合にクリックします

NobelConnect Start

Connect 相手側

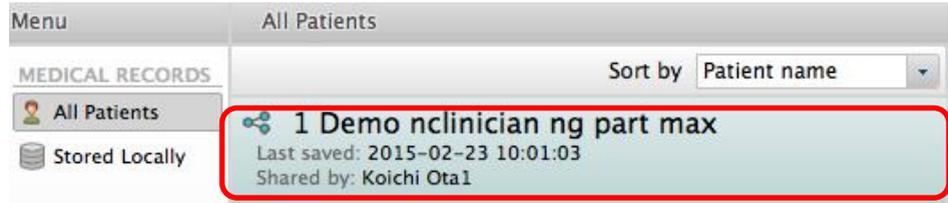


プランニングを閉じますと、Medical Recordが開きます
Close Patientをクリックしますと、左の画像の様なメッセージが出ます
必ずSaveを選択して下さい
これにより、新しく更新されたデータがアップロードされます



1 Demo nclinician ng part max

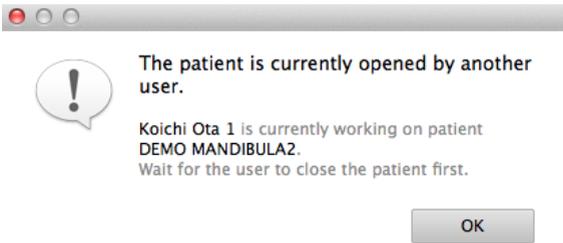
新しく更新されたデータがアップロードされています。患者名は赤字になっています
赤字の時は、ソフトウェア上では、データを開いていると認識しています



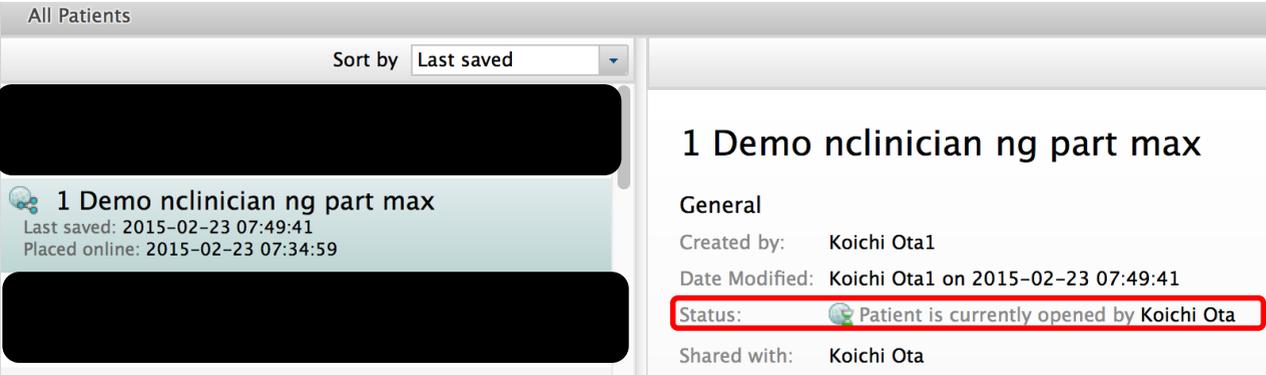
データのアップロードが終了しますと、患者名は黒字になります
黒字になったことで、ソフトウェア上では、データを閉じていると認識しています
黒字になっていないと接続している相手はデータを開くことが出来ない状態です

NobelConnect Start

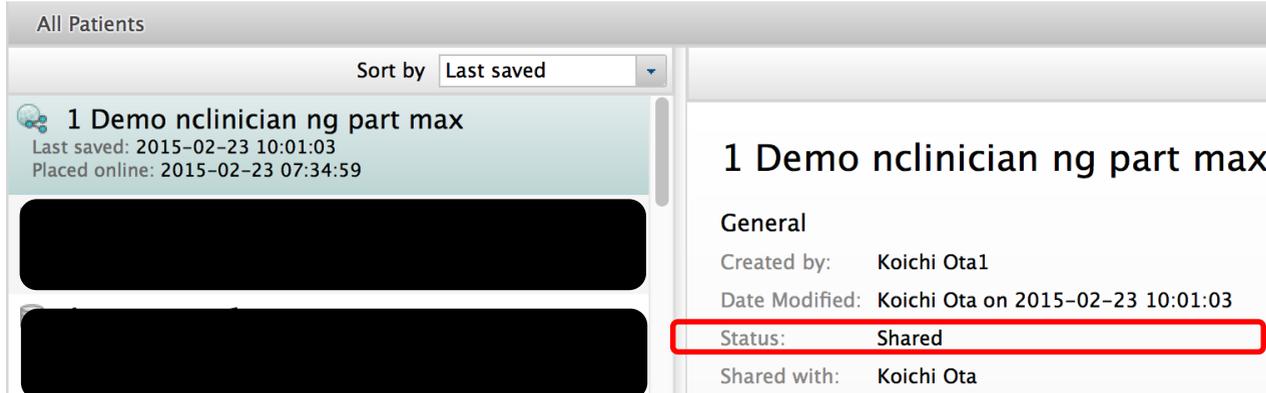
Connectする側、Connect 相手側、共通内容



このメッセージが出た場合は、相手側がデータを開いている状態なのでデータを開けません
Connectをした側では、インターネットを切ってオフラインにすれば、今までのデータは見れますが、最新の更新されたデータは見れません



コネクトしている状態のステイタスが出ています
ここでは、Koichi Otaさんが、データを開いている状態になっています
Koichi Ota1さんは、開くことが出来ません

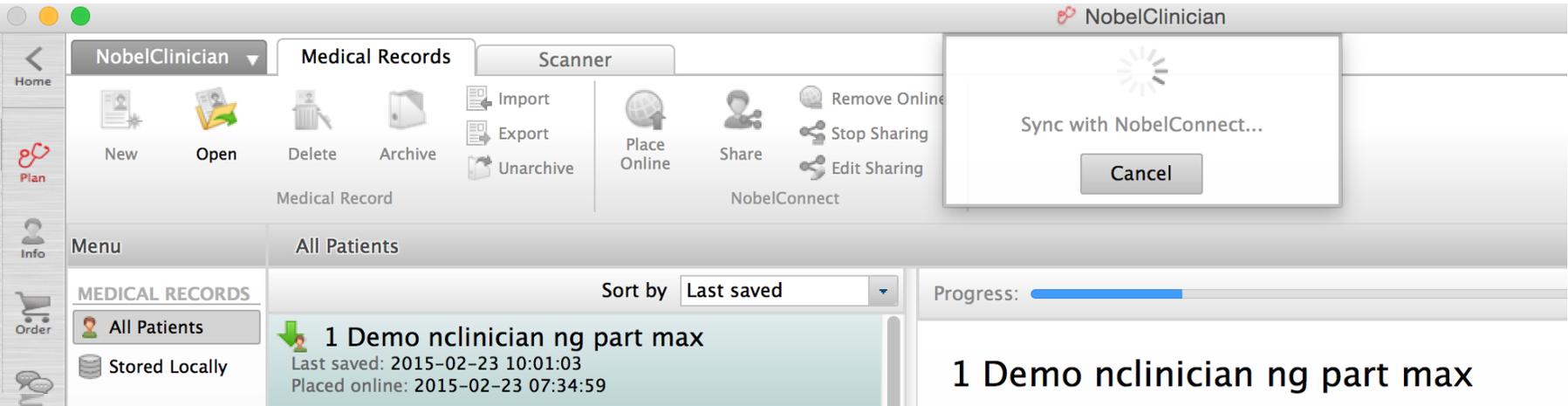


コネクトしている状態のステイタスが出ています
この状態であれば、データを開く事が出来ます

NobelConnect Start

Connectする側

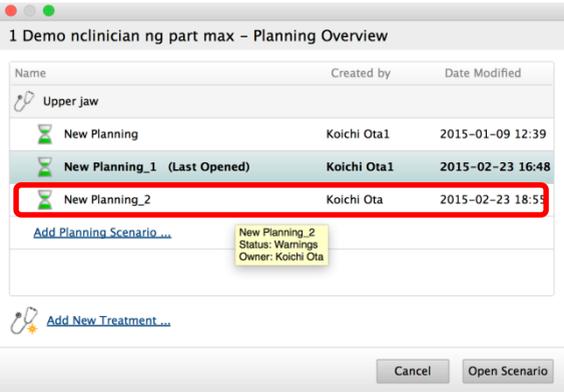
コネクしているデータが更新された場合に、患者データを開くと最新のデータをダウンロードします。



1 Demo nclinician ng part max



ダウンロード後、Medical Recordが開きますので、3D Planningをクリックします

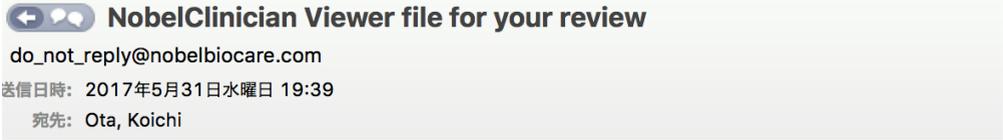


更新された、プランニングデータを確認出来ます

NobelConnectのデータで、サージカルテンプレートのオーダー出来るのは、Connectする側のみです

NobelClinician Viewer 「Communication Center」(送信先)

Viewerを受取る側には、下記の内容のメールが届きます



A NobelClinician™ Viewer file has been sent to you by Ota1 Koichi.

Message from Ota1 Koichi:

To download and open the **NobelClinician™ Viewer file**, please click [here](#).

For more information, contact Nobel Biocare: www.nobelclinician.com/contact

DISCLAIMER:
- Nothing contained in this e-mail or the downloadable file shall be considered as Nobel Biocare’s advise i
downloadable file nor information above marked as "MESSAGE FROM Ota1 Koichi" contain information prc
representatives do not make any representation or warranty with respect to the contents of said file and/i

Viewerファイルのダウンロード

NobelClinician viewer download



A viewer file has been sent to you
You are about to download following viewer file: {1f6960ad-4537-4cf5-b163-e22a7581f872}.ncv | 28.045 MB
If the download doesn't start automatically, click [here](#).
File will expire: 2017-06-14.
Number of downloads left: 2/3

Personal Message from Ota1 Koichi

How to open the downloaded file?

To open the viewer file you need to install the NobelClinician Viewer software, you can download and install the software by clicking <http://www.nobelclinician.com/viewer>.

Nothing contained on this page or the downloadable file shall be considered as Nobel Biocare’s advise in any individual case. Further, neither the downloadable file nor information above marked as "MESSAGE FROM Ota1 Koichi" contain information provided by Nobel Biocare. Nobel Biocare or its representatives do not make any representation or warranty with respect to the contents of said file and/or information.

文章内に、[here](#)があります。ここを左クリックします。上記右図の様なサイトが開きます。同時にViewerファイルのダウンロードが開始されます。再度ダウンロードする場合は、[here](#) をクリックします。最大3回までダウンロードが可能です。

A viewer file has been sent to you

You are about to download following viewer file: {1f6960ad-4537-4cf5-b163-e22a7581f872}.ncv | 28.045 MB
If the download doesn't start automatically, click [here](#).
File will expire: 2017-06-14.
Number of downloads left: 2/3

NobelClinician Viewer 「Communication Center」(送信先)

Viewerソフトのダウンロードサイト

NobelClinician viewer download



A viewer file has been sent to you
You are about to download following viewer file: {e0247880-4814-4ec1-b8ef-d503d7636679}.ncv | 26.093 MB
If the download doesn't start automatically, click [here](#).
File will expire: 2013-05-18.
Number of downloads left: 3/5

Personal Message from Ota 1 Koichi
テストケース

How to open the downloaded file?
To open the viewer file you need to install the NobelClinician Viewer software, you can download and install the software by clicking <http://www.nobelclinician.com/viewer>.

Nothing contained on this page or the downloadable file shall be considered as Nobel Biocare's advice in any individual case. Further, neither the downloadable file nor information above marked as "MESSAGE FROM Ota 1 Koichi" contain information provided by Nobel Biocare. Nobel Biocare or its representatives do not make any representation or warranty with respect to the contents of said file and/or information.

To open the viewer file you need to install it
<http://www.nobelclinician.com/viewer>.

クリックしてダウンロードサイトへ



The screenshot shows the NobelClinician website interface. At the top, there are navigation links: International site, Contact us, Discover, Catalog, Courses, and Search. Below this is a secondary navigation bar with links for Products & solutions, Training & education, Customer programs, Events, and Company. The main heading reads "NobelClinician – the key to successful treatments" followed by the sub-heading "The user-friendly solution for diagnostics, treatment planning and patient communication". On the right side, there is a red "BOOK A COURSE" button and a box titled "Get started with NobelClinician" with a "START LEARNING" button. A central image shows a hand holding a tablet displaying a 3D dental model, with a laptop in the background also showing the same model. Below the image is a list of menu items: "The user-friendly solution for diagnostics", "Why NobelClinician?", "NobelConnect", and "The NobelClinician Viewer" (which is highlighted with a red box). Underneath the highlighted menu item, there is a section titled "The NobelClinician Viewer" with a sub-heading "Be involved in every treatment" and a paragraph: "Review patient treatment plans securely through the online NobelConnect network by downloading the free NobelClinician Viewer for **Mac or Win**".

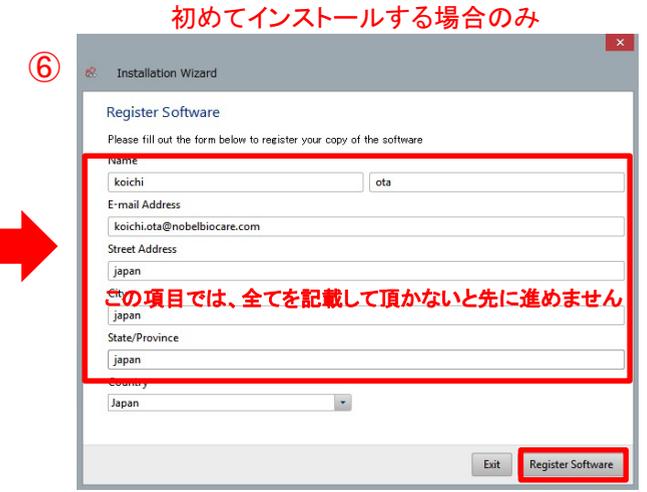
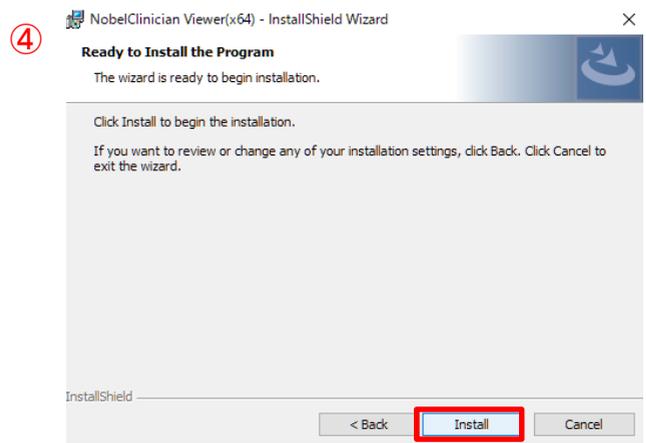
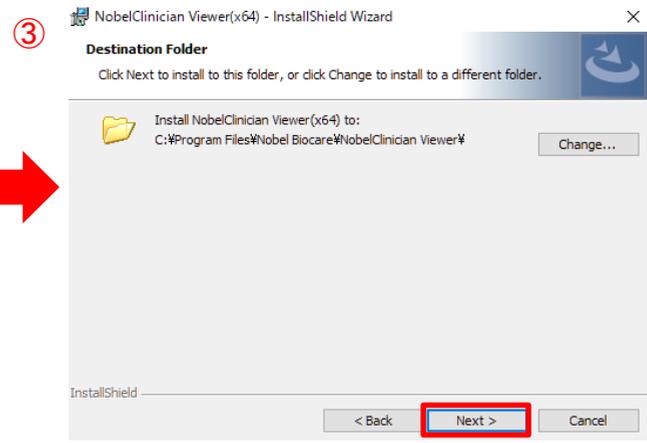
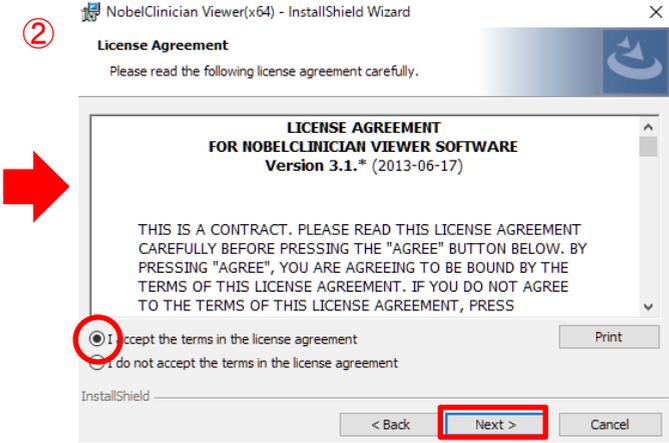
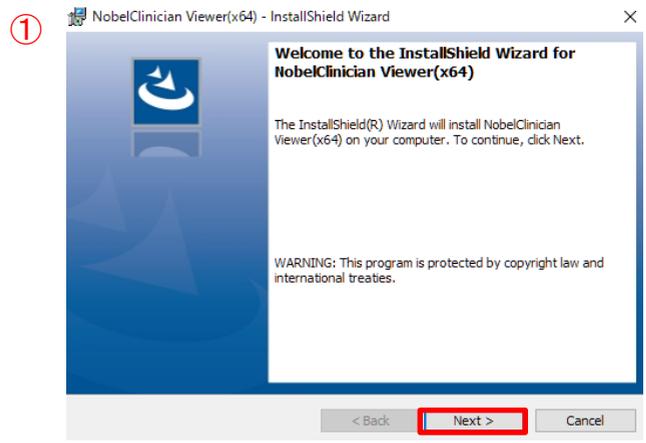
treatment plans securely through the connect network by downloading the free Viewer for **Mac or Win**

赤色で表示されています、Mac, Windows 該当するパソコンのボタンを左クリックし、ダウンロードを開始します
WindowsではWinが64bit用

NobelClinician Viewer Install (Windows) ネット環境下にて

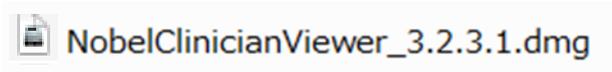
NobelClinicianViewer(x64)_3.2.3.1 64bitt

ダウンロードしたファイルを左ダブルクリックで、ソフトを開きます(必ずネット接続が出来ている状態で行って下さい)
下記の図の様に、それぞれの項目でNextボタンを押して次に進んでいきます

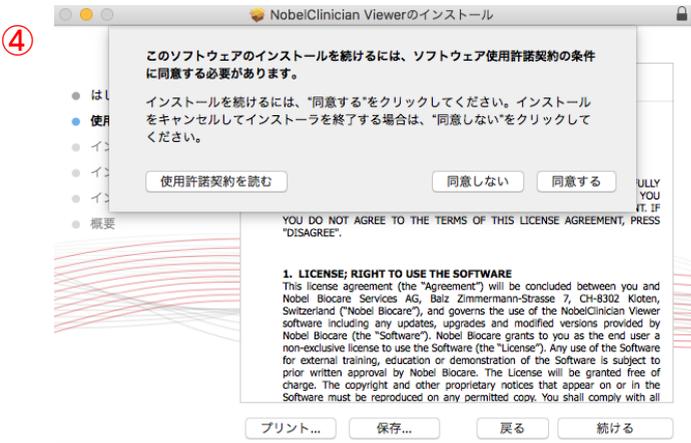
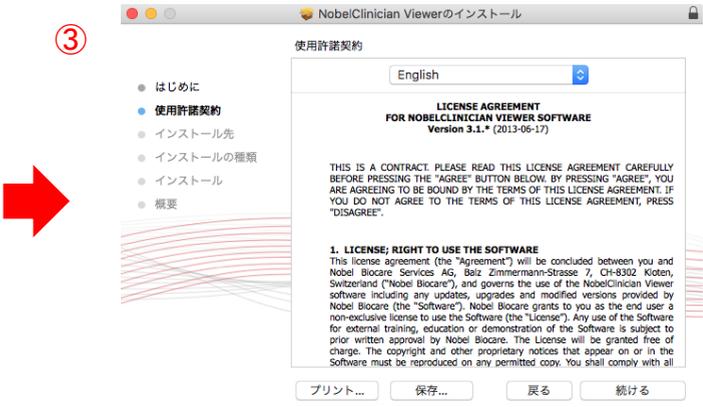


初めてのソフトのインストールが終わりますと、言語設定の画面が開きます。Japaneseを選択して下さい。これは、NobelClinician Viewerの取扱説明書の言語の選択です。全てが終了すると、PDFで取扱説明書が開きその後ソフトが開きます。特に、新しいPCの場合はAdobe Readerのインストールを先にして下さい

NobelClinician Viewer Install (Mac) ネット環境下にて



ダウンロードしたファイルを左ダブルクリックで、ソフトを開きます(必ずネット接続が出来ている状態で行って下さい)
下記の図の様に、それぞれの項目でNextボタンを押して次に進んでいきます



ここでのパスワードは、Macで設定したパスワードを入力します

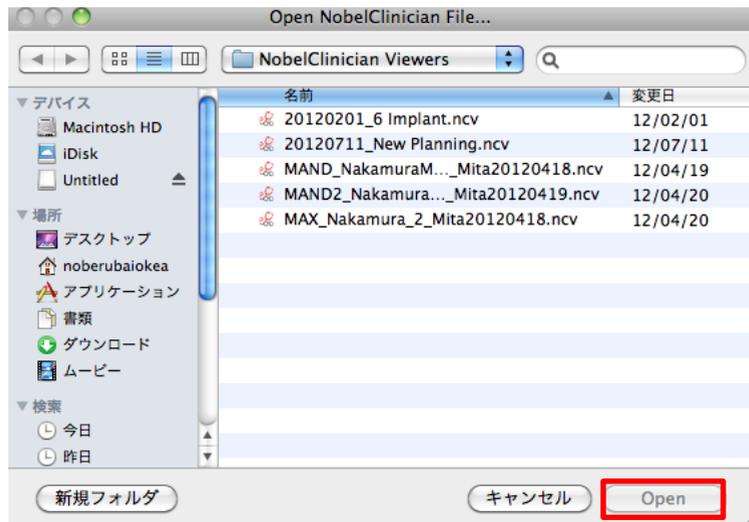
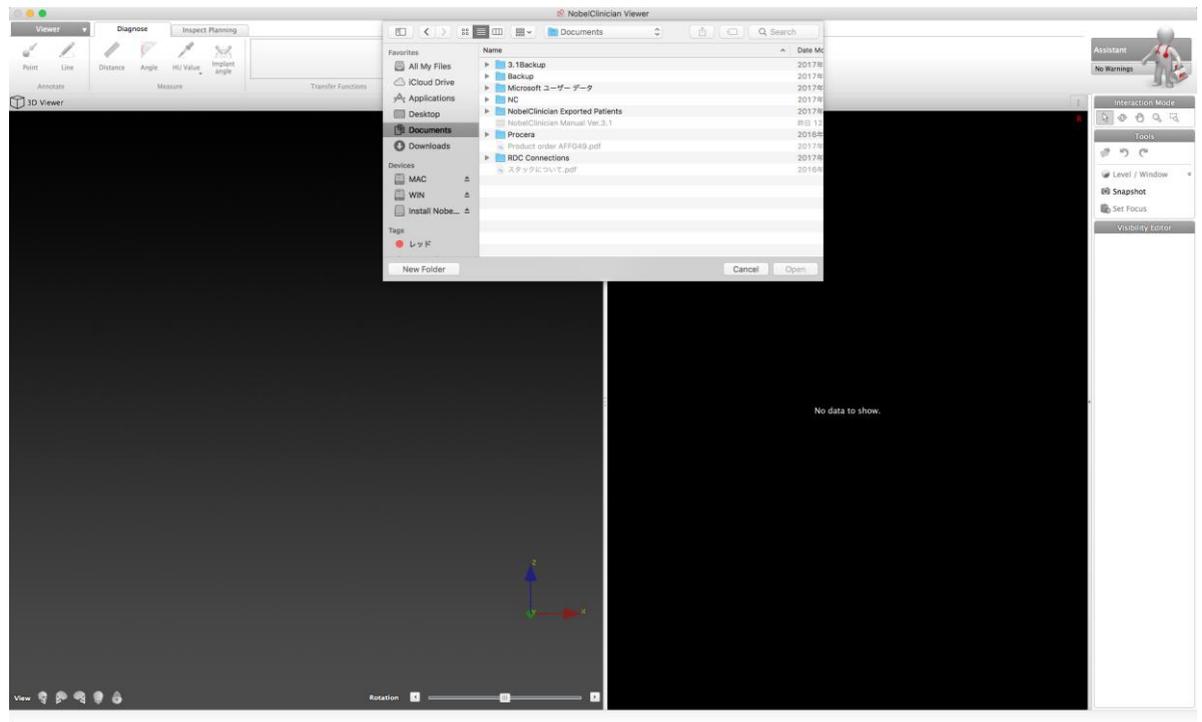
初めてのソフトのインストールが終わりますと、言語設定の画面が開きます。Japaneseを選択して下さい。これは、NobelClinician Viewerの取扱説明書の言語の選択です。全てが終了すると、PDFで取扱説明書が開きその後ソフトが開きます。

NobelClinician Viewer Start!!



デスクトップ上にあるアイコンをダブルクリックして開始します (Macの場合はアプリケーション内から) ソフトがインストールされていれば、Viewerファイルをダブルクリックしてもソフトは開きます

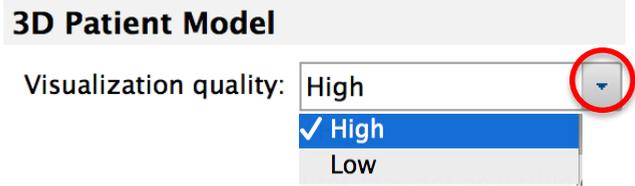
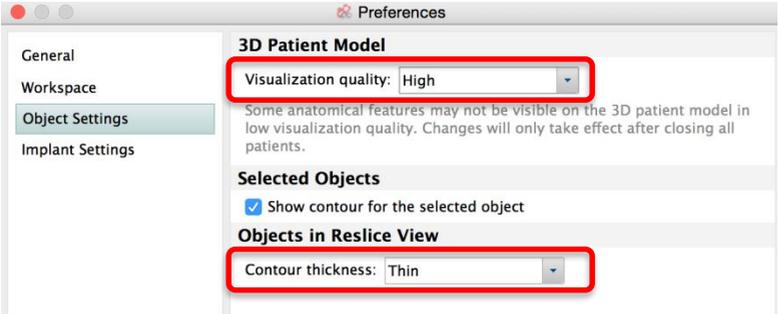
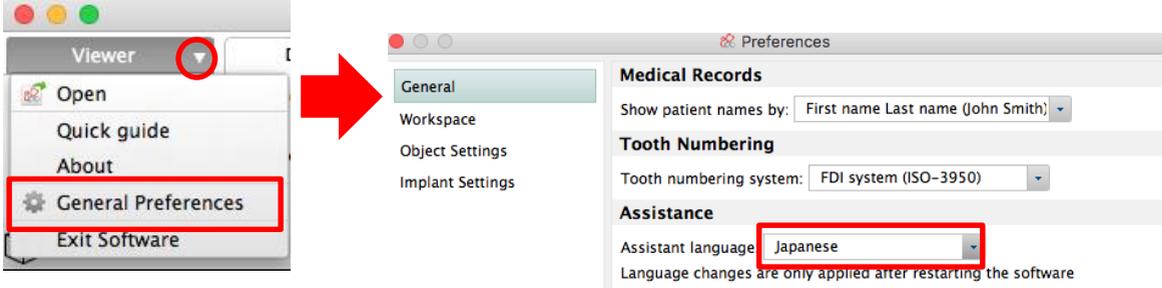
NobelClinician Viewer Opening 画面



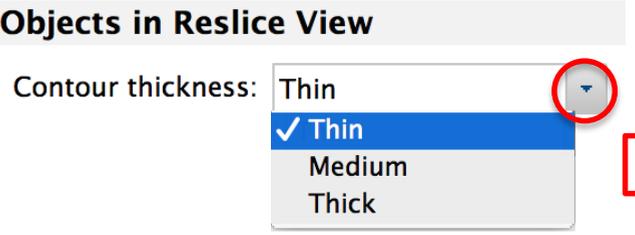
Viewerファイルを選択して開きます
拡張子が .ncv のファイルです

NobelClinician Viewer General Preferences (General & Object Settings)

下矢印を左クリックしてPreferencesを左クリックします。GeneralのDefault languageをJapaneseに変更して下さい



3D画像の画質の変更ができます
パソコンが低スペックの場合はLowに変更して下さい

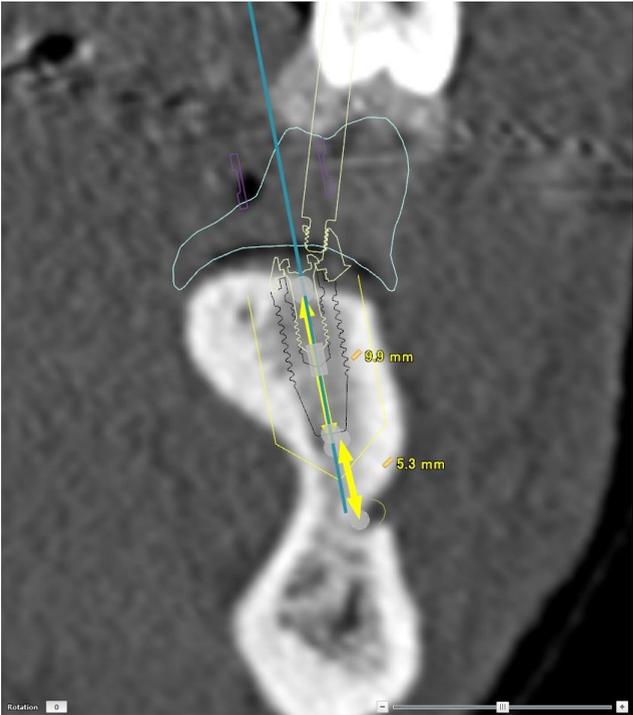


2D画像内の線の太さを変更できます

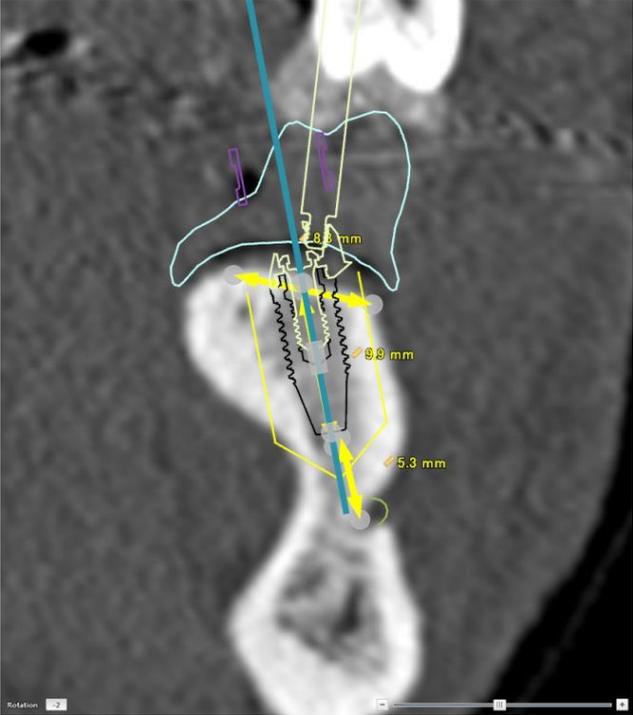
次ページ参照

NobelClinician Viewer General Preferences (General & Object Settings)

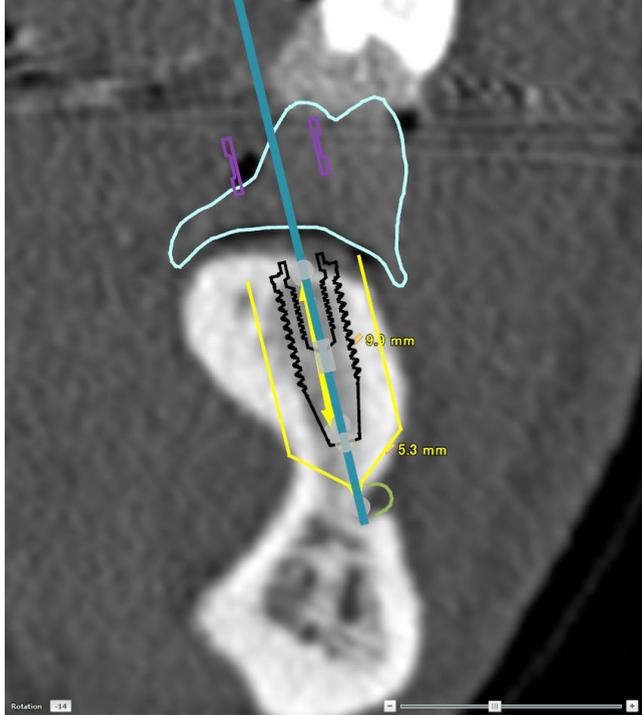
3段階のラインの太さ



Contour thickness:



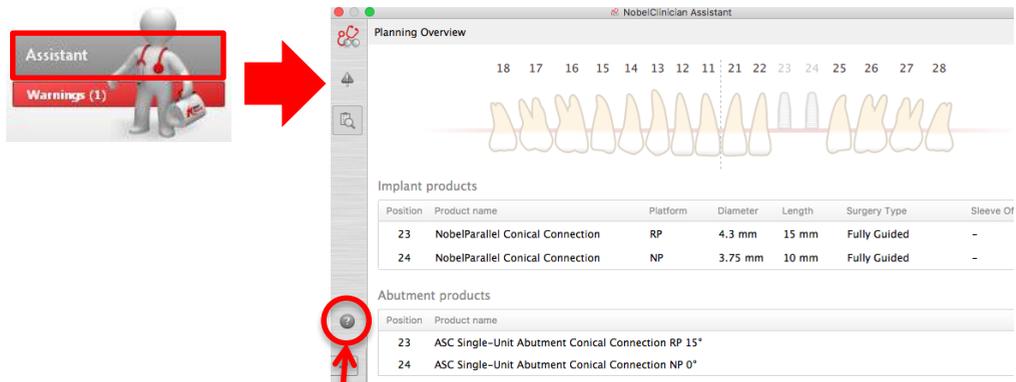
Contour thickness:



Contour thickness:

NobelClinician Viewer General Preferences (General & Object Settings)

右上のAssistantを左クリックまたは、キーボードのF1ボタンを押すとヘルプファイルが表示されます。詳細な機能はこちらを参照して下さい



こちらをクリックします

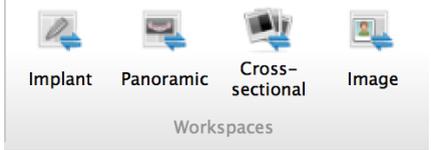
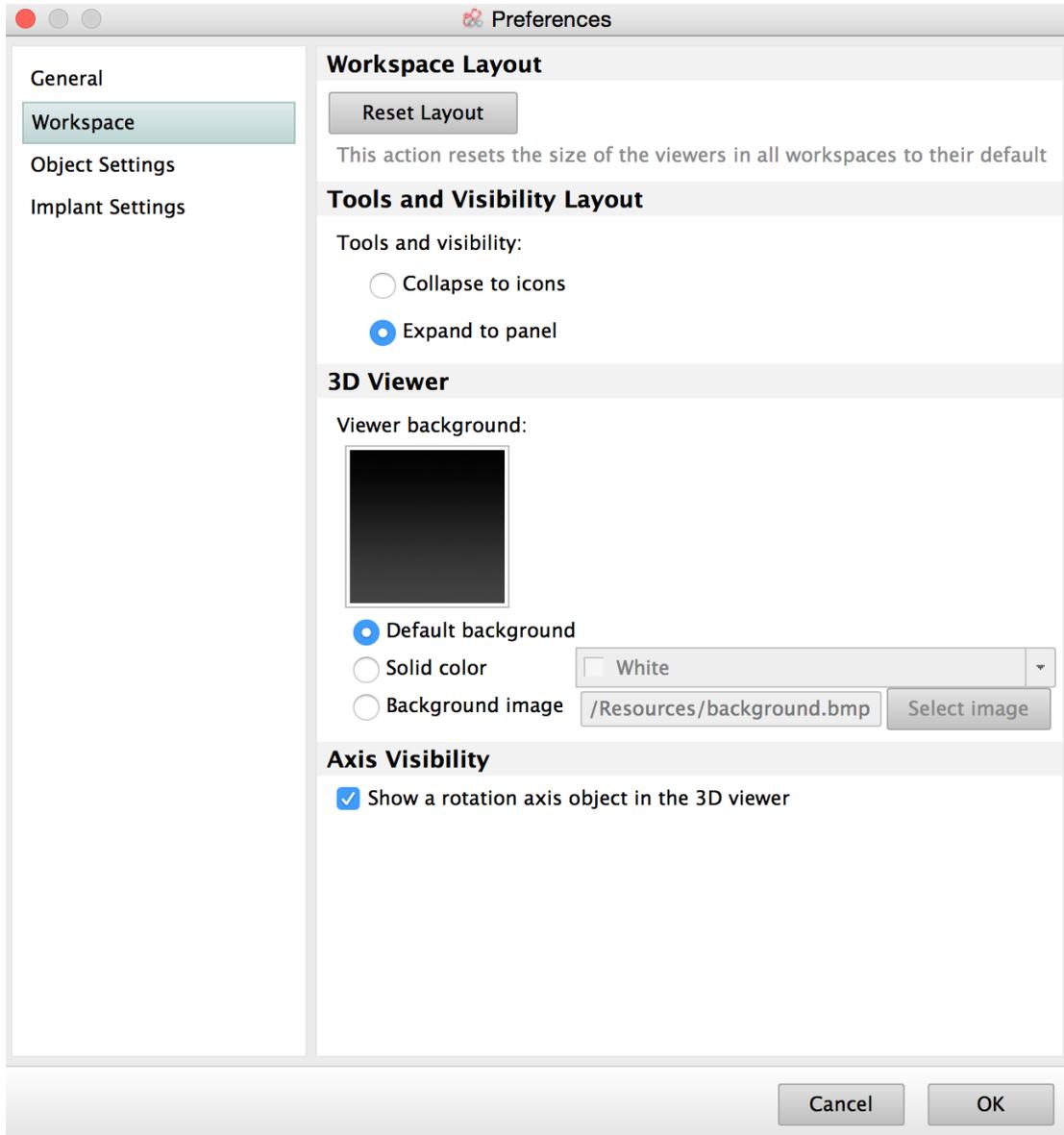


項目、内容をそれぞれクリックしてご覧下さい



ホームボタン プリントアウト 戻る 進む

NobelClinician Viewer General Preferences (Workspace)



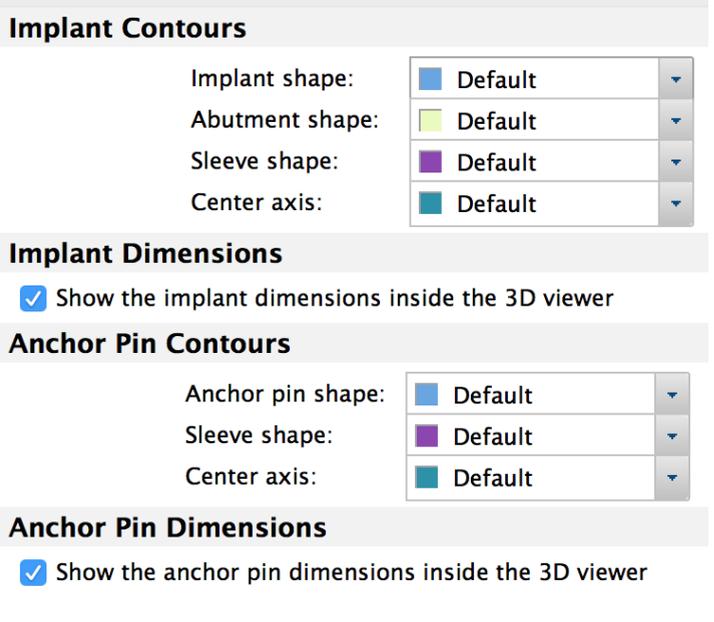
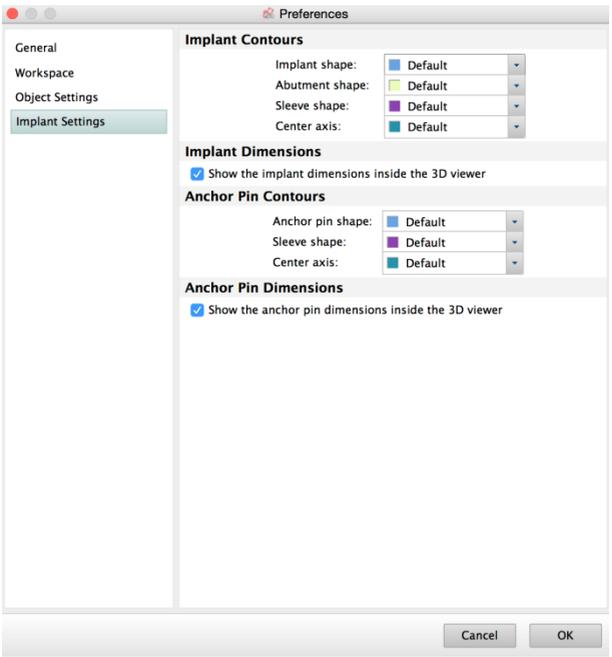
4つのWorkspaceのサイズを変更した場合Defaultのサイズにリセットします

Viewer画面右にあるツールの表示をアイコンのみの表示にする場合は、Collapse to iconsをクリックします

3D画像のバックの色調を変更出来ます
Defaultは黒になっています

3D画像の右下に表示されている回転軸の表示、非表示

NobelClinician Viewer 設定 (Preferences)&アイコン



インプラント体の線の色調
 アバットメントの線の色調
 スリーブの線の色調
 インプラント体のセンター軸の色調

3D画像内の計画されたインプラントのサイズ表示、非表示の選択

アンカーピンの線の色調
 アンカースリーブの線の色調
 アンカーピンのセンター軸の色調

3D画像内の計画されたアンカーピンのサイズ表示、非表示の選択

アイコンの詳細



選択、マウスのドラッグ、右クリックの操作
 (矢印の状態、マウスのスクロールドラッグで🖱️になり、マウスのスクロールドラッグ+左ドラッグで🖱️に変更出来ます)

3D画像の動作、回転を行う際に使用します

マウスを左ドラッグして3D画像の位置を、上下、左右と動かす時に使用します

マウスを左ドラッグして3D,2D画像上で、上下、左右と動かすとズームイン&ズームアウトします

マウスを左ドラッグしてズームアップしたい部分を四角で囲います。戻す場合は🔍を選択して戻します



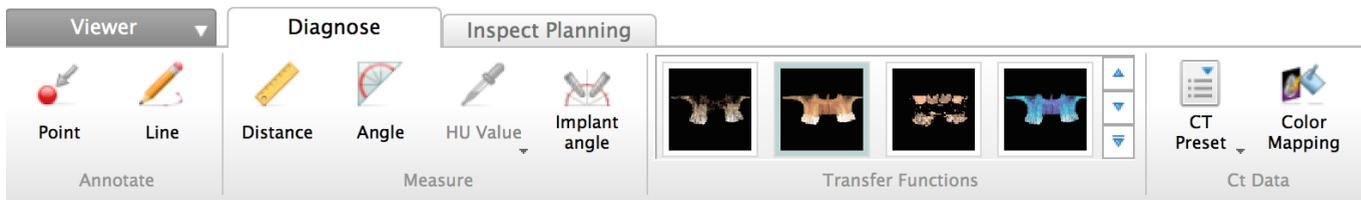
1クリック表示ボタン

前方、左右、真上、真下からのアングルを選び、それぞれの絵図を1クリックすると、その方向に3D画像が向いてくれます

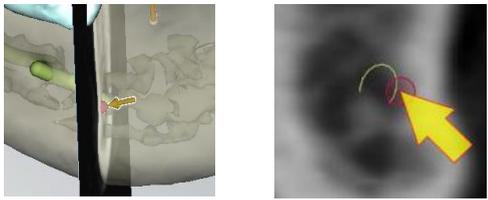


(数字キー 5、1、3、9、7でも切換え可能です。) 239

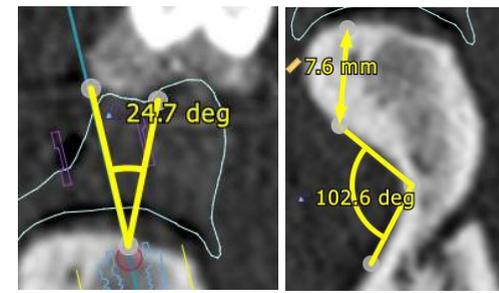
NobelClinician Viewer 診断 (Diagnose)



Point
目印として使用します
(大事な箇所など)



Angle
角度の計測が出来ます
3箇所ポイントをクリックして
設定して行います
ポイントを左ドラッグすれば、
それぞれのポイントを動かせます

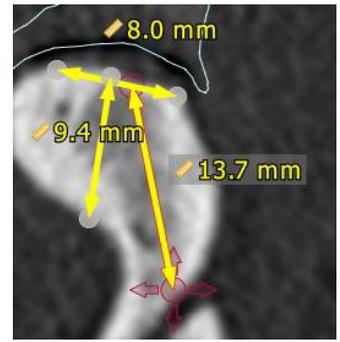


Line
歯根などの明記に使用します
ポイントは左クリックで設定して、
右クリックで終了します



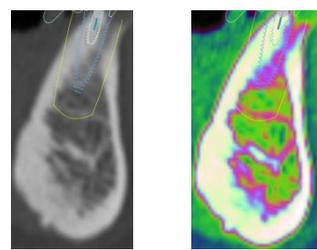
Implant angle
インプラントとインプラントの
角度の計測
インプラントを数本埋入してある
場合に、Diagnoseのタグにします
インプラントを選択しますと、
Implant Angleのアイコンが表
記されるので、アイコンを
クリックして角度を計測したい
他のインプラントに左クリック
します

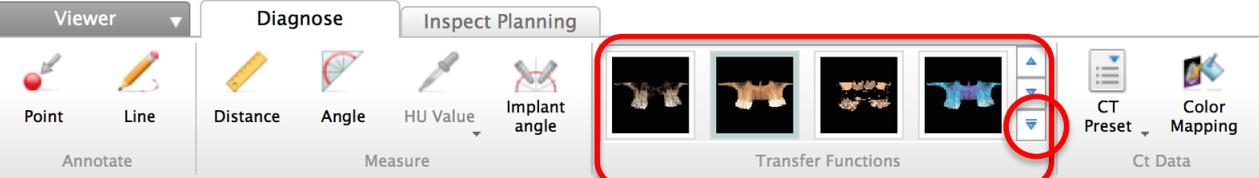
Distance
計測が出来ます
左クリックでポイントを2箇所
設定して計測します
設定したポイントを左ドラッグ
で、好きな方向にポイントを
動かすことが出来ます



CT Preset
CT画像のLevel / Windowの調整
(骨モード、軟組織モード、
歯&歯根モード)

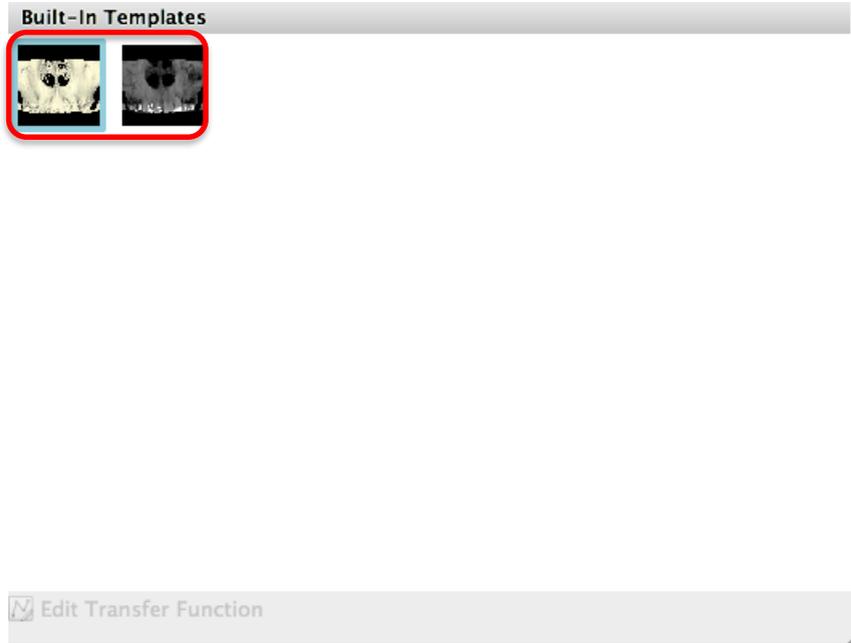
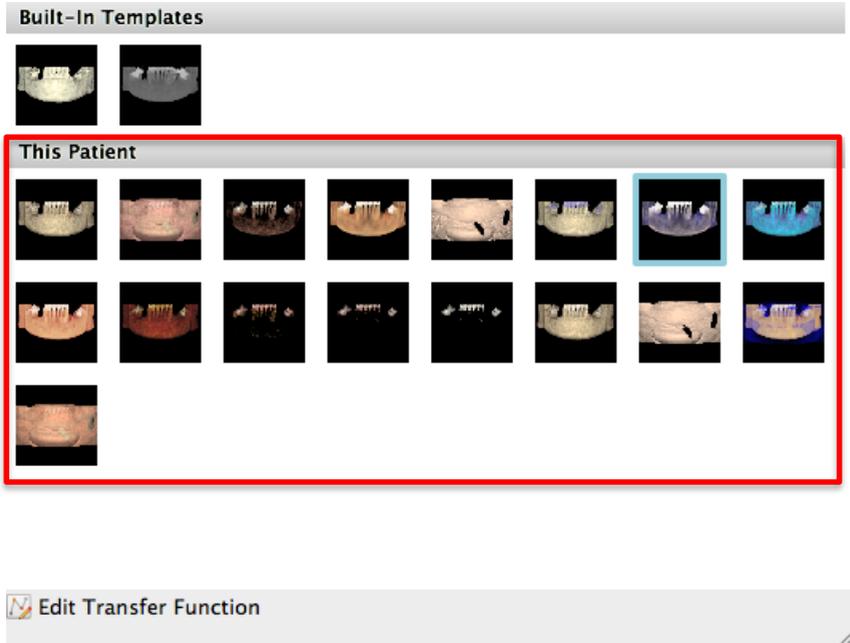
Color Mapping
骨密度を、色調で表示します



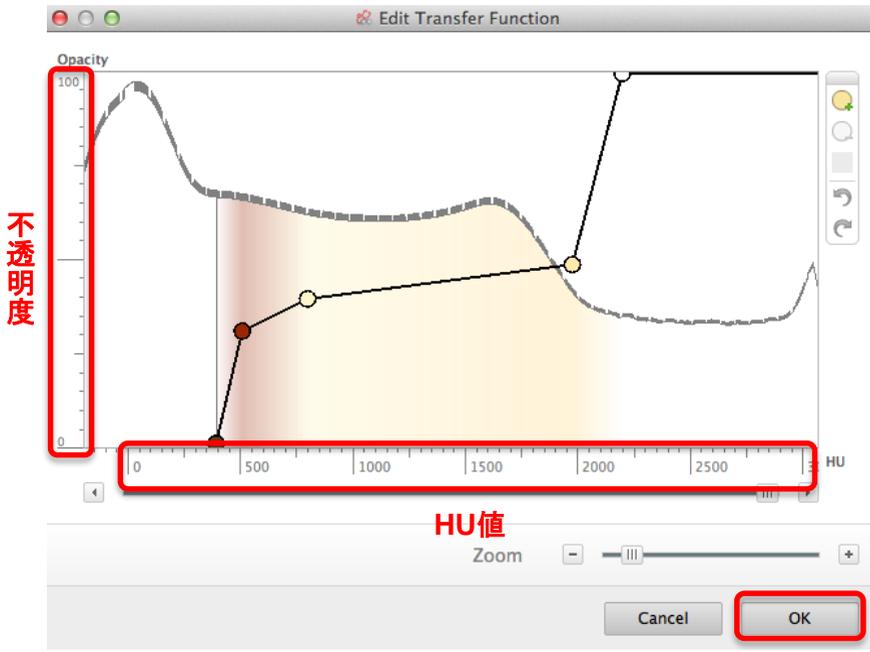


※ この機能は、ソフトウェアのバージョンが2.0以降で作成された Viewerファイルより使用可能で、以前のバージョンで作成されたファイルでは、下記の2種類のモデルのみになります

3Dの骨モデルを、歯牙、軟組織、骨などそれぞれにフォーカスして変換されたモデルを選択する事が出来ます



This Patientはプランニング内での既存モデルと、カスタマイズし保存されたモデルが表示されます

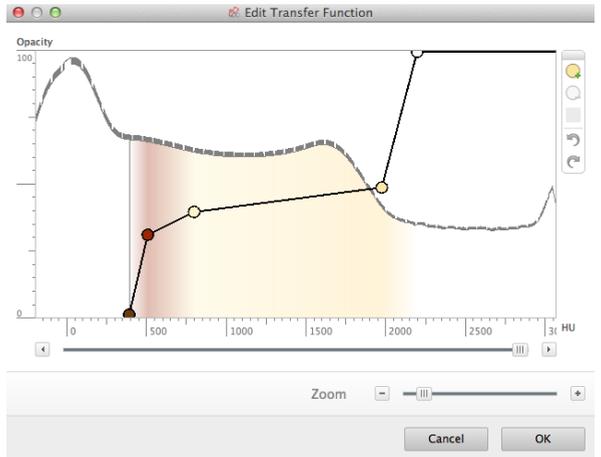


-  ポイントの追加
-  ポイントの削除
-  色調の変更
-  戻る
-  進む

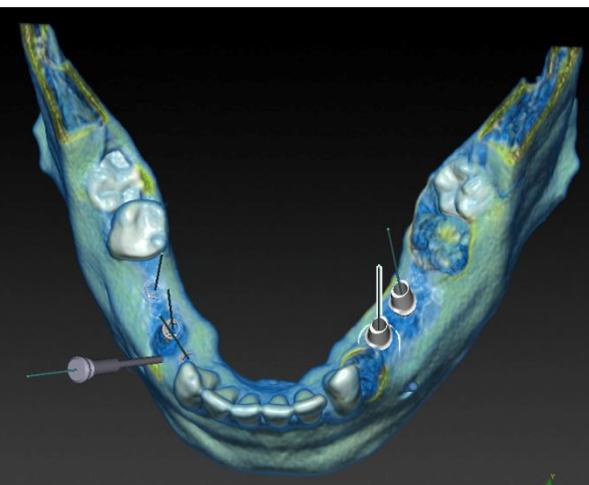
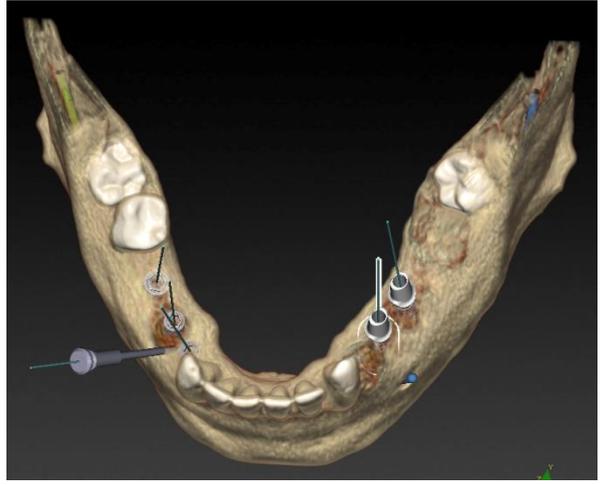
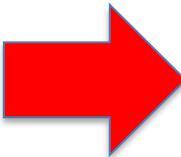
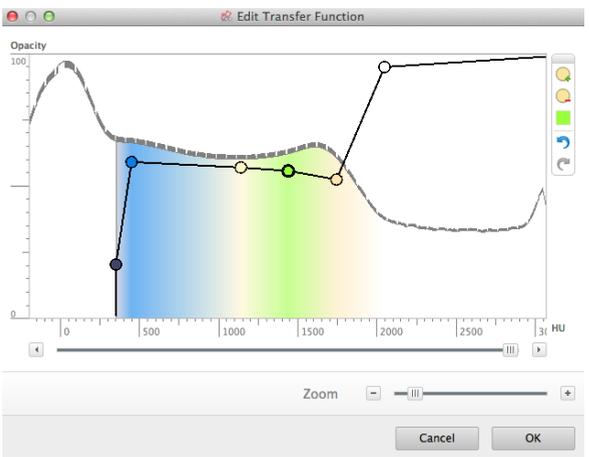
Edit Transfer Functionをクリックして上図にて編集し、終了後OKボタンをクリックして下さい



変更前

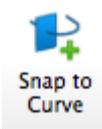
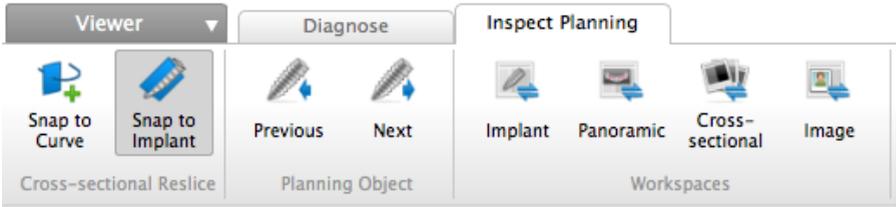


変更後



NobelClinician Viewer 計画の診査、確認 (Inspect Planning)

4種類のViewを使用出来ます。



あらかじめ、プランニングを行った術者がリスライスの走行の設定を行ったライン上で、リスライスが動きます
リスライスの画面上で、マウスのスクロールを回して動かします。
または、リスライスの右下のスライダーで、動かします



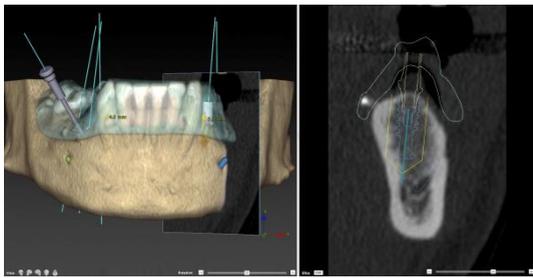
選択されたインプラント、アンカーピンを中心に180° 回転させて、インプラント、アンカーピン周囲の情報を確認します
リスライスの画面上で、マウスのスクロールを回して動かします
または、リスライスの右下のスライダーで、動かします



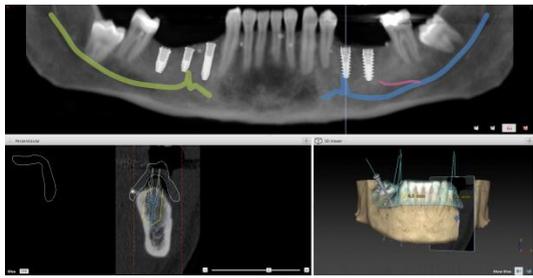
Snap To Implant を使用し、複数のインプラントやアンカーピンが埋入されていますと表示されます。選択した部位から右側のインプラント、またはアンカーピンに移動します



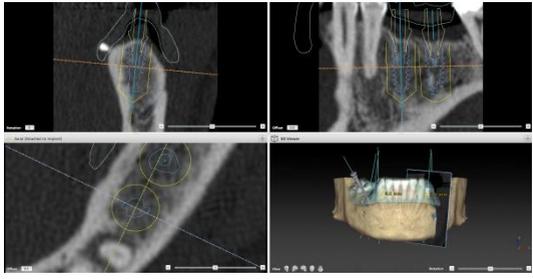
Snap To Implant を使用し、複数のインプラントやアンカーピンが埋入されていますと表示されます。選択した部位から左側のインプラント、またはアンカーピンに移動します



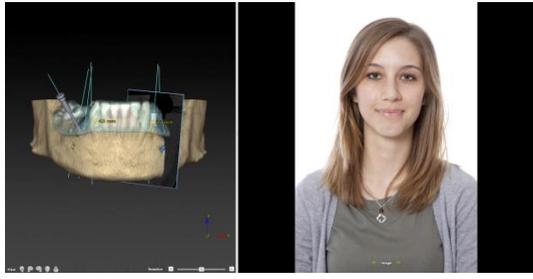
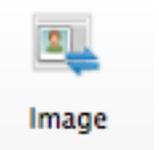
(ショートカットキー F2)



(ショートカットキー F5)



(ショートカットキー F6)

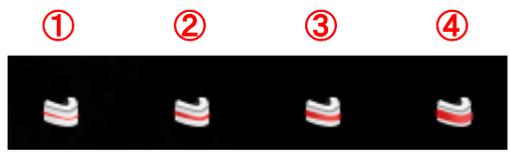


(ショートカットキー F7)

NobelClinician Viewer 計画の診査、確認 (Inspect Planning)

Panoramic

表示されるPanorama画像の厚みの変更

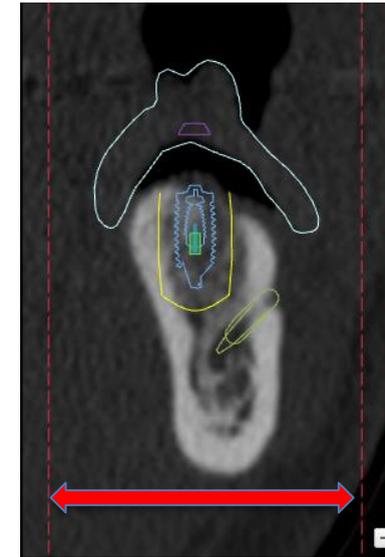
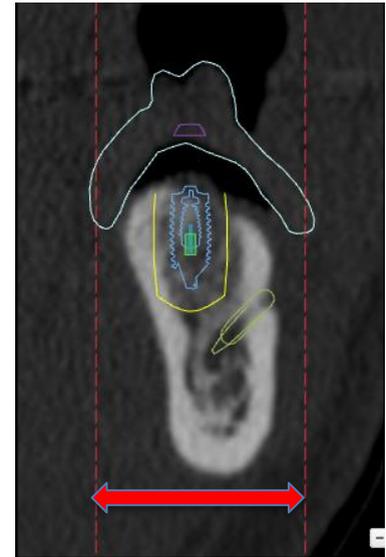
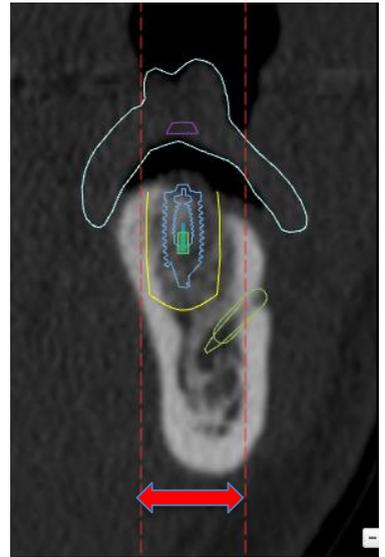
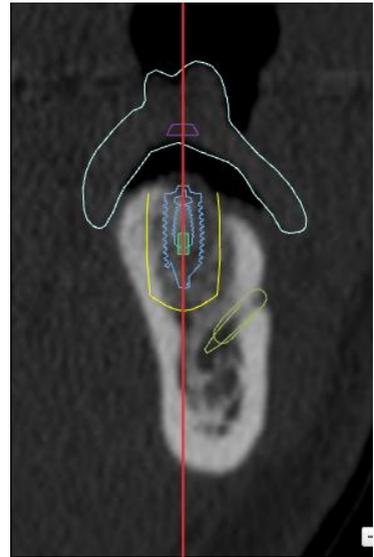
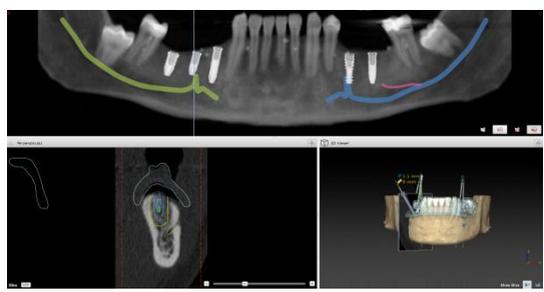
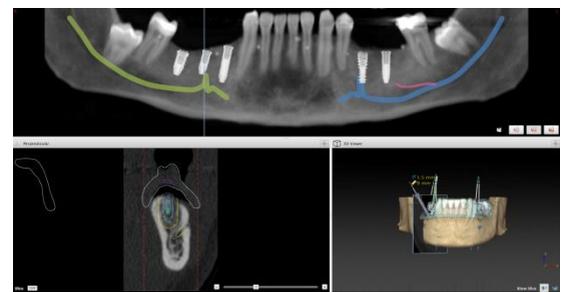
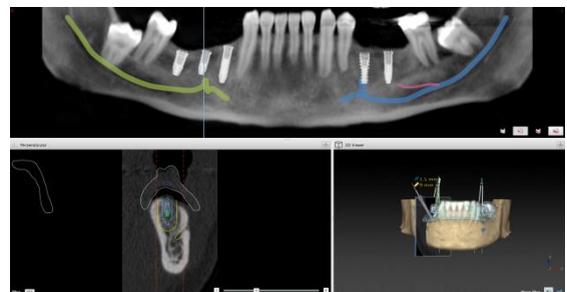
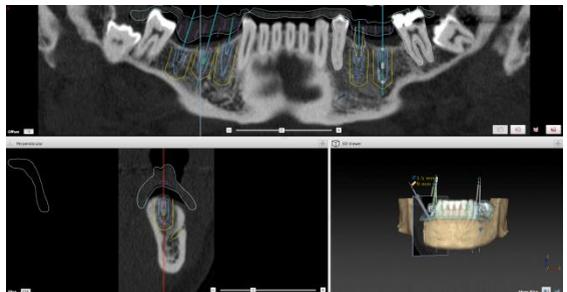


①

②

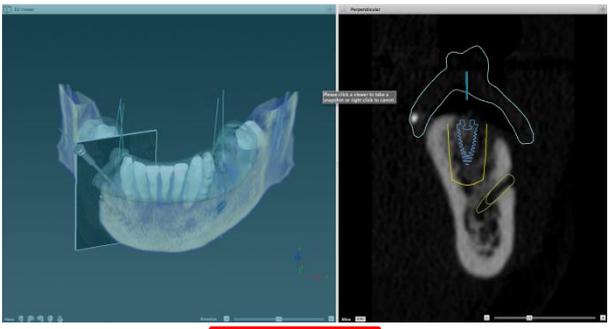
③

④



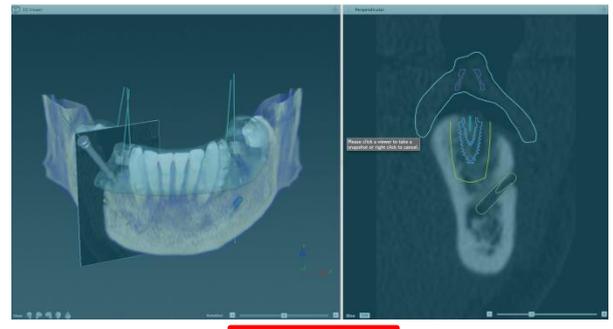
NobelClinician Viewer Tools (Snapshot)

プランニング画像の取込み



1画像選択

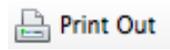
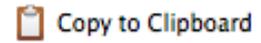
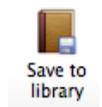
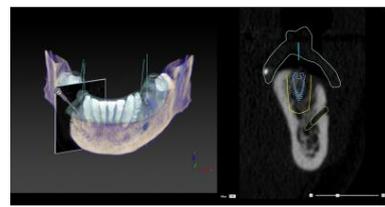
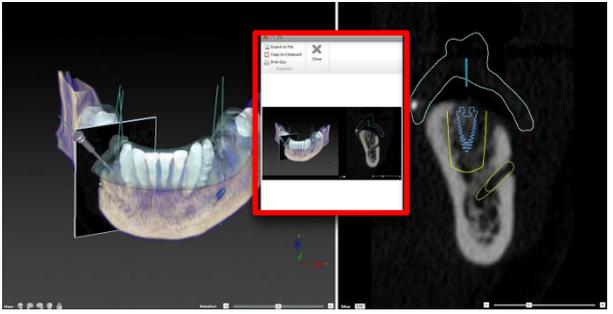
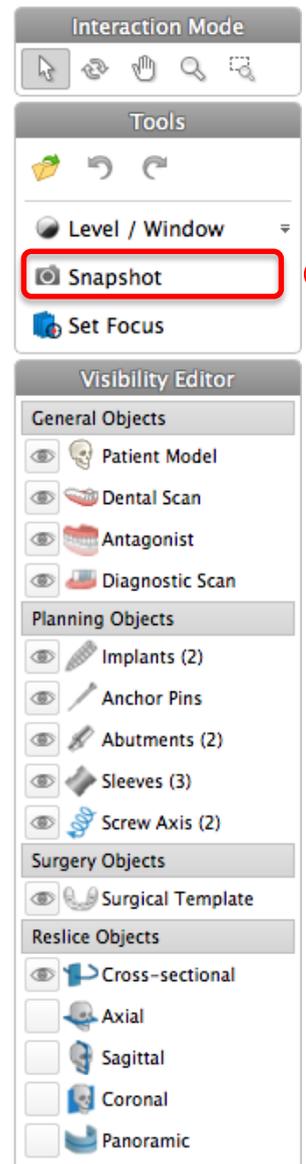
②



2画像選択

手順

- 1) 右端にあるTools内の**Snapshot**をクリックします
- 2) マウスを保存したい画像に移動します(選んだ画像が半透明なブルー色になります)
2つの画像の中心にマウスを移動すれば2画像を選択出来ます
選択後左クリックする
- 3) 選択した画像を保存、プリントなどの選択をします



ソフトウェア内(Patient Information内)に取り込まれます

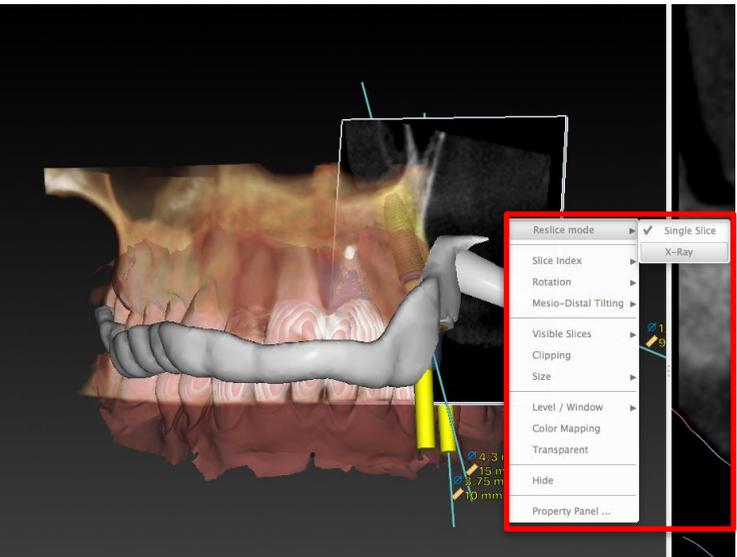
jpgなどのファイルとして任意の場所に保存します

コピーされた状態になりますので、デスクトップやWindowsではペイントなどに貼付けます
プレゼンテーションなどを作成されていれば、直接貼付けて下さい

画像を印刷します(プリンターが接続されている状態に限ります)

NobelClinician Viewer その他の機能

3D画像内でResliceや骨、などを選択し、右クリックをすると様々な機能が出てきます(下記はResliceを選択しています)



Reslice mode	Single Slice X-Ray	シングルスライス X線画像
Slice Index		Resliceの移動
Rotation		Resliceの回転
Mesio-Distal Tilting		Resliceの近遠心での傾斜
Visible Slices		垂直、水平、平行それぞれのResliceの表示非表示
Clipping		垂直Resliceの断面から3D画像をカットします
Size		Resliceのサイズ変更
Level / Window		Resliceの画質の変更
Color Mapping		Resliceの画像の色分け(CT値またはグレー値)
Transparent		Resliceを半透明にします
Hide		Resliceの非表示
Property Panel ...		Resliceの機能の詳細を一覧で確認できます

NobelClinician Viewer その他の機能

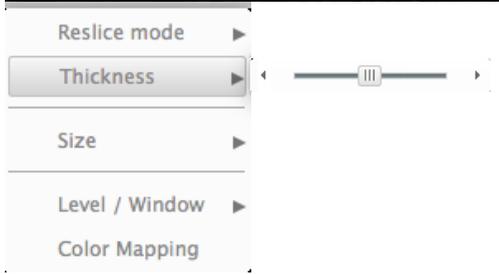
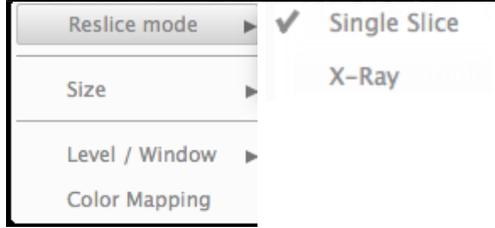
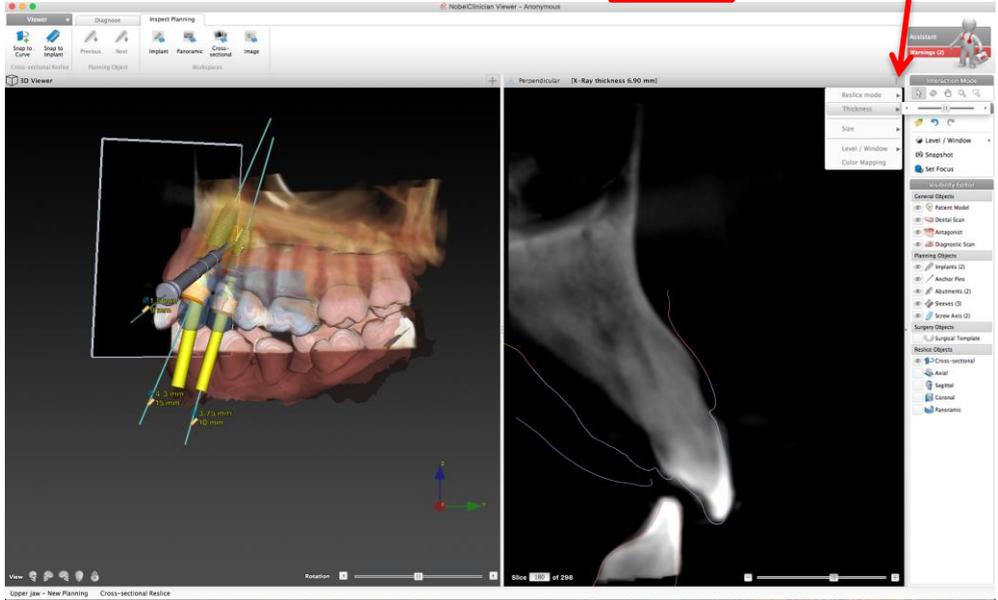
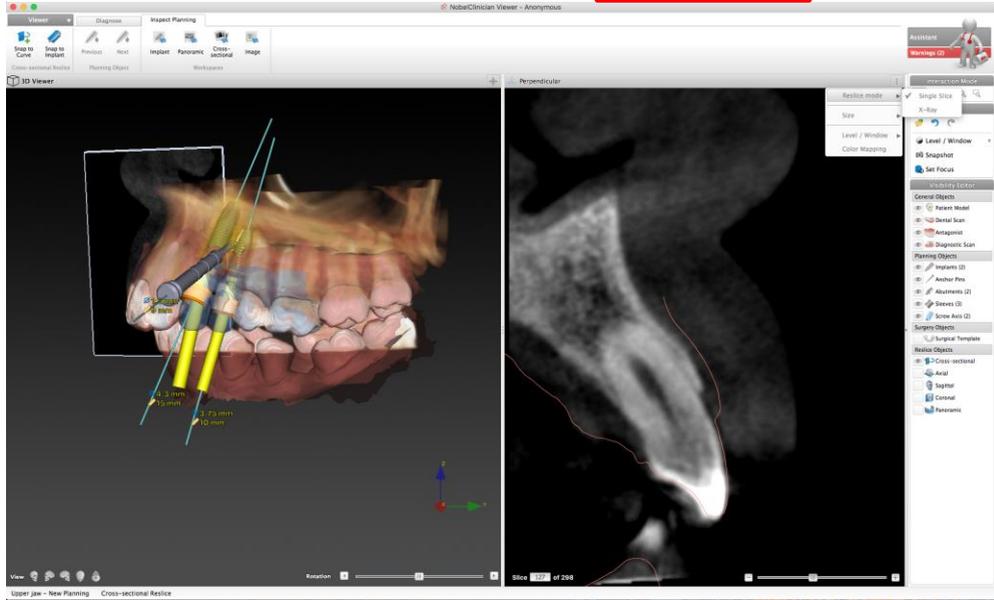
Resliceの画面はDefaultで、Single Sliceになっていますが、X-ray画像に変更が可能です

Single Slice

X-ray



こちらをクリック

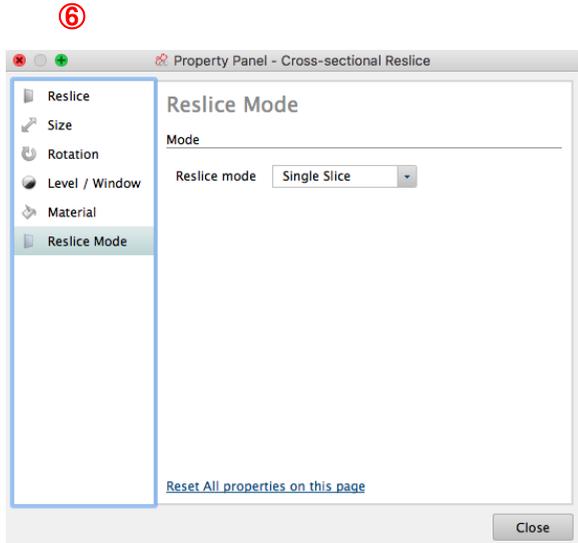
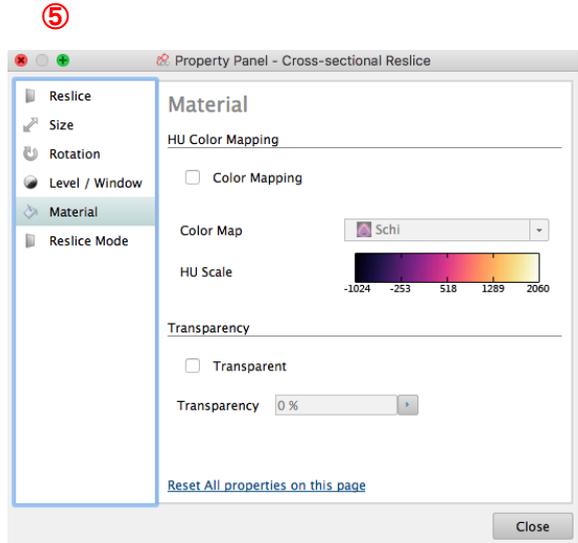
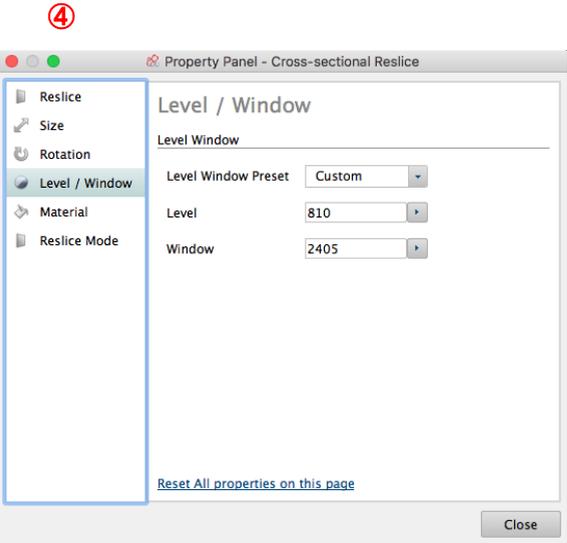
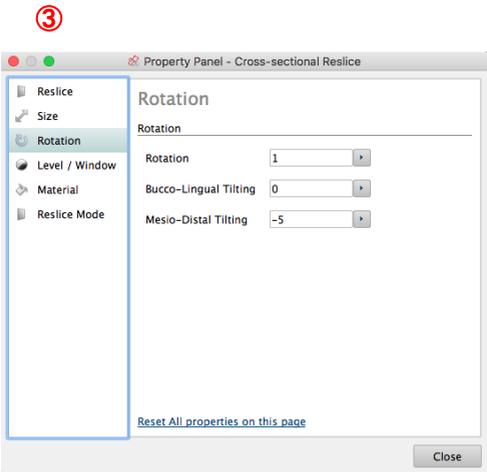
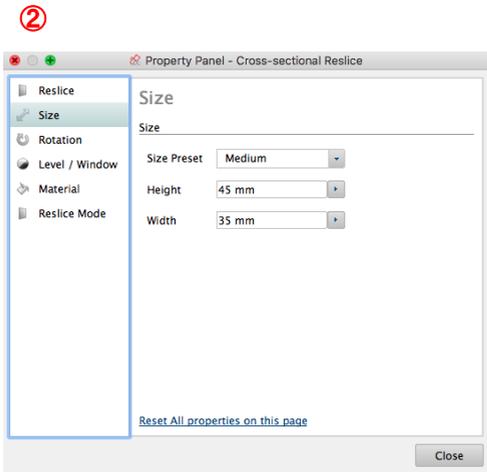
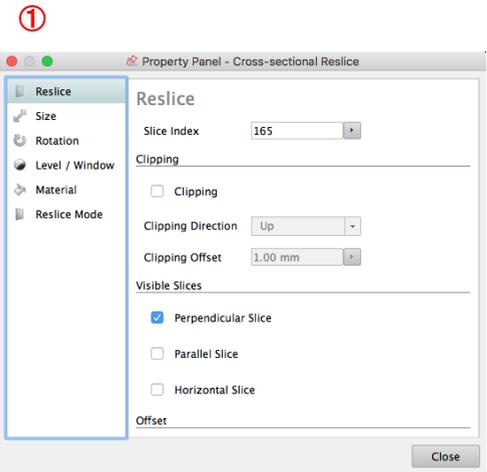


スライダーバーで厚みを変更出来ます (1.0mm~20.0mm)

NobelClinician Viewer Reslice Property Panel

Property Panel内の詳細

- ① リスライスの動作、クリッピング機能、水平、平行、垂直リスライス表示と非表示など
- ② リスライスのサイズ変更
- ③ リスライスの回転、近遠心、頬舌、それぞれの方向への傾斜
- ④ リスライス内の画質の変更
- ⑤ 骨密度を色別で表示、また色調の変更、透明度の調整など
- ⑥ スライス画面の変更(シングルスライス、X-ray)



NobelClinician Viewer 便利なショートカットキー集

オブジェクトを選択して行うショートカット。
(3D画像上にて 骨、ラジオグラフィックガイド、リスライスなど)

アクション	キーボードのキー
オブジェクトの非表示	H
透明度の切り替え	T (再度押すと、元に戻ります。)
オブジェクトのプロパティ(詳細設定)	Ctrl+P (選択したオブジェクトのプロパティ・パネル)

リスライスの移動

アクション	キーボードのキー
リスライスを1コマずつ移動	↑
リスライスを1コマずつ移動	↓
リスライスを10コマずつ移動	Page Up
リスライスを10コマずつ移動	Page Down
リスライスの最初の位置に移動(右側最遠心部)	Home
リスライスの最後の位置に移動(左側最遠心部)	End

インプラントのアクション (インプラントを選択してから行います)

アクション	キーボードのキー
インプラントの非表示	H
インプラントの (プロパティ・パネル)の表示	Ctrl + P

インプラントが埋入されている部位、検査を行いたい部位への即アクセス

Set Focusのショートカットで、Fを押すとマウスが+になるのでアクセス箇所をクリックします。これは、3D画像、パノラマ画像などでご使用出来ます。	F
---	---

ヘルプ、Viewモードのショートカット

アクション	キーボードのキー
ヘルプページ(詳細)	F1
Implant View	F2
Panoramic View	F5
Cross-Sectional View	F6

3D画像表示(向き、角度)

アクション	キーボードのキー
左側を表示	1
下に向かって縦回転	2
右側を表示	3
右に向かって横回転	4
正面を表示	5
左に向かって横回転	6
真下を表示	7
上に向かって縦回転	8
真上を表示	9

iPad NobelClinician Communicator

NobelClinician Communicator はAppleの承認を得ているアプリケーションソフトです

NobelClinician Communicatorを始める

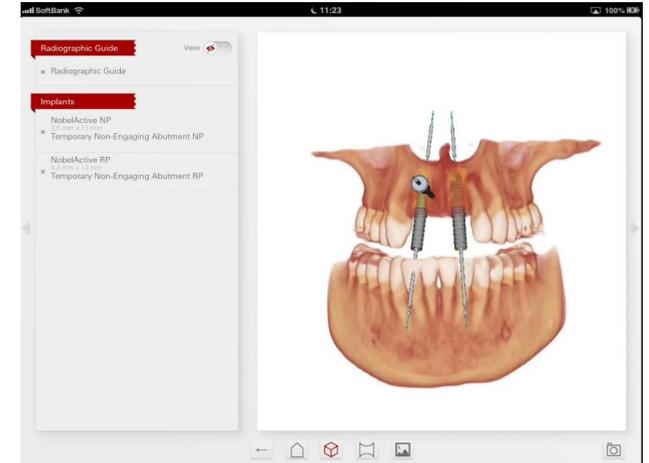
- iPadが必要です(ネットに接続されている)
- Apple IDが必要です
- PCまたは、Mac内にiTunesがインストールされている
- iPadとPCまたはMacとの接続が出来る

NobelClinician Communicatorをダウンロードしてインストールする

1. iPad内にあるApp Storeを開いてダウンロードしてインストールします
2. iPadをPCまたは、Macと接続してPC、またはMac内のiTunesのAppからダウンロードして、インストールする

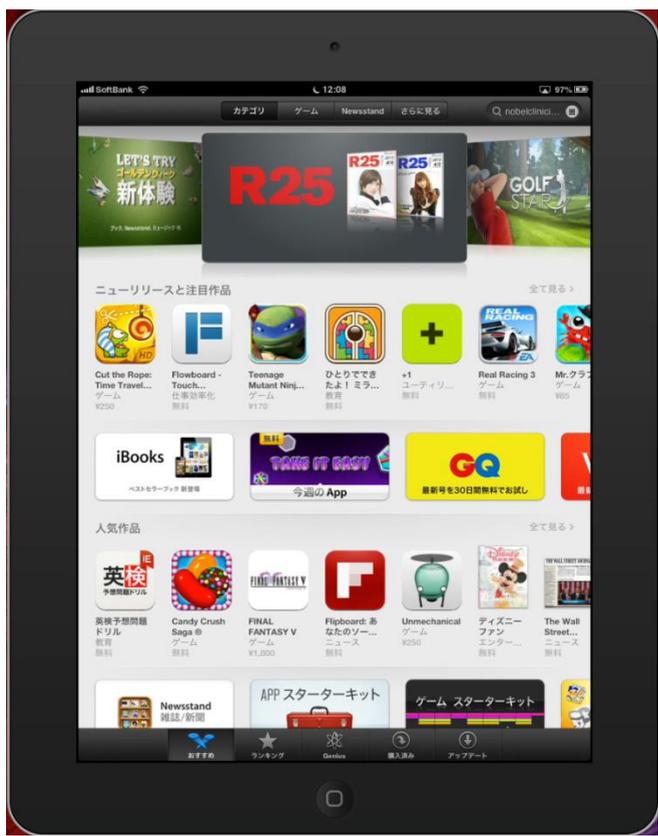
2通りのやり方がありますが、それぞれApple IDでログインする必要があります
1のやり方が簡単でお奨めです

ダウンロード、インストールは次ページをご覧ください



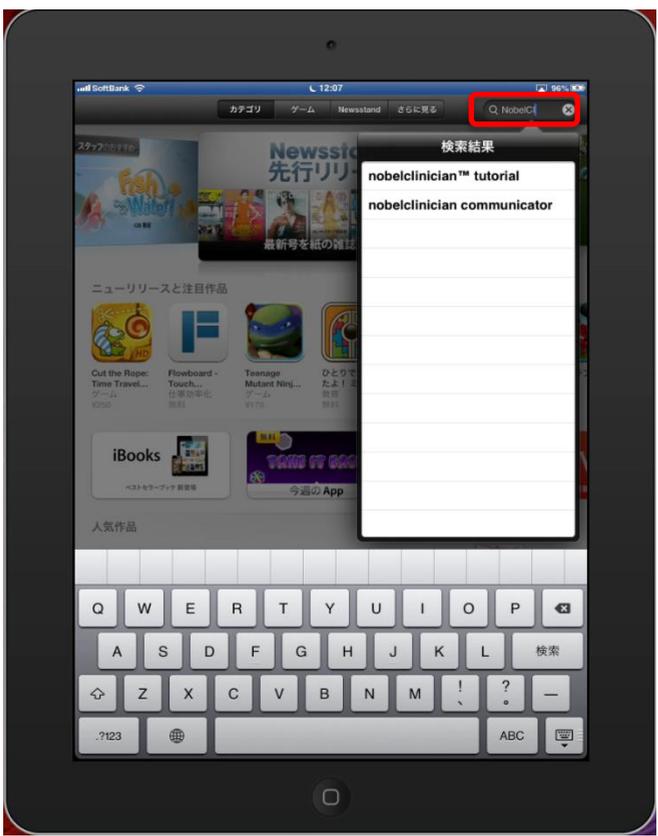
iPad NobelClinician Communicator ダウンロード&インストール 1

①



App Storeを開きます

②



アプリケーションの検索

③



iPad NobelClinician Communicator ダウンロード&インストール 1

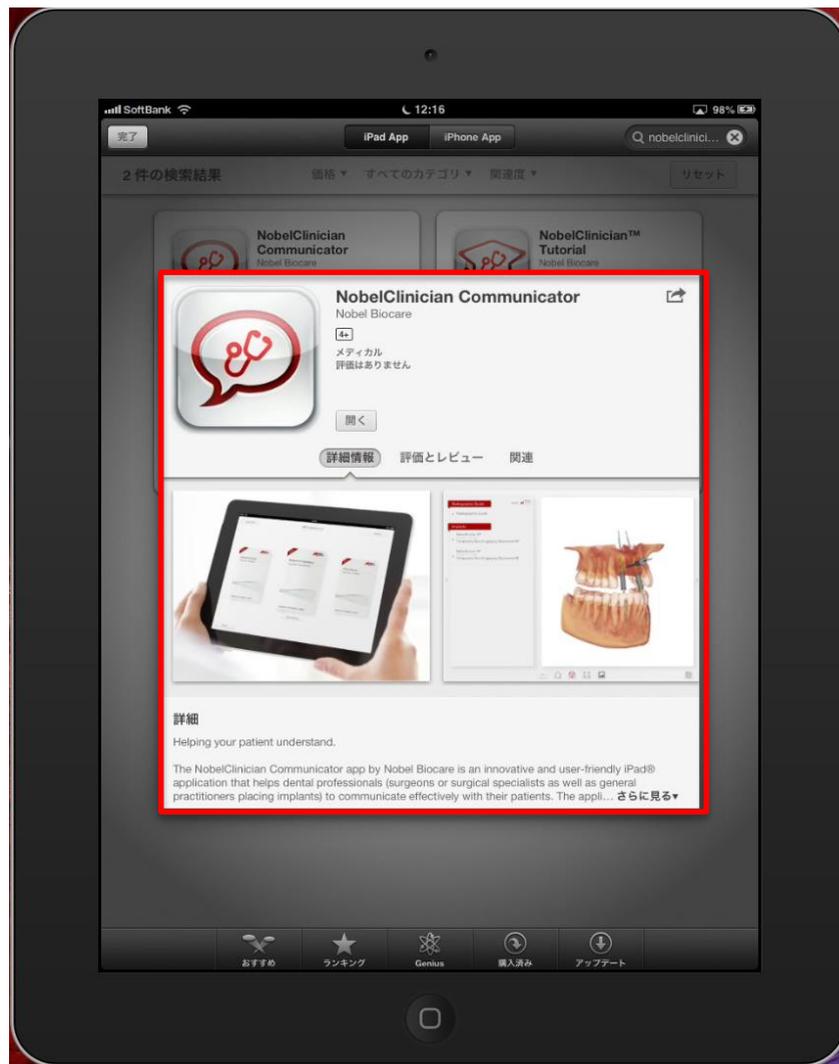
④



インストールボタンをタップします

iPad NobelClinician Communicator ダウンロード&インストール 1

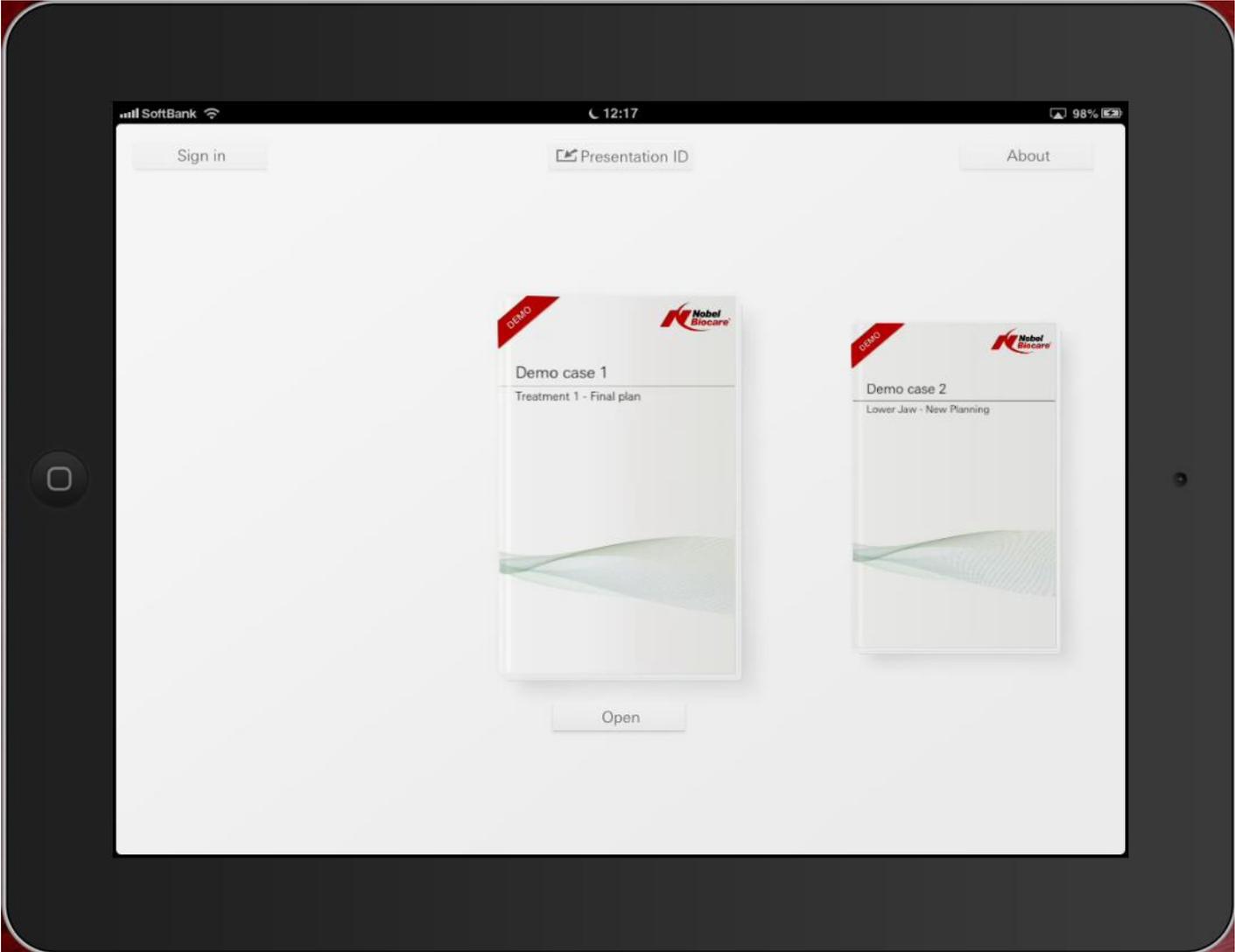
⑤



インストール完了後、開くをタップしてアプリケーションを開きます

iPad NobelClinician Communicator ダウンロード&インストール 1

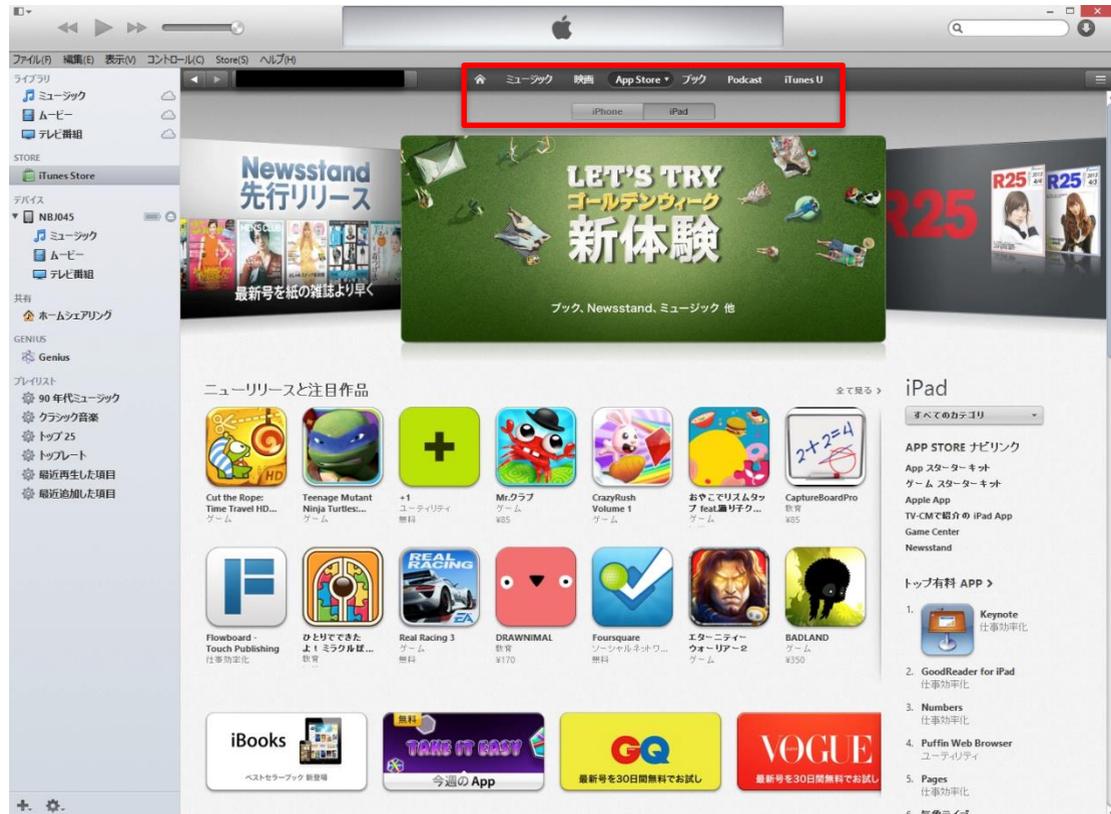
⑤



NobelClinician Communicatorが開きました
インストール完了です

iPad NobelClinician Communicator ダウンロード&インストール 2

①



iTunes を開きます



項目をApp Storeにし、iPadを選択して下さい

お持ちのiPadをPC、またはMacに接続して下さい

iPad NobelClinician Communicator ダウンロード&インストール 2

②

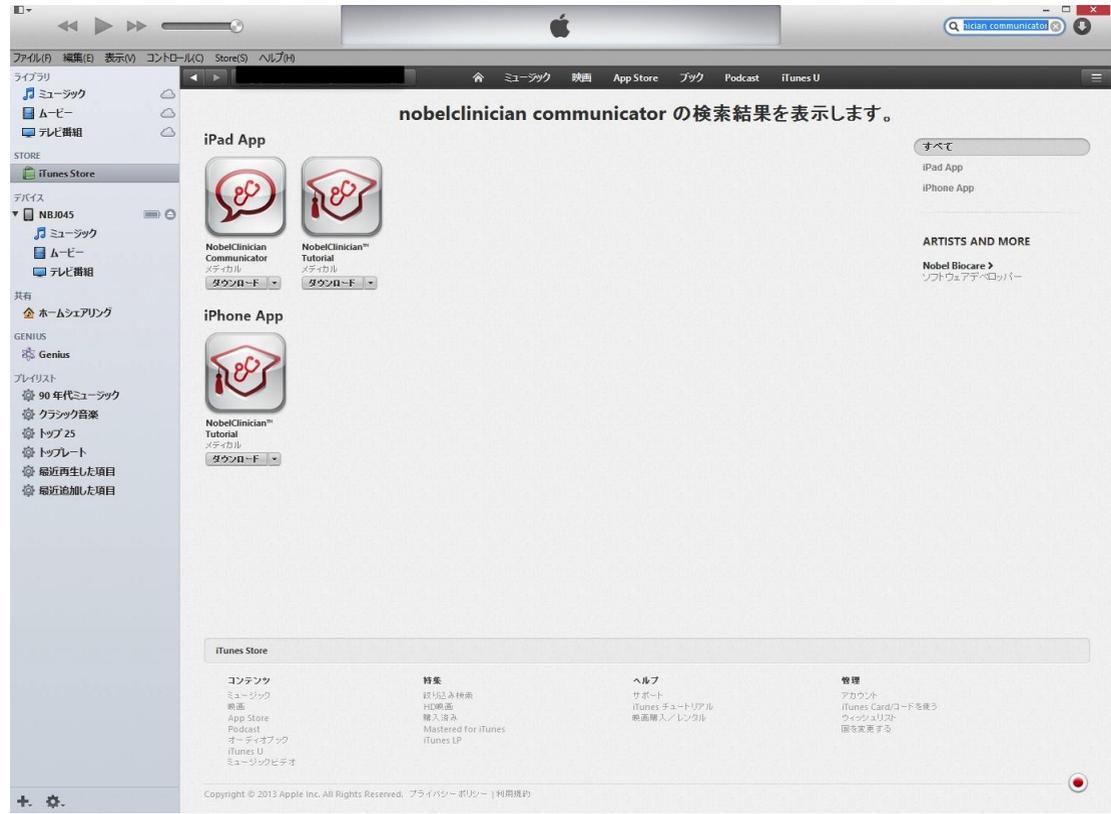


右上の検索でNobelClinicianと入力すると
上記図の様にNobelClinician Communicator
と出てきます
Nobelclinician communicatorをクリックします

アプリケーションの検索

iPad NobelClinician Communicator ダウンロード&インストール 2

③



Apple IDのサインインを求められる場合もありますので、お持ちのApple IDとパスワードを入力して下さい

NobelClinician Communicator のダウンロードをクリックします

iPad NobelClinician Communicator ダウンロード&インストール 2

④



iPadが正常に接続されている場合は、左図の様にデバイスを認識しています



インストールをクリックします
更に右下の同期をクリックして、iPadへ同期します

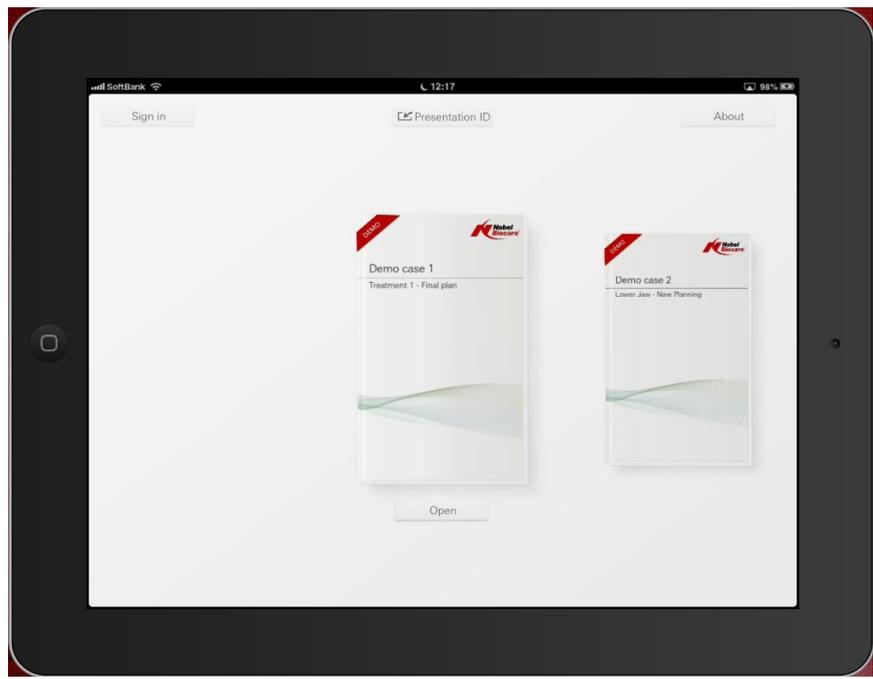
同期

iPad NobelClinician Communicator ダウンロード&インストール 2

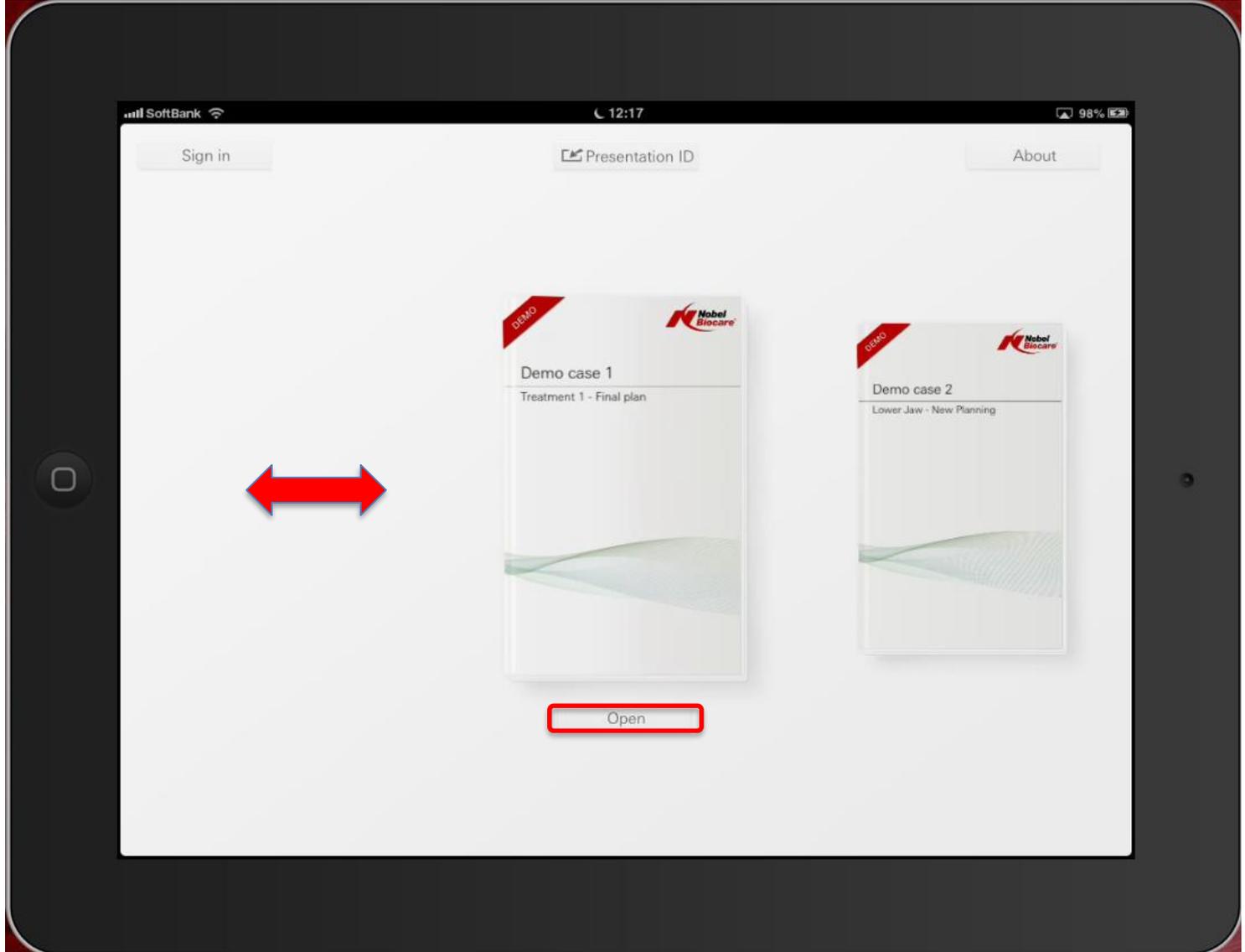
⑤



同期が終了後、iPadにNobelClinician Communicatorのアイコンが表示されます
タップしてアプリケーションを開きましょう



iPad NobelClinician Communicator Start



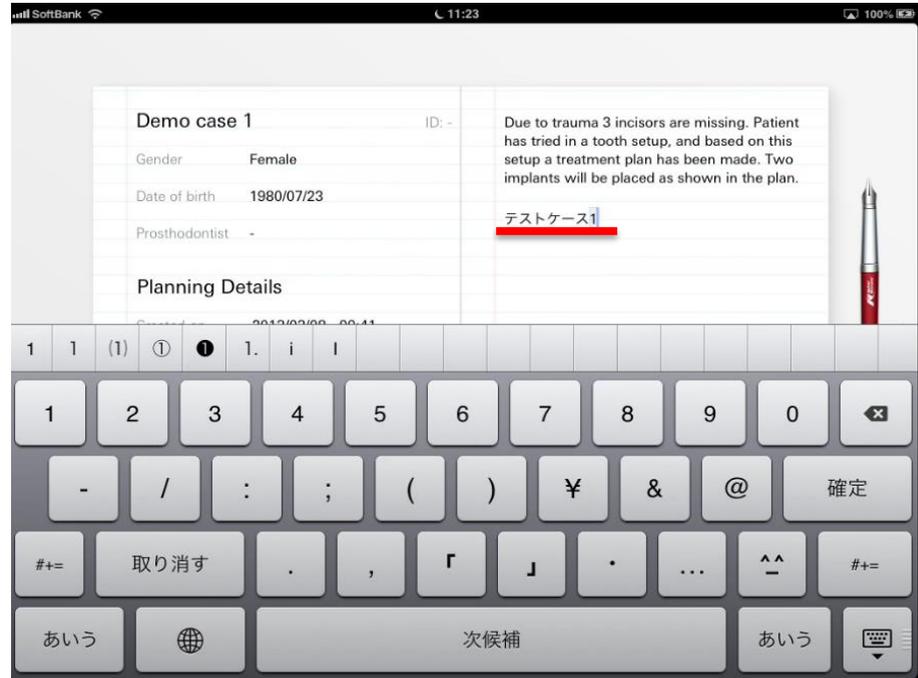
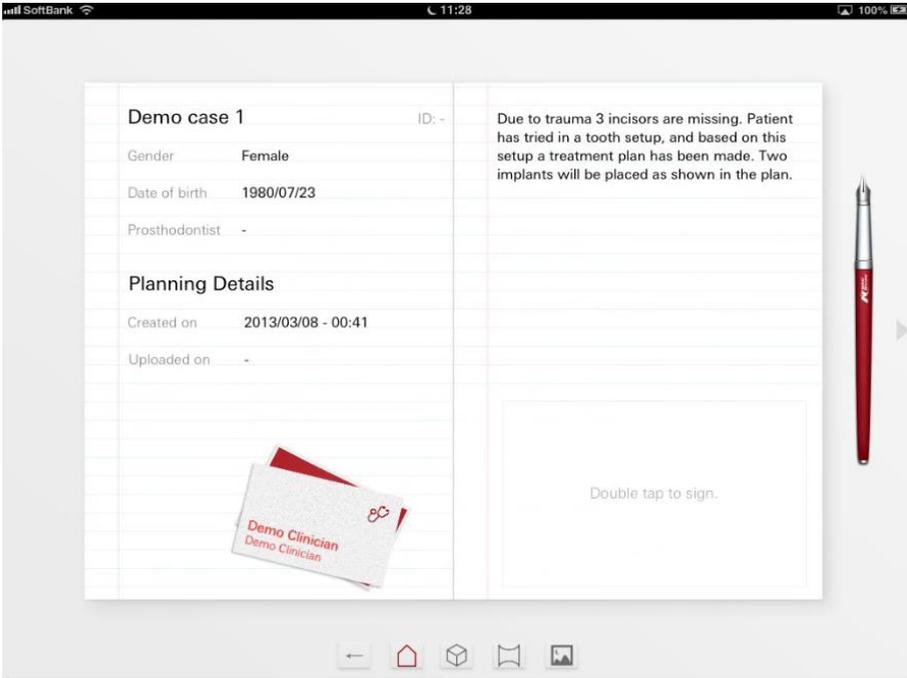
NobelClinician Communicatorのトップ画面です
Demo caseを開いてみましょう

Demo caseは5つあります
画面上で左右にフリックし、開きたいCaseの
下のOpenをタップして下さい
ここでは、Demo case 1を開いてみます

- ※ フリック・・・指で画面をはじくような動作
- ※ タップ・・・画面上のアイコンなどを指でつつく動作

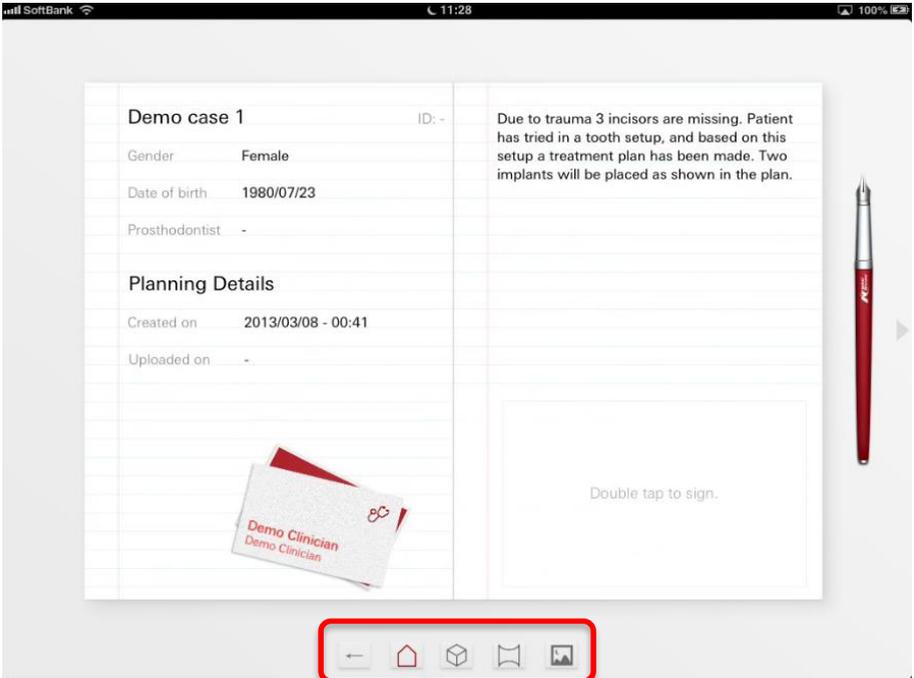
iPad NobelClinician Communicator Start

Demo case 1が開いた画面



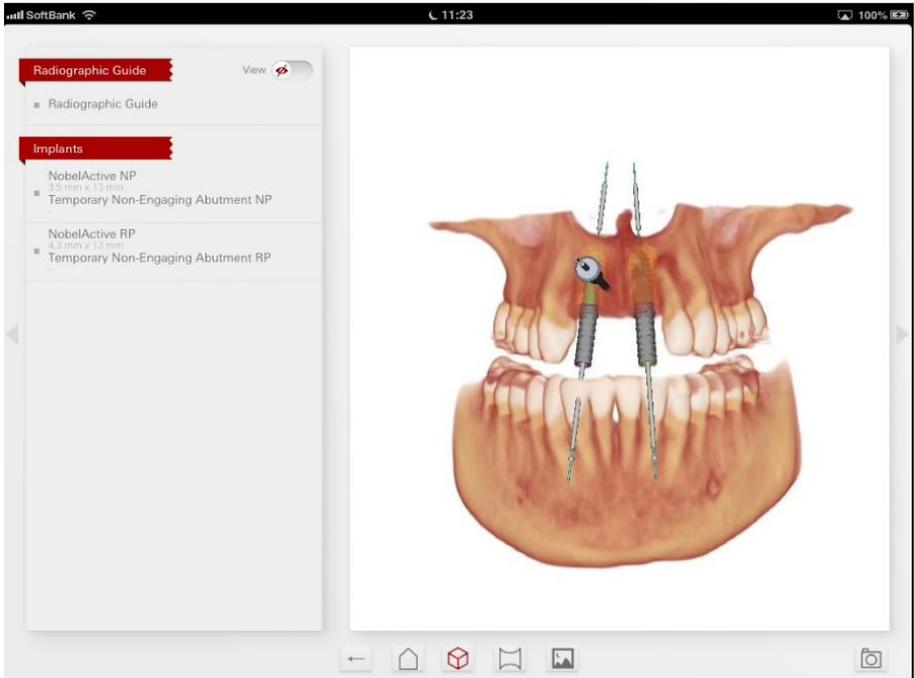
右側には、コメントなどを追記出来ます
右側で、タップすると記入が出来るようになります

iPad NobelClinician Communicator Start



それぞれのアイコンをタップ

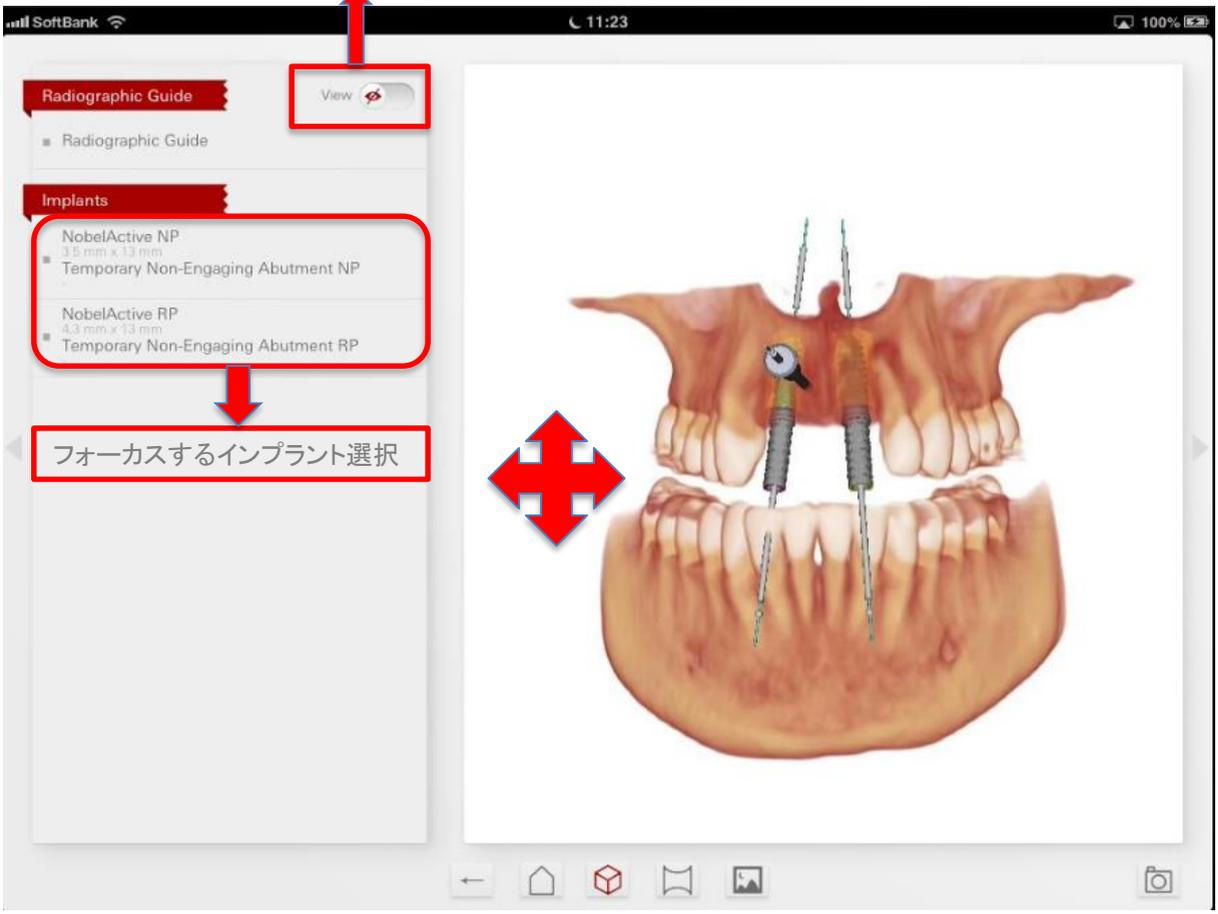
画面の右端中央にある ▶ をタップすると次ページに移動します
下に並んでるアイコンをタップすればそのページに移動します



iPad NobelClinician Communicator Start

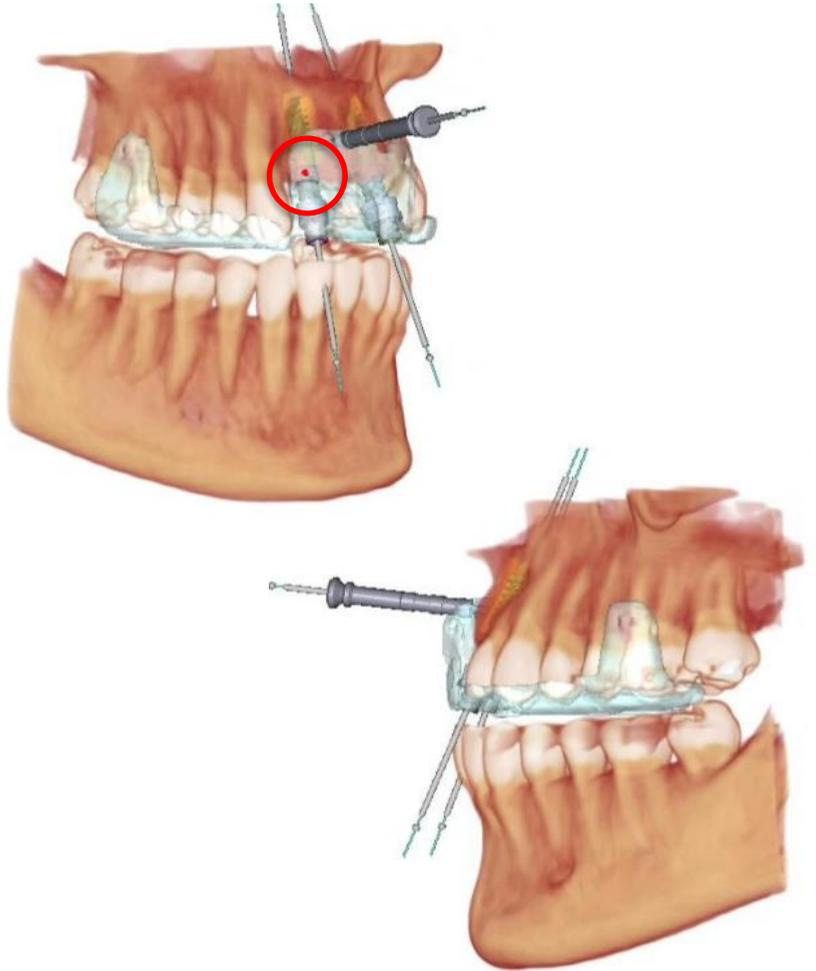
3D View

ラジオグラフィックガイド、サージカルテンプレートの表示、非表示



フォーカスするインプラント選択

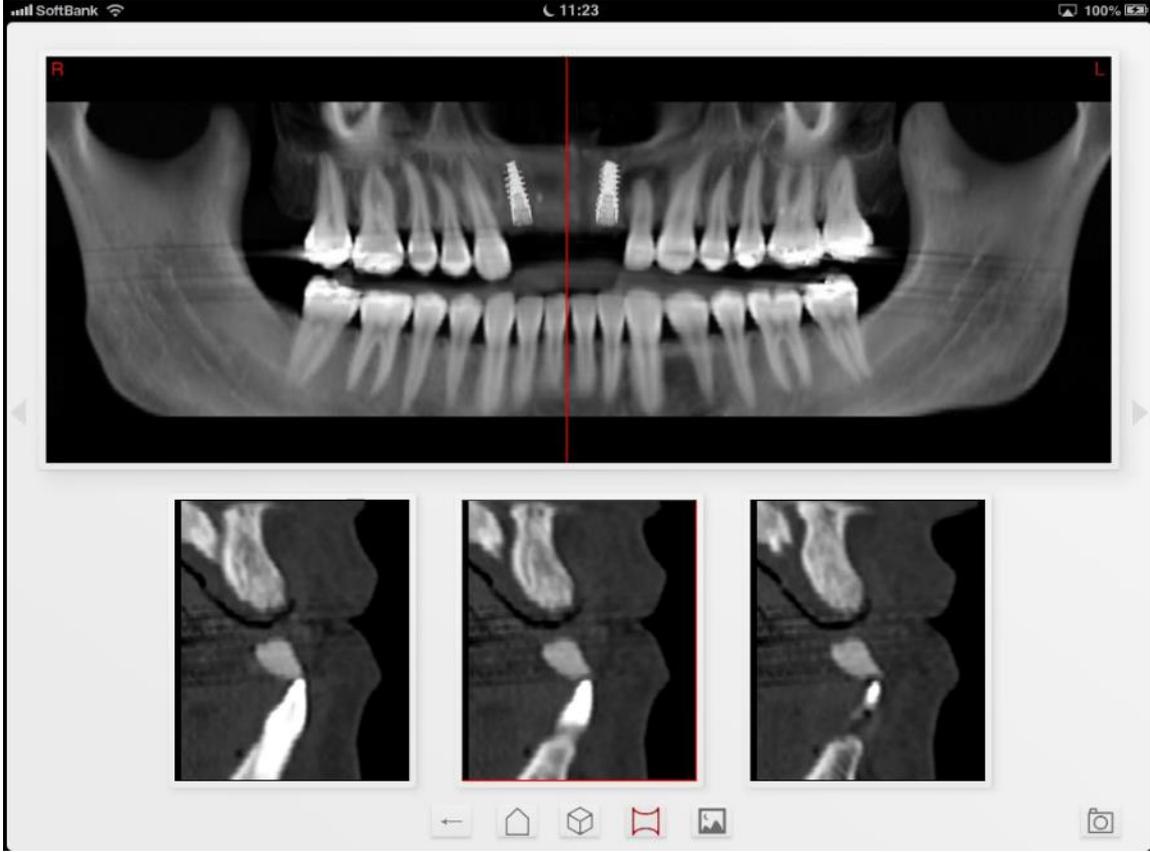
3D画像上で、上下左右にドラッグ、またはフリックして3D画像を動かします



※ドラッグ……画面に指をつけたまま、上下左右にずらす動作

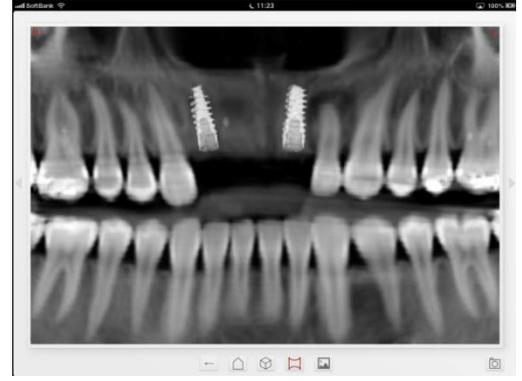
iPad NobelClinician Communicator Start

Panoramic View



パノラマ画像上にある赤線をドラッグし、左右に動かす事で下記の断面画像でそれぞれの部位の確認が出来ます

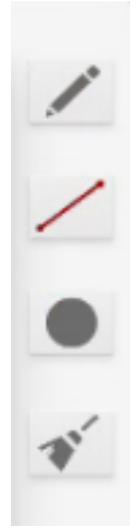
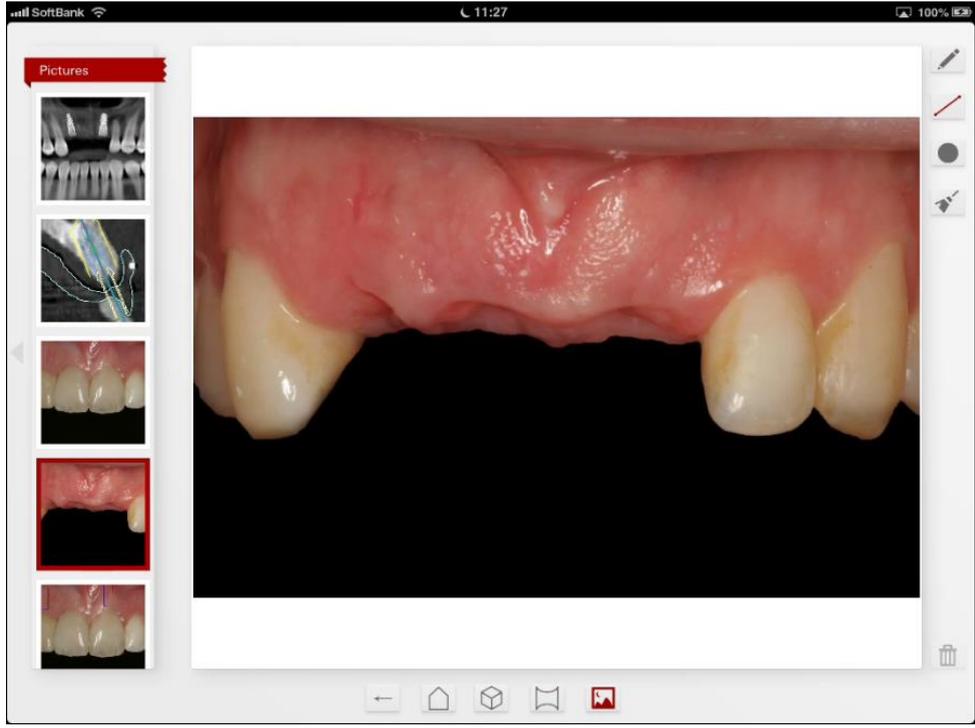
よく見たい画像部分で、ピンチアウトする事で画像が拡大します
ピンチインすれば、元に戻ります



- ※ ピンチアウト・・・2本指で画面を押さえ、その指の間隔を広げる動作
- ※ ピンチイン・・・2本指で画面を押さえ、その指の間隔を狭めて物を挟むような動作

iPad NobelClinician Communicator Start

Picture View



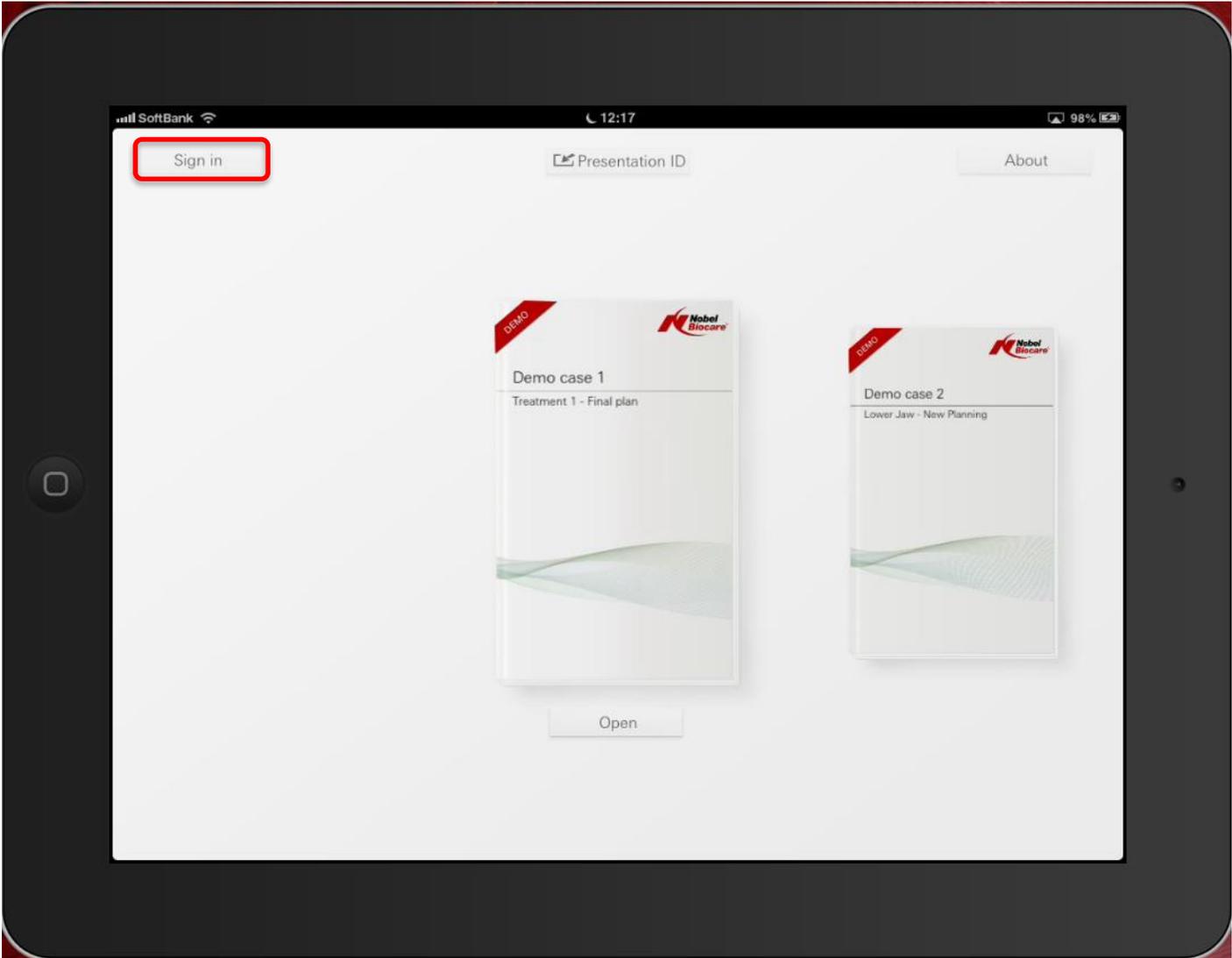
- フリーペン (赤色)
- 直線 (赤色)
- 円球 (赤色)
- 消しゴム

NobelClinician software内で取り入れた画像を、NobelClinician communicatorデータに取り入れれば、Picture Viewでご覧頂けます
編集ツールを使用しながら、患者説明なども行えます



iPad NobelClinician Communicator Sign in

NobelClinician Communicatorのトップ画面です



Sign in

※ Sign inで作業が出来るのは、NobelClinician Softwareのライセンスを持っている方のみ使用で
きます。また、Version2.0前にライセンス停止した方は使用出来ませんので注意して下さい

この機能は、NobelClinicianで作成したデータをサーバーにアップロードしている事が必要です。

また、“Export to iTunes”でファイルを作成し、同期を行わないと使用出来ません。
ファイル作成方法は(P145～P151を参照)

iPad NobelClinician Communicator Sign in 準備

- ① iPadをPCまたは、Macに接続します
- ② iTunesを起動します
- ③ ライブラリでiPadを選択します
- ④ iTunes上段の項目をAppにします



The screenshot shows the iTunes interface with the 'App' view selected for the iPad device 'NBJ045'. The 'App' section lists several applications, including 'NobelClinician™ Tutorial', 'NobelClinician Communicator', and 'Air PlayIt HD'. A red box highlights the 'App' tab in the top navigation bar. Below the app list, there is a section for '新しい App を自動的にインストール' (Automatically install new apps) and a 'ファイル共有' (File Sharing) section. The 'ファイル共有' section lists apps like Adobe Reader, Communicator, and Nobel Biocare, and provides instructions on how to view and manage files on the iPad.

iPad NobelClinician Communicator Sign in 準備



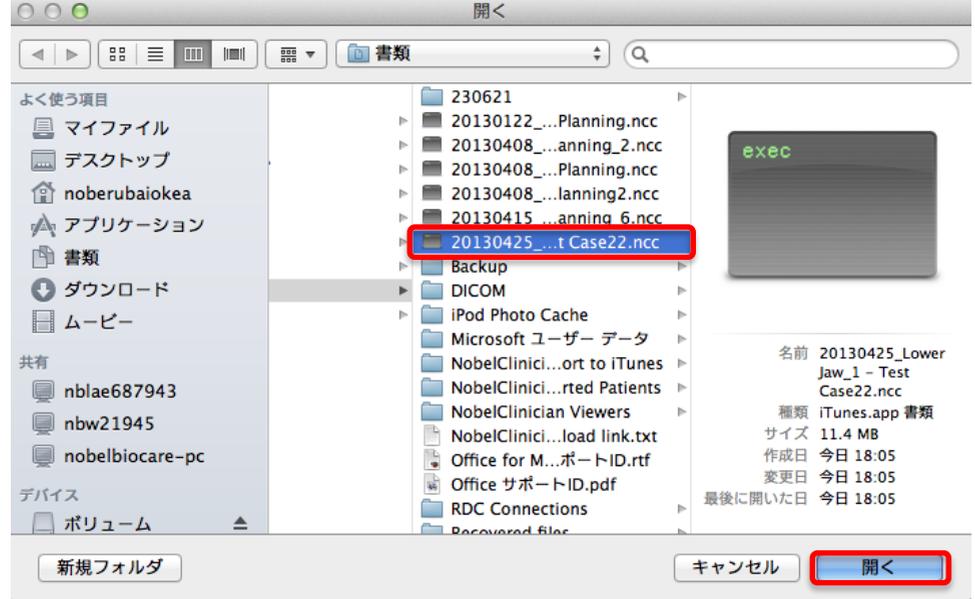
ファイル共有

以下の App では、iPad とこのコンピュータとの間で書類を転送できます。



iTunesの画面下のファイル共有で操作します

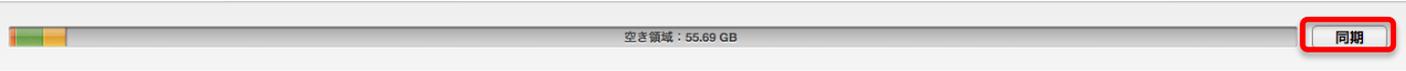
- ⑤ Communicatorを選択します
- ⑥ 追加をクリックします
- ⑦ NobelClinicianでiPadレポート作成時に保存した場所を指定してファイルを選択



iPad NobelClinician Communicator Sign in 準備



ファイル共有
以下の App では、iPad とこのコンピュータとの間で書類を転送できます。



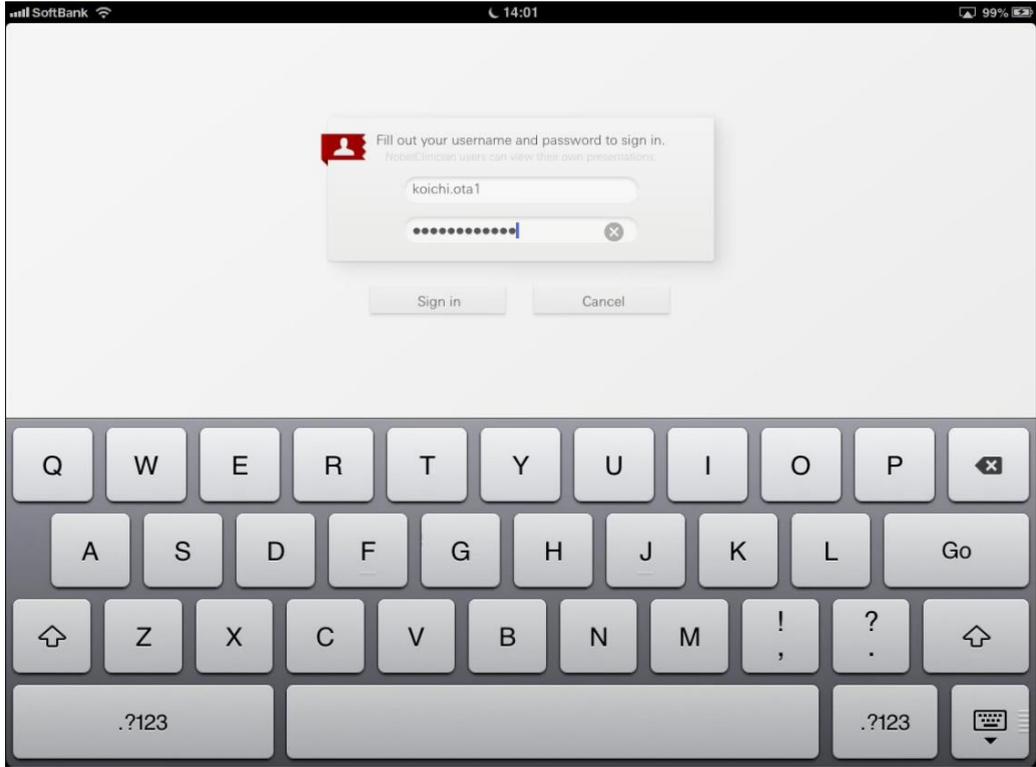
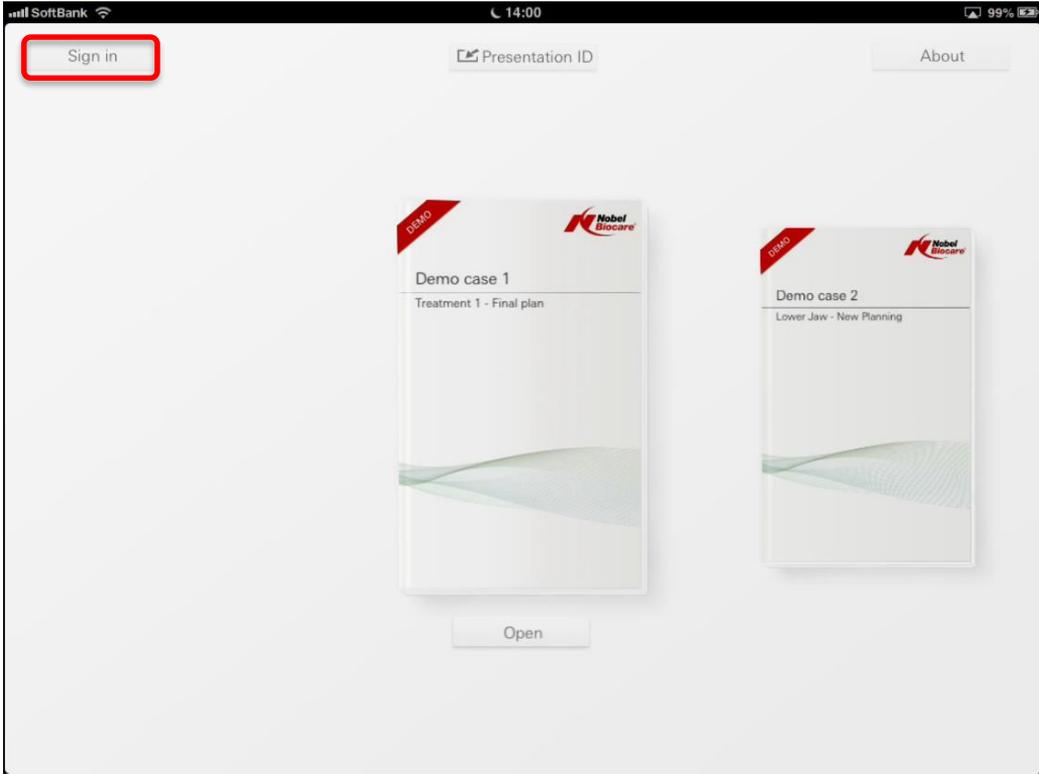
同期

- ⑧ Communicatorの書類内にファイルが追加されたのを確認したら、右下の同期をクリックしてファイルをiPadと同期します

ここまでの作業が終了しましたら、iPadアプリケーション NobelClinician Communicatorを開いて下さい

iPad NobelClinician Communicator Sign in

①

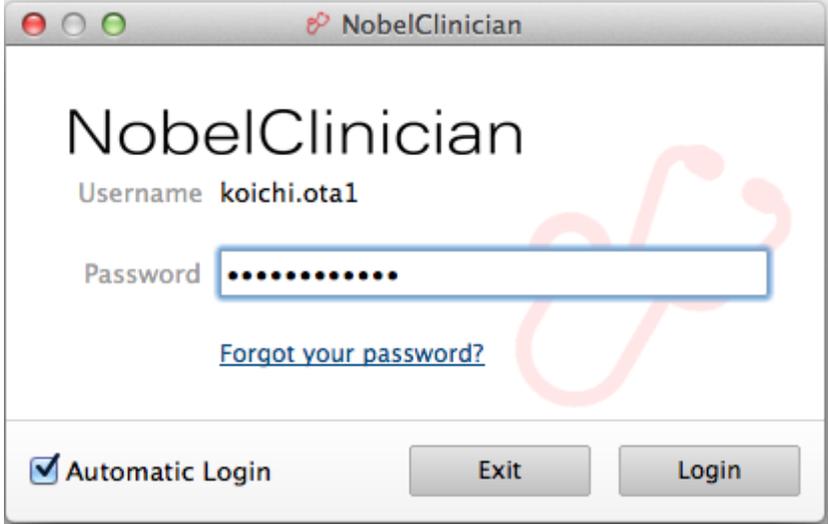
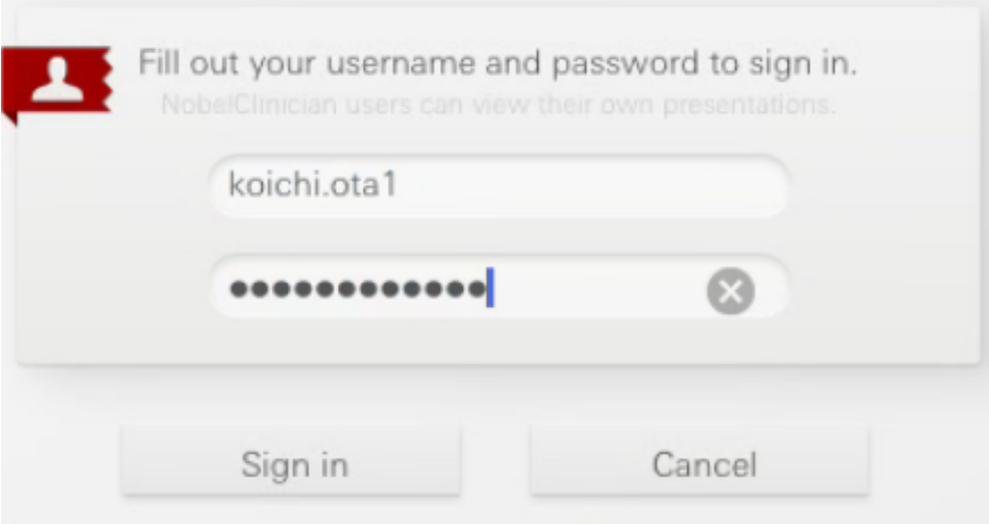


Sign in

Sign inをクリックします

iPad NobelClinician Communicator Sign in

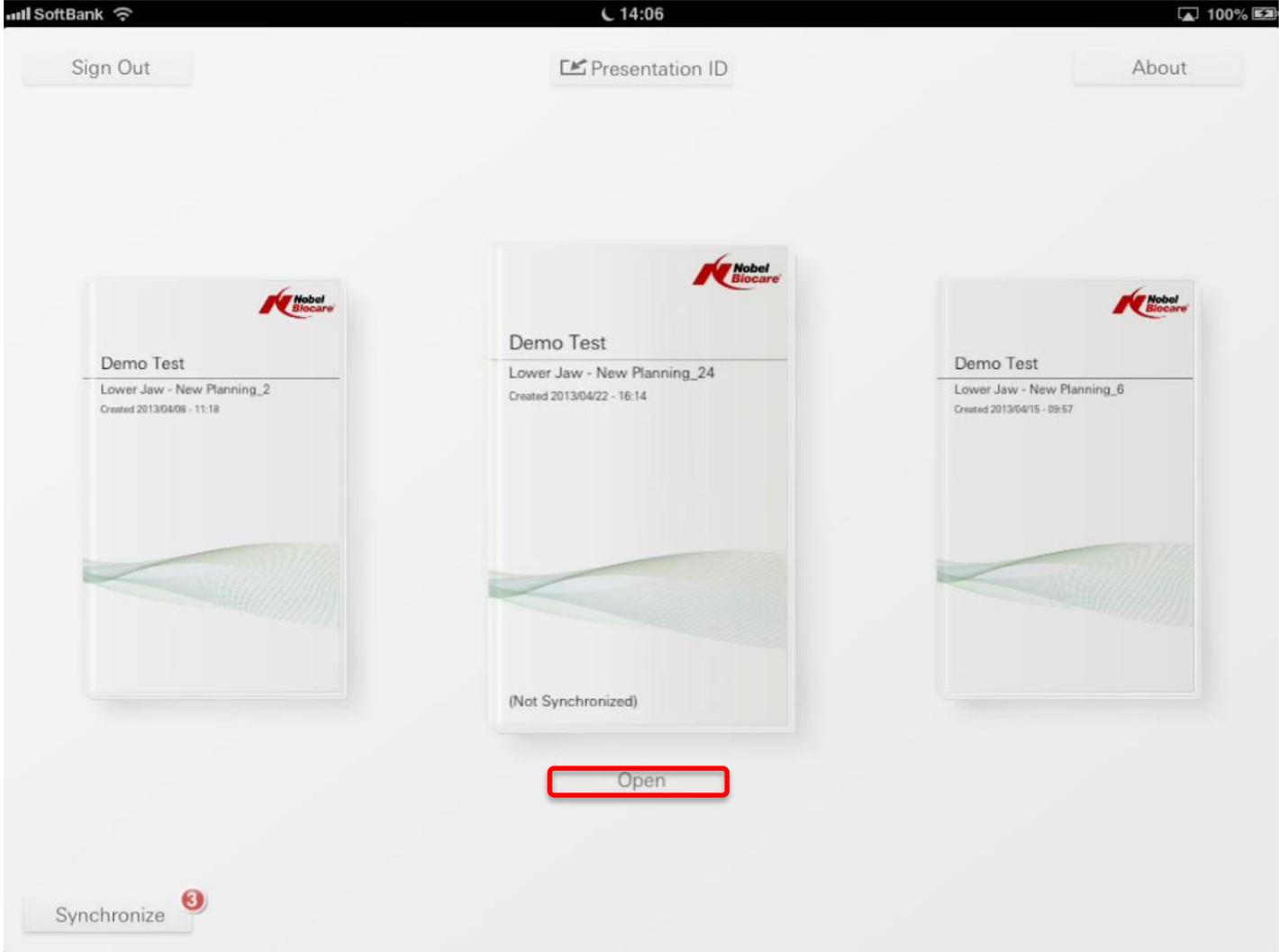
②



Sign inを行うには、NobelClinician softwareのログイン名とパスワード(個人で設定したパスワード)が必要です

iPad NobelClinician Communicator Sign in

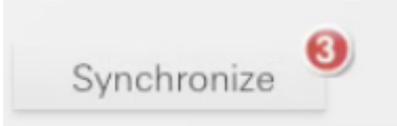
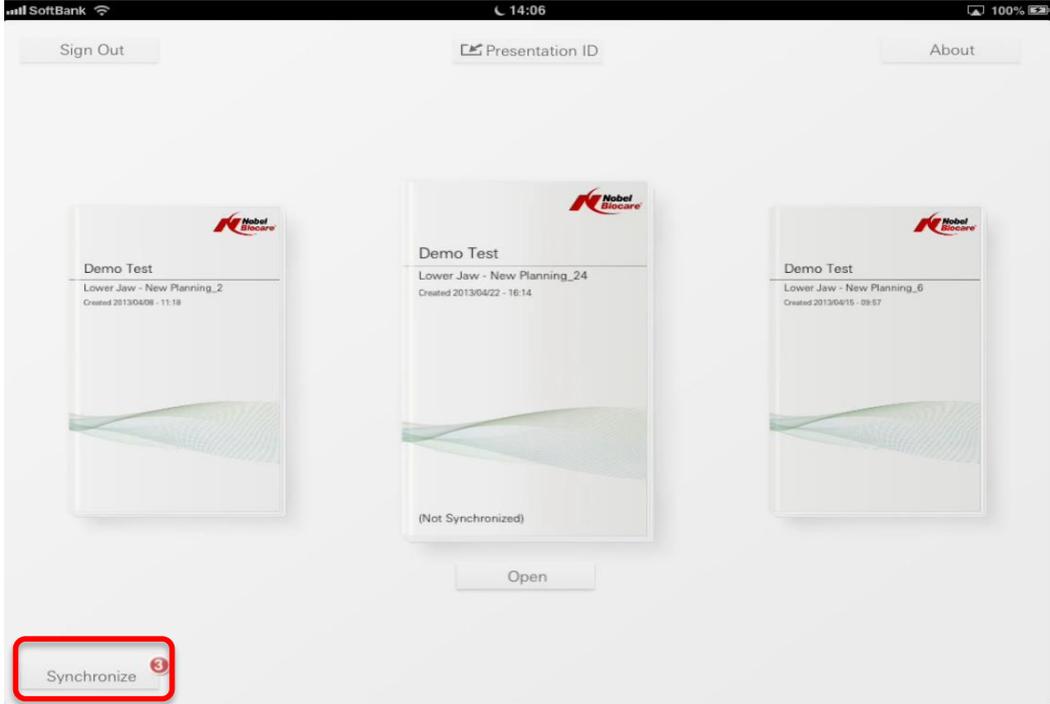
③



Sign in後、同期したデータが表示されていますので、Openボタンをタップして開きます

iPad NobelClinician Communicator Sign in

④

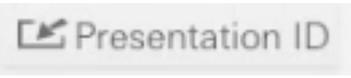
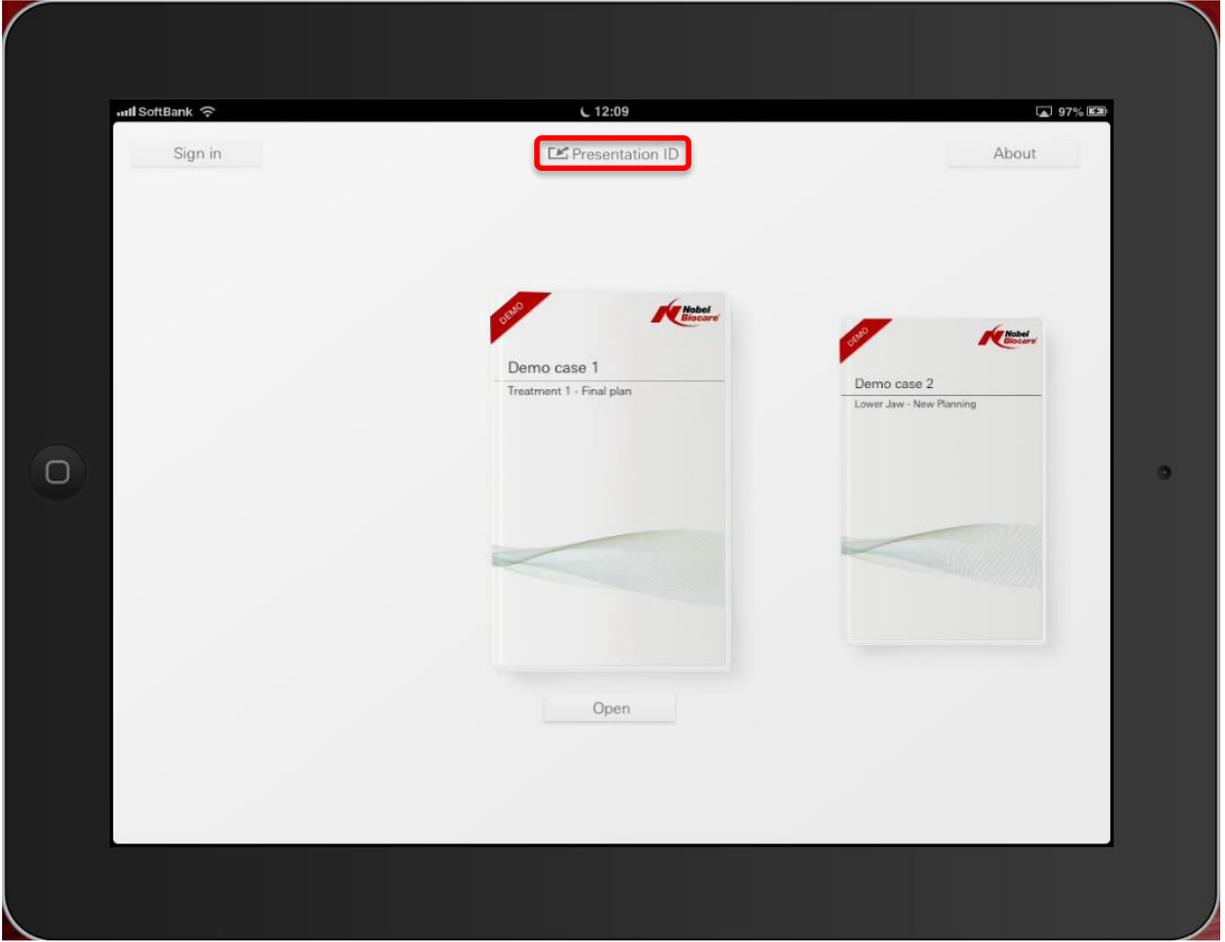


Synchronizeは、NobelClinician software内のiPad用レポートがオンライン上にアップロードされていれば、Synchronizeボタンに数字が表示されます。タップをすれば同期出来ます
上記図では、③と出ています。3つのレポートが同期出来ます

iPad NobelClinician Communicator Presentation ID

①

NobelClinician Communicatorのトップ画面です

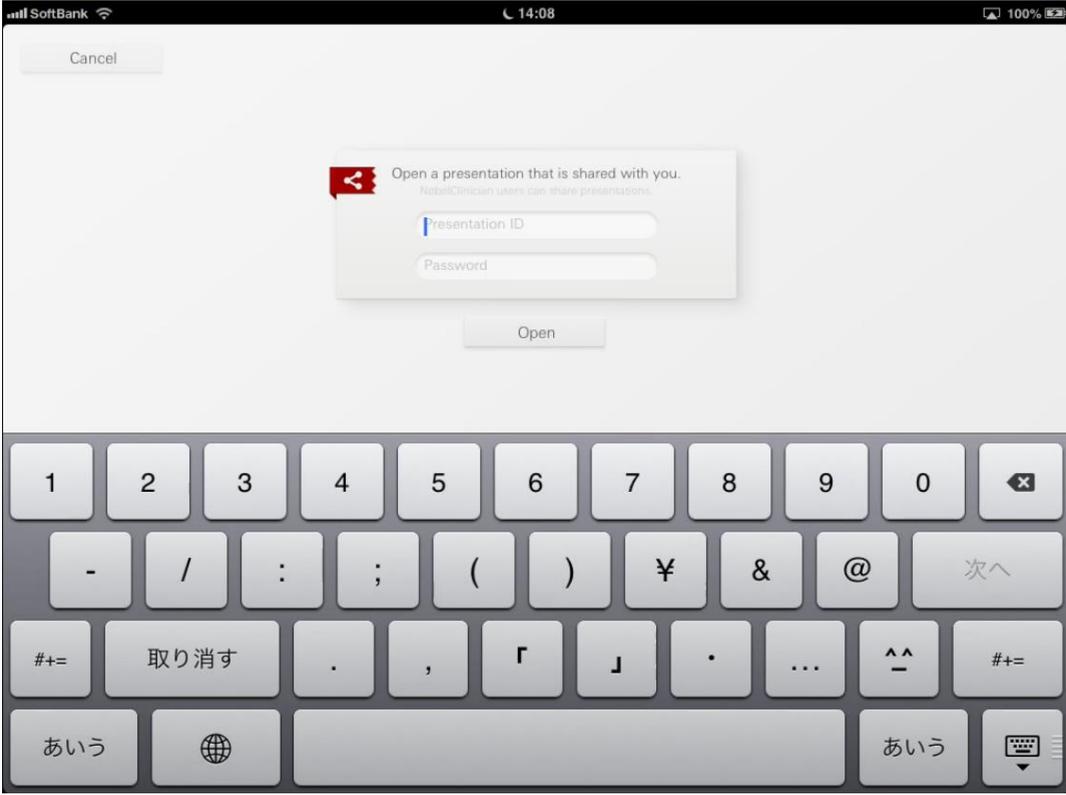


Presentation IDをタップします

この機能は、NobelClinicianで作成したデータをサーバーへアップロードしていて、尚且つShareをしている事が前提です
Shareされた人だけが見れる機能です
(P152～P153を参照)

iPad NobelClinician Communicator Presentation ID

①

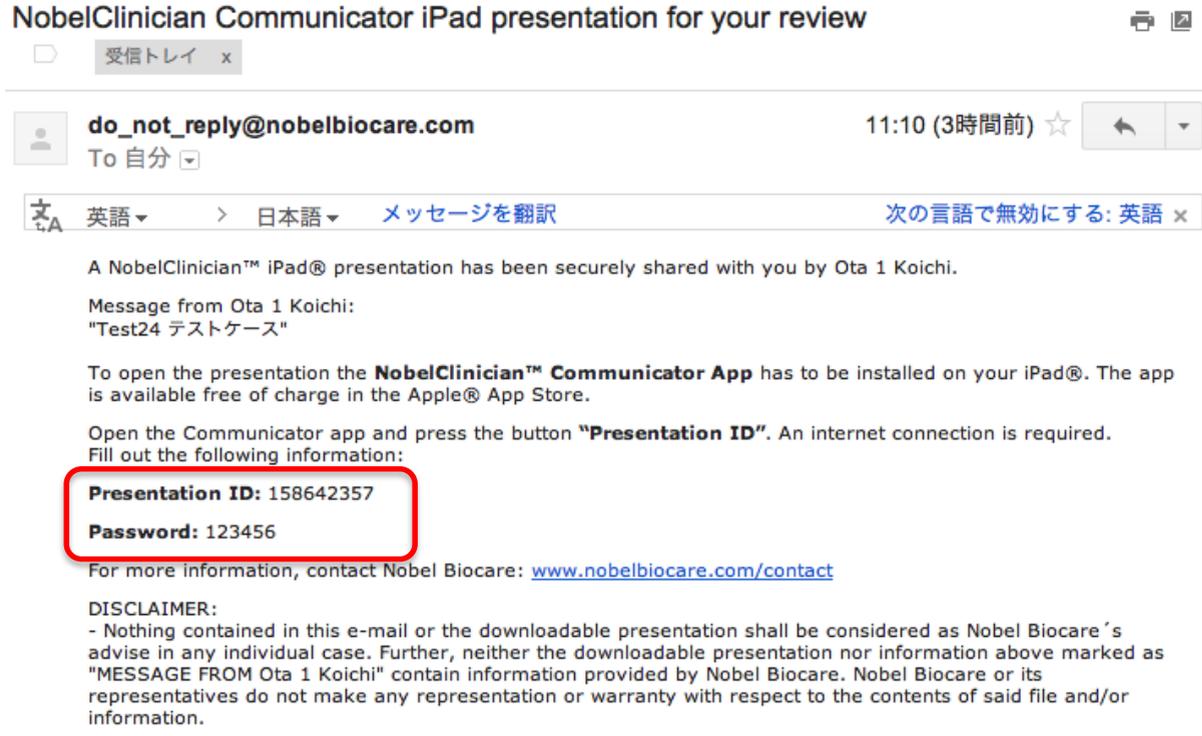


Presentation IDをタップすると左図の画面になります
Presentation IDとパスワードはShareを行った方から送られてきたメールに記載されていますので、確認の上入力して下さい

iPad NobelClinician Communicator Presentation ID

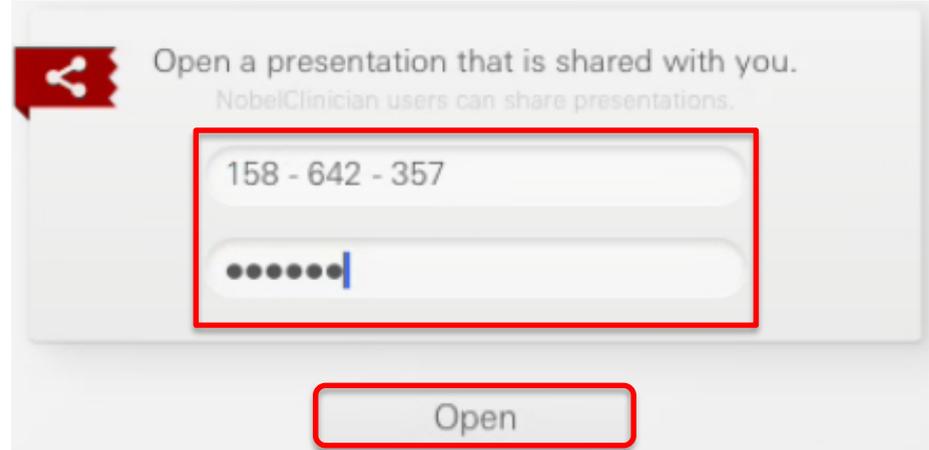
②

送られてきたメールの内容



Presentation ID: 158642357

Password: 123456

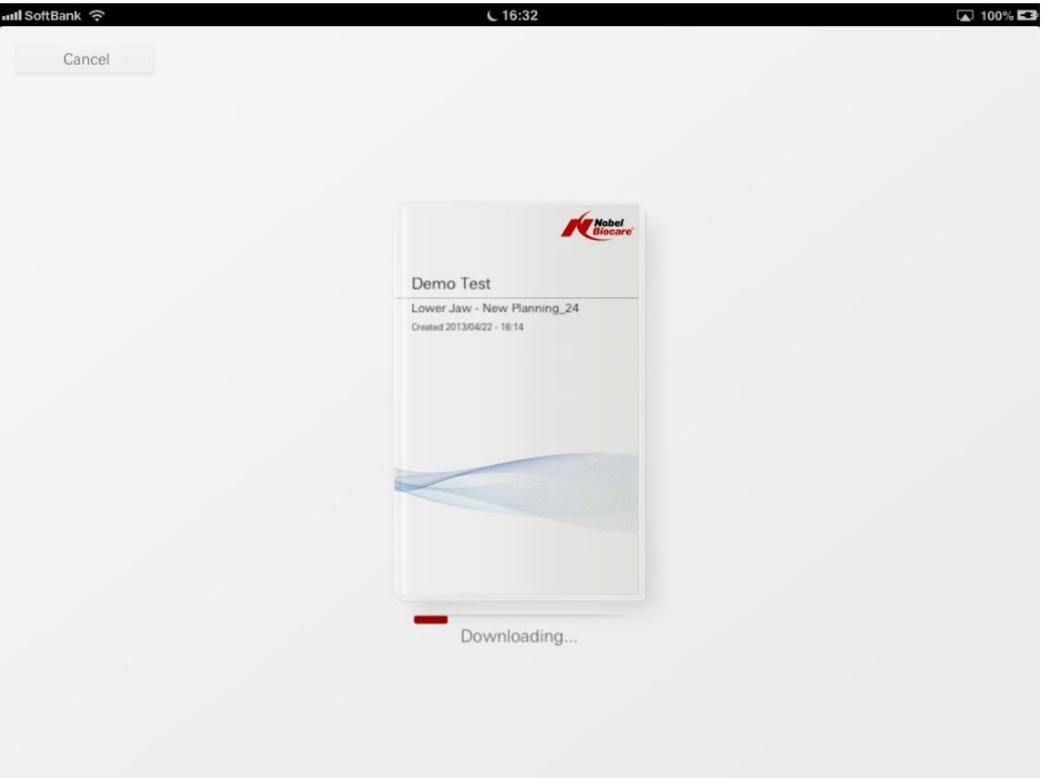


Presentation ID入力時にハイフン(-)は不要です
自動的に入りますので、数字だけを入力して下さい

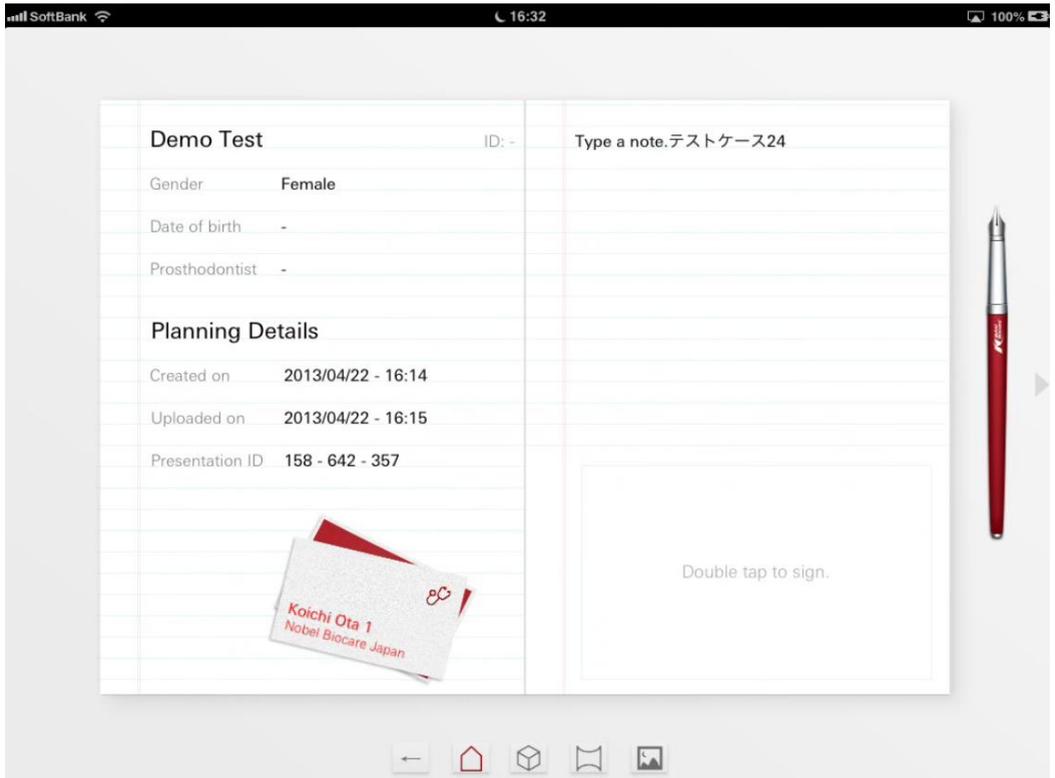
入力後Openをタップして下さい

iPad NobelClinician Communicator Presentation ID

③



データをダウンロードしています



ダウンロード後、ファイルは自動で開きます



ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35

御殿山トラストタワー13F

TEL: 03-6408-4182

WWW.nobelbiocare.com